

青森県埋蔵文化財調査報告書 第161集

畑内遺跡 I

—八戸平原開拓建設事業(世増ダム建設)に係る埋蔵文化財発掘調査報告書—

平成5年度

青森県教育委員会

青森県埋蔵文化財調査報告書 第161集

畑内遺跡 I

—八戸平原開拓建設事業(世増ダム建設)に係る埋蔵文化財発掘調査報告書—

平成5年度

青森県教育委員会



畑内遺跡遠景（上空から）



畑内遺跡（上空から）

序

青森県教育委員会では、平素より埋蔵文化財の保護についての措置を講じております。

三戸郡南郷村に所在する畑内遺跡は、平成4年度から八戸平原開拓建設に係る世増ダム建設に伴って当教育委員会が発掘調査を行っているものです。この度平成4年度の発掘調査の一部について報告書がまとまり、これを刊行することになりました。

調査の結果によると、数多くの縄文時代の住居跡や遺物が出土し、主に縄文時代の集落遺跡であることが判明しました。

この調査成果が広く文化財の保護と研究に活用され、また地域社会の歴史学習や地域住民の文化財保護の意識の高揚につながることを期待したいと存じます。

最後に、平素より埋蔵文化財の保護に対し御理解を賜っている農林水産省東北農政局八戸平原開拓建設事業所並びに南郷村教育委員会と、発掘調査の実施と報告書の作成にあたり御指導、御協力を賜った関係各位に対しまして、厚くお礼申し上げます。

平成6年3月

青森県教育委員会

教育長 石川正勝

例 言

- 1 本報告書は、青森県埋蔵文化財調査センターが平成4年度から発掘調査を実施している八戸平原開拓建設事業（世増ダム建設）に係る畑内遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 本報告書では、平成4年度に発掘調査した中で、検出した遺構の内竪穴住居跡と土坑及びその出土遺物並びに東捨て場出土遺物（石器）について報告するものである。なお、遺構と遺物についてのまとめ、東捨て場出土遺物（土器）、西捨て場出土遺物等についての報告は、平成5年度調査分とともに次回以降の報告書で行うものである。
- 3 本遺跡の青森県遺跡登録番号は65002番である。
- 4 本報告書の執筆者名は、依頼原稿については文頭に、その他は文末に付した。
- 5 挿図の縮尺は、各図ごとにスケールを付してある。なお、写真の縮尺は統一していない。
- 6 土層の注記は、「新版標準土色帖」（小山、竹原；1990）を参照した。
- 7 資料の同定・分析等は、次の方々に依頼した。

火山灰分析	三辻 利一（奈良教育大学教授）
放射性炭素の年代測定	木越 邦彦（学習院大学教授）
遺跡の地質・石器の石質同定	松山 力（八戸市文化財審議委員）
- 8 発掘調査及び報告書作成にあたって、下記の諸氏から御協力・御助言を得た（敬称略、順不同）。

小林達雄、市川金丸、工藤竹久、小笠原善範、村木淳、藤田亮一、高田和徳、関豊、春日信興、杉山武、葛西励、高橋潤、古屋敷則雄、工藤利幸、遠藤正夫、田中寿明、瀬川滋、長尾正義、石岡憲雄、館野孝

目 次

序	
例 言	
目 次	
第1章 はじめに	1
第1節 調査にいたる経緯	1
第2節 調査要項	2
第2章 遺跡の概要	6
第1節 遺跡周辺の地形と地質	6
第3章 調査の方法	15
第1節 調査の方法	15
第2節 調査の経過	16
第4章 調査の概要	18
第1節 平成4年度検出遺構と遺物	18
1 竪穴住居跡	18
2 土坑	103
第2節 平成4年度東捨て場出土遺物	290
1 石器	290
2 その他	292
第5章 自然科学的調査	360
第1節 畑内遺跡出土火山灰の蛍光X線分析	360
第2節 学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書	363
第6章 まとめ	364

第1章 はじめに

第1節 調査にいたる経緯

畑内遺跡（以下、本遺跡と言う）は、昭和48年に青森県教育委員会が三戸郡南郷村に所在する遺跡として台帳登録した遺跡（65002）である。当時の調査によると、本遺跡は縄文時代前期、中期、後期、晩期の遺跡とされている。

八戸平原開拓建設事業のうち世増ダム建設に関する埋蔵文化財の保護について、八戸平原開拓建設事業所と青森県教育委員会との具体的な協議が始まったのは平成元年頃からである。

その過程では、当該地区には周知の遺跡は本遺跡が知られるだけであった。しかし、青森県教育委員会ではダム建設予定区域内の埋蔵文化財については岩手県教育委員会と連携しながらその保護対策を進めており、再度分布調査を行ったうえで青森県分の結論を出すこととなった。

そのため、急遽青森県教育委員会では平成元年12月20日に畑内地区、21日に世増地区の分布調査を実施した。その結果、畑内地区では畑内遺跡の範囲を拡大し、世増地区では砂子遺跡、槻ノ木遺跡、筋久辺遺跡の3ヶ所が新たに発見された。

平成2年1月18日に八戸平原開拓建設事業所の木元工務官が来庁した際に青森県教育委員会ではこの旨を通知すると共に、これらの件について度々青森県教育委員会では八戸平原開拓建設事業所と発掘調査についての打合せを行った。改めて、平成2年9月7日に世増ダム建設関連の打合せを青森県教育委員会が行い、平成3年度には筋久辺遺跡の発掘調査の実施することとなった。

次いで平成4年度には当初砂子遺跡の発掘調査が予定され、当センターでは現地確認調査を行ったが、平成3年秋の大型台風による遺跡にいたる道路事情の悪化や、八戸平原開拓建設事業所の諸般の事情により急遽畑内遺跡の発掘調査を優先してほしい旨の通知があった。その段階で、先の台風被害によって遺跡に至る道路事情が不安定になり、作業員等のバス輸送に従来のおり島守コースを利用するか別のルートである軽米コースを利用するかの内々の調査を関係機関と協議しながら行った。

平成4年2月には、具体的な発掘作業員募集要項を示して南郷村教育委員会にその募集を依頼した。

新年度に入り4月13日に担当職員には現地状況を確認するとともに島守コースと軽米コースを踏査させ、バス会社など関係機関と共に職員、作業員の通行に対する安全対策を検討するよ

う指示し、その相果、島守コースを採用することに決定した。

平成4年4月23日には南郷村島守コミュニティセンターで雇用説明会を開催し、5月6日に発掘調査を開始した。5月15日には調査員等による畑内遺跡の発掘調査打合せ会議を開催した。

(鈴木)

第2節 調査要項

1 調査目的

八戸平原開拓建設事業（世増ダム建設）の実施に先立ち、当該地区に所在する畑内遺跡の発掘調査を行い、その記録保存を図り、地域社会の文化財活用に資する。

2 発掘調査期間

平成4年5月6日（水）から同年11月13日（金）まで

（当初予定平成4年5月6日から10月29日まで）

3 遺跡名及び所在地

畑内遺跡

三戸郡南郷村大字島守字畑内4番地、ほか

4 調査面積

対象面積 8,000平方メートル（発掘調査6,000㎡、試掘調査2,000㎡）

調査面積 5,016平方メートル（内、試掘1,800㎡）

5 調査委託者

東北農政局八戸平原開拓建設事業所

6 調査受託者

青森県教育委員会

7 調査担当機関

青森県埋蔵文化財調査センター

8 調査協力機関

南郷教育委員会、三八教育事務所

9 調査参加者

調査指導員 村越 潔 弘前大学教授（考古学）

調査協力員 高畑 繁昭 南郷村教育委員会教育長

調査員 高島 成侑 八戸工業大学教授（建築史）

栗村 知弘 八戸市田面木小学校長（考古学）
上村 四郎 南郷村歴史民俗資料館研究員（考古学）
瀧沢 幸長 八戸市文化財審議委員（考古学）
松山 力 青森県立八戸高等学校教諭（地質学）
（現、八戸市文化財審議委員）
向谷地芳久 八戸工業大学第一高等学校教諭（考古学）

調査担当者 青森県埋蔵文化財調査センター

調査第三課長 鈴木 克彦
総括主査 木村鉄次郎
主 事 工藤 直樹
調査補助員 粕谷 晋治、福士 敦子
伊藤 弘子、斎藤 美穂

(木村)



第1図 畑内遺跡の位置図



第2図 畑内遺跡地形図

第2章 遺跡の概要

第1節 遺跡と周辺地域の地形・地質

松 山 力

1. 周辺の地形

畑内遺跡は、岩手県境に接する新井田川谷底部右側に開けた畑内小盆地の北半部にある。

新井田川（岩手県では瀬月内川と呼ぶ）は、北上山地北部の岩手県山形村平庭岳に源流を發し、遺跡北方の八戸湾に注ぐ全長82kmの二級河川である。最大支流は山形村大雪屋付近の山地に源流を發する雪谷川で、岩手県北の軽米盆地を通りぬけ、畑内南西方2.5kmで新井田川に合流する。

遺跡南方の岩手県軽米盆地から遺跡北方4kmの島守盆地までの区間の雪谷川と、これが合わせる新井田川は、周囲の平頂丘陵を深く刻み込んでつづらおりに屈曲して流れる、いわゆる穿入曲流となっている部分が多い。谷底から丘陵平坦面ないし緩斜面の縁までの、谷壁の高度差は80～180mで、谷壁の大部分は勾配が25～30°もの急傾斜地となっている。谷底の大部分は両側を谷壁で挟んで水吉に隣接する青森県南郷村畑内、同村世増などの小盆地が開ける。

雪谷川の合流点付近から島守盆地周辺までの新井田川の東西に広がる平頂丘陵地は、東方の階上岳と西方の名久井岳を結ぶ線の周辺とその北方に、東は太平洋岸から西は馬淵川にかけて広大に分布する洪積世最高位の蒼前平段丘に相当する丘陵で、遺跡周辺での頂部標高は240～270m程度である。

第3図は遺跡をほぼ中央に置いた東西5km、南北3.5kmの範囲のおおまかな地形区分図である。図に見られるように、新井田川は県境の水吉・畑内から世増にかけて直線距離ほぼ2km区間をS図型に曲がりくねって流れる。S字の底（上流方）にあたる流路の左岸に水吉の小盆地（規模300×500m）、対岸下流方に隣接して遺跡の立地する畑内の小盆地（規模300～500m）が続き、S字の上半（下流方）にあたる流路の内側（右岸）にはやや広い世増の小盆地（規模約400×1000m）が抱き抱えられるように開けている。いずれも背後は高度差60～100m、また川を挟む対岸は高度差80～150mの急傾斜地となっていて、東方の不習周辺や西方の七枚田周辺に広がる平頂丘陵の緩斜面部に漸移する。

畑内の小盆地の南部では南東方からやや大きい谷（全長5km）が流れ下って新井田川と合流し、小盆地の北部では北東から小さい谷が流れ下って小盆地の北部に位置する畑内遺跡の北縁で新井田川に注ぐ。また、水吉南縁の新井田川と畑内に南方から下る谷の小盆地への出口付近

では、それぞれ南南東から並行して下る小さい谷が合流する。いずれも谷の出口に近づくとつれて急斜面部の深さが100m以上にもなる峡谷である。

遺跡の西縁を北上する新井田川は、遺跡の北方では両側から谷壁の斜面が迫り、遺跡の400mほど先から流路が時計まわりに旋回し、180°も流路の方向を曲げて南南東方に向かう。この部分の左岸（東側）には、幅150m、長さ500mほどの沖積地が開けている。ここには、平成3年度に発掘調査された筋久辺遺跡がある。この沖積地の南端部から、新井田川の流路は北西に大きく折れ曲がり、世増小盆地の西縁から北縁へと時計まわりに方向を変えて通りぬけ、流路を北に変えて鳥守盆地に向かっている。

畑内遺跡の西縁から筋久辺遺跡の西縁までの区間で、反対向きに流路を曲げる新井田川に三方を囲まれた部分には、西方の平頂丘陵地の東縁から、削剝されて平坦面をほとんど失った山稜状の急傾斜地が半島のように北北東に突き出している。この部分の幅は200～300mで、稜線部の谷底からの比高は70～90mにもなる。

畑内の小盆地は、洪積世の中位段丘と低位段丘、沖積世の上位段丘と下位段丘の4段の段丘で構成されている。

洪積中位段丘は小盆地の南東部にあり、東側に蒼前平段丘を削剝した急斜面が接している。北半は、北方から西方へ4～8°の傾斜で下る緩斜面がほとんどであり、北側に接する洪積低位段丘に漸移する。南半には、頂部に東西幅40m、南北長80m程度の平坦面があって、その西方の沖積段丘上位面との間の段丘崖は、標高差20m程度の急斜面となっている。

沖積低位段丘は小盆地中部から北部の途中まで東側3分の2ほどを占めている。

沖積上位段丘は、洪積低位段丘の南西の裾から洪積中位段丘の西側急斜面の裾までの南西方を占めるほか、洪積低位段丘の中間部を西から東へせり上がり、中ほどで高度の等しい洪積低位段丘の緩斜面に漸移する。

沖積下位段丘は、以上の段丘の西縁と新井田川との間を、南から北へ幅を40mから110mへと広げる。洪積低位段丘の北裾で東に折れるが、その対岸にも小規模な相当段丘がある。

2. 遺跡と周辺の地質概要

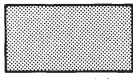
周辺地域の基盤は先第三系の石灰岩・チャート・粘板岩・砂岩・輝緑凝灰岩などである。それらを第四系洪積統の段丘砂礫層・褐色火山灰（ローム）層、火山灰流凝灰岩などが覆い、その上に沖積統の黒色土層類や河川堆積物がのっている。

遺跡の対岸の平頂丘陵から北北東に突き出す山稜状の急傾斜地には、筋久辺遺跡との間で石灰岩、チャート、粘板岩、輝緑凝灰岩などが露出し、背後の急傾斜地は砂質の輝緑凝灰岩で、そこから崩落した岩塊は急傾斜地の裾に崖錐堆積物として堆積している。

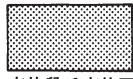


0 1 2 km

凡 例



最高位段丘残留面



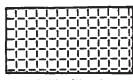
高位段丘高位面
(蒼前平段丘)



高位段丘低位面
(天狗岱段丘)



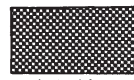
中位段丘



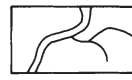
低位段丘



沖積地



急傾斜地
(おおむね10°以上)



河谷

第3図 遺跡付近の地形区分図

遺跡をのせる洪積低位段丘は、隣接の水吉小盆地の相当段丘とともに、火山灰流凝灰岩を本体とするいわゆるシラス台地である。火山灰流凝灰岩の上位はその再堆積による砂層で、その上を沖積統の黒色土層類（腐植土層）が覆っている。火山灰流凝灰岩は、その中に包含されていた天然木炭の ^{14}C 年代の測定の結果、 14480 ± 210 年前および 13470 ± 200 年前の値を出しているため、洪積世末期に十和田火山から噴出し、四方に火砕流となって流下した八戸火山灰流の一部とみなしてよいであろう。

黒色土層類の下部には南部浮石層が、中位には中掬浮石層が挟まれる。南部浮石の降下時期については、 ^{14}C 法による 8600 ± 250 年前の測定例がある。

中掬浮石の降下時期は、最近各地の直上・直下の土層年代測定例や遺物との関連から、円筒下層c式相当年代もしくはd式土器相当年代の前半頃と堆定されてきたが、畑内遺跡の遺物包含層層位と包含土器型式により、円筒下層a式土器相当年代の直前、縄文時代前期中頃の前半頃と堆定されるにいたった。岩手県二戸市の中曽根遺跡では、中掬浮石層の直下に大木1式相当土器や大木2b式土器が出土している。（1981. 中曽根Ⅱ遺跡発掘調査報告書本文編. 二戸市教育委員会. 117～126頁）。

3. 発掘調査区域の地質層序

今回発掘調査された区域は、東側平頂丘陵の急斜面下に続く洪積低位段丘の北半部平坦面の北側と、その西側から北側にかけての斜面（段丘崖）である。

(1) 平坦面部

第4図は発掘区域南縁部の東端部付近で、南部浮石以上の部分に深堀部分を合成した標準土層図である。この区域では、土層を上から下へ、Ⅰ層からⅩ層までの10層に区分した。

Ⅰ層は、厚さ12～22cmの黒色（10Y R 2/1）土層で、砂礫の多い耕作土（表土）である。

Ⅱ層は、厚さ12～32cmの黒色（10Y R 1.7/1）土層である。粒径数mm程度の堅い灰白色浮石を含んでいる。この浮石は十和田b降下火山灰を構成する浮石が散らばったものである。そのほかに、無数の白色微粒鉱物が含まれている。

Ⅲ層は、厚さ10～20cmの黒褐色（10Y R 3/1）土層である。粒径平均数mm程度の浮石のほか、中掬浮石層由来の砂粒大浮石粒が、含有割合は下位層に比べて少ないながら含まれている。そのほか、随所で円筒下層式土器片が出土する。

Ⅳ層は、厚さ25～52cmの黒褐色（10Y R 2/2）土層である。中掬浮石層由来の砂粒大の浮石粒がきわめて密に含まれるほか、粒径数mm～2cm程度の浮石が散在する。周辺の本層中には、砂粒大浮石粒の密集する中掬浮石層が部分的にそのまま残されて、厚さ10～20cm、横幅10～数十cm程度の黄色浮石塊として断続する部分があり、中掬浮石層降下時期とそれに続く時期に

形成された土層であることを示している。

V層は、厚さ15～40cmの黒色（10Y R 2 / 1）土層である。下半ほど密に、南部浮石層に由来する粒径数mm～2 cm程度の、灰白色ないし明褐色の浮石を含んでいる。

VI層は、厚さ30～50cmの南部浮石層である。色調は上から下へ、褐色（10Y R 4 / 6）から黄褐色（10Y R 5 / 8）土～黄橙色（10Y R 7 / 6）～浅黄橙色（10Y R 8 / 4）～灰白色（10Y R 8 / 1）へと漸移する。粒径が普通数mm～2 cm、最大5～6 cmの浮石の密集層で、膠結が弱くくずれやすい。間隙は粒径1～数mmの火山岩片で満たされている。

VII層は、厚さ12～20cmの黒褐色（10Y R 2 / 3）土層である。粘性に富み、粒径数mm～2 cmの浮石がごくまばらに散在する。下位の土層が完全に腐植土化した土層である。

VIII層は、厚さ22～26cmの、平均的ににぶい黄褐色（10Y R 4 / 3）土層であるが、色調は上から下へ明るさを増す。砂粒大浮石粒の多い粘土質土層で、粒径数mm～3 cmで黄橙色または灰白色の浮石が、上から下へより多く含まれる。下位の土層がやや腐植土化した土層である。

IX層は、厚さ22～25cmの褐色（10Y R 4 / 4）土層である。砂粒大浮石粒の多い粘土質土層で、粒径数mm～数cmで黄橙色または灰白色の浮石が多数含まれる。

X層は、ところどころに厚さ数cmの浮石層を挟む水成の砂層で、おおむねにぶい黄橙色（10Y R 6 / 4）を呈する。下位に存在する火山灰流凝灰岩（シラス）の再堆積物で、厚さは周辺の段丘面の縁や遺構壁にあらわれた相当層から1～2 mほどと堆定される。

東側の急斜面の縁から数mの範囲には、斜面から崩落した径数cm～数十cmまでの礫が累積している。特にVI層（南部浮石層）の直上からIII層までの相当部に多く、やや離れたところにもV層とIV層の境界部、IV層とIII層の境界部などに、径10～60cmの角張った礫が点在する。

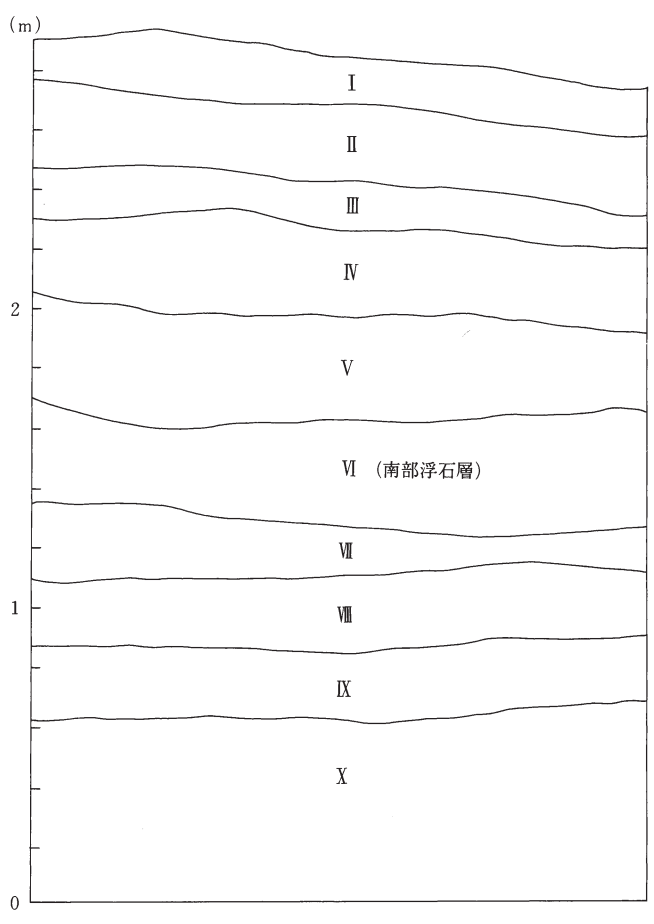
一方、発掘区域の中央部から西と北の平坦面の縁までの区域ではII・III層が尖滅し、欠如している部分が多い。

(2) 斜面部

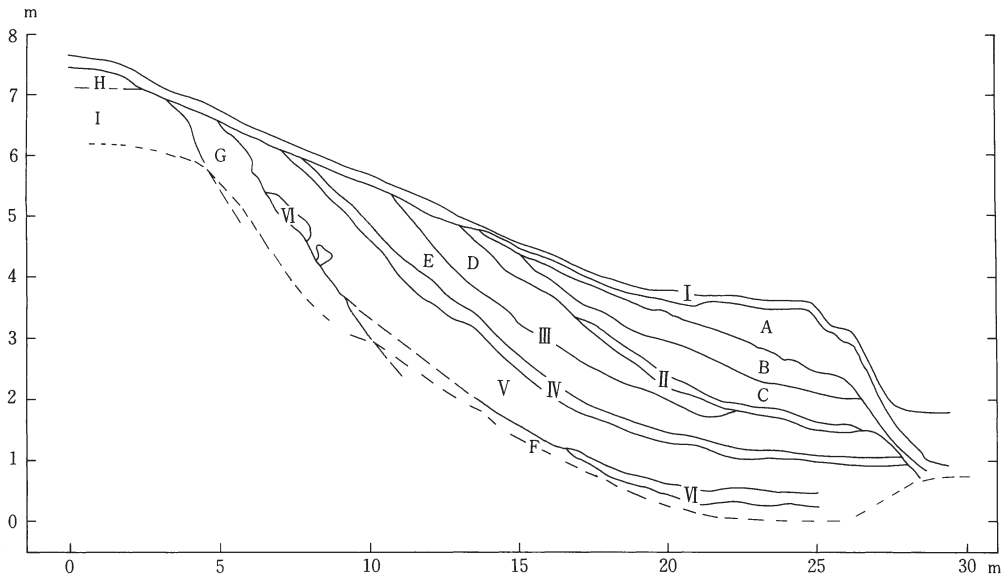
第5図は、洪積低位段丘北側の段丘平坦面縁から沖積面まで下がる斜面部（段丘崖）の土層断面概略図である。斜面部は水成の二次堆積層を含む火山灰流堆積物が削剝されてできた埋没段丘崖を、以後の黒色土層類が覆っている。

斜面の上端から下端までの標高差はほぼ5.5mで、斜面の大部分は平均傾斜角10°程度であるが、斜面の先端部数mはごく緩やか、ないしはほとんど水平な平坦面となり、最先端は標高差1.8m程度、平均傾斜角約30°の急斜面（崖）で沖積面に接する。

埋没段丘崖の前方に、南部浮石層・中取浮石層を含む黒色土層類が傾斜した状態で下位層から順次にのり、これらを削剝してできた緩斜面を平坦面から連続するI層が覆っているので、I層の直下には、斜面を下るにつれてより上位の土層が現われ、上位の層ほどより低い場所に



第4図 平坦面部標準土層図



第 5 图 斜面部土层断面图

現われている。

埋没段丘崖を覆う土層は、土質・土色・包含物などの特徴により20層以上に分けられる。

I層は、厚さ5～25cmの黒褐色（7.5Y R 2 / 2）土を主とする表土層で、斜面部と下位の沖積段丘面のすべてを覆う。

I層と、II層相当層とに挟まれる部分の土層は8層程度に分けられるが、その最上位の黒褐色（10Y R 2 / 3）土層は斜面下方へ厚さを増して、斜面部の先端で厚さが1 mにもなる。その下の黒褐色（10Y R 2 / 3）土層も最大層厚が60cmにもなり厚い。さらに下位の土層はいずれも最大層厚は30cm以下で薄く、中位の暗褐色（10Y R 3 / 3）土層以外は、色調は微妙に変化してはいるが、おおむね黒褐色土層で、粒径数mm～2 cm程度の浮石が多量に混入する部分が多い。これらの合計層厚は、先端部で最大180cm程度で、いずれも斜面上方に向け薄くなり、斜面の中ほどまでの間で尖滅する。これらのほとんどは弥生時代以降に堆積した土層であるとみられる。

平坦面部のII層に相当する土層は、厚さ10～20cm、最大30cm程度の黒色（7.5Y R 2 / 1）土層で、粒径数mm～2 cm程度の浮石がかなり多く混入するほか、十和田b 降下火山灰層相当の堅い灰白色浮石（粒径数mm）が散らばっている。

平坦面部のIII層に相当する土層は2層に大別される。上部は厚さ25～65cmの黒色土（7.5Y R 2 / 1）層と、その下の厚さ10～30cmで若干の土器片を含む同色土層とで構成され、粒径数mm～2 cmの浮石を多量に含んでいる。両層の間には一部分に極暗赤褐色（5Y R 2 / 3）土層がレンズ状に挟まれる。下部は大量の土器が出土する土層で、上から下へ、浮石が散らばる黒褐色（10Y R 2 / 2）土層（厚さ20～30cm）、極めて多量の浮石と多量の炭化物を含む黒褐色（10Y R 2 / 3）土層（厚さ20～30cm）、浮石と炭化物とを多量に含んでいる黒褐色（7.5Y R 2 / 2）土層（厚さ15～35cm）、中掬浮石起源の砂粒大浮石や炭化物がかなり多く含まれるほか普通の浮石も多い黒褐色（7.5Y R 3 / 2）土層（厚さ10～25cm）の順で重なっている。中でも最下部層には、折り重なるように大量の土器が密集し、哺乳動物の骨を多量に含む。下部層の合計層厚は120cm前後、含まれる浮石の粒径は中掬浮石起源の浮石粒を除けば数mm～数cmで、南部浮石層に由来するものが大部分である。

平坦部のIV層に相当する部分は厚さが20～30cmで、色調が上から下へ灰黄褐色（10Y R 4 / 2）から明褐色（5Y R 7 / 1）へと漸移する中掬浮石層である。中掬浮石層の直下には、傾斜部上半で中掬浮石起源の浮石砂が混合した、厚さ4～15cmの黒褐色（10Y R 2 / 2）土層が付属する。中掬浮石層の下底付近には、薄い暗色帯（厚さ1 cm前後）が挟まれている。暗色帯は、中掬浮石層の浮石砂が密集している部分で、砂粒の間隙を黒色土が充填し、上下の境界面は明瞭で平滑な面となっている。これは、大地震か、豪雨、あるいはそれらの同時発生で、

中掬浮石層下底と直下の土層の不連続面を滑り面として生じた地滑りによる一種の断層破碎帯とみられる。このような例は、八戸市の牛ヶ沢遺跡など、八戸市域やその周辺のいくつかの遺跡でも観察されている。

平坦部のV層に相当する部分は、上部層、中部層、下部層の3層に分けられる。上部層は、厚さ15～35cmの黒色（7.5 Y R 1.7 / 1）土層で、浮石を多量に含んでいる。中部層は、下部層を欠く部分での厚さは25～65cm、下部層の厚い部分で10～20cmで、極めて多量の浮石を含んでいる。下部層は、下位層（南部浮石層）から漸移する、厚さ最大40cmの暗褐色（7.5 Y R 3 / 3）土層で、一層多量の浮石を含んだ粘土質土層である。これら3層に含まれる浮石は、普通粒径数mm～2cm、最大粒径5cm前後で、南部浮石層に由来する。

平坦部のVI層に相当する部分は、厚さ15～40cmの南部浮石層である。色調は上から下へ、橙色（2.5 Y R 7 / 6）～淡赤橙色（2.5 Y R 7 / 3）ないし灰白色（7.5 Y R 8 / 2）へと漸移する。一部に水底堆積を思わせる薄層理が見られる部分があるが、全体としては産状、構成碎屑物（浮石や岩片）などの特徴は平坦部とほとんど変わらない。

平坦面から斜面に遷移する部分には、段丘の本体を構成する火山灰流凝灰岩（シラス）とその二次堆積物が削剥されて形成された段丘崖が埋没している。埋没段丘崖の平均傾斜は、45～50°にもなる。この部分に懸かる南部浮石とその上の土層群の平均傾斜は、20～30°となっているので、この部分に関する限り、南部浮石降下時期までは、しばらくの期間腐植土の形成はほとんど進まなかったとみられる。

埋没段丘崖に懸かる火山灰流凝灰岩起源の二次堆積物は、褐色（10 Y R 4 / 6）～明黄褐色（10 Y R 7 / 6）の砂層で、上部に粒径数mm～2cmの浮石がかなり多く含まれ、下方に少なくなつて火山灰流凝灰岩に漸移する。

火山灰流凝灰岩は、大部分がにぶい黄橙色（10 Y R 7 / 3）～灰白色（10 Y R 8 / 2）を呈する。砂～シルトサイズの火山灰で構成され、粒径数mm～数cmの同色浮石がまばらに含まれている。また、随所に直径数～十数cmの太さの植物樹幹ないしは枝の天然木炭を含んでいて、その一部が¹⁴C年代測定の試料に供された。

第3章 調査の方法

第1節 調査の方法

1 調査区の設定

畑内遺跡の発掘調査は、遺跡のなかで広い平場を有し、かつ最も標高が高く遺構・遺物が集中している可能性が考えられた遺跡の北側から進めることとした。一方、畑内遺跡は6万平方メートルにのぼる広大な面積を有する遺跡であり、南側では一部遺跡の範囲が不明確なところもみられたので、発掘調査と並行して遺跡の範囲確認のための試掘調査も併せて実施する予定であった。そこで、遺跡全体を総合的に把握するため、遺跡に20m単位でメッシュをかけて区割りすることとした。なお、遺跡の範囲が広範囲にわたることと、遺跡の北端と南端で調査を並行して進めることも想定されたので20mごとの基準杭を打つこと、及び基準点・水準点測量は測量会社に委託して行うことにした。

調査区の設定は座標北を基準に、4×4mを1単位とし、東西方向をアルファベット2文字で東から西へA A、A B、A Cというように、また、南北方向を北から南へ算用数字で表し、両者の組合せ（北西隅）で呼称した。

2 発掘調査

- 1) グリッド単位で発掘区を拡張する方法を採った。
- 2) 粗掘りは、層位・段階的に進め、遺構・遺物を確認してから、下層の掘り下げについて判断した。
- 3) 試掘的に先行して部分的に粗掘りを進め、遺物の出土のみられない地域は一部重機も併用して粗掘りを行った。
- 4) 土層観察は、各地点ごとに南北方向と東西方向にそれぞれ土層観察用のベルトを設定した。

3 実測図の作成

- 1) 遺構については、4分法・2分法によって土層観察用のベルトを設定し、精査した。
- 2) 遺構の実測図（平面図・断面図）は、住居跡・土坑は縮尺1/20、屋内炉・屋外炉は縮尺1/10を原則として作成した。

- 3) 遺構内出土遺物については、遺構の実測図と同縮尺を原則とし、必要に応じて分布図・断面図等を作成した。
- 4) 遺構外出土遺物については、復元可能土器及び口縁部大破片はレベル・ポイントを記録し、他は原則として各層ごとに各グリッド単位で一括して取り上げた。
- 5) 調査区の基本土層については、必要に応じて縮尺1/20の実測図を作成した。

4 写真撮影

- 1) 遺構については、確認状況・土層断面・遺物出土状態・完掘状況等を中心に撮影した。
- 2) その他必要に応じて、基本土層、遺跡の状況、調査状況についても記録した。
- 3) 使用カメラは35ミリ小型カメラで、フィルムはモノクロ・カラーリバーサル（スライド）を主に使用した。

(木村)

第2節 調査の経過

平成4年5月6日に調査機材搬入・プレハブ設置を行った。調査対象地区は数年前まで畑地であったものであるが、雑草が茂っており、草刈から調査は始まった。20mごとのグリッドの基準杭は、委託作業によって既に打たれていたもので、それを基にして4mごとのグリッド設定、粗掘りと作業は進められていった。

粗掘りは調査対象地域の東側より開始し、順次西側へと進めていった。表土である黒土が所々大きく土取りされている部分が各所でみられ、それらの地域では円筒土器の破片が散在していた。粗掘りを進めるにつれ、竪穴住居跡・土坑等が姿を現し、縄文時代前期の集落の様相を示していた。CA-4から南東方向にかけて約800平方メートルの縄文時代前期の円筒下層式土器の捨て場（東捨て場と呼称）が検出され、多量の土器が出土した。

7月頃になると次第に対象地域の西側に発掘調査も移っていったが、AZからBJにかけての北斜面のBE-4～8にかけてトレンチを入れたところ多量の円筒下層式土器が出土し、前期の捨て場であることが判明した（西捨て場と呼称）。

この捨て場は、面積が900平方メートルで多量の土器とともに獣骨・魚骨等が出土したことで注目された。獣骨にはイノシシ・シカ・ウサギ・ムササビ・クマがあり、魚骨にはマグロ・タイ・ヒラメ・スズキ・サケ・サメ等がみられた。

また、縄文時代前期の遺構だけでなく弥生時代前期の砂沢式の竪穴住居跡も検出された。

遺跡南方の試掘調査では、対象地域が約2万平方メートルのうち1,800平方メートルを一部重機を併用し試掘調査し、その結果遺跡の面積が66,000平方メートルとなった。

当初の予定では、10月29日までであったが、多くの遺構の検出、多量の遺物の出土のため11月13日まで調査期間を延長して現地調査を終了した。

(木村)

第4章 調査の概要

第1節 平成4年度検出遺構と遺物

1 竪穴住居跡

第1号住居跡 (第7・8・25～28・50・52・54・57・59・60・64・65図)

〈位置〉 BW・BX-8・9グリッドに位置する。

〈確認〉 黒色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第2号・4号・5号・10号・14号・20号・21号各土坑及び第6号住居跡と重複している。第2号土坑の覆土上部に石囲炉が構築されていることから本住居跡が第2号土坑より新しく第4号土坑が本住居跡を切っているので第4号土坑が本住居跡より新しいものである。住居跡の床面での土坑の確認なので、第5号・10号・14号・20号・21号の各土坑のいずれよりも本住居跡が新しいと思われる。第6号住居跡とは新旧関係は不明である。

〈規模〉 東西7.10m×南北6.60m、深さ60cm。

〈平面形〉 かなり不整な形、どちらかというところ楕円形に近い。

〈覆土〉 5層に区分された。自然堆積と思われる。

〈壁〉 深さ60cm、床からなだらかに立ち上がる壁である。

〈床〉 中央部が最も低くなっており、緩やかな椀状を呈している。

〈炉〉 床面中央部に直径30cm程の石囲炉がみられた。石囲の内部には深鉢の胴部が埋設されており、さらにその中には礫が入っていた。また、石囲炉に隣接して深鉢胴部が埋設されていた。この土器は大きな礫の上に置かれ、中にも礫が入れられていた。また、第2号土坑の内部にも、本住居跡の床面から35cm下のところに石囲炉が形成されていた。

〈柱穴〉

Pit 1－深さ70.0cm Pit 2－深さ69.3cm Pit 3－深さ63.5cm Pit 4－深さ70.5cm Pit 5－深さ98.4cm Pit 6－深さ21.2cm Pit 7－深さ57.4cm Pit 8－深さ57.1cm Pit 9－深さ33.2cm Pit 10－深さ30.9cm Pit 11－深さ58.1cm Pit 12－深さ47.0cm Pit 13－深さ53.9cm Pit 14－深さ62.5cm Pit 15－深さ50.8cm Pit 16－深さ52.4cm Pit 17－深さ20.9cm

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 本住居跡から多くの遺物が出土している。22の土器は床面に埋設されていた土器で

あるが、ほとんどは覆土からの出土である。口頸部の文様は、単軸絡条体第6 A類(1)、原体押圧(4・13・14)、原体押圧に貼付のあるもの(21・23～27)、結束第1種(6)もみられる。胴部は単軸絡条体第6類(1)、単軸絡条体第1 A類(4)、結束第1種(6)、多軸絡条体(13)、斜行縄文と結節回転(14・15・21・23)等がある。

石器は、石鏃8点(第50図)、石匕4点(第52図)、不定形石器5点(54図)、磨製石斧2点(57図)、半円状扁平打製石器10点(第59・60図)、凹石3点(第64・65図)、敲石2点(第64図)、磨石7点(第64・65図)がある。

〈小結〉 本住居跡は、住居廃絶後の窪地の段階で捨て場(東捨て場)が形成されていったため、覆土から多くの土器・石器が出土した。これらの土器は円筒下層d1・d2式を主体とする土器である。床面からの明確な時期を決定する土器はみられなかったが、住居の営まれた時期は縄文時代前期末頃のものであろう。

第2号住居跡(第9・29・52・54・65図)

〈位置〉 BZ-11グリッドに位置する。

〈確認〉 暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 東西2.40m×南北3.10m、深さ40cm。

〈平面形〉 やや不整で少し南北方向に長い隅丸長方形。

〈覆土〉 5層に区分された。自然堆積と思われる。

〈壁〉 床から外傾して立ち上がる。傾斜は幾分急である。

〈床〉 ほぼ平坦である。

〈炉〉 なし。

〈柱穴〉 壁沿いに検出された。いずれも壁溝内である。合計12本であるが、東壁と西壁では50～60cm間隔で配列されている。

〈施設〉 壁溝が全周している。

〈遺物〉 出土土器の中でP1・2・3は復元個体で、P1・2は口縁の結節回転が特徴的である。P1は床面出土、他は覆土出土である。石器は石匕1点(第52図)、不定形石器4点(第54図)、磨石1点(第65図)等があるが、いずれも覆土からの出土である。

〈小結〉 本住居跡はP1・2・3の土器が円筒下層a式と思われるので、本住居跡の時期も縄文時代前期中頃の円筒下層a式の頃と思われる。

第3号住居跡（第10・30・50・54・60・66図）

- 〈位置〉 CE・CD-2・3グリッドに位置する。
- 〈確認〉 暗褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 第5号住居跡と重複している。セクション図から見ると本住居跡が第5号住居跡を切って構築された可能性が強い。
- 〈規模〉 東西4.00m、深さ50cm。
- 〈平面形〉 全体の半分程しか把握されていないが、おおよそ円形を呈するものと思われる。
- 〈覆土〉 第5号住居跡とで6層に区分されたが、堆積状況は不明である。
- 〈壁〉 検出された壁は、山側（東側）の半分のみである。外傾して立ち上がる。
- 〈床〉 床面の大半を第5号住居跡と重複しているが、かなり凹凸がみられる。
- 〈炉〉 検出されなかった。
- 〈柱穴〉 なし。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 本住居跡出土の土器片は1片のみで、他は本住居跡と第5号住居跡の区別のできない一括のものである。いずれも縄文時代前期の円筒下層式の破片である。
石器は、石鏃1点（第50図）、不定形石器1点（第54図）、半円状扁平打製石器2点（第60図）、磨石3点（第66図）が出土している。いずれも覆土からで本住居跡か第5号住居跡に所属するのか不明である。本住居跡出土が明確なものは凹石1点（第65図）のみである。
- 〈小結〉 出土遺物から縄文時代前期後半に構築されたものと思われる。

第4号住居跡（第11図）

- 〈位置〉 BS-11・12グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 第12号土坑と重複している。
- 〈規模〉 東西2.57m×南北2.91m、深さ38cm。
- 〈平面形〉 円形を呈する。
- 〈覆土〉 第12号土坑とで4層に区分されたが、明確な堆積状況は不明である。
- 〈壁〉 壁は全体に垂直に近い立ち上がりを示す。
- 〈床〉 中央部に第12号土坑がみられるため、床の状態は不明。
- 〈炉〉 確認できなかった。
- 〈柱穴〉 柱穴はみられない。
- 〈施設〉 なし。

〈遺物〉 なし。

〈小結〉 第12号土坑と重複しているが、セクション観察からは両者の新旧関係は把握できなかった。出土遺物等もなく構築時期は不明である。

第5号住居跡（第10・30・60・66・72図）

〈位置〉 C D・C E-2・3グリッドに位置する。

〈確認〉 第3号住居跡を調査中にさらに黒褐色の落ち込みがあり住居跡を確認した。

〈重複〉 第3号住居跡と重複している。本住居跡覆土内に第3号住居跡の明らかな床面の延長が確認されたことから、本住居跡が古く、第3号住居跡が新しいものである。

〈規模〉 不明。深さ30cm。

〈平面形〉 半分程しか確認されていないが、おおよそ円形を呈するものと思われる。

〈覆土〉 第3号住居跡とで6層に区分されたが、堆積状況は不明である。

〈壁〉 第3号住居跡の中に30cmの壁がみられた。

〈床〉 おおよそ平坦である。

〈炉〉 検出されず。

〈柱穴〉 検出されず。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 第3号住居跡との一括で取り上げられたものである。内容は第3号住居跡遺物の項と同じである。その他に、半円状扁平打製石器1点（第60図）、磨石1点（第66図）、台石1点（第72図）が床面から出土している。

〈小結〉 出土遺物から、縄文時代前期後半の所産であろう。

第6号住居跡（第12・13・30～36・50・52・53・55・61～68図）

〈位置〉 B Y・B Z-9・10グリッドに位置する。

〈確認〉 黒褐色土及び暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 北西部で第1号住居跡と重複しているが、第1号住居跡の調査中に本住居跡と重複していることが判明したもので、新旧関係は不明である。また、床面まで掘り進んだ段階で壁溝がいくつかみられた。最初にプランを確認し調査した最も大きな住居跡を第6a号住居跡とし、第6a号住居跡の北西側の壁溝を第6b号住居跡、南東側を第6c号住居跡とすると、第6b・6c号住居跡はいずれも第6a号住居跡の床面上での確認であるため、第6a号住居跡が第6b・6cよりいずれも新しいものと思われる。

〈規模〉 長軸6.70m×短軸5.40m、深さ55cm。

〈平面形〉 北西から南東に長い楕円形、南東部の張り出しは第6c号住居跡によるものである。

〈覆土〉 6層に区分された。覆土に土器が大量に含まれていることから自然堆積というよりは人為堆積と思われる。この大量の土器は窪地になっている段階で捨て場として投げ込まれて堆積したものであろう。

〈壁〉 壁の深さは55cmで、立ち上がりは急傾斜で垂直に近いものである。

〈床〉 おおよそ平坦である。

〈炉〉 床面の中央部で100×50cmの楕円形の範囲に焼土がみられた。中央に深鉢土器の下半部が埋設されており、土器埋設炉である。掘り方は床面から40～50cm掘り下げ中央部に設置したものである。

〈柱穴〉 ピットは56個検出された。第6b・6c号住居跡に伴うものも想定されるが、多くは第6a号住居跡に所属するものと思われる。配列状況及び深さ等から Pit 1・2・3・4・5・6・7が主柱穴となるものと思われる。Pit 6と7は極めて近接しているが、対応する位置にある Pit も二つのピットの重複しているような状況なので、互に対応するものと思われる。ピットの建て替的なことがあった可能性がある。

壁際、壁溝内のピットは壁柱穴となるものであろう。Pit 22・24・25・28・46・47は第6b号住居跡に伴う可能性が強い。

Pit 1－深さ64cm Pit 2－深さ66cm Pit 3－深さ71cm Pit 4－深さ68cm Pit 5－深さ63cm Pit 6－深さ58cm Pit 7－深さ73cm Pit 8－深さ34cm Pit 9－深さ30cm Pit 10－深さ44cm Pit 11－深さ47cm Pit 12－深さ33cm Pit 13－深さ29cm Pit 14－深さ34cm Pit 15－深さ41cm Pit 16－深さ14cm Pit 17－深さ16cm Pit 18－深さ37cm Pit 19－深さ14cm Pit 20－深さ21cm Pit 21－深さ11cm Pit 22－深さ17cm Pit 23－深さ41cm Pit 24－深さ19cm Pit 25－深さ22cm Pit 26－深さ11cm Pit 27－深さ42cm Pit 28－深さ38cm Pit 29－深さ37cm Pit 30－深さ16cm Pit 31－深さ28cm Pit 32－深さ21cm Pit 33－深さ23cm Pit 34－深さ27cm Pit 35－深さ30cm Pit 36－深さ27cm Pit 37－深さ17cm Pit 38－深さ34cm Pit 39－深さ34cm Pit 40－深さ25cm Pit 41－深さ33cm Pit 42－深さ28cm Pit 43－深さ25cm Pit 44－深さ12cm Pit 45－深さ32cm Pit 46－深さ41cm Pit 47－深さ36cm Pit 48－深さ42cm Pit 49－深さ49cm Pit 50－深さ37cm Pit 51－深さ24cm Pit 52－深さ34cm Pit 53－深さ22cm Pit 54－深さ61cm Pit 55－深さ38cm Pit 56－深さ23cm

〈施設〉 北東及び南東壁沿いに幅10～15cm。深さ20cm前後の壁溝が巡っている。反対側の南西壁に壁溝はみられない。床面中央部にみられる周溝はそれぞれ第6b・6c号住居跡の壁溝であらう。

〈遺物〉 覆土から大量の遺物が出土している。土器では単軸絡条体第1 A類（木目状燃糸文）を施されたものが多く（1・2・11・13・15・17・21・23・24・29）、次いで羽状縄文が多くみられる（5・6・7・10・12・14・16）。羽状の施文方向は横位が多く、縦位も少ないがみられる。また、結束第1種がほとんどであるが、第2種も（6）わずかにある。結束第1種であるが同種の原体（LRとLR）によるものも（18）ある。口頸部文様は、原体押圧が多く貼付もみられる（4・6・7・14・17・20・23・25・28）。床面出土は4・7・8・12・16・18・19・23・25・28であるが、そのうち復元個体及び大破片のものは4・7・8・12・23である。29は炉に埋設された土器である。

石器は、石鏃8点（第50図）、石匕1点（第52図）、石筥2点（第53図）、不定形石器5点（第55図）、半円状扁平打製石器8点（第61図）、凹石5点（第66・67図）、敲石3点（第67図）、磨製石斧4点（第67・68図）が出土している。

〈小結〉 本号住居跡は、当初1軒の住居跡が北西の端部で、第1号住居跡と重複しているものと考えていた。覆土中から大量の遺物の出土がみられたが、これは重複している第1号住居跡と同様に、上部に東捨て場が形成されていることから、住居跡の廃絶後の窪地になっている状態に捨てられたものである。本住居跡は、縄文時代前期後半頃のものと思われる。

第7号住居跡（第14・37・50・55・68図）

〈位置〉 BG・BH・BI-11・12グリッドに位置する。

〈確認〉 黒色土及び黒褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第80号土坑・第84号土坑と重複している。いずれも本住居跡より両土坑の方が古いものである。

〈規模〉 東西6.62m×南北7.20m、深さ30cm。

〈平面形〉 円形を呈する。

〈覆土〉 3層に区分された。浅いため明確ではないが自然堆積の可能性が強いように思われた。

〈壁〉 壁の深さは深いところで30cmである。壁は住居跡の東半部では検出されたが、西半部では削平されてみられず、プランの範囲は壁溝によるものである。

〈床〉 幾分凹凸がみられる。

〈炉〉 床面中央部に石組みの一部が残存しており、径90cm程のやや規模の大きな石囲炉と思われる。なお、掘り方が径100cmの円形と120cmの不整形な円形が重なっている。断面図では石組みの内外にも焼土がみられ、炉が改築された可能性が強いことを示している。

〈柱穴〉 深さが20cm以上のピットは32個みられた。位置・深さ等で支柱穴と思われるものは、

Pit 2・6・23の3個で、位置的に想定されるもう1つの柱穴は第80号土坑との重複の部分で確認できなかったものと思われる。

Pit 1－深さ43.9cm Pit 2－深さ51.2cm Pit 3－深さ38.7cm Pit 4－深さ43.9cm Pit 5－深さ42.3cm Pit 6－深さ58.8cm Pit 7－深さ40.8cm Pit 8－深さ30.7cm Pit 9－深さ29.4cm Pit 10－深さ43.4cm Pit 11－深さ34.8cm Pit 12－深さ38.5cm Pit 13－深さ70.8cm Pit 14－深さ67.0cm Pit 15－深さ21.6cm Pit 16－深さ55.5cm Pit 17－深さ41.2cm Pit 18－深さ59.3cm Pit 19－深さ46.5cm Pit 20－深さ30.1cm Pit 21－深さ48.4cm Pit 22－深さ27.9cm Pit 23－深さ51.1cm Pit 24－深さ36.7cm Pit 25－深さ28.2cm Pit 26－深さ26.4cm Pit 27－深さ22.5cm Pit 28－深さ21.6cm Pit 29－深さ50.9cm Pit 30－深さ20.8cm Pit 31－深さ40.2cm Pit 32－深さ29.3cm

〈施設〉 幅15～25cm深さ10cmの壁溝がほぼ全周している。また、Pit 1・13・14・16は規模等から貯蔵穴の可能性がある。

〈遺物〉 P 1と9は変形工字文の浅鉢である。4は無文に胴上部に3条の沈線が巡る。5は口縁が無文で胴部が斜縄文である。10は土師器の甕胴部の可能性がある。石器は、石鎌1点（第50図）、不定形石器3点（第55図）、凹石2点（第68図）が出土している。

〈小結〉 本住居跡はプランが円形を呈し、炉は石囲炉で、直径7mとかなり規模の大きな竪穴住居跡である。時期は出土土器から砂沢期のものと思われる。

第8号住居跡（第15・37～38・50～55・57図）

〈位置〉 B J・B K－8・9グリッドに位置する。

〈確認〉 黒色土・黒褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第132号土坑・第133号土坑と重複している。第132号土坑・第133号土坑はともに縄文時代前期のフラスコ状ピットであり、本住居跡が両土坑を切って構築している。

〈規模〉 東西7.65m×南北7.15m、深さ15cm。

〈平面形〉 やや東西に長い楕円形。北東では壁溝が1列であるが北西から2列になり南西から東までは3列になって検出された。このことからして本住居跡は建て替えがなされたものと思われる。また、平成5年度の調査で、第17号住居跡及び第153号土坑とも重複していることが判明した。本住居跡がどちらよりも新しいものである。

〈覆土〉 12層に区分されたが削平のため覆土が浅く人為的かあるいは自然的な堆積かは不明である。

〈壁〉 削平がかなり進んでおり、壁が検出されたのは南側の半分ほどである。深さは約15cmである。

〈床〉 幾分凹凸がみられるが、おおよそ平坦である。

〈炉〉 床面の中央部に石囲炉がみられた。径1 m程の比較的規模の大きなものである。設置されていた石は北側が半分ほどみられなかった。後世の削平によるものである。

〈柱穴〉 ピットは22個検出されているが主柱穴は Pit 1・4・7・12の4個と思われる。

Pit 1-79.1cm Pit 2-47.3cm Pit 3-28.6cm Pit 4-64.2cm Pit 5-77.0cm Pit 6-20.9cm Pit 7-59.5cm Pit 8-21.3cm Pit 9-24.6cm Pit 10-29.6cm Pit 11-23.7cm Pit 12-79.0cm Pit 13-29.4cm Pit 14-31.3cm Pit 15-24.4cm Pit 16-15.5cm Pit 17-54.5cm Pit 18-41.0cm Pit 19-31.2cm Pit 20-30.8cm Pit 21-22.0cm

〈施設〉 南側の壁に直交して長さ70cm幅20cmの細長いピットが2個平行してあり、そのピットの間は幅60cm程であった。これは出入口と思われる。ただ、この出入口状の施設は、1列目の壁溝を切り、2列目・3列目の壁溝を途切るような形でみられるので、1回目及び2回目の拡張時に設けられたものと思われる。或いは Pit 20・21が最初の段階の出入口としての可能性が考えられる。

〈遺物〉 土器は、変形工字文の土器（P 7・11）、無文で胴部に沈線の施された土器があるが、縄文のみの土器も多い。

石器は石鏃1点（第50図）、不定形石器1点（第55図）、磨製石斧1点（第57図）が覆土から出土している。

〈小結〉 本住居跡は、出土土器から構築の時期は砂沢期のものと思われる。無文の壺或いは P 5 はいわゆる遠賀川系の土器かと思われる。

第9号住居跡（第16・39・40・50・51・55・68・69・72・73図）

〈位置〉 BM・BN-13・14グリッドに位置する。

〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 フラスコ状ピットの第127号土坑と重複している。第127号土坑の方が古い。また、平成5年度の調査でフラスコ状ピットの第236号土坑とも重複していることが判明した。第236号土坑の方が古い。壁溝が全周しているが、北側で二重になっている部分があり、拡張の可能性はある。

〈規模〉 東西7.60m×南北7.55m、深さ20cm。

〈平面形〉 ほぼ円形である。

〈覆土〉 削平によって極めて浅く4層に区分されたが、堆積状況は不明である。

〈壁〉 西側で削平によって一部壁がみられない部分もある。壁は深いところで20cmと低いものである。

〈床〉 全体にほぼ平坦である。

〈炉〉 床面中央部に径約1mの石囲炉である。炉の南側の部分は削平によって炉石がなくなっていた。炉の中央に土器が小型の鉢形土器が埋設されており、土器埋設石囲炉である。

〈柱穴〉 深さ、位置等から Pit 2・3・4・5 の4個が主柱穴となろう。

Pit 1－深さ37.1cm Pit 2－深さ54.5cm Pit 3－深さ74.8cm Pit 4－深さ43.9cm Pit 5－深さ53.8cm Pit 6－深さ90.2cm Pit 7－深さ60.3cm Pit 8－深さ43.8cm Pit 9－深さ49.2cm Pit 10－深さ48.1cm Pit 11－深さ49.8cm Pit 12－深さ27.6cm Pit 13－深さ23.2cm Pit 14－深さ31.5cm Pit 15－深さ45.0cm Pit 16－深さ24.3cm Pit 17－深さ22.9cm Pit 18－深さ28.4cm Pit 19－深さ29.2cm

〈施設〉 Pit 1は径1m深さ37cmで貯蔵穴と思われる。幅15～20cm深さ10cmの壁溝が全周する。また、壁溝は北から東側にかけて二重になっている。

〈遺物〉 出土土器は、変形工字文が多くみられ（1、2、3、10、13）、1と3は床面出土である。9は覆土出土からの出土で連弧文が特徴的である。また、覆土からは24のような続縄文土器と思われる破片も出土している。5は炉埋設の土器である。石器は、石鏃4点（第50・51図）、不定形石器1点（第55図）、凹石2点（第68図）、敲磨器2点（第69図）、台石2点（第72・73図）が出土している。

〈小結〉 本住居跡は、建て替えが1回されたもので、出土遺物から住居跡の時期は砂沢式期のものと考えられる。

第10号住居跡（第17・18・40～45・50・56・57・62・69図）

〈位置〉 BO・BP-6グリッドに位置する。

〈確認〉 暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 東西3.70m×南北4.74m、深さ20cm。

〈平面形〉 隅丸長方形である。

〈覆土〉 削平のため覆土が浅くなっており、2層に区分されたが、堆積状況は不明である。

〈壁〉 検出された壁は、深さ20cmでかなり浅いものである。

〈床〉 幾分凹凸がある。

〈炉〉 床面中央に炉がある。径30cm前後の規模で小規模な石囲炉となっている。中に深鉢の胴部が埋設されており、さらにその内部に、炉上面から深さ10cmのところ偏平な石が置かれていた。

〈施設〉 壁溝が断続的に巡っている。

〈遺物〉 土器がかなり多量に出土しているが、多くは覆土からの出土である。廃絶後の窪地になっている段階で投げ込まれたものと思われる。P-13は炉に埋設された土器である。石器は石鏃1点（第50図）、不定形石器1点（第56図）、磨製石斧2点（第57図）、半円状扁平打製石器2点（第62図）、敲磨器3点（第69図）が出土した。

〈小結〉 炉埋設土器から本住居跡は、円筒下層d2式期の縄文時代前期末頃の構築になるもので、プランが隅丸長方形をなし、住居廃絶後に覆土に遺物が廃棄されていったものと思われる。

第11号住居跡（第19・20・46・47・51・53・56・58・62・63・70図）

〈位置〉 BM・BN-5・6グリッドに位置する。

〈確認〉 暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 本住居は調査を進めていった結果、壁溝の重なり具合から3回の拡張あるいは重複が考えられた。北から第11a号住居跡、第11b号住居跡、第11c号住居跡と呼称することとした。これらは、炉の埋設土器等から第11a号・第11b号・第11c号各住居跡の順序で変遷していったものと考えられる。また、第11a号住居跡は床面中央で第117号土坑と切り合っており、第11c号住居跡は第118号土坑・第119号土坑との重複がみられた。第117号土坑の覆土中に第11号住居跡の土器埋設炉が構築されていることから、第11号住居跡が第117号土坑より新しいのは明確であり、他の土坑も住居跡の床面段階での把握であるので住居跡の方が新しいものと思われる。

〈規模〉 第11a号住居跡は、東西4.20m×南北4.50m。他は不明。

〈平面形〉 第11a号住居跡はほぼ円形である。第11b号住居跡は、南北に長い楕円形。第11c号住居跡は、南側しか検出されていないので明らかではないが、北側が第11a・b号住居跡と同じ壁溝とすると長径6.5mのかなり南北に長い楕円形となる可能性がある。

〈覆土〉 覆土は3層に区分されたが、削平がかなりなされており、ほとんどが第1層のみである。堆積状況は人為的なものか自然的なものかは不明である。

〈壁〉 壁は東側の部分でしか認められない。確認された壁も深さ15cm程度といったところである。

〈床〉 おおよそ平坦であるが、南から北にかけて緩やかに傾斜する。

〈炉〉 第11a号住居跡床面のほぼ中央に第117号土坑があるが、その覆土のP-3・7・8が炉の埋設土器と思われる。そのプランと土器の位置からP-7が第11a号住居跡に、P-8が第11b号住居跡に、P-3が第11c号住居跡の炉にそれぞれ対応するものと思われる。

〈柱穴〉 ピットは多くみられるが明確に柱穴とできるものは確認できなかった。

〈施設〉 幅10～20cm深さ5～10cm程の壁溝が断続的に存在する。第11b・c号住居跡の壁溝は西側では不明となっている。

〈遺物〉 P-2はほぼ床面に近く出土したもので、口頸部に縄文原体の押圧と、胴部に結節回転と斜行縄文が施文されている。炉の土器はいずれも第117号土坑の出土土器の項に掲載している。出土した石器は、石鏃2点（第51図）、石錐1点（第52図）、石篋1点（第53図）、不定形石器2点（第56図）、磨製石斧4点（第57・58図）、半円状扁平打製石器6点（第62・63図）、敲磨器4点（第70図）である。

〈小結〉 本住居跡は、3軒の住居跡の重複であるが、プランからみれば北側は斜面になって下がっていくので、南側への拡張した住居跡とも考えられる。炉は、いずれも土器埋設炉であるが、偶然に第117号土坑の覆土中に埋設されたものである。

第12号住居跡（第19・20・48・56図）

〈位置〉 BM-5・6グリッドに位置する。

〈確認〉 暗褐色土の落ち込みとして確認したが、明確な範囲は捉えられなかった。

〈重複〉 本住居跡中央部で第76号土坑と重複している。第76号土坑に上面に床面が形成されていることから本住居跡が第76号土坑より新しいものである。

〈規模〉 不明。

〈平面形〉 範囲が明確でないため、平面形は不明である。

〈覆土〉 検出した段階で既に床面近くで1層のみである。

〈壁〉 壁は立ち上がりが削平されてしまっており確認できなかった。

〈床〉 地形が南から北に下る緩やかな傾斜面に位置するためか、南から北にゆるやかに傾斜している。

〈炉〉 径30cmの小規模な石囲炉の内部に、径20cm、深さ25cm前後の掘り方掘り、中に深鉢土器の胴部を埋設した、土器埋設石囲炉である。また、土器の中には火床面から10cm下のところに扁平な石を置き、さらにその下に土器の破片を敷いていた。

〈柱穴〉 ピットの数はかなりみられたが、柱穴といえるものは不明である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 出土遺物でP-1の土器は炉の埋設土器である。口頸部と底部がなく、胴部のみで複節縄文が施文されている。石器は不定形石器1点（第56図）のみである。

〈小結〉 本住居跡は削平がかなり受けたもので、床面と炉だけを検出したものである。構築時期としては縄文時代前期後半頃と思われる。

第13号住居跡（第21・48・70図）

- 〈位置〉 B Y・B Z－6・7グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒色土及び黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 東西3.55m×南北3.30m、深さ50cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 5層に区分された。自然堆積か人為堆積かは不明。
- 〈壁〉 最も壁の深いところで約50cmと、かなり深く、壁は傾斜がやや緩やかに外傾するものである。
- 〈床〉 平坦で壁際が丸味を帯び、緩やかに立ち上がる。
- 〈炉〉 なし。
- 〈柱穴〉 ピットは床面中央部に2本みられた。柱穴になるものと思われる。
Pit 1－深さ28.5cm Pit 2－深さ63.3cm
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 出土土器で底部のあるものは、いずれも尖底深鉢で上半部が欠失している。底面からの出土である。石器は敲磨器が1点出土（第70図）。
- 〈小結〉 本住居跡は、畑内遺跡の中で唯一尖底土器を出土した住居跡である。この尖底土器は、縄文時代早期に属するものではなく、前期初頭期のものと思われるので、住居跡の構築もその頃と思われる。

第14号住居跡（第22・49・51・56・58・63・73図）

- 〈位置〉 B F－8グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒色土及び黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 第23図のプランには掲載していないが、本住居跡は平成5年度調査の第189号土坑と重複していることが後で判明した。第189号土坑が古く、本住居跡が新しいものである。
- 〈規模〉 長径3.70m×短径3.00m、深さ30cm。
- 〈平面形〉 北東・南東方向に長い楕円形を呈する。
- 〈覆土〉 4層に区分された。自然堆積と思われる。
- 〈壁〉 壁の深さは30cmで、垂直に近い立ち上がりを示している。
- 〈床〉 やや凹凸がみられる。
- 〈炉〉 床面の中央からやや南西よりに径60cmの焼土範囲がみられた。地床炉と思われる。
- 〈柱穴〉 ピットが何本かみられるが、明瞭な柱穴は認められない。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 覆土から縄文土器片が出土している。いずれも円筒下層式の破片である。石器では、石槍 2 点（第51図）、不定形石器 1 点（第56図）、磨製石斧 1 点（第58図）、半円状扁平打製石器 3 点（第63図）、台石 2 点（第73図）が出土している。

〈小結〉 本住居跡は、出土土器から明確に決定できないが、縄文時代前期後半の所産であろう。

第15号住居跡（第23・49・51・56図）

〈位置〉 B F・B G－8・9 グリッドに位置する。

〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第123・第124号土坑と重複している。削平がかなりなされており新旧関係は把握できなかった。

〈規模〉 不明。

〈平面形〉 削平がかなりなされており、壁の検出が部分的なため、平面形は不明。

〈覆土〉 削平により極めて浅く 8 層に区分されたが、堆積状況は不明である。

〈壁〉 検出された壁は深さ10cm程である。

〈床〉 ほぼ平坦である。

〈炉〉 床面のおおよそ中央に径 1 m の範囲の焼土がみられた。地床炉である。

〈柱穴〉 ピットはいくつかみられるが、明瞭な柱穴は確認できなかった。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 覆土から第49図の土器片が出土している。いずれも縄文時代前期の円筒下層式土器である。石器は石鏃 2 点（第51図）、不定形石器 1 点（第56図）である。

〈小結〉 削平がかなりなされていた地域であったため、平面形は把握できなかった。出土遺物から縄文時代前期後半の構築になるものであろう。

第16号住居跡（第24・49図）

〈位置〉 C A－7 グリッドに位置する。

〈確認〉 黒色土及び黒褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 東西(2.80) m×南北2.25 m、深さ40cm。

〈平面形〉 隅丸長方形。

〈覆土〉 4 層に区分された。自然堆積と思われる。

〈壁〉 壁はやや緩やかに立ち上がるもので、深さは40cm程である。

〈床〉 ほほ平坦である。

〈炉〉 なし。

〈柱穴〉 柱穴と思われるピットは、東壁と西壁沿いのそれぞれ対応する位置に3個ずつみられた。

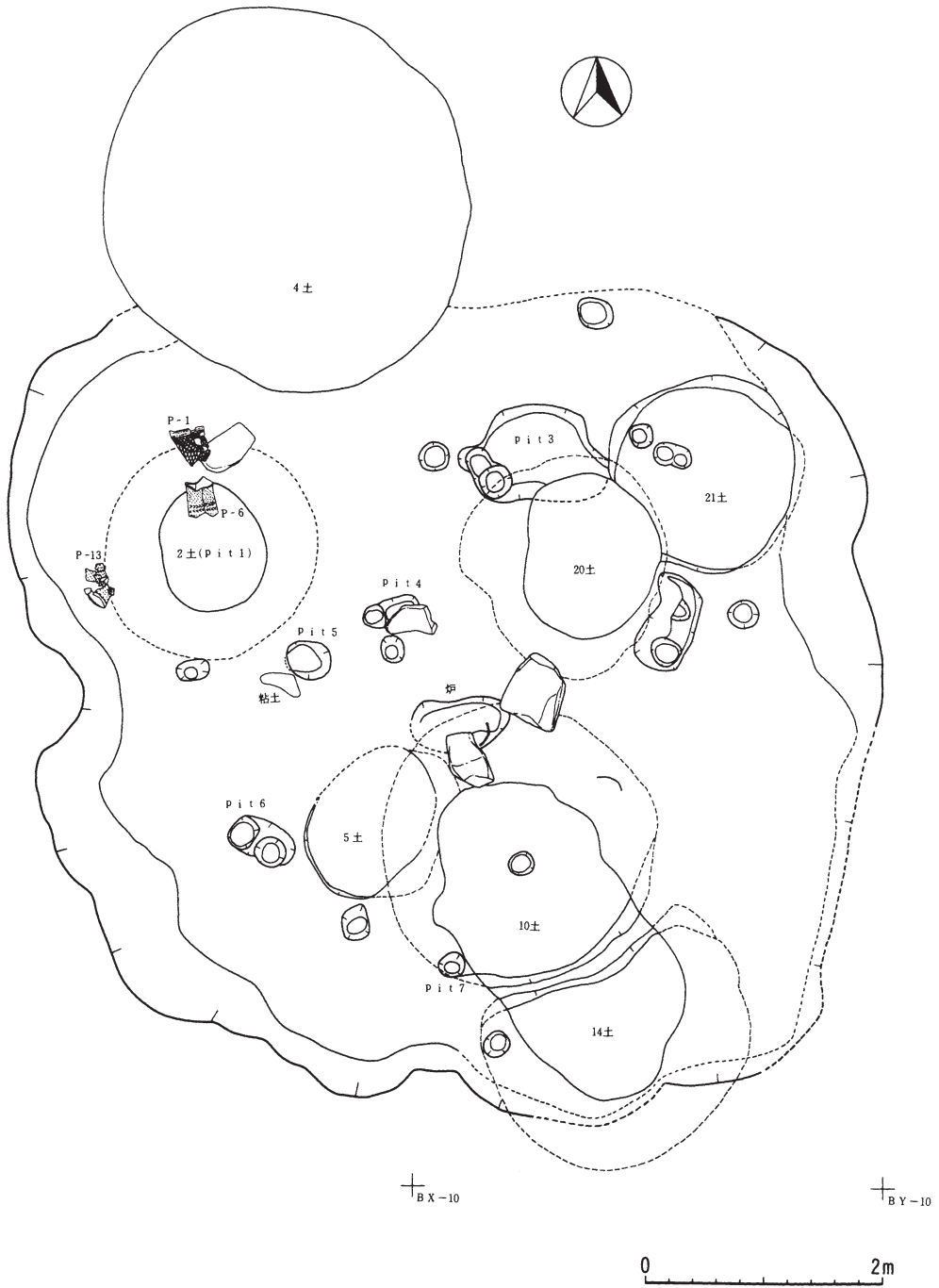
Pit 1－深さ37.8cm Pit 2－深さ70.2cm Pit 3－深さ38.3cm Pit 4－深さ30.8cm Pit 5－深さ72.8cm Pit 6－深さ46.2cm (床面レベルからは深さ約73cm)

〈施設〉 なし。

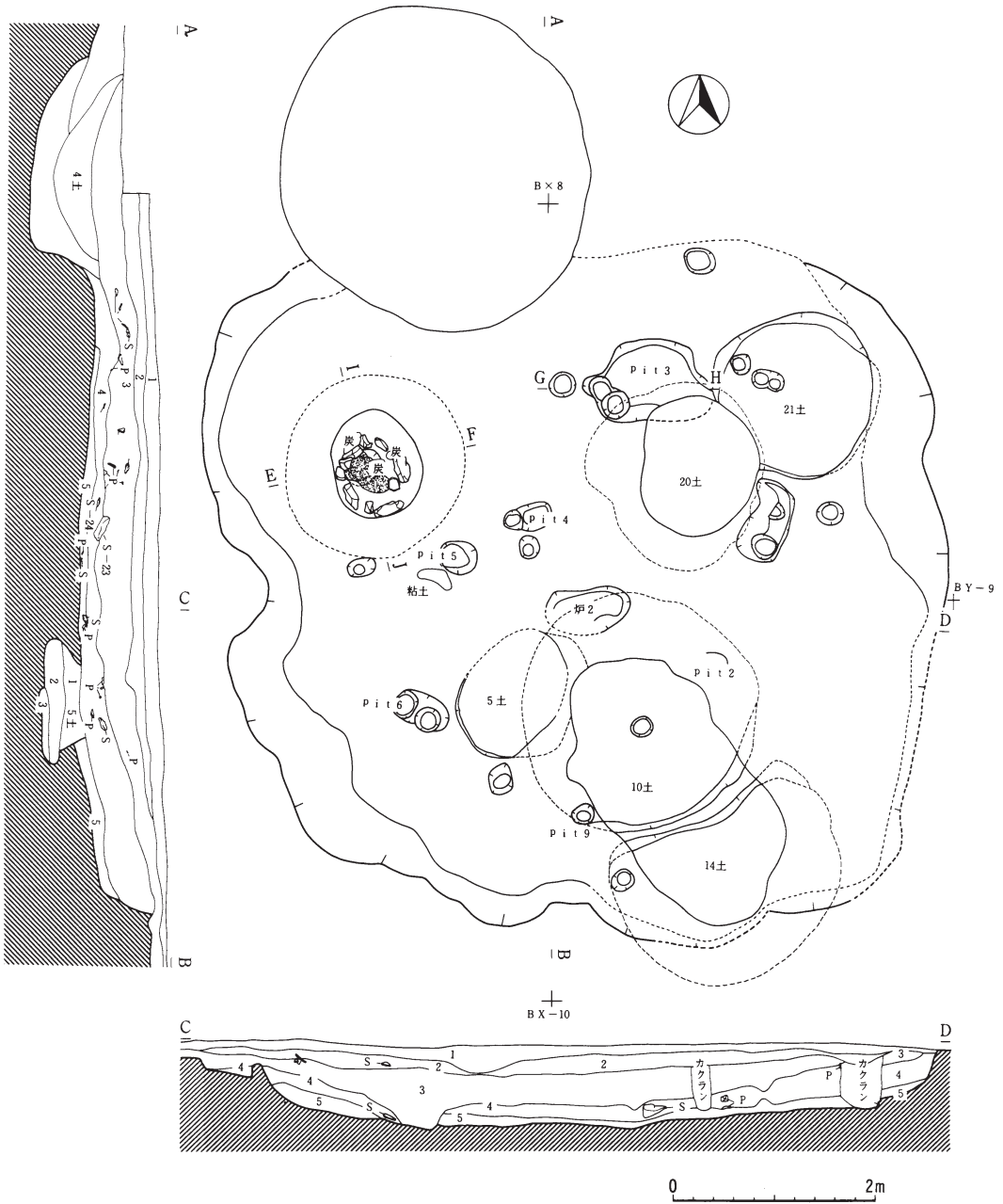
〈遺物〉 出土遺物では、土器は第49図の土器がある。いずれも縄文時代前期円筒下層式の破片である。

〈小結〉 本住居跡は東捨て場の位置に営まれたものである。出土遺物は縄文時代前期円筒下層式土器の小片のみであるので、その頃の構築になるものの可能性がある。

(木村)



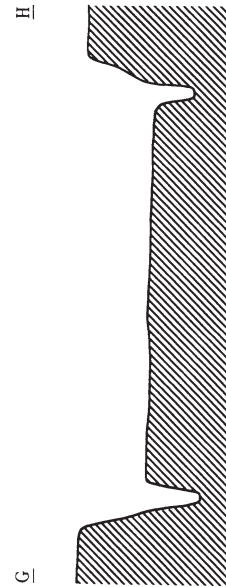
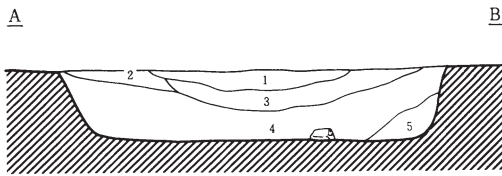
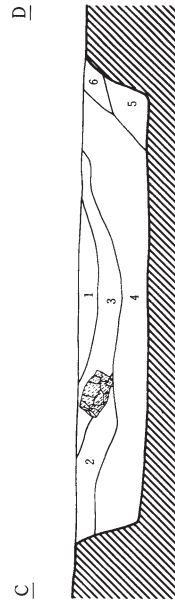
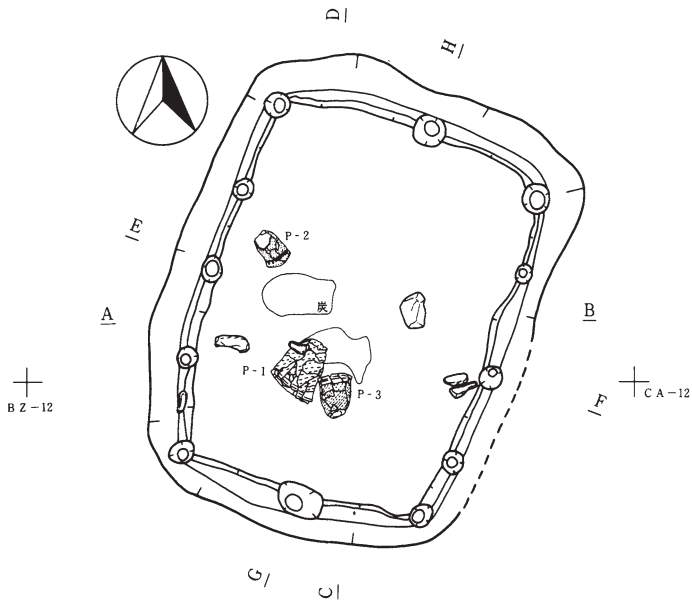
第7図 第1号住居跡遺物出土状況



第1号住居跡土層注記

第1層	黒色土	10Y R 2/1	浮石・白い浮石少量、草根多量含む。
第2層	黒色土	10Y R 1.7/1	浮石中量、白い浮石少量、草根少量含む。
第3層	黒色土	10Y R 1.7/1	浮石多量、白い浮石微量含む。
第4層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石多量、白い浮石微量含む。
第5層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少量、黒色土粒微量含む。

第8図 第1号住居跡

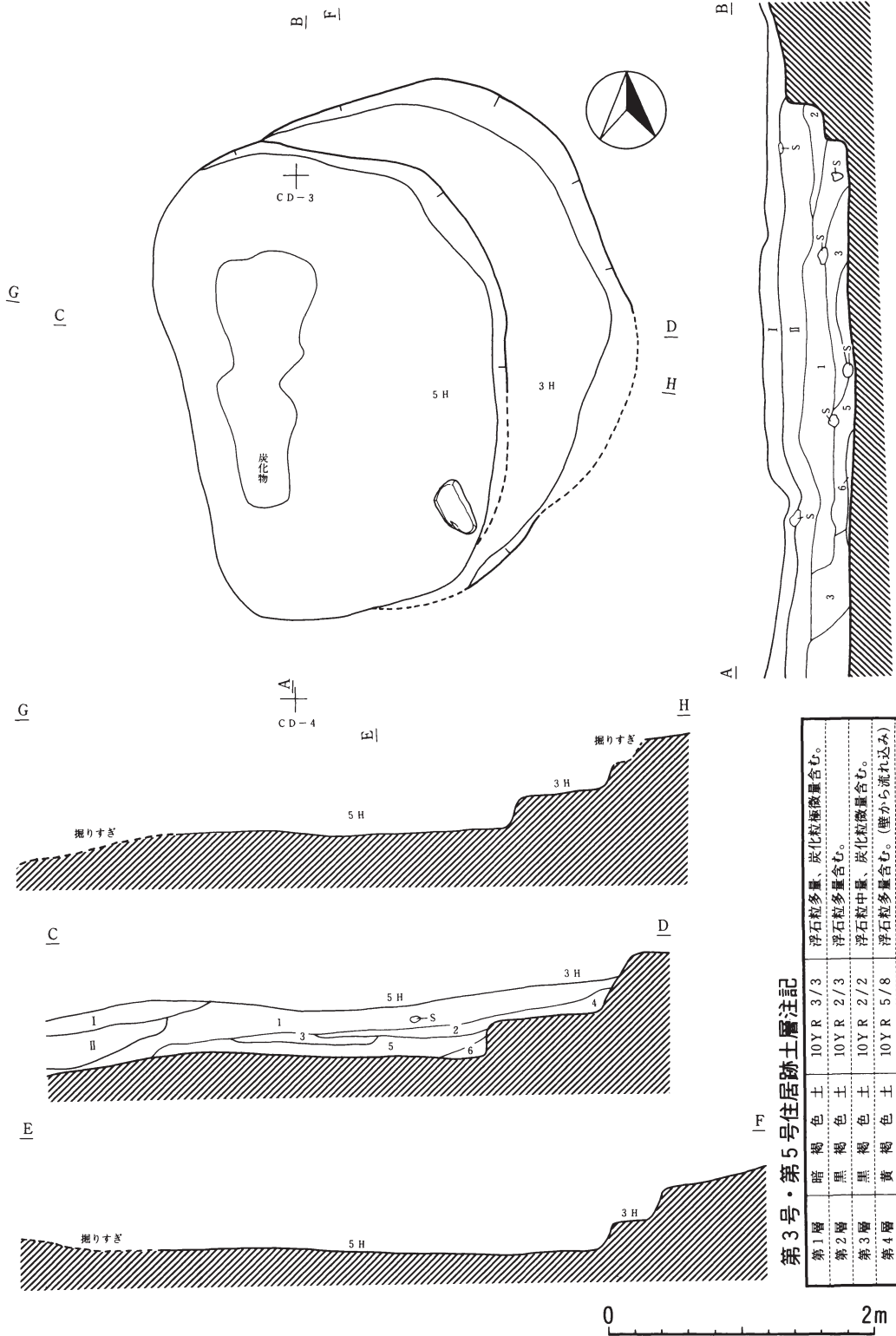


第2号住居跡土層注記

第1層	黑褐色土	10YR 3/2	浮石粒少量、炭化粒微量含む。
第2層	暗褐色土	10YR 3/3	浮石粒多量、炭化粒極微量含む。
第3層	黑褐色土	10YR 2/3	浮石粒、炭化粒少量含む。
第4層	暗褐色土	10YR 3/3	浮石粒多量、炭化粒少量含む。
第5層	暗褐色土	10YR 3/4	浮石粒微量含む。
第6層	黑褐色土	10YR 2/3	浮石粒少量含む。

0 2m

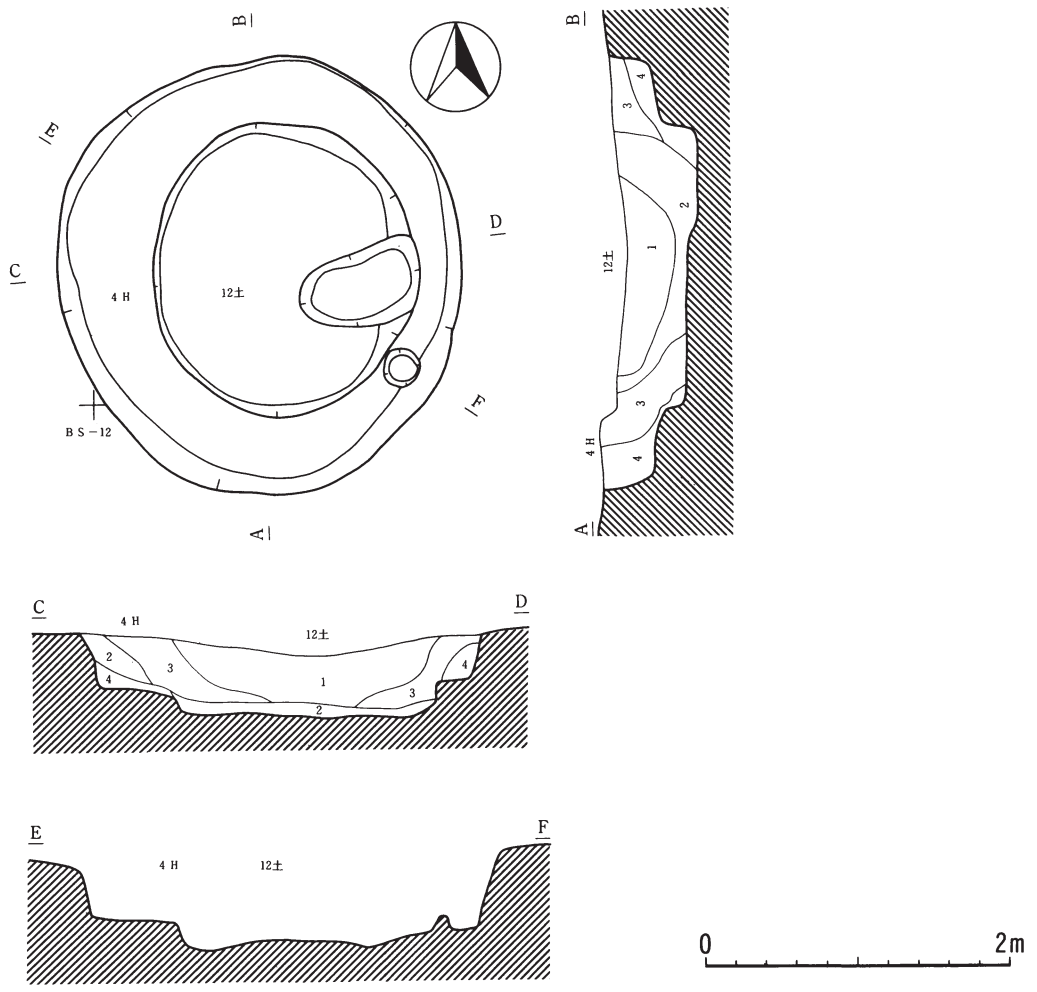
第9図 第2号住居跡



第3号・第5号住居跡土層注記

第1層	暗褐色土	10YR 3/3	浮石粒多量、炭化粒微量含む。
第2層	黒褐色土	10YR 2/3	浮石粒多量含む。
第3層	黒褐色土	10YR 2/2	浮石粒中量、炭化粒微量含む。
第4層	黄褐色土	10YR 5/8	浮石粒多量含む。(壁から流れ込み)
第5層	黒褐色土	10YR 2/2	浮石粒多量、炭化粒微量含む。
第6層	暗褐色土	10YR 3/4	浮石粒多量含む。

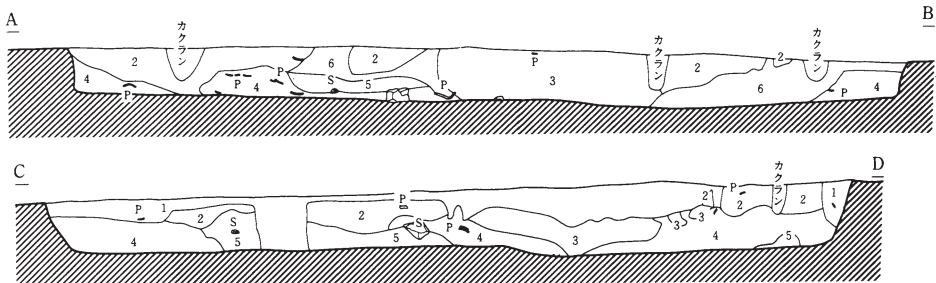
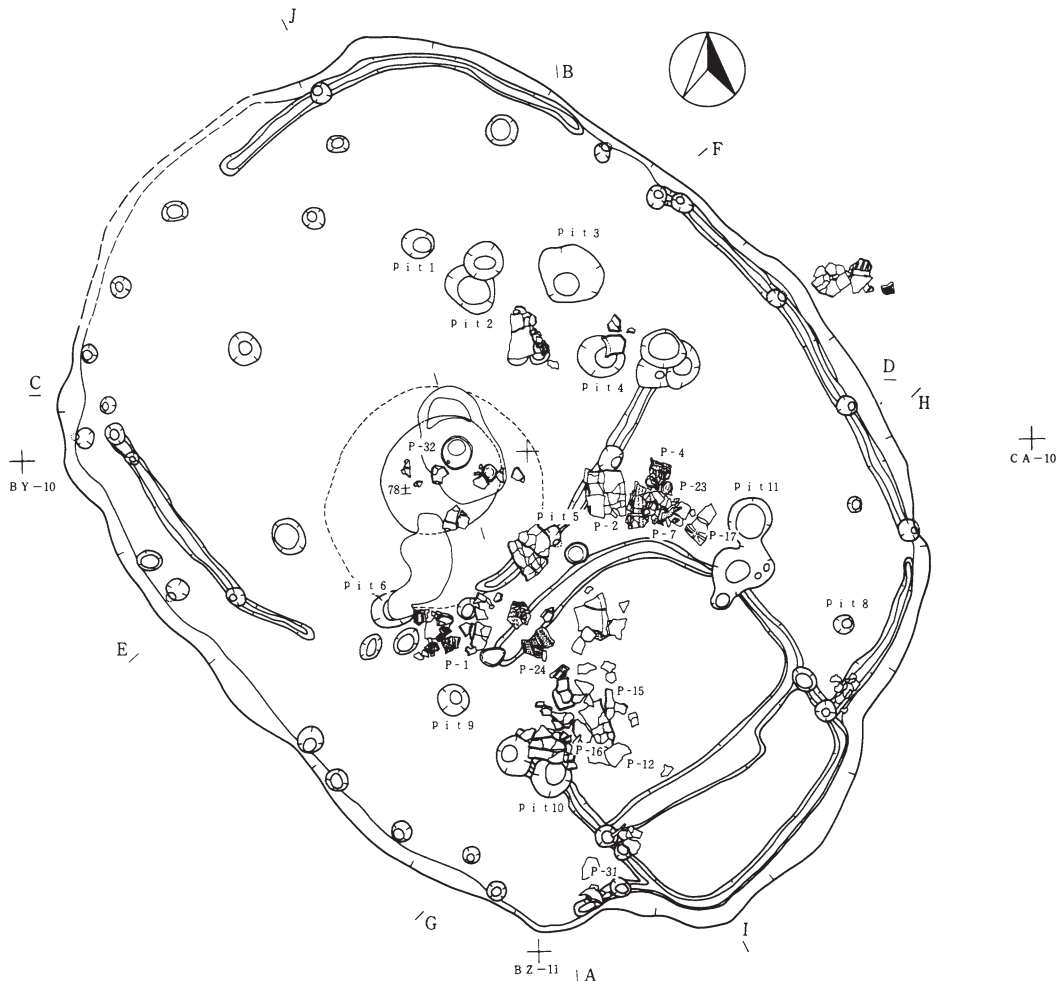
第10図 第3号住居跡・第5号住居跡



第4号住居跡・第12号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石粒、炭化粒少量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石粒、炭化粒少量含む。
第3層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石粒少量、炭化粒微量含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石粒少量、炭化粒微量含む。

第11図 第4号住居跡・第12号土坑

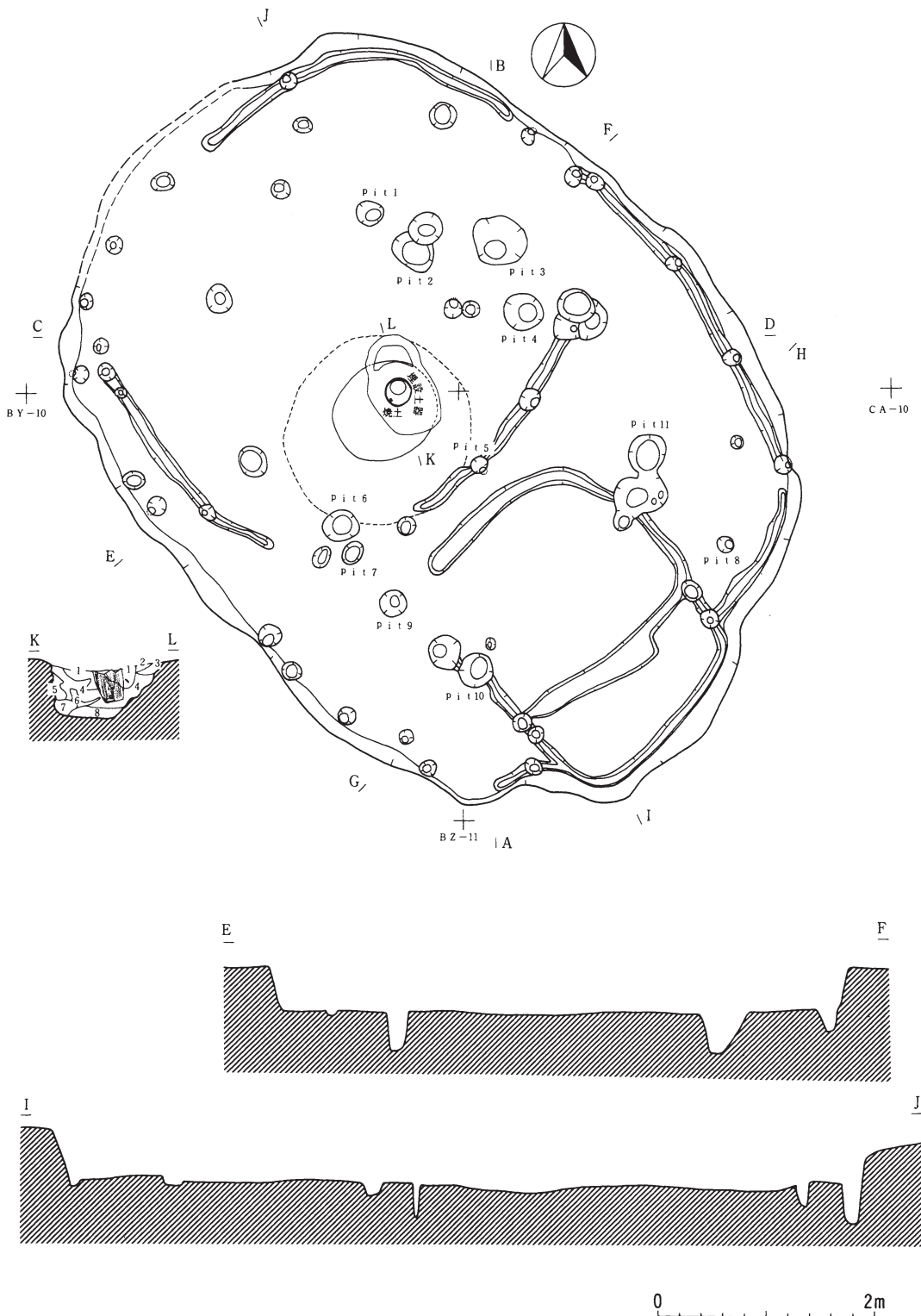


第6号住居跡土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石粒・炭化粒多量含む。
第2層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石粒(1cm位のブロック状)・炭化粒多量含む。
第3層	褐色土	10Y R 4/4	浮石粒多量、炭化粒少量含む。
第4層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石粒多量、炭化粒少量含む。
第5層	褐色土	10Y R 4/4	浮石粒少量、炭化粒微量含む。
第6層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石粒多量、炭化粒微量含む。

0 2m

第12図 第6号住居跡遺物出土状況



第13图 第6号住居跡

第6号住居跡炉土層注記

第1層	赤褐色土	5 Y R 4/6	焼土主体の層。浮石少し含む。
第2層	極暗褐色土	7.5 Y R 2/3	浮石少し含む。
第3層	黒褐色土	7.5 Y R 3/2	浮石・焼土・炭化粒少し含む。
第4層	暗褐色土	10 Y R 3/3	浮石・焼土・炭化粒少し含む。
第5層	黒褐色土	10 Y R 2/3	浮石を極僅かに含む。
第6層	明黄褐色土	10 Y R 7/6	焼土、砂質の灰状からなる。
第7層	黒褐色土	10 Y R 3/2	ソフトロームを多く含む。
第8層	黒色土	7.5 Y R 2/1	ソフトロームを少し含む。

第7号住居跡土層注記

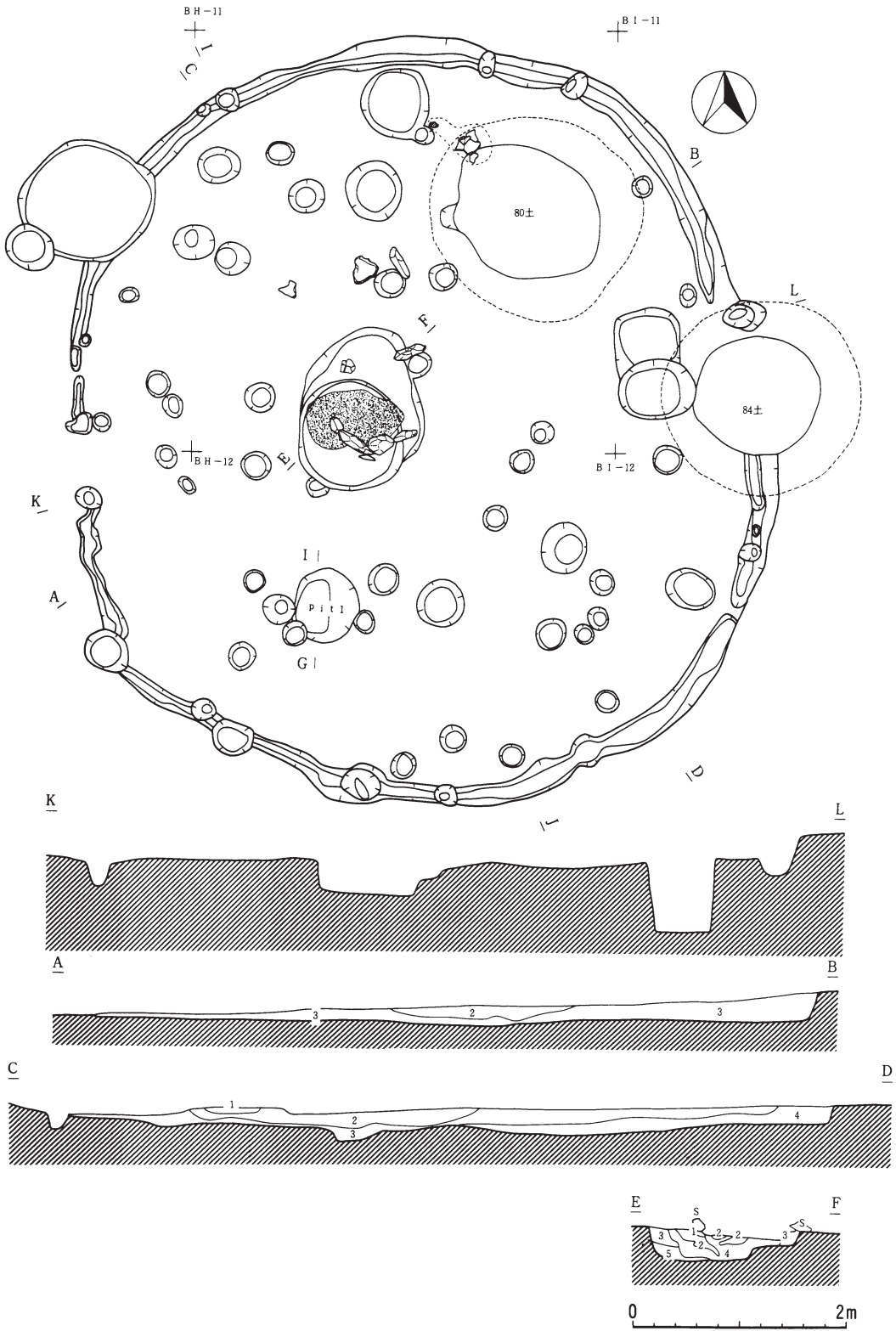
第1層	明褐色土	7.5 Y R 5/8	浮石粒微量含む。(焼土)
第2層	黒色土	7.5 Y R 2/1	浮石粒微量、炭化粒極微量。
第3層	黒褐色土	7.5 Y R 2/2	浮石粒微量、炭化粒極微量含む。
第4層	褐色土	10 Y R 4/4	浮石粒少量、炭化粒微量含む。

ピット1土層注記

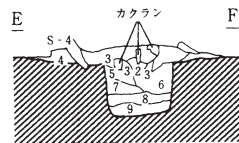
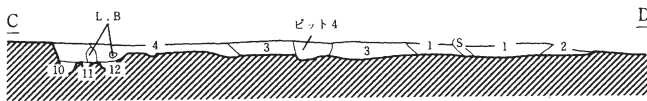
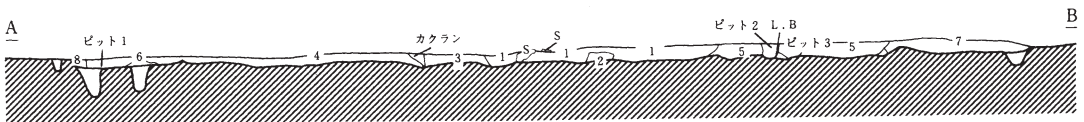
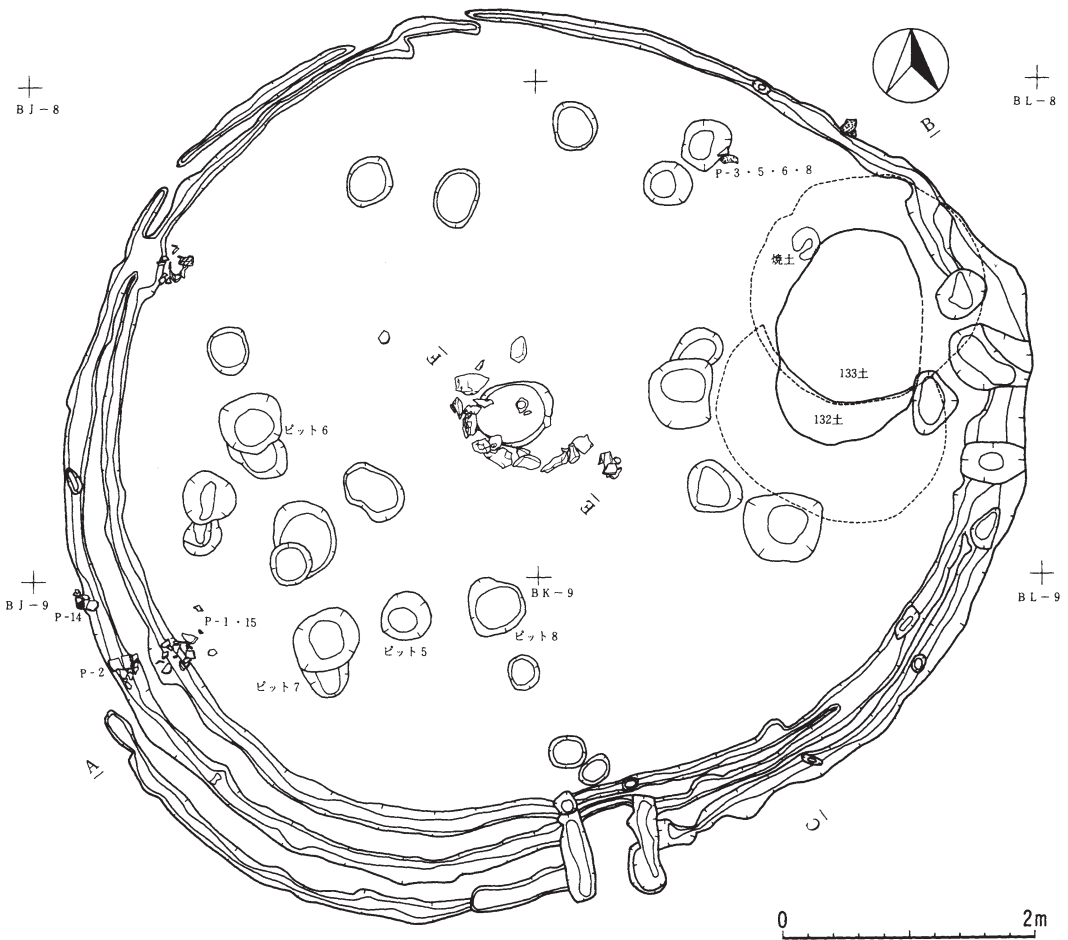
第1層	暗褐色土	7.5 Y R 3/4	浮石やや多く含む。
第2層	褐色土	7.5 Y R 4/4	浮石やや多く含む。
第3層	褐色土	10 Y R 4/6	浮石微量に含む。

第7住居跡炉土層注記

第1層	黒褐色土	10 Y R 2/3	焼土少量含む。
第2層	明褐色土	7.5 Y R 5/8	焼土・炭化粒微量含む。
第3層	暗褐色土	10 Y R 3/3	浮石微量含む。
第4層	暗褐色土	10 Y R 3/4	浮石少量含む。
第5層	褐色土	10 Y R 4/4	浮石微量含む。



第14图 第7号住居跡



第15図 第8号住居跡

第8号住居跡土層注記

第1層	黒色土	7.5Y R 2/1	浮石・焼土粒微量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/2	焼土粒多量含む。
第3層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石微量、黄色砂ブロック状に少量含む。
第4層	黒褐色土	10Y R 3/2	ローム粒少量、白い浮石微量含む。
第5層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石微量、白い浮石微量含む。
第6層	暗褐色土	10Y R 3/3	ロームとの混合土。
第7層	黒褐色土	7.5Y R 2/2	白い浮石・ローム粒少量含む。
第8層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石微量含む。
第9層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石微量含む。黄色砂との混合土。
第10層	黒褐色土	10Y R 2/2	黄色い土微粒に微量含む。
第11層	黒色土	7.5Y R 2/1	黄色い土微粒に少量含む。
第12層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石微量含む。

第8号住居跡炉土層注記

第1層	黒色土	7.5Y R 1.7/1	焼土粒少量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石微量、焼土粒少量含む。
第3層	赤褐色土	5Y R 4/8	浮石微量含む。(火床部)
第4層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石微量含む。
第5層	暗褐色土	10Y R 4/3	浮石少量、焼土ブロック状に中量含む。
第6層	褐色土	10Y R 6/4	浮石・白い砂少量含む。
第7層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石・黒色土少量含む。
第8層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/5	炭化粒微量、黄色い荒い砂中量含む。
第9層	暗褐色土	10Y R 4/3	浮石微量、白い砂少量含む。

第9号住居跡炉土層注記

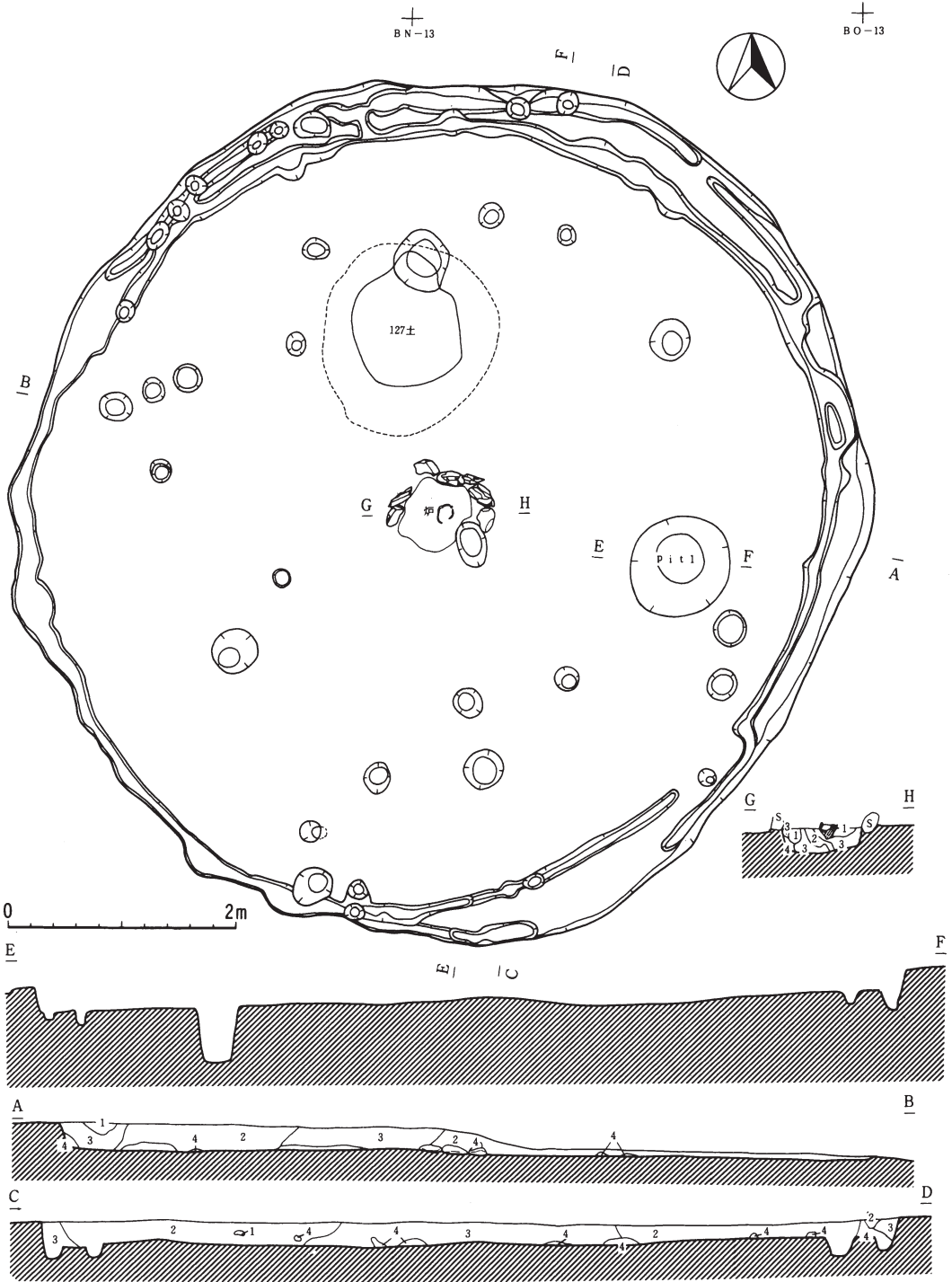
第1層	明褐色土	7.5Y R 5/8	浮石粒微量含む。
第2層	明褐色土	7.5Y R 5/8	浮石粒微量含む。
第3層	褐色土	10Y R 4/4	浮石少量、炭化物微量含む。
第4層	明黄褐色土	10Y R 6/6	浮石粒多量、炭化物微量含む。

第9号住居跡土層注記

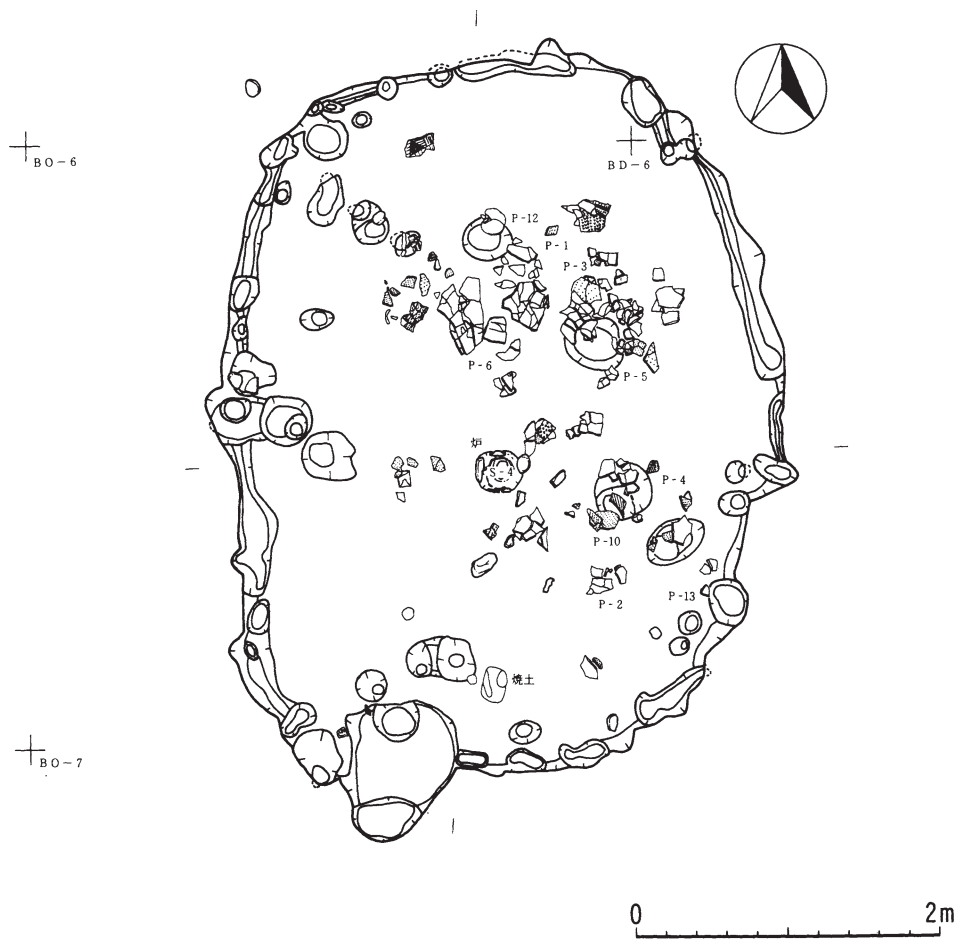
第1層	灰黄褐色土	10Y R 5/2	浮石粒少量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石粒少量含む。
第3層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石粒少量含む。
第4層	褐色土	10Y R 4/4	浮石粒微量、ブロック状に含んでいる。

ピット1

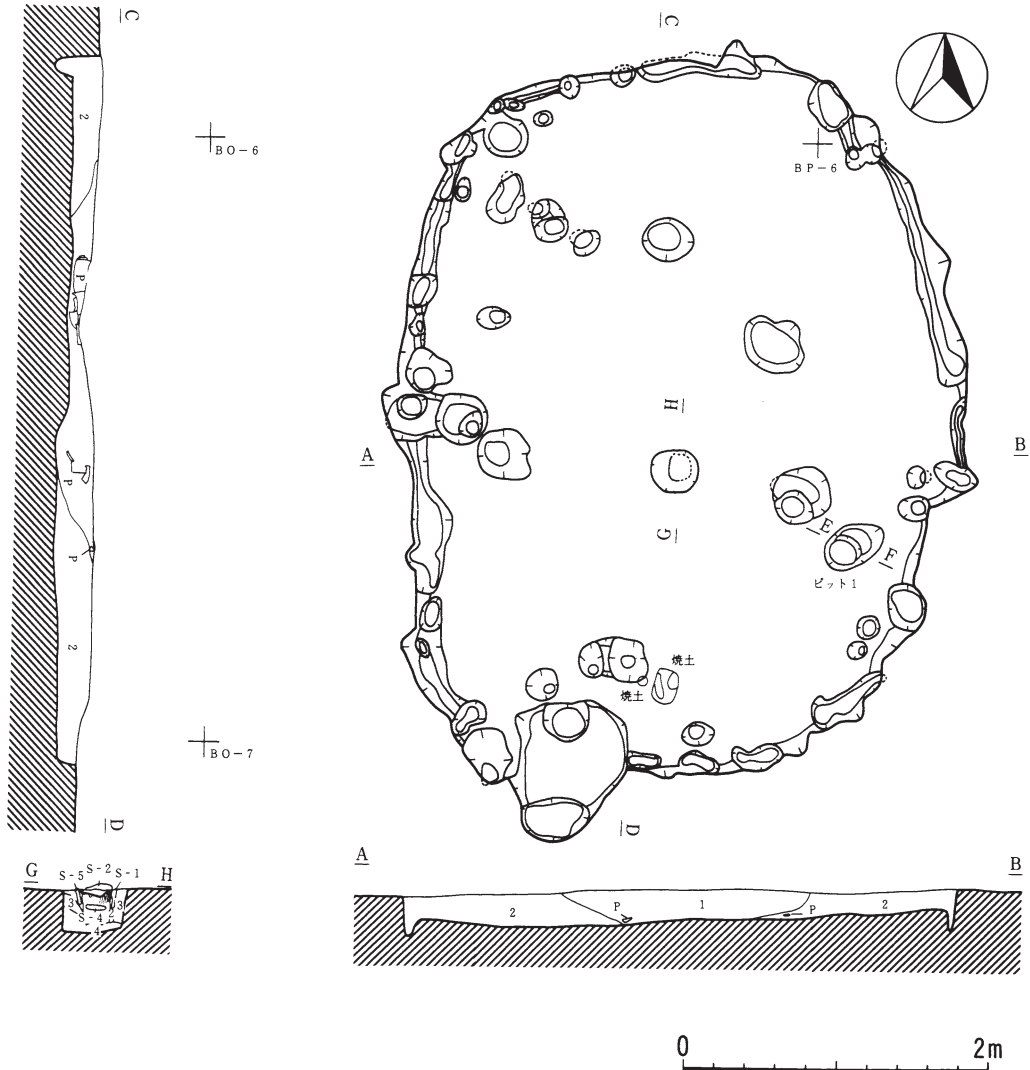
第1層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石粒少量含む。
第2層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	浮石粒微量含む。



第16图 第9号住居跡



第17图 第10号住居跡遺物出土状況



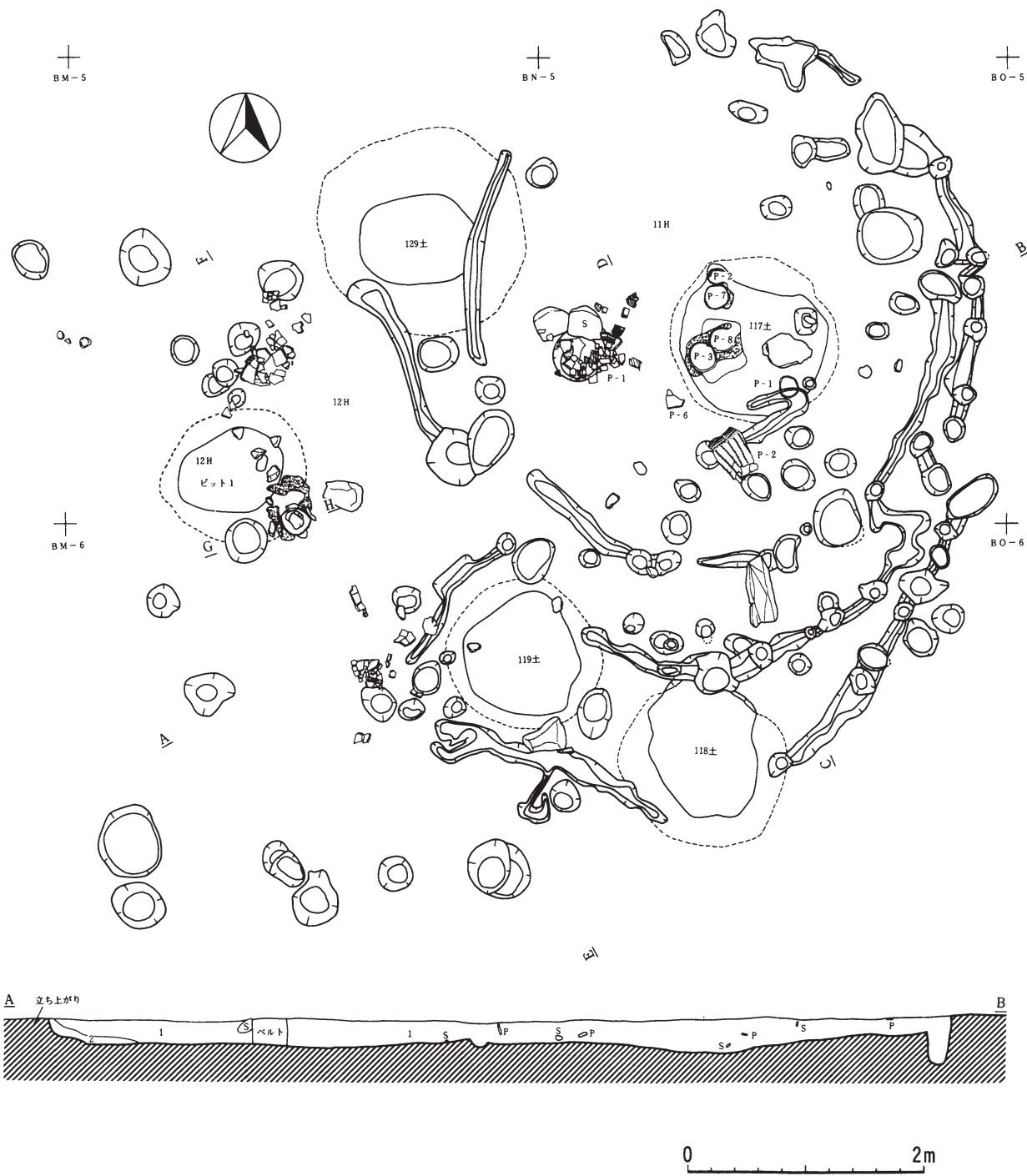
第10号住居跡土層注記

第1層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石少量、炭化粒微量含む。
第2層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石中量、炭化粒微量含む。

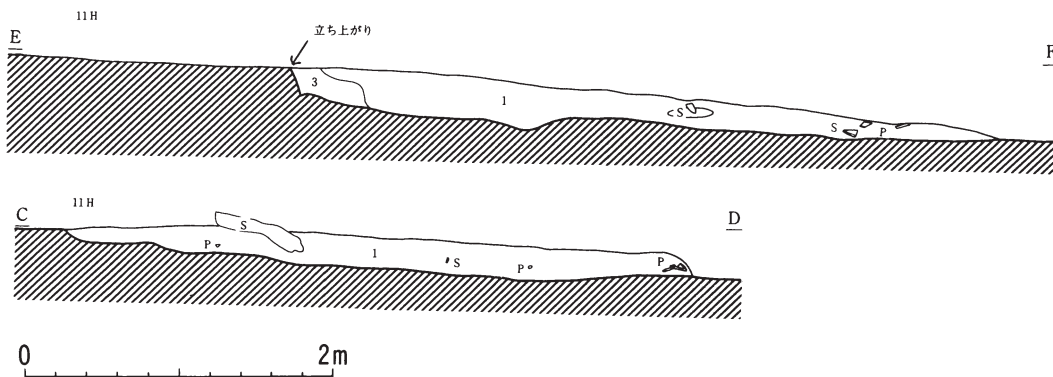
第10号住居跡炉土層注記

第1層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石微量含む。
第2層	褐色土	10Y R 4/4	浮石中量含む。
第3層	にぶい黄橙色土	10Y R 6/3	浮石びっしり含む粘土質。
第4層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	浮石少量、砂っぽくサラサラしている。
土器の中	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石少量、炭化粒微量、ローム粒ブロック状に含む。

第18図 第10号住居跡

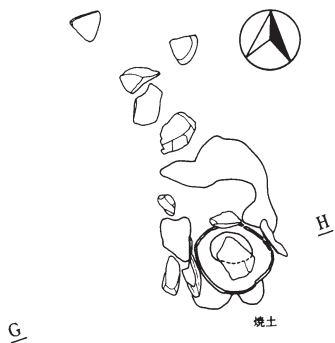


第19図 第11号住居跡・第12号住居跡

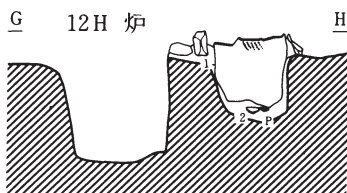


第11号住居跡注記

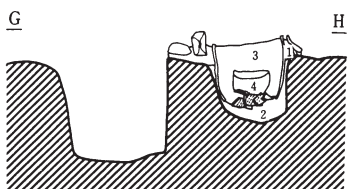
第1層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石中量、炭化粒少量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石・炭化粒微量含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少量、白い砂が下位にブロック状に含む。



12H 炉土器の中の土器片



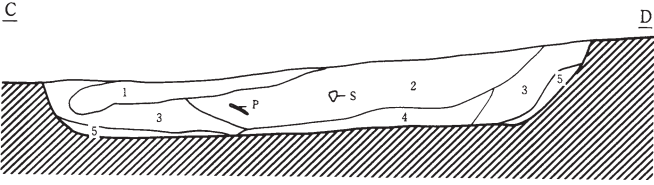
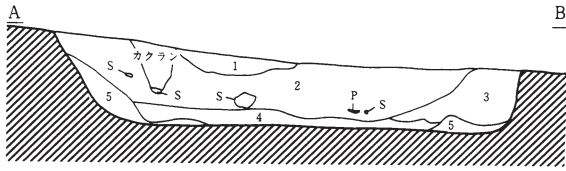
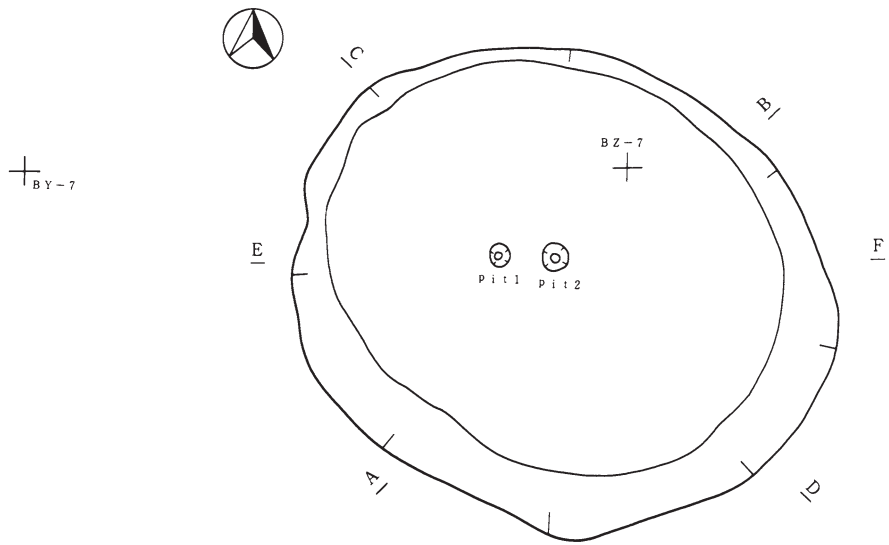
12H 炉掘り方



第12号住居跡炉土層注記

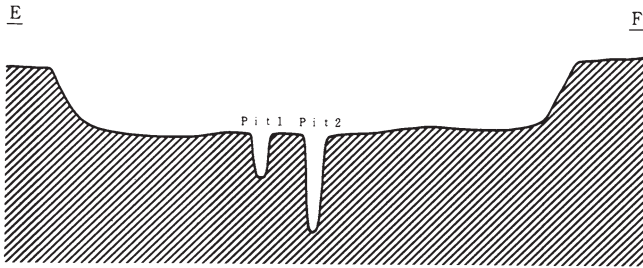
第1層	明褐色土	7.5Y R 5/8	炭化粒微量、褐色土少量含む。
第2層	褐色土	10Y R 4/4	焼土粒・炭化粒超微量含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/4	炭化粒少量含む。
第4層	明褐色土	7.5Y R 5/8	浮石微量、ローム粒（灰色の砂）少量含む。

第20図 第11号住居跡・第12号住居跡②

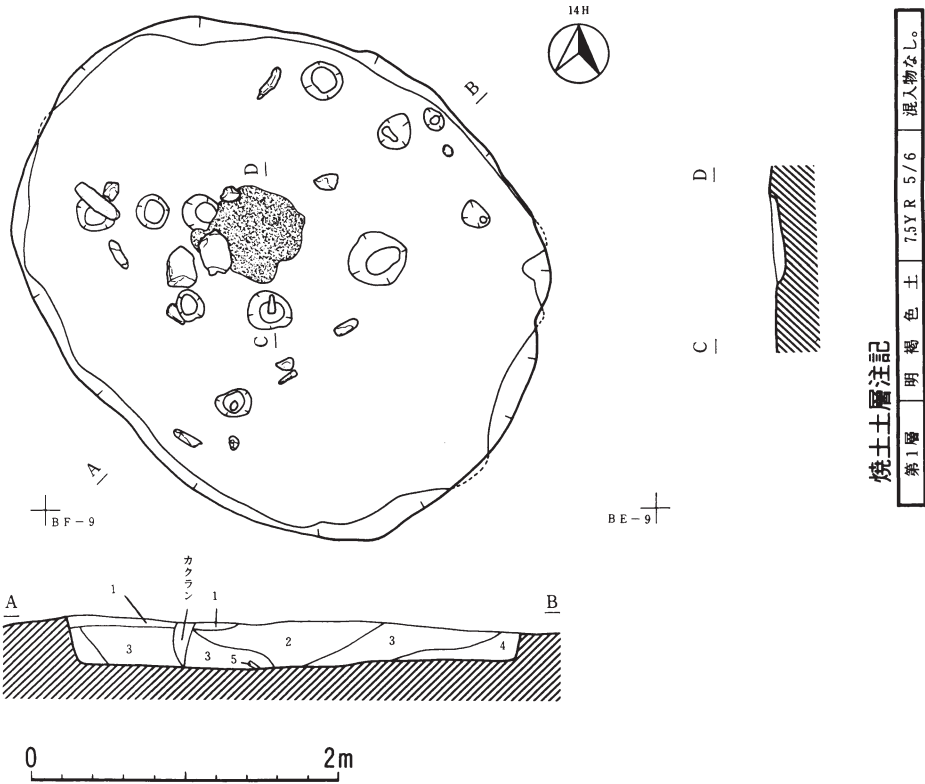


第13号住居跡土層注記

第1層	黒色土	10Y R 1.7/1	浮石少量含む。根多い。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/2	もろい浮石多量、焼土、炭化物微量含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/3	もろい浮石多量、炭化物微量含む。
第4層	黒褐色土	10Y R 2/3	もろい浮石中量含む。
第5層	黄褐色土	10Y R 5/6	浮石微量、黒褐色土まだらに含む。(掘りすぎの層)
第6層	黒色土	10Y R 2/1	もろい浮石粒中量含む。



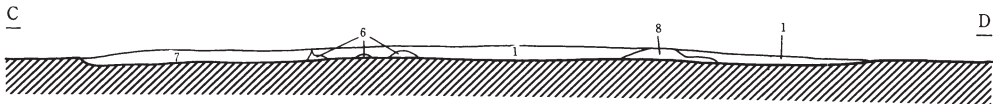
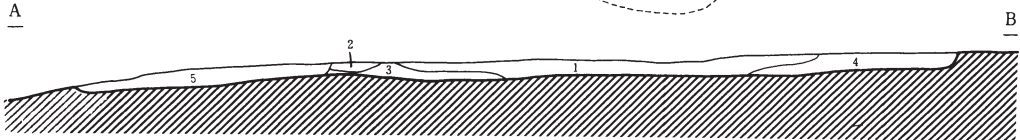
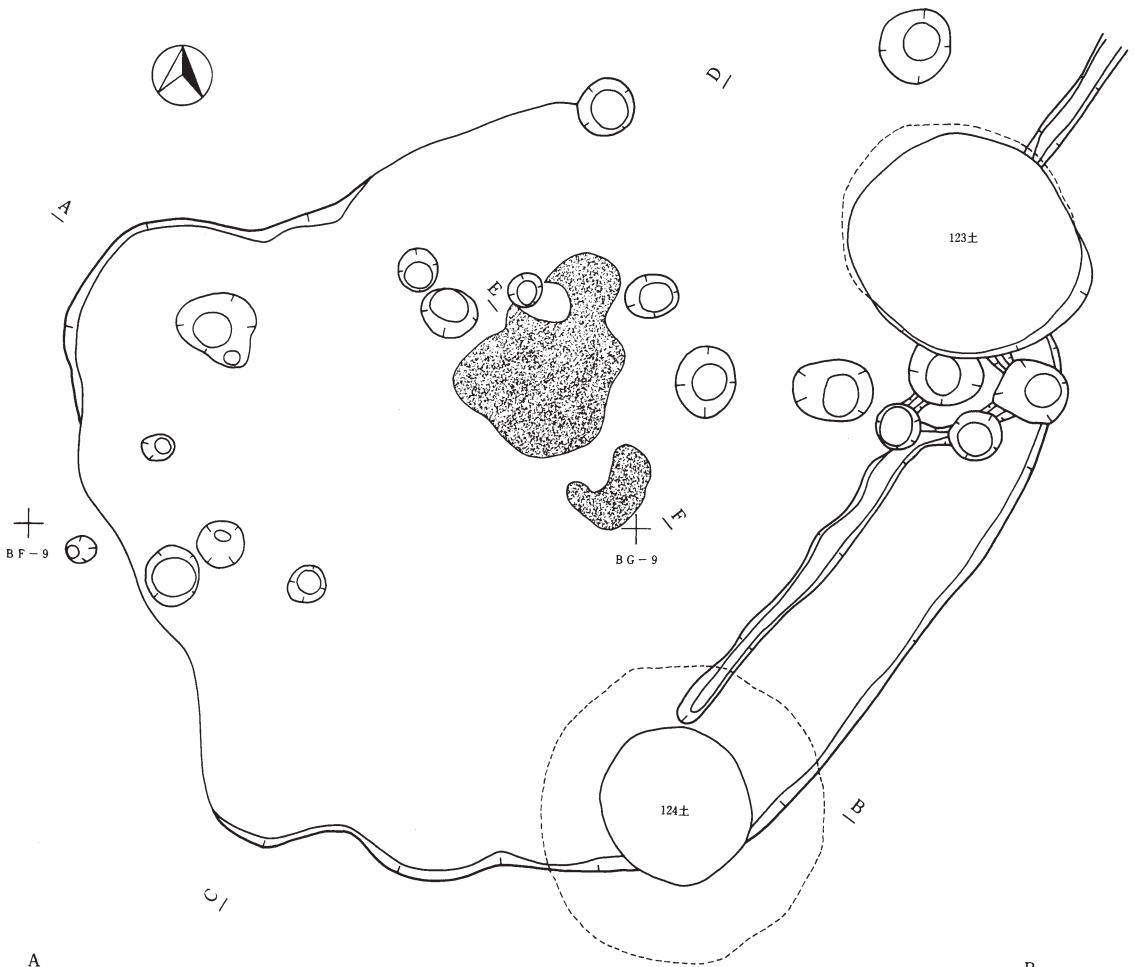
第21図 第13号住居跡



第14号住居跡土層注記

第1層	黒色土	7.5Y R 1.7/1	浮石少量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石中量、炭化粒微量、礫（2cm大）含む。
第3層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石・炭化粒少量、白い浮石微量含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石少量、炭化粒微量含む。褐色土との混合土。

第22図 第14号住居跡

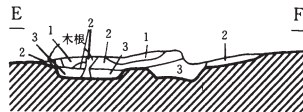


第15号住居跡土層注記

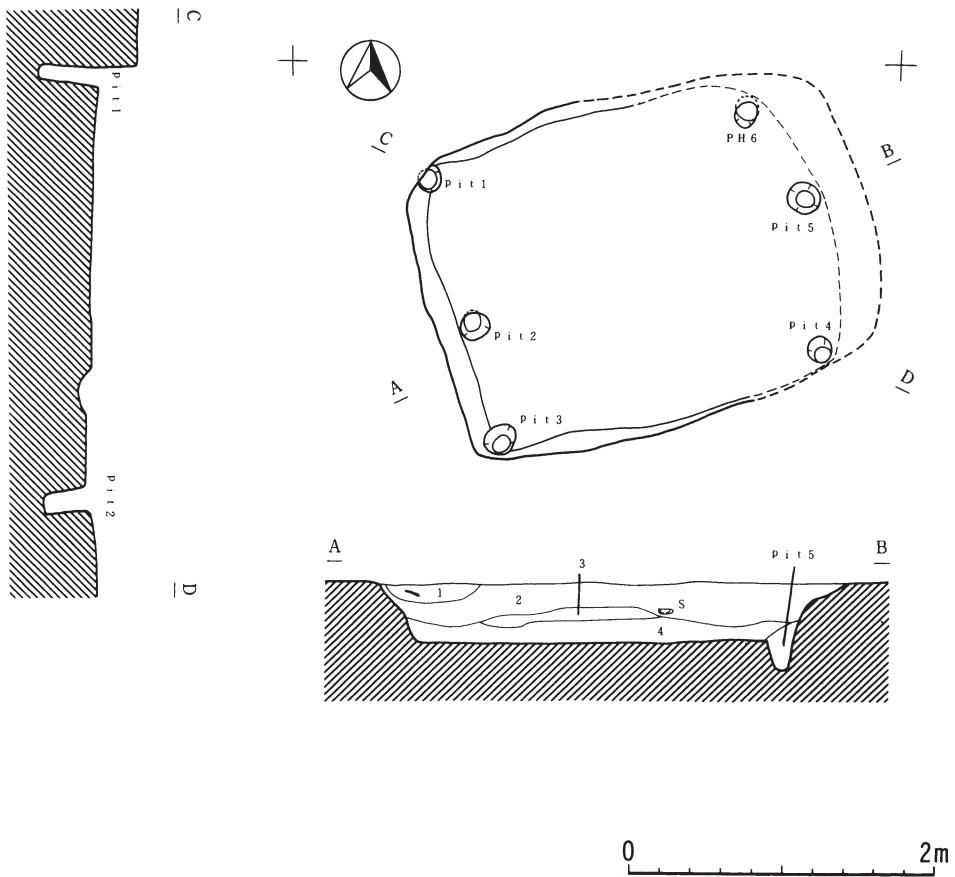
第1層	黒褐色土	7.5Y R 2/2	浮石少し含む。
第2層	赤褐色土	5 Y R 4/6	焼土ブロックを含む。
第3層	暗褐色土	10 Y R 3/4	浮石かなり多く含む。
第4層	極暗褐色土	7.5Y R 2/3	浮石や多く、ロームブロック多く含む。
第5層	黒褐色土	7.5Y R 2/2	浮石少し含む。
第6層	黄褐色土	10 Y R 5/6	ロームブロックを含む。
第7層	黒褐色土	10 Y R 2/3	浮石少し含む。
第8層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	浮石・シルト粒少し含む。

炉土層注記

第1層	黒褐色土	10 Y R 2/3	浮石・シラス粒少し含む。
第2層	暗赤褐色土	5 Y R 3/6	浮石やや多く、焼土を含む。
第3層	黒褐色土	7.5Y R 2/3	浮石やや多く含む。



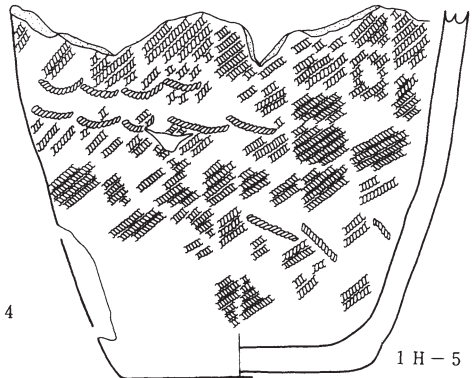
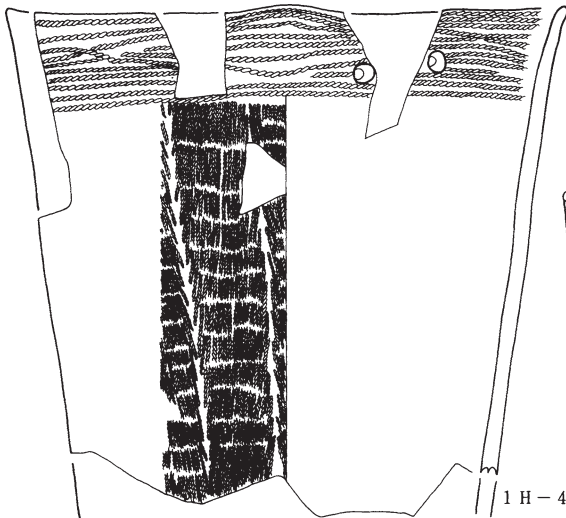
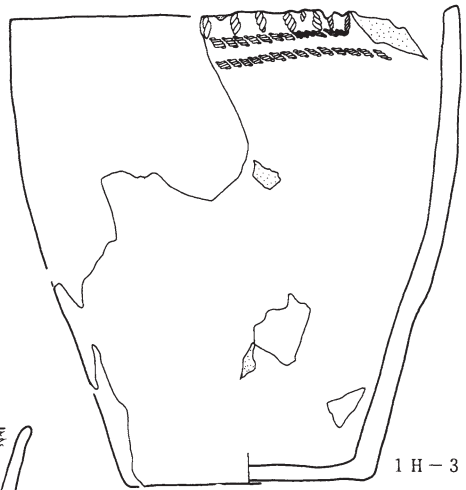
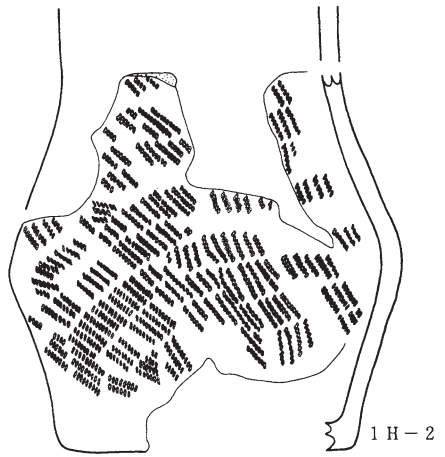
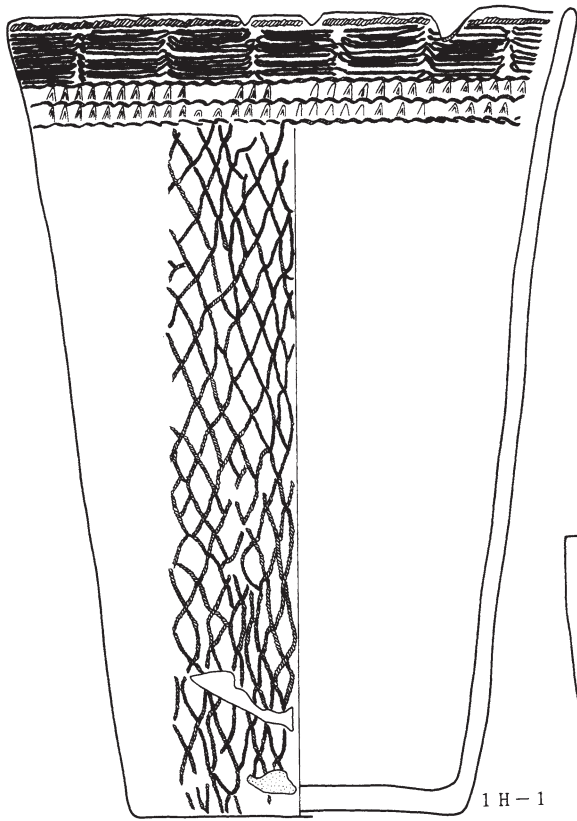
第23図 第15号住居跡



第16号住居跡土層注記

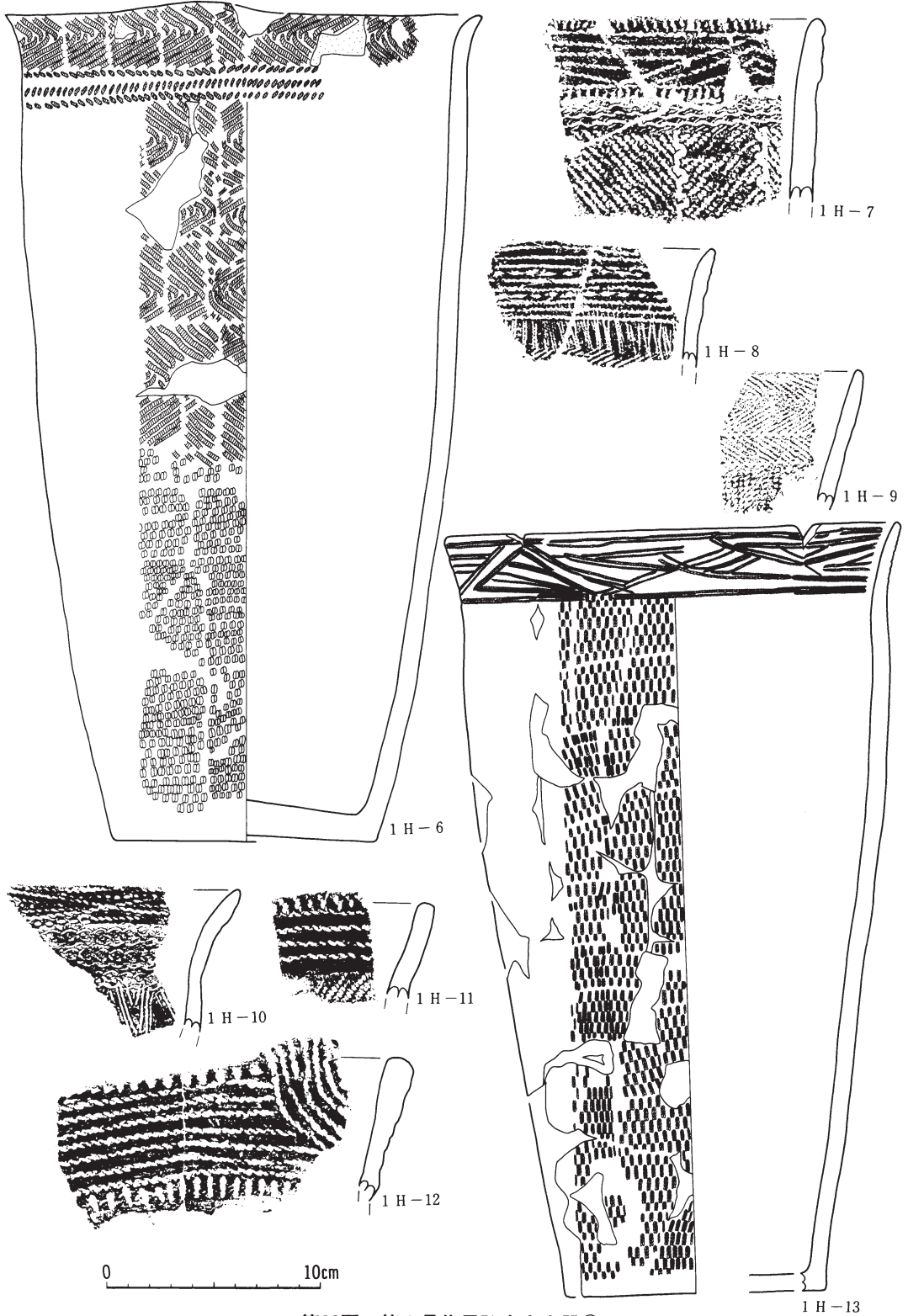
第1層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石中量、粘土微量ブロック状に含む。
第2層	黒色土	7.5Y R 2/1	もろい浮石中量含む。
第3層	黒色土	10Y R 2/1	浮石少量含む。
第4層	黒色土	7.5Y R 2/1	浮石、炭化物微量含む。(砂っぽい感触)
第5層	黒色土	7.5Y R 2/1	浮石少量含む。

第24図 第16号住居跡

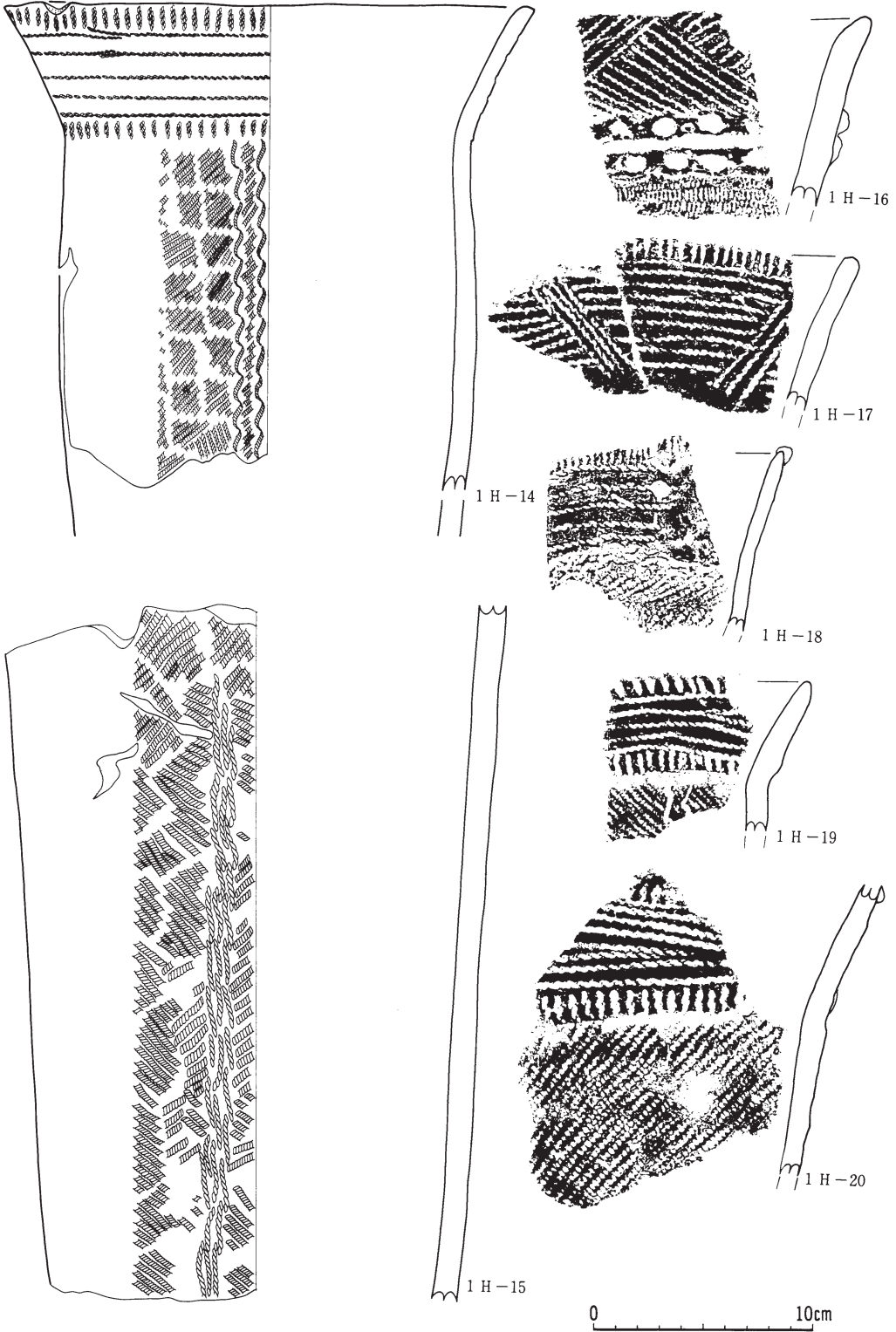


0 10cm

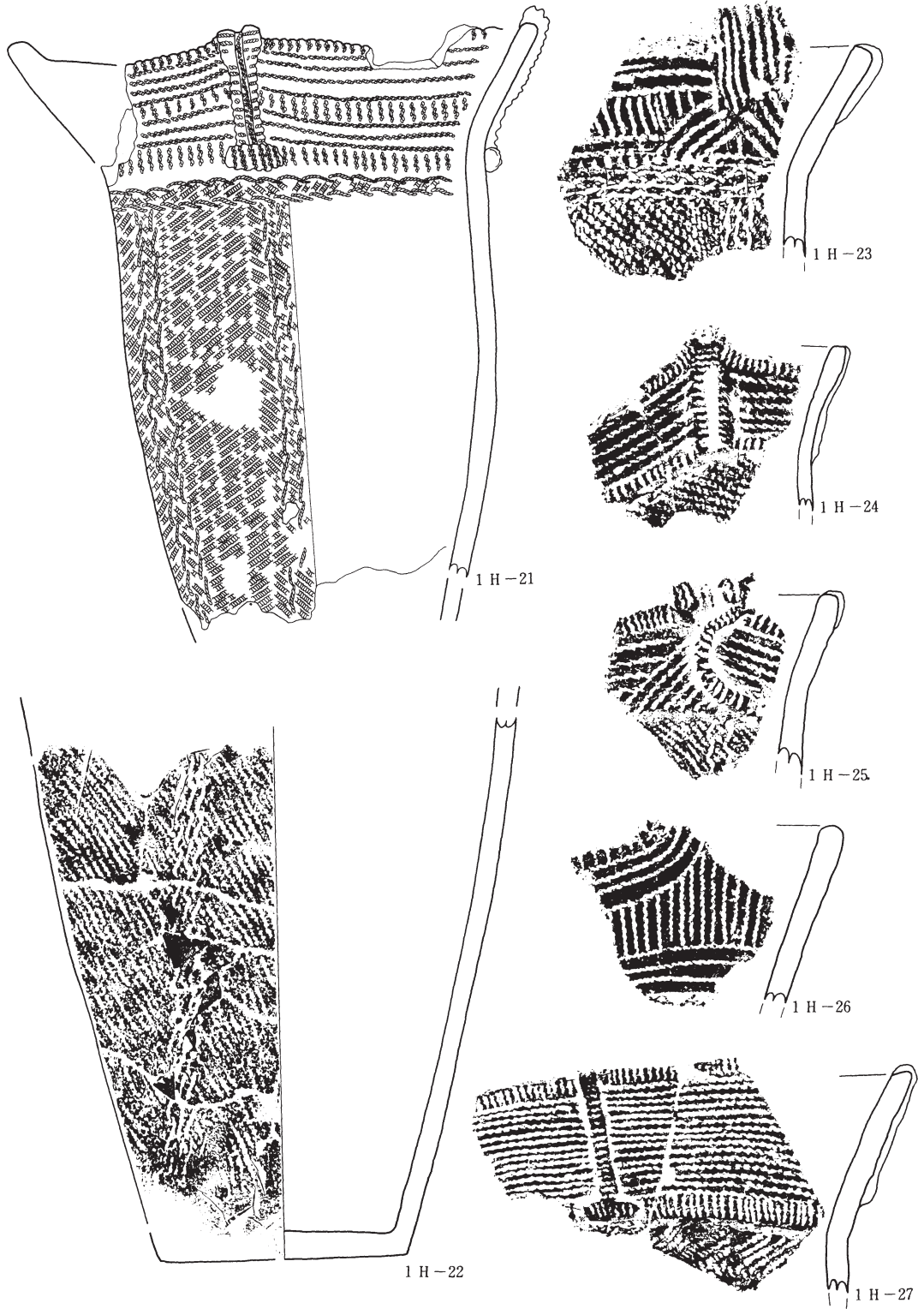
第25图 第1号住居跡出土土器①



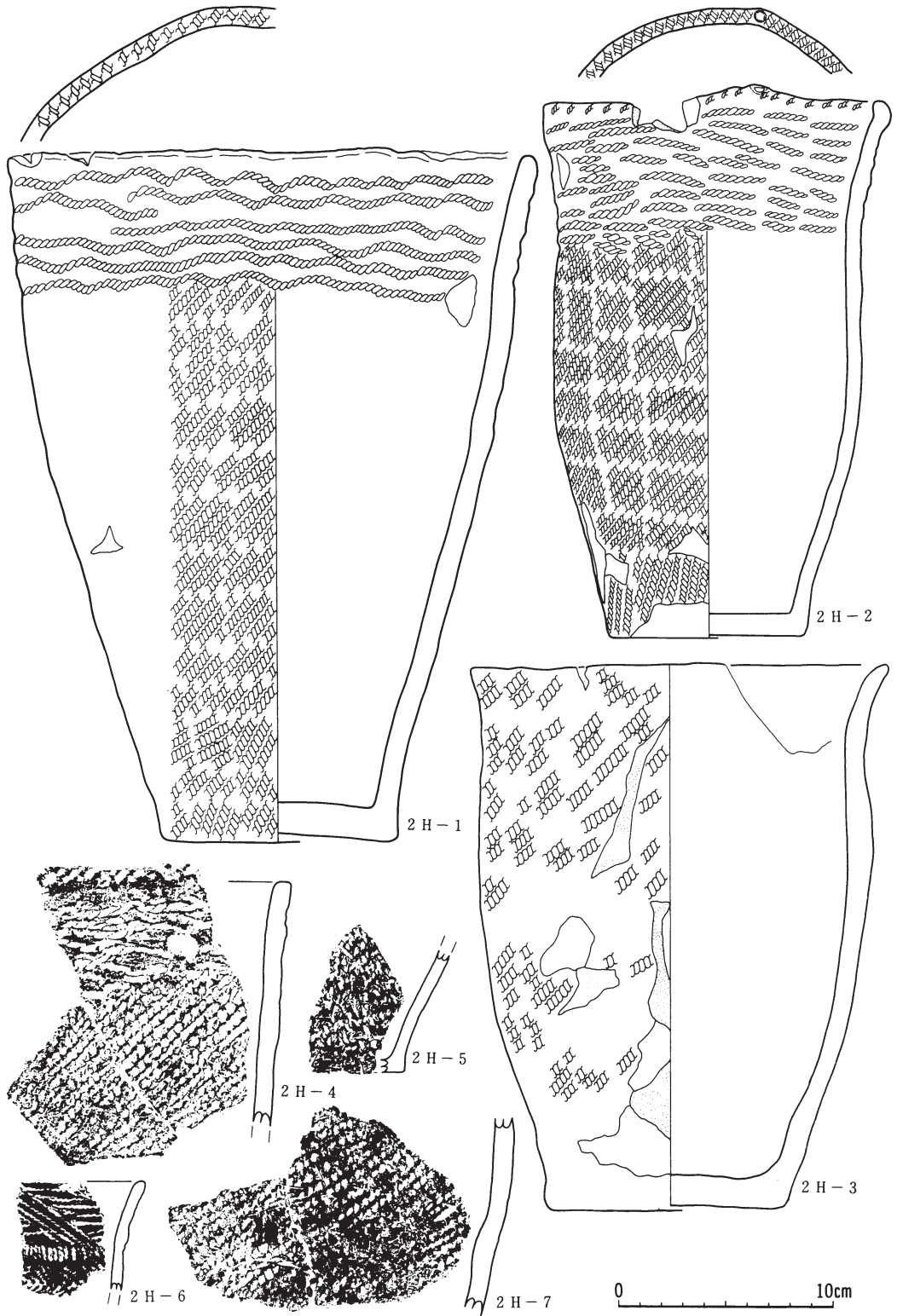
第26图 第1号住居跡出土土器②



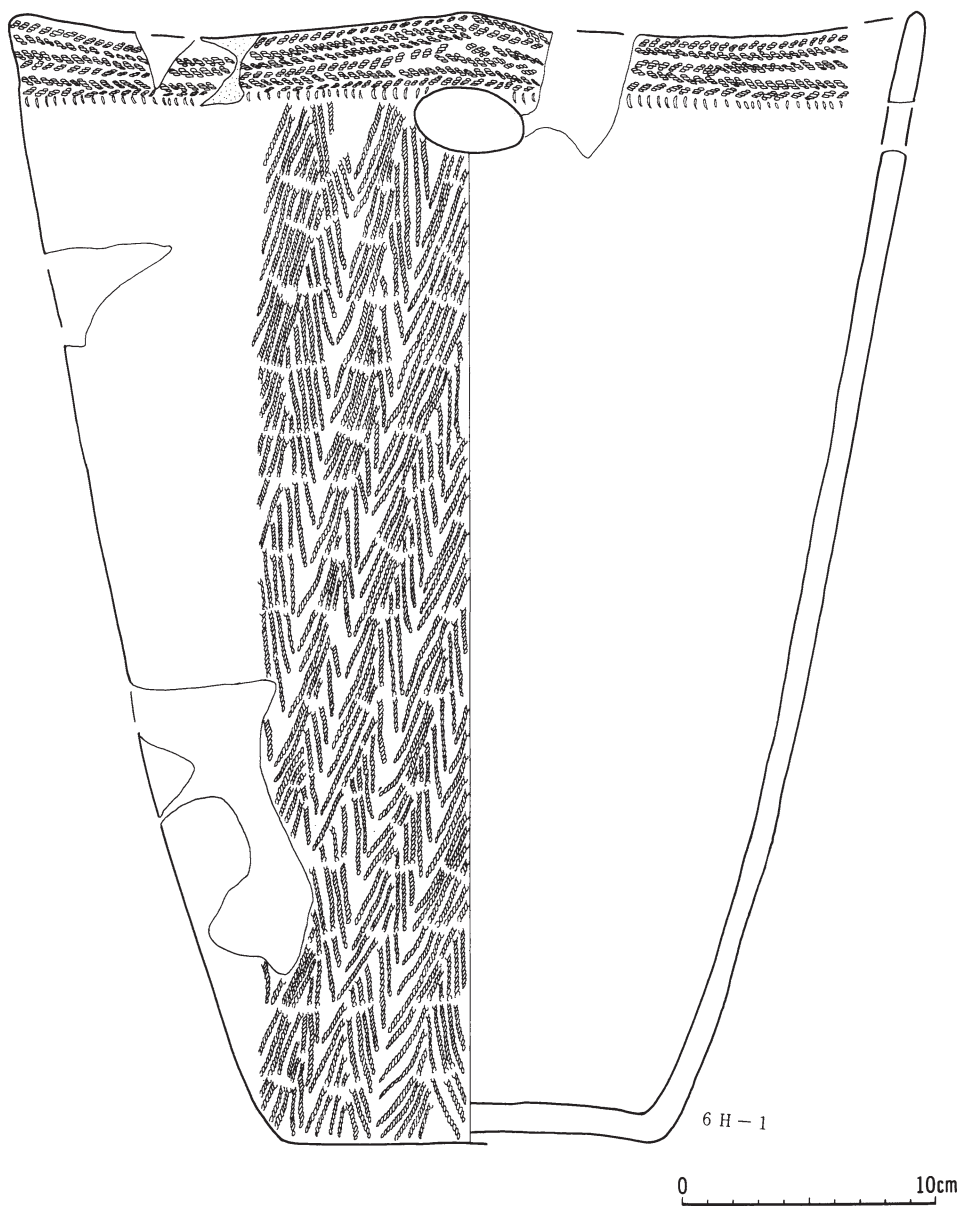
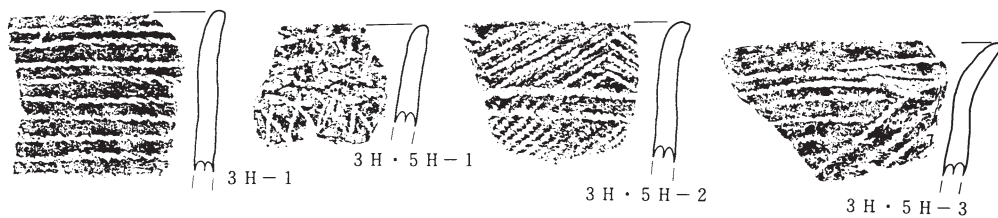
第27图 第1号住居跡出土土器③



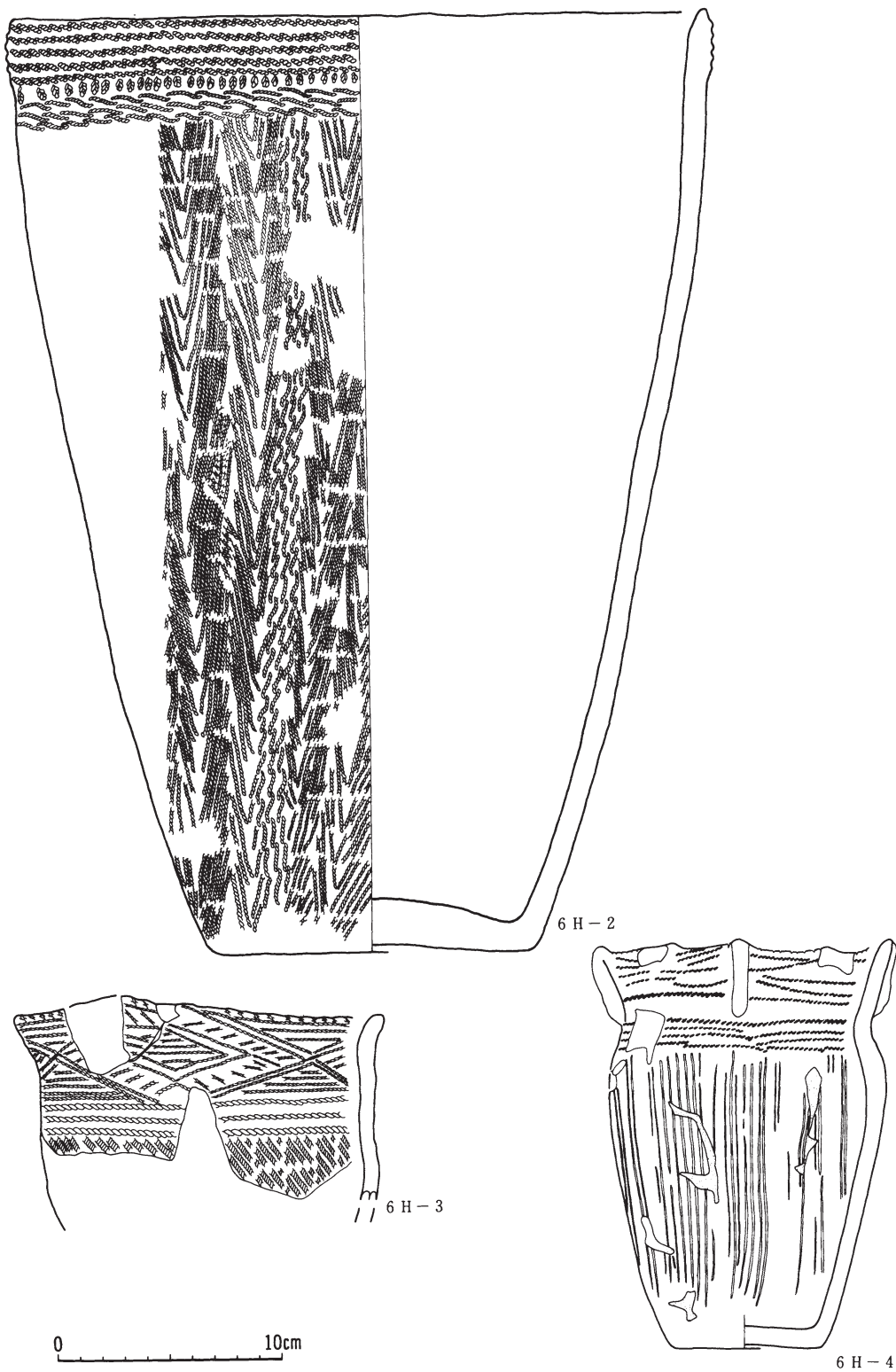
第28图 第1号住居跡出土土器④



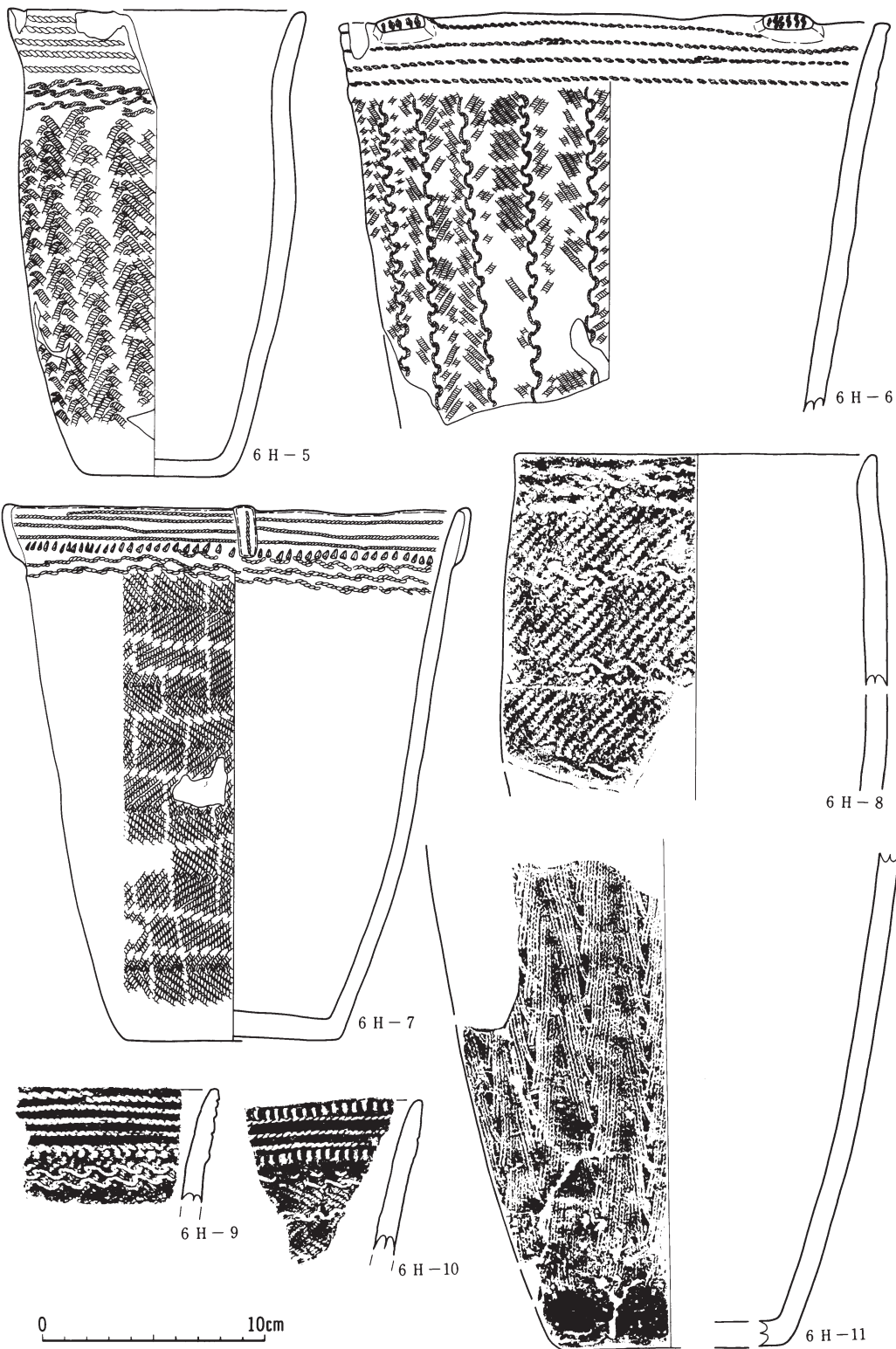
第29图 第2号住居跡出土土器



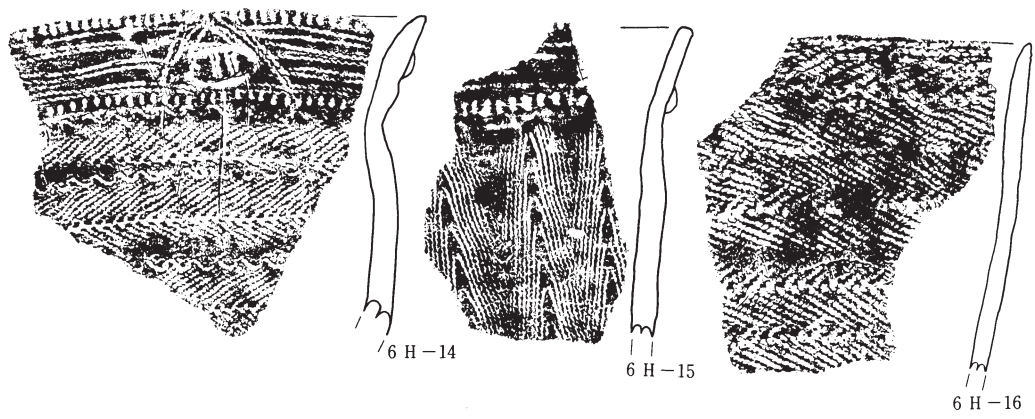
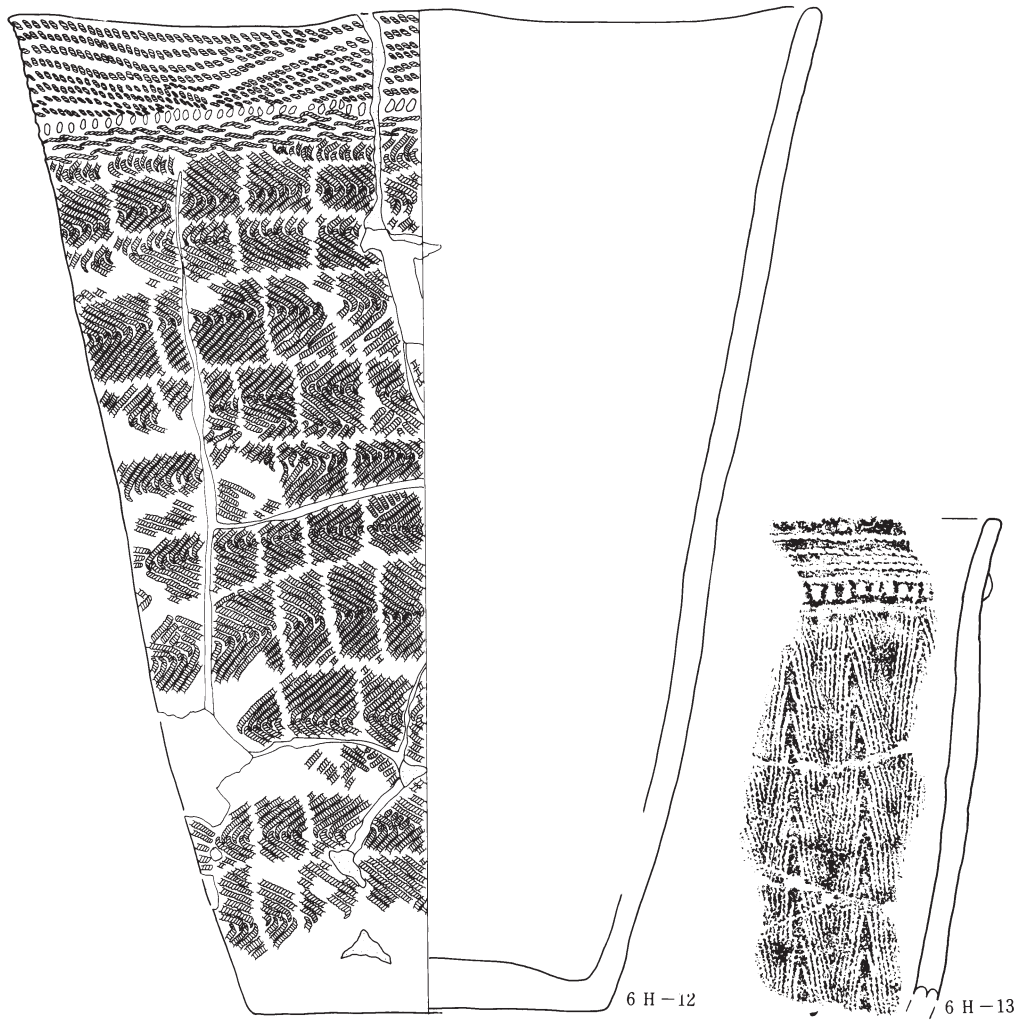
第30图 第3号住居跡・第5号住居跡・第6号住居跡・出土土器①



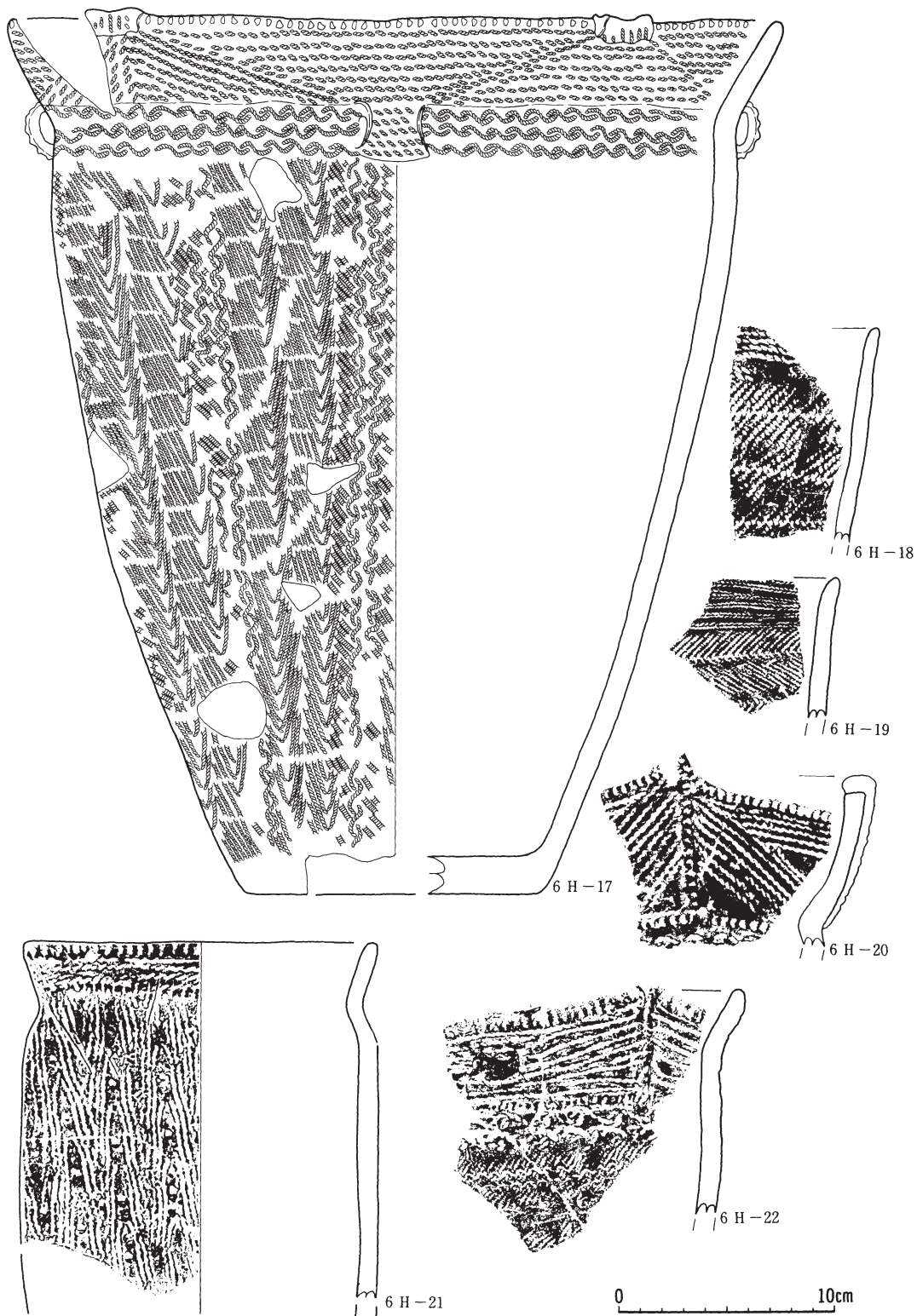
第31图 第6号住居跡出土土器②



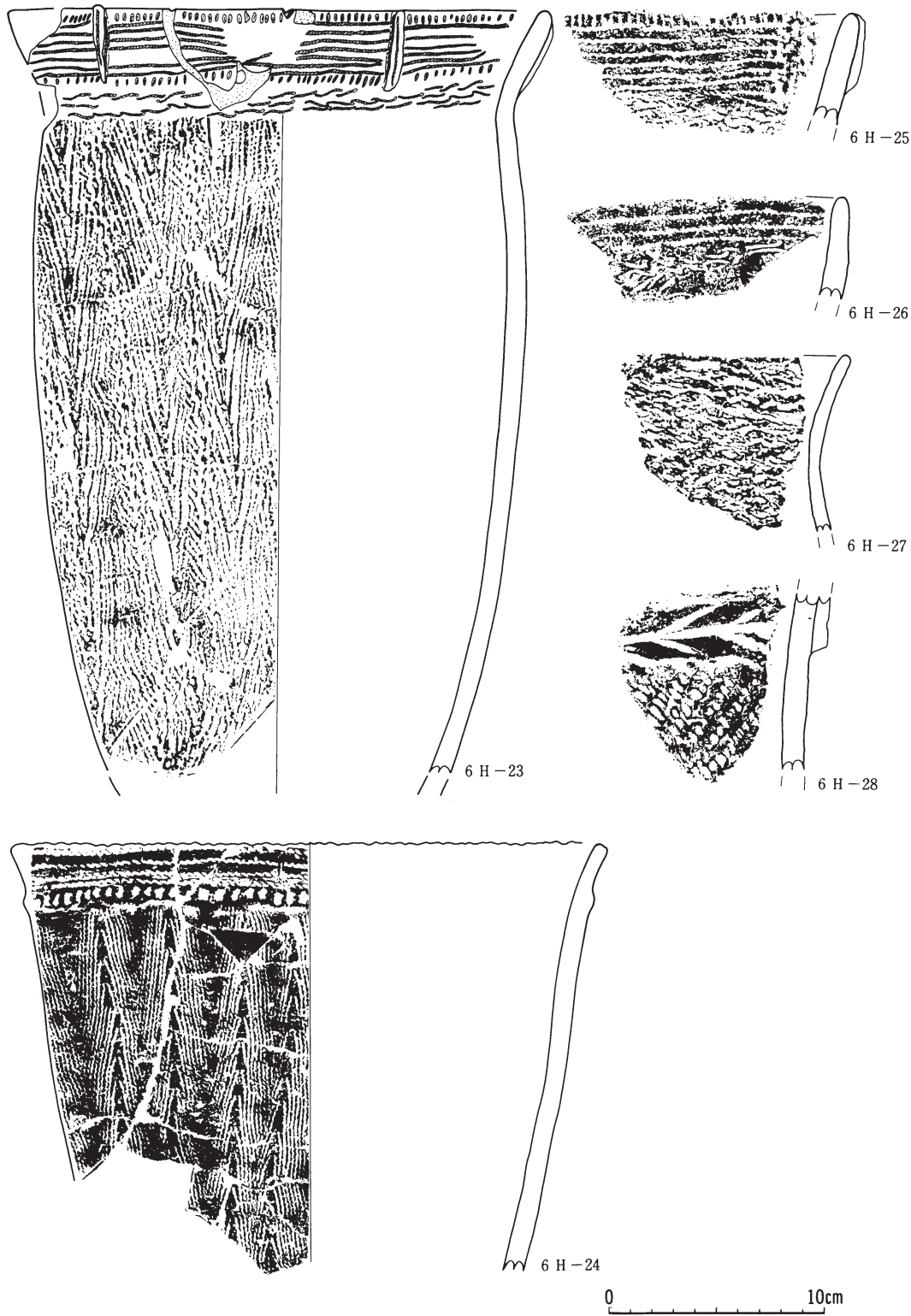
第32图 第6号住居跡出土土器③



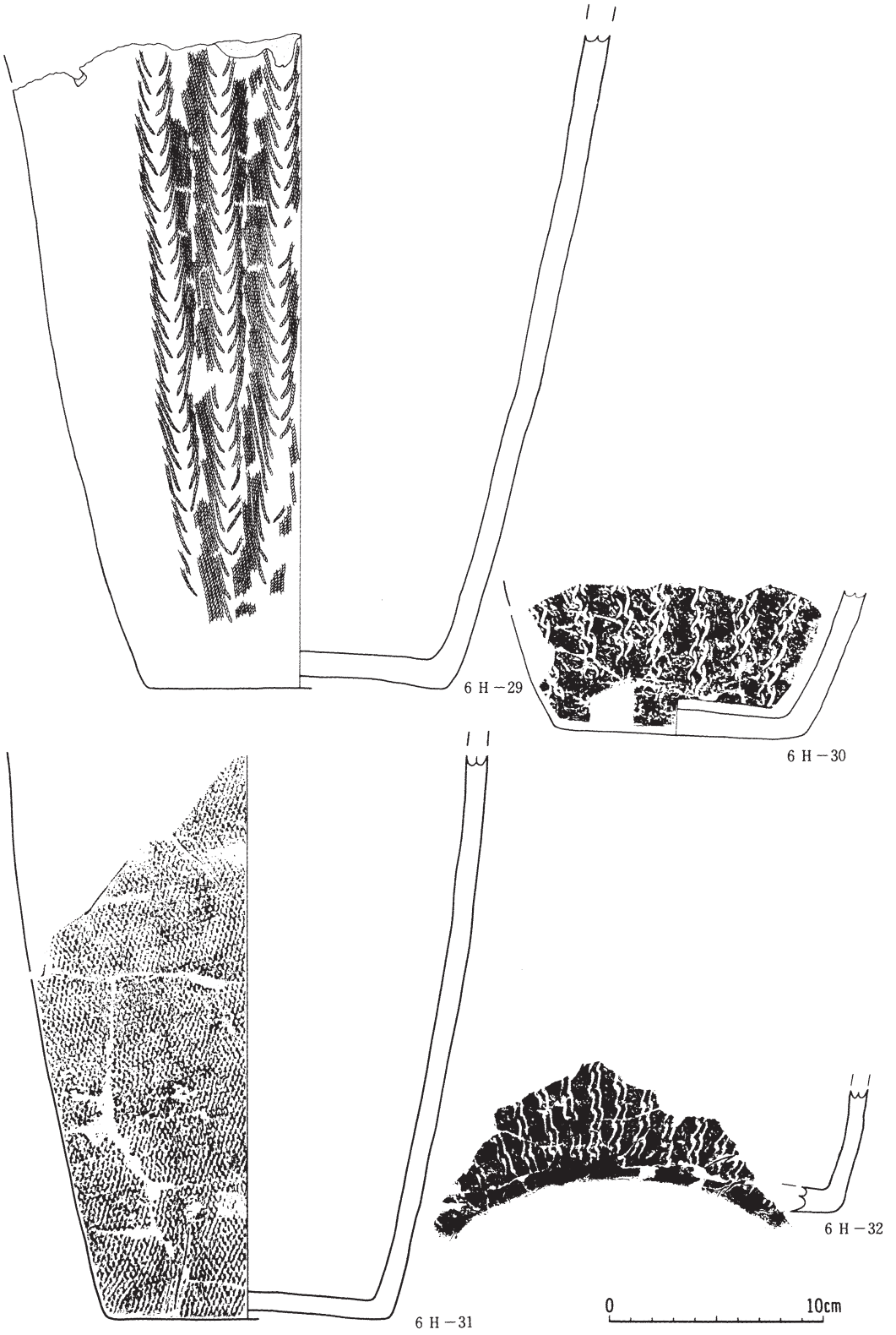
第33图 第6号住居跡出土土器④



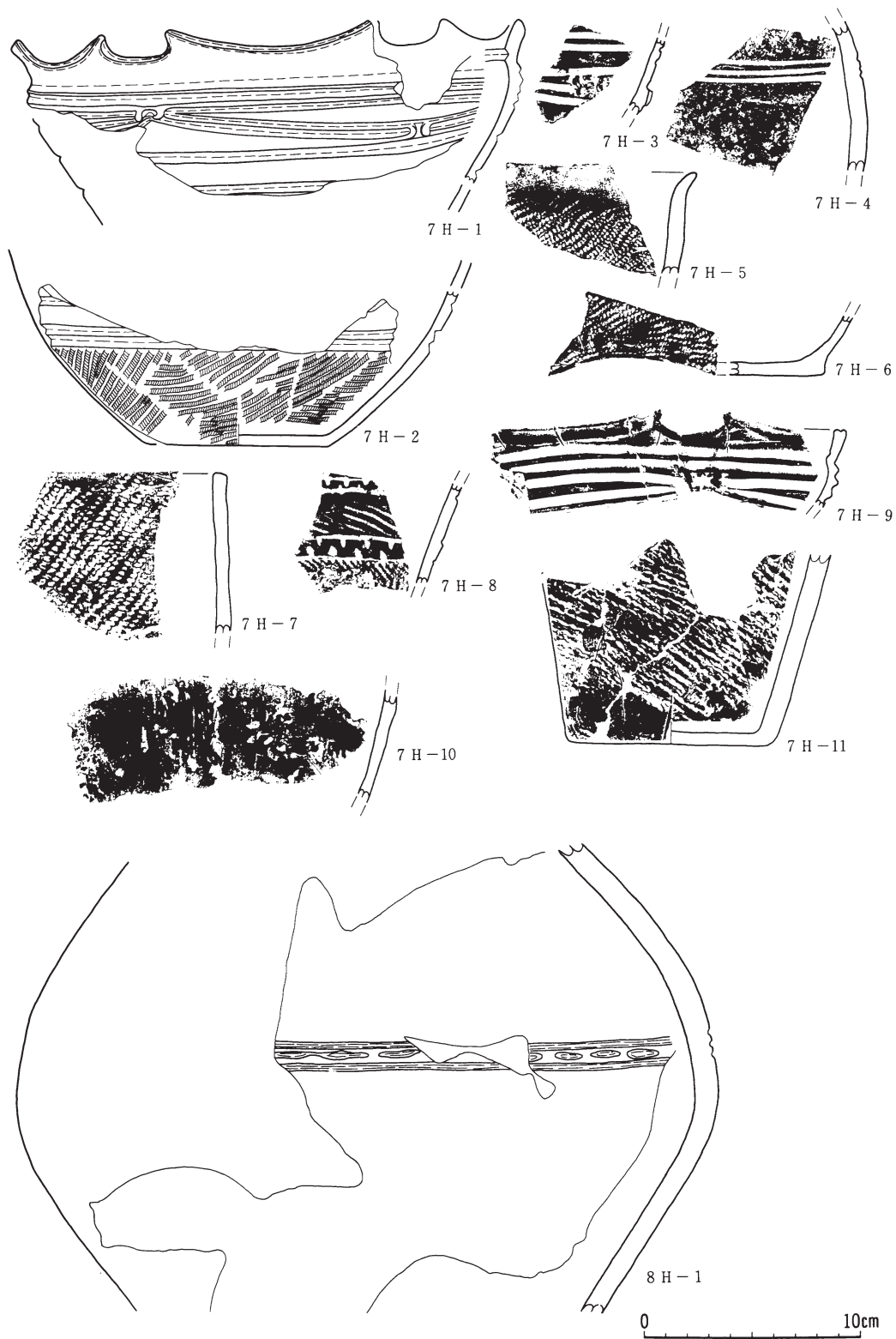
第34图 第6号住居跡出土土器⑤



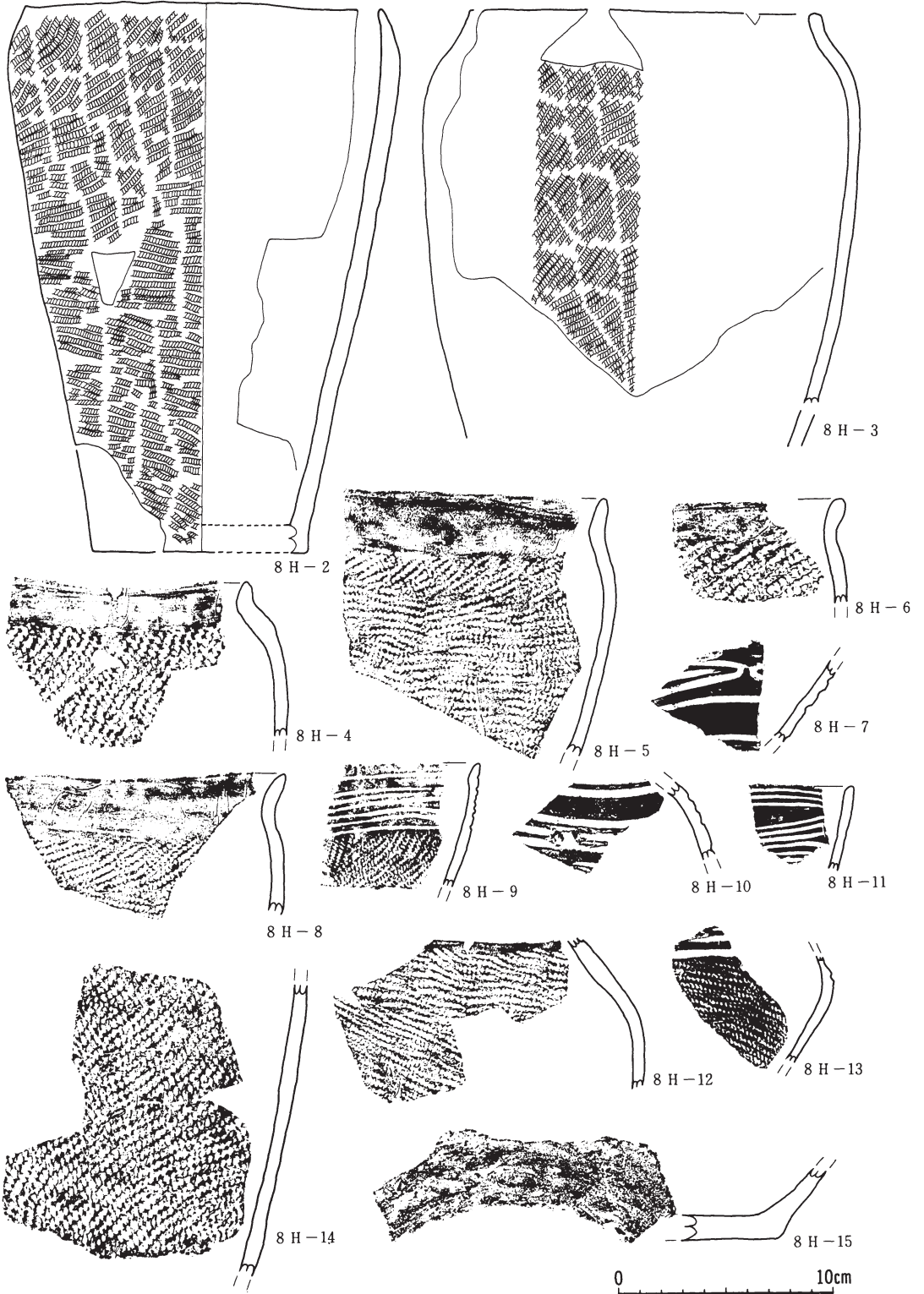
第35图 第6号住居跡出土土器⑥



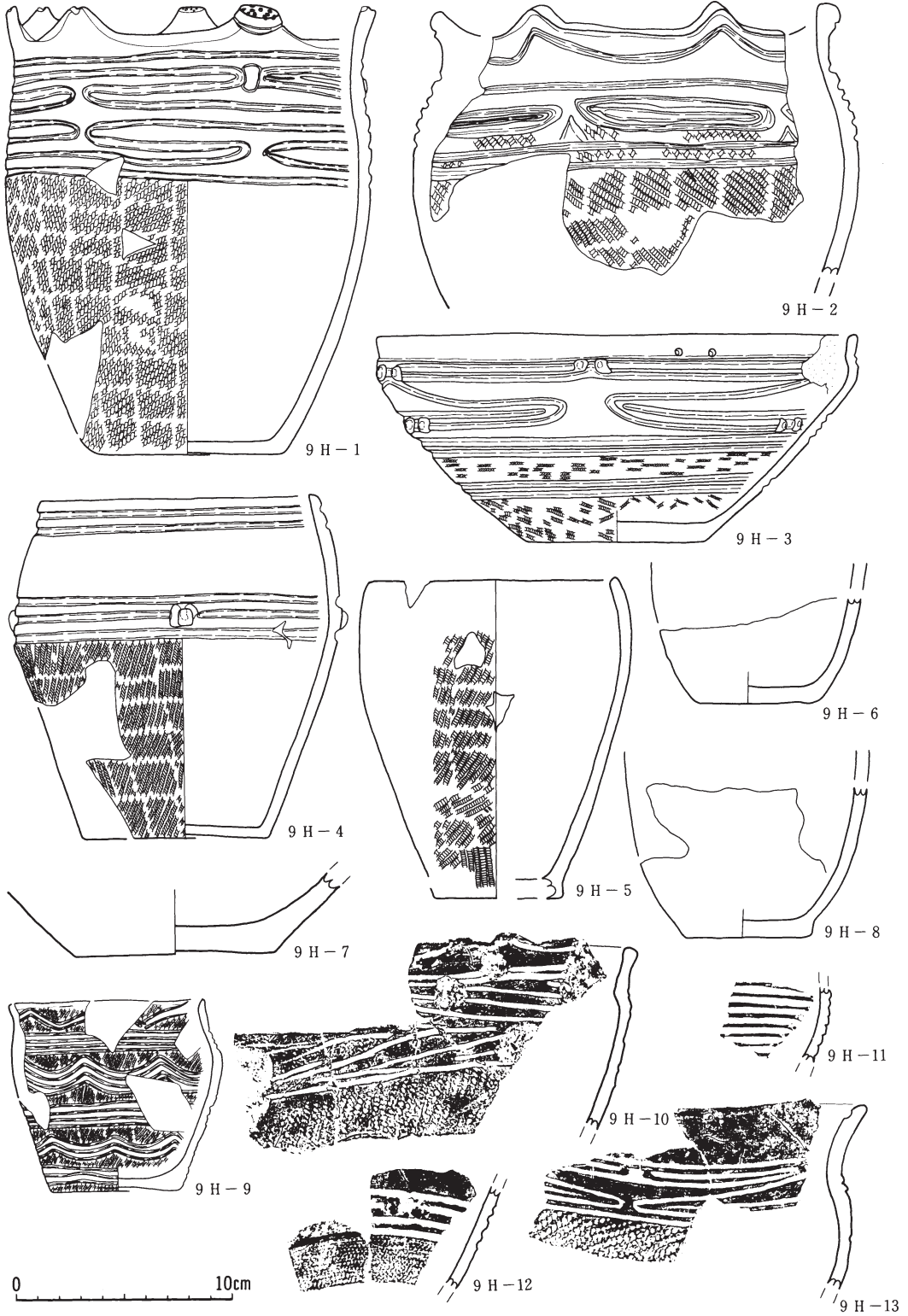
第36图 第6号住居跡出土土器⑦



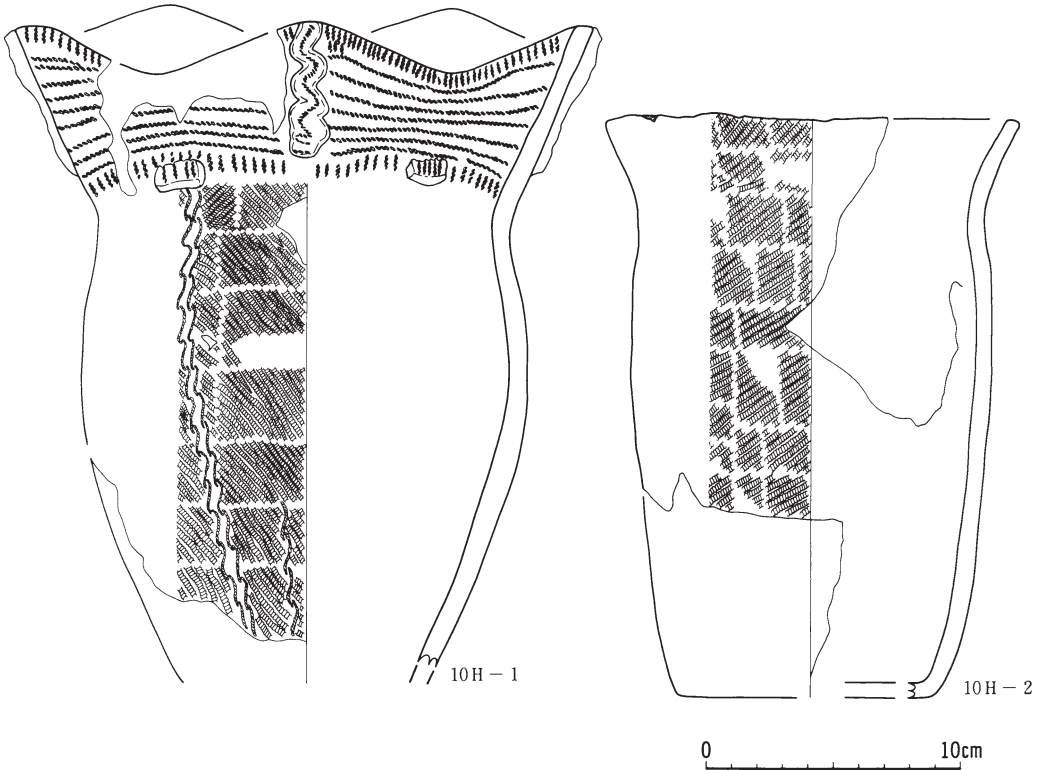
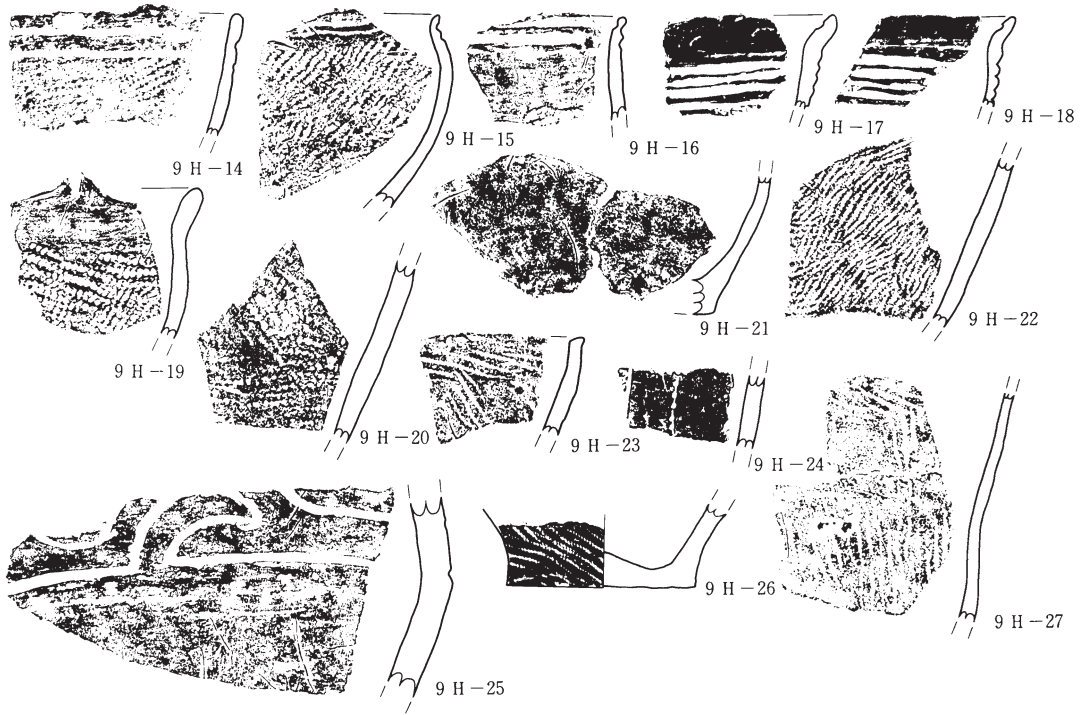
第37图 第7号住居跡出土土器・第8号住居跡出土土器①



第38图 第8号住居跡出土土器②



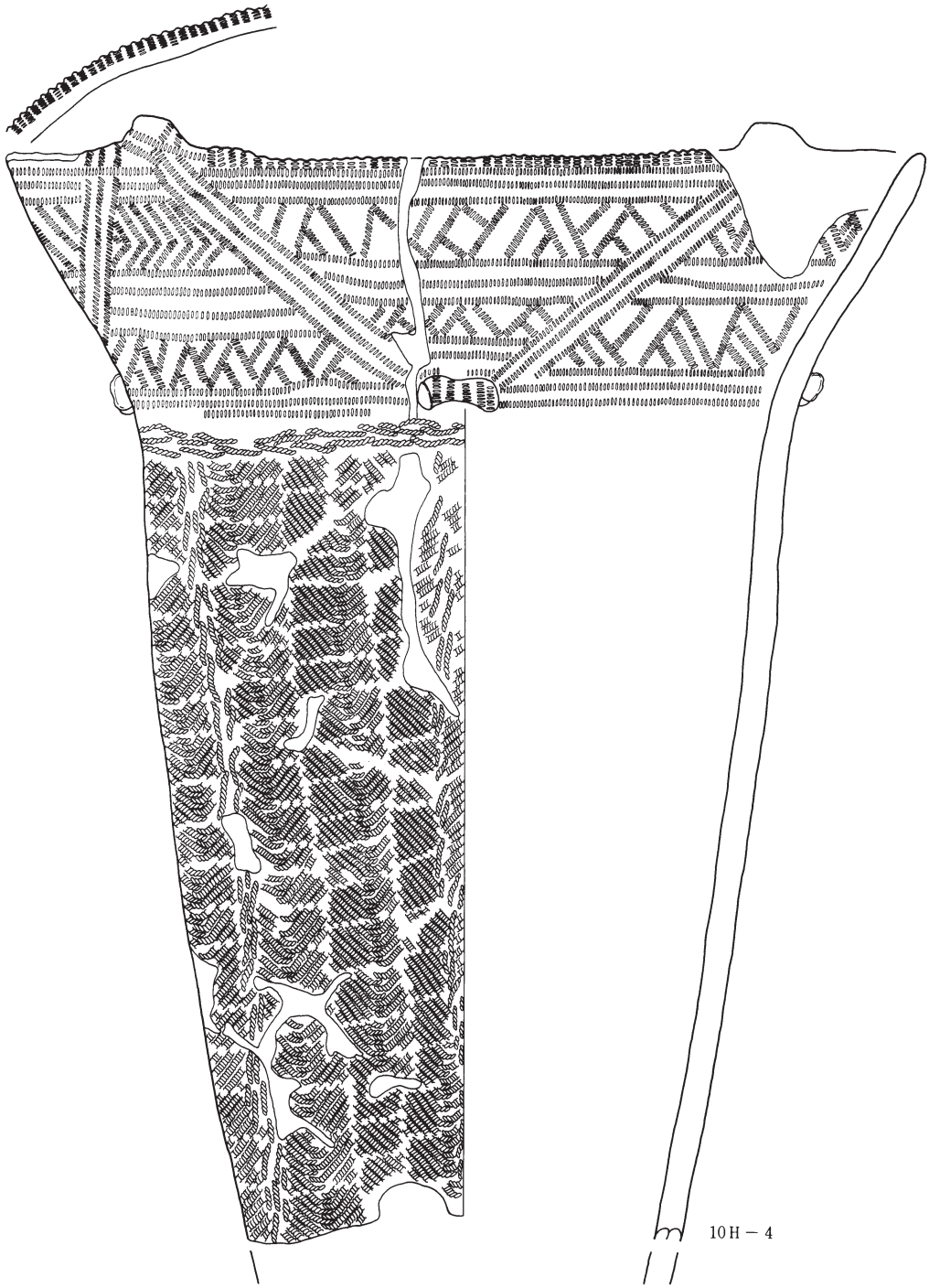
第39图 第9号住居跡出土土器①



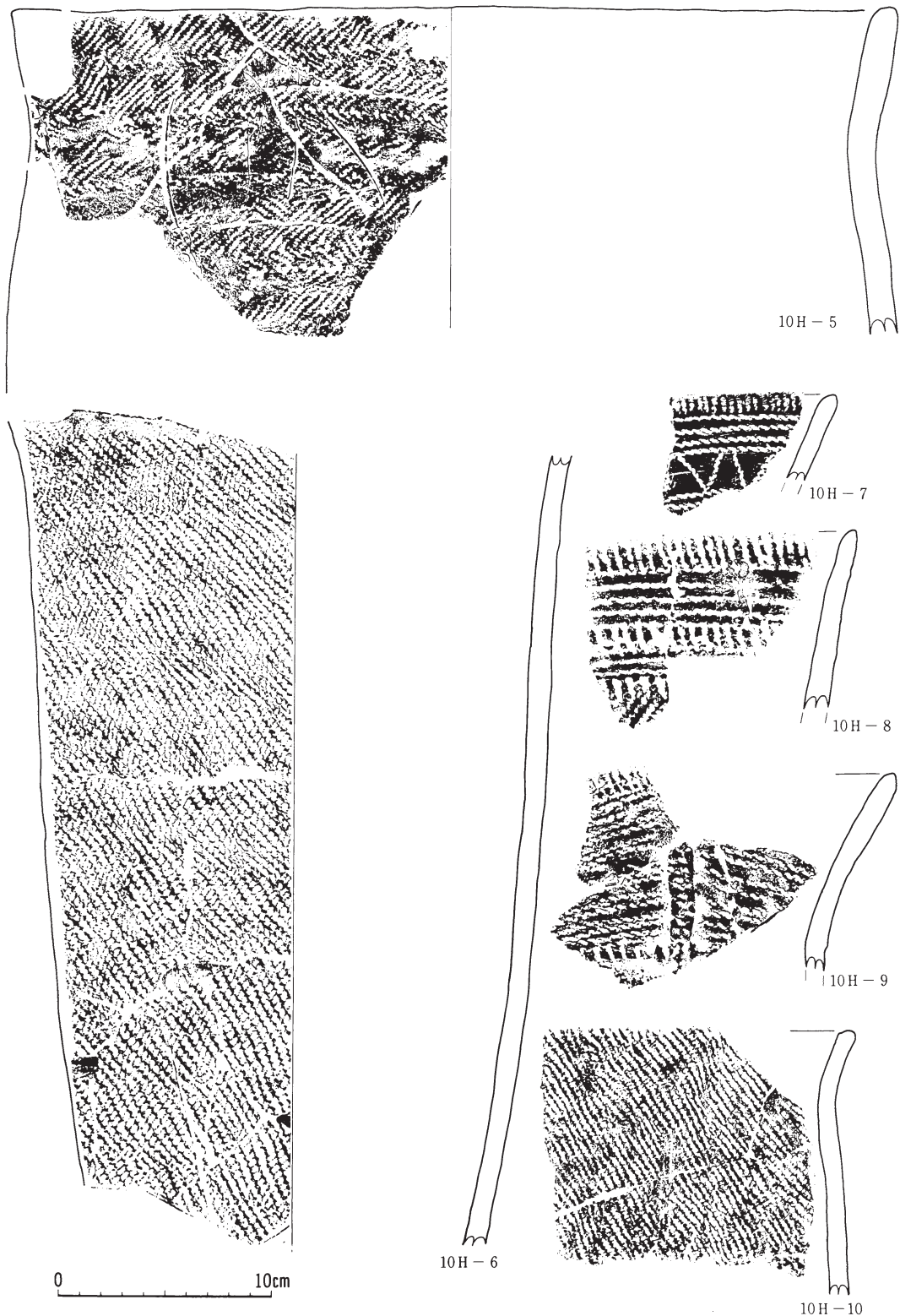
第40图 第9号住居跡出土土器②・第10号住居跡出土土器①



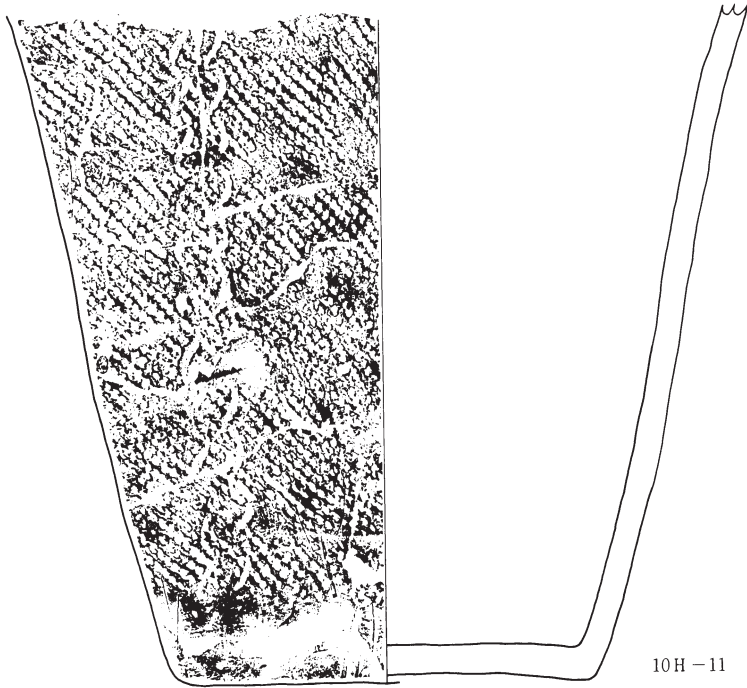
第41图 第10号住居跡出土土器②



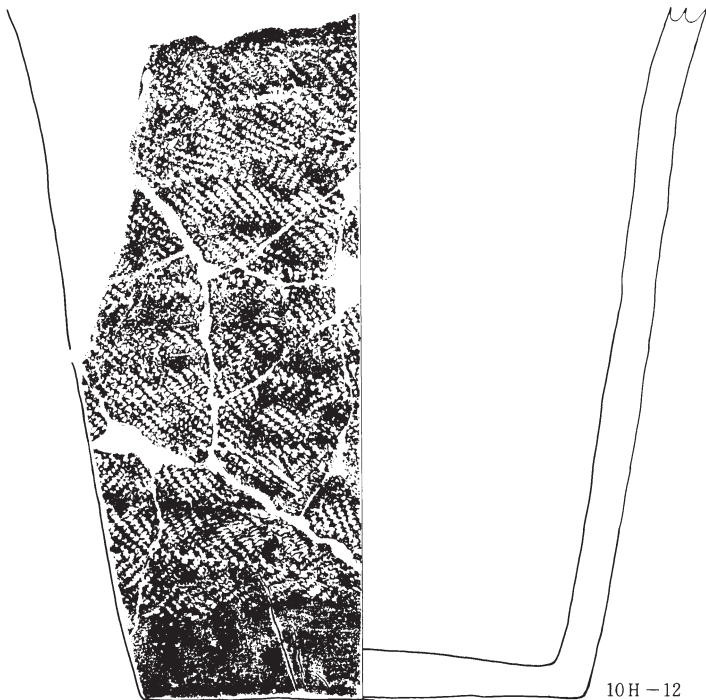
第42图 第10号住居跡出土土器③



第43图 第10号住居跡出土土器④



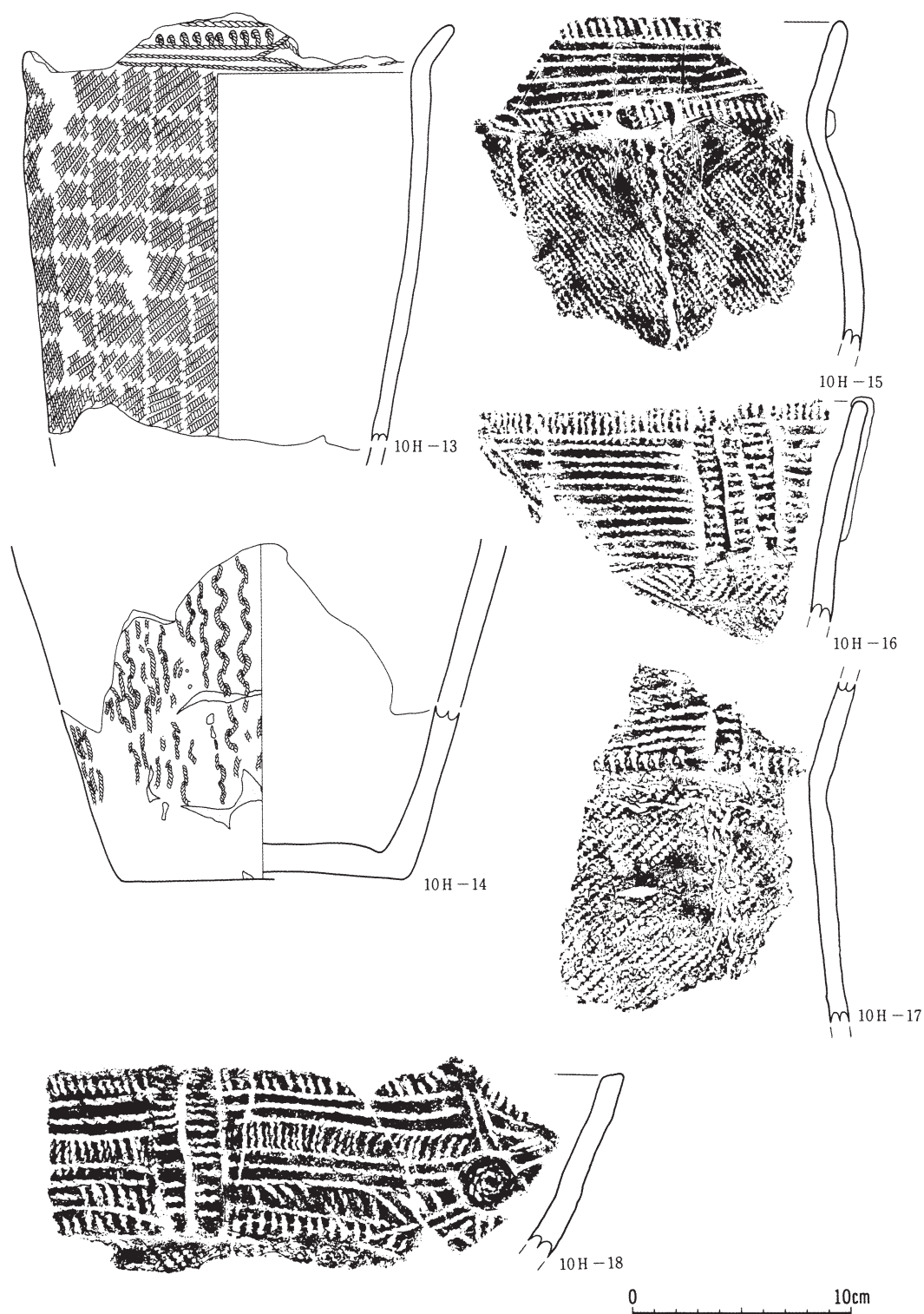
10H-11



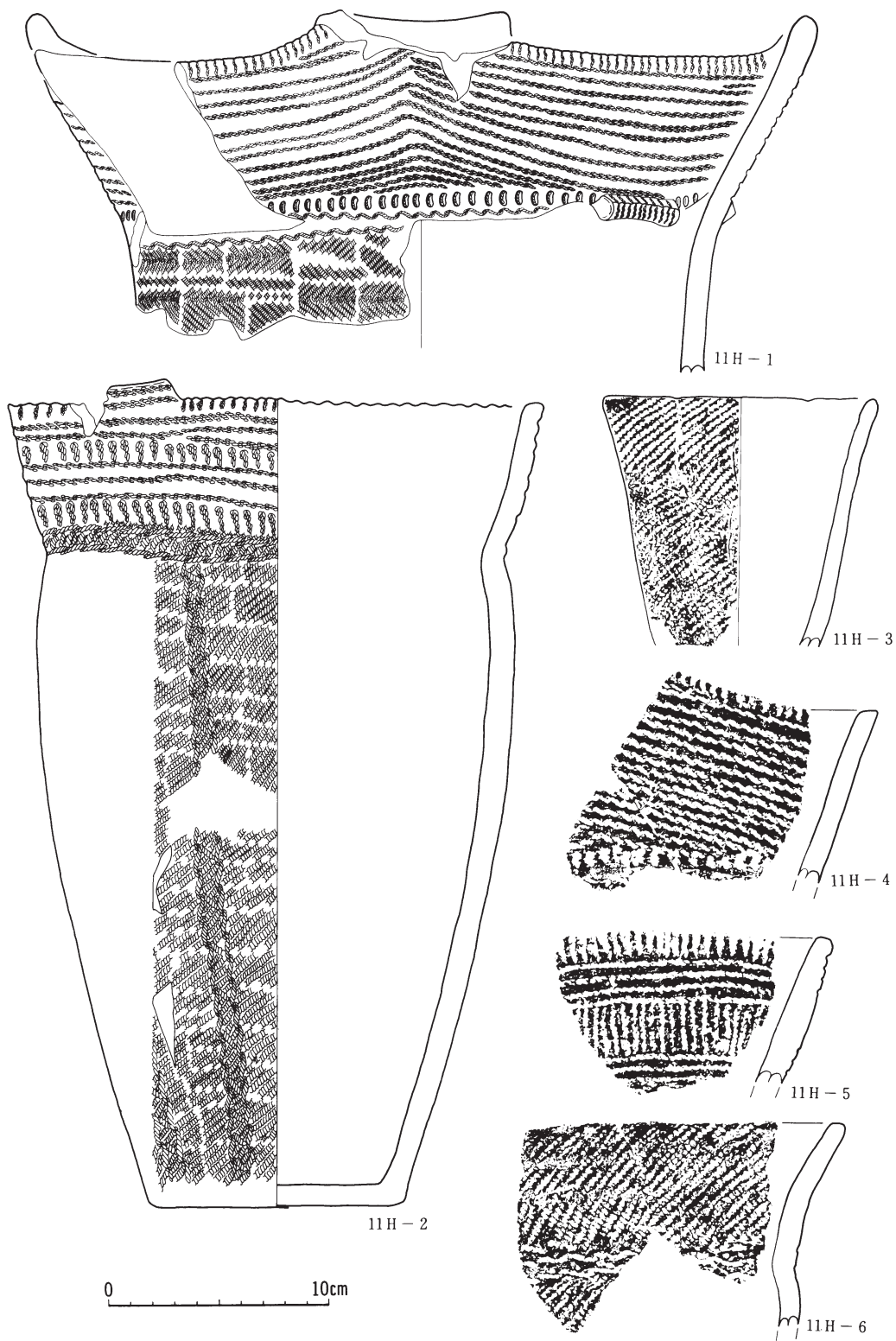
10H-12

0 10cm

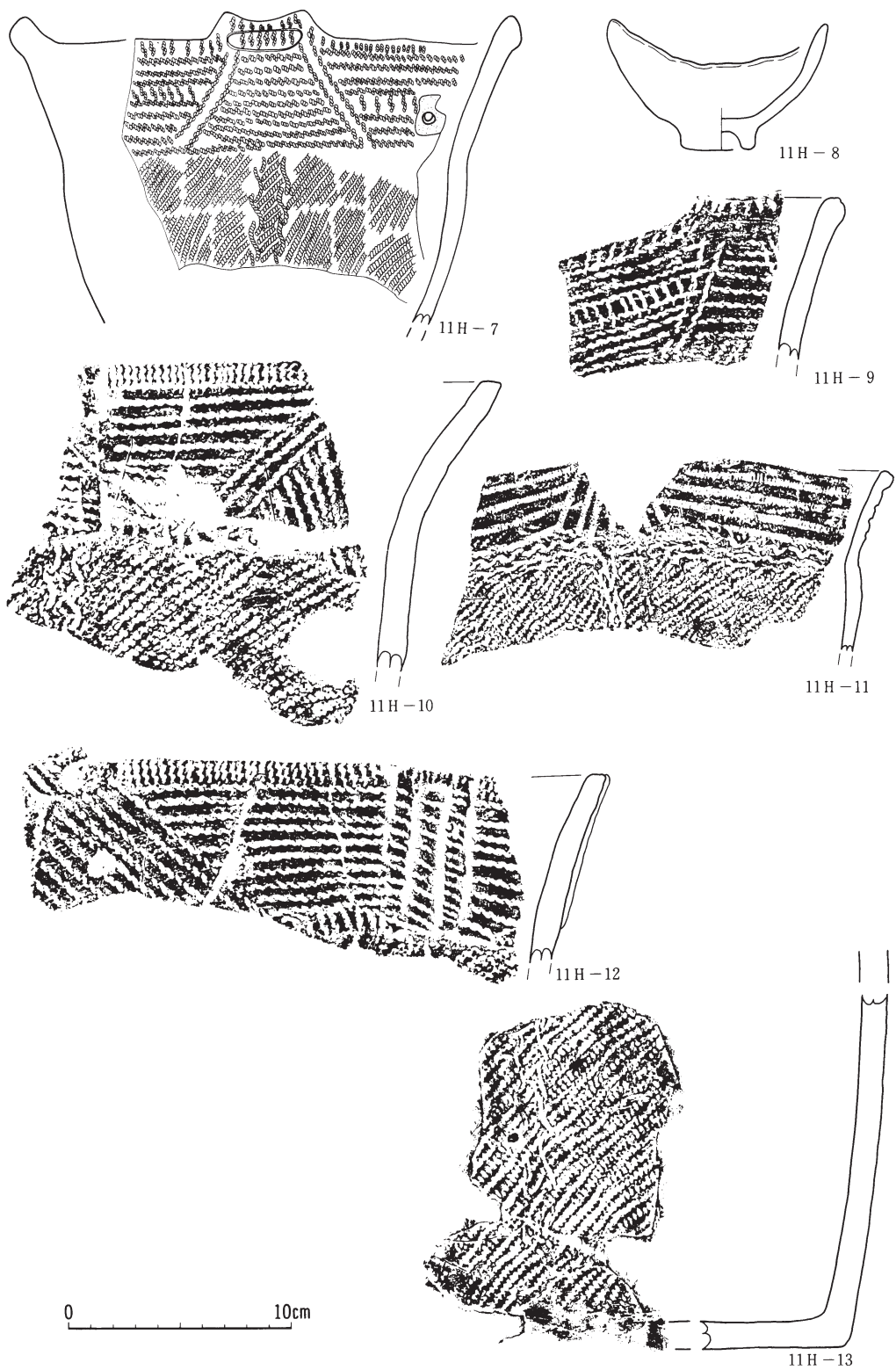
第44图 第10号住居跡出土土器⑤



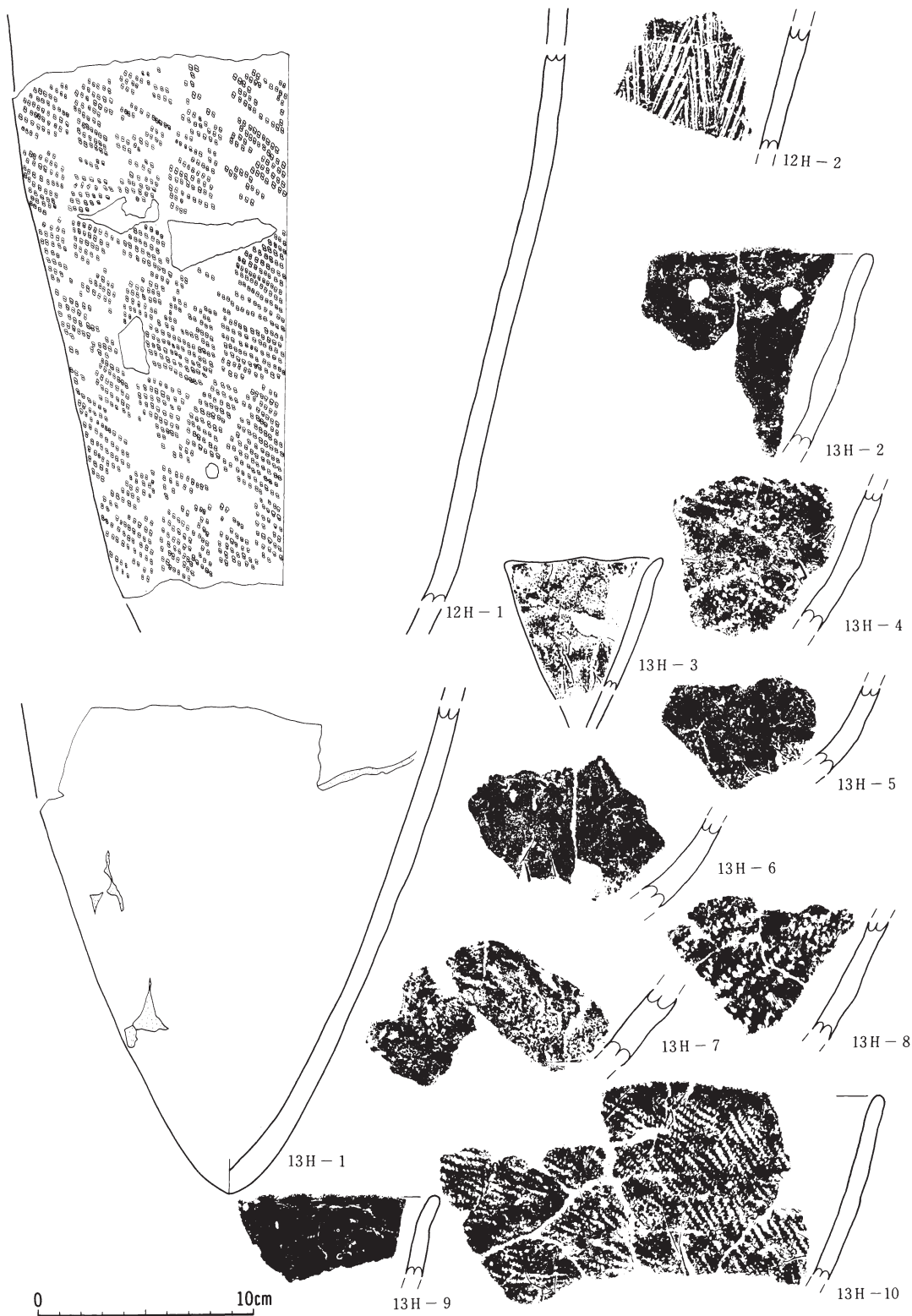
第45图 第10号住居跡出土土器⑥



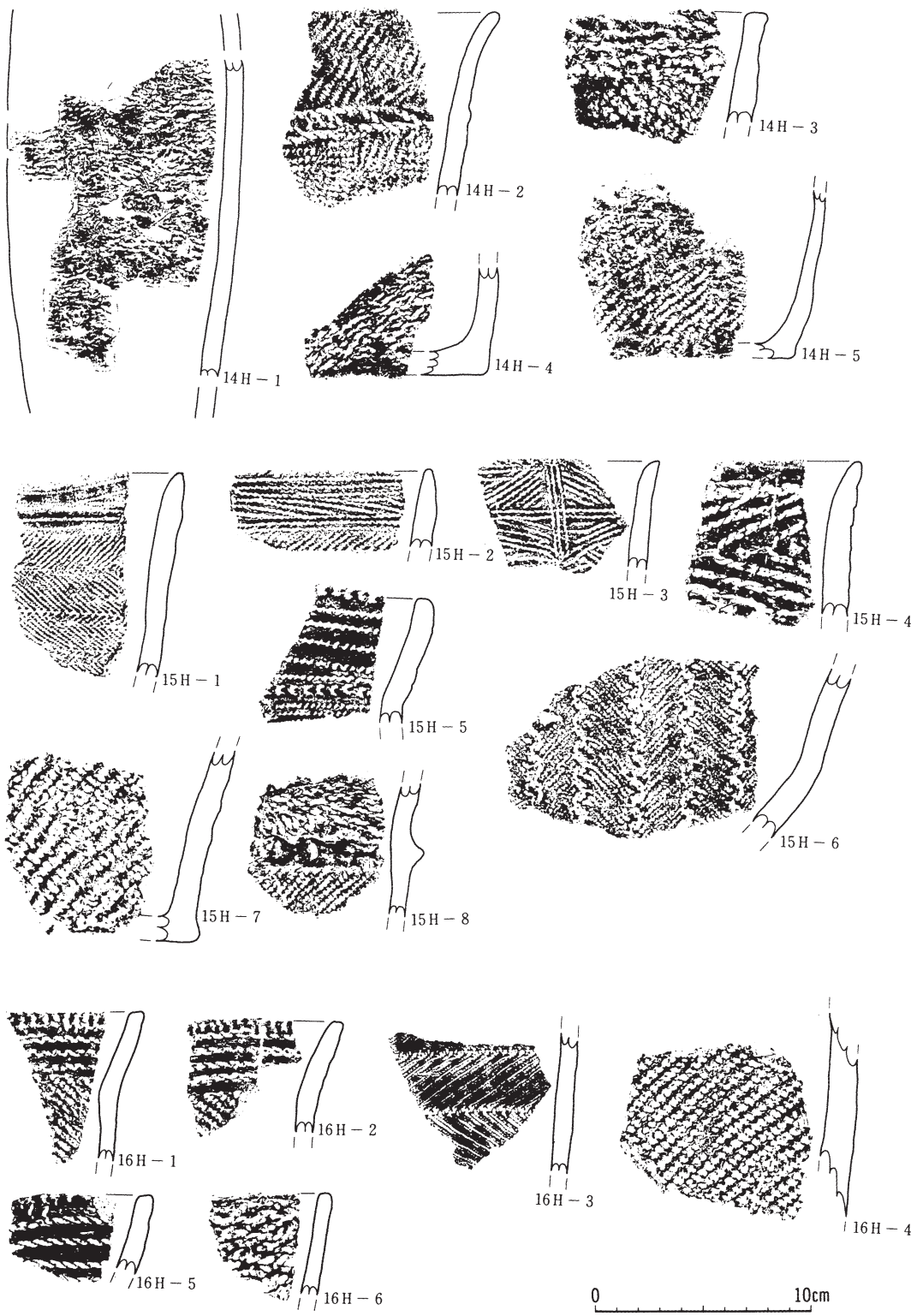
第46图 第11号住居跡出土土器①



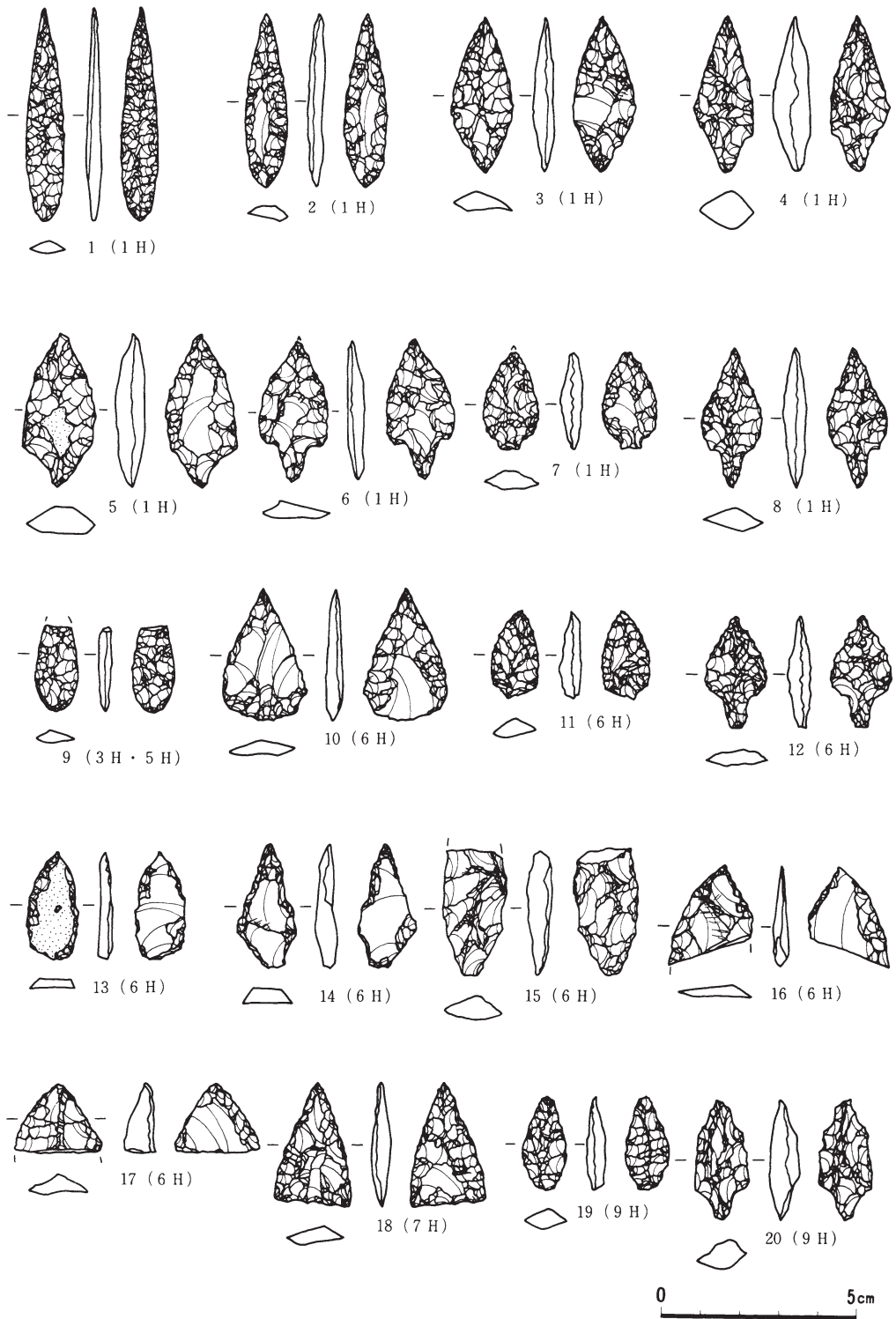
第47图 第11号住居跡出土土器②



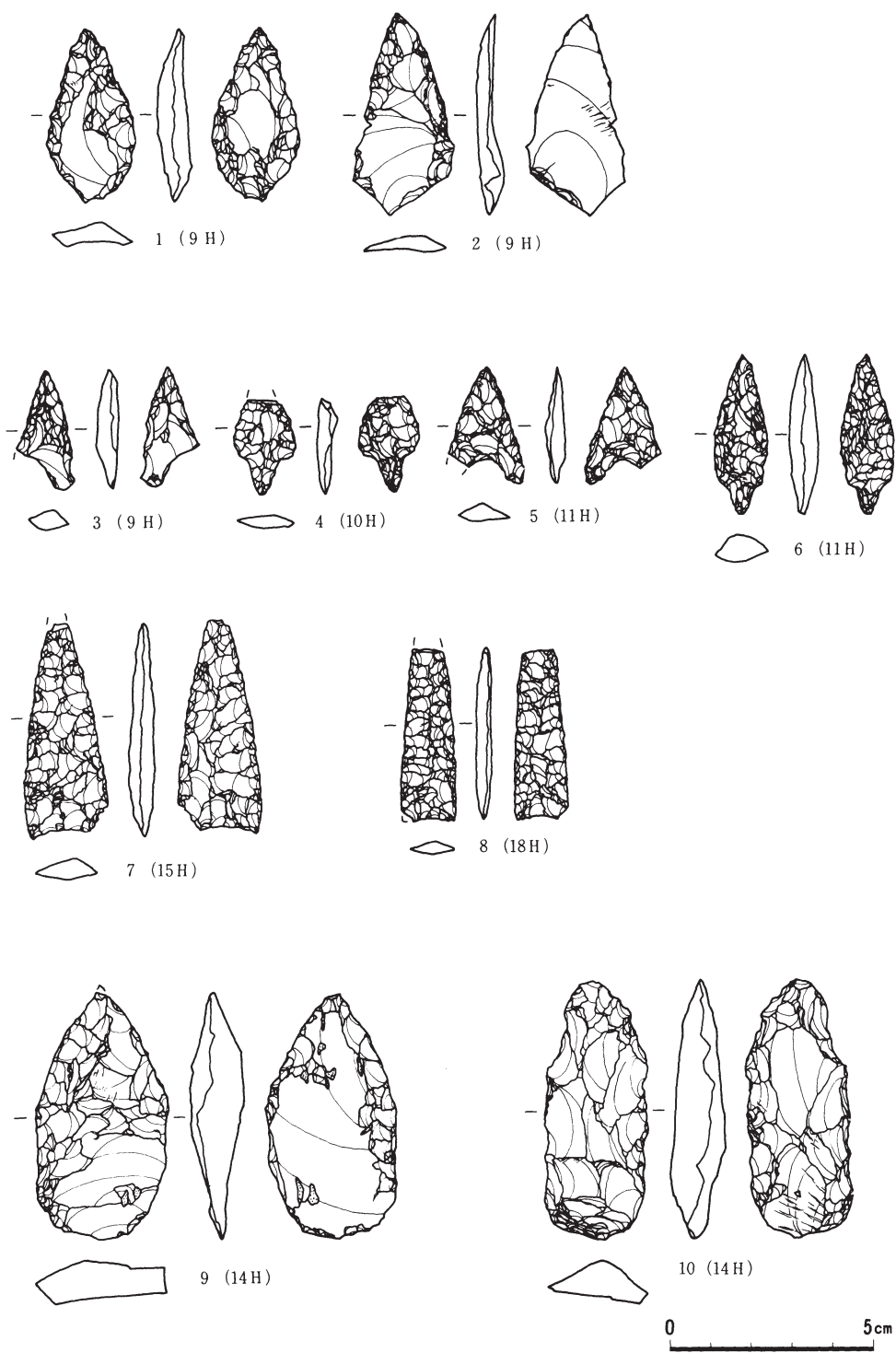
第48图 第12号住居跡出土土器・第13号住居跡出土土器



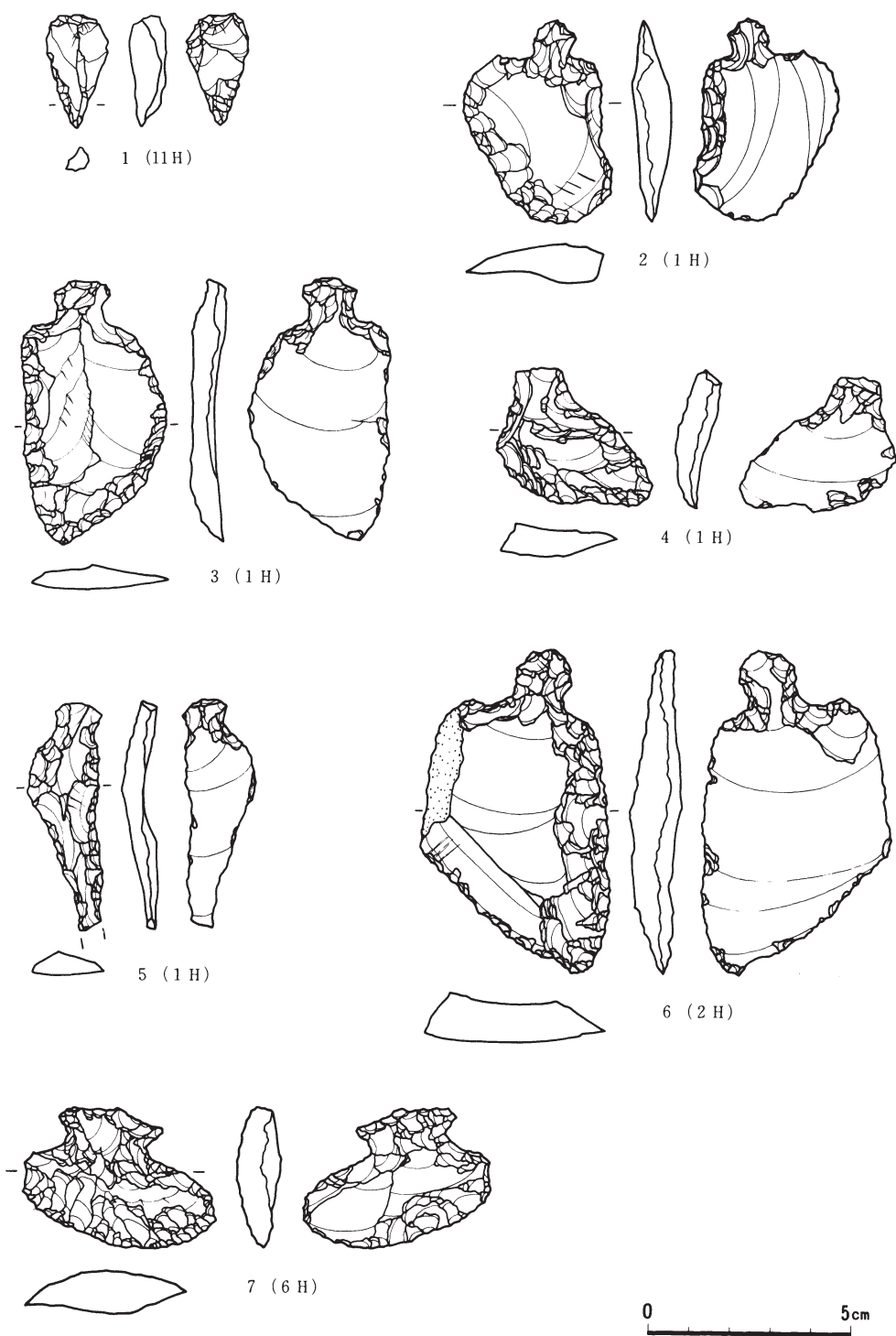
第49图 第14号住居跡・第15号住居跡・第16号住居跡出土土器



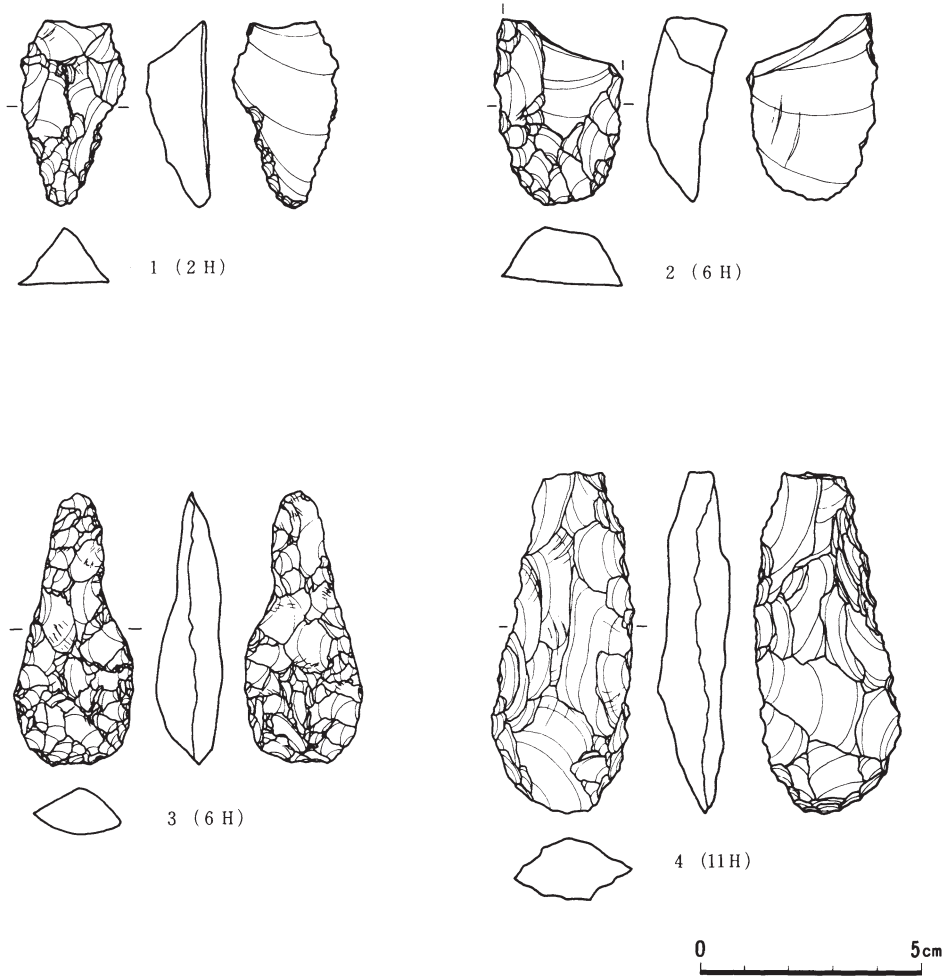
第50图 住居跡内出土石器 (1)



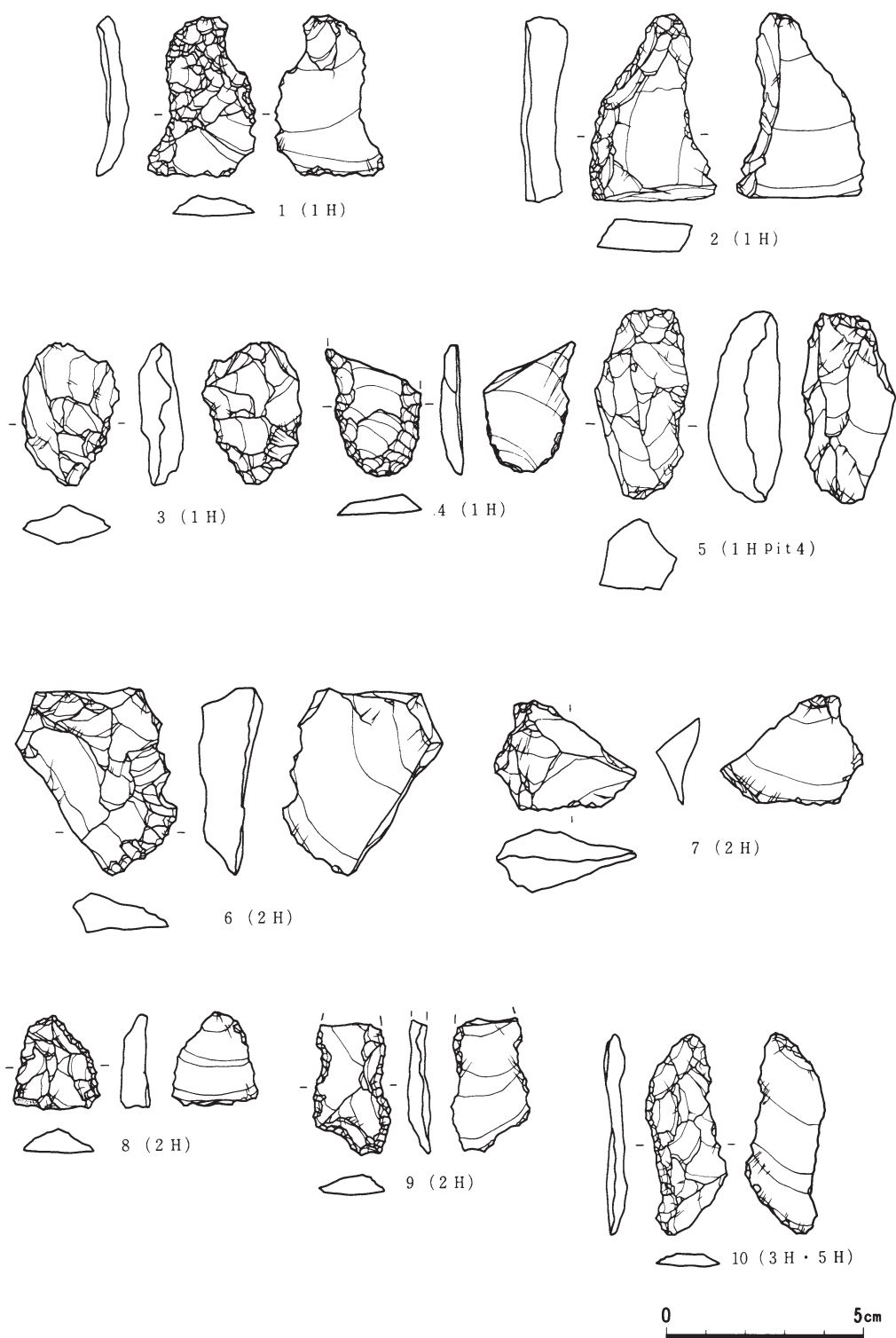
第51図 住居跡内出土石器(2)



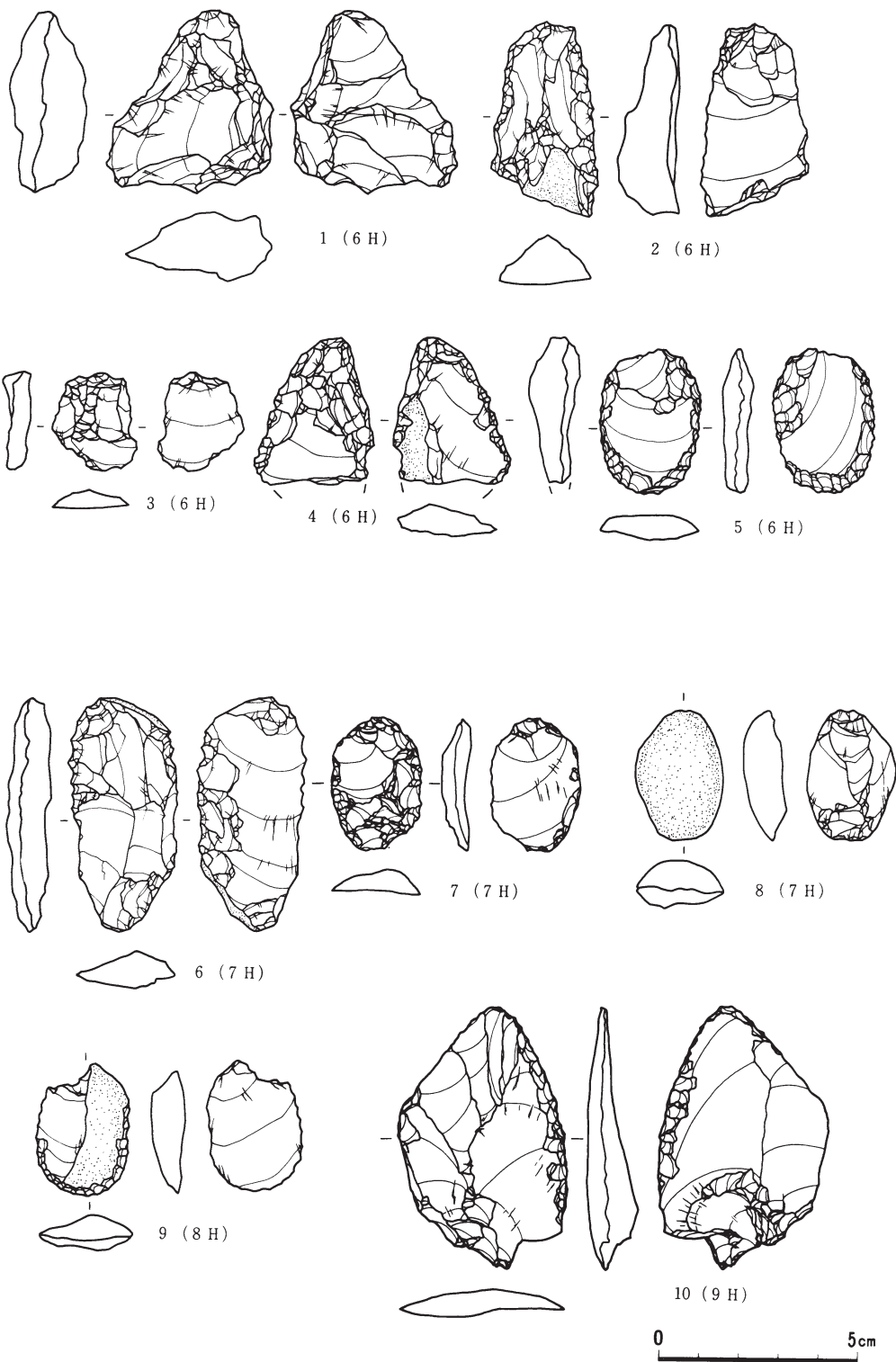
第52図 住居跡内出土石器 (3)



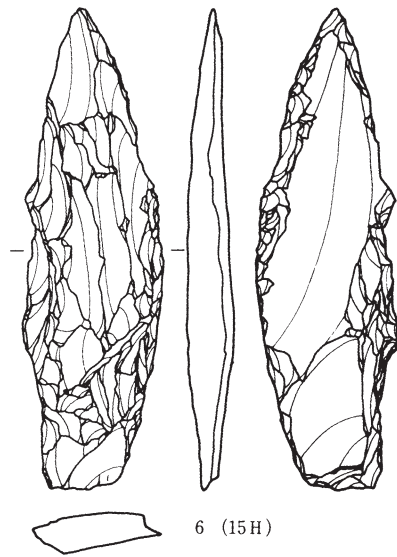
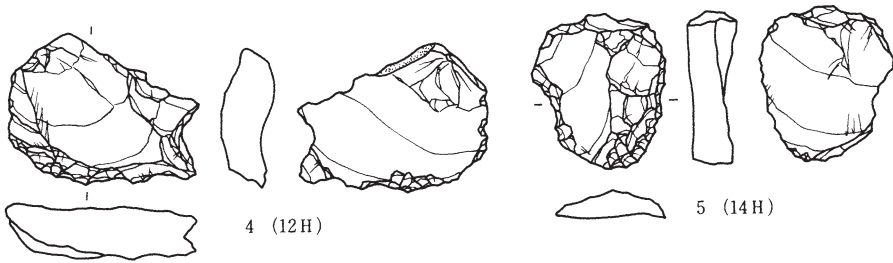
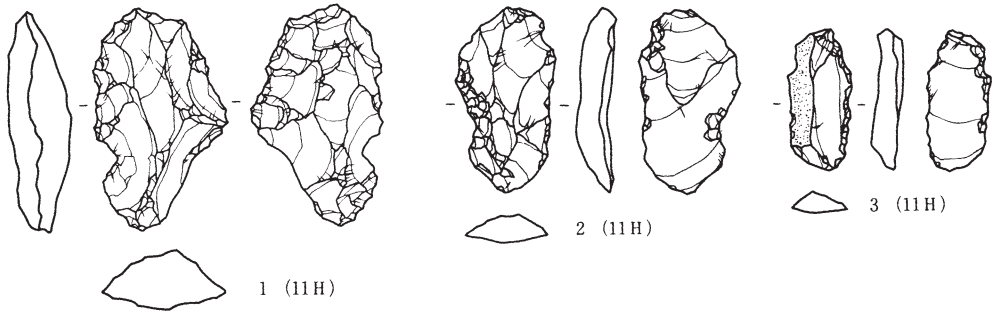
第53図 住居跡内出土石器（4）



第54図 住居跡内出土石器 (5)

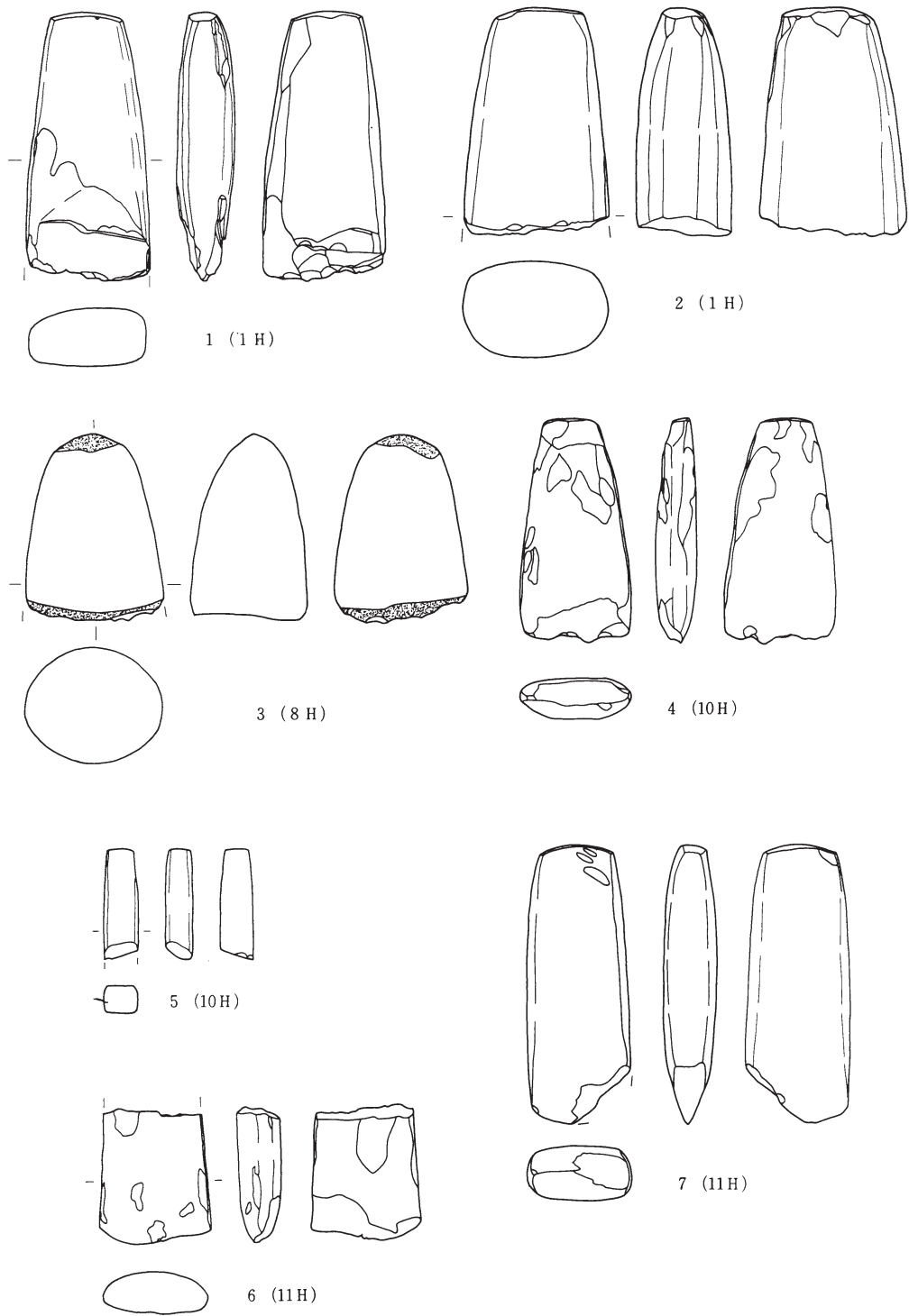


第55図 住居跡内出土石器 (6)



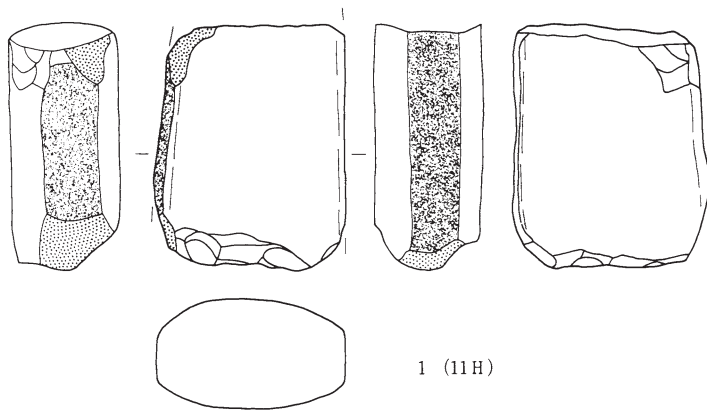
0 5cm

第56図 住居跡内出土石器 (7)

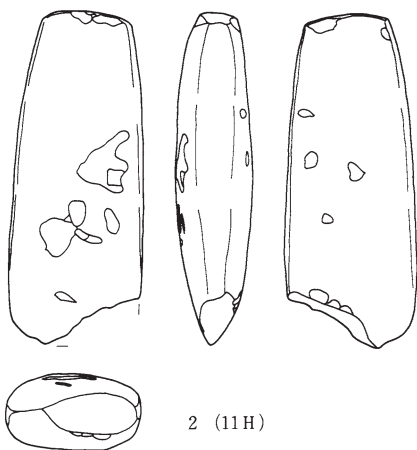


0
|
|
 10cm

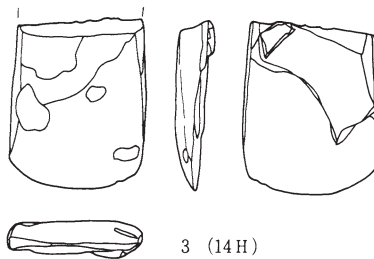
第57図 住居跡内出土石器 (8)



1 (11H)



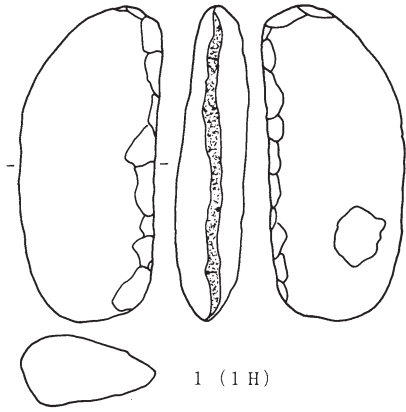
2 (11H)



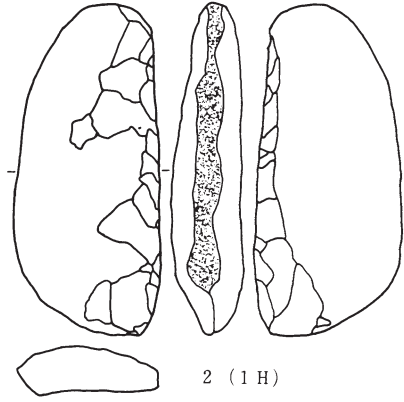
3 (14H)



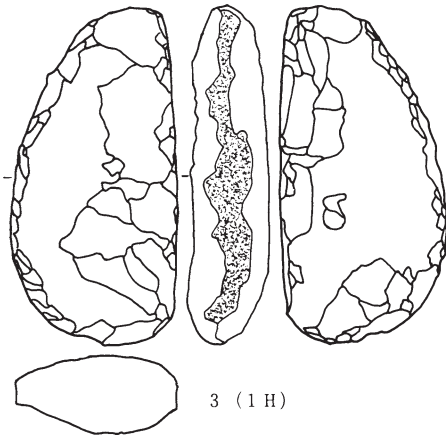
第58図 住居跡内出土石器 (9)



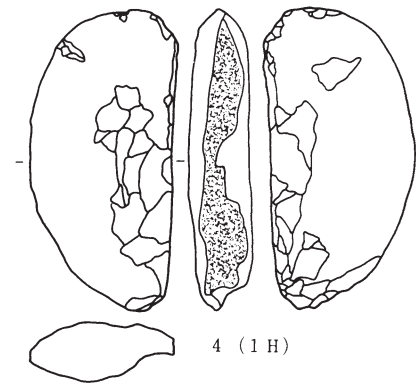
1 (1H)



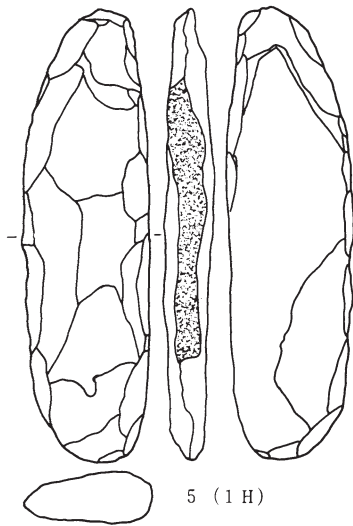
2 (1H)



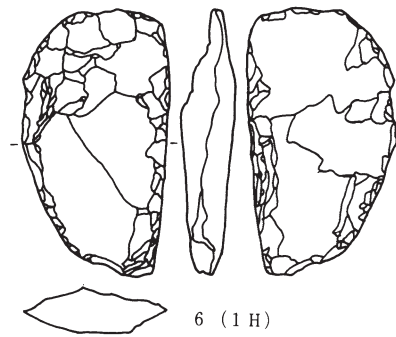
3 (1H)



4 (1H)



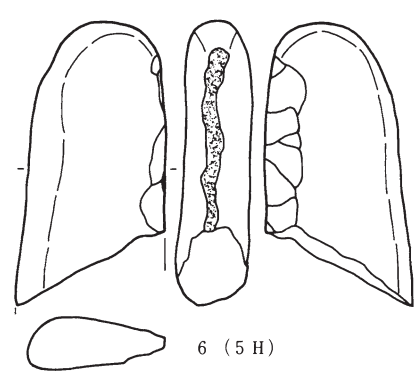
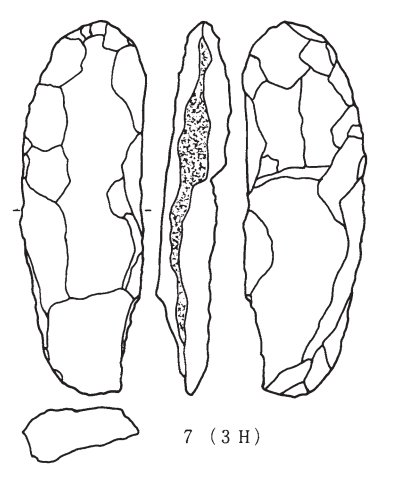
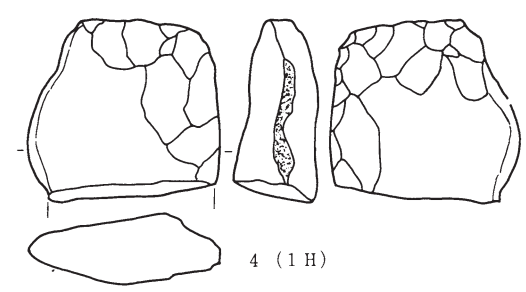
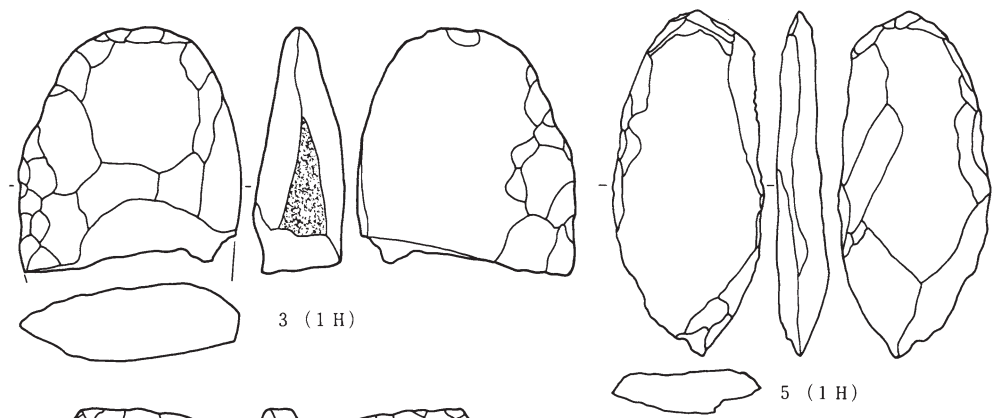
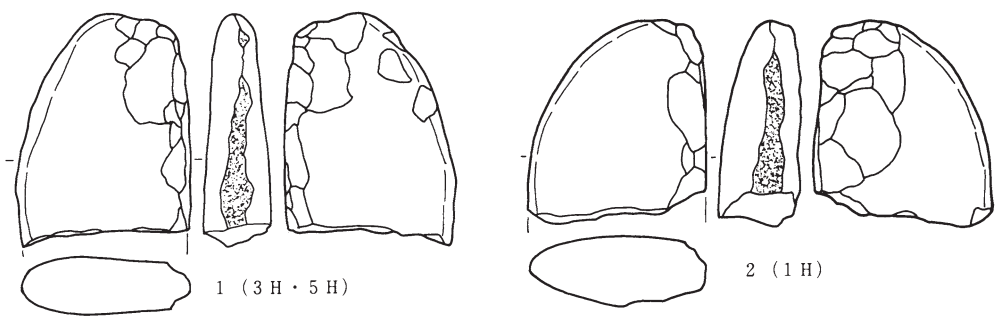
5 (1H)



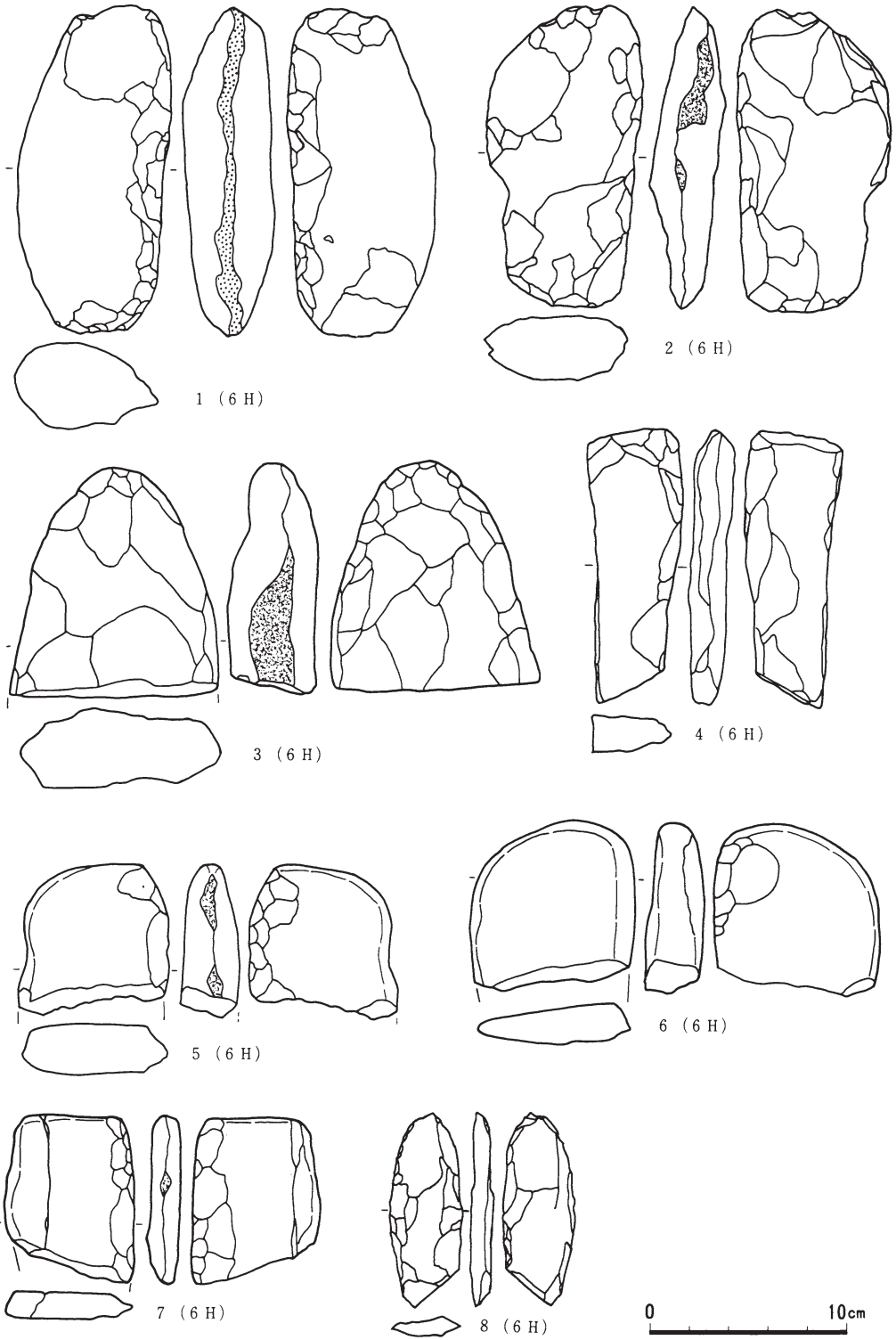
6 (1H)



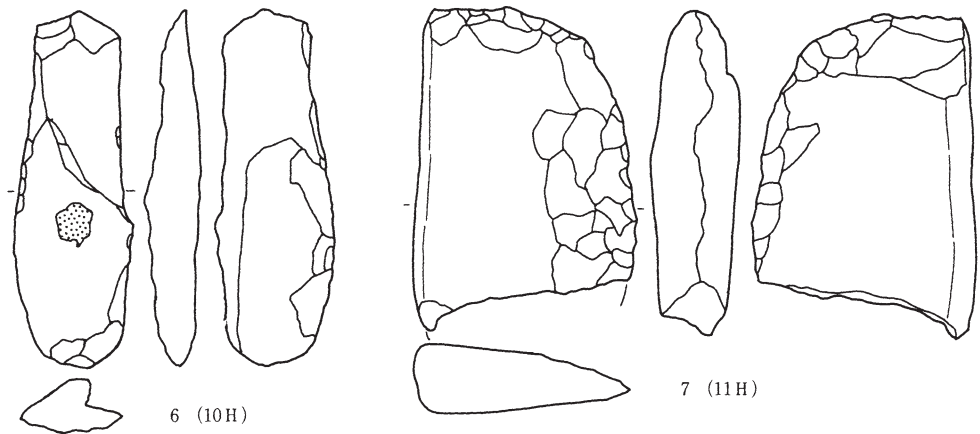
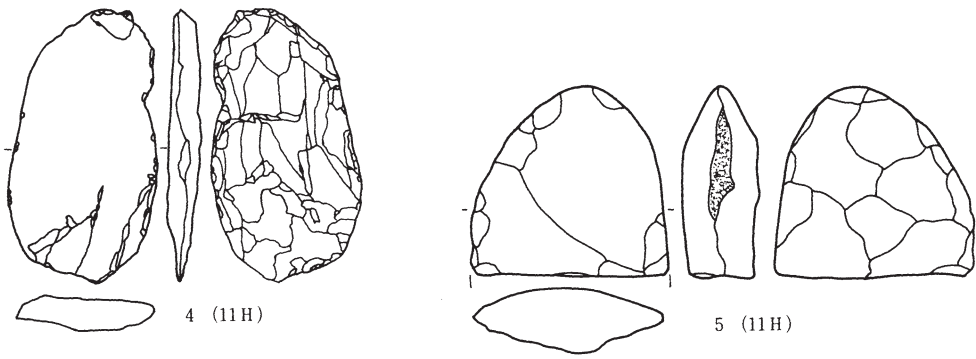
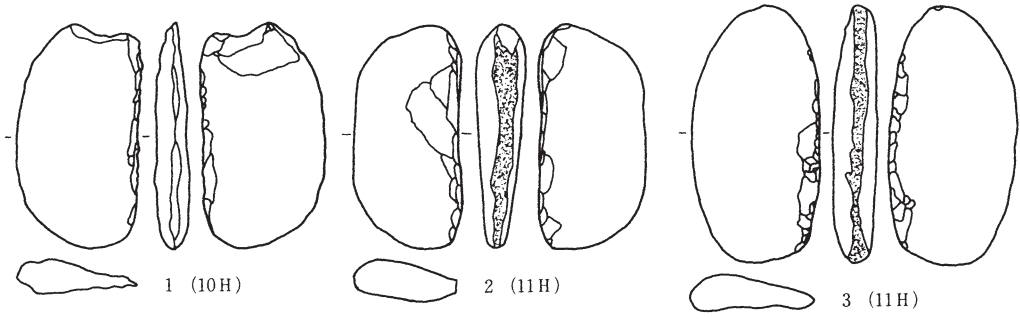
第59図 住居跡内出土石器 (10)



第60図 住居跡内出土石器 (11)

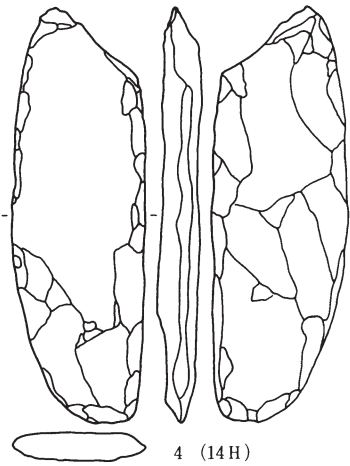
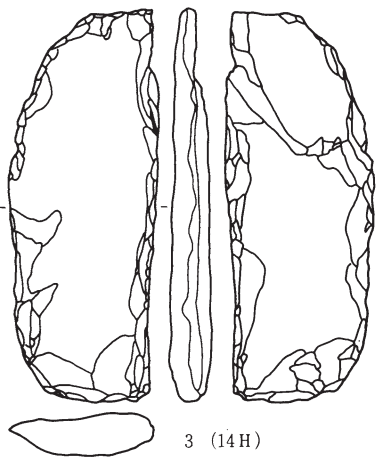
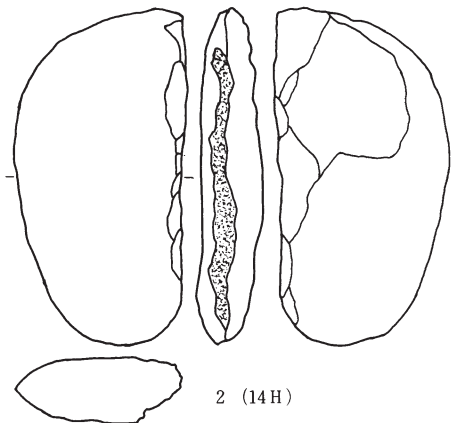
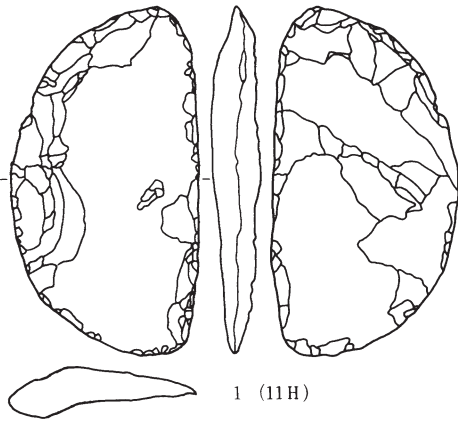


第61図 住居跡内出土石器 (12)

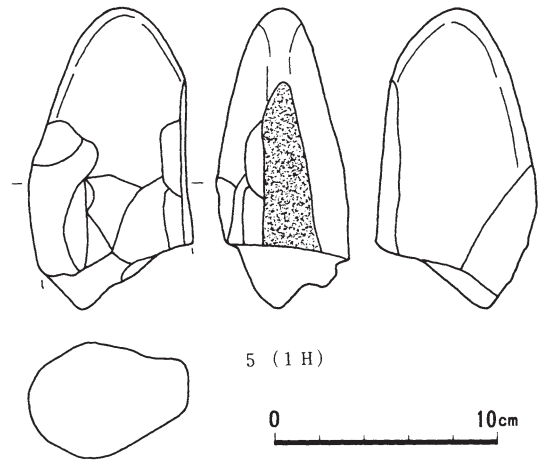
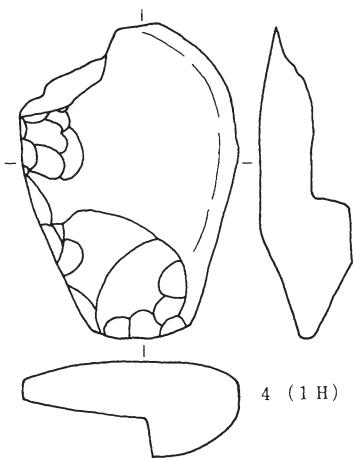
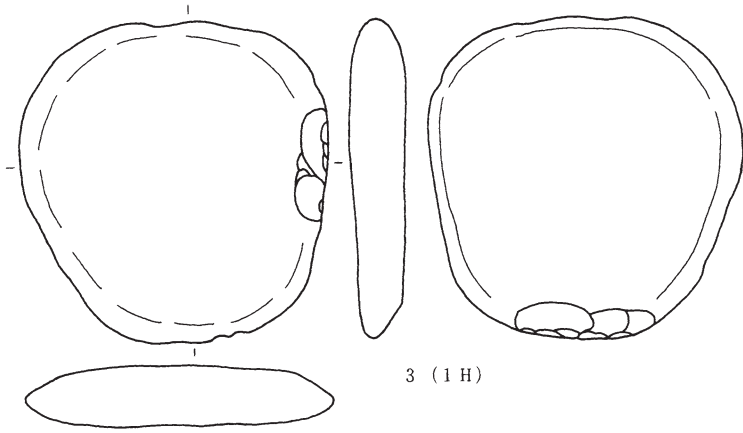
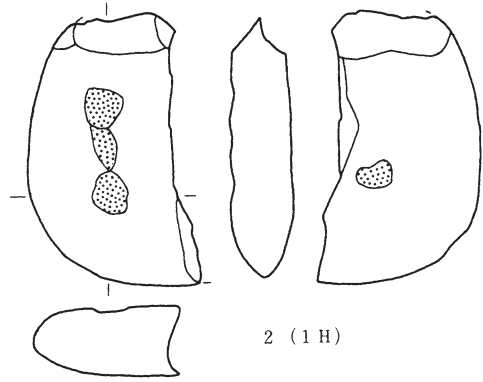
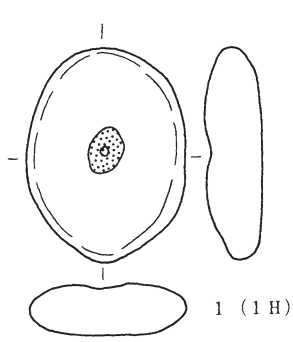


0 10cm

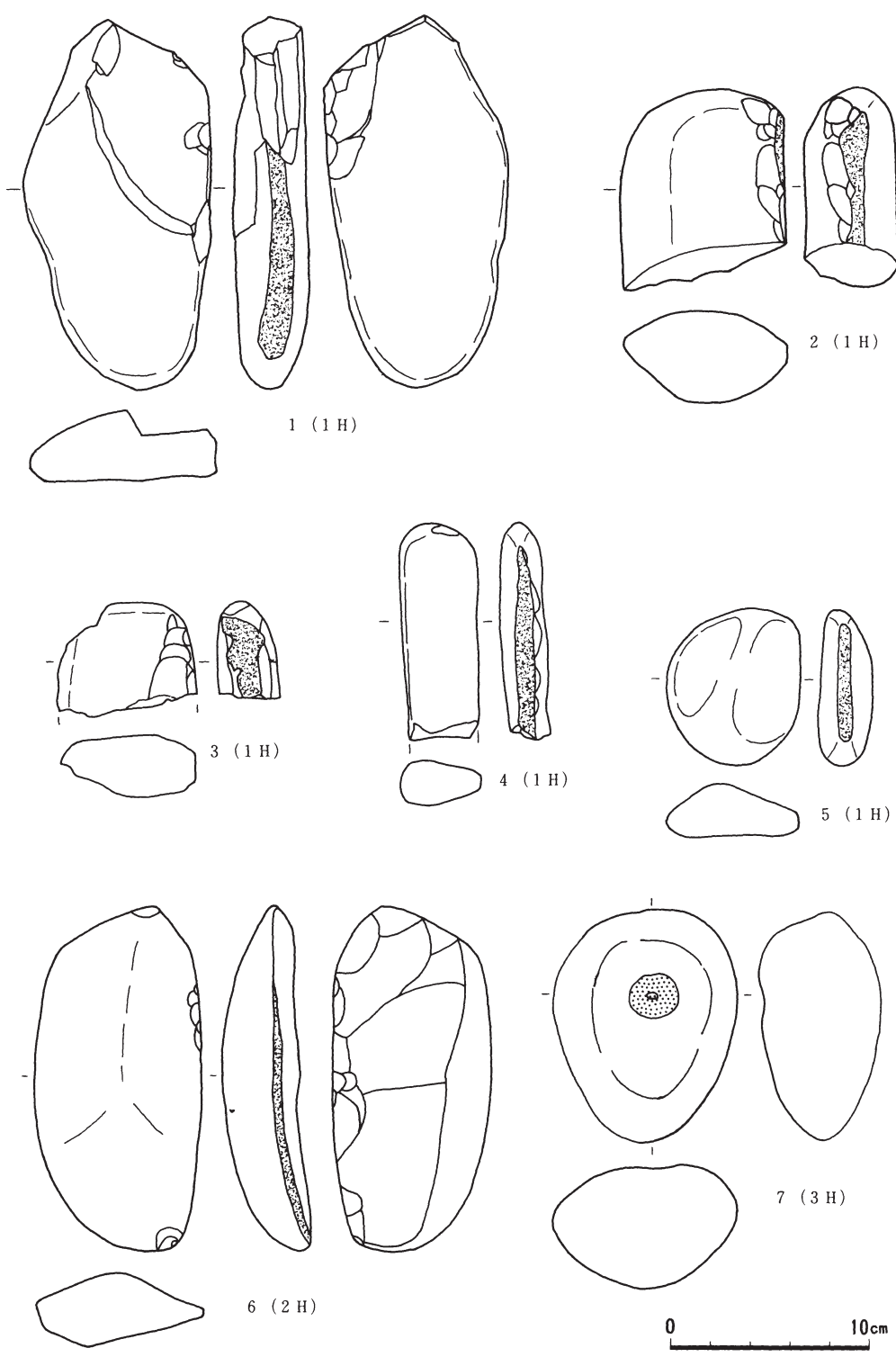
第62図 住居跡内出土石器 (13)



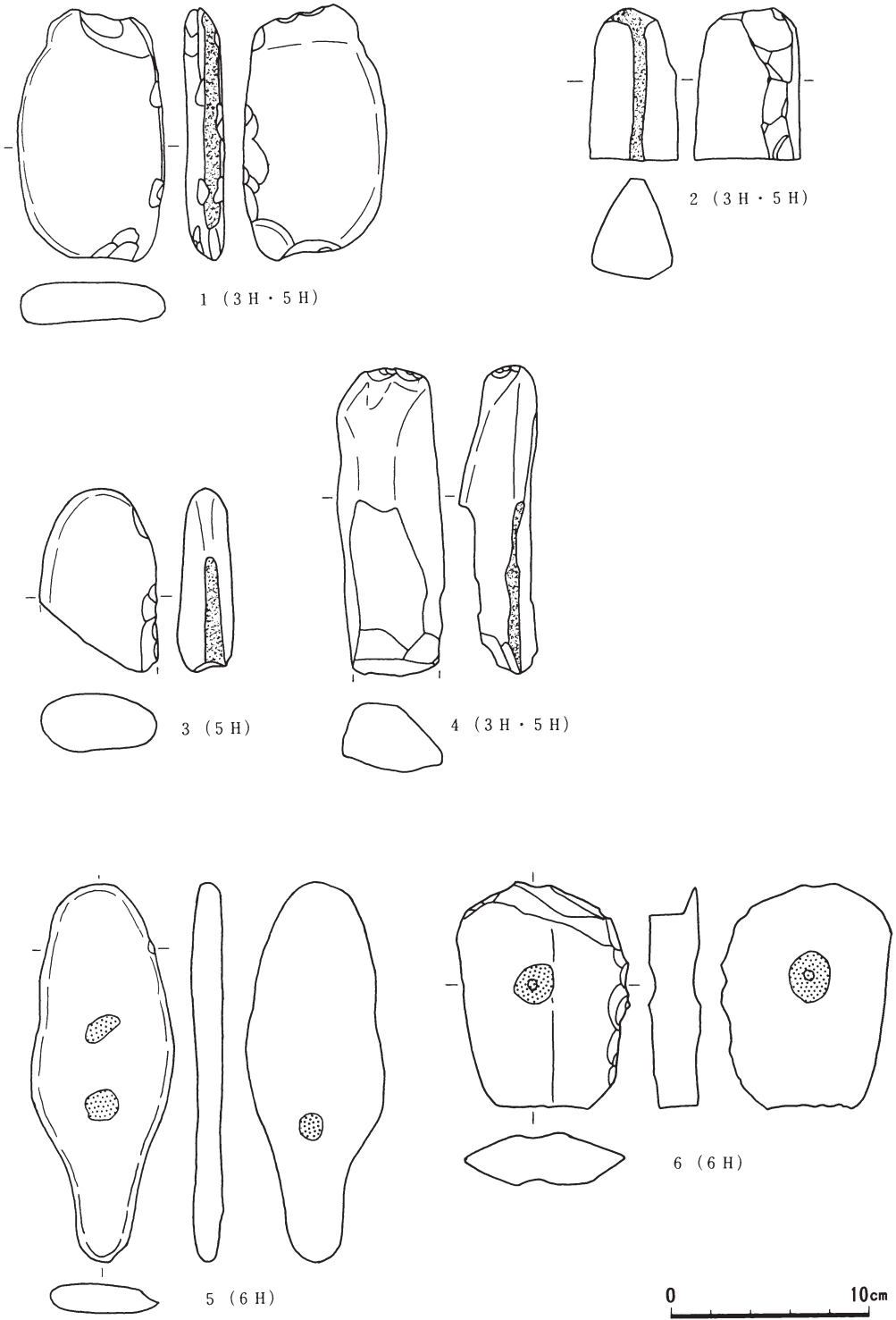
第63図 住居跡内出土石器 (14)



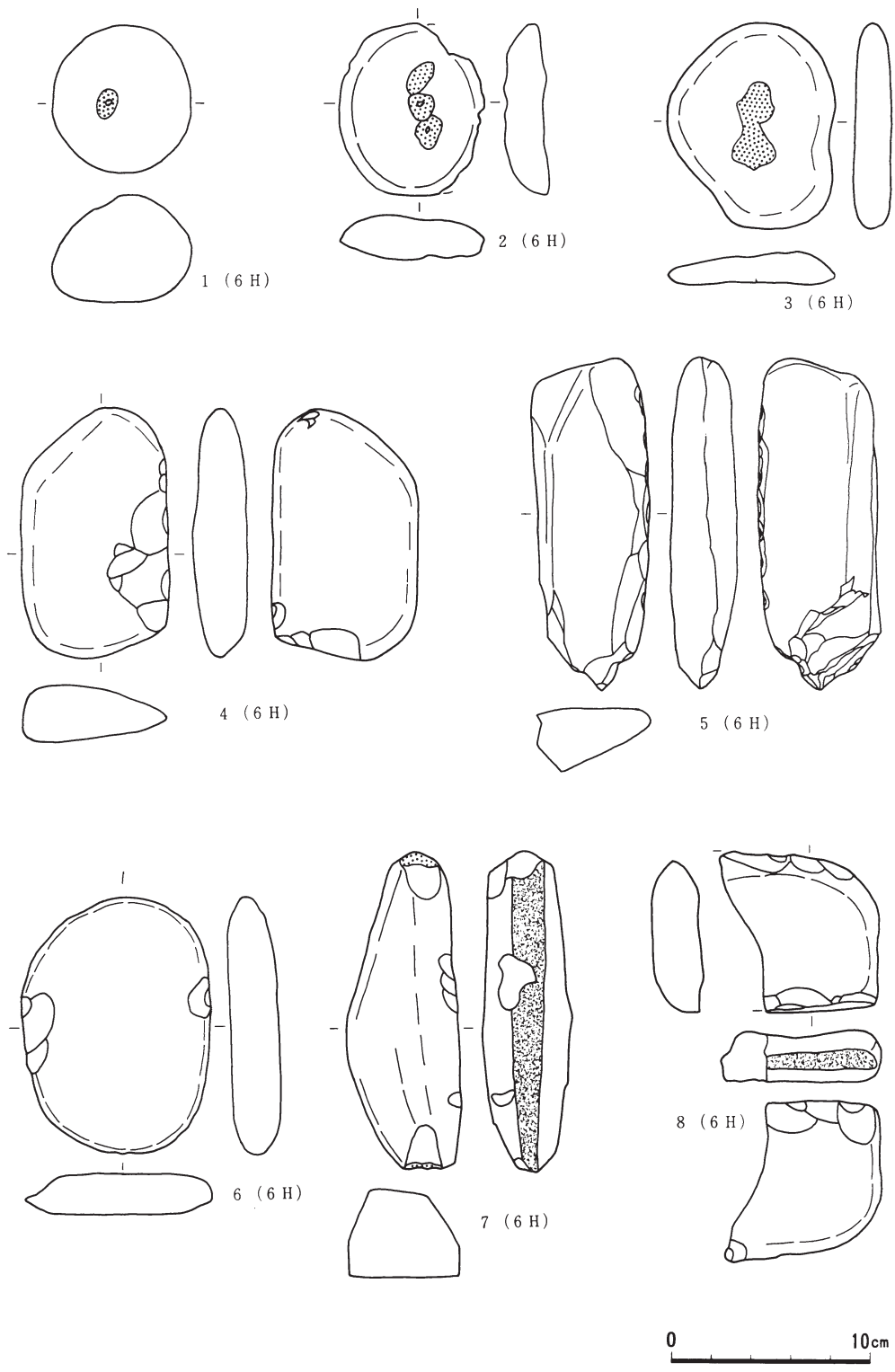
第64図 住居跡内出土石器 (15)



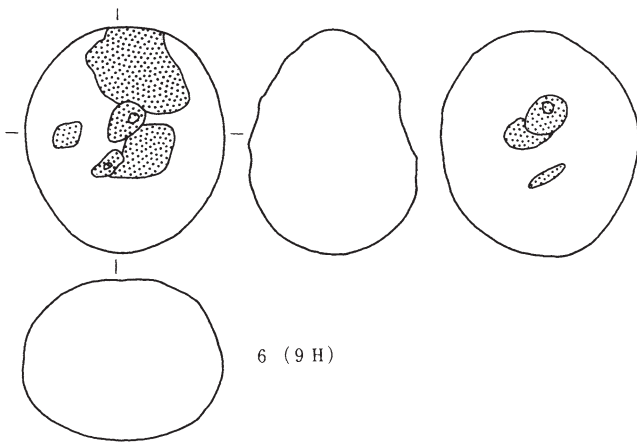
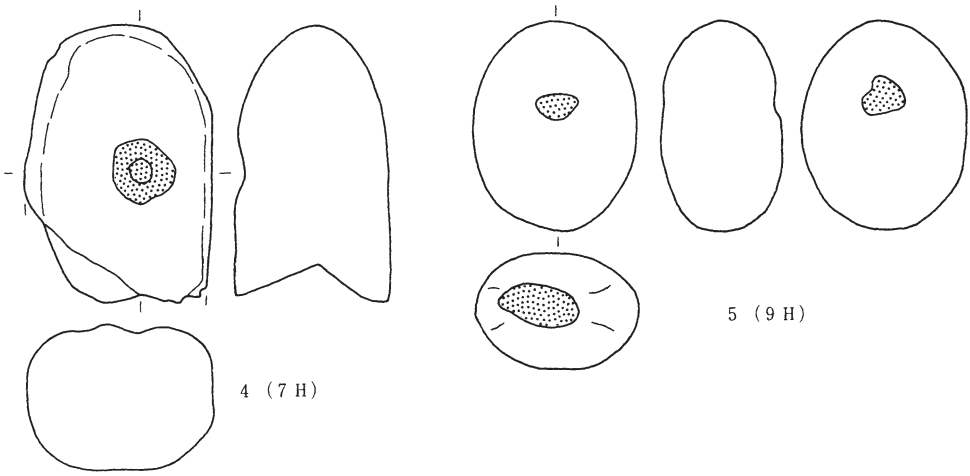
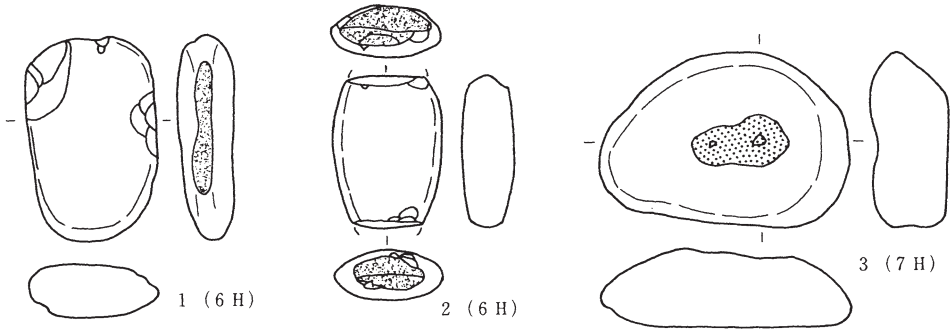
第65図 住居跡内出土石器 (16)



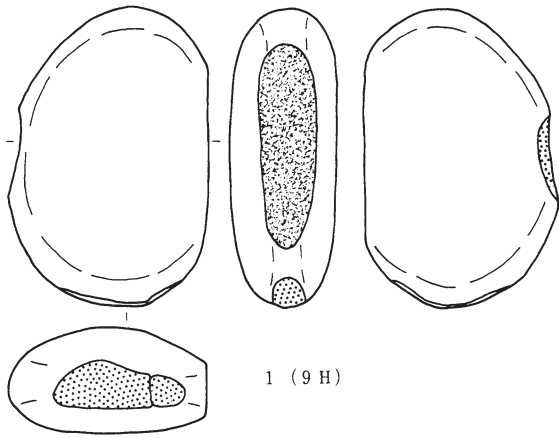
第66図 住居跡内出土石器 (17)



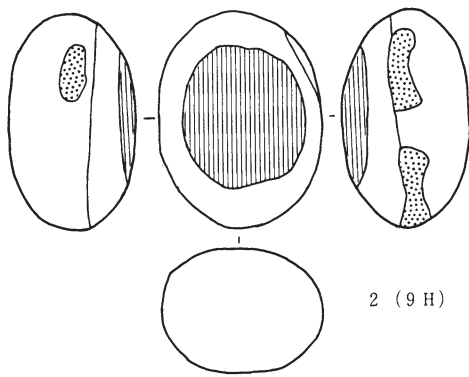
第67图 住居跡内出土石器 (18)



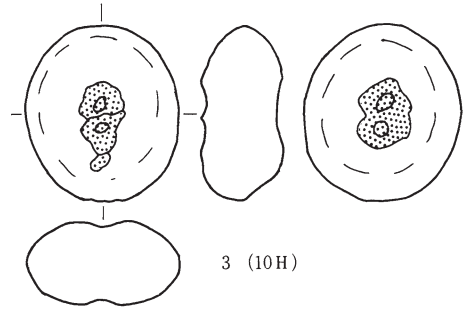
第68図 住居跡内出土石器 (19)



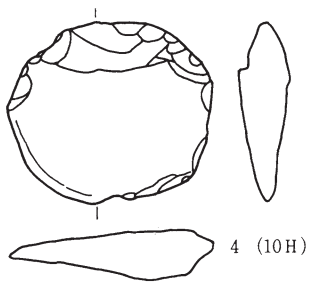
1 (9H)



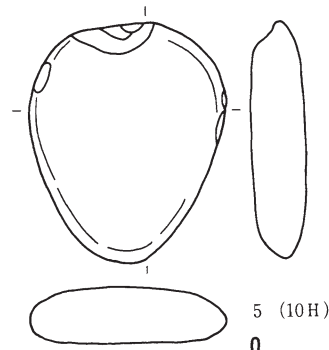
2 (9H)



3 (10H)



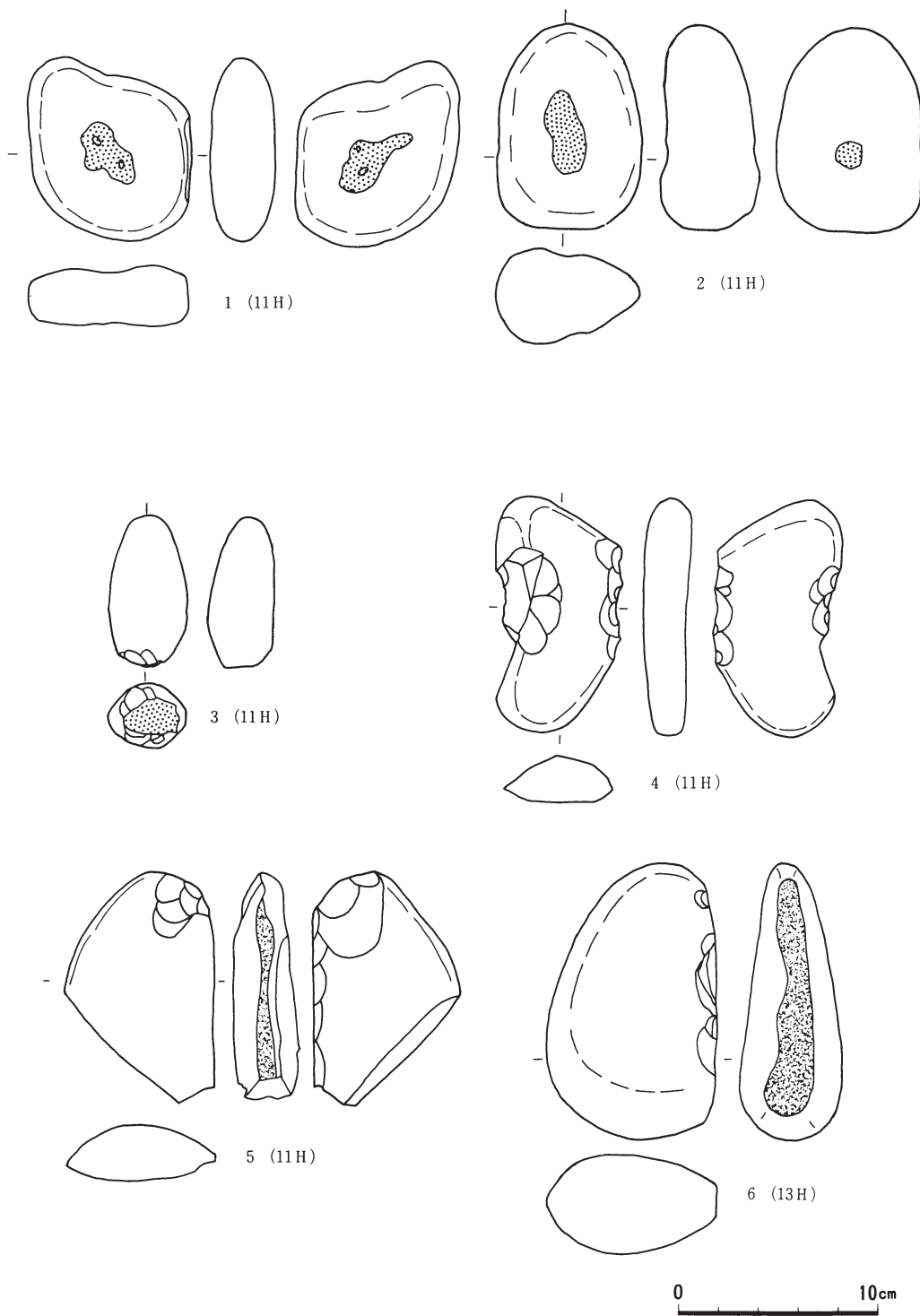
4 (10H)



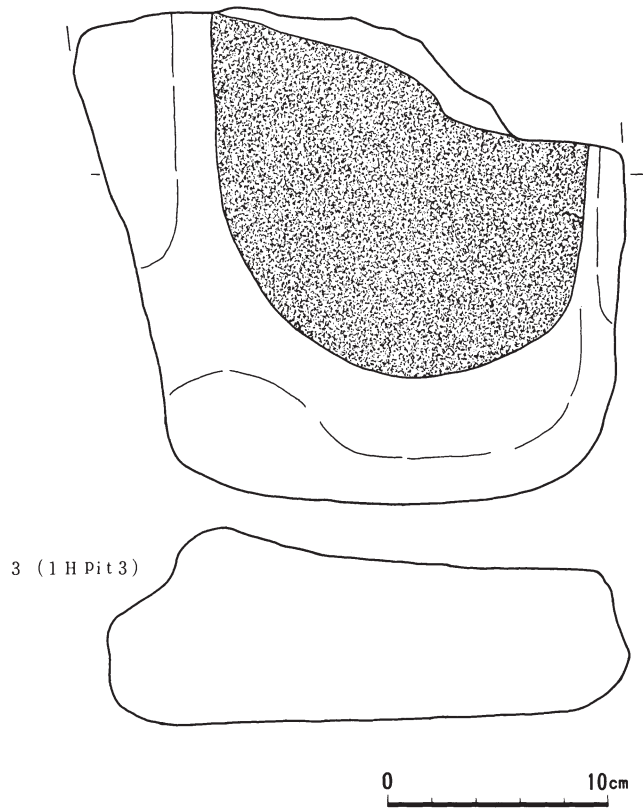
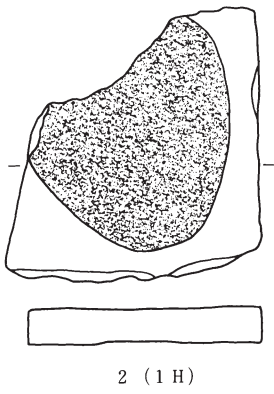
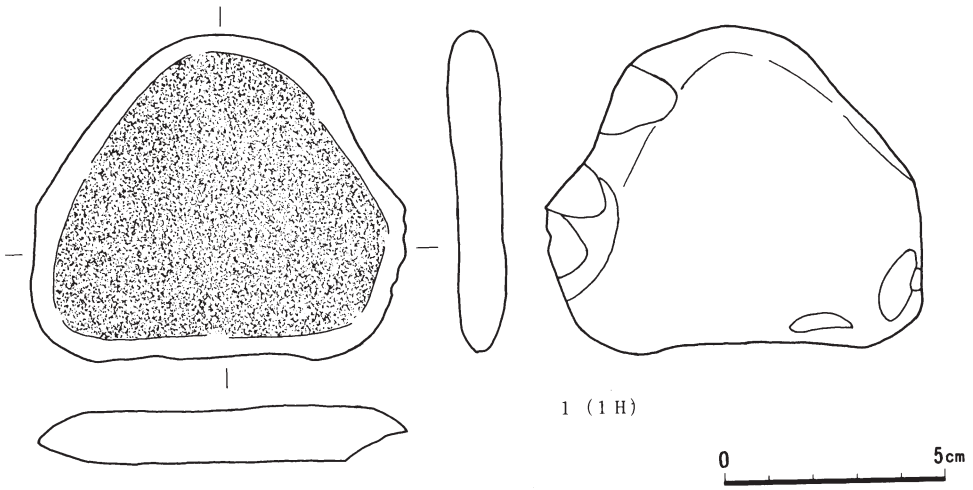
5 (10H)



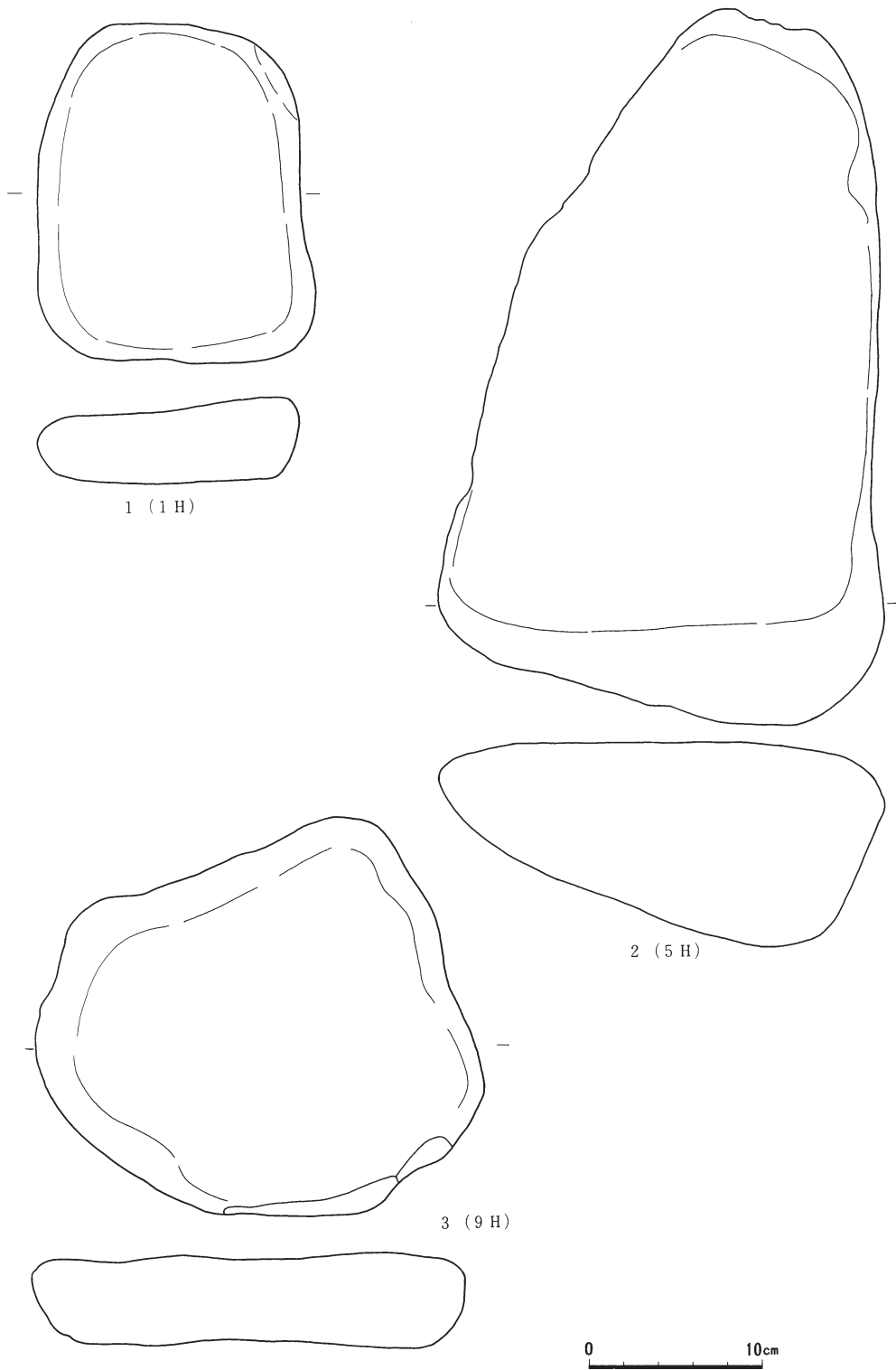
第69図 住居跡内出土石器 (20)



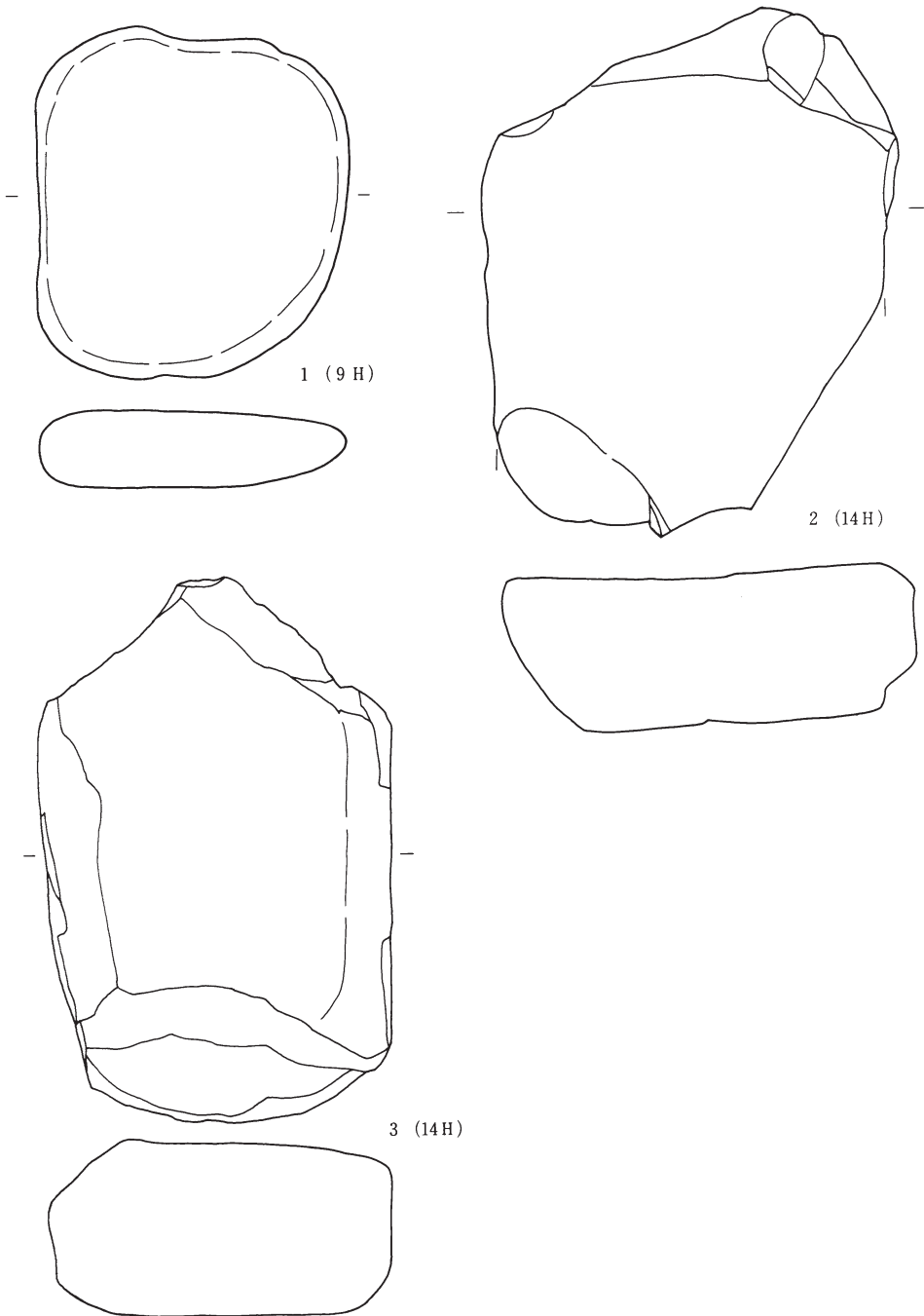
第70図 住居跡内出土石器 (21)



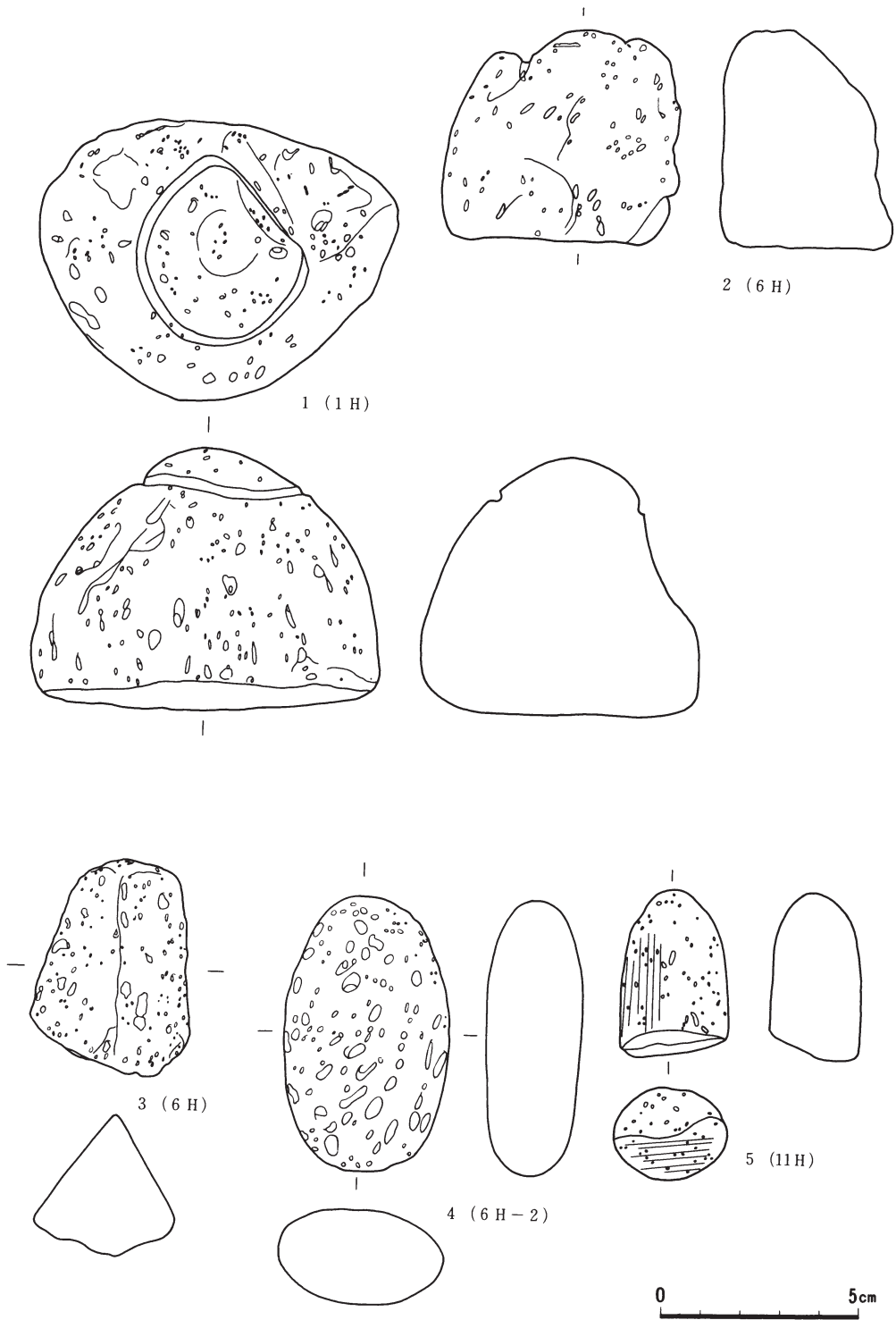
第71图 住居跡内出土石器 (22)



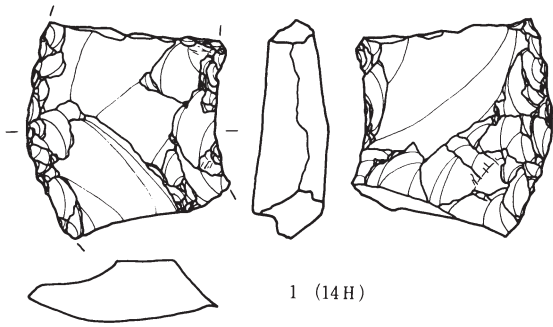
第72図 住居跡内出土石器 (23)



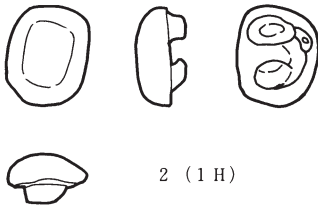
第73図 住居跡内出土石器 (24)



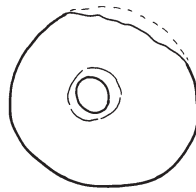
第74图 住居跡内出土石器 (25)



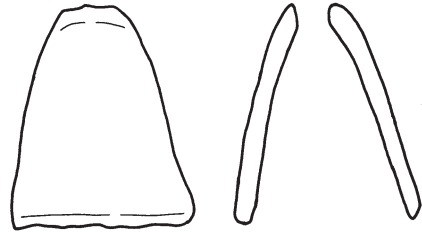
1 (14H)



2 (1H)



3 (1H)



第75図 住居跡内出土石器 (26) ・土製品

2 土坑

第1号土坑（第76図）

〈位置〉 B T・B U-7・8グリッドに位置する。

〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 円形と不整形の土坑が隣接したような形態。西側を第1 a号、東側を第1 b号土坑とする。

〈規模〉 第1 a号土坑は東西90cm×南北98cm、深さ10cm。第1 b号土坑は東西123cm×南北153cm、深さ153cm。

〈平面形〉 円形と不整形の2基の土坑が隣接した形態。

〈覆土〉 第1 a号土坑は1層、第1 b号土坑は2層に区分された。堆積状況は不明。

〈壁〉 緩やかな立ち上がり。

〈底〉 緩やかな窪み。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 なし。

〈小結〉 遺物の出土もなく、時期及び性格は不明である。

第2号土坑（第7・8・76図）

〈位置〉 B X-8グリッドに位置する。

〈確認〉 第1号住居跡の床面で黒褐色土及び暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第1号住居跡と重複している。第1号住居跡の床面上での確認であること、また、本土坑の覆土上部に石囲炉が造られていたことなどから、本土坑が第1号住居跡より古いものである。

〈規模〉 開口部東西93cm×南北109cm、底面東西188cm×南北183cm、深さ125cm。

〈平面形〉 開口部は楕円形、底面は円形。

〈覆土〉 8層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。底面中央部に径約35cm深さ12cmの小ピットがある。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 縄文土器片が出土している。

〈小結〉 本土坑は縄文時代前期後半のフラスコ状ピットである。

第3号土坑（第77・119・157・158・160・164図）

〈位置〉 BW-7グリッドに位置する。

〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 北側で第8号土坑と重複している。当初、重複が不明で、掘り進んでから重複が判明したため、セクション図など不十分な面があるが、セクションの観察から本土坑の方が第8号土坑より古いものである。

〈規模〉 開口部東西106cm、底面東西196cm、深さ156cm。

〈平面形〉 開口部は第8号土坑との重複により連結して不整な楕円形のようにになっているが、本来は円形と思われる。底面は円形。

〈覆土〉 9層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。北側の1/3程は第8号土坑によって切られている。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 出土の土器は、口頸部文様が原体押圧で胴部文様が結束第1種もの(5)、胴部文様が結束第2種のもの(1)等がある。

石器は、石鏃が3点（第157図）、石ヒ4点（第158図）、石筥3点（第160図）、半円状扁平打製石器1点（第164図）がある。

〈小結〉 本土坑は、出土土器に円筒下層d1式の土器があるので、縄文時代前期末葉頃のフラスコ状ピットである。

第4号土坑（第7・78・157・167・161・164・167図）

〈位置〉 BW-7・8グリッドに位置する。

〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 本土坑の南側で第1号住居跡と重複している。本土坑の方が新しい。

〈規模〉 開口部東西310cm×南北325cm、底面東西200cm×南北209cm、深さ110cm。

〈平面形〉 円形である。

〈覆土〉 9層に区分された。自然堆積と思われる。

〈壁〉 上方に向かって扇形に広く開く形態である。

〈底〉 平坦である。底面の北東部に径20cmの粘土ブロックがみられた。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 覆土から土器・石器が出土している。土器は、縄文時代晩期の浅鉢(1)・粗製の深鉢(4)・注口土器(5)、前期の円筒下層式の破片等も出土している。

石器は、石錐 2 点（第157図）、不定形石器（第161図）、半円状扁平打製石器 1 点（第164図）、磨石 1 点（第167図）が出土している。

〈小結〉 本土坑は、主体となる遺物が縄文時代晩期に属するものなので、時期も縄文時代晩期のものである。

第 5 号土坑（第 8・79・121図）

〈位置〉 B X－9 グリッドに位置する。

〈確認〉 第 1 号住居跡の床面の調査中に確認した。

〈重複〉 第 1 号住居跡・第10号土坑と重複している。第 1 号住居跡の床面上での検出のため、本土坑の方が第 1 号住居跡より古いものである。第10号土坑とは一部重複しているが新旧関係は不明である。

〈規模〉 開口部東西110cm×南北115cm、底面東西120cm×南北127cm、深さ36cm。

〈平面形〉 開口部は北東南西方向に長い楕円形となっている。これは調査中での開口部の西側一部崩壊によるもので本来は円形に近いものである。底面は幾分不整な円形となっている。

〈覆土〉 3層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 やや凹凸がある。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 縄文土器の口縁部破片 1 点のみの出土である。

〈小結〉 本土坑は第 1 号住居跡より古いことから縄文時代前期後半の頃のフラスコ状ピットである。

第 6 号土坑（第80・167図）

〈位置〉 B Y－12グリッドに位置する。

〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 東西205cm×南北250cm、深さ50cm。

〈平面形〉 不整楕円形である。

〈覆土〉 4層に区分された。自然堆積と思われる。

〈壁〉 外に緩やかに開いて立ち上がる。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 覆土から敲磨器が2点（第167図）出土している。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代の土坑であるが、時期・性格等は明らかでない。

第7号土坑（第80図）

〈位置〉 CA-5グリッドに位置する。

〈確認〉 黒色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 東西123cm×南北183cm、深さ18cm。

〈平面形〉 かなり不整な隅丸方形。

〈覆土〉 1層しかみられなかった。炭を多量に含んでいる。

〈壁〉 緩やかな立ち上がりを示す。

〈底〉 若干の凹凸がみられる。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 なし。

〈小結〉 本土坑は、時期・性格等は不明である。

第8号土坑（第77・121・158・161図）

〈位置〉 BW-7グリッドに位置する。

〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第3号土坑と重複している。本土坑の方が第3号土坑より新しい。

〈規模〉 開口部東西75cm、底面東西247cm×南北247cm、深さ174cm。

〈平面形〉 開口部は円形と思われる。第3号土坑との重複で、南側の部分が一部不明瞭になっている。底面は円形。

〈覆土〉 13層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形である。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 底面中央部に径10cm深さ2～4cmの小ピット3個みられた。

〈遺物〉 土器は1が底面出土で、他は覆土の出土である。口頸部文様は原体押圧が多く、胴部は結束第1種のものが多い。石器は、石匕1点（第158図）、不定形石器1点（第161図）が出土した。

〈小結〉 本土坑は、第3号土坑を切って構築された、縄文時代前期末頃のフラスコ状ピットである。

第9号土坑（第81図）

- 〈位置〉 B Z-12グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 開口部東西175cm×南北180cm、底面東西94cm×南北90cm、深さ110cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 4層に区分された。4層は第V層の南部浮石が主体である。自然堆積と思われる。
- 〈壁〉 底から中程までは垂直に、それより上方は大きく外に向かって開く。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 底面中央に径8cm深さ22cmと24cmの小ピットが2個みられた。
- 〈遺物〉 なし。
- 〈小結〉 本土坑は、底面に径8cmという小ピットが2個みられたが、これは逆木状のものが差し込まれた状況が想定され、落とし穴ではないかと思われる。覆土の状況から縄文時代のものと思われるが、時期は不明である。

第10号土坑（第7・79・122・157図）

- 〈位置〉 B X-9グリッドに位置する。
- 〈確認〉 第1号住居跡の底面上で、黒色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 第1号住居跡・第5号土坑・第14号土坑と重複している。第1号住居跡の床面上での検出であることから、本土坑が第1号住居跡よりは古いものである。他の土坑とは新旧は明らかでない。
- 〈規模〉 開口部東西140cm、底面東西235cm×南北240cm、深さ140cm。
- 〈平面形〉 開口部の南側は重複で不明瞭になっているが、円形と思われる。底面は円形である。
- 〈覆土〉 19層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形である。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 縄文時代前期後半の円筒下層式の土器片が覆土から出土している。
石器は石錐が1点（第157図）出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットである。

第11号土坑（第81・158図）

- 〈位置〉 B U・B V-12グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 東西170cm×南北156cm、深さ50cm。
- 〈平面形〉 円形を呈する。
- 〈覆土〉 7層に区分された。
- 〈壁〉 垂直に近い急な立ち上がりである。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 石器は、石匕が1点（第158図）覆土から出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代の土坑と思われるが時期は不明である。

第12号土坑（第11図）

- 〈位置〉 B S-11グリッドに位置する。
- 〈確認〉 第4号住居跡の調査中に検出した。
- 〈重複〉 第4号住居跡と重複している。セクションの観察からは新旧関係は把握できなかった。
- 〈規模〉 東西170cm×南北197cm、深さ15cm（第4号住居跡の床面から）。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 第4号住居跡の覆土とあわせて4層に区分された。
- 〈壁〉 検出された壁は極めて浅いが、垂直に近く立ち上がるものである。
- 〈底〉 幾分凹凸がある。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 なし。
- 〈小結〉 本土坑は、第4号住居跡と重複しており、縄文時代のものと思われるが、時期性格等は不明である。

第13号土坑（第81・122・167図）

- 〈位置〉 B U-10グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。

〈規模〉 東西218cm×南北208cm、深さ45cm。

〈平面形〉 かなり不整な円形を呈する。

〈覆土〉 3層に区分された。自然堆積と思われる。

〈壁〉 鍋底状を呈する。

〈底〉 中央部が最も低くなっている。底面を掘り過ぎた部分もある。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 出土土器はいずれも覆土からであるが、前期末頃（2・3）と後晩期頃の深鉢(1)である。

石器は、敲磨器1点（第167図）が出土している。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代の土坑である。時期としては縄文時代後晩期頃のものと思われる。

第14号土坑（第7・79・122図）

〈位置〉 B X - 9 グリッドに位置する。

〈確認〉 第1号住居跡の床面上にて黒褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第1号住居跡と第10号土坑とに重複している。本土坑は第1号住居跡の床面上での検出であるので、第1号住居跡よりは本土坑の方が古いものである。第14号土坑とは新旧関係は不明である。

〈規模〉 開口部の北側は第10号土坑との重複により不明瞭である。底面は東西230cm×南北160cmで、深さ140cm。底面は第10号土坑の底面と重複しないように、北側では第10号土坑の底面に沿うように円が欠けた形である。

〈平面形〉 開口部は重複により不明である。底面は第10号土坑とあたかも重複しないように造られており、南側が円をなす半円形となっている。

〈覆土〉 13層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 出土遺物は縄文土器片がみられる。いずれも縄文時代前期円筒下層式の破片である。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットである。底面の形状が第10号土坑に影響されるような形態になっているが、新旧関係については把握できなかった。

第15号土坑 (第82・122・161・164・167図)

〈位置〉 B X - 7 グリッドに位置する。

〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 開口部東西133cm×南北133cm、底面東西193cm×南北195cm、深さ152cm。

〈平面形〉 やや不整な円形。

〈覆土〉 10層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 底面中央に径32cm深さ14cmの円形の小ピットがある。

〈遺物〉 土器では、円筒下層式の土器破片が覆土から出土している。

石器は、不定形石器 (第161図)、半円状扁平打製石器 1 点 (第164図)、敲磨器 1 点 (第167図) が出土している。

〈小結〉 本土坑は、出土遺物から縄文時代前期後半のフラスコ状ピットである。

第16号土坑 (第82図)

〈位置〉 B W - 6 グリッドの位置する。

〈確認〉 暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第29号土坑と重複している。本土坑が第29号土坑を切っており、新しいものである。

〈規模〉 開口部東西125cm×南北135cm、底面東西120cm×南北120cm、深さ100cm。

〈平面形〉 円形を呈する。

〈覆土〉 11層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 なし。

〈小結〉 本土坑は、出土遺物がみられないため時期は不明であるが、形状及び覆土から縄文時代のフラスコ状ピットと思われる。

第17号土坑 (第83・123・167図)

〈位置〉 B W - 10・11 グリッドに位置する。

〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。

- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 東西154cm×南北150cm、深さ38cm。
- 〈平面形〉 円形を呈する。
- 〈覆土〉 5層に区分された。
- 〈壁〉 外傾して立ち上がる。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 底面の北東よりに円形の小ピット（東西24cm×南北25cm、深さ20cm）がみられる。
- 〈遺物〉 出土した土器はいずれも覆土からで、縄文時代前期の円筒下層式の土器片（第123図）である。
- 石器は、敲磨器が1点（第167図）である。
- 〈小結〉 本土坑は、出土の土器から縄文時代前期後半の時期と思われるが性格は不明である。

第18号土坑（第83・123・167図）

- 〈位置〉 BW-7グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 開口部東西92cm×南北100cm、底面166cm×南北185cm、深さ130cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 8層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 中央部が幾分窪んでいる。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 覆土から縄文時代前期円筒下層式（第123図）の破片が出土している。
- 石器は、敲磨器1点（第167図）が覆土から出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、出土遺物から縄文時代前期後半のフラスコ状ピットである。

第19号土坑（第83図）

- 〈位置〉 BY-14グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 東西205cm×南北205cm、深さ38cm。
- 〈平面形〉 円形である。

- 〈覆土〉 2層に区分された。
〈壁〉 鍋底状である。
〈底〉 平坦である。
〈施設〉 なし。
〈遺物〉 なし。
〈小結〉 本土坑は、出土遺物がみられず、時期は不明である。

第20号土坑（第7・84・123図）

- 〈位置〉 B X - 8 グリッドに位置する。
〈確認〉 第1号住居跡の床面上で黒褐色土の落ち込みとして確認した。
〈重複〉 第1号住居跡及び第21号土坑と重複している。本土坑は第1号住居跡より古く、第21号土坑より新しいものである。
〈規模〉 開口部東西115cm×南北142cm、底面東西181cm×南北189cm、深さ92cm。
〈平面形〉 開口部はやや南北に長い楕円形、底面は不整な円形である。
〈覆土〉 6層に区分された。
〈壁〉 フラスコ形。
〈底〉 平坦である。
〈施設〉 なし。
〈遺物〉 縄文時代前期末頃の土器片（第123図）が出土している。
〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットである。

第21号土坑（第7・84・123図）

- 〈位置〉 B X - 8 グリッドに位置する。
〈確認〉 第1号住居跡床面で暗褐色土の藻ち込みとして確認した。
〈重複〉 第1号住居跡及び第20号土坑と重複している。本土坑は第1号住居跡と第20号土坑のいずれよりも古いものである。
〈規模〉 東西160cm×南北168cm、深さ70cm。
〈平面形〉 円形を呈する。
〈覆土〉 6層に区分された。
〈壁〉 垂直に近い立ち上がりを示す。
〈底〉 幾分凹凸がある。
〈施設〉 なし。

〈遺物〉 遺物としては縄文土器片（第123図）が出土したのみである。

〈小結〉 本土坑は、時期を示す遺物は出土しなかったが、重複関係から縄文時代前期後半頃になるものと思われる。

第22号土坑（第84・123・158図）

〈位置〉 B E・B G－7グリッドに位置する。

〈確認〉 遺跡の位置する段丘の北端部の北斜面で、褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 開口部東西225cm、底面東西260cm、深さ73cm。

〈平面形〉 半分削平されているが、円形である。

〈覆土〉 5層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 土器は、縄文時代前期末頃の土器が出土している。3の破片が底面から他は覆土からの出土である。

石器は、石ヒ1点（第158図）が底面から出土している。

〈小結〉 本土坑は縄文時代前期末頃のフラスコ状ピットである。

第23号土坑（第84・124図）

〈位置〉 B H－7グリッドに位置する。

〈確認〉 遺跡の立地する段丘の北の縁に近いところで、暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 開口部東西124cm×南北137cm、底面東西180cm×南北186cm、深さ103cm。

〈平面形〉 円形を呈する。段丘の縁に位置しているため、削平等により1／3程削平されている。

〈覆土〉 9層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 出土土器は、1が底面出土で、他は覆土出土である。いずれも縄文時代前期末の円筒下層式である。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期末のフラスコ状ピットである。

第24号土坑（第85・124・167図）

〈位置〉 B H・B I－7グリッドに位置する。

〈確認〉 褐色土及び暗褐色土の落ち込みとして確認した。周辺に近代の墓が掘り込まれており、当初本土坑もその一つと思われたが、少し下げた時点でフラスコ状ピットであることが判明した。北側は墓によって破壊されている。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 開口部東西158cm、底面東西225cm×南北210cm、深さ145cm。

〈平面形〉 開口部は北側が削平されているが、底面は円形である。

〈覆土〉 8層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 土器は、いずれも覆土から出土で、胴部文様はいわゆる木目状撚糸文である。石器は、敲磨器が1点（第167図）出土している。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期末のフラスコ状ピットである。

第25号土坑（第85・125・168図）

〈位置〉 B E－8グリッドに位置する。

〈確認〉 段丘北斜面上部に位置し黒褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 底面東西185cm、深さ87cm。

〈平面形〉 半分ほど削平されており、不明である。

〈覆土〉 8層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 やや凹凸がみられる。

〈施設〉 底に小ピットがある。ただし、西捨て場に続く小さな溝状の落ち込みが小ピットと重複していた。

〈遺物〉 土器は、縄文土器の底部（第127図）のみの出土である。

石器は、底面から敲磨器1点（第168図）出土している。

〈小結〉 本土坑は、時期を明瞭に示す遺物の出土はみられないが、畑内遺跡のフラスコ状ピッ

トの多くが縄文時代前期後半のものであるので、本土坑も前期後半の可能性が強いものと思われる。

第26号土坑（第86・125図）

〈位置〉 B J - 6 グリッドに位置する。

〈確認〉 暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第27号土坑と隣接しているが重複ではない。

〈規模〉 開口部東西135cm×南北142cm、底面東西170cm×南北137cm、深さ85cm。

〈平面形〉 不整形円形。

〈覆土〉 4層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形である。平面図及び断面図を作成した時点では、壁が崩壊し明瞭なフラスコ形を呈していない。

〈底〉 中央部が低くなっている。断面図を作成した時点では北側が掘り足りない部分がみられた。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 覆土から縄文土器の小片が出土した（第125図）のみである。

〈小結〉 本土坑は、時期を明瞭に示す遺物の出土はみられないが、畑内遺跡のフラスコ状ピットが多くが縄文時代前期後半のものであるので、本土坑も前期後半の可能性が強いものと思われる。

第27号土坑（第86・125図）

〈位置〉 B J - 6 グリッドに位置する。

〈確認〉 暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。第26号土坑に隣接しているが重複ではない。

〈規模〉 開口部東西135cm、底面東西120、深さ40cm。

〈平面形〉 不整形円形。

〈覆土〉 3層に区分された。2層は攪乱層の可能性はある。

〈壁〉 フラスコ形。図をとる時点で崩壊が多く、図ではフラスコ状を呈していない。

〈底〉 北側が一部攪乱を受けたようで底面が破壊されている。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 縄文土器の破片（第125図）が覆土から出土したのみである。

〈小結〉 本土坑は、時期を明瞭に示す遺物の出土はみられないが、畑内遺跡のフラスコ状ピット

トの多くが縄文時代前期後半のものであるので、本土坑も前期後半の可能性が強いものと思われる。

第28号土坑（第86・125・160・170図）

- 〈位置〉 BK-5・6グリッドに位置している。
- 〈確認〉 暗褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 開口部東西184cm×南北167cm、底面東西241cm×南北230cm、深さ138cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 13層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 平坦であるが中央部がやや凹み加減である。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 土器は、1が底面から覆土からの出土である。いずれも縄文時代前期末頃の土器である。
石器は、石筥1点（第160図）と敲磨器（砥石）1点（第170図）が出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、出土遺物から縄文時代前期末頃のフラスコ状ピットである。

第29号土坑（第82・126図）

- 〈位置〉 BW-6グリッドに位置する。
- 〈確認〉 褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 第16号土坑と重複している。本土坑が第16号土坑に切られており、本土坑の方が古いものである。
- 〈規模〉 開口部東西121cm×南北120cm、底面186cm×南北187cm、深さ170cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 7層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 幾分凹凸がある。
- 〈施設〉 底面の中央部に径22cm深さ10cmの小ピットがみられる。
- 〈遺物〉 底面の東よりに縄文土器の深鉢1が出土している。口頸部は原体押圧で胴部は結束第1種が横位に施文されている。その他は覆土からの出土である。いずれも前期末のものである。

〈小結〉 本土坑は、第16号土坑によって切られているが、縄文時代前期末のフラスコ状ピットである。

第30号土坑

〈位置〉 B O・B P-4 グリッドに位置する。

〈確認〉 黒色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 開口部東西143cm×南北140cm、底面東西160cm×南北165cm、深さ40cm。

〈平面形〉 円形である。

〈覆土〉 6層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 縄文時代前期末頃の土器片が覆土から出土している。

〈小結〉 本土坑は、出土遺物は縄文土器の小片のみであるが、縄文時代前期末頃のフラスコ状ピットであろう。

第31号土坑 (第87・126～128・157・161図)

〈位置〉 B O-4 グリッドに位置する。

〈確認〉 暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第61号土坑と重複している。セクションの観察から本土坑が第61号土坑を切って造られており新しいものである。

〈規模〉 開口部東西150cm×南北160cm、底面東西186cm×南北210cm、深さ102cm。

〈平面形〉 円形である。南東で第61号土坑と重複しており、調査の過程で開口部が一部崩壊し、平面図をとる段階で不明瞭になった部分もある。

〈覆土〉 13層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 出土遺物では、土器がかなり多くみられた。口頸部文様では原体押圧のもの(2・5・11)、原体押圧と刺突(1・3・4・6)等がある。胴部文様では多軸絡条体(1・2)、単軸絡条体第1A類(3)、結束第1種(4・5・6・11)等がある。いずれも縄文時代前期末の

ものである。

石器は、石鏃1点（第157図）、不定形石器1点（第161図）が覆土から出土している。

〈小結〉 本土坑は、出土遺物等から縄文時代前期末のフラスコ状ピットである。

第32号土坑（第87・128図）

〈位置〉 BN・BO-3・4グリッドに位置する。

〈確認〉 明褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 開口部東西115cm×南北129cm、底面東西175cm×南北175cm、深さ93cm。

〈平面形〉 開口部及び底面ともにやや不整な円形。

〈覆土〉 7層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 覆土から縄文時代前期後半の円筒下層式の土器片が出土した。

〈小結〉 本土坑は、時期を明示するような遺物の出土はみられないが、少量の土器片及び覆土の状況等から縄文時代前期後半のフラスコ状ピットである。

第33号土坑（第87・129図）

〈位置〉 BN-3・4グリッドに位置する。

〈確認〉 暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 開口部東西177cm×南北176cm、底面東西225cm×南北231cm、深さ103cm。

〈平面形〉 円形である。

〈覆土〉 5層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 幾分凹凸があるがほぼ平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 覆土から縄文時代前期末頃の円筒下層式土器が出土している。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期末頃のフラスコ状ピットである。

第34号土坑 (第88・129図)

- 〈位置〉 B O - 3 グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 開口部東西140cm×南北140cm、底面東西183cm×南北176cm、深さ113cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 14層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 覆土から縄文時代前期末の円筒下層 d 2 式頃の破片が出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期末頃のフラスコ状ピットと思われる。

第35号土坑 (第88図)

- 〈位置〉 B N - 4 グリッドに位置する。
- 〈確認〉 暗褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 開口部東西91cm×南北80cm、底面東西105cm×南北93cm、深さ45cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 4層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 なし。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代の小型のフラスコ状ピットであるが、明確な時期は不明である。

第36号土坑

- 〈位置〉 B P - 4 グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 開口部東西96cm×南北94cm、底面東西118cm×南北106cm、深さ37cm。
- 〈平面形〉 円形である。

- 〈覆土〉 4層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 なし。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代の小型のフラスコ状ピットであるが、明確な時期は不明である。

第37号土坑（第88・129・130図）

- 〈位置〉 B P－5グリッドに位置する。
- 〈確認〉 暗オリーブ褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 開口部東西104cm×南北106cm、底面東西171cm×南北163cm、深さ102cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 7層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 覆土の底面近くから1と2が出土している。いずれも胴部文様は縦方向の条痕文である。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットである。

第38号土坑

- 〈位置〉 B N－3グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 開口部東西140cm×南北127cm、底面東西203cm×南北207cm、深さ120cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 11層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 幾分凹凸がある。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 土器は1と5が底面で、他は覆土からの出土である。1は口頸部が原体押圧と結節

回転、胴部が結束第1種である。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期末のフラスコ状ピットである。

第39号土坑

〈位置〉 B M・B N-4 グリッドに位置する。

〈確認〉 暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 開口部東西102cm×南北90cm、底面東西213cm×南北197cm、深さ122cm。

〈平面形〉 円形である。

〈覆土〉 9層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 覆土から縄文時代前期円筒下層式の土器片（第130図）が出土している。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットと思われる。

第40号土坑（第89図）

〈位置〉 B M-4 グリッドに位置する。

〈確認〉 褐色土及び黄褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 開口部東西111cm×南北120cm、底面東西187cm×南北190cm、深さ95cm。

〈平面形〉 北斜面に位置するため、開口部の北側がより削平されており底面に対して開口部が北に寄った形となっている。本来の開口部は底面に対してその中央部を中心とするものであろう。やや不整な円形を呈する。

〈覆土〉 8層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形である。

〈底〉 中央部が最も低い形状である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 なし。

〈小結〉 本土坑は、遺物の出土はみられないが、周辺のフラスコ状ピットで遺物の出土のみられるものは縄文時代前期後半のものであるので、本土坑もその頃の可能性が強いものと思われる。

第41号土坑（第90・130図）

- 〈位置〉 B M - 3・4 グリッドに位置する。
- 〈確認〉 極暗褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 開口部東西128cm×南北147cm、底面東西193cm×南北184cm、深さ103cm。
- 〈平面形〉 北斜面に位置するため、北側の削平が多くなされており、結果的に底面に対し開口部が北にずれた状態である。開口部及び底面ともに不整な円形を呈する。
- 〈覆土〉 11層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。西壁が中程で部分的に崩壊している。
- 〈床〉 平坦である。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 縄文時代前期円筒下層式の土器片が覆土から出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、時期を明瞭に示す遺物の出土はみられないが、前期の円筒下層式の土器片の出土及び周辺のフラスコ状ピットが前期後半から末のものであるので、本土坑の時期も縄文時代前期後半の頃のものと思われる。

第42号土坑（第90・131・157・158図）

- 〈位置〉 B P - 6 グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 開口部東西90cm×南北86cm、底面東西186cm×南北183cm、深さ93cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 6層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈床〉 平坦である。
- 〈施設〉 底面中央部に東西20cm×南北23cm、深さ10cmの小ピットがある。
- 〈遺物〉 出土した土器は、縄文時代前期後半の円筒下層式の土器（第131図）である。1は胴部に屈曲をもち段をなすのは円筒土器としては珍しい。
- 石器は、石鏃1点（第157図）と石匕1点（第158図）が覆土から出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、出土の土器から縄文時代前期末頃のフラスコ状ピットである。出土の土器1の胴部の段は、大木式の影響と思われる。

第43号土坑（第90・168・170図）

〈位置〉 B V - 8 グリッドに位置する。

〈確認〉 黒色土及び暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 開口部東西160cm×南北155cm、底面東西235cm×南北220cm、深さ150cm。

〈平面形〉 円形である。

〈覆土〉 6層に区分された。7層とした層は掘り過ぎの地山の土層である。

〈壁〉 フラスコ形。

〈床〉 平坦である。

〈施設〉 底面中央に径40cm深さ15cmの小ピットがあり、さらに小ピットを中心に十字の溝がみられる。

〈遺物〉 土器の出土はなし。

石器は、石皿1点（第170図）と敲磨器2点（第168図）が出土している。

〈小結〉 本土坑からは時期を示す遺物の出土はみられないが、周辺のフラスコ状ピットが前期後半から末にかけてのものであること、及び覆土の状況から、本土坑も縄文時代前期後半のもの可能性が強い。

第44号土坑（第91・131図）

〈位置〉 B Q - 6 グリッドに位置する。

〈確認〉 黒褐色土及び暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 開口部東西89cm×南北99cm、底面東西206cm×南北204cm、深さ147cm。

〈平面形〉 円形である。

〈覆土〉 6層に区分された。

〈壁〉 フラスコ状である。開口部より少し下に最小径がある。

〈床〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 覆土から縄文時代前期末頃の円筒土器下層式の土器片が出土している。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期末頃のフラスコ状ピットと思われる。

第45号土坑（第91・131・132・159・161・163図）

〈位置〉 B M - 2・3 グリッドに位置する。

- 〈確認〉 黒褐色土・灰黄色土・暗褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 第77号土坑と重複している。本土坑が第77号土坑より新しいものである。
- 〈規模〉 底面東西225cm×南北223cm、深さ85cm。
- 〈平面形〉 開口部は確認時に比べて、平面図の段階では崩壊が進み広がっている。円形と思われる。
- 〈覆土〉 13層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形である。
- 〈床〉 北側より南側がやや低くなっている。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 土器では4が底面近くの出土である。1と2は口頸部が結節回転、胴部が単軸絡条体第1A類（木目状撚糸文）である。いずれも縄文時代前期末の円筒下層式の土器である。
- 石器は、石ヒ1点（第159図）、不定形石器1点（第161図）、磨製石斧2点（第163図）が出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期末頃のフラスコ状ピットである。

第46号土坑（第92・133図）

- 〈位置〉 B V - 9 グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 東西123cm×南北115cm、深さ47cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 8層に区分された。
- 〈壁〉 垂直気味に立ち上がる。
- 〈床〉 平坦である。中央部がやや低くなっている。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 覆土から縄文時代中期後半の比較的大きな破片と、前期末頃の円筒土器下層式の破片が出土している。
- 〈小結〉 出土遺物から縄文時代中期後半頃の土坑の可能性が強い。

第47号土坑（第92・133・159・160・168図）

- 〈位置〉 B U ・ B V - 7 ・ 8 グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第63号土坑と重複している。本土坑の調査中に底面の部分で重複していることが判明したが、新旧関係は不明である。底面のレベルでは本土坑の方が10cm深くなっている。

〈規模〉 開口部東西113cm×南北112cm、底面東西200cm×南北218cm、深さ140cm。

〈平面形〉 円形である。

〈覆土〉 8層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈床〉 平坦である。

〈施設〉 底面中央に東西33cm×南北26cm、深さ8cmの小ピットがある。

〈遺物〉 底面及び覆土から縄文時代前期後半の円筒下層式土器が出土している。3と4は同一個体で、4が底面出土。

石器は、底面から敲磨器1点（第168図）、石ヒ1点（第159図）が出土し、覆土から石筥1点（第160図）が出土している。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットである。

第48号土坑（第93・133・164図）

〈位置〉 BU-8・9グリッドに位置する。

〈確認〉 黒褐色土及び暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第49号土坑と重複している。セクションの観察で、本土坑が第49号土坑を切っていることが観認され、本土坑が第49号土坑より新しいものである。

〈規模〉 開口部東西110cm×南北115cm、底面東西190cm×南北198cm、深さ126cm。

〈平面形〉 開口部、底面とも円形である。

〈覆土〉 10層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形である。

〈床〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 土器は、縄文時代前期後半の円筒下層式の破片が覆土から出土している。

石器は、半円状扁平打製石器1点（第164図）が出土している。

〈小結〉 本土坑は、第49号土坑を切って構築されており、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットである。

第49号土坑（第93・134・171図）

〈位置〉 BU-8・9グリッドに位置する。

〈確認〉 極暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第48号土坑と重複している。セクション観察では、本土坑が第48号土坑により切られており、本土坑が第48号土坑より古いものである。

〈規模〉 開口部東西101cm×南北104cm、底面東西211cm×南北217cm、深さ158cm。

〈平面形〉 開口部、底面ともに円形である。

〈覆土〉 5層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 土器は、覆土から円筒下層式土器の破片が覆土から出土している。

石器では、底面から台石（第171図）が出土している。

〈小結〉 本土坑は、第48号土坑より古いもので縄文時代前期後半のフラスコ状ピットである。

第50号土坑（第93・134図）

〈位置〉 B Q - 9グリッドに位置する。

〈確認〉 黒褐色土及び暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 東西120cm×南北128cm、深さ43cm。

〈平面形〉 円形である。

〈覆土〉 4層に区分された。

〈壁〉 垂直に立ち上がるものである。

〈底〉 やや凹凸がみられる。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 覆土から縄文土器の破片が（第134図）1片出土した。

〈小結〉 本土坑は、時期・性格は明瞭ではないが、縄文時代の土坑である。

第51号土坑（第94・134図）

〈位置〉 B P - 6・7グリッドに位置する。

〈確認〉 黒色土及び暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 東西146cm×南北142cm、深さ23cm。

〈平面形〉 やや不整な円形。

- 〈覆土〉 3層に区分された。
- 〈壁〉 垂直に立ち上がるものである。
- 〈底〉 北西部がやや低くなっている。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 覆土から縄文土器の小片が出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代の土坑であるが性格等は不明である。

第52号土坑 (第94・134図)

- 〈位置〉 B P - 7 グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒色土及び黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 第73号土坑と一部重複しているが、新旧関係は不明である。
- 〈規模〉 東西133cm×南北152cm、深さ90cm。
- 〈平面形〉 かなり不整な円形。
- 〈覆土〉 5層に区分された。
- 〈壁〉 垂直に立ち上がる部分とオーバーハング的な立ち上がりの部分もある。
- 〈底〉 西側が低くなっている。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 縄文時代前期と中期の土器が出土している。1は中期末葉の最花式で、覆土に広範囲に分布していた。6は前期の大木式土器であるが、第73号土坑出土の土器と接合した(第134・142図)。
- 〈小結〉 本土坑は、性格は不明であるが、覆土からの出土遺物であるが最も大きな土器であるP1によって縄文時代中期末葉の土坑の可能性が強い。

第53号土坑 (第94・134図)

- 〈位置〉 B U ・ B V - 6 グリッドに位置する。
- 〈確認〉 暗褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 第68号土坑と重複している。新旧関係は不明である。
- 〈規模〉 開口部東西103cm×南北108cm、底面東西164cm×南北157cm、深さ113cm。
- 〈平面形〉 開口部はかなりな不整形であるが、底面は円形である。
- 〈覆土〉 7層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 平坦である。

- 〈施設〉 底面中央に径25cm前後のやや不整な円形の小ピットがある。
- 〈遺物〉 縄文土器の小片が覆土から出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、時期を示す遺物はみられなかったが、縄文時代のフラスコ状ピットである。

第54号土坑（第95・134図）

- 〈位置〉 B R - 7 グリッドに位置する。
- 〈確認〉 暗褐色土及び褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 東西100cm×南北96cm、深さ71cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 2層に区分された。
- 〈壁〉 2段になって立ち上がるものである。
- 〈底〉 径20cm程の小さな底面である。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 覆土から縄文時代前期後半の円筒下層式の土器が出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、性格は不明であるが、縄文時代前期後半の土坑である。

第55号土坑（第95・135図）

- 〈位置〉 B S - 7・8 グリッドに位置する。
- 〈確認〉 暗褐色土及び褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 東西121cm×南北133cm、深さ32cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 2層に区分された。
- 〈壁〉 垂直気味に立ち上がる。
- 〈底〉 西側が少し低くなっている。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 縄文土器の小片（第135図）が覆土から出土している。
- 〈小結〉 本土坑の時期・性格等は明確ではない。

第56号土坑（第95・135図）

- 〈位置〉 BM-8・9グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 開口部東西115cm×南北102cm、底面東西200cm×南北195cm、深さ147cm。
- 〈平面形〉 開口部及び底面ともにやや不整な円形である。
- 〈覆土〉 10層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。やや開口部が開く形。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 底面中央に径約30cmのやや不整な円形の小ピットがある。その他に壁近くにも小ピットが3個みられた。
- 〈遺物〉 底面から縄文時代前期末の円筒下層式の土器が出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期末のフラスコ状ピットである。

第57号土坑（第57・135図）

- 〈位置〉 BL-7グリッドに位置する。
- 〈確認〉 暗褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 第101号土坑と重複している。新旧関係は不明である。
- 〈規模〉 東西100cm×南北100cm、深さ70cm。
- 〈平面形〉 不整な円形である。
- 〈覆土〉 2層に区分された。
- 〈壁〉 凹凸がある立ち上がりである。
- 〈底〉 凹凸がある。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 覆土から縄文土器の小片が出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、性格及び時期が不明の土坑である。

第58号土坑（第96・135・136図）

- 〈位置〉 BL・BM-6グリッドに位置する。
- 〈確認〉 暗褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 第59号土坑と重複している。本土坑が第59号土坑を切っており、新しいものである。
- 〈規模〉 開口部東西130cm×南北110cm、底面東西150cm×南北136cm、深さ83cm。

- 〈平面形〉 やや東西に長めの円形である。
- 〈覆土〉 5層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 土器は縄文時代前期後半の円筒下層式が出土している（第135・136図）。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットで、第59号土坑を切って造られたものである。

第59号土坑（第96・136・159図）

- 〈位置〉 B L - 5・6グリッドに位置する。
- 〈確認〉 暗褐色土及びにぶい黄褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 第58号土坑と重複している。本土坑が、第58号土坑によって切られており、古いものである。
- 〈規模〉 開口部東西148cm×南北115cm、底面東西226cm×南北213cm、深さ100cm。
- 〈平面形〉 開口部はやや東西に長い楕円形、底面は幾分不整な円形である。
- 〈覆土〉 8層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形である。
- 〈底〉 やや中央部が低くなっているが、おおよそ平坦である。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 縄文時代前期後半の円筒下層式土器の破片が覆土から出土している。
石器は、石匕が1点（第159図）が覆土から出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットで第58号土坑に切られているものである。

第60号土坑（第96・136図）

- 〈位置〉 B O - 5グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 開口部東西62cm×南北75cm、底面東西137cm×南北136cm、深さ96cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 4層に区分された。

- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 覆土から縄文時代前期後半の円筒土器下層式の土器片を出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットである。

第61号土坑（第87・136図）

- 〈位置〉 B O - 4 グリッドに位置する。
- 〈確認〉 にぶい黄橙色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 第31号土坑と重複している。本土坑が第31号土坑に切られており、古いものである。
- 〈規模〉 底面東西170cm、深さ115cm。
- 〈平面形〉 不整形円形である。
- 〈覆土〉 7層に区分された。上部は人為的に砂層で埋めている。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 覆土から縄文時代前期後半の小片の出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、第31号土坑に切られており、第31号土坑が縄文時代前期末なので、本土坑はそれ以前になるが、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットと思われる。

第62号土坑（第97・137・157図）

- 〈位置〉 B T - 8 グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒褐色土及び暗褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 第64号土坑と重複している。調査途中での重複が判明したため新旧関係は不明である。
- 〈規模〉 開口部東西95cm×南北101cm、底面東西217cm×南北212cm、深さ145cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 8層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 底面中央に径約25cm深さ15cmの小ピットがある。
- 〈遺物〉 土器は、縄文時代前期後半の土器が出土している。

石器は、石鏃が1点（第157図）覆土から出土している。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットである。

第63号土坑（第92・137図）

〈位置〉 B U-7グリッドに位置する。

〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第47号土坑と底面で重複している。新旧関係は不明である。底面のレベルでは第47号土坑のほうが10cm低い。

〈規模〉 開口部東西117cm×南北126cm、底面東西190cm×南北180cm、深さ122cm。

〈平面形〉 開口部、底面ともに円形である。

〈覆土〉 10層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。底面の北西壁よりにベンガラと思われる赤色の痕跡が2カ所みられた。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 底面の北西壁よりに10cm程の範囲の風化した骨と思われる白色の分布がみられた。また、大白歯等の歯が出土している。

出土した土器は、いずれも縄文時代前期後半の円筒下層式で、1は底面からの出土である。

〈小結〉 本土坑は、出土遺物から縄文時代前期後半のフラスコ状ピットであるが、底面から人の歯及び人骨・ベンガラ等が検出されたことは、最終的に墓坑として利用されたことを示している。

第64号土坑（第97・137図）

〈位置〉 B T・B U-8グリッドに位置する。

〈確認〉 褐色土及び暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第62号土坑と重複している。新旧関係は不明である。

〈規模〉 開口部東西161cm×南北143cm、底面東西322cm×南北223cm、深さ191cm。

〈平面形〉 開口部は円形であるが、底面は東西に長い楕円形である。

〈覆土〉 16層に区分された。下部に砂層、中位にローム層、上部に南部浮石層が堆積しており、堆積状況は人為的である。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 土器は、2が完形土器であるが1層から出土したものである。1及び2は縄文時代前期末頃と思われる。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期末のフラスコ状ピットである。

第65号土坑（第98・138図）

〈位置〉 B L - 4・5グリッドに位置する。

〈確認〉 第75号土坑の調査中に本土坑と重複し得ていることが判明し、確認したものである。

〈重複〉 第75号土坑と重補している。新旧関係は判然としないが、第75号とのセクションの西側部分の堆積土が本土坑を第75号土坑が切って造られ、その後の壁の崩壊したものと解釈することが可能であれば、本土坑が第75号土坑より古いものといえる。

〈規模〉 開口部南北112cm、底面南北190cm、深さ140cm。

〈平面形〉 開口部は第75号土坑との重複により明らかでないが、底面は円形である。

〈覆土〉 第75号土坑と一体のようになっている。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 土器は、縄文時代前期後半の円筒下層式土器の破片（第138図）が出土している。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットと思われる。

第66号土坑（第99・138図）

〈位置〉 B T・B U - 7グリッドに位置する。

〈確認〉 暗褐色土及び黄褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 重複ではないが、底面が北は第67号土坑と南は第64号土坑と隣接している。

〈規模〉 開口部東西100cm×南北111cm、底面東西168cm×南北160cm、深さ119cm。

〈平面形〉 やや不整な円形である。

〈覆土〉 10層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 覆土から縄文土器の小片が（第138図）出土している。

〈小結〉 本土坑は、時期を明示する資料は出土していないが、近辺のフラスコ状ピット

第67号土坑（第99・138図）

- 〈位置〉 B T - 7 グリッドに位置する。
- 〈確認〉 暗褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。ただし、底面が第66号土坑と隣接している。
- 〈規模〉 開口部東西120cm×南北115cm、底面東西184cm×南北188cm、深さ120cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 5層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 底面中央に径30cm深さ10cmの小ピットがある。
- 〈遺物〉 覆土から縄文時代前期末の円筒下層式の土器が出土している。1は底面から20cm上方で出土したものであるが、口頸部は原体押圧、胴部は結束第1種の羽状縄文が施文されている。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期末のフラスコ状ピットである。

第68号土坑（第99・138・164・165図）

- 〈位置〉 B U - 6 グリッドに位置する。
- 〈確認〉 褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 第53号土坑と重複しているが、新旧関係は不明である。
- 〈規模〉 開口部東西106cm×南北95cm、底面東西131cm×南北139cm、深さ78cm。
- 〈平面形〉 西側で一部乱れがあるが、開口部と底面とも円形である。
- 〈覆土〉 6層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 底面中央に径25cm深さ10cmの小ピットがある。
- 〈遺物〉 覆土から縄文土器の小片が出土している。
- 石器は、半円状扁平打製石器2点（第164・165図）覆土から出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、時期を明示する資料の出土はみられなかった。縄文時代のフラスコ状ピットである。

第69号土坑（第95・139・157・160図）

- 〈位置〉 B L - 7 グリッドに位置する。

- 〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 第101号土坑と重複している。新旧関係は不明である。
- 〈規模〉 開口部東西92cm×南北101cm、底面東西180cm×南北166cm、深さ105cm。
- 〈平面形〉 開口部東の張り出しは攪乱によるものである。開口部及び底面とも円形である。
- 〈覆土〉 6層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 やや凹凸がある。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 土器は、縄文時代前期末の円筒下層式が出土している（第139図）。胴部文様には、多軸絡条体や結束第1種等がみられる。
- 石器は、石鏃1点（第157図）、不定形石器1点（第160図）が覆土から出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期末のフラスコ状ピットである。

第70号土坑（第98・171図）

- 〈位置〉 B S - 9 グリッドに位置する。
- 〈確認〉 暗褐色土及び褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 長軸221cm×短軸124cm、深さ25cm。
- 〈平面形〉 北西と南東方向に長い少し不整な隅丸の長方形である。
- 〈覆土〉 3層に区分された。
- 〈壁〉 垂直気味に立ち上がるものである。
- 〈底〉 やや凹凸がある。
- 〈施設〉 北の隅に径30cm深さ27cmのピットがある。南の隅近くにも径20cm深さ9cmのピットがある。
- 〈遺物〉 底面の東よりから有孔石製品（第171図）が出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、時期を示す明示する資料は出土していない。有孔石製品1点のみである。形態及び出土遺物から縄文時代の墓坑の可能性がある。

第71号土坑（第98・140・141図）

- 〈位置〉 遺跡の立地する段丘の北の端の斜面にあり、B O ・ B P - 4 ・ 5 グリッドに位置する。
- 〈確認〉 暗褐色土の落ち込みとして確認した。

- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 開口部東西181cm×南北174cm、底面東西181cm×南北202cm、深さ47cm。
- 〈平面形〉 不整な円形である。
- 〈覆土〉 5層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形である。北斜面に位置していて削平され、特に北西の壁の削平が進んでいる。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 覆土の底面近くから土器が出土している。いずれも縄文時代前期末の円筒下層式の土器である。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期末のフラスコ状ピットである。

第72号土坑（第141図）遺構図がない。

- 〈位置〉 B P - 4 グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒褐色土及び暗褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 開口部東西124cm×南北132cm、底面東西184cm×南北187cm、深さ83cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 8層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 縄文時代前期後半の円筒下層式の土器の破片が覆土から出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットである。

第73号土坑（第100・141・142・157・162・165図）

- 〈位置〉 B P - 7 グリッドに位置する。
- 〈確認〉 暗褐色土及び褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 第52号土坑と重複しているが、新旧関係は不明である。
- 〈規模〉 開口部東西175cm×南北156cm、中段東西100cm×南北117cm、底面東西256cm×南北263cm、深さ150cm。
- 〈平面形〉 開口部は幾分楕円形、中段のところは円形、底面は円形である。

〈覆土〉 10層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。開口部が一段開く形態である。

〈底〉 やや凹凸がある。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 覆土から縄文時代前期末頃の土器が出土している。特に3は第52号土坑の覆土出土の破片と接合したものであるが、円筒下層式の土器ではなく、大木式に属するものと思われる。

石器は、石鏃1点（第157図）、不定形石器1点（第162図）、半円状扁平打製石器2点（第165図）が出土している。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期末頃のフラスコ状ピットである。

第74号土坑（第100・142・157・159・162・165図）

〈位置〉 B K・B L-5グリッドに位置する。

〈確認〉 暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 開口部東西122cm×南北90cm、底面東西241cm×南北232cm、深さ150cm。

〈平面形〉 開口部はやや東西に長い隅丸方形、底面は円形である。

〈覆土〉 9層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 底面中央に径25cm深さ13cmの小ピットがある。

〈遺物〉 底面から10cmほど上方の覆土で南西の壁近くに完形の円筒下層d1式の深針P1（第142図）が出土した。土器の内部には灰が詰まっており中の灰を精査したところ小さな魚骨の一部及び蟹のハサミの部分、貝殻の一部等が検出された。

石器は、石鏃1点（第157図）、石ヒ1点（第159図）、石錐1点（第157図）、不定形石器2点（第162図）、半円状扁平打製石器2点（第165図）が覆土から出土している。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期末のフラスコ状ピットである。

第75号土坑（第65・143～145・159・163・165図）

〈位置〉 B L・B M-4・5グリッドに位置する。

〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第65号土坑と重複している。第65号土坑の項のところで述べたように、セクション図の西側部分の状況が本土坑の壁の崩壊したものと仮定すると、本土坑が第65号土坑を切って

造ったものであり、本土坑が新しいと推測できる。

〈規模〉 開口部南北157cm、底面南北253cm、深さ166cm。

〈平面形〉 開口部は第65号土坑との重複と北側部分の崩壊で不整形になっているが、底面はやや不整な円形である。

〈覆土〉 第65号土坑とのセクションでは17層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 壁際より中央部が20cmほど下がっている。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 本土坑の覆土からはかなり多く土器が出土している。いずれも縄文時代前期末の円筒下層式の土器である（第143～145図）。

石器は、石ヒ1点（第159図）、磨製石斧1点（第163図）、半円状扁平打製石器1点（第165図）が覆土から出土している。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期末のフラスコ状ピットである。

第76号土坑（第19・101図）

〈位置〉 B M－5・6グリッドに位置する。

〈確認〉 第12号住居跡の床面で暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第12号住居跡と重複している。第12号住居跡の床面上での確認であるので、本土坑が第12号住居跡より古いものと思われる。

〈規模〉 開口部東西87cm×南北73cm、底面東西123cm×南北119cm、深さ58cm。

〈平面形〉 円形である。

〈覆土〉 6層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 やや中央部が低くなっている。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 遺物の出土はみられなかった。

〈小結〉 本土坑は、時期を示す出土資料はみられなかったが、第12号住居跡より古いものであるので、縄文時代前期後半頃の可能性が強い。

第77号土坑（第91・146図）

〈位置〉 B M－3グリッドに位置する。

〈確認〉 黄褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第45号土坑と重複している。本土坑が第14号土坑によって切られており、古いものである。

〈規模〉 開口部東西190、底面東西220cm×南北228cm、深さ62cm。

〈平面形〉 円形と思われる。北側を第45号土坑によって切られており、また、もろい八戸火山灰層に掘り込まれているため、調査途中にも壁が崩壊し、開口部が広がってしまっている。

〈覆土〉 8層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 土器が底面及び覆土から出土している。2は底面の出土で、口頸部が原体押圧で胴部は結束第1種である。いずれも縄文時代前期末の円筒下層式土器である。

〈小結〉 本土坑は出土遺物から縄文時代前期末のフラスコ状ピットである。

第78号土坑（第12・101・144・162図）

〈位置〉 B Y - 9・10グリッドに位置する。

〈確認〉 第6号住居跡の床面中央部で、暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第6号住居跡と重複している。第6号住居跡の床面での検出ですので確認なので、本土坑の方が古いものと思われる。

〈規模〉 開口部東西90cm×南北82cm、底面東西173cm×南北175cm、深さ146cm。

〈平面形〉 円形である。

〈覆土〉 17層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形である。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 土器は、縄文時代前期末頃の破片が覆土から出土している。

石器は、不定形石器1点（第162図）が覆土から出土している。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期末頃のフラスコ状ピットと思われる。

第79号土坑 第10号住居跡の図面と照らし合わせること

〈位置〉 B O - 5グリッドに位置する。

〈確認〉 暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

- 〈規模〉 開口部東西120cm×南北121cm、底面東西128cm×南北129cm、深さ82cm。
- 〈平面形〉 円形である。開口部の東側が一部崩壊している。
- 〈覆土〉 7層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形であるが、開口部が広く底面との差が小さい。
- 〈底〉 中央部がやや低い。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 縄文時代前期後半の円筒下層式の土器片が出土している。
- 石器は、敲磨器が1点（第168図）が覆土から出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代のフラスコ状ピットであるが、時期としては前期後半の可能性が強い。

第80号土坑（第102・145・157・160・162図）

- 〈位置〉 B H-11グリッドに位置する。
- 〈確認〉 暗褐色土及び褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 開口部東西135cm×南北124cm、底面東西203cm×南北192cm、深さ66cm。
- 〈平面形〉 円形である。開口部の西の張り出しは攪乱によるものである。
- 〈覆土〉 6層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 底面の中央よりやや南西よりに径30cm深さ5cmの小ピットがある。
- 〈遺物〉 覆土から縄文時代前期後半の円筒下層式の小片が出土している。
- 石器は、覆土から石鏃1点（第157図）、石筥1点（第160図）、不定形石器1点（第162図）が出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットと思われる。

第81号土坑（第102・146図）

- 〈位置〉 B H・B I-9グリッドに位置する。
- 〈確認〉 暗褐色土及び極暗褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 開口部東西108cm×南北97cm、底面東西200cm×南北204cm、深さ121cm。
- 〈平面形〉 円形である。開口部の東側が攪乱によって一部乱れている。

- 〈覆土〉 8層に区分された。第9・10・11層は攪乱部のものである。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 覆土から縄文土器の小片が出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、時期を明瞭に示すような資料の出土がみられない。縄文時代のフラスコ状ピットである。

第82号土坑（第103図）

- 〈位置〉 B H・B I－8グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒色土及び黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 東西160cm×家刈る南北161cm、深さ36cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 4層に区分された。
- 〈壁〉 やや緩やかな立ち上がりを示す。
- 〈底〉 中央部が低くなっている。
- 〈施設〉 西壁よりに径30cm深さ18cmの小ピットがある。
- 〈遺物〉 なし。
- 〈小結〉 本土坑は、時期・性格等が不明の土坑である。

第83号土坑（第103・145図）

- 〈位置〉 B G・B H－9グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒褐色土及び暗褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 南側を第83 a号土坑とすると、北側の約径1 m深さ20cmの土坑（第83 b号土坑）と重複している。セクションで見ると、第83 a号土坑が第83 b土坑を切って造られたものである。
- 〈規模〉 第83 a土坑（開口部東西116cm×南北131cm、底面東西156cm×南北164cm、深さ108cm）、第83 b号土坑（東西11cm深さ20cm）。
- 〈平面形〉 第83 a号土坑はやや不整な円形である。第83 b土坑は円形である。
- 〈覆土〉 第83 a号土坑は9層に区分された。第83 b土坑は4層に区分された。
- 〈壁〉 第83 a号土坑はフラスコ形。第83 b土坑は壁が緩やかに立ち上がるものである。
- 〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 覆土から縄文時代前期後半の円筒下層式の破片が出土している。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットと思われる。

第84号土坑（第102・146・159・166・169・170図）

〈位置〉 B I - 11グリッドに位置する。

〈確認〉 黒褐色土及び褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 開口部東西118cm×南北112cm、底面東西186cm×南北183cm、深さ121cm。

〈平面形〉 円形である。

〈覆土〉 14層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 土器は、縄文時代前期後半の円筒下層式の小片が出土している。

石器は、底面から半円状扁平打製石器2点（第166図）、台石1点（第170図）、敲磨器1点（第169図）が出土し、覆土から石ヒ2点（第159図）が出土している。

〈小結〉 本土坑は、時期を明示する資料の出土はみられないが、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットであると思われる。

第85号土坑（第103・147図）

〈確認〉 C C - 5グリッドに位置する。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 東西86cm×南北90cm、深さ14cm。

〈平面形〉 円形である。

〈覆土〉 4層に区分された。

〈壁〉 やや急な立ち上がりを示す。

〈底〉 平坦であるが、北側が一段高くなっている。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 覆土から縄文土器の小片が出土している。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代の土坑であるが、時期・性格等が不明である。

第86号土坑（第104・147図）

- 〈位置〉 C B - 4・5グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒褐色土及び黒色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 東西96cm×南北109cm、深さ55cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 6層に区分された。
- 〈壁〉 垂直に立ち上がるものである。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 覆土から縄文時代前期の円筒下層式土器の小片が出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代の土坑であるが、時期・性格は不明である。

第87号土坑（第104・147図）

- 〈位置〉 C C - 4・5グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 開口部東西119cm×南北105cm、底面東西150cm×南北135cm、深さ107cm。
- 〈平面形〉 開口部はやや東西に長い不整形円形、底面は円形である。
- 〈覆土〉 4層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 かなり凹凸がある。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 縄文時代前期後半の円筒下層式の破片が覆土している。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットである。

第88号土坑（第104・147・148図）

- 〈位置〉 B Z - 8グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒褐色土及暗褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 東西110cm×南北122cm、深さ30cm。
- 〈平面形〉 円形である。

- 〈覆土〉 5層に区分された。
- 〈壁〉 底面からは最初緩やかに立ち上がり、その上は急に立ち上がるものである。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 底面から少し上の覆土から縄文時代前期末の円筒下層式の土器が出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期末の土坑である。

第89号土坑（第105・148図）

- 〈位置〉 B X - 5・6グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 第100号土坑と底面が重複している。本土坑の方が新しいものである。
- 〈規模〉 開口部東西109cm×南北127cm、底面東西207cm×南北205cm、深さ155cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 11層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形である。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 底面中央に径30cm深さ12cmの小ピットがある。
- 〈遺物〉 縄文土器の小片が覆土から出土したのみである。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代のスラスコ状ピットである。

第90号土坑（第104・148図）

- 〈位置〉 B X・B Y - 6グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 開口部東西165cm×南北170cm、中場（最小径部）東西110cm×南北110cm、底面152cm×南北160cm、深さ160cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 15層に区分された。
- 〈壁〉 スラスコ形。上部が一段と広がっている形である。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 覆土から縄文土器片が出土している。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代のスラスコ状ピットであるが、出土遺物からは時期は明らかではない。

第91号土坑（第106・148図）

〈位置〉 B Y - 5 グリッドに位置する。

〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 開口部と122cm×南北125cm、底面と170cm×南北163cm、深さ82cm。

〈平面形〉 開口部、底面とも円形である。

〈覆土〉 6層に区分された。

〈壁〉 スラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 底面中央部に径45cm深さ16cmの円形のピットがある。

〈遺物〉 覆土から縄文土器が出土している。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代のスラスコ状ピットであるが、出土遺物からは時期は明らかではない。

第92号土坑（第106・148・169図）

〈位置〉 B Z - 3 グリッドに位置する。

〈確認〉 黒褐色土及び黒色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 開口部東西116cm×南北114cm、底面東西148cm×南北145cm、深さ120cm。

〈平面形〉 円形である。

〈覆土〉 6層に区分された。

〈壁〉 スラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 覆土から縄文時代前期後半の円筒下層式の小片が出土している。

石器は、敲磨器1点（第169図）が覆土から出土している。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期後半のスラスコ状ピットの可能性がある。

第93号土坑 (第106・148・157・160, 166図)

- 〈位置〉 B K・B L-7グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 開口部東西108cm×南北128cm、底面東西233cm×南北195cm、深さ140cm。
- 〈平面形〉 開口部はやや南北に長い楕円形、底面は東西に長い楕円形。
- 〈覆土〉 10層に区分された。
- 〈壁〉 スラスコ形。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 土器は、覆土から縄文時代前期後半の円筒下層式の破片が出土している。
石器は、石鏃1点(第157図)、石錐1点(第157図)、石筥1点(第160図)、半円状扁平打製石器2点(第166図)が覆土から出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットである。

第94号土坑 (第107・149図)

- 〈位置〉 B N-7グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒褐色土及び暗褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 開口部東西138cm×南北112cm、底面東西192cm×南北191cm、深さ112cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 11層に区分された(小ピットも含めて)。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 底面中央に径約30cm深さ15cmの小ピットが、底面北西隅に径約25cm深さ18cmの小ピットがある。
- 〈遺物〉 覆土から縄文時代前期後半の円筒下層式の土器が出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットと思われる。

第95号土坑 (第107・149図)

- 〈位置〉 B Z-9グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。

- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 東西121cm×南北131cm、深さ27cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 3層に区分された。
- 〈壁〉 底面から最初は緩やかにその上は急に立ち上がるものである。
- 〈底〉 中央部が最も低くなっている。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 覆土から縄文時代前期後半の円筒下層式の小片が出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、時期・性格等が明らかではない。

第96号土坑（第107・149・163・169図）

- 〈位置〉 B O－7 グリッドに位置する。
- 〈確認〉 褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 開口部東西85cm×南北110cm、底面東西188cm×南北204cm、深さ140cm。
- 〈平面形〉 開口部は北東南西方向に長い不整形、底面はやや不整な円形である。
- 〈覆土〉 7層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 土器は、覆土から縄文時代前期後半の円筒下層式の破片が出土している。
土器は、覆土から磨製石斧1点（第163図）と敲磨器1点（第169図）が出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットと思われる。

第97号土坑（第108図）

- 〈位置〉 B D－9 グリッドに位置する。
- 〈確認〉 遺跡の立地する段丘の北端部で検出され、黒褐色土及び褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 北で第122号土坑と、南で第120号土坑、西で第98号土坑と重複している。本土坑が、第120号土坑を切っているもので、本土坑が新しいものである。第98号土坑に切られているもので、本土坑の方が古いものである。第122号土坑とは、新旧関係が不明である。
- 〈規模〉 底面は径2 m前後と思われる。

〈平面形〉 開口部はもともと削平が進んでいたが、崩れやすいシラスに掘り込まれていたため開口部が崩れてしまった。円形と思われる。

〈覆土〉 15層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 底面中央に径40cm深さ18cmの小ピットがある。また、小ピットから北東に幅10cm程度の溝がある。

〈遺物〉 出土遺物はみられなかった。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代のフラスコ状ピットであるが、時期は不明である。

第98号土坑（第108図）

〈位置〉 B C・B D－9グリッドに位置する。

〈確認〉 遺跡の立地する段丘の北端部で、第97号土坑の西に暗褐色土及び黒褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第97号土坑と重複している。本土坑が第97号土坑を切って造られており、新しいものである。

〈規模〉 開口部南北200cm、底面東西221cm×南北238cm、深さ98cm。

〈平面形〉 円形である。

〈覆土〉 7層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 底面中央に径47cmの深さ16cmの小ピットがある。

〈遺物〉 なし。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代のフラスコ状ピットであるが、時期は不明である。

第99号土坑（第109・149・162・169図）

〈位置〉 B K－5・6グリッドに位置する。

〈確認〉 遺跡の立地する段丘の北斜面にあり、褐色土及び黒褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 開口部東西167cm×南北185cm、底面東西195cm×南北194cm、深さ83cm。

〈平面形〉 円形である。

〈覆土〉 9層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形である。開口部が削平がかなりなされている。東側は一部崩壊している。

〈底〉 幾分凹凸がある。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 土器は、縄文時代前期後半の円筒下層式が出土している。1は復元された個体で口頸部が原体押圧、隆帯上に刺突があり、胴部は結束第1種と結節回転が施されている。底面から10cm程上の覆土から検出されたものである。

石器は、不定形石器1点（第162図）、敲磨器1点（第169図）が出土している。

〈小結〉 本土坑は、出土遺物から縄文時代前期末のフラスコ状ピットである。

第100号土坑（第105・150図）

〈位置〉 B X - 5 グリッドに位置する。

〈確認〉 黒褐色土及び黄褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第89号土坑と一部重複している。本土坑の方が古いものである。

〈規模〉 開口部東西107cm×南北103cm、底面東西157cm×南北180cm、深さ170cm。

〈平面形〉 円形である。

〈覆土〉 19層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形である。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 縄文時代前期後半の円筒下層式の土器片が覆土から出土している。

〈小結〉 本土坑は縄文時代前期後半のフラスコ状ピットと思われる。

第101号土坑（第109図）

〈位置〉 B L - 7 グリッドに位置する。

〈確認〉 暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第57号土坑及び第69号土坑と重複している。新旧関係は不明である。

〈規模〉 南北55cm、深さ60cm。

〈平面形〉 重複のため平面形の把握は不明である。

〈覆土〉 5層に区分された。

〈壁〉 垂直に立ち上がるものである。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 なし。

〈小結〉 本土坑は、時期・性格の不明な土坑である。

第102号土坑（第109・150図）

〈位置〉 C A - 8 グリッドに位置する。

〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 開口部東西130cm×南北120cm、底面東西155cm×南北165cm、深さ130cm。

〈平面形〉 開口部は不整な円形、底面は円形である。

〈覆土〉 12層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 縄文時代前期後半の円筒下層式の土器片が覆土から出土している。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットと思われる。

第103号土坑（第110・150図）

〈位置〉 B Z ・ C A - 2 グリッドに位置する。

〈確認〉 暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 開口部東西213cm×南北231cm、底面東西268cm×南北342cm、深さ164cm。

〈平面形〉 開口部は不整円形、底面は南北に長いやや不整な楕円形である。

〈覆土〉 28層に区分された。中程の両側壁近くに、壁崩壊土と思われる黄褐色土が堆積している。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 底面中央近くに径18cm深さ38cmのピットがみられる。

〈遺物〉 覆土から縄文土器の小片が出土している。2は貝殻の腹縁による押引きで縄文時代早期に属するものである。他は前期の破片である。

〈小結〉 本土坑は、時期を明示する資料の出土がみられない。開口部で径が2 mを越え底径が3 m前後というように極めて大きなものである。縄文時代のフラスコ状ピットであるが、前

期の可能性が高いと思われる。

第104号土坑（第110・151図）

〈位置〉 BB・BC-8・9グリッドに位置する。

〈確認〉 遺跡の立地する段丘の北端部にあり、削平がかなりなされ、特に斜面側は壁が既にある状態である。暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 開口部東西196cm×南北196cm、底面東西237cm×南北236cm、深さ98cm。

〈平面形〉 円形である。

〈覆土〉 7層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。西壁は既にある状況であった。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 覆土から縄文時代前期後半の円筒下層式の土器が出土している。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットである。

第105号土坑（第111図）

〈位置〉 BB-9グリッドに位置する。

〈確認〉 遺跡の立地する段丘の北端の斜面上部にあり、暗褐色土及び黒褐色土の落ち込みとして確認した。落ち込みは削平のため、斜面上部に開口部から底面まで斜めに切断された状況である。

〈重複〉 平成5年度の調査で、第262号土坑と底面の一部が重複していることが判明したが、新旧関係は不明である。

〈規模〉 開口部東西200cm、底面東西218、深さ58cm。

〈平面形〉 現状では東西に長い楕円形であるが、削平によるもので、本来は円形に近いものと思われる。

〈覆土〉 5層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。削平のため北側に壁はみられない。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 なし。

〈小結〉 本土坑は、遺物の出土がみられず、時期は明瞭ではない。縄文時代のフラスコ状ピット

トである。

第106号土坑（第108図）

〈位置〉 B D - 9・10グリッドに位置する。

〈確認〉 遺跡の立地する段丘の北端にあり、黒褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第120号土坑と重複している。本土坑が第120号土坑を切っており、新しいものである。

〈規模〉 南北210cm、深さ32cm。

〈平面形〉 やや不整な円形である。

〈覆土〉 3層に区分された。

〈壁〉 東側は急な立ち上がりであるが、西側は緩やかである。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 なし。

〈小結〉 本土坑は、時代・性格等が不明な土坑である。

第107号土坑 欠番

第108号土坑 欠番

第109号土坑（第112・150図）

〈位置〉 B L - 4グリッドに位置する。

〈確認〉 遺跡の立地する段丘の北端の北斜面にあり、にぶい褐色土及び暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第110号土坑と重複している。本土坑が第110号土坑より新しいものである。

〈規模〉 開口部東西163cm×南北174cm、底面東西180cm×南北184cm、深さ150cm。

〈平面形〉 円形である。

〈覆土〉 9層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 覆土から縄文時代前期後半の円筒下層式の土器片が出土している。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットである。

第110号土坑（第112・151図）

〈位置〉 B L - 4 グリッドに位置する。

〈確認〉 遺跡の立地する段丘の北端の北斜面にあり、明褐色土の藻ち込みとして確認した。

〈重複〉 第109号土坑と重複している。本土坑が第109号土坑より古いものである。

〈規模〉 東西100cm×南北105cm、深さ23cm。

〈平面形〉 やや不整な円形である。

〈覆土〉 1層である。

〈壁〉 浅いため壁の状況は明瞭ではない。

〈底〉 凹凸がみられる。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 覆土から縄文土器の小片が出土。

〈小結〉 本土坑は、出土遺物からは時期は明らかではないが、第109号土坑により古いので縄文時代前期後半あるいはそれ以前と思われる。

第111号土坑（第111図）

〈位置〉 B L - 3 グリッドに位置する。

〈確認〉 遺跡の立地する段丘から北に尾根状に下がる北西斜面にあり、褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 開口部南北156cm、底面南北190cm、深さ57cm。

〈平面形〉 円形である。西側部分は当初プランが把握しづらかったため、トレンチを入れて調査したため、壁が一部不明となっている。

〈覆土〉 5層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 東から西に緩やかに傾斜している。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 なし。

〈小結〉 本土坑は、遺物の出土がみられず、時期は不明である。近辺のフラスコ状ピットはほとんど縄文時代前期後半から末にかけてのものであるので、その時期の可能性はある。

第112号土坑（第112・152図）

- 〈位置〉 B L・B M－2グリッドに位置する。
- 〈確認〉 遺跡の立地する段丘から北に尾根状に下がる北西斜面にあり、褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 開口部東西169cm×南北131cm、底面東西201cm×南北174cm、深さ73cm。
- 〈平面形〉 東西方向に長い楕円形である。
- 〈覆土〉 6層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 南西方向に傾斜している。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 覆土から縄文土器が出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代のフラスコ状ピットである。近辺のフラスコ状ピットで時期の明らかなものは縄文時代前期後半から末にかけてのものであるので、本土坑も同様の時期の可能性はある。

第113号土坑（第113図）

- 〈位置〉 B L・B M－1・2グリッドに位置する。
- 〈確認〉 遺跡の立地する段丘から北に尾根状に下がる北西斜面にあり、暗褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 開口部東西281cm×南北212cm、底面東西282cm×南北240cm、深さ81cm。
- 〈平面形〉 東西方向に長い楕円形である。
- 〈覆土〉 13層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。北西部分は壁が崩壊しオーヴァーハングはしていない。
- 〈底〉 中央部がやや低くなっている。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 なし。
- 〈小結〉 本土坑は、遺物の出土がみられず、時期は不明である。近辺のフラスコ状ピットはほとんど縄文時代前期後半から末にかけてのものであるので、その時期の可能性はある。

第114号土坑（第113図）

〈位置〉 B L - 1・2グリッドに位置する。

〈確認〉 遺跡の立地する段丘から北に尾根状に下がる北西斜面にあり、黒褐色土及び暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 開口部東西122cm×南北160cm、底面東西180cm×南北175cm、深さ110cm。

〈平面形〉 開口部はかなり不整形。底面はやや不整な円形である。

〈覆土〉 11層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 中央がやや低くなっている。

〈施設〉 底面の中央より北側に東西35cm×南北45cmの深さ25cmの小ピットがある。

〈遺物〉 なし。

〈小結〉 本土坑は、遺物の出土がみられず、時期は不明である。近辺のフラスコ状ピットはほとんど縄文時代前期後半から末にかけてのものであるので、その時期の可能性はある。

第115号土坑 欠番

第116号土坑（第114図）

〈位置〉 B L - 2グリッドに位置する。

〈確認〉 遺跡の立地する段丘から北に尾根状に下がる北西斜面にあり、褐色土及びにぶい黄褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 開口部東西112cm×南北105cm、底面東西195cm×南北220cm、深さ135cm。

〈平面形〉 円形である。

〈覆土〉 19層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。斜面上部側の壁が下側に比べてオーヴァーハングがきつくなっている。

〈底〉 中央部がやや低くなっている。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 なし。

〈小結〉 本土坑は、遺物の出土がみられず、時期は不明である。近辺のフラスコ状ピットはほとんど縄文時代前期後半から末にかけてのものであるので、その時期の可能性はある。

第117号土坑（第19・114・151～153図）

- 〈位置〉 BN-5グリッドに位置する。
- 〈確認〉 第11号住居跡の床面で黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 第11号住居跡と重複している。床面上での確認や、土坑の覆土に住居跡の構築されていることは、本土坑の方が古いことは明らかである。
- 〈規模〉 開口部東西135cm×南北111cm、底面東西140×南北141、深さ45cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 4層に区分されたが、ほとんどが1層であり、人為的な堆積であろう。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 覆土に胴部を主体とする深鉢が数点本出土している。これらは、重複している第11号住居跡の炉の埋設土器であり、第11号住居跡は11 a、・11 b・11 c の分けられるが、第11 a号住居跡はP-7、第11 b号住居跡はP-8、第11 c号住居跡はP-3に対応するものと思われる。
- 〈小結〉 本土坑は、第11号住居跡と重複し、本土坑の覆土に住居跡の炉が構築されたものである。覆土はほぼ一層で埋められており、住居構築の直前の堆積の可能性が考えられる。縄文時代前期末のフラスコ状ピットである。

第118号土坑（第19・114・152図）

- 〈位置〉 BN-6グリッドに位置する。
- 〈確認〉 黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 第11号住居跡と重複している。新旧関係は不明である。
- 〈規模〉 開口部東西94cm×南北110cm、底面東西143×南北135cm、深さ74cm。
- 〈平面形〉 円形である。開口部の北側が一部攪乱を受けている。
- 〈覆土〉 7層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形である。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 覆土から縄文土器の小片が出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文土器のフラスコ状ピットである。近辺のフラスコ状ピットの時期は明らかなのがすべて縄文時代前期後半から末のものなので、本土坑もその頃の可能性がある。

第119号土坑（第19・115・152～154・166・169図）

- 〈位置〉 B M・B N－6グリッドに位置する。
- 〈確認〉 暗褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 第11号住居跡と重複している。
- 〈規模〉 開口部東西100cm×南北106cm、底面東西130cm×南北120cm、深さ73cm。
- 〈平面形〉 やや不整な円形である。
- 〈覆土〉 5層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 やや凹凸がある。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 覆土から縄文時代前期後半の円筒下層式の土器が出土している。
石器は、半円状扁平打製石器1点（第166図）、敲磨器1点（第169図）が出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットである。

第120号土坑（第108・155図）

- 〈位置〉 B D－9グリッドに位置する。
- 〈確認〉 暗褐色土及び黄褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 北側で第97号土坑と、南側で第106号土坑と重複している。新旧関係は、第97号土坑及び第106号土坑ともに本土坑より新しいものである。
- 〈規模〉 開口部東西156cm、底面東西213cm、深さ113cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 14層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 底面中央に径35cm深さ13cmの小ピットがある。
- 〈遺物〉 底面から1の土器が出土している。縄文時代前期末の円筒下層式である。口頸部は原体押圧で、刺突・結節回転があり、胴部は単軸絡条体第1A類である。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期末のフラスコ状ピットである。

第121号土坑（第108図）

- 〈位置〉 B C・B D－8グリッドに位置する。
- 〈確認〉 遺物の立地する段丘の北端にあり、削平・崩壊が進み、北斜面の最上部に断面が確

認された。

〈重複〉 第122号土坑と重複している。新旧関係は不明である。

〈規模〉 残存部は深さ31cm。

〈平面形〉 残存は1／3程であるが、円形であったと思われる。

〈覆土〉 不明。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 不明。

〈遺物〉 なし。

〈小結〉 本土坑は、時期を示す遺物の出土はみられないが、近辺のフラスコ状ピットは縄文時代前期後半から末にかけてのものであるので、本土坑はも同様の時期の可能性はある。

第122号土坑（第108図）

〈位置〉 B D－8・9グリッドに位置する。

〈確認〉 遺跡の立地する段丘の北端にあり、第97号土坑の調査中に検出したものである。

〈重複〉 第97号土坑及び第121号土坑と重複している。新旧関係は不明である。

〈規模〉 不明。

〈平面形〉 不明。

〈覆土〉 不明。

〈壁〉 不明。

〈底〉 残存部では平坦である。

〈施設〉 不明。

〈遺物〉 なし。

〈小結〉 本土坑は、ほとんどが重複で残っていない状態であるが、フラスコ状ピットと思われる。

第123号土坑（第23・115・154図）

〈位置〉 B G－8グリッドに位置する。

〈確認〉 遺跡の立地する段丘の北端に近くあり、黒褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第15号住居跡と重複している。新旧関係は不明。

〈規模〉 東西153cm×南北150cm、深さ56cm。

〈平面形〉 やや不整な円形である。

- 〈覆土〉 2層に区分された。
- 〈壁〉 垂直に立ち上がる部分とオーヴァーハング気味に立ち上がる部分がある。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 覆土から縄文時代前期末の円筒下層式の小片が出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、時代・性格等が不明の土坑である。

第124号土坑（第23・115・154・166・169図）

- 〈位置〉 B F・B G－9グリッドに位置する。
- 〈確認〉 遺跡の立地する段丘の北端近くで黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 第15号住居跡と重複している。新旧関係は不明である。
- 〈規模〉 開口部東西98cm×南北104cm、底面東西157cm×南北196cm、深さ140cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 9層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 中央部が幾分低くなっている。
- 〈施設〉 底面中央部に径40cm深さ15cmの小ピットがある。
- 〈遺物〉 覆土から縄文時代前期後半の円筒下層式小片が出土している。
- 石器は、覆土から半円状扁平打製石器1点（第168図）、敲磨器1点（第169図）が出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代のフラスコ状ピットである。時期を明示する資料の出土はいろいろなが、近辺の時期の明らかなフラスコ状ピットは縄文時代前期後半から末にかけてのものであるので、同様の時期の可能性はある。

第125号土坑（第111図）

- 〈位置〉 B B－8・9グリッドに位置する。
- 〈確認〉 遺跡の立地する段丘の北端にあり、黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 なし。
- 〈規模〉 開口部東西150cm×南北154cm、底面東西178cm×南北190cm、深さ77cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 9層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 遺物の出土はみられなかった。

〈小結〉 本土坑は、縄文時代のフラスコ状ピットであるが、時期は明らかでない。

第126号土坑 欠番

第127号土坑 (第16・116・154・166・169図)

〈位置〉 B N・B N-13グリッドに位置する。

〈確認〉 第9号住居跡の調査中に住居跡の床面でにぶい黄褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第9号住居跡と重複している。本土坑が第9号住居跡より古いものである。

〈規模〉 開口部東西96cm、底面東西155cm×南北170cm、深さ115cm。

〈平面形〉 円形である。開口部の北が一部壊れているのは、第9号住居跡の柱穴によるものである。

〈覆土〉 9層に区分された。

〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 覆土から縄文時代前期後半の円筒下層式の小片が出土している。

石器は、覆土から半円状扁平打製石器1点(第166図)、敲磨器1点(第169図)が出土している。

〈小結〉 本土坑は、第9号住居跡によって切られた、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットと思われる。

第128号土坑 (第116図)

〈位置〉 B L-3・4グリッドに位置する。

〈確認〉 遺跡の立地する段丘の北端で、尾根状に北にのびる北西の斜面にあり、暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 なし。

〈規模〉 開口部東西205cm×南北195cm、底面東西230cm×南北220cm、深さ120cm。

〈平面形〉 円形である。

〈覆土〉 24層に区分された。

- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 底面中央に径40cm深さ8cmの小ピットがある。
- 〈遺物〉 なし。
- 〈小結〉 本土坑は、時期を示す資料の出土がいがられないが、近辺の時期の明らかなフラスコ状ピットは縄文時代前期後半から末のものなので、本土坑も同様のフラスコ状ピットと思われる。

第129号土坑（第19・117・156・159図）

- 〈位置〉 B M - 5 グリッドに位置する。
- 〈確認〉 遺跡の立地する段丘の北端に近くあり、黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 第11号住居跡と重複している。新旧関係は不明である。
- 〈規模〉 開口部東西106cm×南北100cm、底面東西176×南北180cm、深さ114cm。
- 〈平面形〉 円形である。
- 〈覆土〉 11層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 おおよそ平坦である。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 土器は、縄文時代前期後半の円筒下層式が覆土から出土している。1は無文の完形に近い土器である。
- 石器は石匕が1点（第159図）出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットである。

第130号土坑（第117図）

- 〈位置〉 B L - 7 グリッドに位置する。
- 〈確認〉 暗褐色土及び黄褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 第131号土坑と重複している。第131号土坑が本土坑を切っており、本土坑より新しいものである。
- 〈規模〉 開口部東西148cm、底面東西215cm×南北222cm、深さ117cm。
- 〈平面形〉 開口部は第131号土坑により切られて不明であるが、底面は円形である。
- 〈覆土〉 15層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。

〈底〉 平坦である。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 なし。

〈小結〉 本土坑は時期を明示する資料の出土がなく、明確な時期は不明である。近辺のフラスコ状ピットが縄文時代前期後半から末にかけてのものであるので、同様の時期のフラスコ状ピットである可能性がある。

第131号土坑（第117図）

〈位置〉 B K・B M-7 グリッドに位置する。

〈確認〉 暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第130号土坑と重複している。本土坑が第130号土坑を切って構築しており、新しいものである。

〈規模〉 長軸163cm単軸73cm、深さ63cm。

〈平面形〉 北東南西方向に長軸をもつ楕円形。

〈覆土〉 4層に区分された。

〈壁〉 垂直に近い立ち上がりである。

〈底〉 北東側の半分が一段低くなっている。

〈施設〉 なし。

〈遺物〉 なし。

〈小結〉 本土坑は、時代・性格の不明な土坑である。

第132号土坑（第115・118・156図）

〈位置〉 B K-8 グリッドに位置する。

〈確認〉 第8号住居跡の床面で暗褐色土の落ち込みとして確認した。

〈重複〉 第8号住居跡及び第133号土坑と重複している。本土坑は第8号住居跡によって切られ、第133号土坑を切っている。本土坑は第8号住居跡より古く第133号土坑より新しいものである。

〈規模〉 開口部東西111cm、底面東西180cm、深さ101cm。

〈平面形〉 円形である。

〈覆土〉 11層に区分された。覆土は北側からの流れ込みのような堆積状況である。

〈壁〉 フラスコ形。

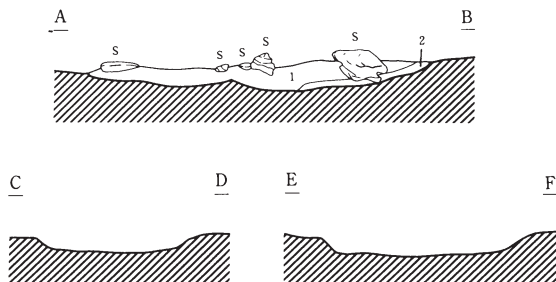
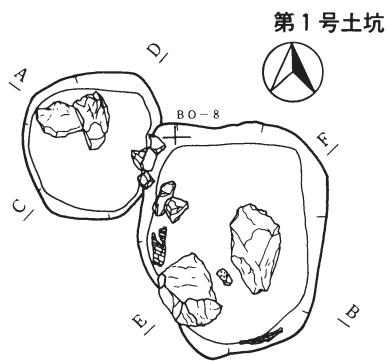
〈底〉 平坦である。

- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 第133号土坑とあわせて縄文時代前期後半の円筒下層式の小片が出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットと思われる。

第133号土坑（第5・118・156図）

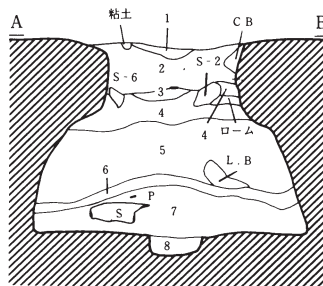
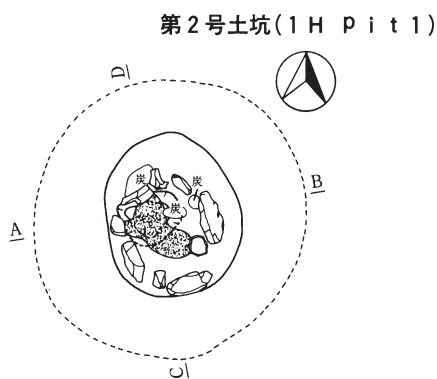
- 〈位置〉 B K - 8 グリッドに位置する。
- 〈確認〉 第8号住居跡の床面で黒褐色土の落ち込みとして確認した。
- 〈重複〉 第8号住居跡及び第132号土坑と重複している。本土坑は第8号住居跡及び第132号土坑の双方に切られており、古いものである。
- 〈規模〉 開口部東西185cm×南北180cm、深さ124cm。
- 〈平面形〉 開口部は第132号土坑によって切られて明確ではなくなっているが、底面は円形である。
- 〈覆土〉 14層に区分された。
- 〈壁〉 フラスコ形。
- 〈底〉 平坦である。
- 〈施設〉 なし。
- 〈遺物〉 第133号土坑とあわせて縄文時代前期後半の円筒下層式の小片が出土している。
- 〈小結〉 本土坑は、縄文時代前期後半のフラスコ状ピットである。

（木村）



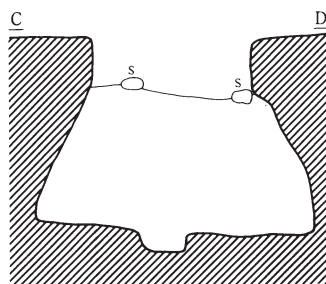
第1号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石粒微量含む。
第2層	褐色土	10Y R 4/4	浮石粒微量含む。

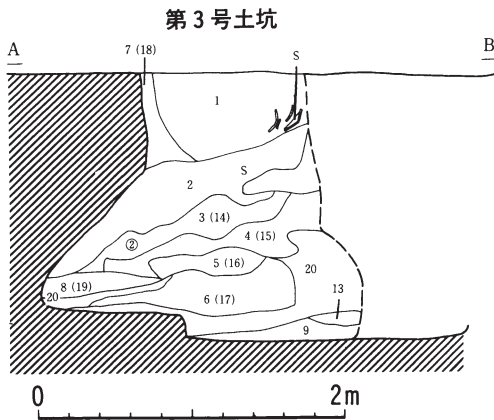
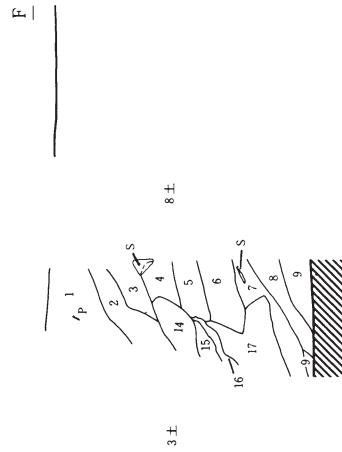
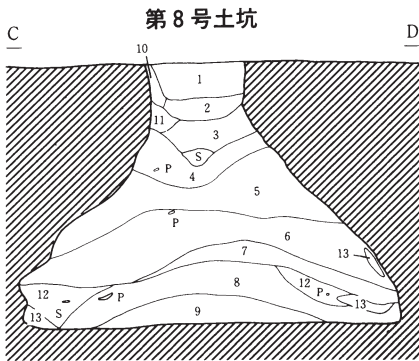
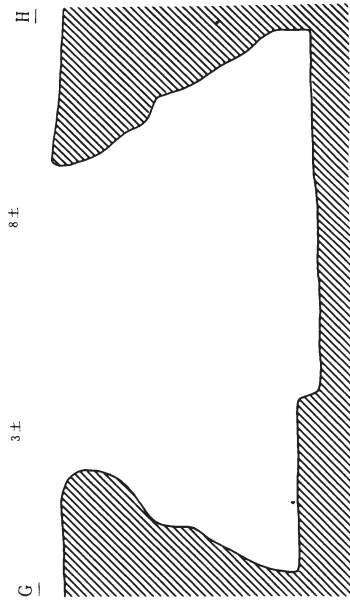
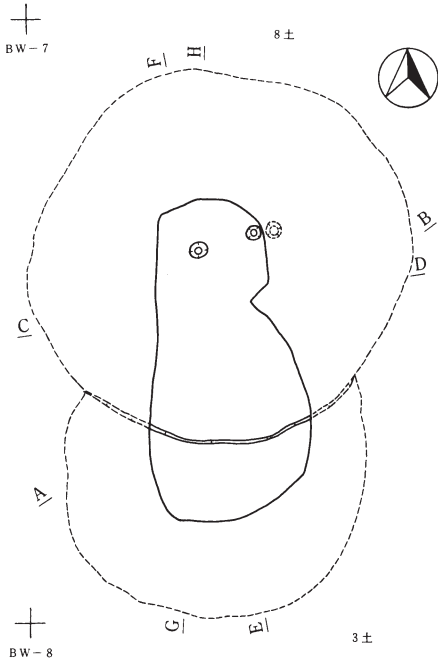


第2号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石中量、炭化粒少量含む。
第2層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石多量、炭化粒少量、粘土ブロック状に少量含む。
第3層	赤褐色土	5Y R 4/6	浮石・炭化粒少量含む。
第4層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石粒中量、粘土ブロック含む。褐色土(10Y R 4/4)のブロックまだらに全体に含む。
第5層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石4層より多く、にぶい黄褐色土(10Y R 7/2)全体にブロック状に含む。
第6層	黒褐色土	10Y R 2/3	混入物なし。
第7層	褐灰色土	10Y R 4/1	粘土質、マーブル状に含む。黒褐色土(10Y R 2/3)ブロック状に含む。
第8層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石・炭化粒・アワズナ少量含む。



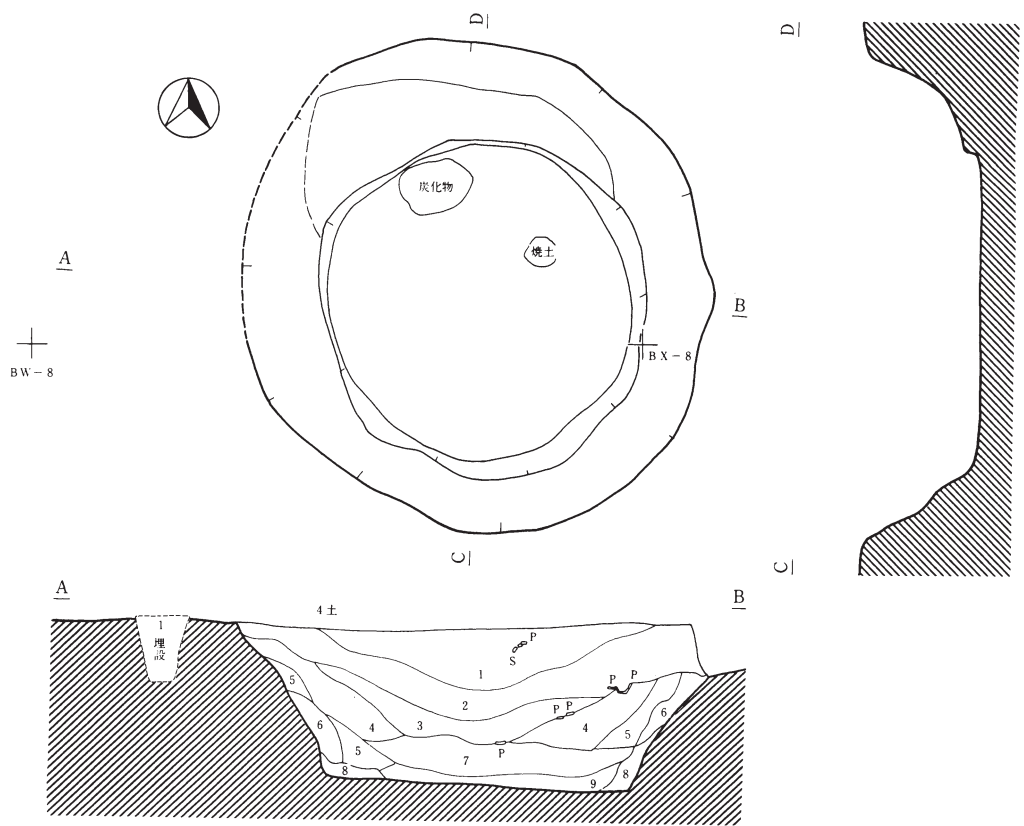
第76図 第1号土坑・第2号土坑



第77图 第3号土坑·第8号土坑

第3・8号土坑土層注記

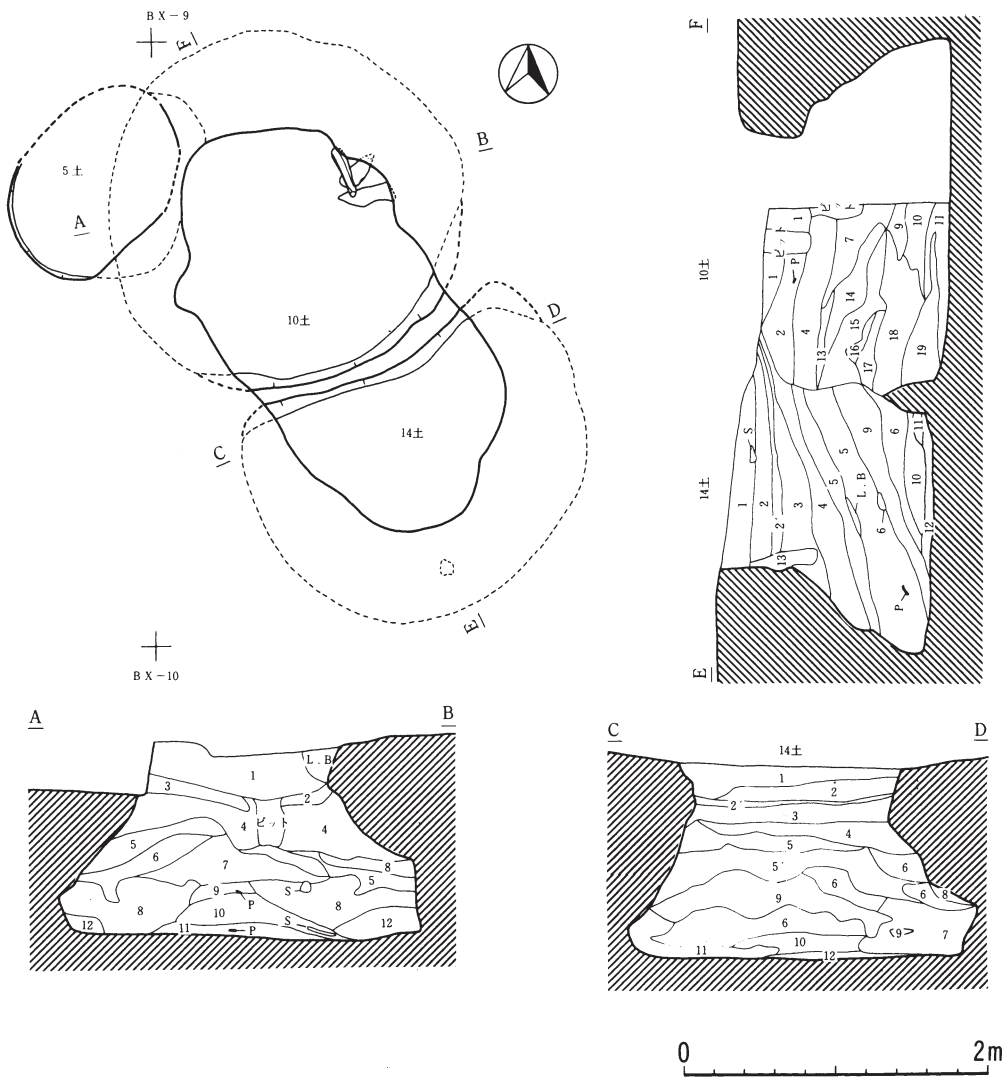
第1層	黒色土	10Y R 3/2	浮石全体的に含む。
第2層	黒色土	10Y R 2/3	浮石全体的に含む。にぶい黄褐色土(10Y R 5/4)まだらに含む。
第3層	黒色土	10Y R 2/3	浮石2層より少し少なく、炭化物少し含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石中量、炭化物少し、灰下の方に多く含む。
第5層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石全体的に少量、炭化物微量に含む。
第6層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石少量、炭化物微量含む。
第7層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石・炭化物微量含む。
第8層	灰黄褐色土	10Y R 6/2	シラス多く含む。
第9層	黒褐色土	10Y R 3/2	シラス粒含む。
第10層	暗褐色土	10Y R 3/4	混入物なし。
第11層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石全体に中量、灰ブロック・ロームブロック含む。
第12層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石全体的に含む。炭化物少と、焼土含む。灰下の方に含む。
第13層	にぶい黄橙色土	10Y R 6/3	混入物なし。
第14層	褐色土	10Y R 4/6	2層らしきブロックが含む。
第15層	黄褐色土	10Y R 5/8	灰黄褐色土(10Y R 5/2)が砂状でかたいブロックで含む。
第16層	暗褐色土	10Y R 3/3	灰黄褐色土(10Y R 5/2)のブロック、浮石少量含む。
第17層	にぶい黄橙色土	10Y R 6/4	灰黄褐色土(10Y R 5/2)のブロックを含む。
第18層	黄褐色土	10Y R 5/8	浮石下位の方に含む。
第19層	褐色土	10Y R 4/4	砂層。
第20層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石多量、炭化物微量、灰黄褐色土(10Y R 5/2)ブロックを含む。



第4号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石ブロック多量、炭化粒少量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石粒・炭化粒多量含む。
第3層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石粒・炭化粒多量含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石粒多量、炭化粒微量含む。
第5層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石粒少量、炭化粒極微量含む。
第6層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石粒・炭化粒微量含む。
第7層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石粒多量、炭化粒微量含む。
第8層	褐色土	10Y R 4/4	浮石粒微量、炭化粒極微量含む。
第9層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石粒・炭化粒微量含む。

第78図 第4号土坑



第79图 第5号土坑·第10号土坑·第14号土坑

第10号土坑土層注記

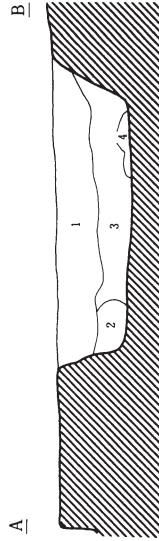
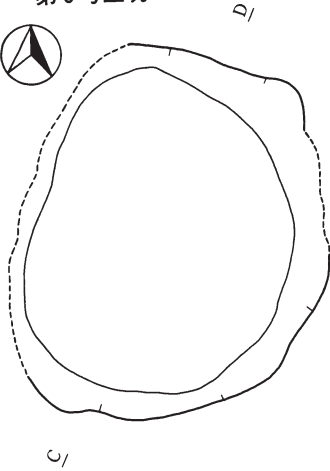
第1層	黒色土	10Y R 2/1	浮石多量、炭化粒微量含む。浮石と黒色土との混合土。
第2層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石・炭化粒微量含む。
第3層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石少量、炭化粒微量含む。
第4層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石中量、炭化粒少量、白い砂ブロック状に少量含む。
第5層	黒褐色土	7.5Y R 2/2	浮石多量、炭化粒微量含む。浮石層。
第6層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	浮石少量、白砂全体に多量、炭化粒微量含む。白砂層。
第7層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石少量、白い骨のような浮石・炭化粒微量含む。4層にやや似る。
第8層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石微量、黒褐色土ブロック状に含む。
第9層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石少量、砂微量に含む。7層とやや似る。
第10層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石（黒みがあった）多量含む。浮石層。
第11層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石、砂少量含む。
第12層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/3	砂層。
第13層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石多量含む。浮石層。
第14層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少量、炭化粒微量含む。
第15層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石中量、炭化粒少量含む。
第16層	褐色土	10Y R 4/4	浮石微量含む。
第17層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/5	褐色土の混合土。砂の様にサラサラな層。
第18層	褐色土	10Y R 6/4	浮石微量、暗褐色土ブロック状に含む。
第19層	にぶい黄褐色土	10Y R 3/6	浮石右側に少量含む。砂層。

第14号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 3/2	白い浮石少量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/3	白い浮石多量、炭化粒微量含む。
第2'層	黒色土	10Y R 2/1	浮石中量、白い浮石微量含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/4	褐色土との混合土。浮石少量、炭化粒微量含む。
第4層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石多量、炭化粒・白い浮石微量含む。
第5層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石中量、白い浮石少量、灰の様なものブロック状に含む。
第5'層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石中量、炭化粒少量、灰の様なものブロック状に含む。
第6層	褐色土	10Y R 4/6	浮石微量含む。ローム層。
第7層	にぶい黄褐色土	10Y R 6/3	白砂層。少し黒い砂含む。
第8層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石多量、白い浮石微量含む。
第9層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石中量、炭化粒微量含む。
第10層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石多量含む。
第11層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/3	浮石微量含む。白っぽい砂層。
第12層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石中量、炭化粒少量含む。
第13層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石中量、炭化粒微量含む。

BY-12

第6号土坑



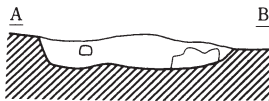
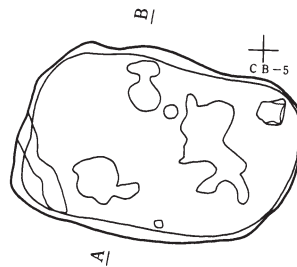
BY-13

第6号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石粒多量、炭化粒極微量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石ブロック多量、炭化粒少量含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/3	混入物なし。
第4層	褐色土	10Y R 4/4	浮石粒少量含む。

第7号土坑

CA-5



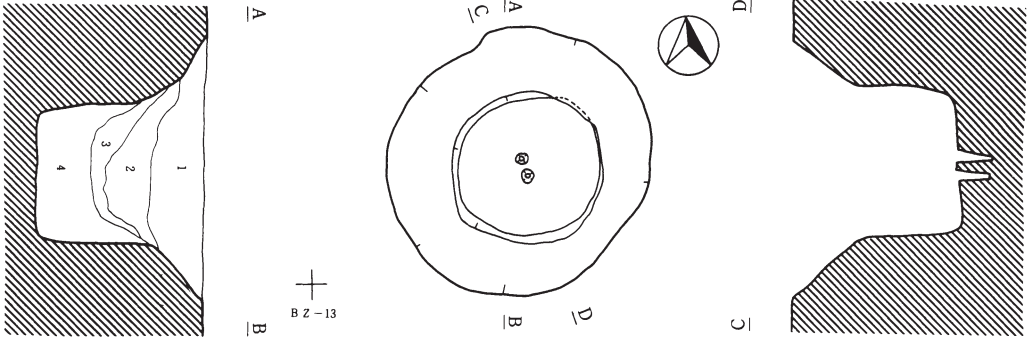
第7号土坑土層注記

第1層	黒色土	10Y R 1.7/1	浮石粒微量、炭化粒多量、3cm大の炭化物含む。
-----	-----	-------------	-------------------------

0 2m

第80図 第6号土坑・第7号土坑

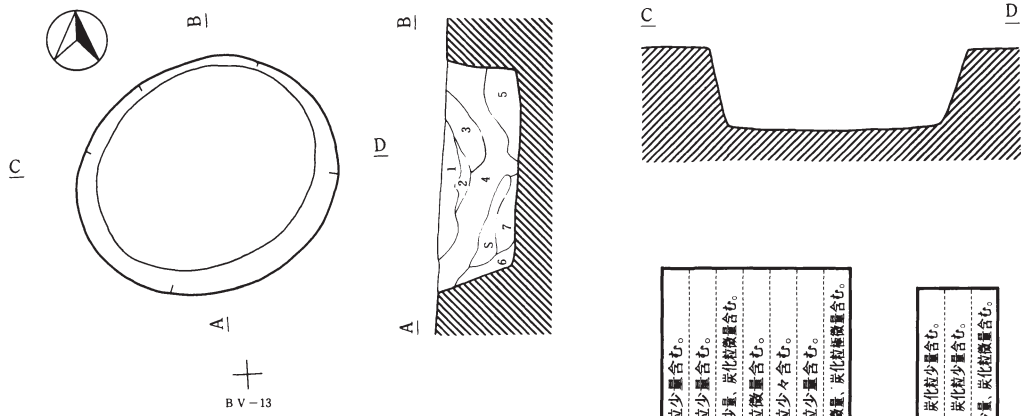
第9号土坑



第9号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石粒少量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石粒多量含む。
第3層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石粒少量含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石粒多量のみ含む。

第11号土坑



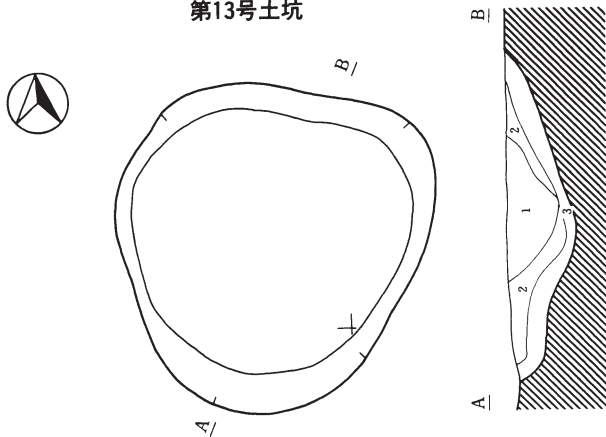
第11号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石粒少量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 1/1	浮石粒少量含む。
第3層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石粒少量、炭化粒微量含む。
第4層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石粒微量含む。
第5層	黒褐色土	10Y R 2/1	浮石粒少々含む。
第6層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石粒少量含む。
第7層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石粒微量、炭化粒微量含む。

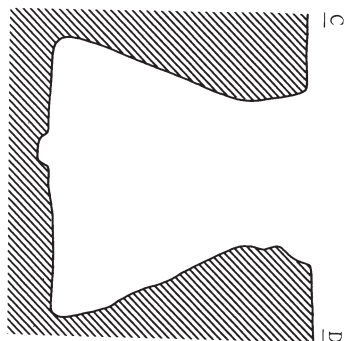
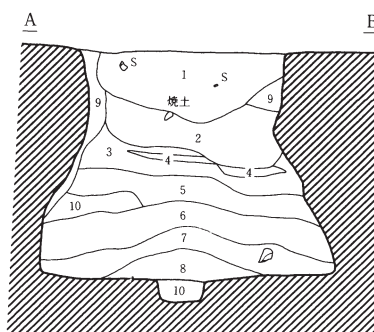
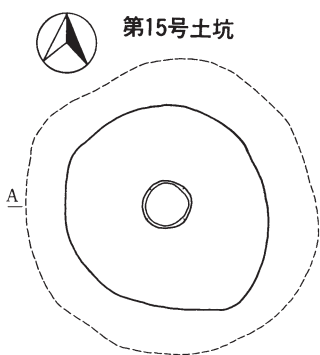
第13号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 1/1	浮石粒、炭化粒少量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石粒、炭化粒少量含む。
第3層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石粒少量、炭化粒微量含む。

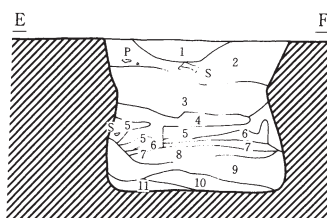
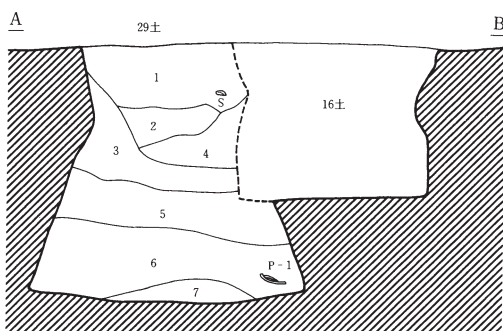
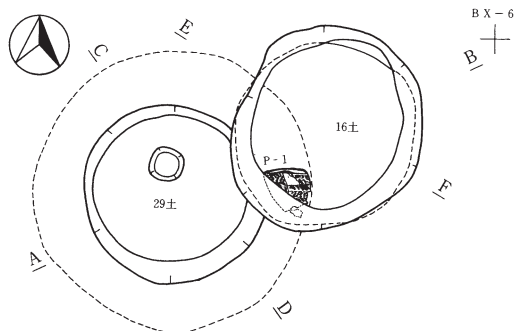
第13号土坑



第81図 第9号土坑・第11号土坑・第13号土坑



第16号·第29号土坑



第82图 第15号土坑·第16号土坑·第29号土坑

第15号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石中量、炭化物微量含む。
第2層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石多量、炭化物微量、焼土ブロック、種子炭化したもの含む。
第3層	褐色土	10Y R 4/6	浮石微量含む。砂っぽい。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石多量、炭化物微量含む。
第5層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石中量、炭化物微量含む。
第6層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石多量、炭化物微量、粘土質土ブロックを含む。
第7層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	浮石多量、シラス粒少量含む。
第8層	褐色土	10Y R 4/4	シラス粒中量含む。
第9層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少量含む。
第10層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石中量含む。

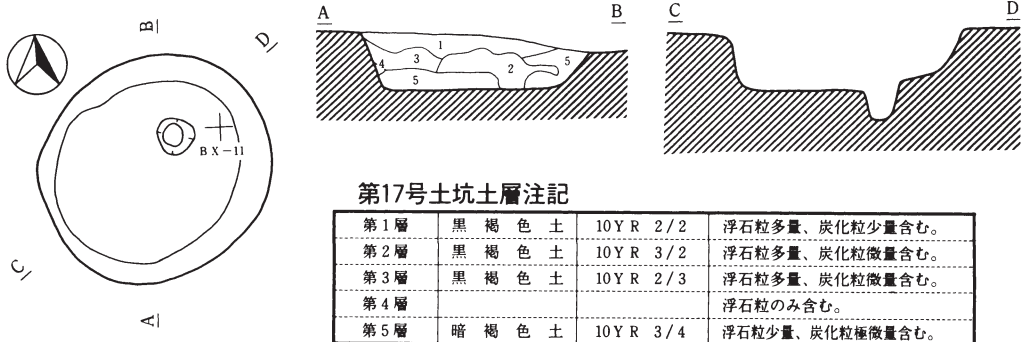
第16号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石少量含む。草根あり。
第2層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石少量含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少量、にぶい黄褐色土 (10Y R 7/4) ブロック状に含む。
第4層	褐色土	10Y R 4/4	浮石少量、炭化物微量含む。
第5層	褐色土	10Y R 4/6	浮石微量含む。
第6層	暗褐色土	10Y R 3/4	混入物なし。
第7層	黄褐色土	10Y R 5/6	混入物なし。
第8層	褐色土	10Y R 4/6	浮石少量含む。
第9層	黄褐色土	10Y R 5/6	混入物なし。
第10層	褐色土	10Y R 4/6	浮石少量含む。
第11層	灰白土	10Y R 8/1	混入物なし。

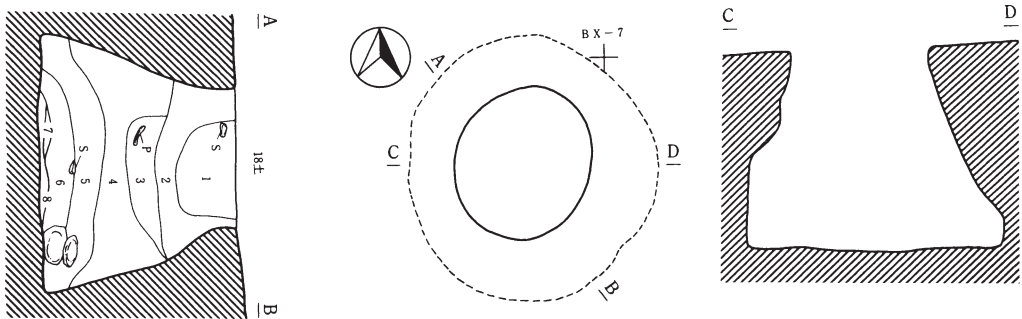
第29号土坑土層注記

第1層	褐色土	10Y R 4/4	浮石多量含む。多量混入。
第2層	褐色土	10Y R 4/6	浮石少量含む。少量混入。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石・シラス粒少量含む。
第4層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	浮石中量含む。
第5層	褐色土	10Y R 4/6	浮石中量含む。
第6層	暗褐色土	10Y R 3/3	炭化物微量、シラス粒多量含む。
第7層	暗褐色土	10Y R 3/4	シラス粒少量含む。

第17号土坑



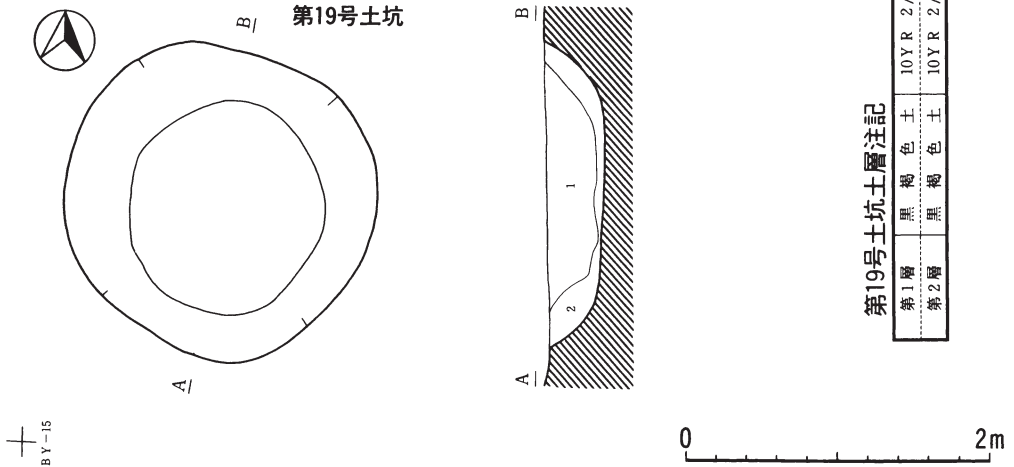
第18号土坑



第18号土坑土層注記

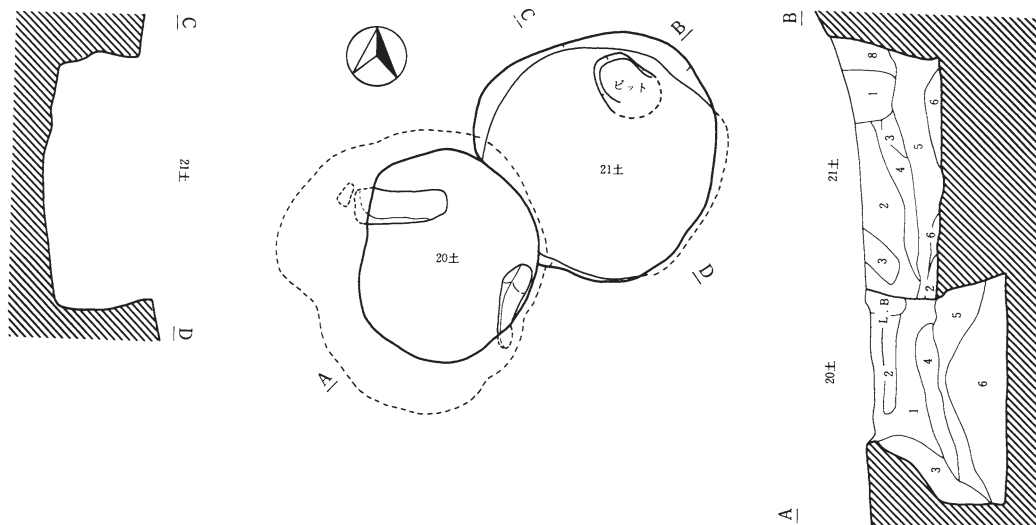
第1層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石中量、炭化物微量含む。
第2層	褐色土	10Y R 4/6	浮石少量、炭化物微量含む。
第3層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石多量、炭化物微量、アズナブロックを含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石多量、炭化物少量含む。
第5層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石多量、炭化物少量含む。
第6層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石多量、炭化物微量含む。
第7層	褐色土	10Y R 4/6	混入物なし。
第8層	褐色土	10Y R 2/3	浮石多量含む。

第19号土坑

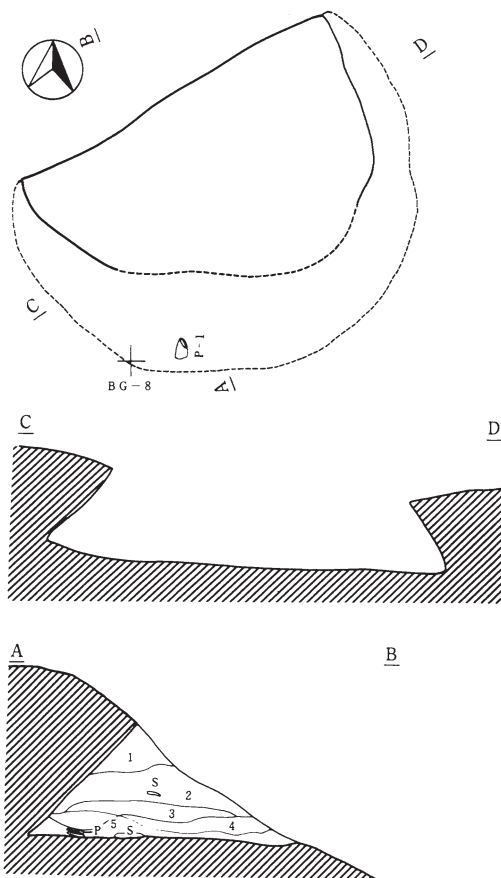


第83図 第17号土坑・第18号土坑・第19号土坑

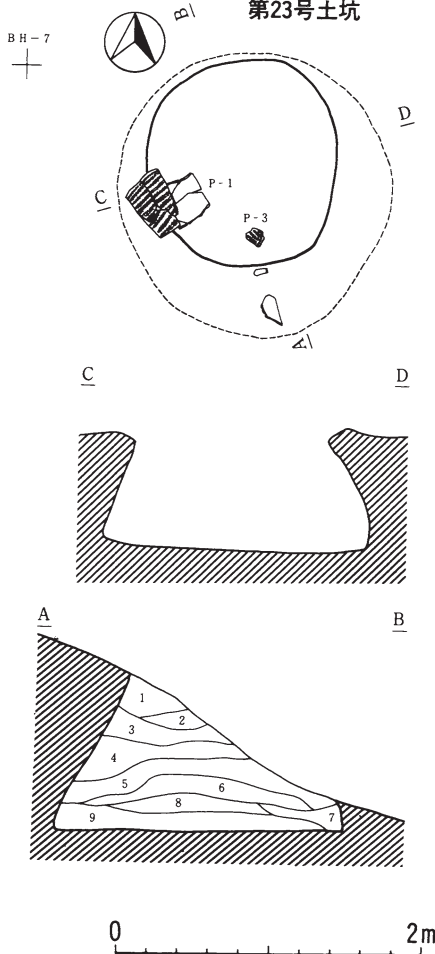
第20・21号土坑



第22号土坑



第23号土坑



第84図 第20号土坑・第21号土坑・第22号土坑・第23号土坑

第20号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石中量、浮石粒少量、アワズナ微量含む。
第2層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少量、炭化粒微量含む。
第3層	褐色土	10Y R 4/4	黄褐色土ブロック状に少量含む。
第4層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	浮石微量、黒褐色土と褐色土ブロック状に含む。砂っぽい層。
第5層	褐色土	10Y R 4/6	浮石極微量、右下白く硬い土有。
第6層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/3	浮石極微量、砂っぽくサラサラしている層。

第21号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石中量、炭化粒少量含む。
第2層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少量、少々砂っぽい。
第3層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	浮石少量含む。サラサラと砂っぽい層。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石・炭化粒少量含む。
第5層	褐色土	10Y R 4/4	浮石少量、炭化粒微量含む。砂っぽくサラサラしている。
第6層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石多量、炭化粒微量含む。
第7層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石少量、炭化粒微量含む。
第8層	黄褐色土	10Y R 5/8	浮石中量、炭化粒少量含む。

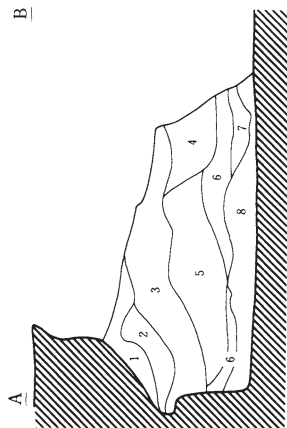
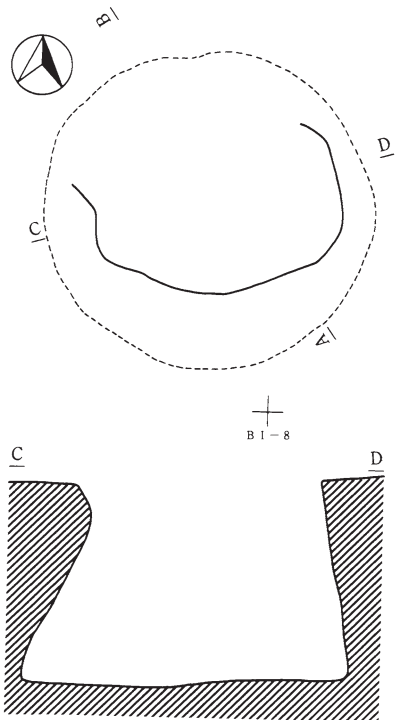
第23号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石粒微量、炭化粒極量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石粒・炭化粒少量含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石粒・炭化粒少量含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石粒・炭化粒少量含む。
第5層	褐色土	10Y R 4/4	浮石粒・炭化粒少量含む。
第6層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/3	浮石粒・炭化粒少量含む。
第7層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石粒・炭化粒少量含む。
第8層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石粒少量、炭化粒多量含む。
第9層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	浮石粒・炭化粒少量含む。

第22号土坑土層注記

第1層	褐色土	10Y R 4/4	浮石粒多量、炭化粒微量含む。
第2層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	浮石粒多量、炭化粒微量含む。
第3層	にぶい黄橙色土	10Y R 6/3	浮石粒・炭化粒少量含む。
第4層	褐色土	10Y R 4/6	浮石粒・炭化粒少量含む。
第5層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/3	浮石粒多量、炭化物少量含む。

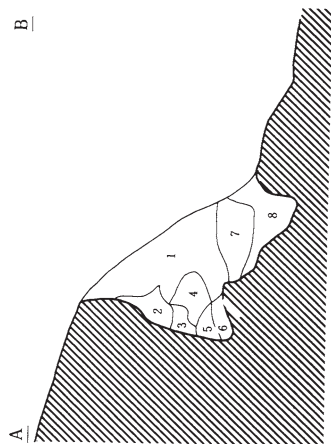
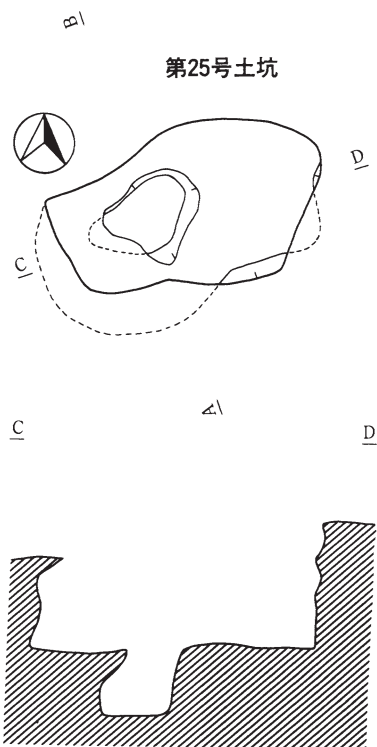
第24号土坑



第24号土坑土層注記

第1層	褐色土	10Y R 4/4	炭化粒極微量含む。
第2層	灰黄褐色土	10Y R 5/2	混入物なし。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/3	炭化粒少量含む。
第4層	黄褐色土	10Y R 5/6	炭化粒極微量含む。
第5層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/3	炭化粒微量含む。
第6層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	炭化粒極微量含む。
第7層	灰黄褐色土	10Y R 6/2	混入物なし。
第8層	暗褐色土	10Y R 3/4	炭化粒微量含む。

第25号土坑



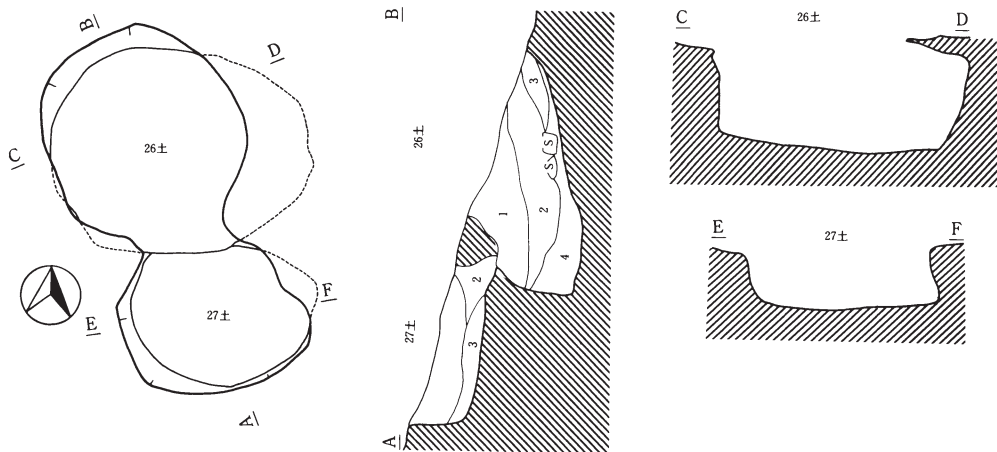
第25号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	7.5Y R 2/2	浮石・砂粒かなり多く、炭化物少し含む。
第2層	褐色土	7.5Y R 4/3	浮石少し、シルトブロック極多く含む。
第3層	にぶい黄褐色土	10Y R 7/4	シルトブロックを含む。
第4層	褐色土	10Y R 4/6	ロームブロックを含む。
第5層	にぶい黄褐色土	10Y R 7/4	シルトブロックを含む。
第6層	暗褐色土	10Y R 3/3	シルト粒・浮石やや多く含む。
第7層	黒褐色土	7.5Y R 2/2	浮石少し含む。
第8層	極暗褐色土	7.5Y R 2/3	浮石少し含む。

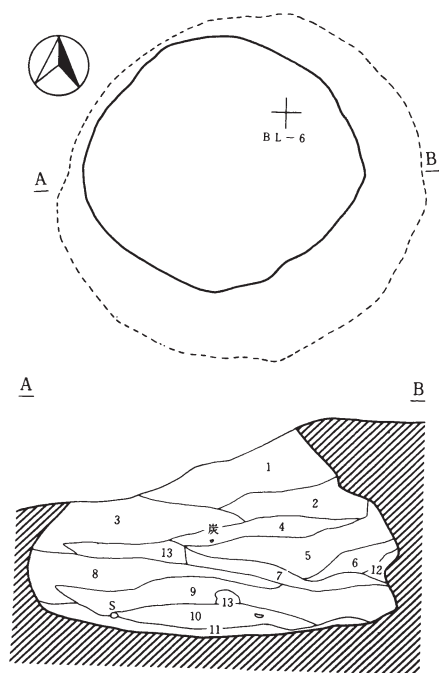
0 2m

第85図 第24号土坑・第25号土坑

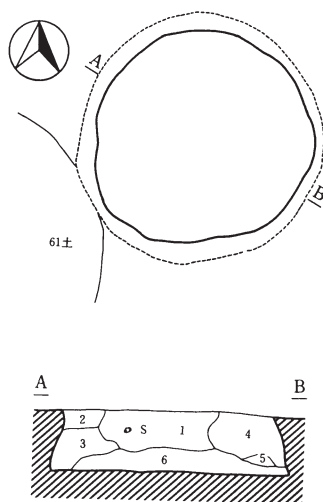
第26·27号土坑



第28号土坑



第30号土坑



第86图 第26号土坑·第27号土坑·第28号土坑·第30号土坑

第26号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	浮石やや多く含む。
第2層	極暗褐色土	7.5Y R 2/3	浮石かなり多く含む。
第3層	暗褐色土	7.5Y R 3/4	浮石少し、砂ブロックを含む。
第4層	褐色土	10Y R 4/4	浮石かなり多く、砂ブロック多く含む。

第27号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	浮石やや多く、シルトブロック多く含む。
第2層	暗褐色土	7.5Y R 3/4	浮石少し、シルトブロックやや多く含む。
第3層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	シルト主体の層。

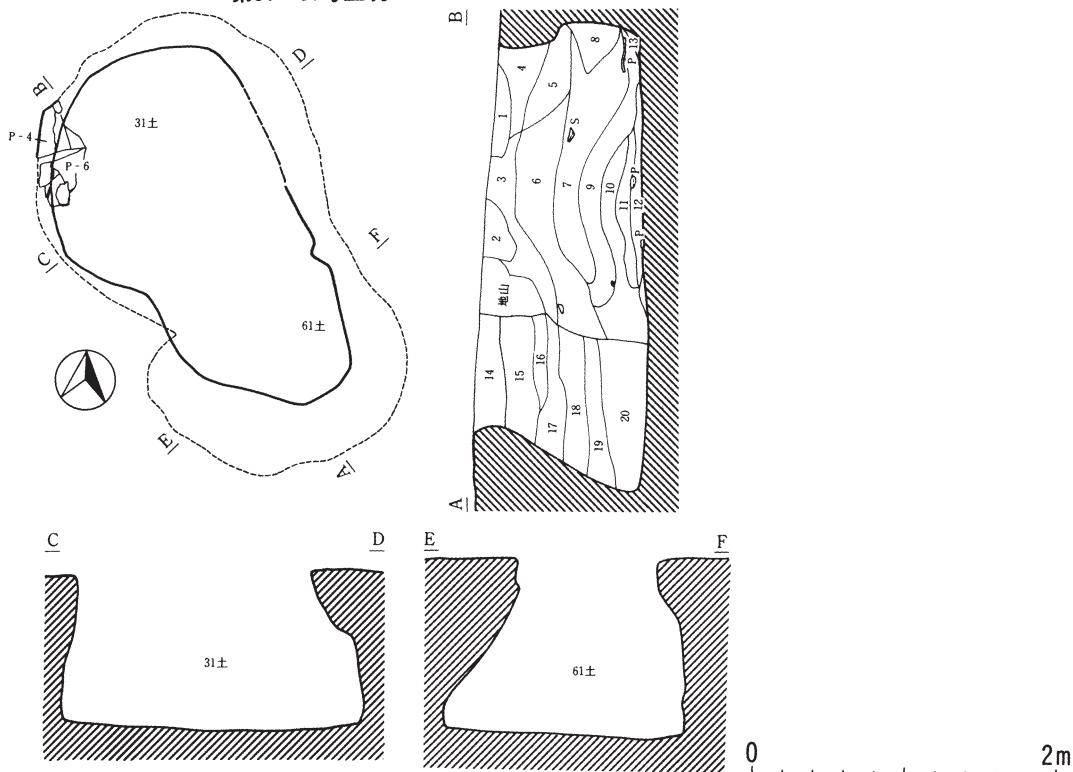
第30号土坑土層注記

第1層	黒色土	10Y R 2/1	シルト質。浮石かなり多く含む。
第2層	褐色土	10Y R 4/4	砂質。砂 (10Y R 6/4) ・浮石少し含む。
第3層	黒褐色土	10Y R 2/3	シルト質。浮石少し、砂 (10Y R 6/4) やや多く含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/4	砂質。砂 (10Y R 6/4) 多く含む。
第5層	にぶい黄褐色土	10Y R 6/3	砂層のブロックを含む。
第6層	黒褐色土	10Y R 2/2	シルト質。2～5mm程度の浮石やや多く含む。

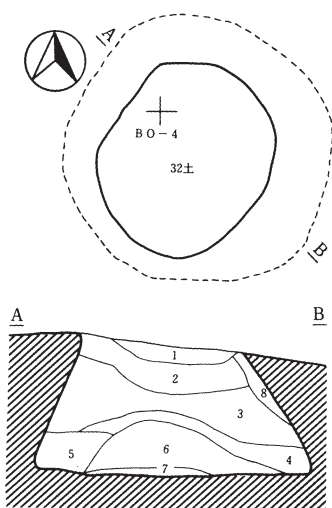
第28号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石少量、炭化物微量含む。
第2層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少量、炭化物極微量含む。
第3層	褐色土	10Y R 4/4	浮石少量、炭化物極微量含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少し、炭化物2ヶ含む。
第5層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石少量、炭化物微量、砂ブロックを含む。
第6層	にぶい黄褐色土	10Y R 6/4	砂ブロックを含む。
第7層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石粒少量、炭化物中量含む。
第8層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	炭化物少量含む。
第9層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石粒多量、炭化物中量含む。
第10層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/3	浮石・シラス粒少量、炭化物微量含む。
第11層	灰白色土	10Y R 8/1	混入物なし。
第12層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	浮石粒中量、炭化物微量含む。
第13層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	浮石粒少量含む。

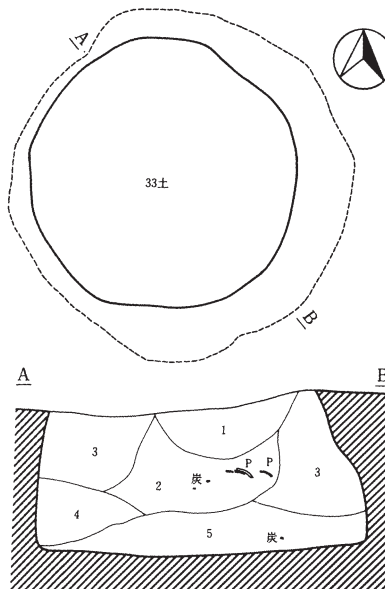
第31·61号土坑



第32号土坑



第33号土坑



第87图 第31号土坑·第61号土坑·第32号土坑·第33号土坑

第31・61号土坑土層注記

第1層	黄褐色土	10Y R 5/6	浮石が主体の層。(かなり土化している)
第2層	黒褐色土	7.5Y R 3/2	浮石かなり多く含む。
第3層	暗褐色土	7.5Y R 3/4	浮石やや多く含む。
第4層	褐色土	7.5Y R 4/4	浮石やや多く、ローム多く含む。
第5層	黄褐色土	2.5Y R 5/4	砂層。
第6層	暗褐色土	7.5Y R 3/4	浮石多く、にぶい黄橙色土砂(10Y R 6/3)の砂ブロックを多く含む。
第7層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	浮石・砂かなり多く、炭化粒かなり多く含む。
第8層	灰黄褐色土	10Y R 6/2	砂層。
第9層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	浮石やや多く、炭化粒多く、砂少し含む。
第10層	褐色土	10Y R 4/4	砂層。
第11層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石少し、小砂礫多く含む層。
第12層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少し含む。砂主体の層。
第13層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/3	浮石少し含む砂層。
第14層	にぶい黄橙色土	10Y R 6/4	浮石やや多く含む。砂主体の層。
第15層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石極めて多く、ロームブロック少し含む。
第16層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	砂層。
第17層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石・砂極めて多く含む。
第18層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	浮石少し含む。砂主体の層。
第19層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少し含む。
第20層	褐色土	10Y R 4/4	浮石・シルト・砂極めて多く、炭化粒少し含む。

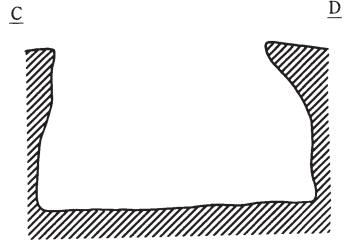
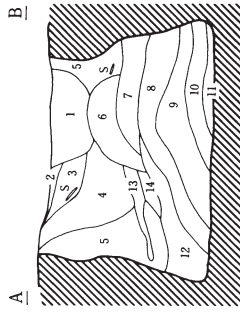
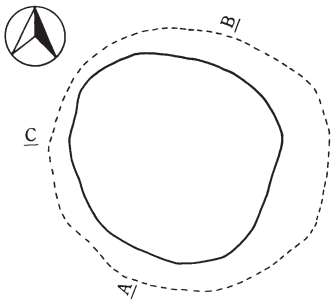
第32号土坑土層注記

第1層	明黄褐色土	10Y R 6/4	浮石粒・炭化物少量含む。
第2層	にぶい黄橙色土	10Y R 6/3	シラス粒多量、暗褐色土砂(10Y R 3/3)マール状に含む。
第3層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	浮石粒少量、にぶい黄橙色土砂(10Y R 6/3)まだらに、炭化物微量含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/3	炭化物微量含む。
第5層	明褐色土	10Y R 7/6	炭化物微量含む。4層マール状に含む。
第6層	にぶい黄橙色土	10Y R 6/4	混入物なし。
第7層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	混入物なし。
第8層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少量含む。

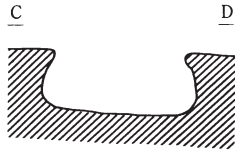
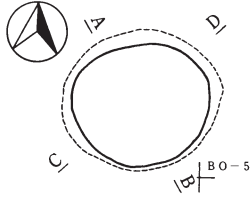
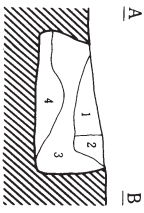
第33号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石・シラス粒少量、炭化物微量含む。草根あり。
第2層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石粒中量、炭化物土器の近くに多く含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石・炭化物少量、砂ブロックで含む。
第4層	明黄褐色土	10Y R 6/6	砂状。
第5層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石中量、炭化物少量含む。

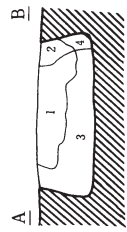
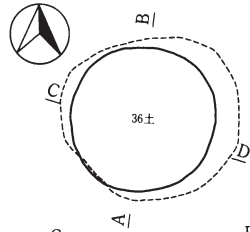
第34号土坑



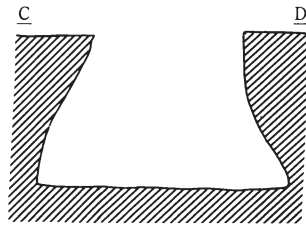
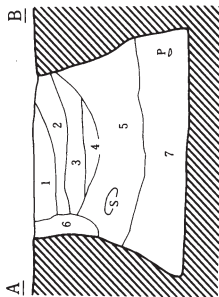
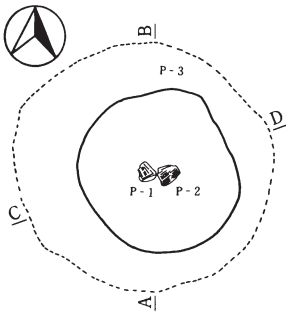
第35号土坑



第36号土坑



第37号土坑



0 2m

第88图 第34号土坑·第35号土坑·第36号土坑·第37号土坑

第34号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石粒少量混入。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/2	混入物なし。
第3層	褐色土	10Y R 4/4	浮石粒少量混入。
第4層	黄褐色土	10Y R 5/6	砂ブロックで混入。
第5層	黄褐色土	2.5Y R 5/3	草根あり。
第6層	褐色土	10Y R 4/4	木根あり。
第7層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石粒微量混入。
第8層	褐色土	10Y R 4/4	浮石粒少量、炭化物微量混入。
第9層	黒褐色土	10Y R 2/2	(7-10mm) 大の浮石多量、炭化物微量混入。
第10層	褐色土	10Y R 4/6	炭化物微量混入。
第11層	黒褐色土	10Y R 2/3	混入物なし。
第12層	黒褐色土	10Y R 3/2	炭化物微量、ロームブロック混入。
第13層	黄褐色土	10Y R 5/6	砂少量混入。
第14層	褐色土	10Y R 4/4	炭化物微量混入。

第35号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石中量含む。
第2層	黄褐色土	10Y R 5/6	混入物なし。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石少量含む。
第4層	黒褐色土	10Y R 3/2	アズナ若干含む。

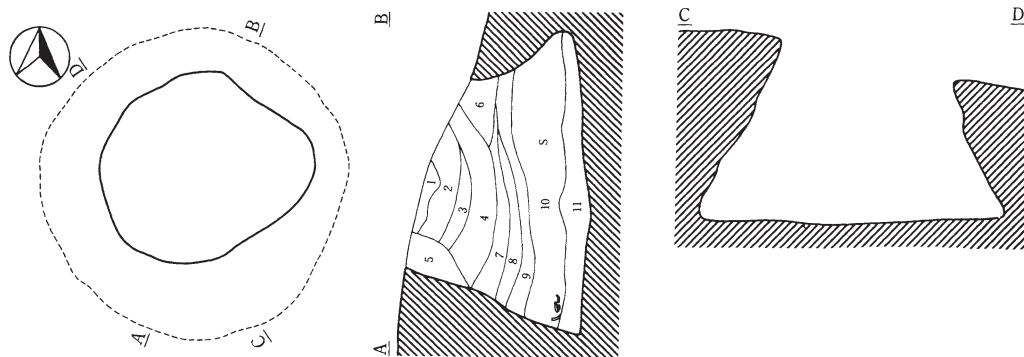
第36号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	7.5Y R 3/2	浮石やや多く含む。
第2層	褐色土	7.5Y R 4/3	浮石少し含む。
第3層	褐色土	7.5Y R 4/4	浮石極少し含むソフトローム質土主体の層。
第4層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	壁崩壊土と思われる。

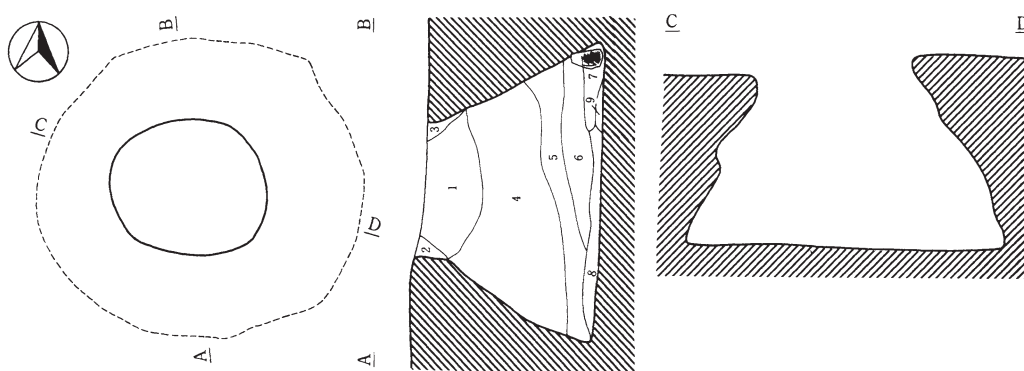
第37号土坑土層注記

第1層	暗オリーブ褐色土	2.5Y R 3/3	浮石かなり含む砂主体の層。
第2層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	浮石やや多く、砂を少し含む。
第3層	暗褐色土	7.5Y R 3/4	浮石少し含む。
第4層	黒褐色土	7.5Y R 3/1	浮石極僅かに含む。
第5層	暗褐色土	7.5Y R 3/4	浮石少し、炭化粒僅かに含む。
第6層	にぶい黄橙色土	10Y R 6/3	壁崩壊の砂主体の層。
第7層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石極僅か、炭化粒少し含む。

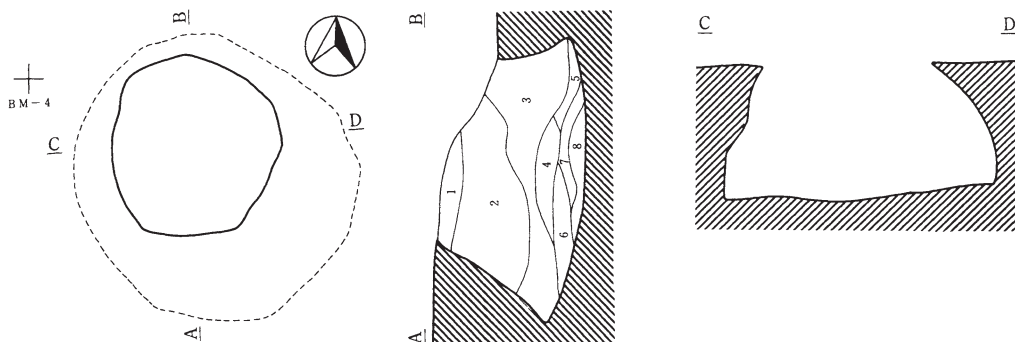
第38号土坑



第39号土坑



第40号土坑



0 2m

第89图 第38号土坑·第39号土坑·第40号土坑

第38号土坑土層注記

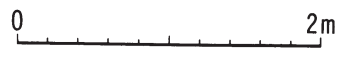
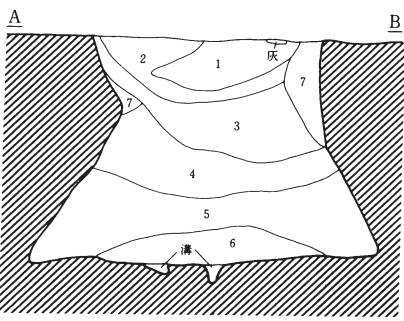
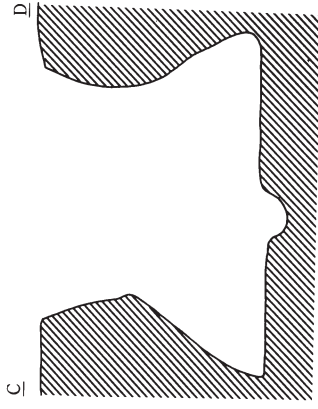
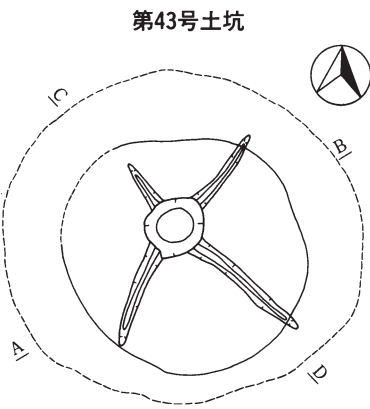
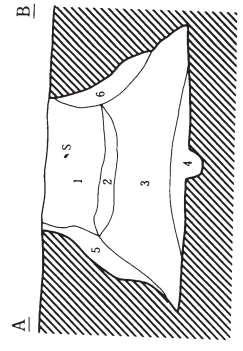
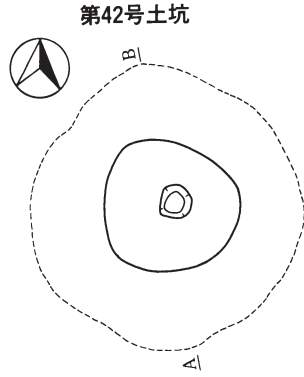
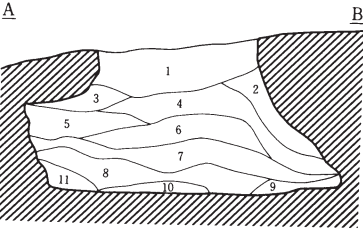
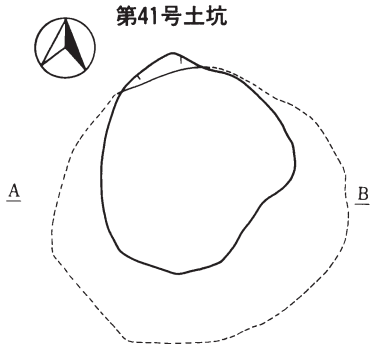
第1層	褐色土	10Y R 4/6	砂質のソフトローム。
第2層	黒褐色土	7.5Y R 2/2	浮石少し含む。
第3層	灰白色土	10Y R 7/1	砂主体の層。
第4層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石かなり多く含む。
第5層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少し、砂質ソフトローム多く含む。
第6層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石・砂質ソフトローム・シルト少し含む。
第7層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石少し、ソフトローム粒多く含む。
第8層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石多く、炭化粒少し含む。
第9層	暗褐色土	10Y R 3/4	7層に似る。
第10層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石少し、炭化粒やや多く含む。
第11層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石かなり多く含む。

第39号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石少し含む。
第2層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石微量、ソフトローム多く含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/4	2層と同じ。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石やや多く、炭化粒少し含む。
第5層	褐色土	10Y R 3/4	浮石やや多く、炭化粒少し含む。
第6層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石やや多く、炭化粒・シラス粒少し含む。
第7層	褐色土	7.5Y R 4/3	浮石やや多く、炭化粒・シラス粒少し含む。
第8層	褐色土	10Y R 4/4	浮石やや多く含む。
第9層	褐色土	10Y R 4/6	ソフトロームブロックを含む。

第40号土坑土層注記

第1層	褐色土	10Y R 4/4	浮石やや多く含む。
第2層	褐色土	10Y R 4/6	浮石やや多く含む。
第3層	黄褐色土	10Y R 5/6	浮石少し、砂ブロック含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石少し、砂粒少し含む。
第5層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石非常に多く、砂粒多く含む。
第6層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	浮石非常に多く、砂粒極めて多く含む。
第7層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石非常に多く、砂粒極めて多く含む。
第8層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石非常に多く、砂粒極めて多く含む。



第90图 第41号土坑·第42号土坑·第43号土坑

第41号土坑土層注記

第1層	極暗褐色土	7.5Y R 2/3	浮石やや多く含む。
第2層	極暗赤褐色土	5 Y R 2/4	浮石少し含む。
第3層	褐色土	7.5Y R 4/3	浮石やや多く、砂少し含む。
第4層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	浮石少し含む。
第5層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	浮石少し、砂多く含む。
第6層	黒褐色土	7.5Y R 3/2	浮石微量に含む。
第7層	褐色土	10Y R 4/4	シルト主体の層。
第8層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石・シルト多く含む。
第9層	にぶい黄橙色土	10Y R 6/4	シルト主体の層。
第10層	褐色土	10Y R 4/4	シルト極めて多く含む。
第11層	にぶい黄橙色土	10Y R 6/3	砂主体の層。

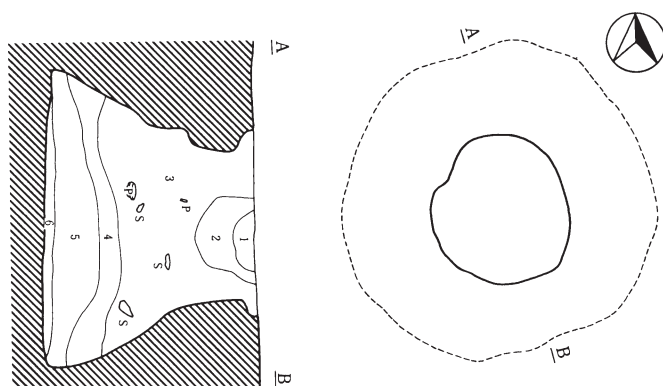
第42号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	7.5Y R 3/2	浮石やや多く含む。
第2層	極暗褐色土	7.5Y R 2/3	浮石少し含む。
第3層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石極僅かに含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石極僅かに含む。
第5層	褐色土	10Y R 4/4	浮石極僅かに含む。
第6層	褐色土	10Y R 4/4	浮石極僅かに含む。

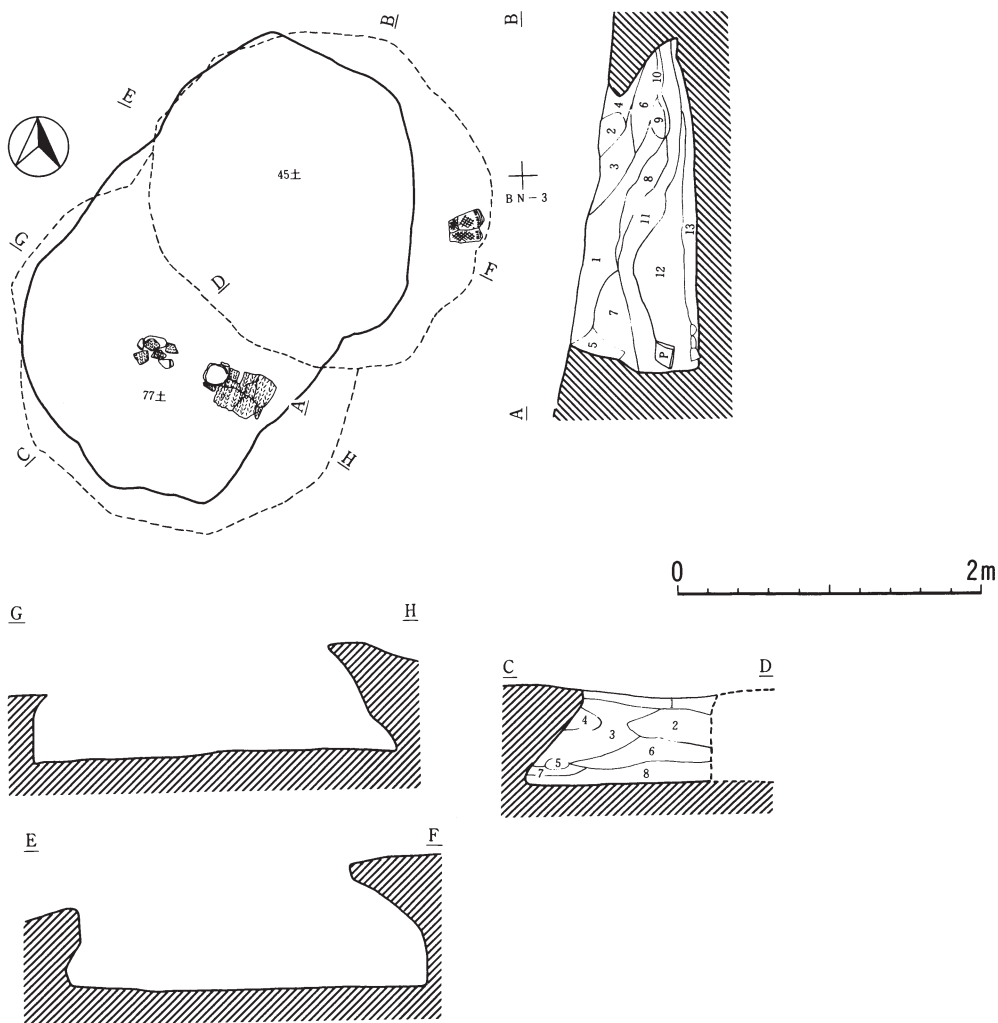
第43号土坑土層注記

第1層	黒色土	10Y R 1.7/1	浮石少量、火山灰らしきもの上層に含む。
第2層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少量含む。
第3層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石全体に中量含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少量含む。
第5層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石少量含む。
第6層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石中量含む。
溝	褐色土	10Y R 4/4	浮石粒・シラス粒多量、炭化物中量含む。

第44号土坑



第45号·77号土坑



第91图 第44号土坑·第45号土坑·第77号土坑

第44号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	7.5Y R 3/2	浮石やや多く含む。
第2層	暗褐色土	7.5Y R 3/4	浮石やや多く含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少し含む。
第4層	褐色土	7.5Y R 4/3	浮石少し含む。
第5層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	浮石・炭化粒少し含む。
第6層	褐色土	10Y R 4/4	浮石・炭化粒少し、ローム土を多く含む。

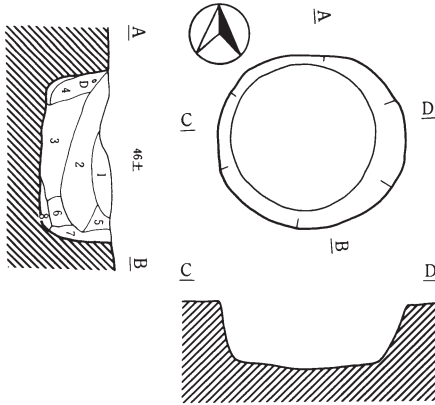
第45号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	7.5Y R 2/2	浮石やや多く含む。
第2層	灰黄色土	2.5Y R 6/2	砂層。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石やや多く含む。
第4層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	浮石やや多く、シルト層やや多く含む。
第5層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石やや多く、シルト層少し含む。
第6層	暗褐色土	10Y R 3/3	5層に似る。
第7層	褐色土	10Y R 4/6	砂層。
第8層	黒褐色土	7.5Y R 3/1	浮石少し、炭化粒やや多く含む。
第9層	にぶい黄色土	2.5Y R 6/3	砂層ブロック。
第10層	浅黄色土	2.5Y R 7/3	シルト層。
第11層	オリーブ褐色土	2.5Y R 4/4	浮石・シルトブロック多く含む。
第12層	オリーブ褐色土	2.5Y R 4/6	砂礫質で7層に似る砂層。
第13層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	褐色土やや多く、シルト・砂少し含む。

第77号土坑土層注記

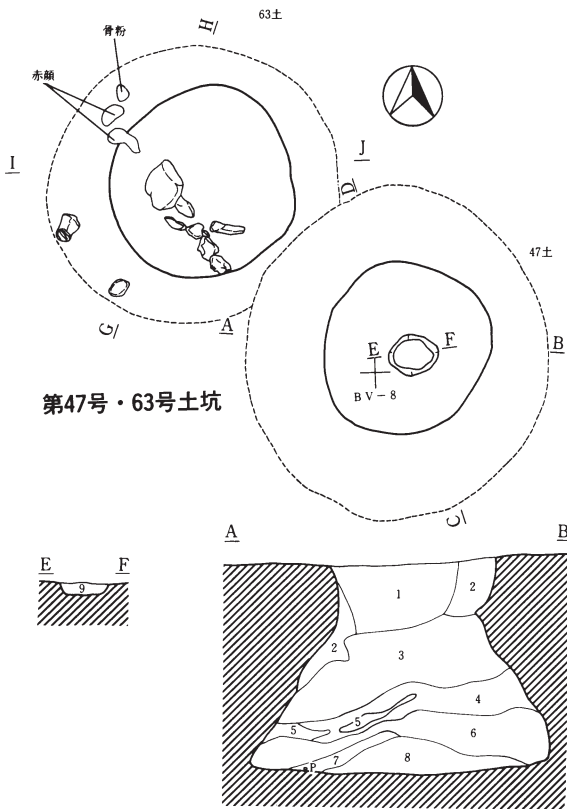
第1層	黄褐色土	2.5Y 5/4	砂層。
第2層	暗褐色土	10Y R 3/3	砂質で、浮石・シルトかなり多く、砂少し含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/4	砂質で、浮石かなり多く含む。
第4層	オリーブ褐色土	2.5Y 4/4	砂層ブロック。
第5層	灰白色土	2.5Y 7/1	シルトブロック。
第6層	褐色土	10Y R 4/4	浮石・シルトかなり多く含む。
第7層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	砂主体の層。
第8層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	浮石・シルトブロックかなり多く、炭化粒少し含む。

第46号土坑

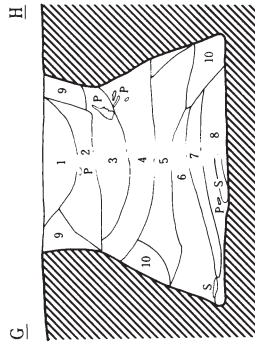


第46号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石中量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石多量含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石多量含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石中量含む。
第5層	暗褐色土	10Y R 3/4	混入物なし。
第6層	褐色土	10Y R 4/4	浮石多量含む。
第7層	褐色土	10Y R 4/6	混入物なし。
第8層	褐色土	10Y R 4/4	混入物なし。



第47号・63号土坑



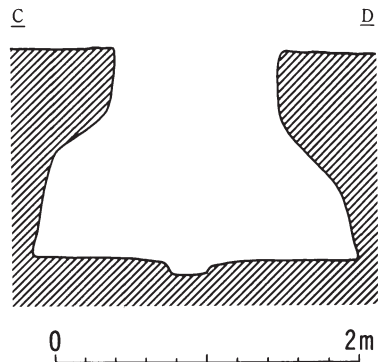
第47号・63号土坑

第63号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石中量含む。
第2層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石少量含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/4	炭化物微量、砂ブロック含む。
第4層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石少量、炭化物・炭土微量、砂ブロック含む。
第5層	黒褐色土	10Y R 2/1	浮石多量含む。
第6層	暗褐色土	10Y R 3/3	砂っぽい層。
第7層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石多量、炭化物微量含む。
第8層	褐色土	10Y R 4/4	混入物なし。
第9層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石微量、砂ブロック含む。
第10層	暗褐色土	10Y R 3/3	炭化物微量含む。

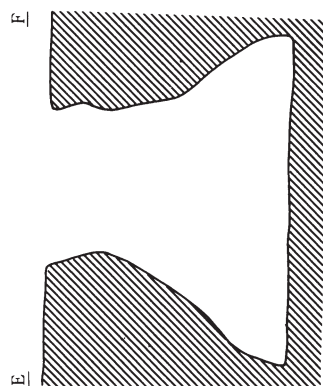
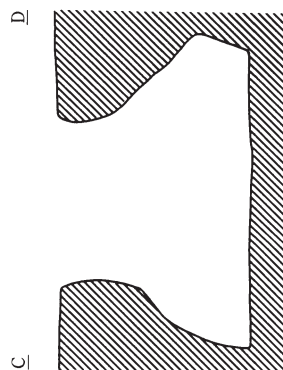
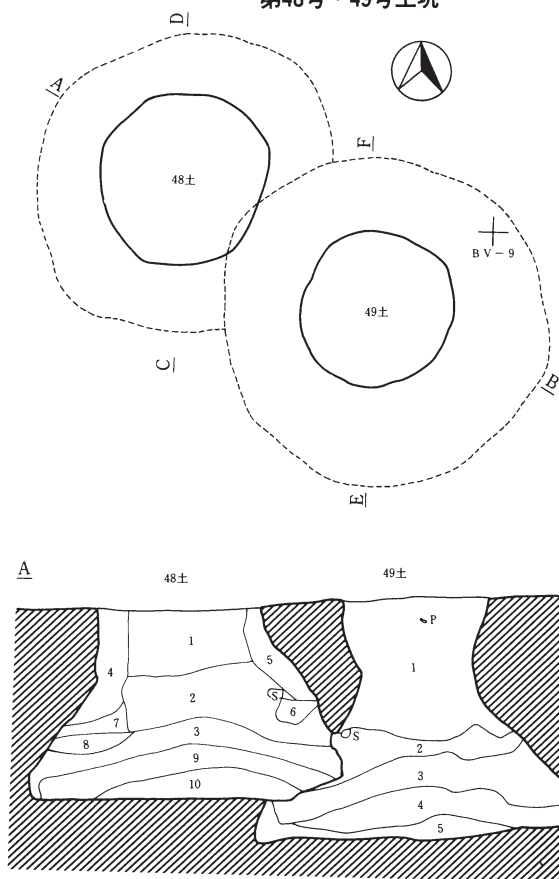
第47号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石粒 (5~12mm) 中量混入。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石粒少量混入。
第3層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石多量、炭化物微量混入。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石全体に中量、炭化物微量混入。
第5層	褐色土	10Y R 4/6	混入物なし。
第6層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	浮石 (2~3mm) 少量、炭化物微量混入。
第7層	黒褐色土	10Y R 2/2	炭化物微量混入。
第8層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/3	炭化物 (2cm大) 微量混入。
第9層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/3	浮石粒多量混入。



第92図 第46号土坑・第47号土坑・第63号土坑

第48号・49号土坑



0 2m

第48号土坑土層注記

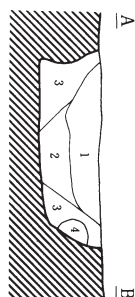
第1層	黒褐色土	7.5YR 3/2	浮石極多く含む。
第2層	暗褐色土	10YR 3/3	浮石極多く含む。
第3層	暗褐色土	10YR 3/4	浮石多く含む。
第4層	暗褐色土	10YR 3/4	浮石極少し、砂質ロームブロック極多く含む。
第5層	褐色土	10YR 4/6	砂質。浮石極少し、ローム・砂からなる。
第6層	にぶい黄褐色土	10YR 5/3	砂層。
第7層	暗褐色土	7.5YR 3/4	浮石少し、砂質ローム多く含む。
第8層	赤褐色土	2.5YR 4/6	砂質で極めて多く含む。
第9層	黒褐色土	7.5YR 2/2	浮石多く含む。
第10層	褐色土	10YR 4/4	浮石少し含む。砂質である。

第49号土坑土層注記

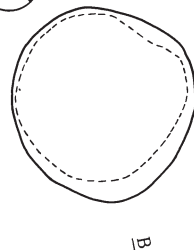
第1層	極暗褐色土	7.5YR 2/3	浮石やや多く含む。
第2層	褐色土	7.5YR 4/6	ローム土極めて多く含む。
第3層	にぶい黄褐色土	10YR 4/3	浮石極めて多く含む。砂質。
第4層	灰黄褐色土	10YR 4/2	砂からなる層。
第5層	灰黄褐色土	10YR 5/2	砂からなる層。

第50号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10YR 2/2	浮石粒少量含む。
第2層	黒褐色土	10YR 2/3	浮石粒微量含む。
第3層	暗褐色土	10YR 3/4	砂質。
第4層	黄褐色土	10YR 5/8	砂質。

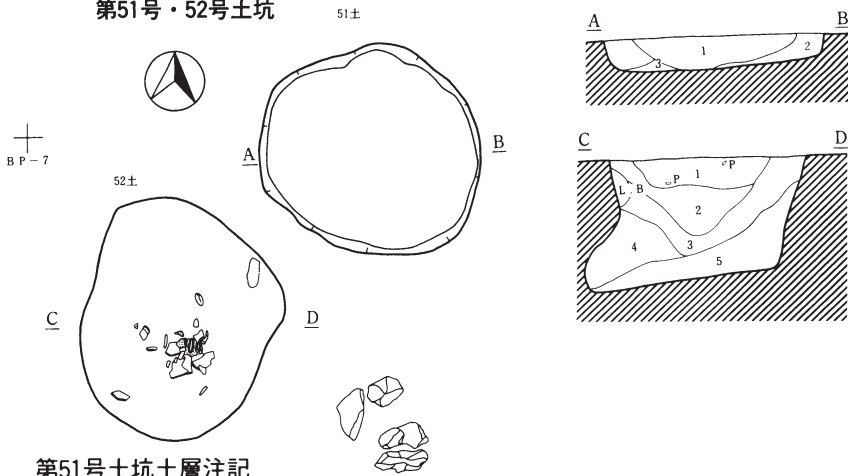


第50号土坑



第93図 第48号土坑・第49号土坑・第50号土坑

第51号・52号土坑

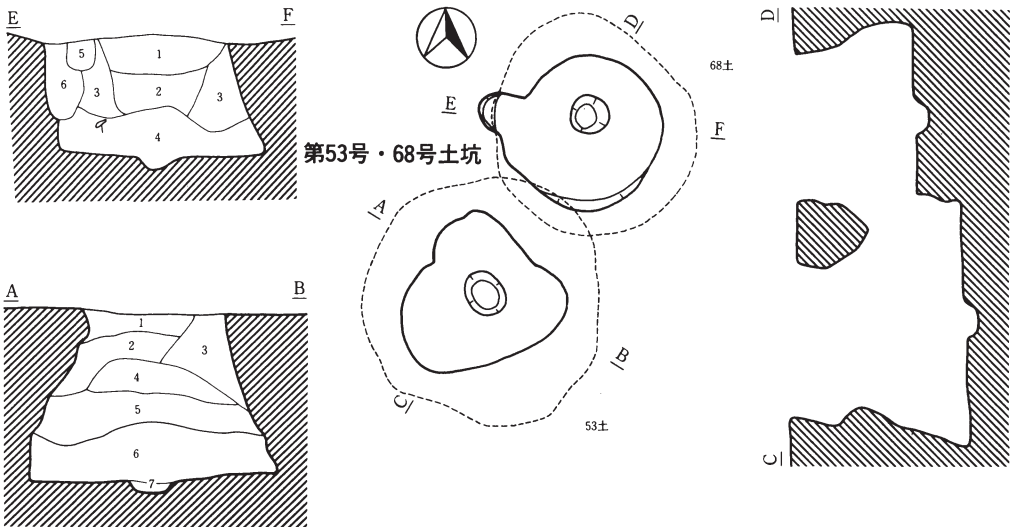


第51号土坑土層注記

第1層	黒色土	10Y R 2/1	浮石・ローム粒少量含む。
第2層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石微量含む。
第3層	褐色土	10Y R 4/4	浮石微量含む。砂っぽくガラガラしている。

第52号土坑土層注記

第1層	黒色土	10Y R 2/1	浮石少量、白い浮石(小)微量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石少量含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石微量含む。
第4層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石微量含む。砂質。
第5層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石微量含む。ローム粒との混合土。砂質。



第53号・68号土坑

0 2m

第94図 第51号土坑・第52号土坑・第53号土坑・第68号土坑

第68号土坑土層注記

第1層	褐色土	10Y R 4/4	浮石少量、炭化物微量、砂含む。
第2層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石(大)中量含む。
第3層	黄褐色土	10Y R 5/6	浮石少量含む。
第4層	褐色土	10Y R 4/6	アワズナのブロックところどころ含む。
第5層	黒色土	10Y R 2/1	混入物なし。
第6層	明黄褐色土	2.5Y 6/6	混入物なし。

第53号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	浮石をやや多く含む。
第2層	黒褐色土	7.5Y R 3/2	浮石・シルトをやや多く含む。
第3層	暗褐色土	7.5Y R 3/4	浮石を少し含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石・砂・シルトをかなり多く含む。
第5層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/3	浮石少し、砂を極多く含む。
第6層	オリブ褐色土	2.5Y 4/6	砂主体の層。
第7層	黄褐色土	2.5Y 5/4	砂主体の層。

第56号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	7.5Y R 3/2	大の浮石をやや多く含む。
第2層	黄褐色土	2.5Y 5/4	砂層。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石・砂・炭化物を少し含む。
第4層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石少し、砂礫を多く含む。
第5層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少し、ソフトローム多く含む。
第6層	暗オリブ褐色土	2.5Y 3/3	浮石・シルトブロックを少し含む。
第7層	極暗褐色土	7.5Y R 2/3	浮石を僅かに含む。
第8層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	浮石・砂礫を少し含む。
第9層	暗褐色土	7.5Y R 3/4	浮石少し、砂礫を少し含む。
第10層	褐色土	7.5Y R 4/4	浮石・砂礫を少し含む。

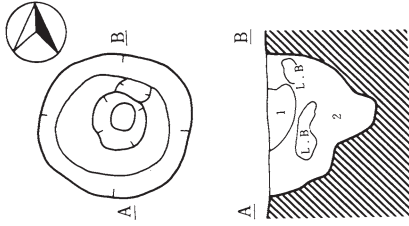
第57号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少量、アワズナ中央部にブロック状に多量に含む。
第2層	褐色土	10Y R 4/4	浮石微量、アワズナブロック状に少量含む。

第69号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石中量、炭化粒微量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石少量、炭化粒中量、焼土粒が下位に多量含む。
第3層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石・炭化粒少量含む。
第4層	黒褐色土	10Y R 2/2	炭化粒多量含む。
第5層	黒褐色土	7.5Y R 2/2	浮石・炭化粒少量、粘土がブロック状に2つ含む。
第6層	黒褐色土	7.5Y R 3/2	浮石・炭化粒少量、アワズナ上位に少量含む。

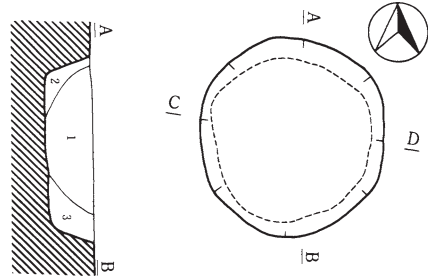
第54号土坑



第54号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	10Y R 3/4	草根多い。
第2層	褐色土	10Y R 4/4	混入物なし。

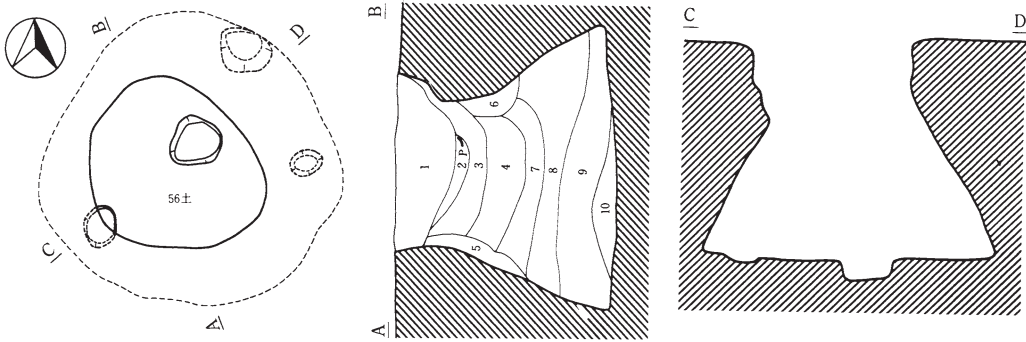
第55号土坑



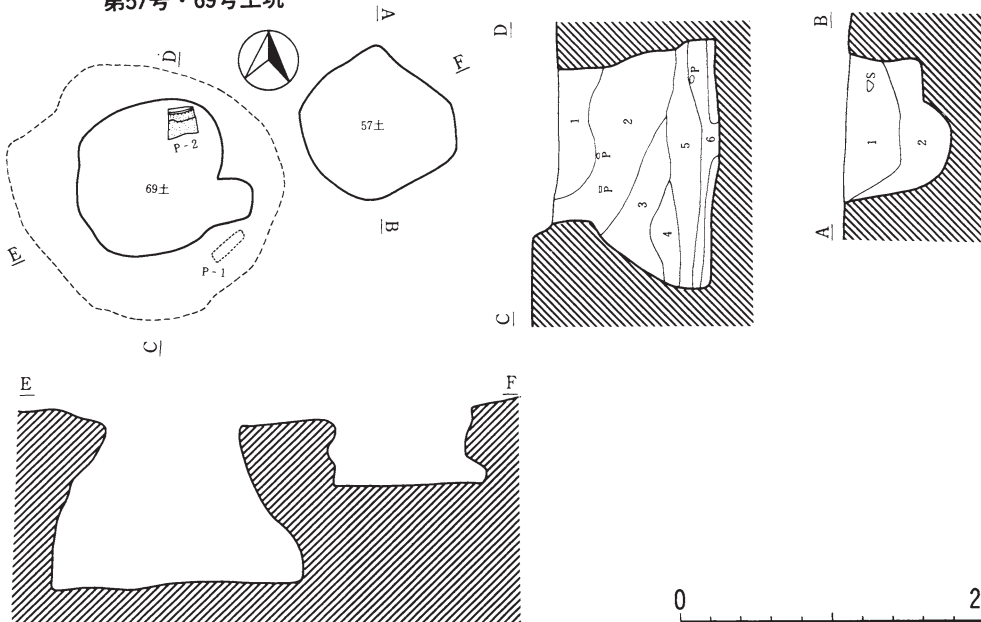
第55号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石粒中量含む。
第2層	褐色土	10Y R 4/4	浮石微量含む。

第56号土坑



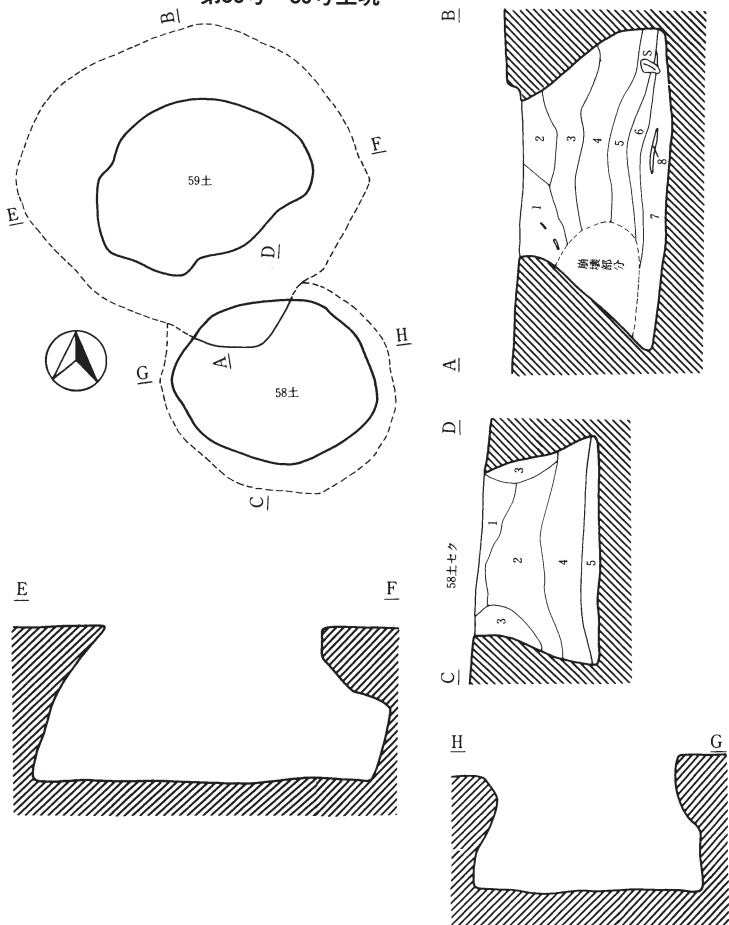
第57号・69号土坑



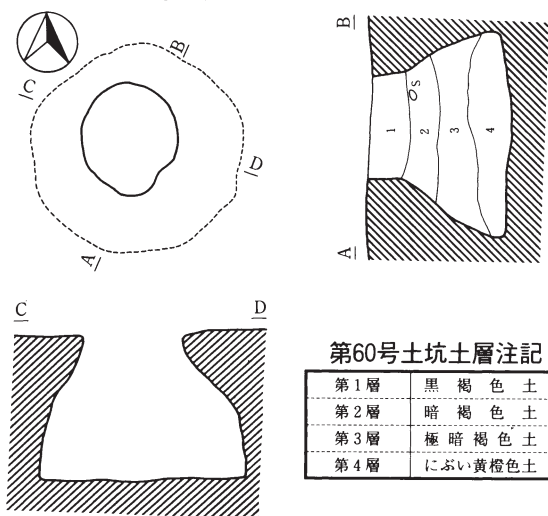
0 2m

第95図 第54号土坑・第55号土坑・第56号土坑・第57号土坑・第69号土坑

第58号・59号土坑



第60号土坑



第60号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石かなり多く含む。
第2層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	浮石多く含む。
第3層	極暗褐色土	7.5Y R 2/3	浮石極少し含む。
第4層	にぶい黄橙色土	10Y R 6/3	砂が主体の層。

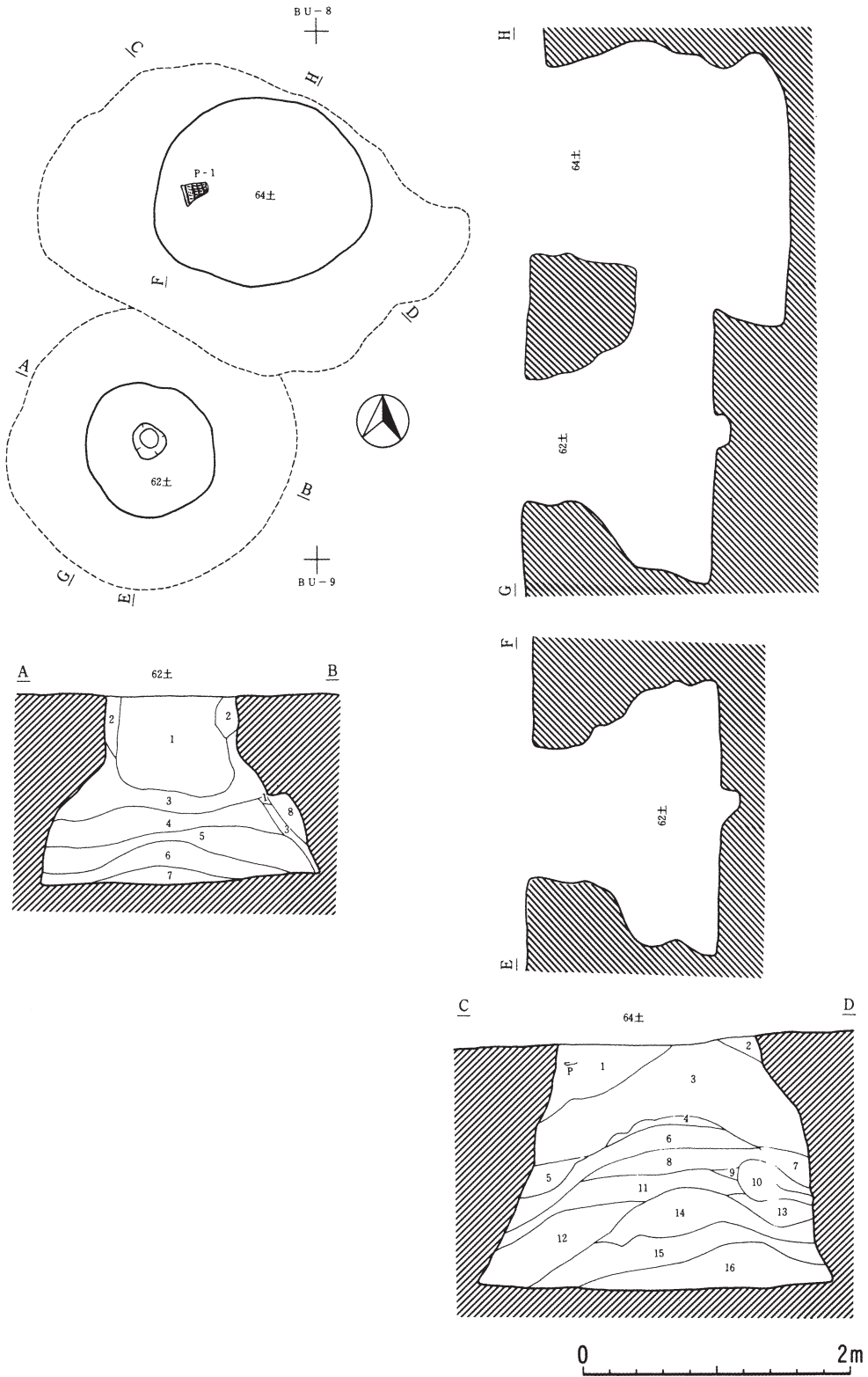
第59号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	7.5Y R 3/4	浮石かなり多く含む。
第2層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	浮石かなり多く、シルトブロックを多く含む。
第3層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	浮石・シルト粒・炭化粒多く、ローム粒を少し含む。
第4層	黒褐色土	7.5Y R 3/2	浮石多く、炭化粒・ローム粒を少し含む。
第5層	極暗褐色土	7.5Y R 2/3	浮石非常に多く、炭化粒を多く含む。
第6層	暗褐色土	7.5Y R 4/4	砂が主体の層。
第7層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石・シルト粒を多く含む。
第8層	褐色土	10Y R 4/6	シルトロームブロックを含む。

第58号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	浮石多く含む。
第2層	褐色土	10Y R 4/4	シルトブロック多く含む。
第3層	暗褐色土	7.5Y R 3/4	浮石や多く、シルトブロックを多く含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石をロームブロックを少し含む。
第5層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石・シルトブロック・炭化粒を少し含む。

第96図 第58号土坑・第59号土坑・第60号土坑



第97图 第62号土坑·第64号土坑

第62号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石粒多量、3層との境に砂少し含む。
第2層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石粒少量含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石中量、1層との境に砂の層、ロームまだらに含む。
第4層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	浮石全体に少量、10Y R 2/2の黒褐色土がブロック状に含む。
第5層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少量、炭化物微量含む。
第6層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/3	浮石少量、炭化物・シラス粒微量含む。
第7層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	浮石粒少量、砂含む。
第8層	明黄褐色土	10Y R 6/6	混入物なし。

第64号土坑土層注記

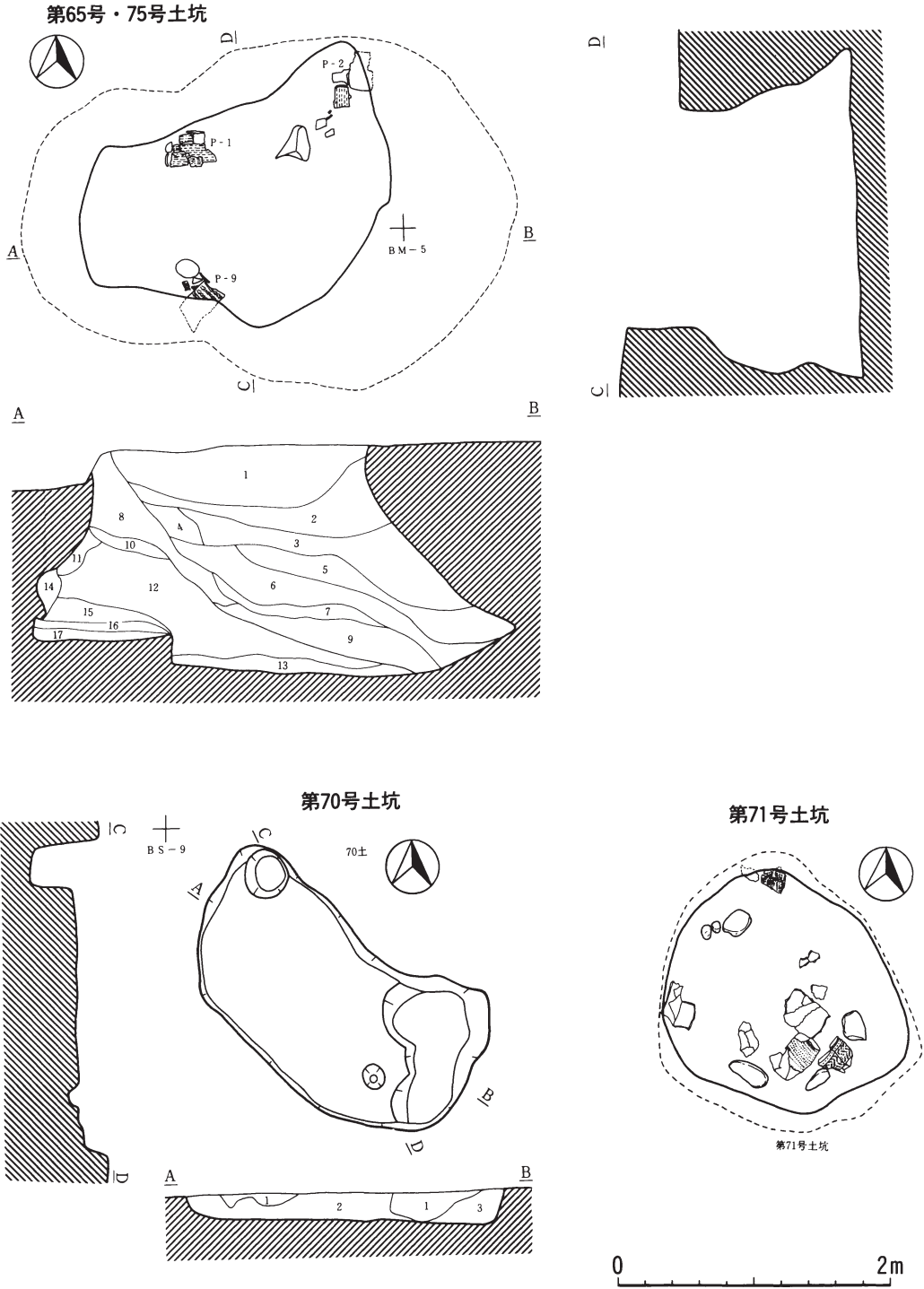
第1層	褐色土	7.5Y R 4/4	浮石極多く含む。
第2層	褐色土	7.5Y R 4/4	浮石極多く含む。
第3層	暗褐色土	7.5Y R 3/4	ソフトローム (10Y R 6/8)、浮石 (10Y R 7/4) の互層になった土層。
	黒褐色土	7.5Y R 2/2	
第4層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石を部分的に極多く含む。
第5層	黄褐色土	2.5Y 5/3	砂ブロック、下部に浮石層を含む。
第6層	褐色土	10Y R 4/6	ソフトローム層。
第7層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/3	砂ブロック・浮石を少し含む。
第8層	褐色土	10Y R 4/6	ソフトローム層。
第9層	褐色土	10Y R 4/6	砂質ロームを含む。
第10層	黄褐色土	2.5Y 5/3	砂ブロックを含む。
第11層	褐色土	10Y R 4/6	ソフトローム層 (砂質)。
第12層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/3	砂質。
第13層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	砂ブロックを含む。
第14層	褐色土	10Y R 4/6	ソフトローム層 (砂質)。
第15層	黄褐色土	10Y R 5/6	砂層。
第16層	黄褐色土	2.5Y 5/3	砂層。

第65・75号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	7.5Y R 3/2	浮石極多く、シルト粒を少し含む。
第2層	極暗褐色土	7.5Y R 2/3	浮石やや多く、シルトブロックを少し含む。
第3層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	浮石やや多く、シルトブロック・炭化粒を少し含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石極多く含む。
第5層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	浮石やや多く、炭化粒・シルトブロックを多く含む。
第6層	褐色土	7.5Y R 4/3	シルト (10Y R 7/3) を間層状に3~4枚含む。浮石やや多く、シルト粒を多く含む。
第7層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石かなり多く含む。
第8層	褐色土	10Y R 4/4	浮石やや多く、ソフトロームブロックを極多く含む。
第9層	黄褐色土	10Y R 5/6	ソフトローム・砂を含む。
第10層	にぶい黄橙色土	10Y R 6/3	砂が主体の層。
第11層	にぶい黄橙色土	10Y R 7/3	シルトが主体の層。
第12層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	浮石・シルト粒・シルトブロックを多く含む。
第13層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/2	シルトブロック極多く、シルト粒・ロームブロックを多く含む。
第14層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	シルトが主体の層。
第15層	褐色土	10Y R 4/4	浮石・シルトを多く含む。
第16層	にぶい黄橙色土	10Y R 7/2	シルトが主体の層。
第17層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石・シルト粒を多く含む。

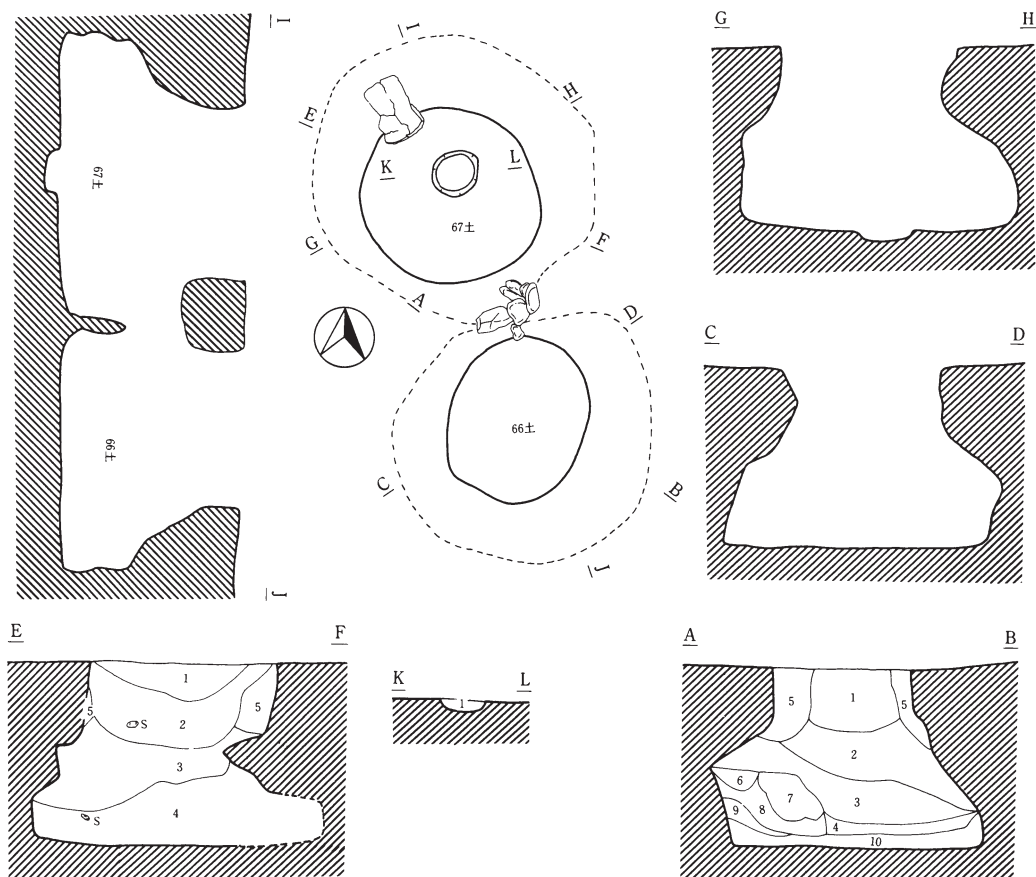
第70号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石微量含む。
第2層	褐色土	10Y R 4/4	浮石少量含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石微量含む。

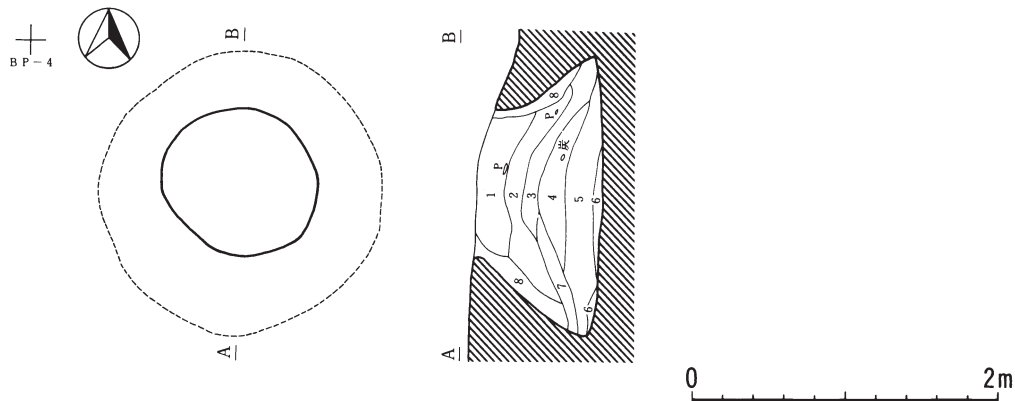


第98图 第65号土坑·第75号土坑·第70号土坑·第71号土坑

第66号·67号土坑



第68号土坑



第99图 第66号土坑·第67号土坑·第68号土坑

第73号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石中量、炭化物、細かい礫少量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石・炭化粒中量、細かい礫少量含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 4/3	浮石・炭化物・砂少量含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 4/3	浮石・炭化物微量、砂少量、砂の様な物ブロック状に含む。
第5層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石・焼土粒微量、炭化粒多量含む。
第6層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石微量、炭化粒中量含む。
第7層	灰黄褐色土	10Y R 2/5	ローム層。砂の様にサラサラする。
第8層	黒褐色土	10Y R 3/2	白い浮石・白い砂中量、炭化粒少量含む。
第9層	暗褐色土	10Y R 4/3	白い浮石少量含む。
第10層	褐色土	10Y R 4/4	浮石少量、炭化粒微量含む。

第74号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石(大)かなり多く含む。
第2層	暗褐色土	7.5Y R 3/4	砂ブロック(2.5Y 6/3)多く、ソフトロームブロックを少し含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石・シラス粒かなり多く、下部に砂を多く含む。
第4層	にぶい黄橙色土	10Y R 6/3	シラスブロックを含む。(土坑内側上部は砂)
第5層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	シラスブロックを含む。(土坑内側上部は砂)
第6層	褐色土	10Y R 4/6	ソフトローム主体の層。シラスブロックを多く含む。
第7層	にぶい黄橙色土	10Y R 7/3	シラスブロックを含む。
第8層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石質の砂礫主体の層、炭化粒を多く含む。
第9層	にぶい黄橙色土	10Y R 6/4	シラスブロックを含む。

第67号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石粒中量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石粒少量、炭化物微量含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石中量、炭化物微量含む。
第4層	褐色土	10Y R 4/4	浮石中量、砂、ローム少量含む。
第5層	黄褐色土	10Y R 5/8	混入物なし。

ピット注記

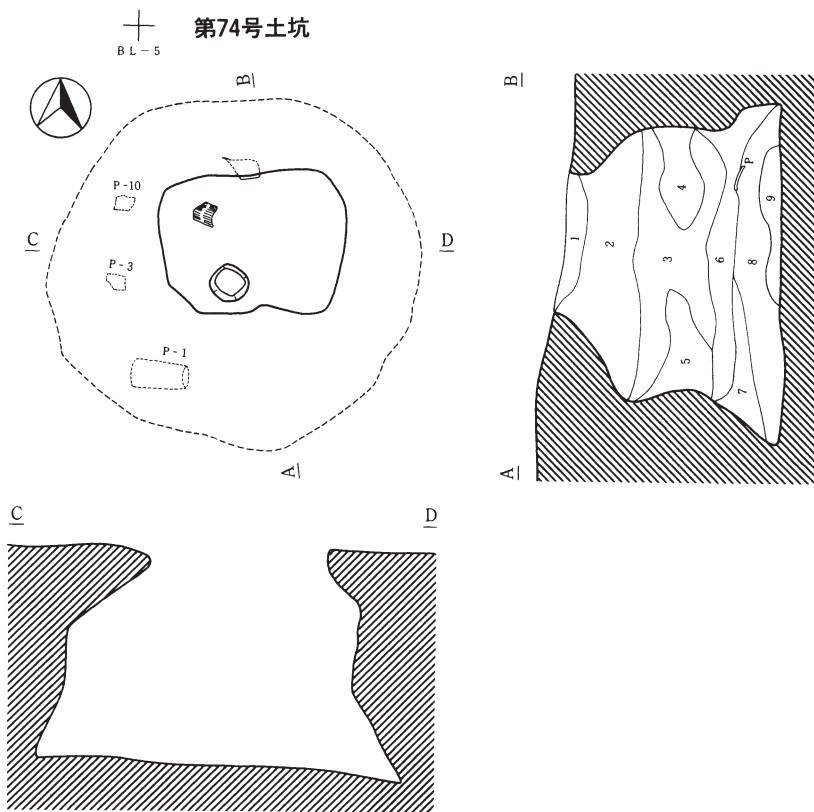
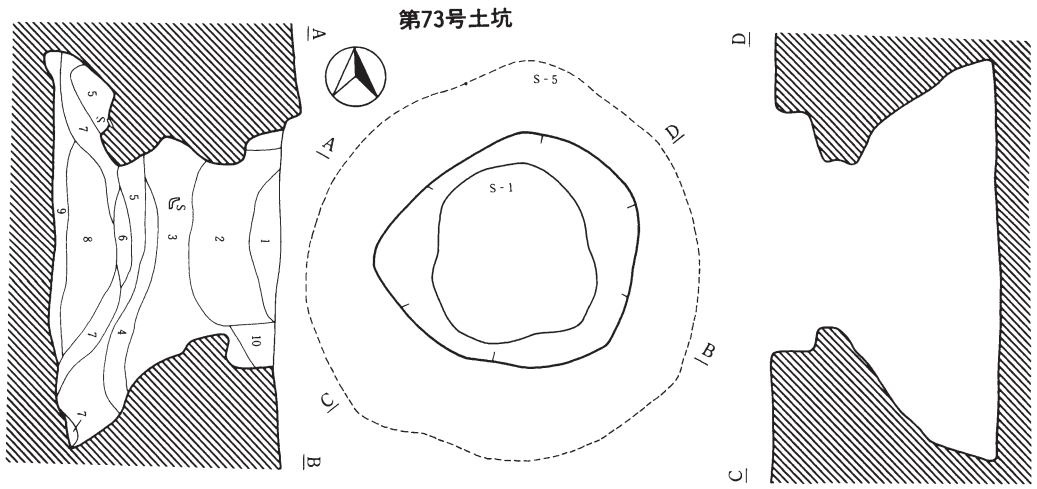
第1層	褐色土	10Y R 4/4	炭化物微量含む。
-----	-----	-----------	----------

第66号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石粒中量全体、炭化物微量含む。
第2層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石粒・砂少量、炭化物微量含む。
第3層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石粒少量、炭化物微量含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石粒少量、砂をブロックで含む。
第5層	黄褐色土	10Y R 5/6	混入物なし。
第6層	暗褐色土	10Y R 3/3	砂をブロックで含む。
第7層	黄褐色土	2.5Y 5/3	混入物なし。
第8層	にぶい黄橙色土	10Y R 6/4	砂質。
第9層	にぶい黄橙色土	10Y R 7/3	砂質。
第10層	にぶい黄橙色土	10Y R 6/3	混入物なし。

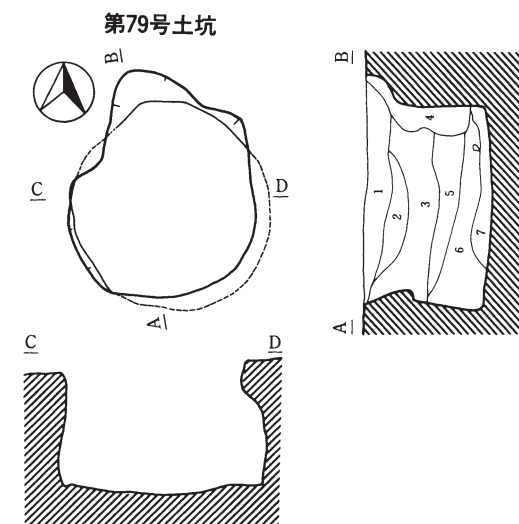
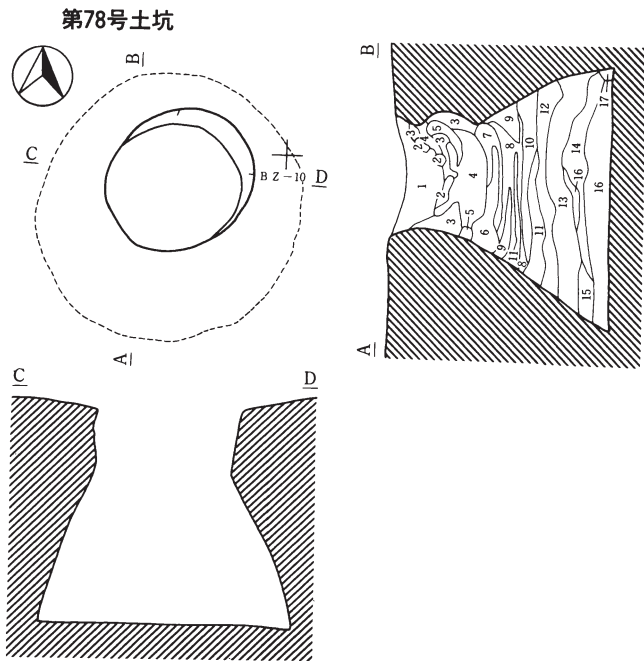
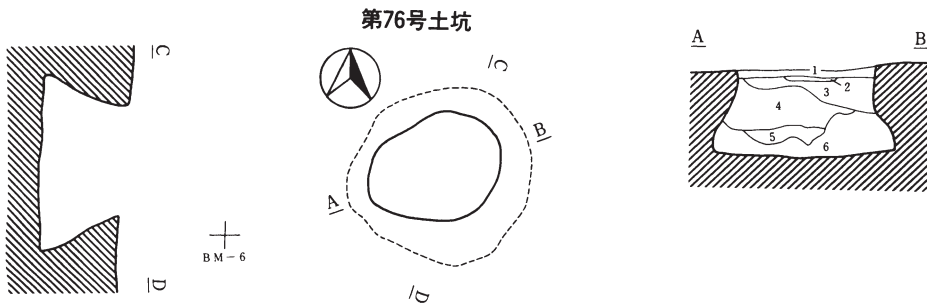
第72号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/2	炭化物微量含む。草根多い。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/3	炭化物微量、炭ブロック含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/3	炭化物極微量含む。
第4層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	炭化物含む。下の方にロームあり。
第5層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石粒少量含む。
第6層	褐色土	10Y R 4/6	混入物なし。
第7層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石少量含む。
第8層	暗褐色土	10Y R 3/3	炭化物微量含む。草根多い、砂まじり。



0 2m

第100图 第73号土坑·第74号土坑



第101图 第76号土坑·第78号土坑·第79号土坑

第76号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少量、炭化物微量含む。
第2層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/3	浮石微量、灰色の砂と黄色い砂多量含む。
第3層	褐色土	10Y R 4/4	浮石少量、黒色土微量含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石・炭化粒少量含む。
第5層	褐色土	10Y R 4/6	炭化粒少量含む。
第6層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石微量、ローム粒ブロック状に含む。

第78号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石粒・炭化粒少量含む。
第2層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	炭化粒多量含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石粒微量含む。
第4層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石粒・焼土微量、炭化粒極微量含む。
第5層	黒褐色土	10Y R 4/4	浮石粒極微量、灰白色土 (10Y R 8/2) を含む。
第6層	黒褐色土	10Y R 3/2	炭化粒極微量、径0.5～1 cmの小石を多量に含む。
第7層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石粒微量、炭化粒中量含む。
第8層	褐色土	10Y R 4/4	浮石粒少量含む。
第9層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石粒微量含む。
第10層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石粒極微量含む。
第11層	黒褐色土	10Y R 2/3	径0.5～1 cmの小石を含み、6層と似ている。
第12層	褐色土	10Y R 4/6	浮石粒極微量、炭化粒微量含む。
第13層	黒褐色土	10Y R 3/3	浮石粒多量、炭化粒微量、灰白色土 (10Y R 8/2) を含む。
第14層	灰白色土	10Y R 8/2	浮石粒少量含む。
第15層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	砂質の層。
第16層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石粒多量、炭化粒極微量含む。
第17層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	2層と同じ。

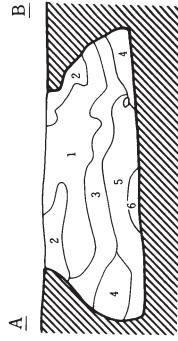
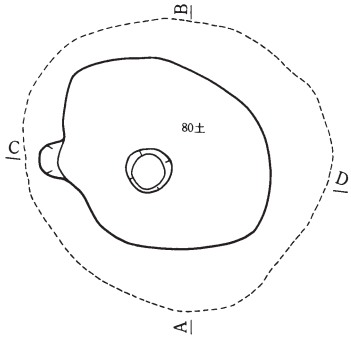
第79号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	浮石やや多く含む。
第2層	褐色土	10Y R 4/6	浮石・ローム粒をかなり多く含む。
第3層	黒褐色土	7.5Y R 3/2	浮石・ローム粒をかなり多く、ロームブロックも含む。
第4層	暗灰黄色土	2.5Y 5/2	砂が主体の層。
第5層	黒褐色土	7.5Y R 2/2	浮石・炭化粒を少し含む。
第6層	暗褐色土	7.5Y R 3/4	浮石・炭化粒少し、砂やや多く含む。
第7層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	浮石・ローム粒・炭化粒・砂を少し含む。

第80号·81号土坑

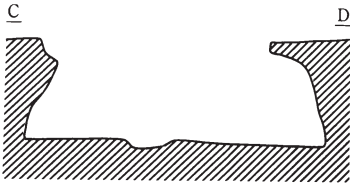
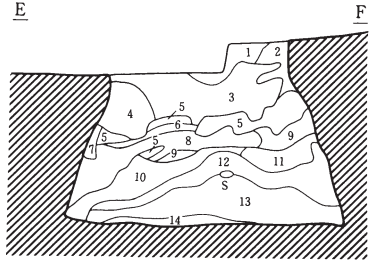
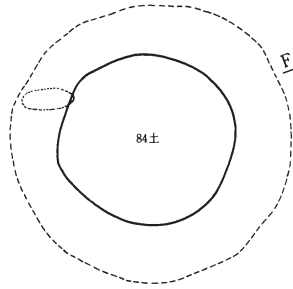
+

B Y - 11



+

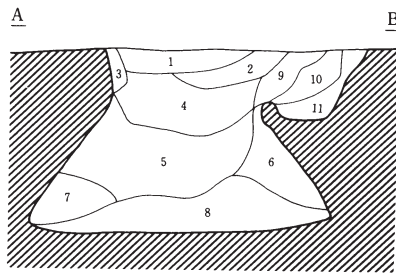
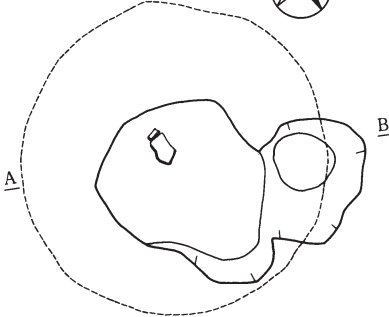
B 1 - 12



第84号土坑

+

B 1 - 9



0 2m

第102图 第80号土坑·第81号土坑·第84号土坑

第80号土坑土層注記

第1層	暗 褐 色 土	10 Y R 3 / 4	浮石多量、炭化粒微量含む。
第2層	褐 色 土	10 Y R 4 / 4	浮石多量、炭化粒少量含む。
第3層	暗 褐 色 土	10 Y R 3 / 3	浮石多量、炭化粒少量含む。
第4層	暗 褐 色 土	10 Y R 3 / 3	浮石多量含む。
第5層	暗 褐 色 土	10 Y R 3 / 4	浮石少量、炭化粒微量含む。
第6層	暗 褐 色 土	10 Y R 3 / 4	浮石多量含む。

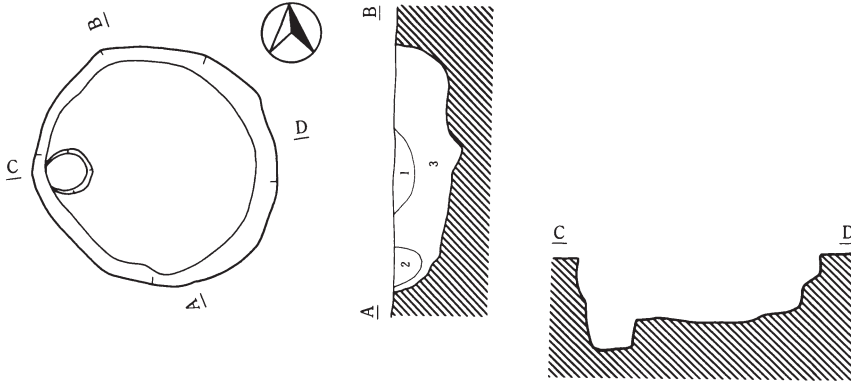
第84号土坑土層注記

第1層	黒 褐 色 土	10 Y R 2 / 3	浮石中量含む。
第2層	褐 色 土	10 Y R 4 / 4	浮石少量含む。
第3層	黒 褐 色 土	10 Y R 3 / 2	浮石・炭化粒多量含む。
第4層	黒 褐 色 土	10 Y R 2 / 3	浮石多量、炭化粒微量含む。
第5層	暗 褐 色 土	10 Y R 3 / 4	浮石少量含む。
第6層	黒 褐 色 土	10 Y R 2 / 2	浮石少量、炭化粒多量含む。
第7層	褐 色 土	10 Y R 4 / 4	混入物なし。
第8層	暗 褐 色 土	10 Y R 3 / 4	浮石多量、炭化粒微量含む。
第9層	暗 褐 色 土	10 Y R 3 / 4	浮石少量含む。
第10層	黒 褐 色 土	10 Y R 3 / 2	浮石少量含む。
第11層	暗 褐 色 土	10 Y R 3 / 4	浮石少量、炭化粒多量含む。

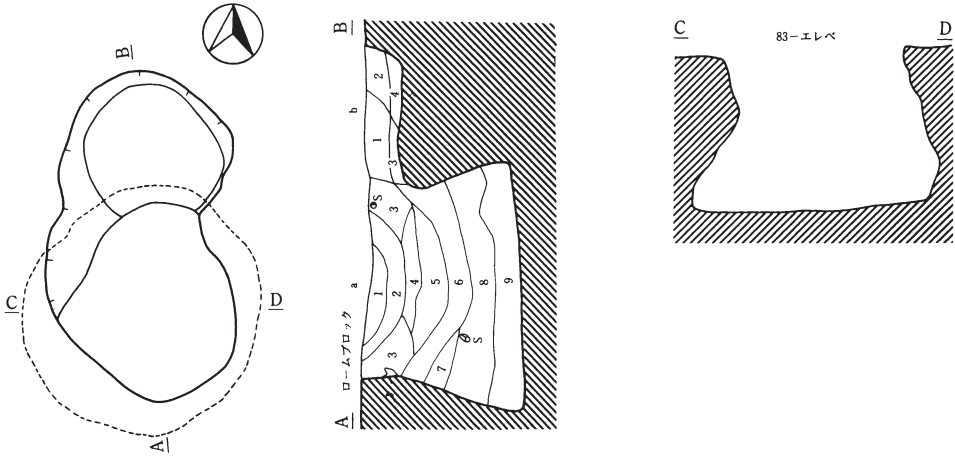
第81号土坑土層注記

第1層	暗 褐 色 土	7.5 Y R 3 / 3	浮石かなり多く含む。
第2層	極 暗 褐 色 土	7.5 Y R 2 / 3	浮石やや多く含む。
第3層	暗 褐 色 土	7.5 Y R 3 / 4	浮石少し含む。
第4層	暗 褐 色 土	10 Y R 3 / 3	浮石極多く含む。
第5層	黒 褐 色 土	10 Y R 2 / 3	硬浮石極多く含む。
第6層	極 暗 褐 色 土	7.5 Y R 2 / 3	硬浮石かなり多く、焼土粒少し含む。
第7層	暗 褐 色 土	7.5 Y R 3 / 3	硬浮石やや多く含む。
第8層	暗 赤 褐 色 土	5 Y R 3 / 3	硬浮石・焼土粒やや多く、炭化物を上層に含む。
第9層	暗 褐 色 土	7.5 Y R 3 / 4	浮石少し、硬浮石多く含む。
第10層	暗 褐 色 土	5 Y R 3 / 3	浮石少し、硬浮石かなり多く含む。
第11層	褐 色 土	7.5 Y R 4 / 4	浮石少し、硬質ローム土主体の層。

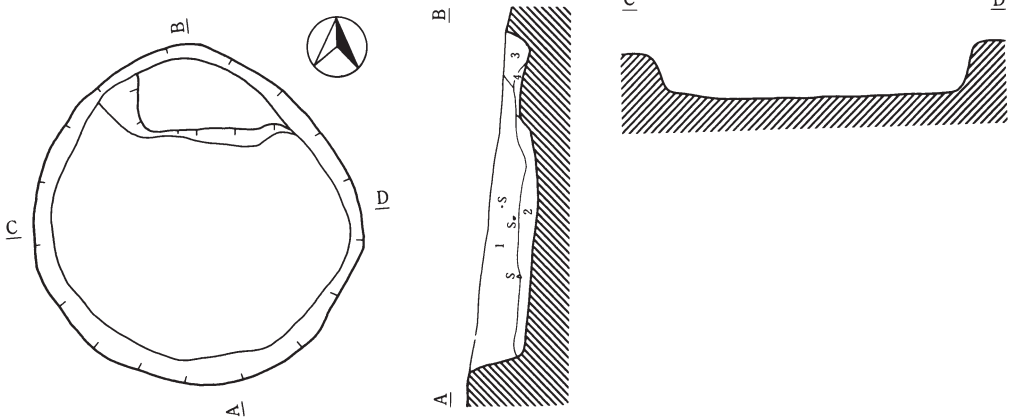
第82号土坑



第83号土坑



第85号土坑



第103図 第82号土坑・第83号土坑・第85号土坑

第82号土坑土層注記

第1層	黒色土	10Y R 2/1	浮石粒少量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/2	混入物なし。
第3層	黒褐色土	10Y R 2/3	炭化物微量、砂小ブロックところどころ含む。木根多い。

第83号土坑土層注記

(a)

第1層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石中量、炭化粒少量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石・炭化粒少量、黄色い砂がブロック状中量含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石・炭化粒少量含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石微量、炭化粒少量、白い土（3cmくらい）ブロック状中量含む。
第5層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	浮石中量、炭化粒少量、白い土全体に多量含む。
第6層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石・炭化粒少量含む。
第7層	暗褐色土	10Y R 3/4	褐色土との混合土、浮石微量含む。
第8層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石微量、炭化粒中量含む。
第9層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石微量、炭化粒少量含む。

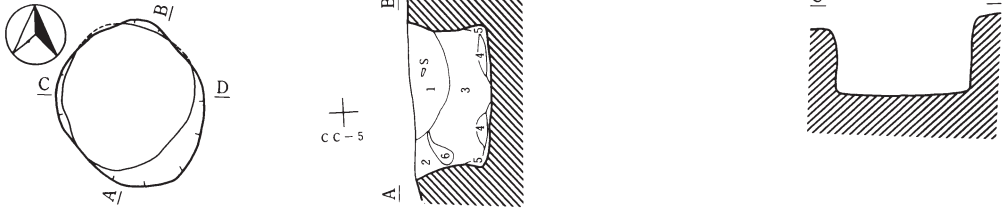
(b)

第1層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石中量、炭化粒微量含む。
第2層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石少量、炭化粒微量含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少量、炭化粒微量含む。
第4層	黄褐色土	10Y R 5/6	ローム層。(黄色い砂)

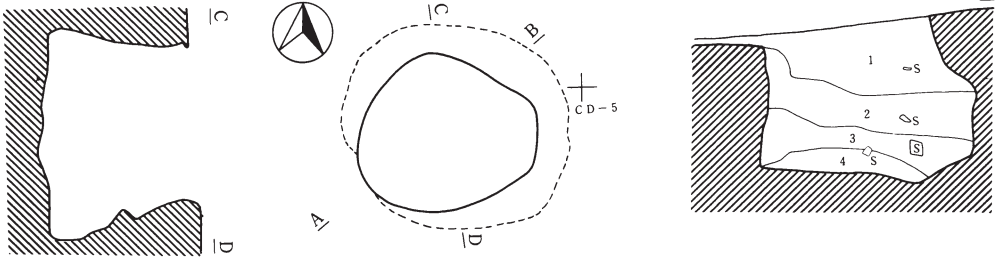
第85号土坑土層注記

第1層	黒色土	10Y R 2/1	浮石全体に少量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石全体に中量含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/4	小さな浮石粒多量含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/3	小さな浮石粒多量含む。

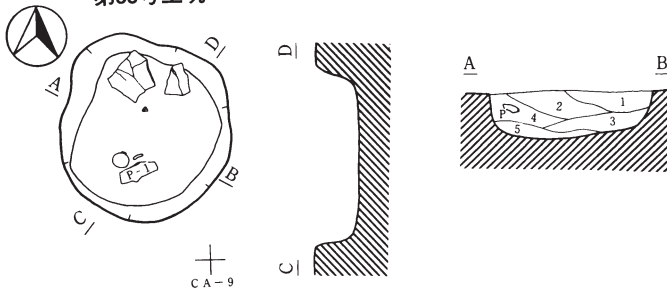
第86号土坑



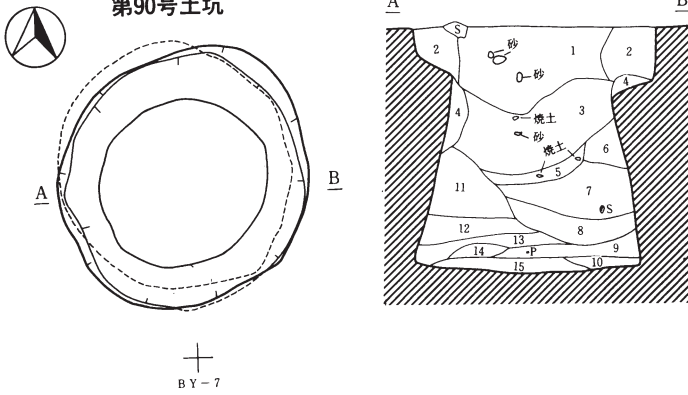
第87号土坑



第88号土坑



第90号土坑



0 2m

第104图 第86号土坑·第87号土坑·第88号土坑·第90号土坑

第86号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石中量含む。
第2層	黒色土	10Y R 2/1	浮石中量含む。
第3層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石1層少なめに中量含む。
第4層	黒褐色土	10Y R 2/1	浮石少量含む。
第5層	暗褐色土	10Y R 3/4	混入物なし。
第6層	黄褐色土	10Y R 5/8	浮石の層。(1～5mm大)

第87号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/2	もろい浮石粒少量、炭化物微量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石粒、炭化物微量含む。
第3層	黒褐色土	10Y R 2/2	炭化物微量含む。
第4層	黄褐色土	10Y R 5/8	黒褐色土とマール状にまじっている。

第88号土坑土層注記

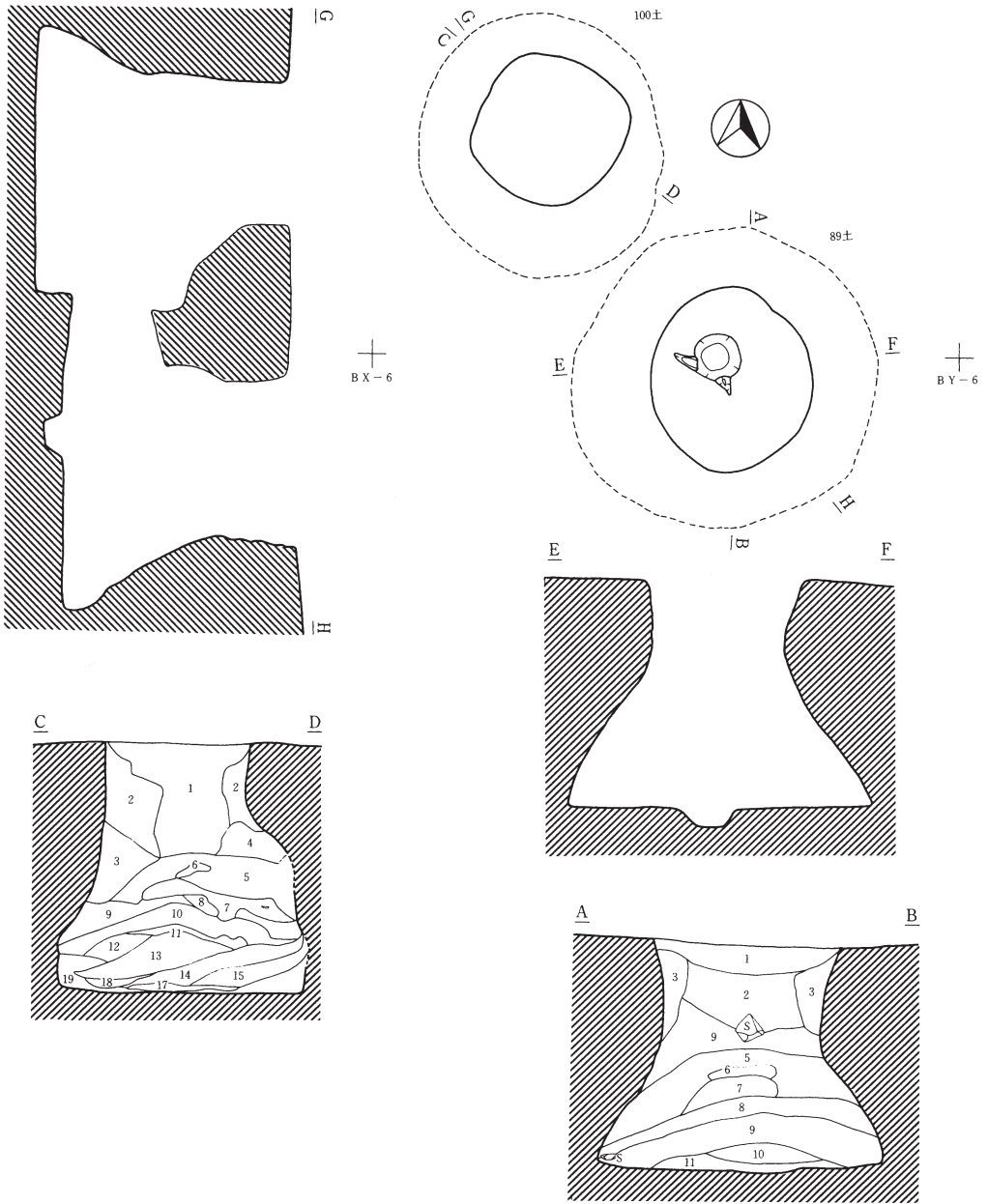
第1層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石粒少量含む。
第2層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石粒少量含む。
第3層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石粒少量含む。
第4層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石粒微量含む。
第5層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石粒微量含む。

第90号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石粒全体に中量、砂ブロック含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石粒全体に多量含む。
第3層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石粒全体に多量、砂、焼土含む。
第4層	褐色土	10Y R 4/6	混入物なし。
第5層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石粒中量、炭化物・焼土・灰微量含む。
第6層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石粒微量、砂が全体に含む。
第7層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石粒多量、炭化物・焼土微量含む。
第8層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石多量、炭化物少量、砂微量含む。
第9層	黒褐色土	10Y R 2/3	もろい浮石少量含む。
第10層	黒褐色土	10Y R 2/3	シラス粒少量含む。
第11層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石全体に多量、シラス粒微量、焼土ブロック、褐色土(10Y R 4/4)がまだらに含む。
第12層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石粒多量、炭化物微量含む。
第13層	黒褐色土	7.5Y R 2/2	もろい浮石粒少量、炭化物微量含む。
第14層	褐色土	7.5Y R 4/4	シラス粒少量含む。
第15層	黒褐色土	7.5Y R 3/2	もろい浮石多量含む。

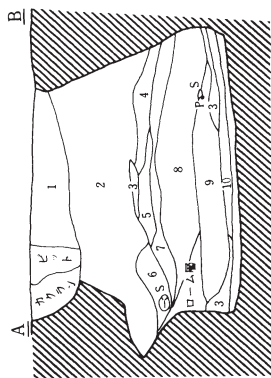
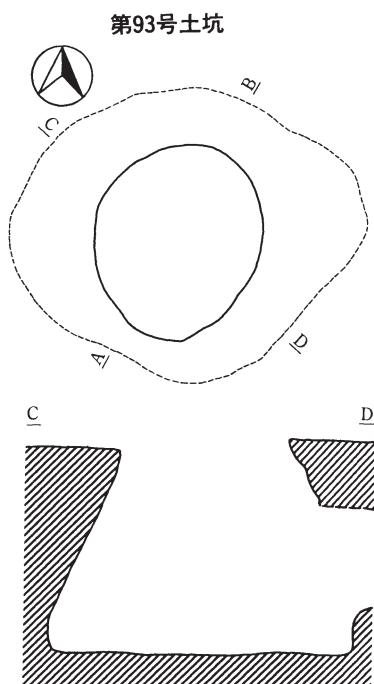
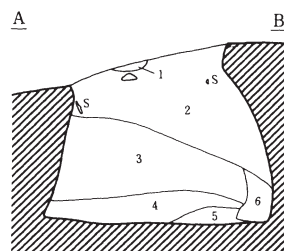
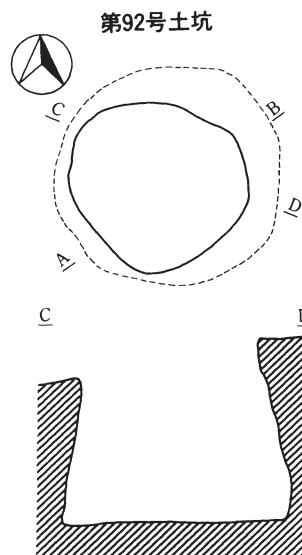
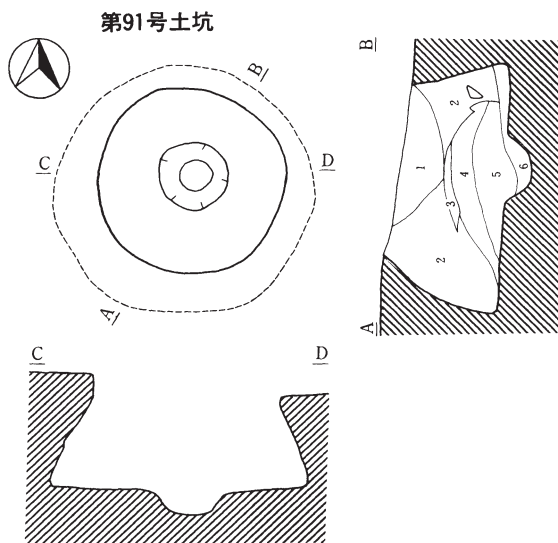
第89号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石中量、炭化物微量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 3/2	柔らかい浮石少量、炭化物極微量含む。
第3層	褐色土	10Y R 4/6	浮石極々微量含む。
第4層	黒褐色土	10Y R 2/2	炭化物少量含む。
第5層	黒褐色土	7.5Y R 3/2	炭化物少し含む。焼土をまだらに含む。
第6層	黒色土	7.5Y R 2/1	柔らかい浮石中量含む。
第7層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	浮石・シラス粒中量含む。
第8層	黒褐色土	10Y R 2/3	炭化物微量、もろいシラス粒少量含む。
第9層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石少量、にぶい黄褐色土(10Y R 7/3)の層、8層と9層の間にマール状に含む。
第10層	黒色土	10Y R 2/1	5mm大の浮石粒多量含む。
第11層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	もろい浮石粒多量、シラス粒も含む。



0 2m

第105图 第89号土坑·第100号土坑



0 2m

第106图 第91号土坑·第92号土坑·第93号土坑

第91号土坑土層注記

第1層	黒色土	10Y R 2/1	炭化物微量、もろいローム粒中量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/2	炭化物微量、アワズナ・細かいローム粒少量含む。
第3層	黒色土	7.5Y R 2/1	もろいローム粒少量含む。
第4層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	炭化物微量、細かいローム粒中量含む。
第5層	黒褐色土	10Y R 2/3	もろいローム粒少量含む。
第6層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	混入物なし。

第92号土坑土層注記

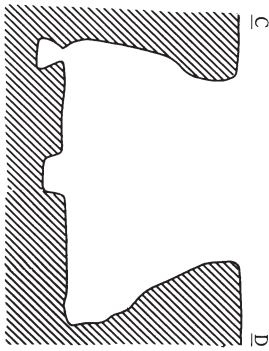
第1層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石少量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/2	もろい浮石多量、炭化物微量、灰微量含む。根多い。
第3層	黒褐色土	10Y R 2/3	シラス粒多量含む。
第4層	黒褐色土	7.5Y R 2/2	もろい浮石少量含む。
第5層	暗褐色土	10Y R 3/4	もろい浮石多量含む。
第6層	暗褐色土	10Y R 3/3	もろい浮石多量含む。

第93号土坑土層注記

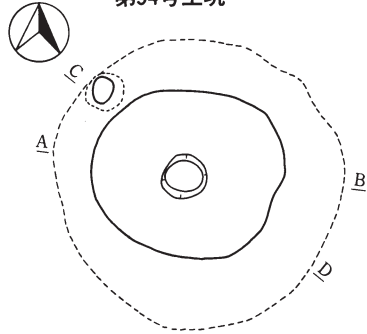
第1層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石中量、白い浮石・炭化物少量含む。
第2層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	浮石中量、炭化粒少量、白い砂? (アワズナ) 微量含む。
第3層	にかい黄橙色土	10Y R 6/3	白い砂の層。浮石(超微粒)・炭化粒微量含む。
第4層	褐色土	7.5Y R 4/4	浮石・炭化粒少量含む。
第5層	黒褐色土	7.5Y R 3/2	浮石少量、炭化粒多量、白い砂微量含む。
第6層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石・炭化物微量、白い砂ブロック状に中量、礫を含む。
第7層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	浮石・炭化粒少量、白い砂微量(下位)含む。
第8層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石多量、炭化粒・白い砂微量含む。
第9層	極暗褐色土	7.5Y R 2/3	浮石・炭化粒少量、黄色い砂微量含む。
第10層	黒褐色土	7.5Y R 3/2	浮石中量、炭化粒少量、白い砂微量含む。

ピット

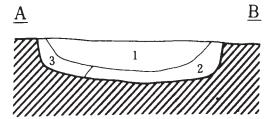
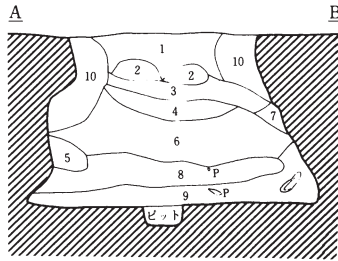
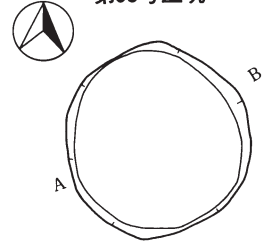
	黒褐色土	7.5Y R 2/2	浮石少量含む。暗褐色土の混合土。
--	------	------------	------------------



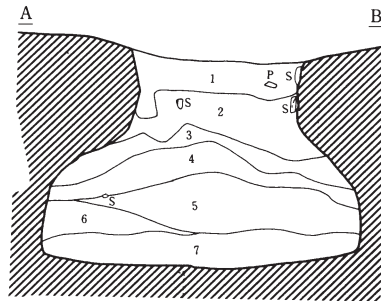
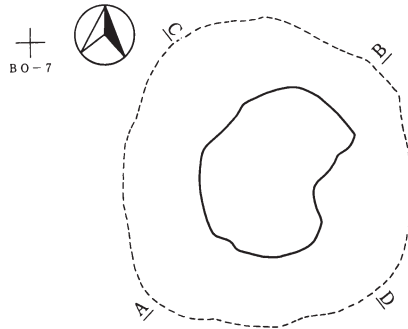
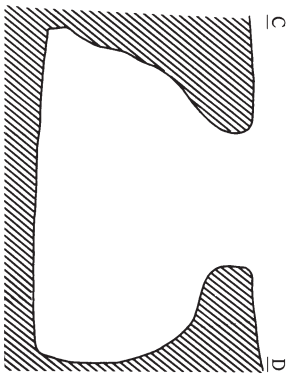
第94号土坑



第95号土坑



第96号土坑



0 2m

第107图 第94号土坑·第95号土坑·第96号土坑

第94号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石中量、炭化粒微量含む。
第2層	にぶい黄褐色土	10Y R 6/3	浮石少量含む。褐色土との互層。
第3層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石・炭化粒少量含む。
第4層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石少量、炭化粒微量含む。
第5層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石微量含む。褐色土との混合土。
第6層	黒褐色土	7.5Y R 3/2	浮石中量、炭化物少量含む。
第7層	褐色土	10Y R 4/4	白い砂と褐色土との混合土を含む。
第8層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/3	浮石・炭化粒少量含む。白い砂の層。
第9層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少量、炭化粒中量上位に含む。
第10層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石・炭化粒少量含む。

ピット

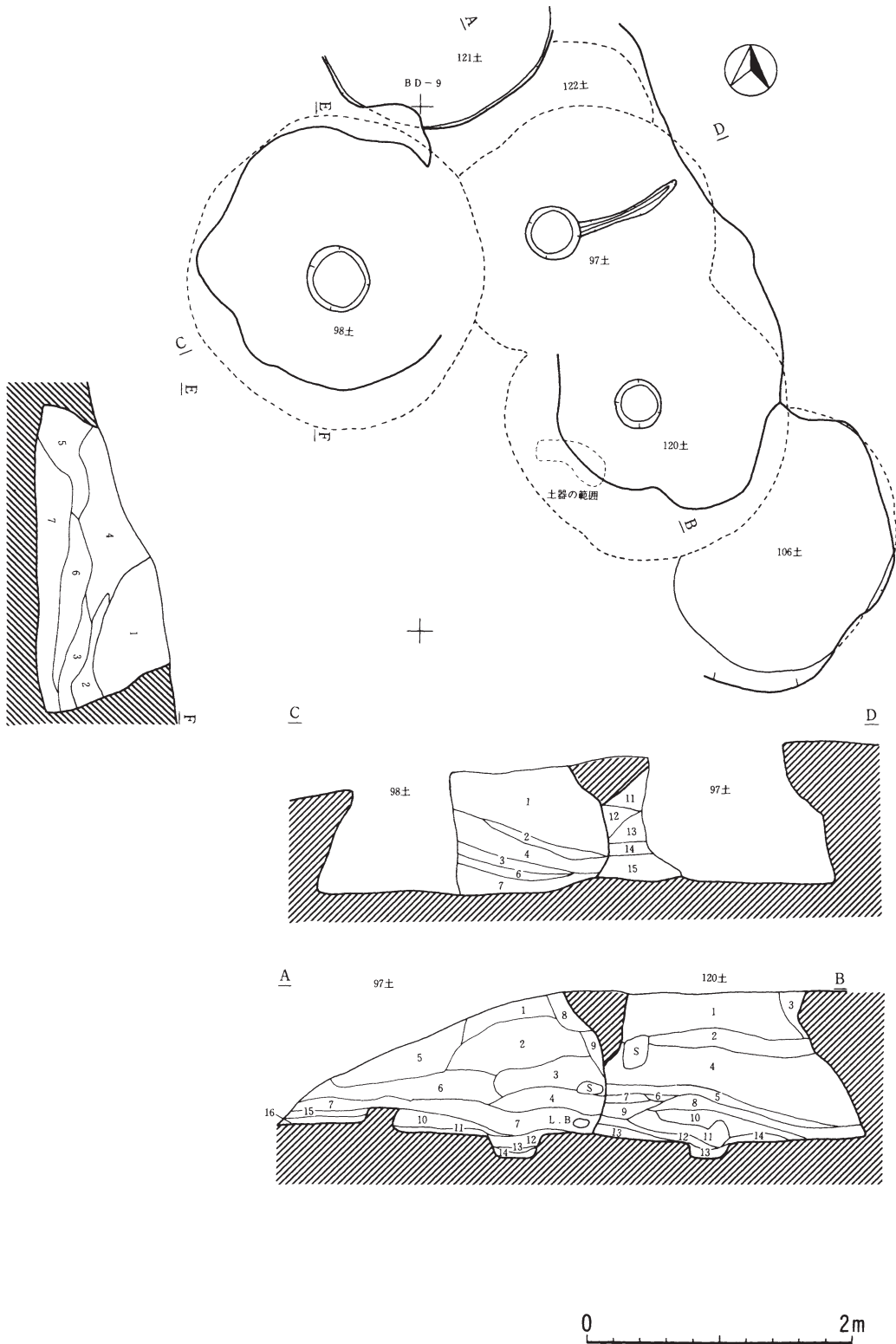
	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石中量、炭化物微量含む。
--	------	-----------	---------------

第95号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/3	ローム粒全体に中量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/2	かたいローム粒多量含む。
第3層	黒褐色土	10Y R 2/3	ローム粒多量含む。

第96号土坑土層注記

第1層	褐色土	10Y R 4/4	浮石中量、白い砂中央部に中量、炭化粒微量含む。
第2層	褐色土	10Y R 4/4	浮石少量、炭化粒微量、礫の右の土に白い砂多量含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少量、炭化粒・白い浮石微量含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石・白い浮石中量、炭化粒微量、ローム（黄色い砂）が下位に5cmの層になって含む。
第5層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石・白い浮石（上位）少量、炭化粒中量含む。
第6層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/3	浮石微量、黄色・白色の層。ザラザラする。
第7層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石中量、炭化粒・白い浮石少量含む。



第108図 第97号土坑・第98号土坑・第120号土坑・第121号土坑・第122号土坑

第98号土坑土層注記

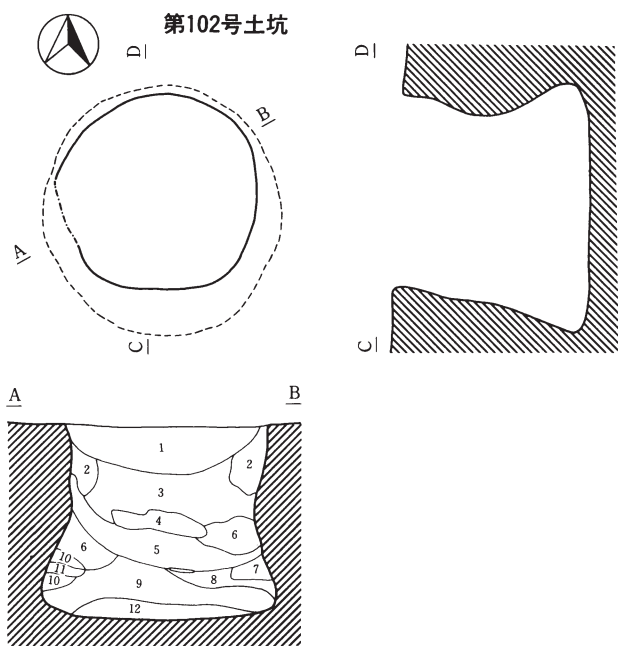
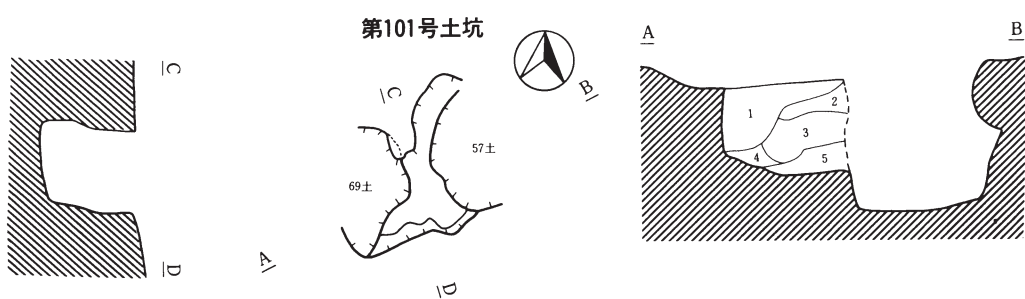
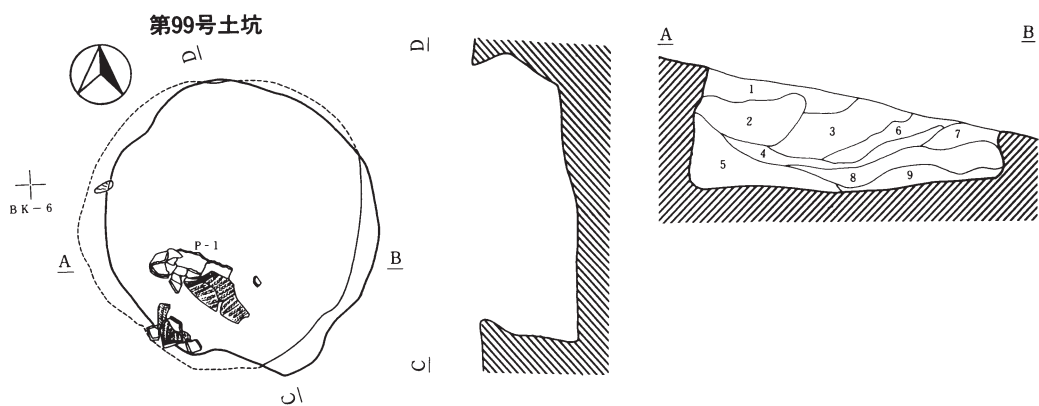
第1層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石中量、炭化粒少量含む。
第2層	褐色土	10Y R 4/4	浮石少量、炭化物微量、白い土を多量含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石少量、白い土を微量含む。
第4層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石中量、炭化粒を少量含む。
第5層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石中量、炭化粒を微量含む。
第6層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	浮石中量、炭化粒を微量含む。
第7層	褐色土	10Y R 4/4	浮石少量、炭化粒を微量、白い土多量含む。

第97号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石少し、炭化粒微量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/2	
第3層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石微量、ロームブロックを少し含む。
第4層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/3	浮石少し、シルト粒をかなり多く含む。
第5層	褐色土	10Y R 4/4	ロームブロックをかなり多く含む。
第6層	黒褐色土	7.5Y R 2/3	浮石をやや多く含む。
第7層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	浮石を少し、シルトを極めて多く含む。
第8層	黄褐色土	10Y R 5/6	ロームブロックが主体。
第9層	暗褐色土	10Y R 3/4	シルトブロック・ロームブロックをかなり多く、浮石を少し含む。
第10層	にぶい黄褐色土	10Y R 6/4	シルト層。
第11層	褐色土	10Y R 4/4	シルトブロックを多く含む。
第12層	黒褐色土	10Y R 2/3	砂粒・浮石粒をかなり多く含む。
第13層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/3	シルト粒を極めて多く含む。
第14層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石粒を少し含む。
第15層	にぶい黄褐色土	10Y R 7/3	シルト層。
第16層	褐色土	7.5Y R 4/4	シルトブロック・浮石粒を少し含む。

第120号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石かなり多く、シラス粒をやや多く含む。
第2層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石極めて多く含む。
第3層	黄褐色土	10Y R 5/6	シラス粒・シラスブロックを極めて多く含む。
第4層	褐色土	10Y R 4/4	浮石・シラス粒をかなり多く含む。
第5層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石・炭化粒をかなり多く含む。
第6層	褐色土	10Y R 4/4	浮石少し、シラス粒をかなり多く含む。
第7層	黄褐色土	10Y R 2/3	シラスブロックが主体。
第8層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/4	シラスブロックが主体。シラス粒極めて多く含む。
第9層	黄褐色土	10Y R 5/6	シラスブロックが主体。
第10層	褐色土	10Y R 4/4	浮石を少し含む。
第11層	にぶい黄褐色土	10Y R 7/4	シラス層。
第12層	にぶい黄褐色土	10Y R 7/3	シラス層。
第13層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	シラス粒がかなり多く、炭化粒を少し含む。
第14層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石をかなり多く含む。



0 2m

第109图 第99号土坑·第101号土坑·第102号土坑

第99号土坑土層注記

第1層	褐色土	10Y R 4/4	浮石・小さい礫少量含む。
第2層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/3	浮石微量、小さい礫中量含む。砂の層。
第3層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石多量、炭化粒中量含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石中量、炭化粒多量含む。
第5層	灰黄褐色土	10Y R 6/2	灰色の砂と肌色の粘土の混じる土の層。
第6層	褐色土	10Y R 4/4	浮石・炭化粒少量含む。
第7層	黄褐色土	10Y R 5/6	浮石微量、にぶい黄褐色土との互層。
第8層	にぶい黄褐色土	10Y R 6/3	炭化粒微量含む。小々粘土質。
第9層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	浮石少量、炭化粒微量含む。

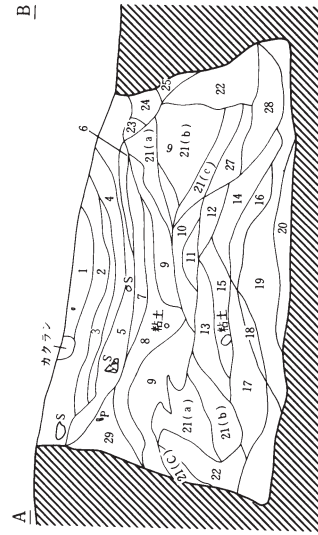
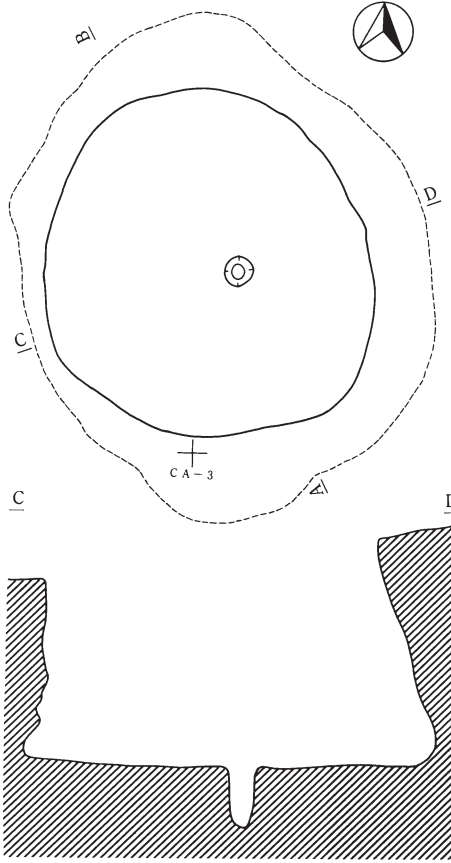
第101号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石少量、炭化粒微量混入。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石少量、炭化粒微量混入。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少量、炭化粒微量混入。
第4層	褐色土	10Y R 4/4	浮石微量混入。
第5層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石・炭化粒微量混入。

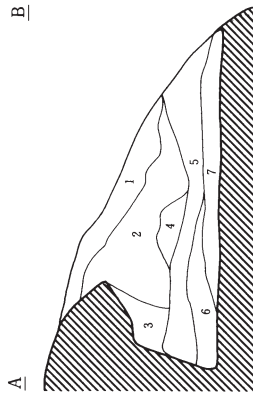
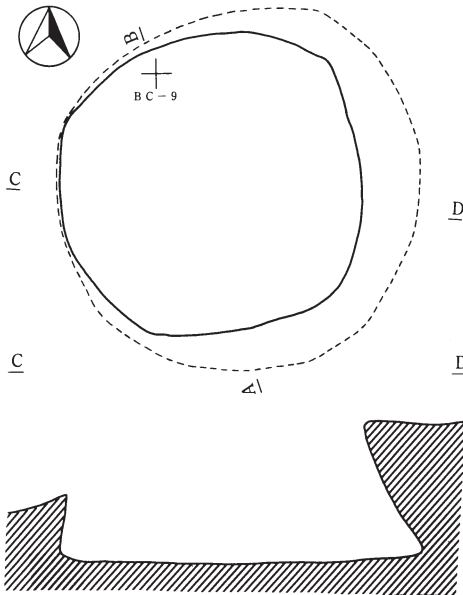
第102号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石粒少量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石粒全体に多量含む。
第3層	黒褐色土	7.5Y R 2/2	炭化物微量、灰少し含む。
第4層	黒褐色土	7.5Y R 3/2	シラス粒微量含む。
第5層	黒褐色土	10Y R 2/3	炭化物微量、浮石粒少量含む。
第6層	黒色土	7.5Y R 2/1	もろい浮石粒全体に少量含む。焼土も微量みられる。
第7層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石粒多量含む。
第8層	黒色土	7.5Y R 2/1	焼土ブロック、浮石全体に少量含む。
第9層	黒褐色土	7.5Y R 2/2	シラス粒、浮石粒微量含む。
第10層	明黄褐色土	10Y R 6/6	3～5mm大の浮石粒の層を含む。
第11層	褐色土	7.5Y R 4/4	混入物なし。
第12層	黒褐色土	10Y R 2/3	炭化物、浮石粒微量含む。

第103号土坑



第104号土坑



0 2m

第110図 第103号土坑・第104号土坑

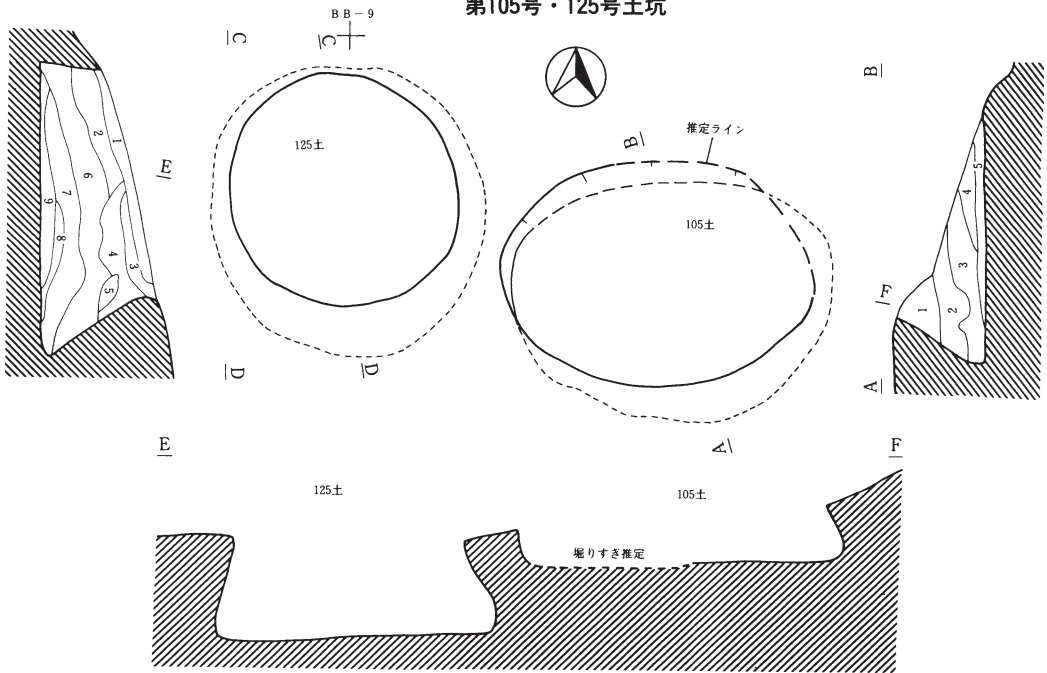
第103号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石粒少量含む。
第2層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石粒少量含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石粒多量、炭化物微量含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石粒中量含む。砂がまじっている。
第5層	黒褐色土	10Y R 2/3	もろい浮石粒中量、炭化物微量含む。
第6層	褐色土	10Y R 4/4	もろい浮石粒中量、炭化物微量含む。
第7層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	もろい浮石粒中量、砂全体に多量含む。
第8層	暗褐色土	10Y R 3/3	シラス・浮石粒多量、炭化物微量、直径3cm位の粘土含む。
第9層	黄褐色土	10Y R 5/6	浮石粒微量含む。
第10層	褐色土	10Y R 4/4	浮石粒、炭化物中量含む。
第11層	黄褐色土	10Y R 5/6	混合物なし。
第12層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石粒、炭化物多量含む。
第13層	黒褐色土	10Y R 2/2	もろい浮石粒多量含む。
第14層	黒褐色土	10Y R 3/2	もろい浮石粒多量含む。
第15層	黒色土	7.5Y R 2/1	もろい浮石粒多量含む。
第16層	黒褐色土	10Y R 2/2	もろい浮石粒多量含む。
第17層	黒褐色土	10Y R 3/2	もろいシラス・浮石粒多量含む。
第18層	黒褐色土	10Y R 2/3	2cm大の浮石粒と小さいシラス粒多量含む。
第19層	暗褐色土	10Y R 3/3	(3～5cm大)の浮石粒多量含む。
第20層	褐色土	10Y R 4/4	浮石粒、炭化物微量含む。
第21層(a)	にぶい黄褐色土	10Y R 6/3	黄褐色土がまだらに含む。砂状。
(b)			(a)より少なめにまだらに含む。砂状。
(c)			黒褐色土がマーブル状に含む。
第22層	灰白色土	10Y R 8/1	シラス粒層の下側に多量含む。
第23層	黄褐色土	10Y R 5/8	混合物なし。
第24層	褐色土	10Y R 4/4	砂まだらに含む。
第25層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石粒少量含む。
第26層	黄褐色土	10Y R 5/6	浮石粒微量、黒褐色土マーブル状に少し含む。
第27層	黄褐色土	10Y R 5/6	浮石粒微量、炭化物少量、砂・黒褐色土マーブル状に少し含む。
第28層	黒褐色土	10Y R 3/2	もろい浮石粒多量、炭化物微量含む。
第29層	黒褐色土	10Y R 2/3	もろい浮石粒多量、砂小さいブロックで含む。

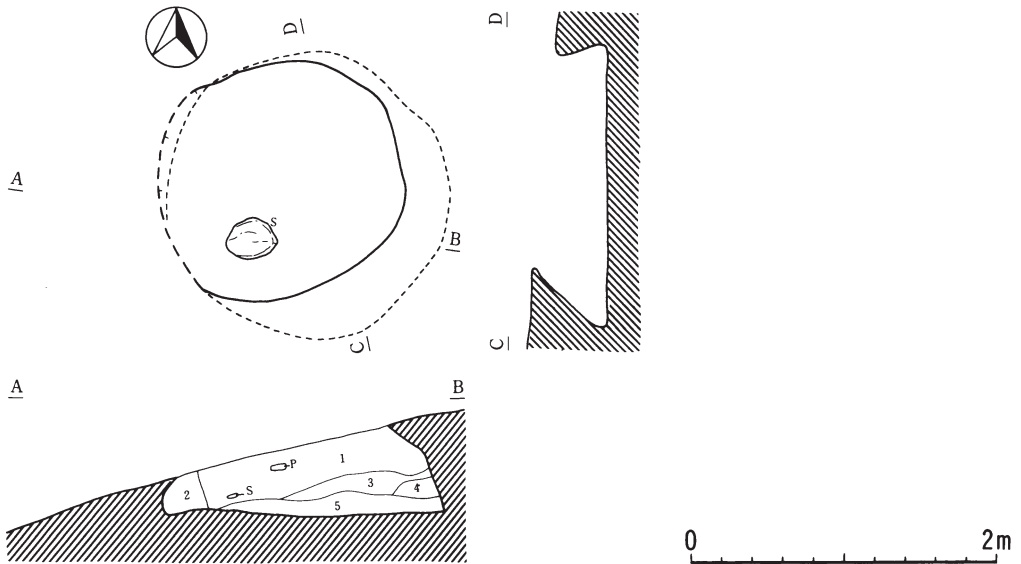
第104号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	浮石・シルトブロック・ロームブロックやや多く含む。
第2層	極暗褐色土	7.5Y R 2/3	浮石やや多く、シルトブロック・ロームブロックかなり多く含む。
第3層	黒褐色土	7.5Y R 3/2	浮石・ロームブロック・シルトブロックやや多く、炭化粒少し含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石・シルト粒少し、砂粒かなり多く含む。
第5層	にぶい黄褐色土	10Y R 6/4	シルト層。
第6層	にぶい黄褐色土	10Y R 6/3	シルトを主体、砂粒かなり多く含む。
第7層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	シルト層・砂粒少し含む。

第105号・125号土坑



第111号土坑



第111図 第105号土坑・第111号土坑・第125号土坑

第125号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	7.5Y R 2/2	浮石・ロームブロック・シルトブロックをやや多く含む。
第2層	にぶい橙色土	7.5Y R 7/4	シルトブロック主体に含む。
第3層	明黄褐色土	10Y R 6/6	シルトブロックきわめて多い。炭化粒少し含む。
第4層	黄褐色土	10Y R 5/6	浮石・炭化物少し、シルトブロックをかなり多く含む。
第5層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/3	シルトブロックを含む。
第6層	明褐色土	7.5Y R 5/6	浮石・ローム土をかなり多く、シルトブロック少し含む。
第7層	褐色土	7.5Y R 4/4	浮石かなり多く、シルトブロック少し、ローム土を極多く含む。
第8層	灰白色土	7.5Y R 8/2	シルトブロック主体に含む。
第9層	黄褐色土	10Y R 5/6	ローム土主体、シルトブロックを少し含む。

第105号土坑土層注記

第1層	褐色土	7.5Y R 4/6	浮石少し、ロームブロック・シルトブロックかなり多く含む。
第2層	黒褐色土	7.5Y R 3/1	浮石・ロームブロック・シルトブロックやや多い。炭化粒微少に含む。
第3層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	浮石微少、シルトブロックかなり多い。シルト粒極多い。炭化粒少し含む。
第4層	暗褐色土	7.5Y R 3/4	浮石・シルト粒少し、炭化粒微少含む。
第5層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	浮石・シルトブロック少し含む。

第111号土坑土層注記

第1層	褐色土	10Y R 4/6	浮石かなり多く、シルトブロック少し含む。
第2層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少し、シルト粒かなり多く含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/3	砂粒を極めて多く含む。
第4層	褐色土	10Y R 4/4	シルト粒を極めて多く含む。
第5層	暗褐色土	10Y R 3/4	シルトブロックを極めて多く含む。

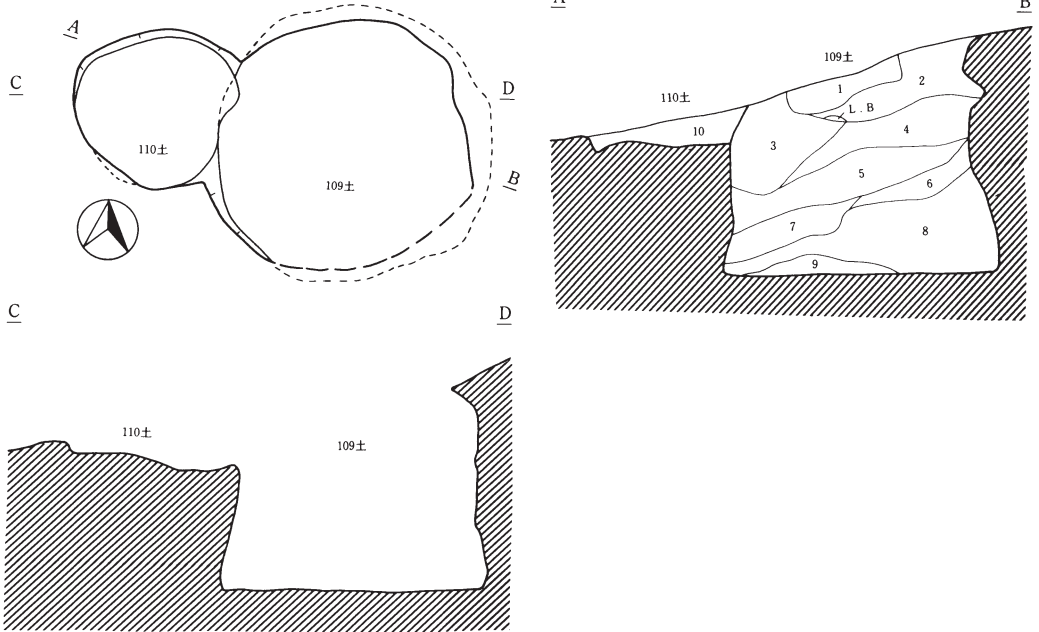
第109号・110号土坑土層注記

第1層	にぶい褐色土	7.5Y R 6/3	浮石やや多く、シラスブロックを多量に含む。
第2層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	浮石やや多く含む。
第3層	暗褐色土	7.5Y R 3/4	浮石やや多く、シラスブロックをかなり多く含む。
第4層	黒褐色土	7.5Y R 2/2	浮石極めて多く、シラスブロック・ロームブロック少し含む。
第5層	黒褐色土	7.5Y R 3/1	浮石極めて多く含む。(4層より多い)
第6層	にぶい褐色土	7.5Y R 5/4	浮石・ロームブロックを少し、シラスブロック極めて多く含む。
第7層	明褐色土	7.5Y R 5/6	浮石・炭化粒少し、ロームブロックやや多く、シラスブロック極めて多く含む。
第8層	にぶい褐色土	7.5Y R 6/3	シラスブロック主体、浮石・ロームブロック少し含む。
第9層	灰褐色土	7.5Y R 6/2	シラスブロック主体、浮石少し含む。
第10層	明褐色土	7.5Y R 3/4	浮石・ローム粒やや多く含む。

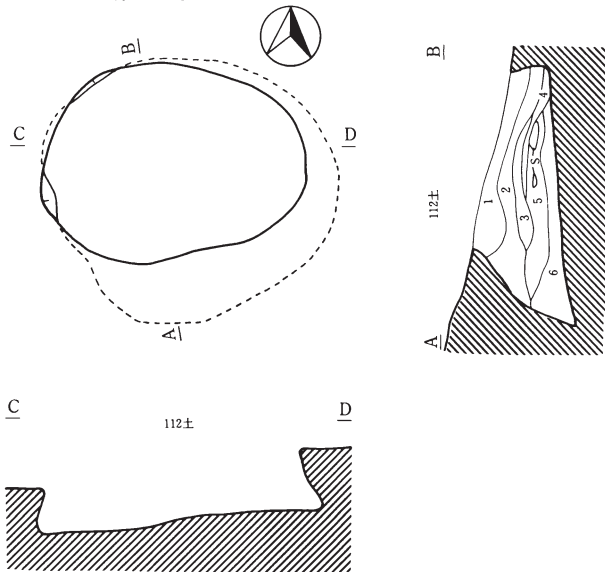
第112号土坑土層注記

第1層	褐色土	10Y R 4/4	浮石・シラス粒かなり多く含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石・シラス粒かなり多く、シラスブロック・炭化粒少し含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石・シラス粒・炭化粒を少し含む。
第4層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石・ローム粒やや多く含む。
第5層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	浮石・シラス粒かなり多く含む。
第6層	褐色土	10Y R 4/4	浮石・シラス粒かなり多く含む。

第109号·110号土坑



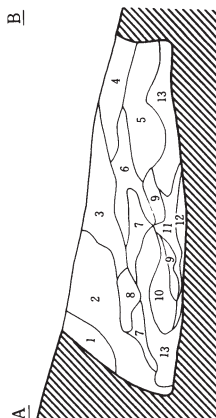
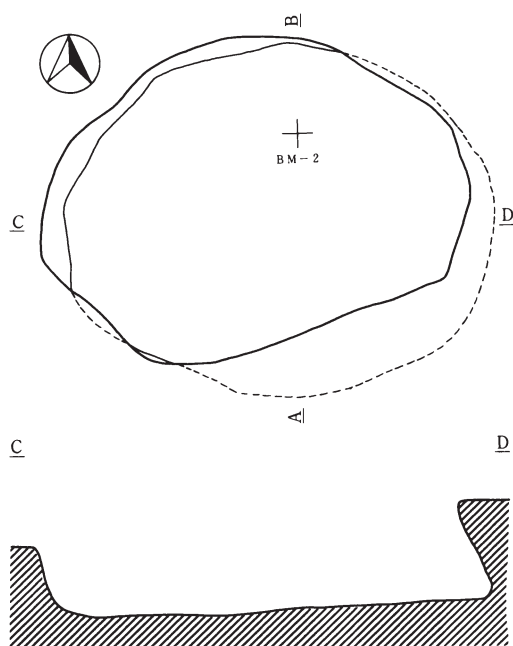
第112号土坑



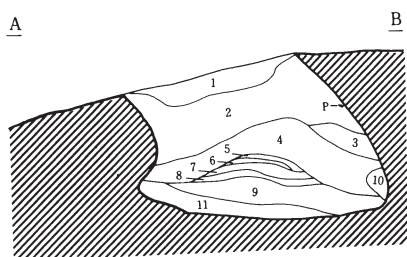
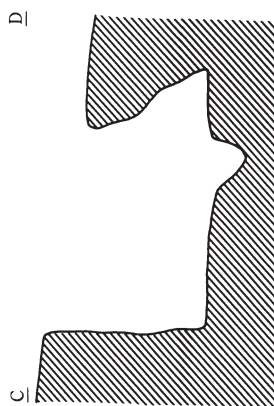
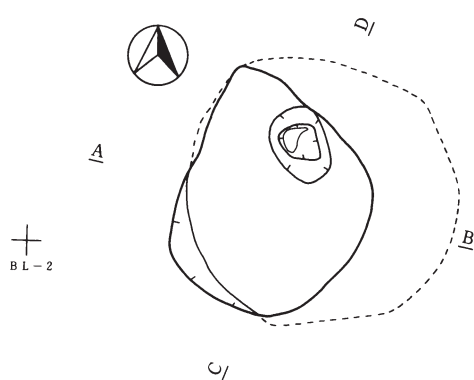
0 2m

第112图 第109号土坑·第110号土坑·第112号土坑

第113号土坑



第114号土坑



第113图 第113号土坑·第114号土坑

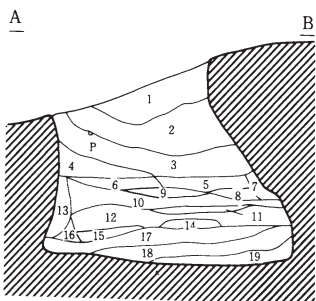
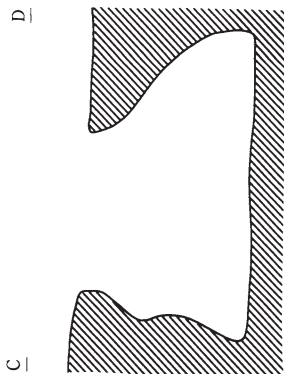
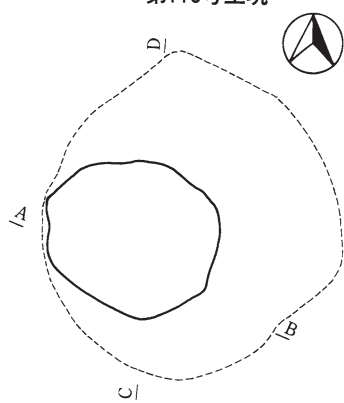
第113号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石中量、炭化粒少量、白いロームがブロック状に含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石・黄色い中量、白い浮石・白い浮石粒少量含む。
第3層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石・白い土多量、炭化粒少量含む。
第4層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	浮石・炭化粒・白い土を中量含む。木の根があり、少々攪乱されている。
第5層	褐色土	10Y R 4/4	浮石・炭化粒少量、白い土がブロック状に含む。
第6層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石・炭化粒少量含む。
第7層	黄褐色土	10Y R 5/6	浮石少量、炭化粒微量含む。
第8層	褐色土	10Y R 4/4	浮石・炭化粒少量、黄色い土が中量含む。
第9層	黒色土	7.5Y R 2/1	浮石少量含む。
第10層	黄褐色土	10Y R 5/8	浮石少量、炭化粒微量含む。
第11層	オリブ褐色土	2.5Y 4/6	浮石少量、炭化粒微量、白い土がブロック状に含む。
第12層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石中量、白い砂土・微粒少量含む。
第13層	にかい黄橙色土	10Y R 7/3	白い浮石少量含む。サラサラしている。

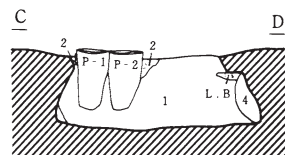
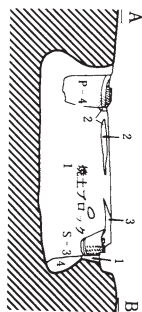
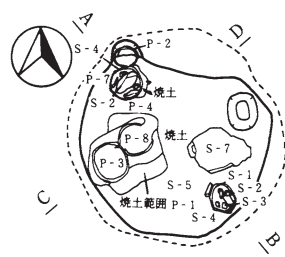
第114号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石・シルト粒を少し含む。
第2層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石やや多く、ロームブロック少し、シルトブロックかなり多く、炭化粒少し含む。
第3層	にぶい黄橙色土	10Y R 7/2	シルトブロックが主体。
第4層	灰黄褐色土	10Y R 5/2	浮石少し、シルトブロックを層状にかなり多く含む。
第5層	にぶい黄橙色土	10Y R 7/2	シルト層。
第6層	褐色土	10Y R 4/4	浮石少し、シルト粒をやや多く含む。
第7層	にぶい黄橙色土	10Y R 7/2	シルト層。
第8層	褐色土	10Y R 4/4	6層に似ている。
第9層	にぶい黄橙色土	10Y R 6/3	シルト層。
第10層	灰白色土	10Y R 8/2	シルトブロックが主体の層。
第11層	褐色土	10Y R 4/4	浮石、シルト粒をかなり多く含む。

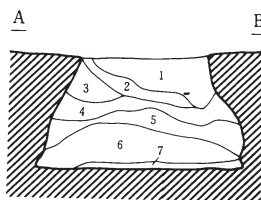
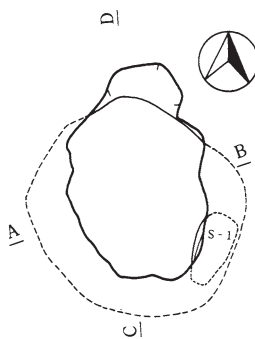
第116号土坑



第117号土坑



第118号土坑



0 2m

第114图 第116号土坑·第117号土坑·第118号土坑

第117号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石中量、炭化粒・焼土粒少量、焼土粒の混ったブロック含む。白い砂微量、3 cm大の礫含む。
第2層	褐色土	7.5Y R 4/6	浮石微量、炭化粒少量、焼土粒（1 cmの層になって）含む。
第3層	オリブ褐色土	2.5Y 4/3	浮石少量含む。灰色の砂の層。
第4層	褐色土	10Y R 4/4	浮石・炭化粒少量含む。灰色の砂との混合土。

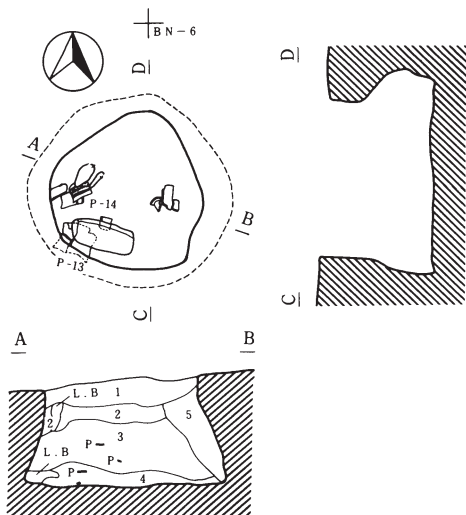
第116号土坑土層注記

第1層	褐色土	7.5Y R 4/4	浮石やや多く、ロームブロック・シルトブロックを少し含む。
第2層	褐色土	10Y R 4/6	浮石・シルトブロックやや多く、ロームブロックを少し含む。
第3層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	浮石・シルトブロックやや多く含む。
第4層	にぶい黄橙色土	10Y R 7/2	シルトブロックが主体の層。
第5層	にぶい黄橙色土	10Y R 6/4	浮石・砂粒やや多く、シルト粒かなり多く含む。
第6層	褐色土	10Y R 4/4	浮石・シルト小ブロックやや多く含む。
第7層	褐色土	10Y R 4/6	浮石を少し含む。
第8層	褐色土	10Y R 4/4	浮石少し、砂粒やや多く含む。
第9層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	浮石少し、シルト粒・砂粒かなり多く含む。
第10層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/3	浮石・シルト粒かなり多く、砂粒極めて多く含む。
第11層	にぶい黄橙色土	10Y R 7/4	シルト層。
第12層	褐色土	10Y R 4/4	砂層。浮石・シルトブロックを少し含む。
第13層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	浮石・シルトブロックを少し含む。
第14層	にぶい黄橙色土	10Y R 6/4	シルト主体の層。砂粒かなり多く含む。
第15層	灰黄褐色土	10Y R 5/2	ロームを間にはさむ砂層。
第16層	にぶい黄橙色土	10Y R 6/3	浮石・砂粒を少し含む。
第17層	にぶい黄橙色土	10Y R 7/3	シルト主体の層。砂をやや多く含む。
第18層	にぶい黄橙色土	10Y R 5/4	砂主体の層。
第19層	褐色土	10Y R 4/4	砂粒が主体の層。シルト粒を多く含む。

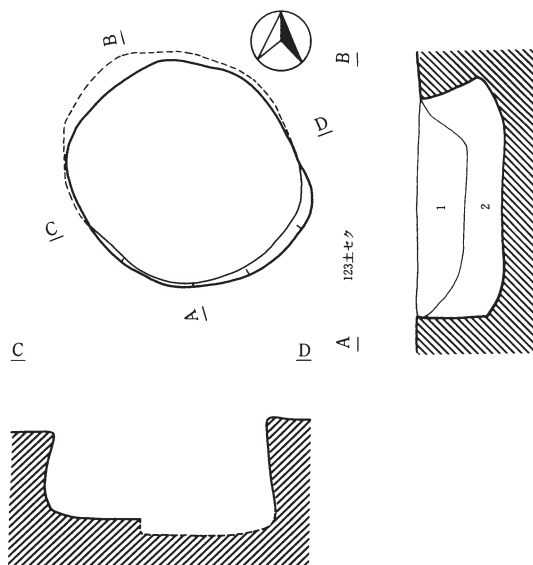
第118号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石中量、焼土粒がブロック状に含む。
第2層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少量、炭化粒が微粒微量、褐色土との混合土を含む。
第3層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石少量、炭化粒微量に含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石少量、炭化粒微量、白い砂、微粒で中量含む。
第5層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石・白い浮石・炭化粒少量含む。
第6層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石・白い浮石・炭化粒少量含む。
第7層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	浮石微量含む。

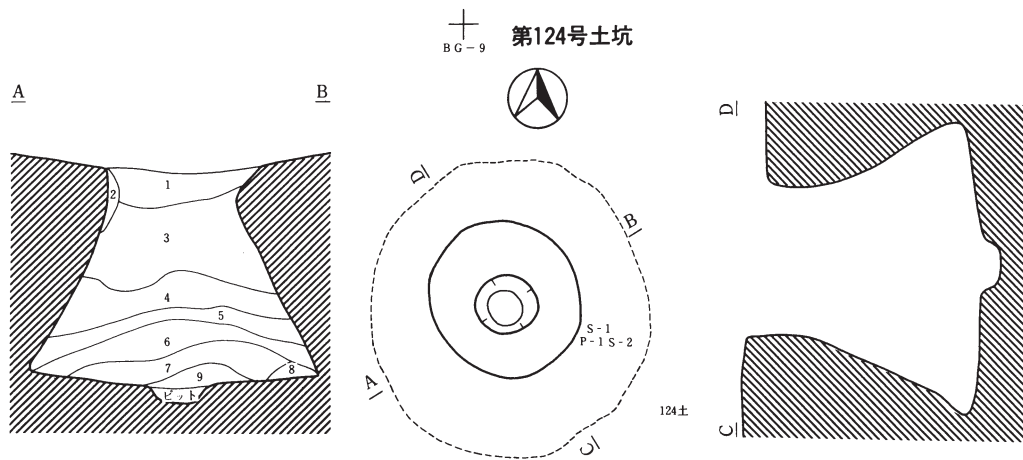
第119号土坑



第123号土坑



第124号土坑



0 2m

第115图 第119号土坑·第123号土坑·第124号土坑

第123号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	7.5Y R 2/2	浮石かなり多く、炭化粒・ロームブロックを少し含む。
第2層	極暗褐色土	7.5Y R 2/3	浮石かなり多く、炭化粒・シルトブロックを多く含む。

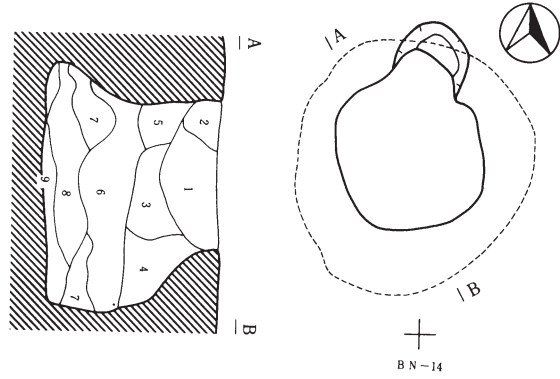
第119号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石中量、黄色い砂ブロック状に少量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石・黄色い土ブロック状に少量、炭化粒微量含む。
第3層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石・灰色の砂（全体）少量、炭化粒中量含む。
第4層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	浮石少量、炭化粒微量、黄色い土中量含む。
第5層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石・炭化粒少量、灰色の砂ブロック状に少量含む。

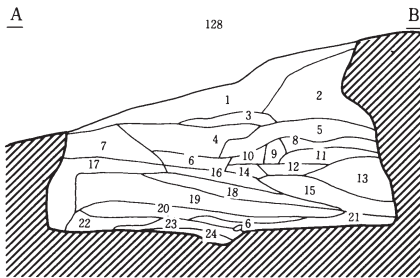
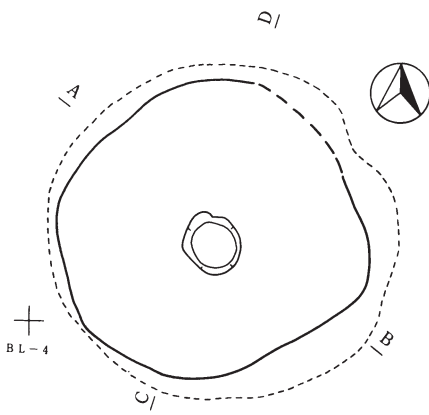
第124号土坑土層注記

第1層	黒褐色土	7.5Y R 2/2	浮石やや多く含む。
第2層	極暗褐色土	7.5Y R 2/3	浮石微量に含む。
第3層	黒色土	7.5Y R 2/1	浮石少し含む。
第4層	黒褐色土	7.5Y R 3/2	浮石やや多く含む。
第5層	黒褐色土	7.5Y R 2/2	浮石・砂粒をかなり多く含む。
第6層	極暗褐色土	7.5Y R 2/3	浮石・砂粒やや多く含む。
第7層	暗褐色土	7.5Y R 3/4	浮石少し、砂粒をやや多く含む。
第8層	にぶい黄橙色土	10Y R 7/3	シルトブロックを含む。
第9層	暗褐色土	7.5Y R 3/4	浮石を少し、砂粒をかなり多く含む。

第127号土坑



第128号土坑



第116图 第127号土坑·第128号土坑

第127号土坑土層注記

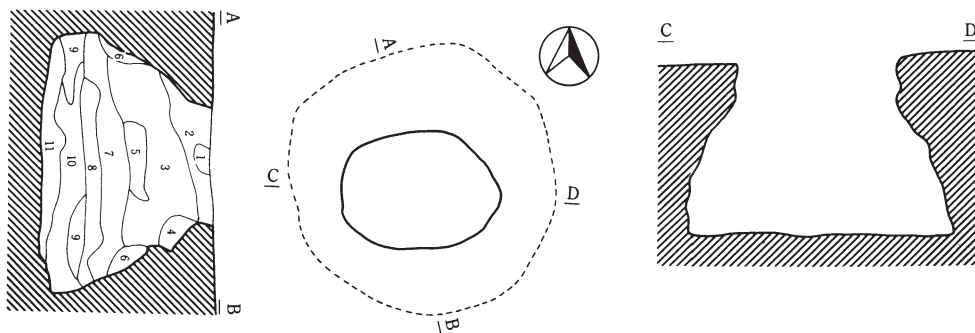
第1層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	浮石少量含む。
第2層	褐色土	10Y R 4/4	浮石・炭化物微量含む。
第3層	黄褐色土	10Y R 5/6	浮石多量、炭化物微量含む。
第4層	褐色土	10Y R 4/4	浮石少量含む。
第5層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石微量含む。
第6層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石多量含む。
第7層	灰黄褐色土	10Y R 5/2	混入物なし。
第8層	褐色土	10Y R 4/6	浮石多量、炭化物少量含む。
第9層	褐色土	10Y R 4/6	浮石少量含む。

第128号土坑土層注記

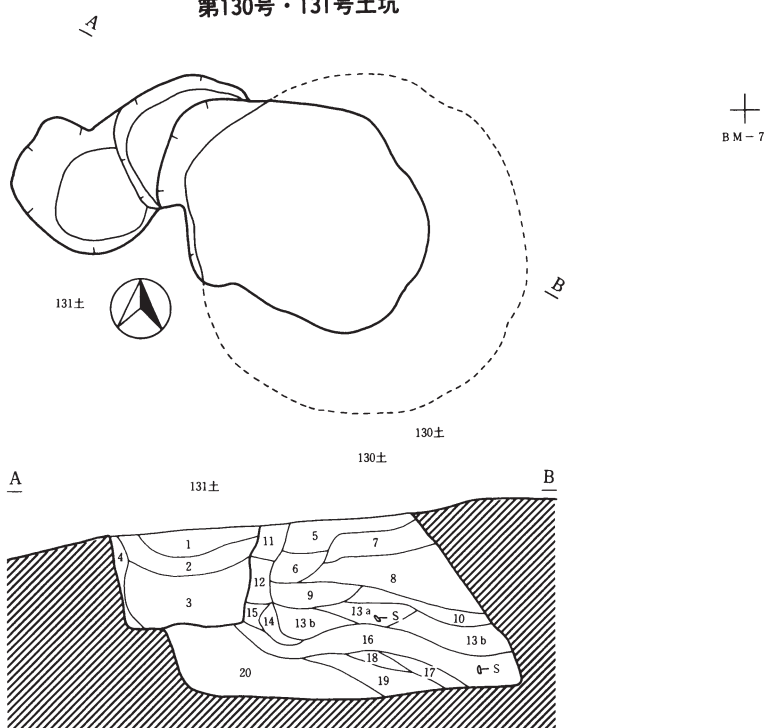
第1層	暗褐色土	7.5Y R 3/4	浮石かなり多く、砂ブロックを少し含む。
第2層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石やや多く、シルトブロックを少し含む。
第3層	褐色土	10Y R 4/4	浮石少し、シルトブロックかなり多く含む。
第4層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石やや多く、シルトブロックを少し含む。
第5層	にぶい黄橙色土	10Y R 7/4	シルト主体の層。浮石少し含む。
第6層	暗褐色土	7.5Y R 3/4	浮石・炭化粒少し含む。
第7層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	浮石少し、シルトブロックをかなり多く含む。
第8層	にぶい黄褐色土	10Y R 6/4	シルトを極めて多く含む。
第9層	にぶい黄色土	2.5Y R 6/4	砂ブロックを含む。
第10層	褐色土	10Y R 4/6	シルト粒をかなり多く含む。
第11層	にぶい黄橙色土	10Y R 7/3	シルト層。
第12層	にぶい黄橙色土	10Y R 7/2	シルト層。
第13層	灰黄褐色土	10Y R 5/2	砂層。壁ぎわにシルトブロックが混じっている。
第14層	黄褐色土	2.5Y R 5/4	砂粒・シルト粒を極めて多く含む。
第15層	浅黄色土	2.5Y R 7/3	シルト層。炭化粒を少し含む。
第16層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石・シルト粒少し、炭化粒を多く含む。
第17層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	浮石・砂粒・炭化粒・シルト粒を少し含む。
第18層	褐色土	10Y R 4/4	浮石・炭化粒少し、シルト粒・砂粒を多く含む。
第19層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	浮石・炭化粒少し、シルト粒・砂粒を極めて多く含む。
第20層	にぶい黄橙色土	10Y R 7/3	シルト層。
第21層	にぶい黄橙色土	10Y R 7/4	やや褐色味を帯びたシルト層。
第22層	にぶい黄橙色土	10Y R 7/3	シルト層。
第23層	褐色土	10Y R 4/4	浮石かなり多く含む。
第24層	にぶい黄橙色土	10Y R 6/4	シルトブロックを極めて多く含む。

第129号土坑

BN-5



第130号·131号土坑



第117图 第129号土坑·第130号土坑·第131号土坑

第129号土坑土層注記

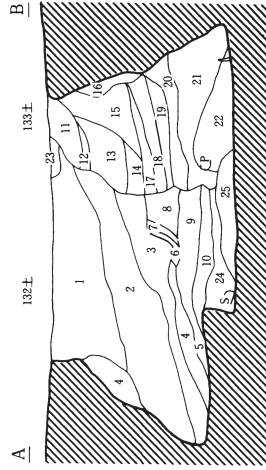
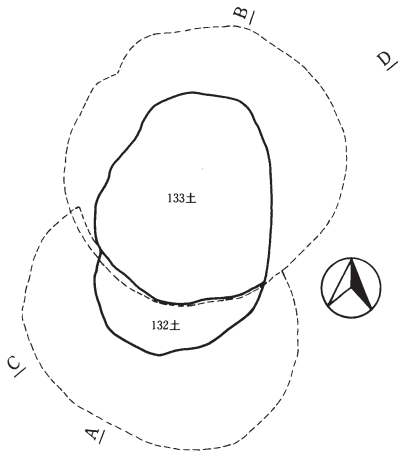
第1層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	砂、全体に多量、炭化粒少量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石中量、炭化物少量、黄色い砂全体に少量含む。
第3層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石・炭化粒少量含む。
第4層	褐色土	10Y R 4/4	浮石少量、炭化粒微量、黄色い土ブロック状に含む。
第5層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/3	浮石多量、炭化粒中量、白い土ブロック状に含む。
第6層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	浮石・白い砂少量含む。
第7層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石多量、炭化粒を含む。
第8層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石中量、炭化粒少量、白い砂全体に少量含む。
第9層	暗褐色土	7.5Y R 3/4	浮石少量、炭化粒微量含む。
第10層	黒褐色土	7.5Y R 3/2	浮石微量、炭化粒中量含む。
第11層	褐色土	7.5Y R 4/3	浮石多量、白い土ブロック状に含む。

第130号・131号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	浮石やや多い、炭化粒少し含む。
第2層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石やや多い、ロームブロック少し含む。
第3層	暗褐色土	7.5Y R 3/4	浮石・炭化粒・シラス粒少し含む。
第4層	黄褐色土	10Y R 5/6	砂ブロックをかなり多く含む。
第5層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	浮石やや多く含む。
第6層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少し、炭化粒微量に含む。
第7層	褐色土	10Y R 4/4	浮石やや多い、ロームブロックかなり多く含む。
第8層	にぶい黄褐色土	10Y R 4/3	浮石少し、シラスブロックかなり多く含む。
第9層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石・炭化粒・ロームブロックを少し含む。
第10層	褐色土	7.5Y R 4/6	ロームブロックを極めて多く含む。
第11層	黄褐色土	10Y R 5/8	ロームブロックを含む。
第12層	黄褐色土	2.5Y R 5/4	砂ブロックが主体の層。
第13a層	明赤褐色土	5Y R 3/3	浮石・炭化粒少し、焼土粒を極めて多く含む。
第13b層	暗褐色土	10Y R 3/3	シラス粒・ローム粒かなり多く、浮石・炭化粒を少し含む。
第14層	黄褐色土	2.5Y R 5/4	砂ブロック主体の層。
第15層	暗褐色土	10Y R 3/3	砂粒を少し含む。
第16層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石極めて多く含む。
第17層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石少し、ローム粒かなり多く含む。
第18層	黒褐色土	10Y R 2/3	浮石かなり多く含む。
第19層	褐色土	10Y R 4/4	浮石少し、ローム粒やや多く含む。
第20層	にぶい黄褐色土	10Y R 5/4	浮石少し、砂粒極めて多く、砂ブロック、シラスブロックかなり多く含む。

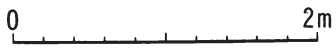
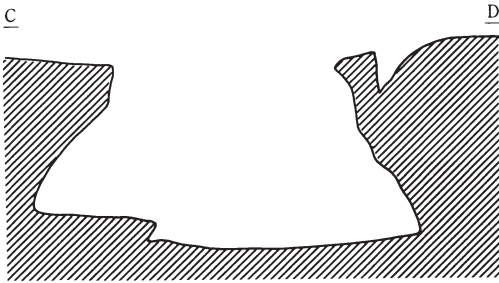
+

BL-8



+

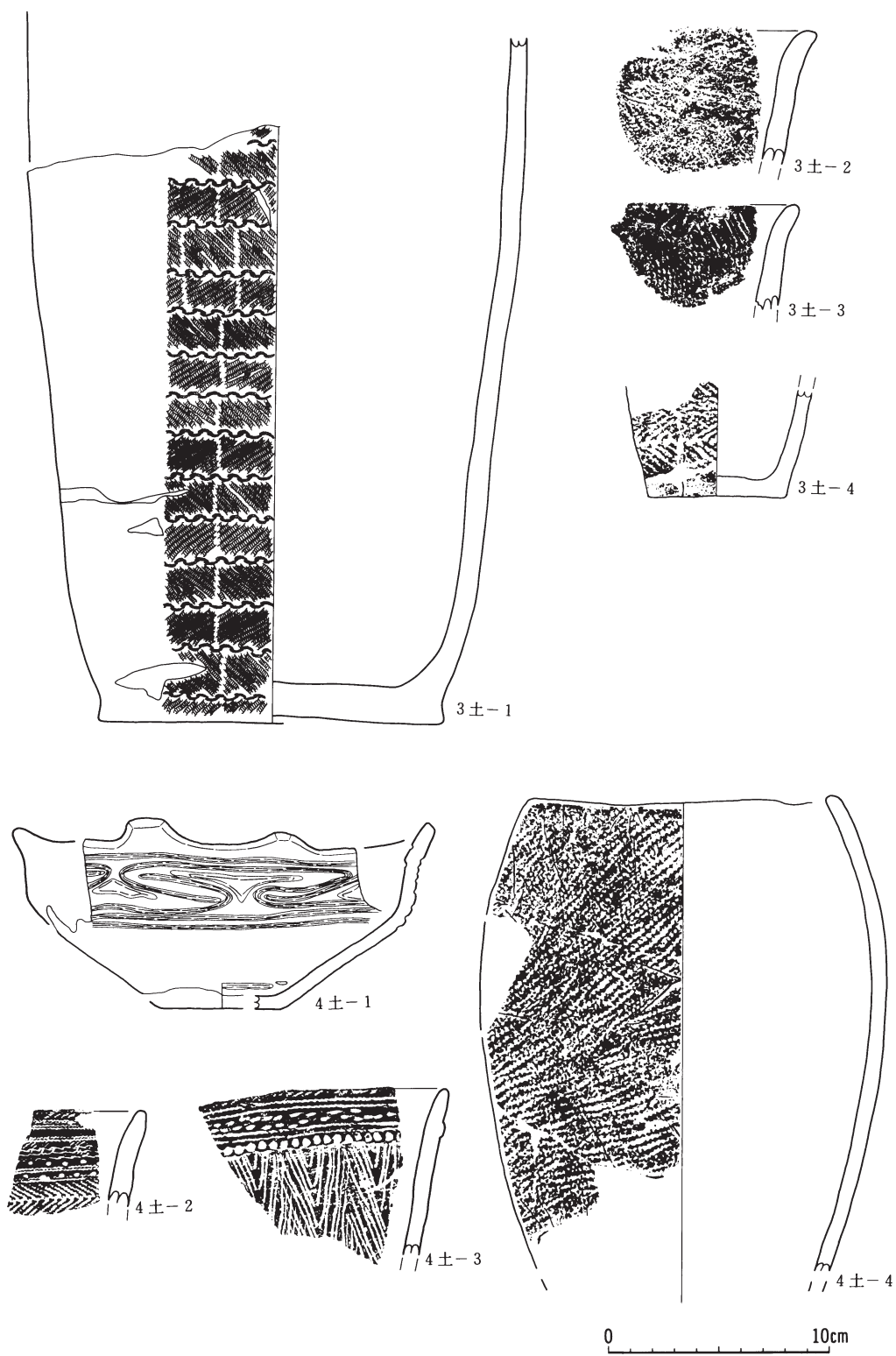
BL-9



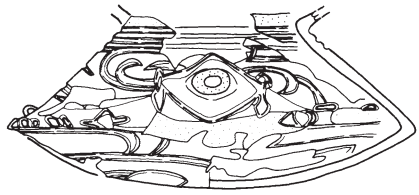
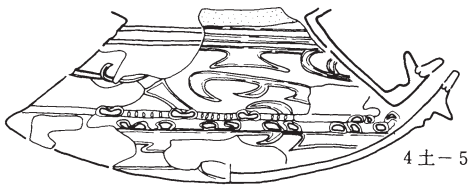
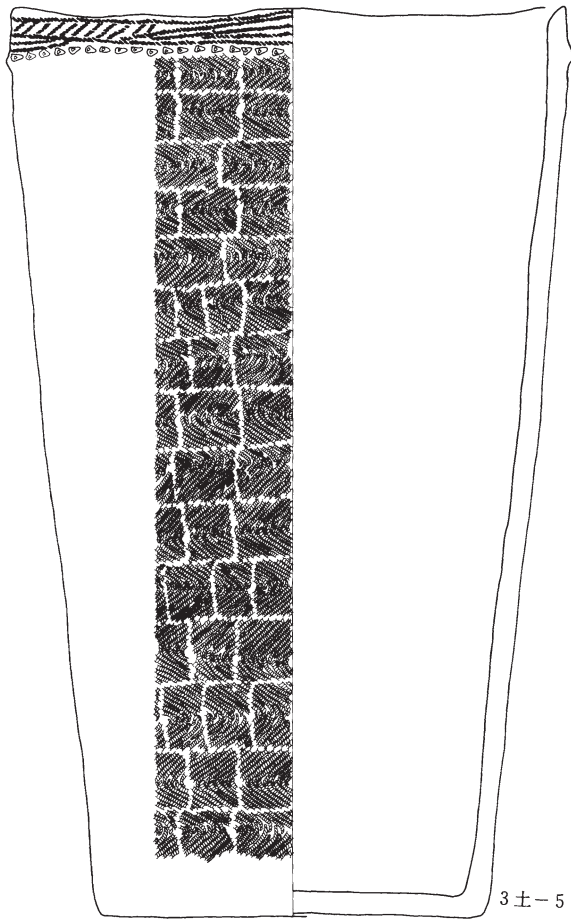
第118图 第132号土坑·第133号土坑

第132号・133号土坑土層注記

第1層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石中量、炭化物微量含む。
第2層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石・シラス少量、炭化物微量含む。
第3層	褐色土	10Y R 4/4	浮石・炭化物・灰微量含む。
第4層	褐色土	10Y R 4/4	アワズナ少し含む。
第5層	暗褐色土	10Y R 3/4	炭化物微量含む。
第6層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石微量含む。
第7層	褐色土	10Y R 4/6	砂状。
第8層	褐色土	7.5Y R 4/4	浮石粒・炭化物・砂微量含む。
第9層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石粒・炭化物・灰微量含む。
第10層	褐色土	10Y R 4/6	シラス粒中量含む。
第11層	黒褐色土	10Y R 3/2	浮石中量、炭化物微量含む。
第12層	黄褐色土	10Y R 5/8	シラス粒少量含む。
第13層	黒褐色土	10Y R 3/2	シラス粒・浮石粒まじりあって少量、褐色土 (10Y R 4/6) ブロック含む。
第14層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	浮石粒・シラス粒微量含む。
第15層	暗褐色土	10Y R 3/3	浮石微量含む。
第16層	暗褐色土	10Y R 3/4	浮石微量含む。
第17層	極暗褐色土	10Y R 2/3	浮石粒中量、炭化物微量含む。
第18層	暗褐色土	10Y R 3/3	シラス粒少量含む。
第19層	褐色土	10Y R 4/4	アワズナ微量含む。
第20層	黒褐色土	7.5Y R 3/2	炭化物微量、シラス粒少量含む。
第21層	暗褐色土	7.5Y R 3/4	浮石粒少量、アワズナブロックで少量含む。
第22層	褐色土	7.5Y R 4/4	シラス粒微量含む。
第23層	黒褐色土	10Y R 2/2	浮石微量含む。
第24層	暗褐色土	7.5Y R 3/3	浮石粒中量含む。
第25層	褐色土	7.5Y R 4/6	浮石粒・シラス粒中量含む。

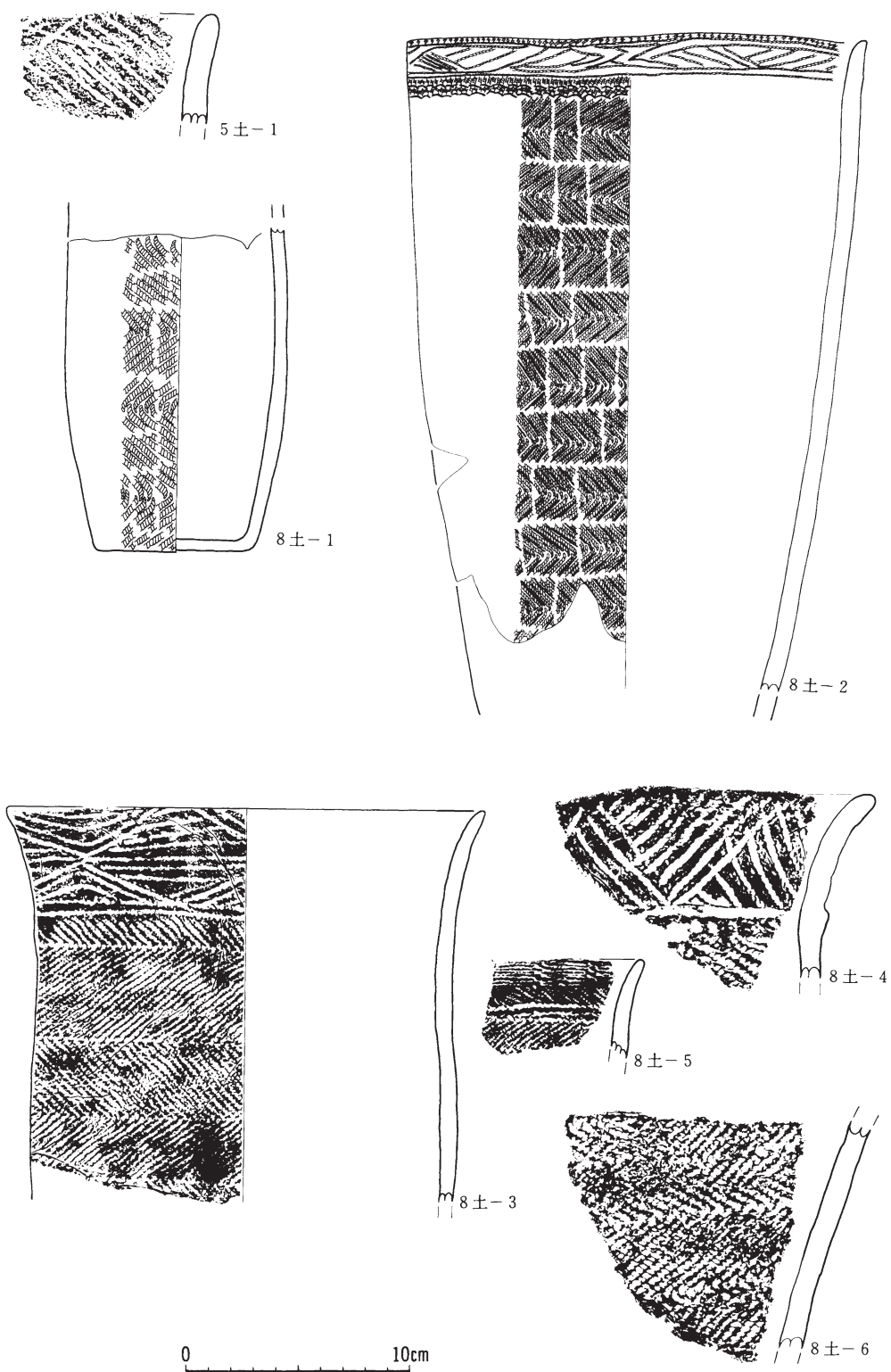


第119图 第3号土坑①·第4号土坑出土土器①

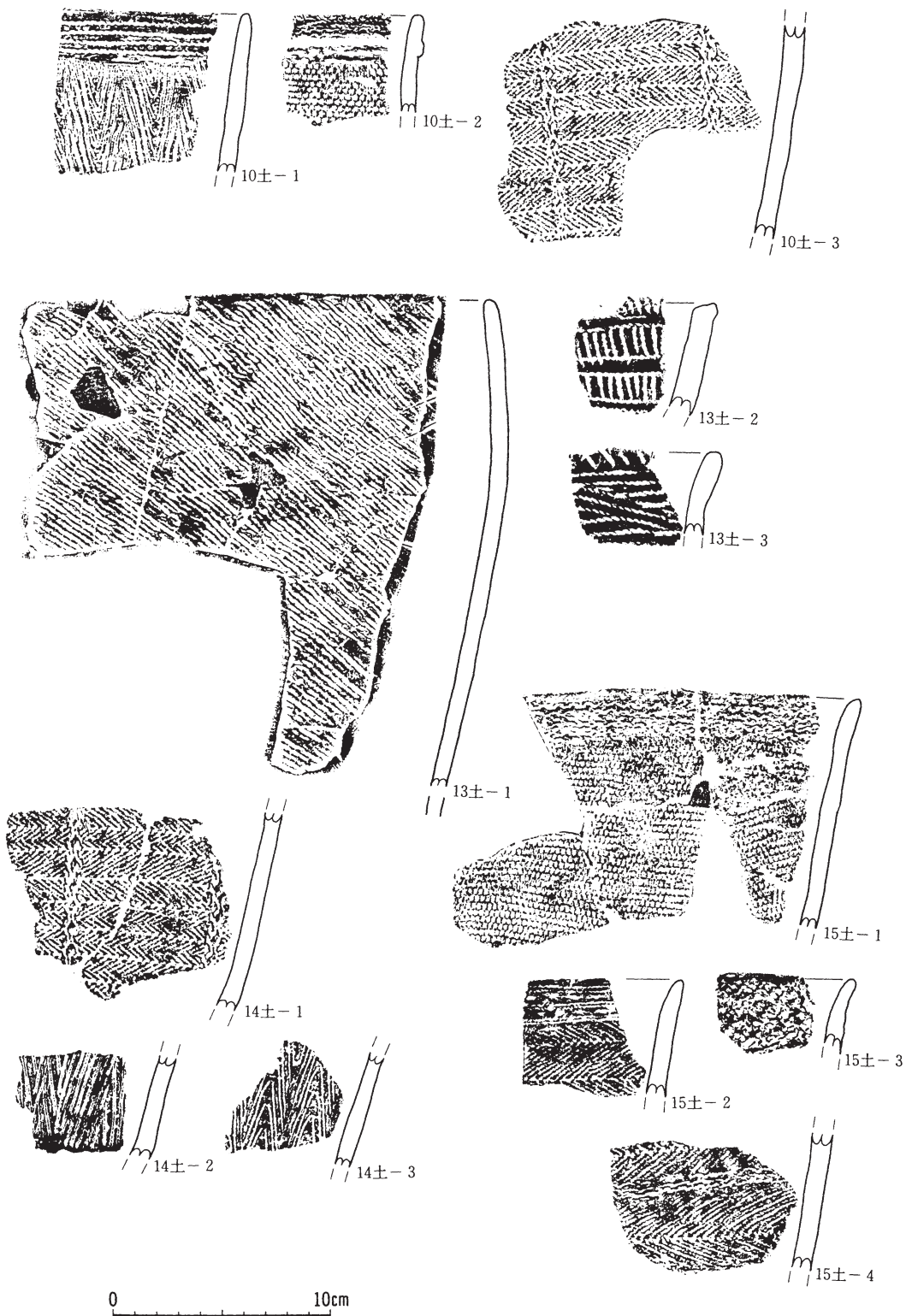


0 10cm

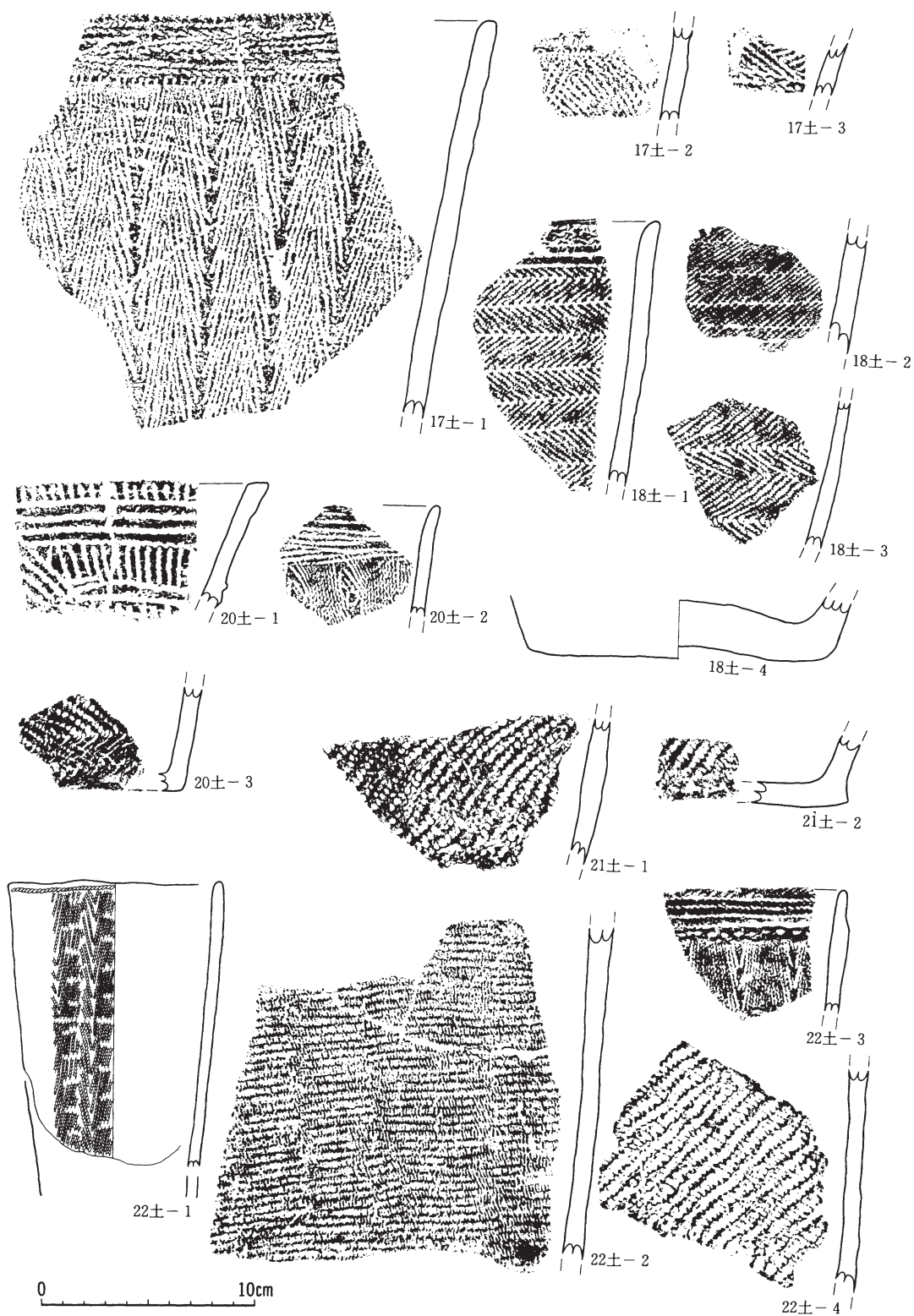
第120图 第3号土坑②·第1号土坑出土土器②



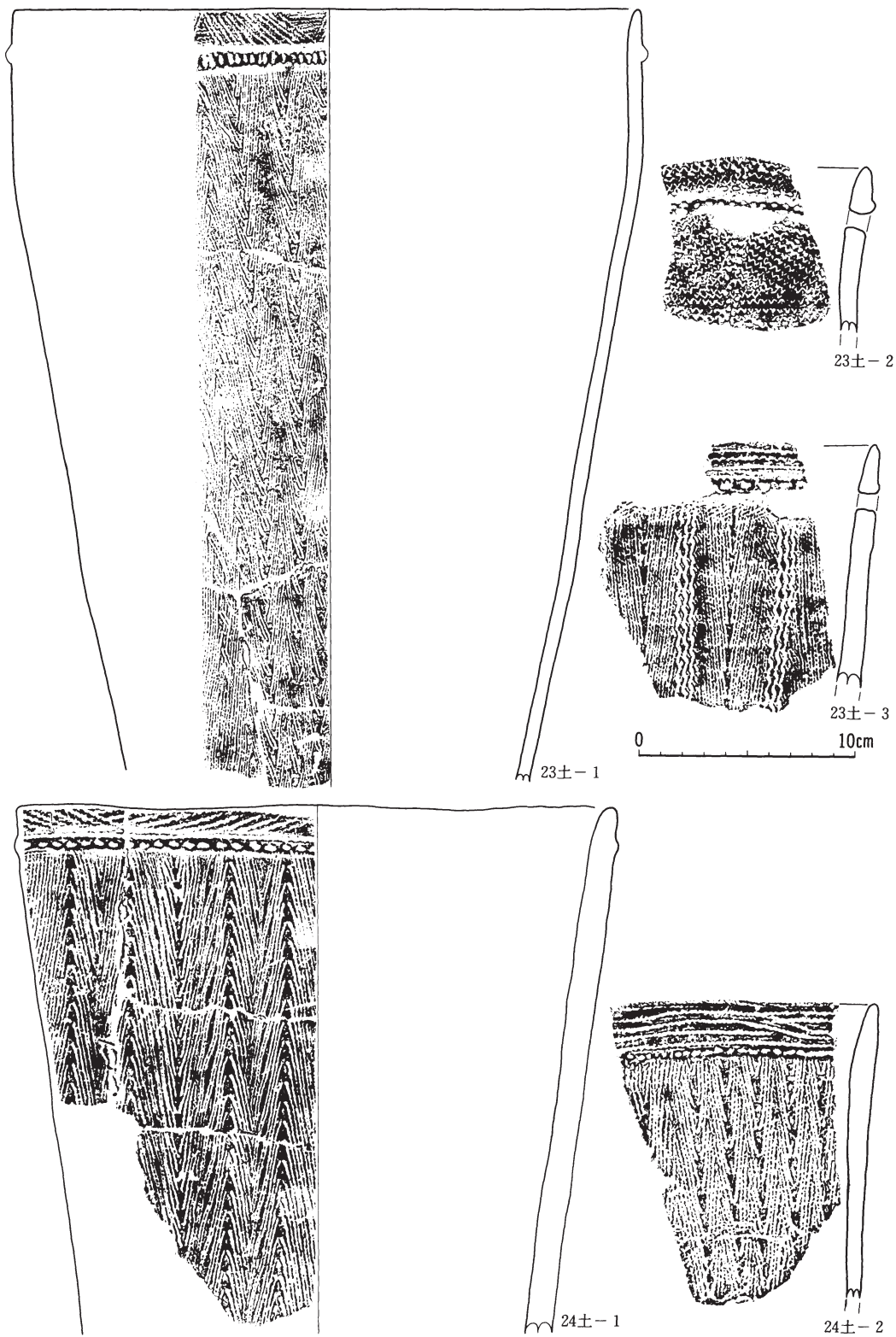
第121图 第5号土坑·第8号土坑出土土器



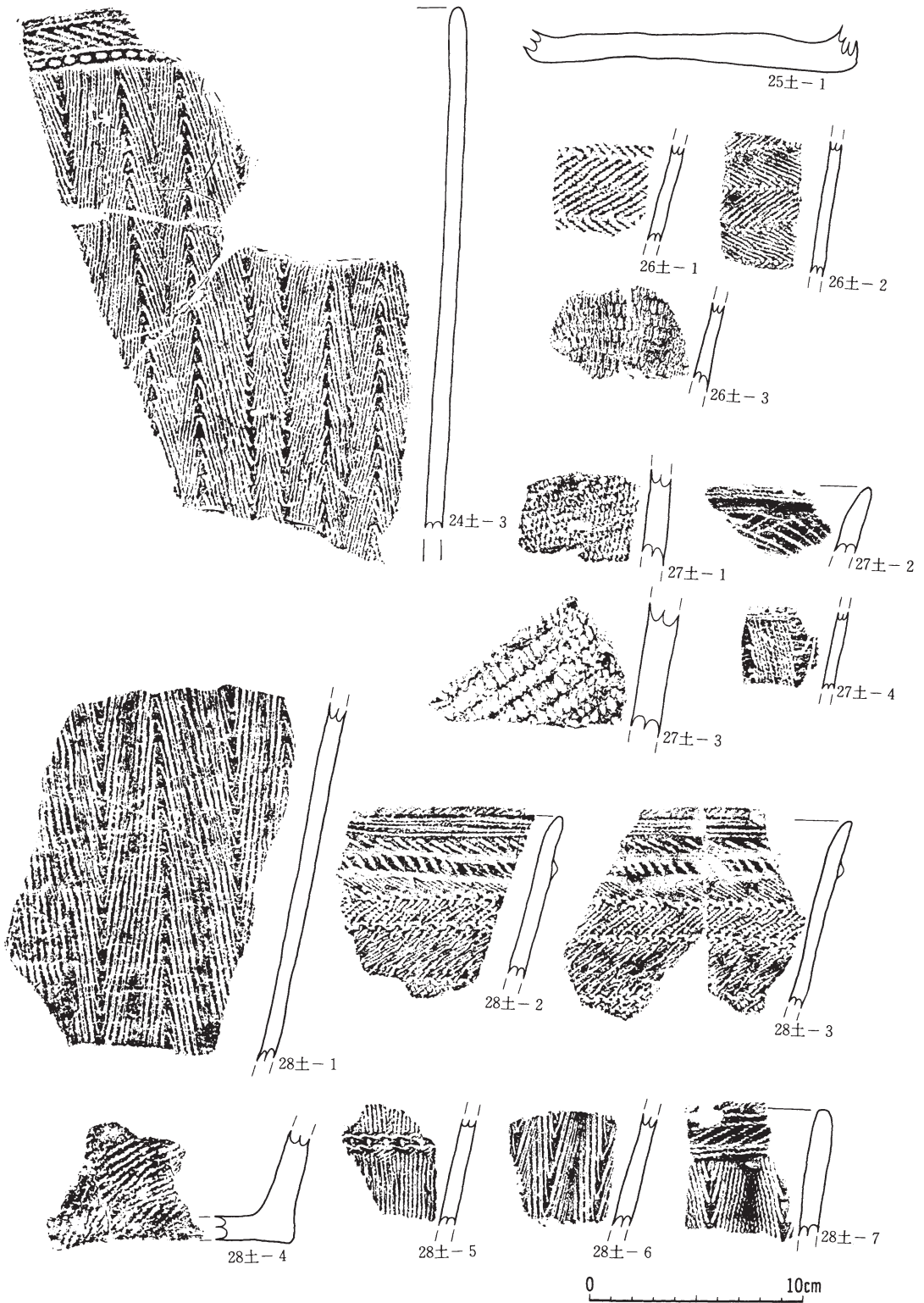
第122图 第10号土坑·第13号土坑·第14号土坑·第15号土坑出土土器



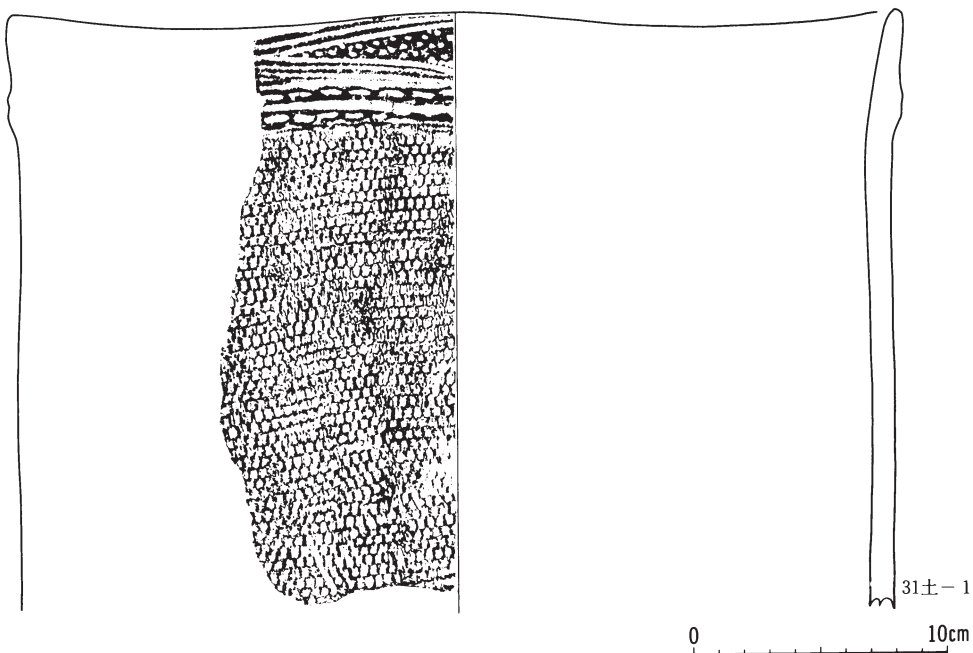
第123图 第17号土坑·第18号土坑·第20号土坑·第21号土坑·第22号土坑出土土器



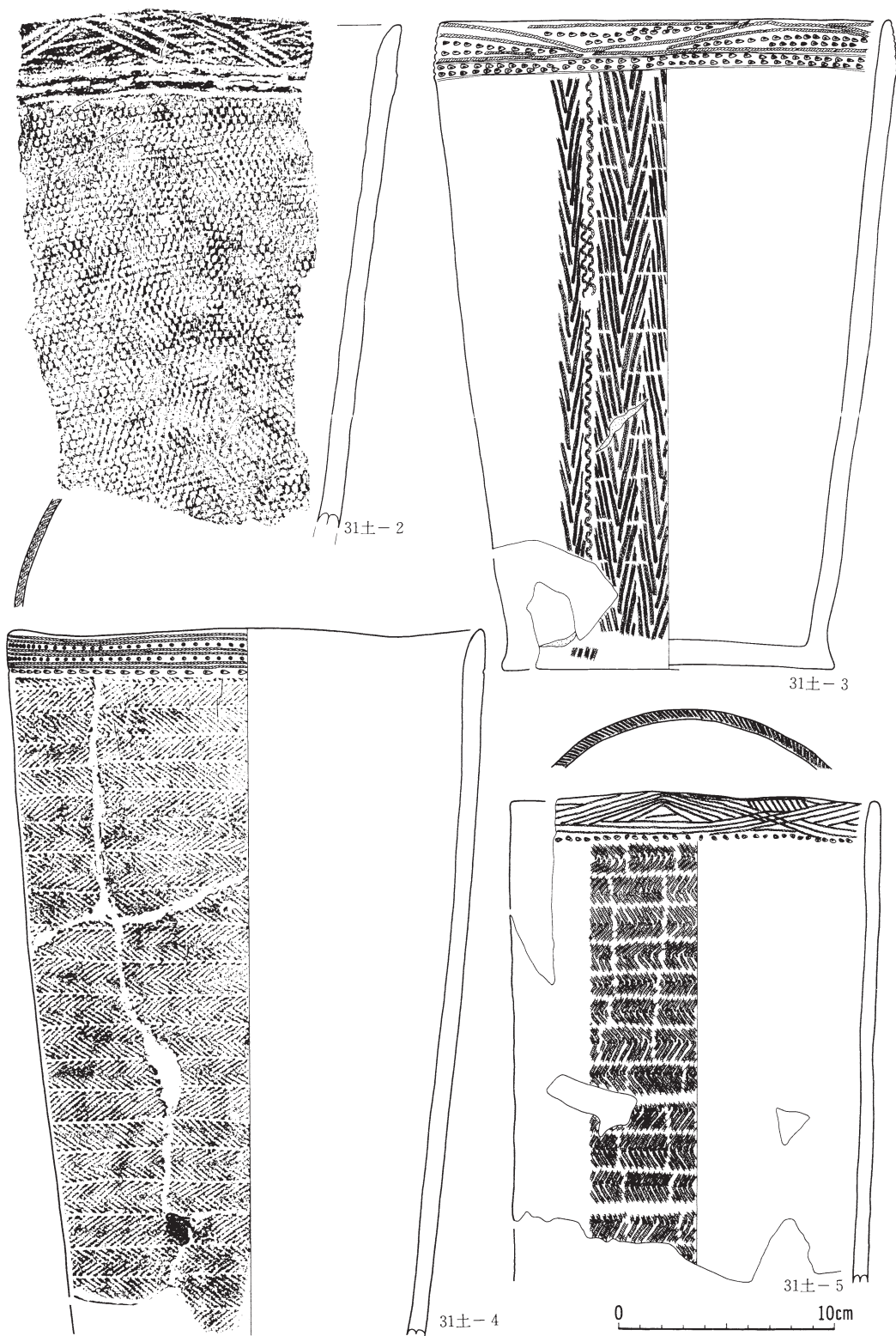
第124图 第23号土坑·第24号土坑①出土土器



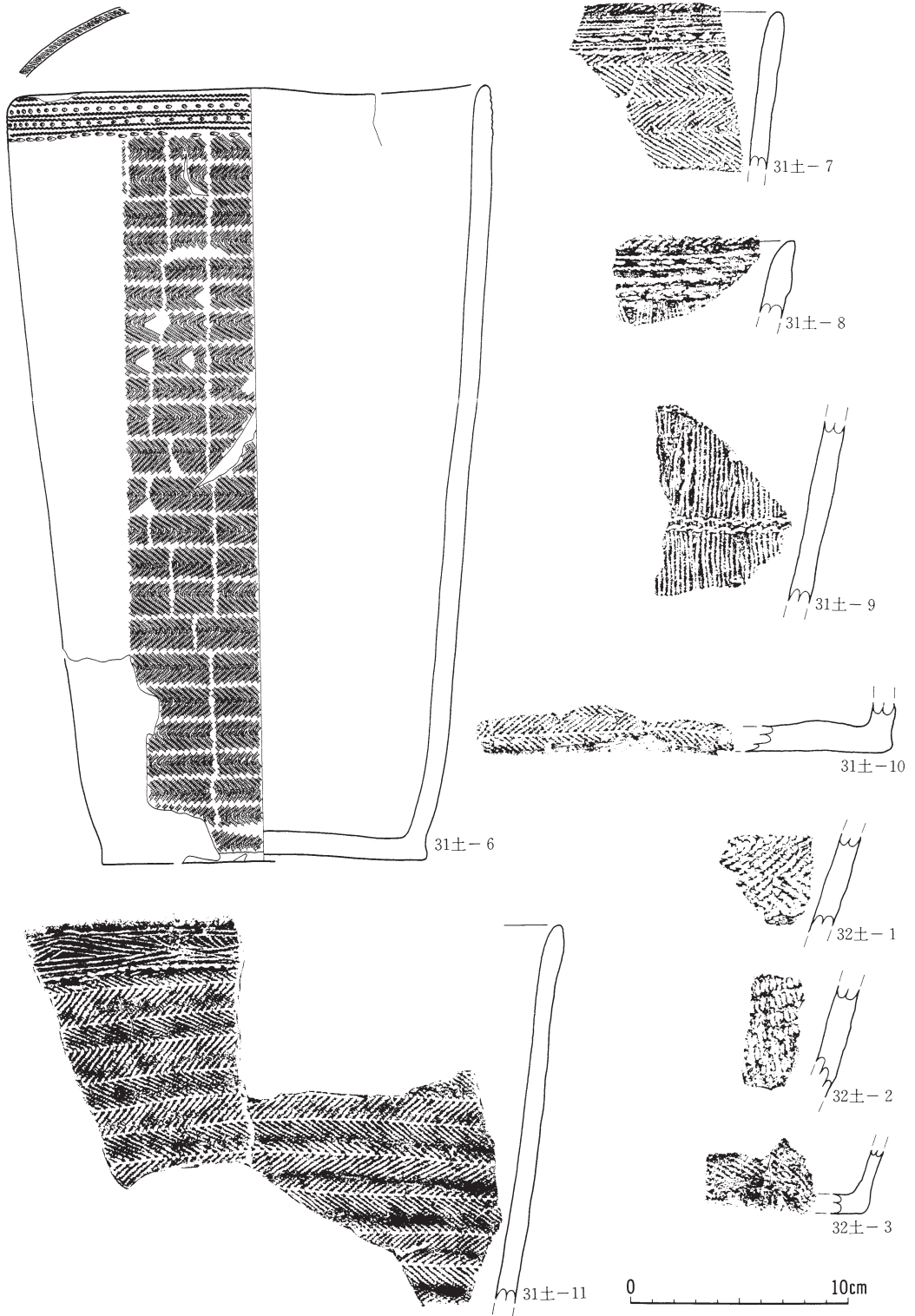
第125图 第24号土坑②·第25号土坑·第26号土坑·第27号土坑·第28号土坑出土土器



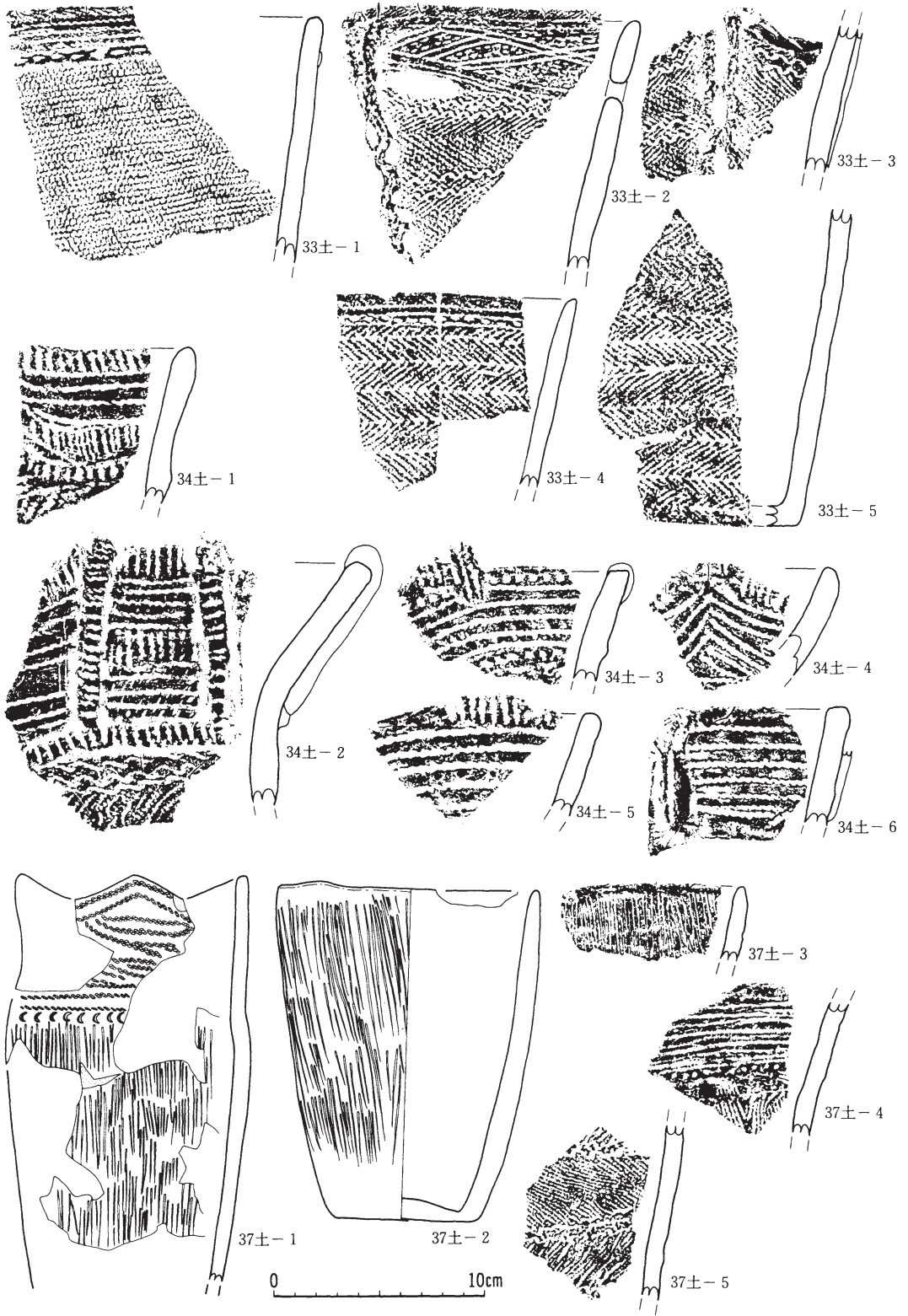
第126图 第29号土坑·第30号土坑·第31号土坑①出土土器



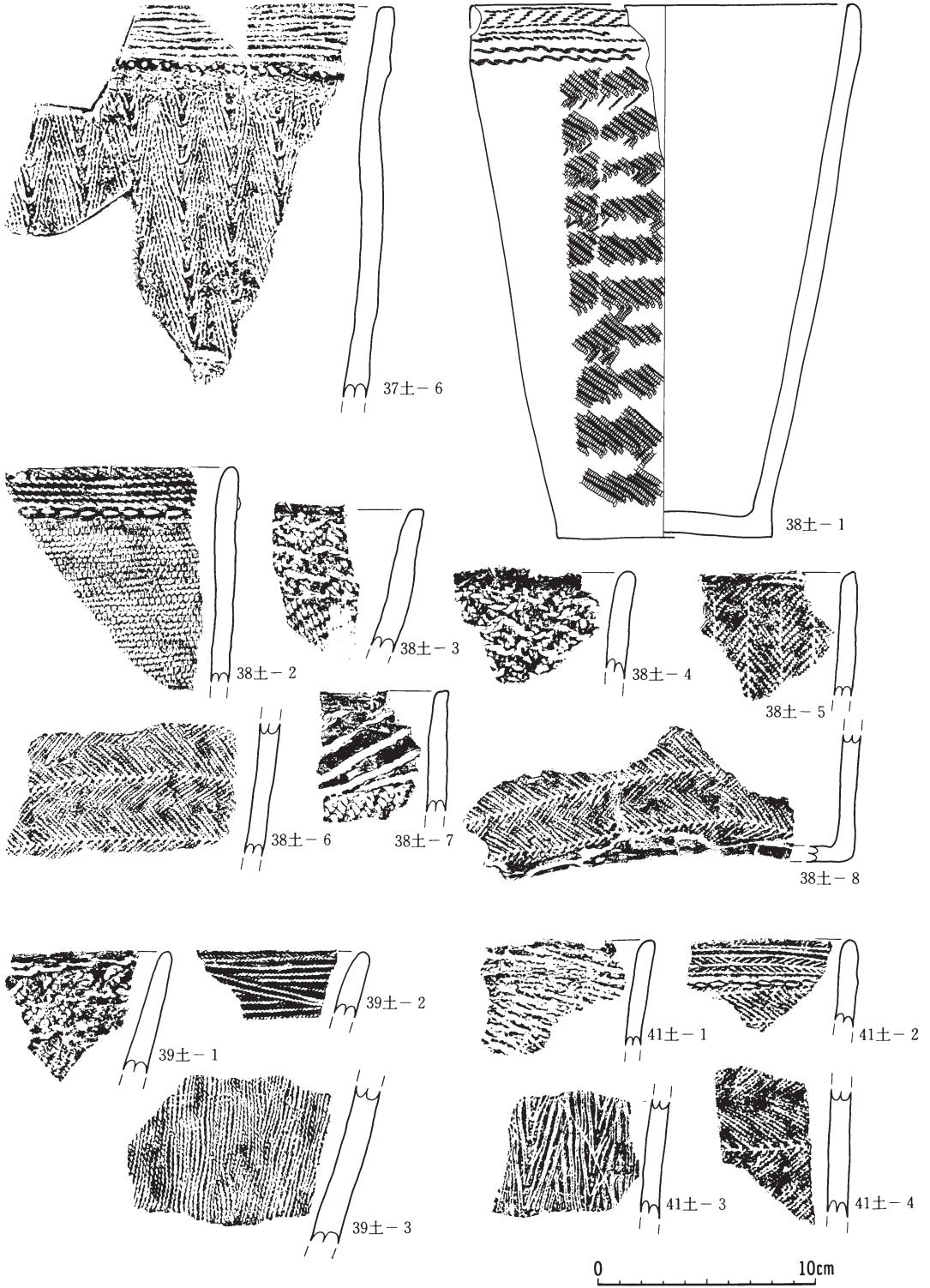
第127图 第31号土坑②出土土器



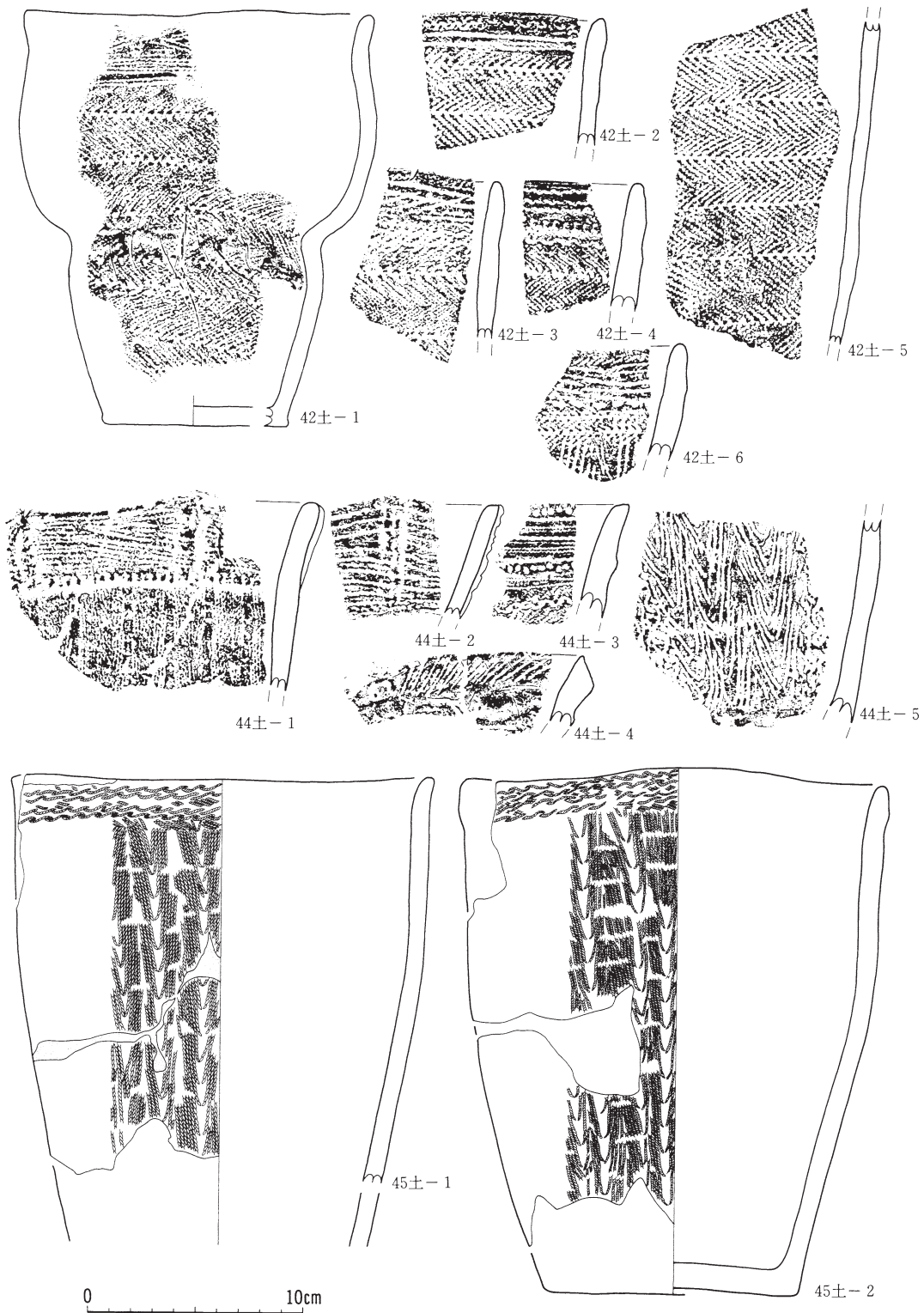
第128图 第31号土坑③·第32号土坑出土土器



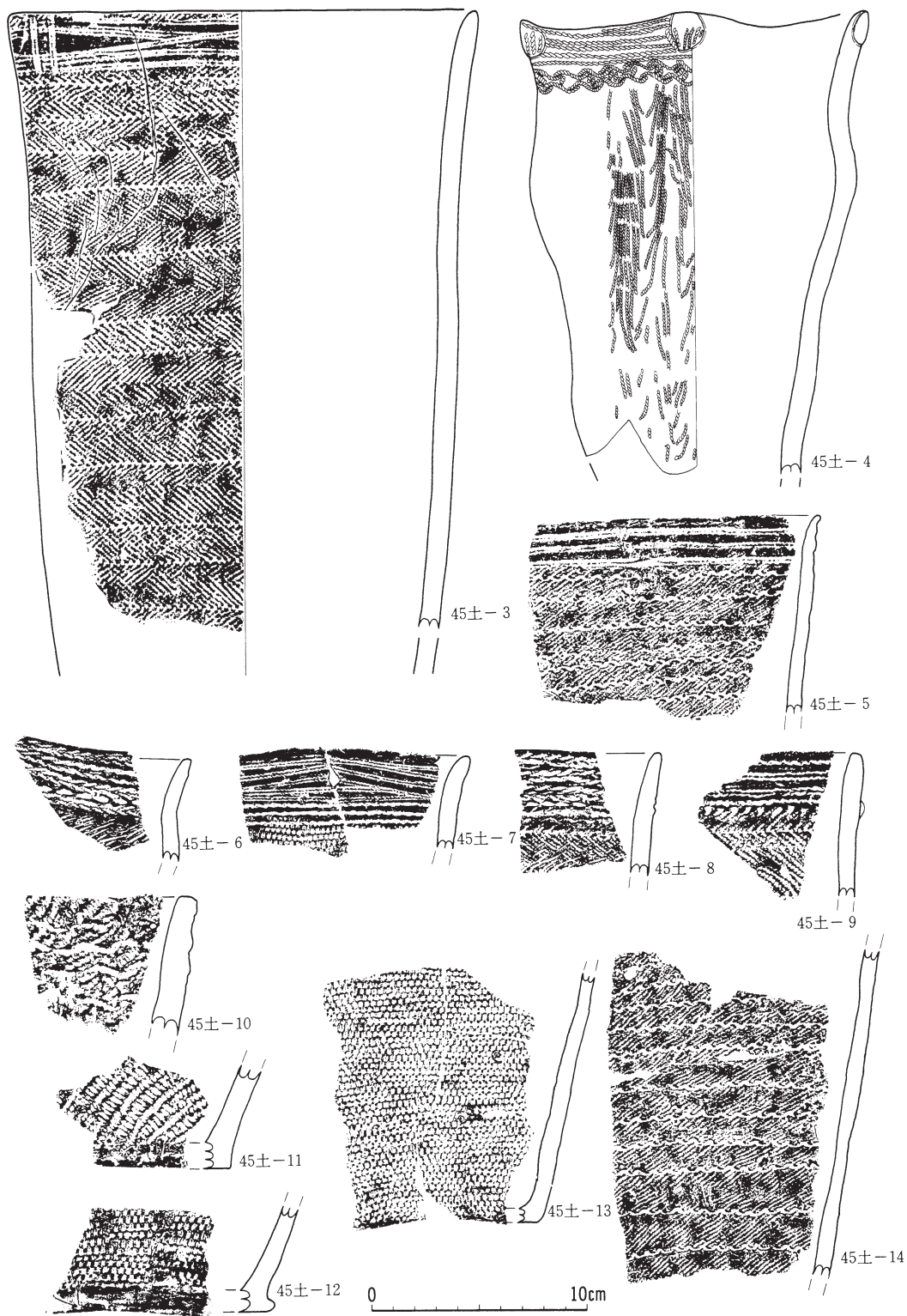
第129图 第33号土坑·第34号土坑·第34号土坑①出土土器



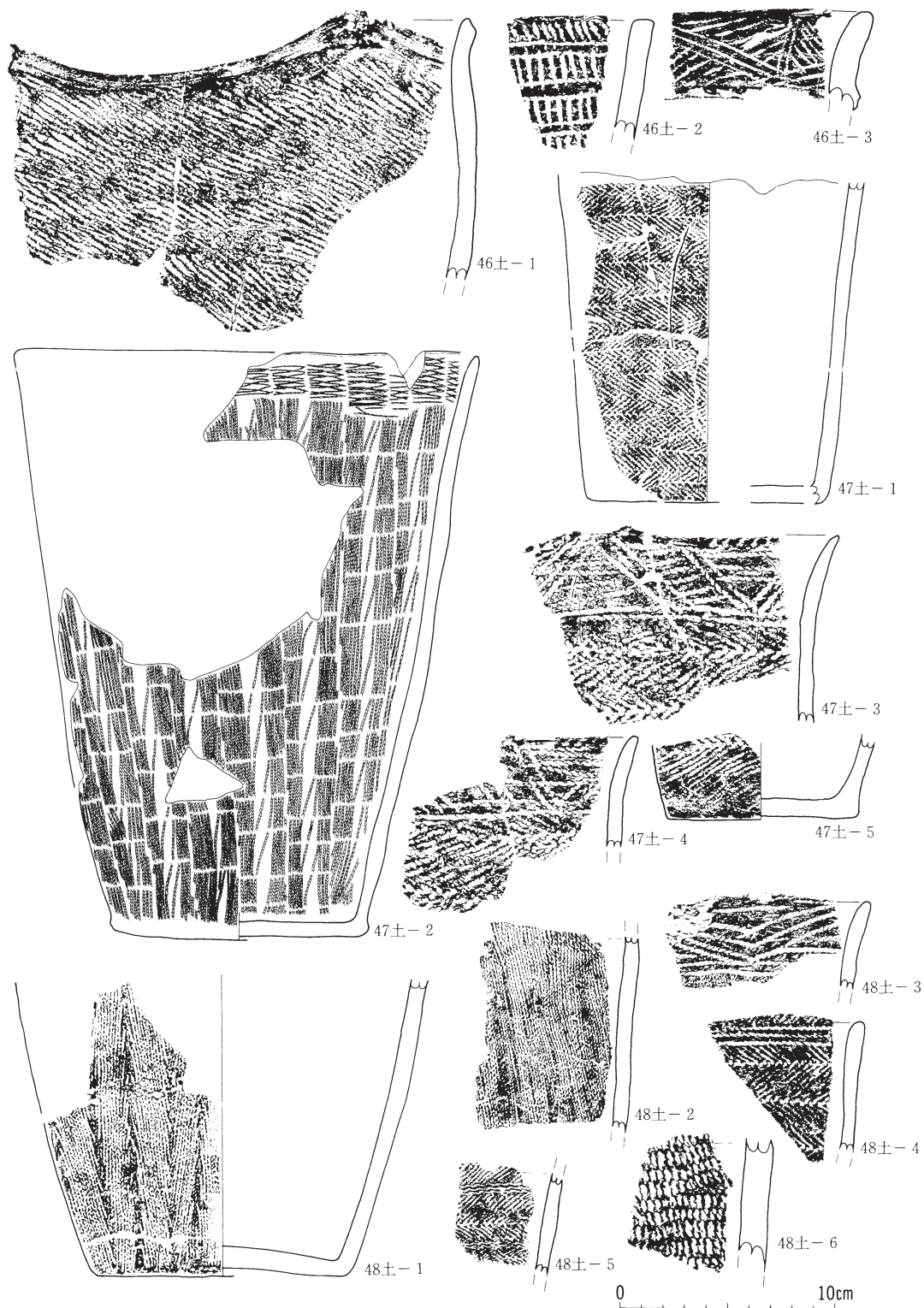
第130图 第37号土坑②·第38号土坑·第39号土坑·第41号土坑出土土器



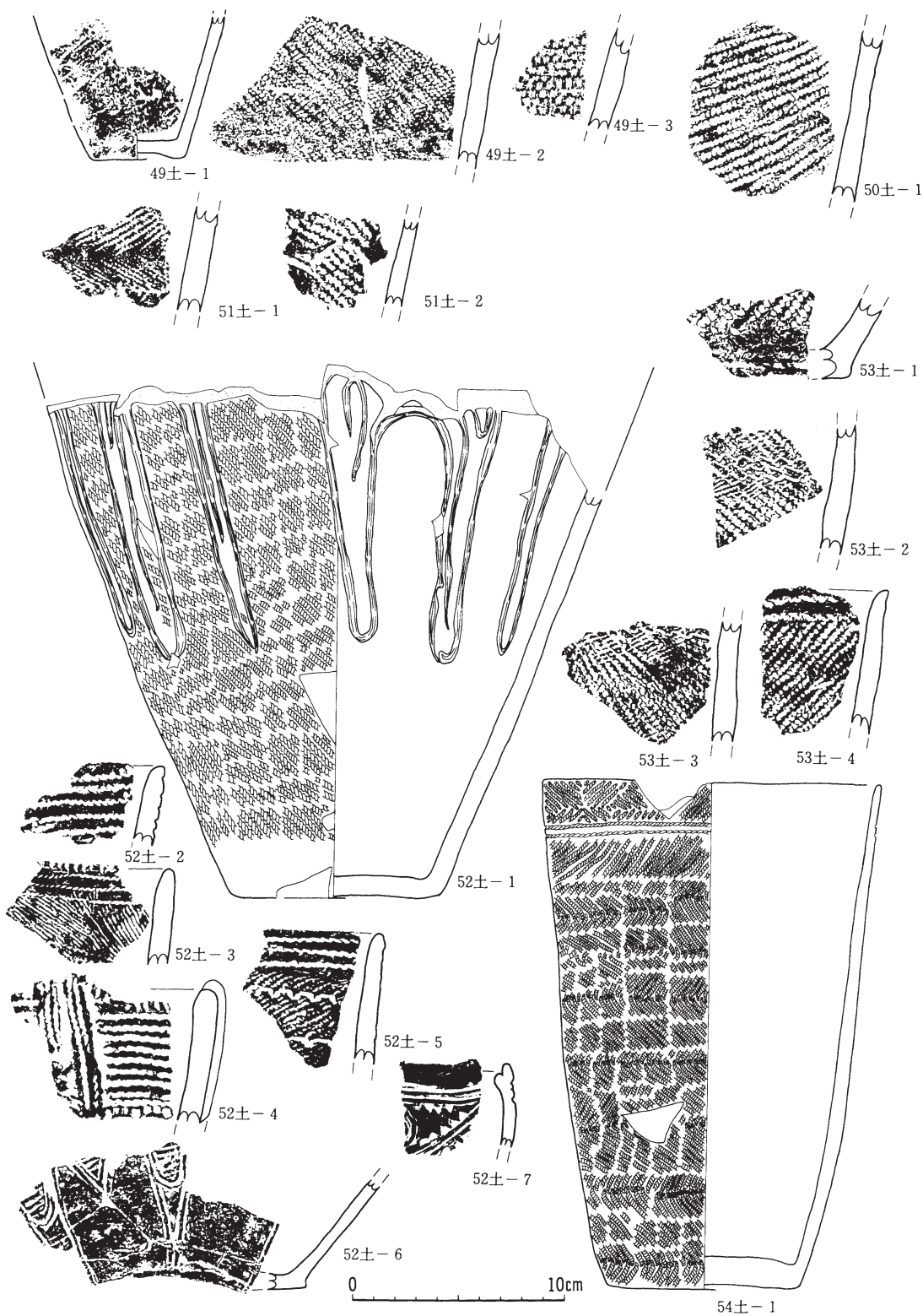
第131图 第42号土坑·第44号土坑·第42号土坑①出土土器



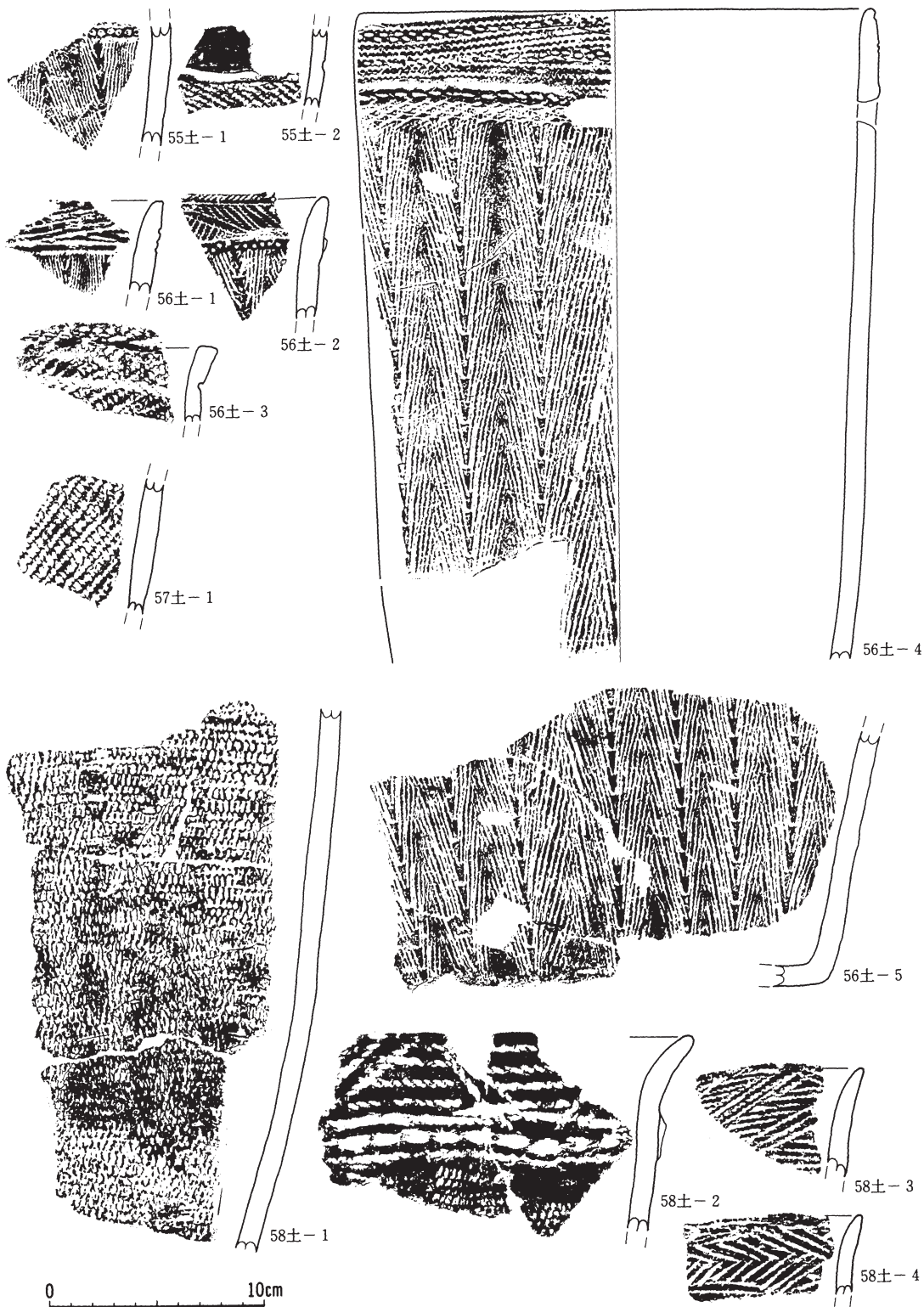
第132图 第45号土坑②出土土器



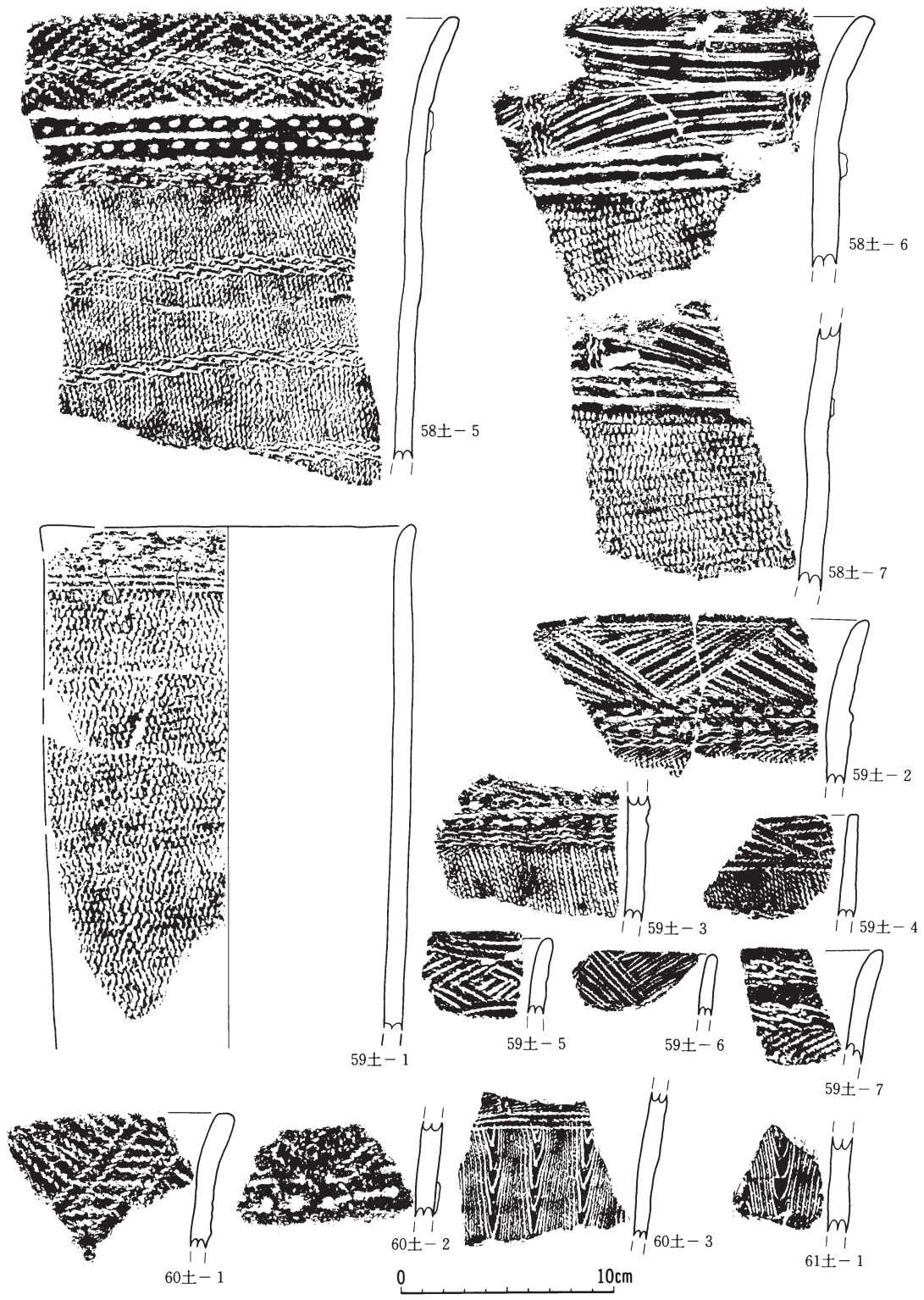
第133图 第46号土坑·第47号土坑·第48号土坑出土土器



第134图 第49号土坑·第50号土坑·第51号土坑·第52号土坑·第54号土坑出土土器



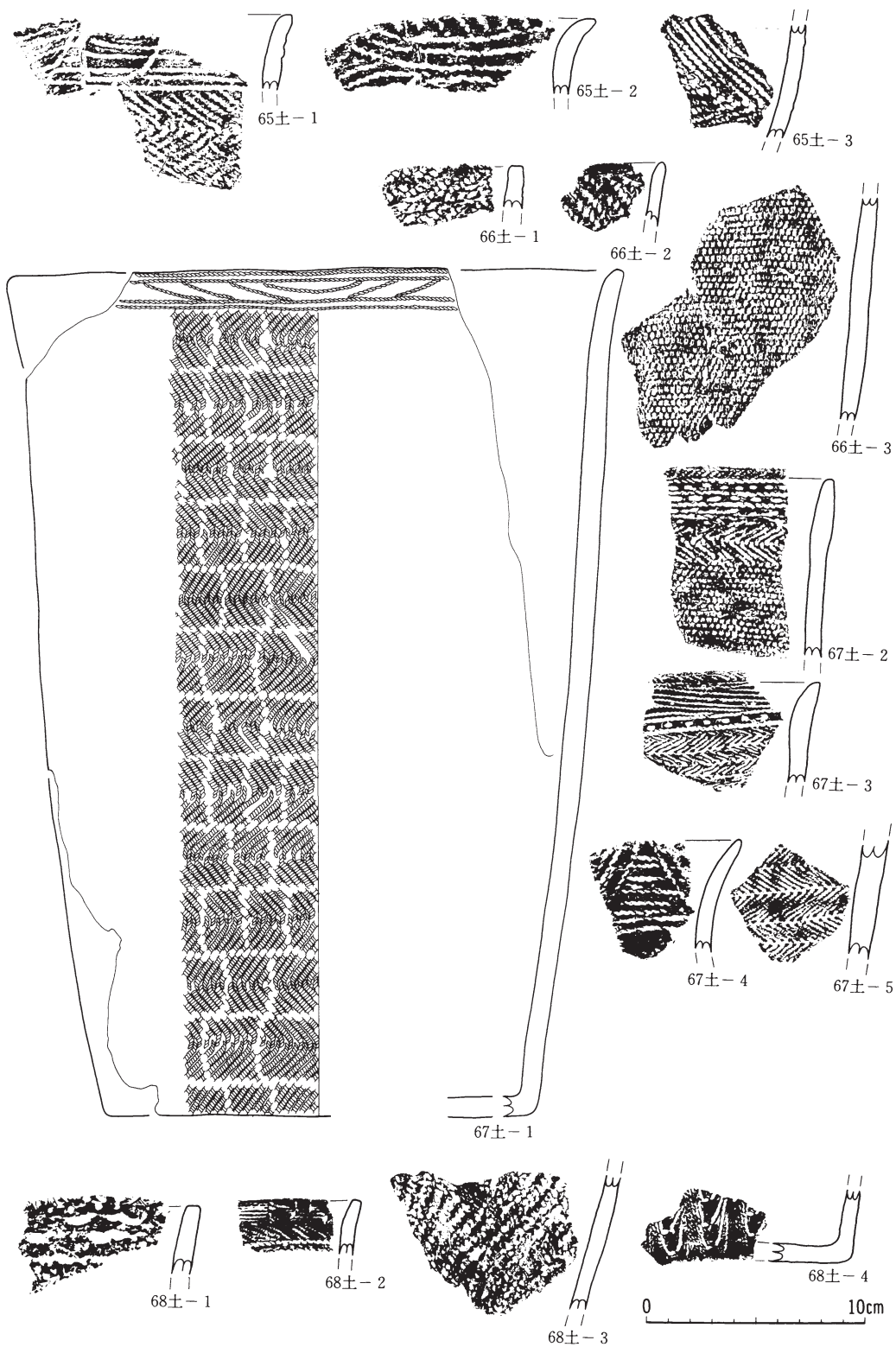
第135图 第55号土坑·第56号土坑·第57号土坑·第58号土坑①出土土器



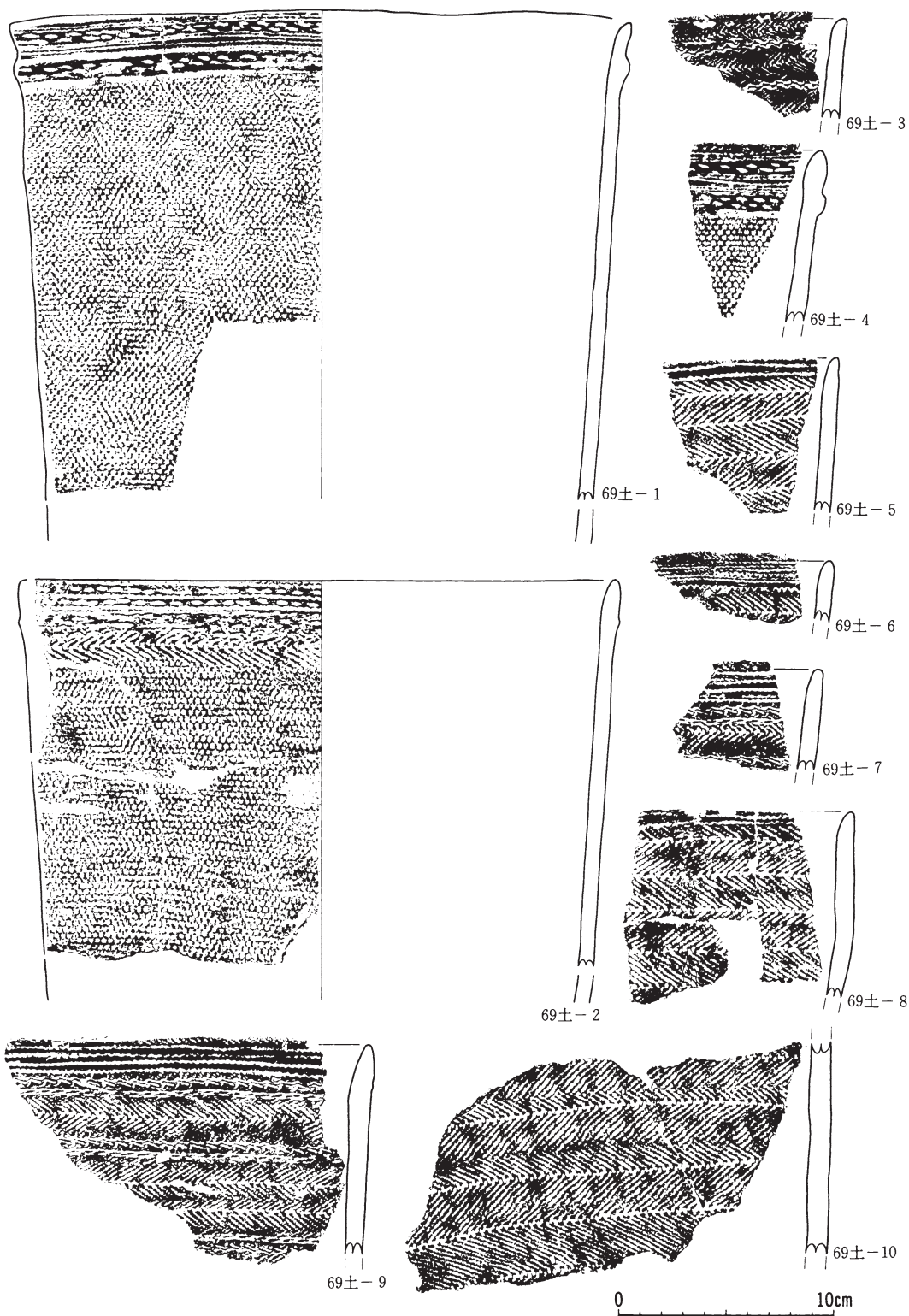
第136图 第58号土坑②·第59号土坑·第60号土坑·第61号土坑出土土器



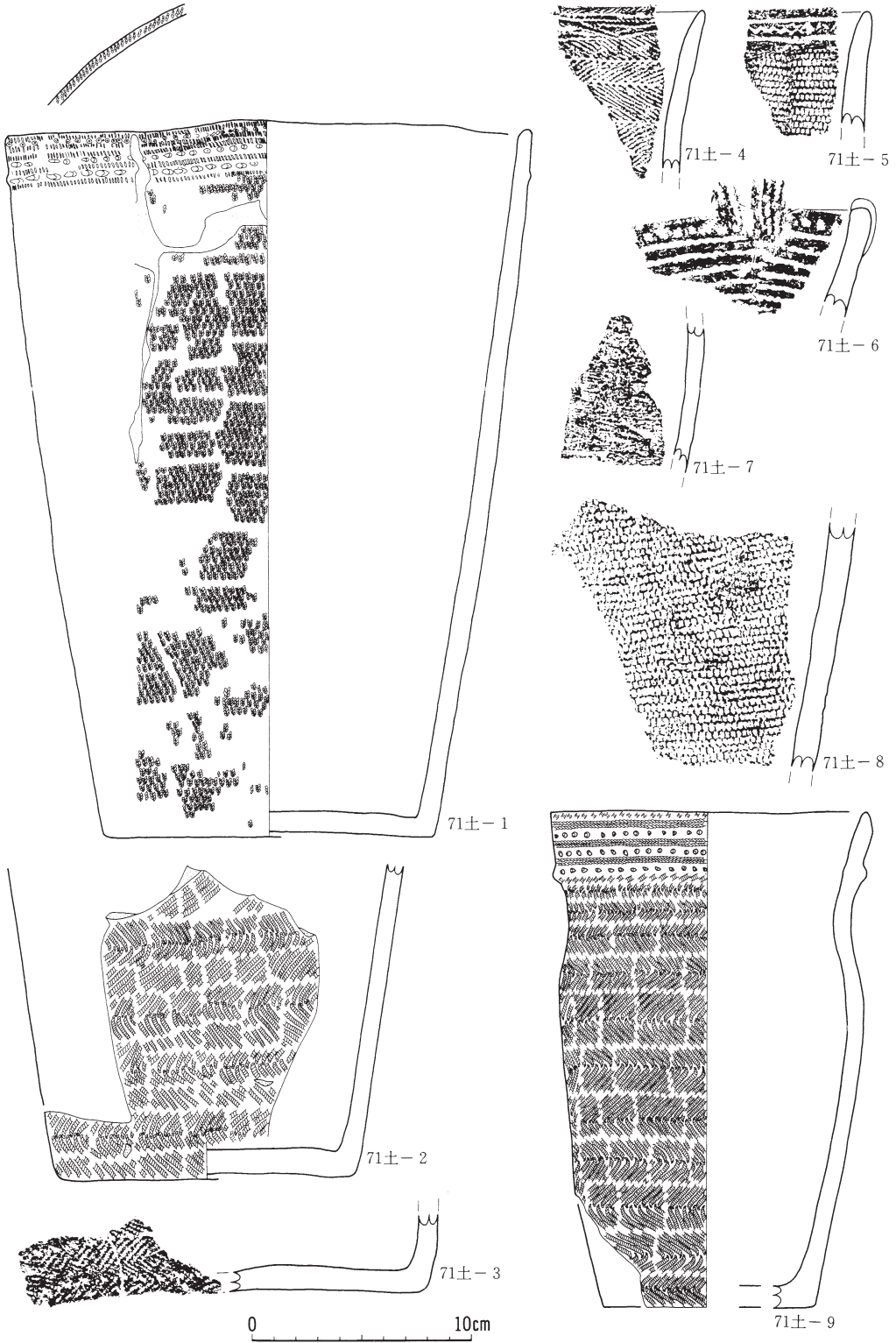
第137图 第62号土坑·第63号土坑·第64号土坑出土土器



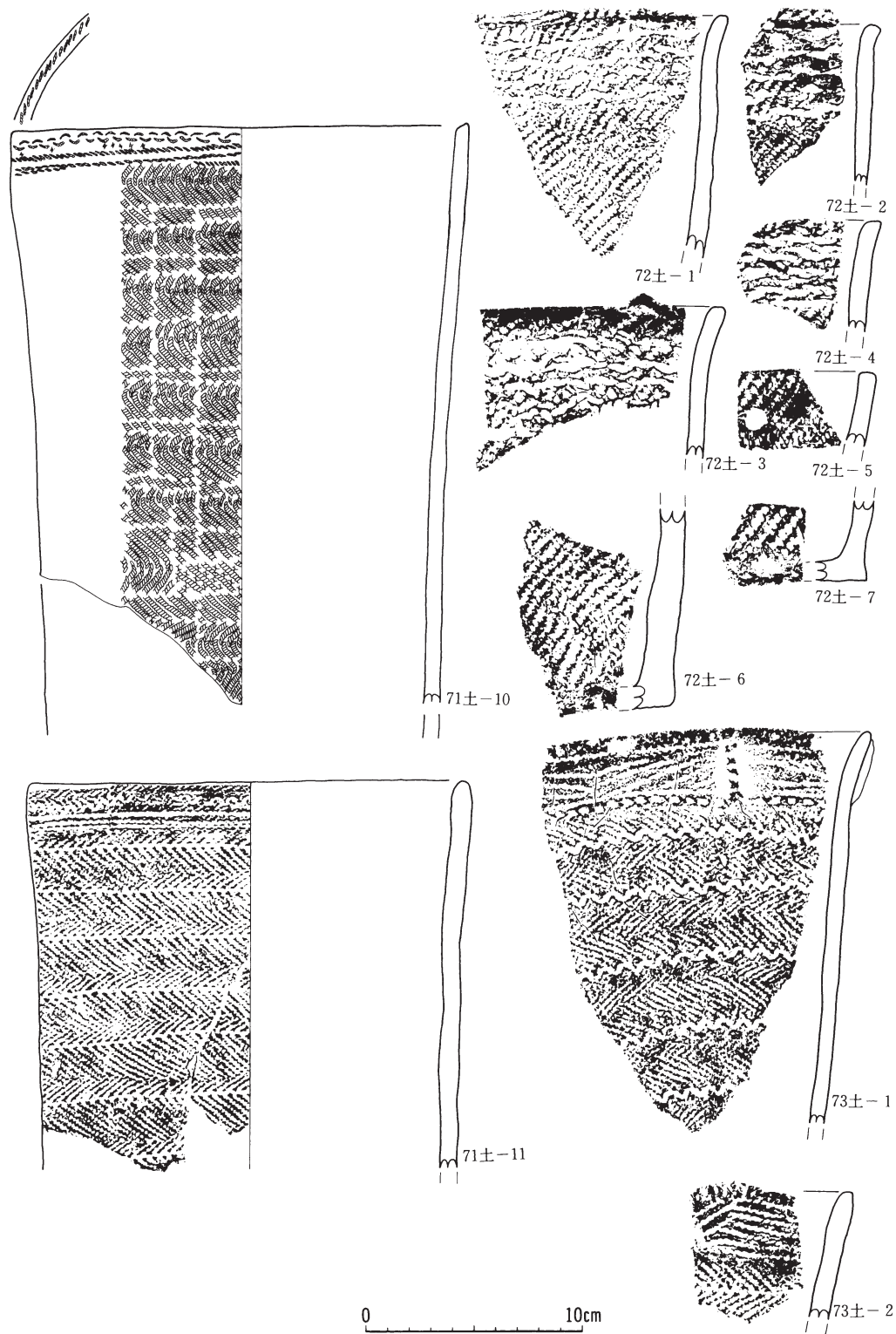
第138图 第65号土坑·第66号土坑·第67号土坑·第68号土坑出土土器



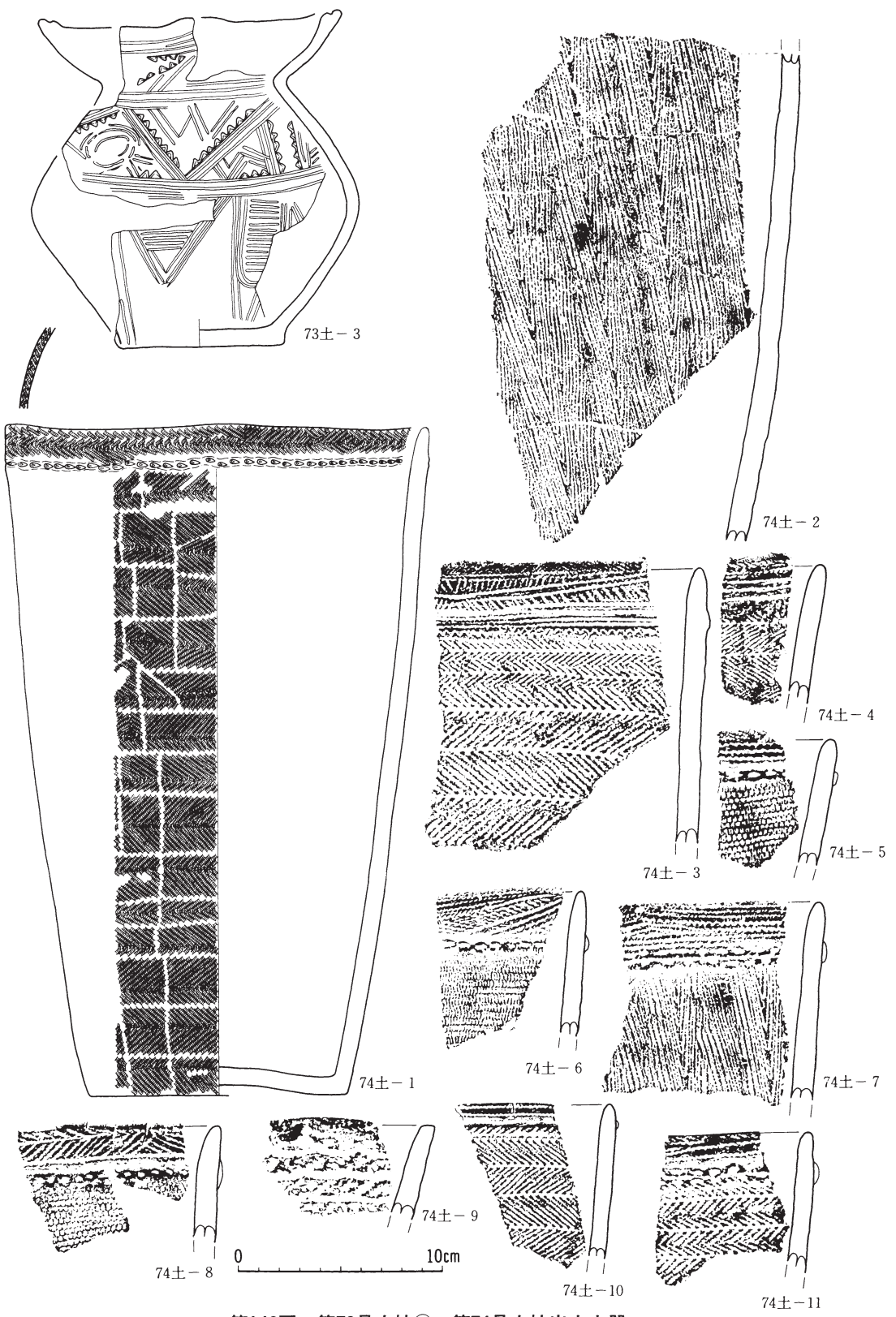
第139图 第69号土坑出土土器



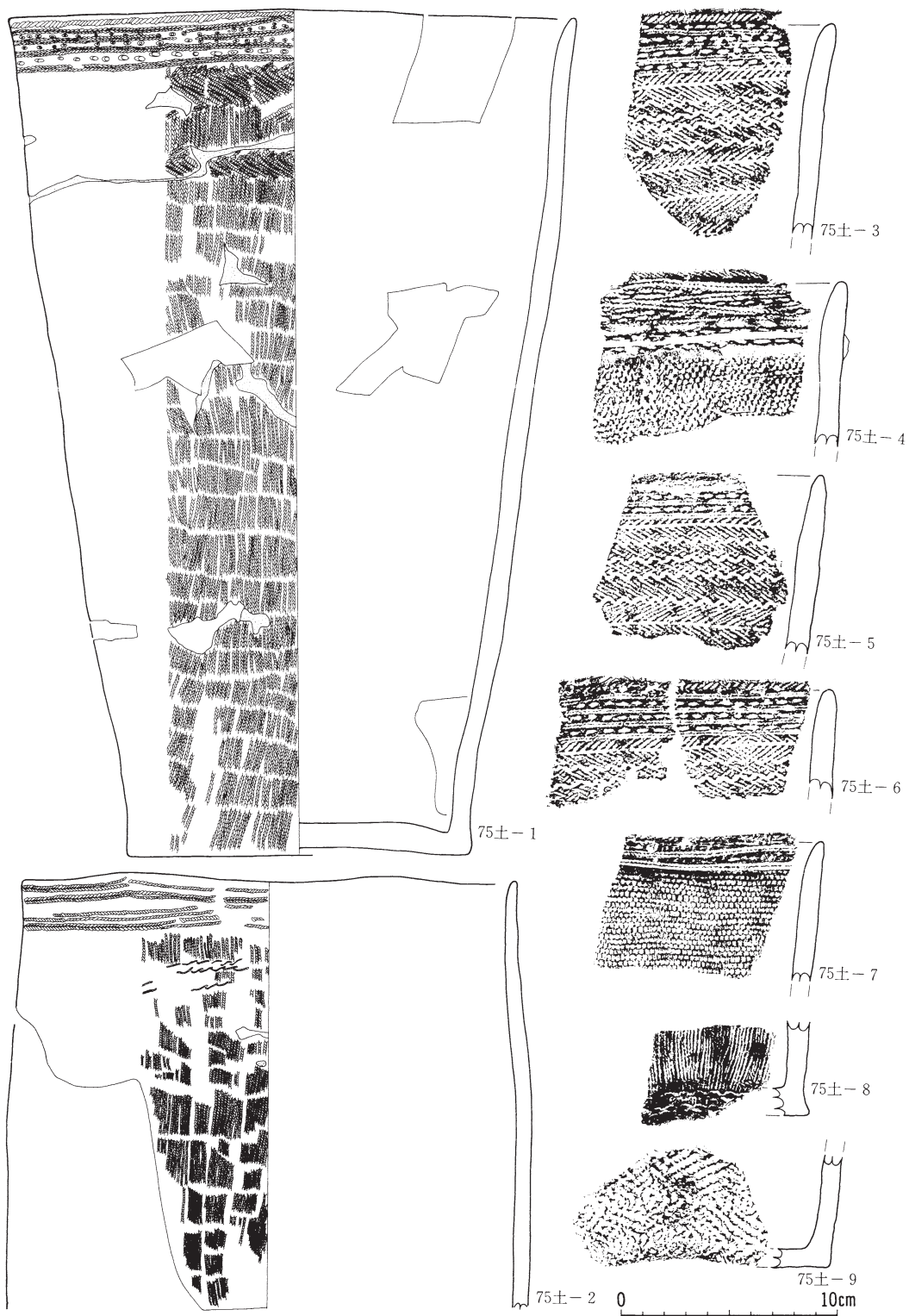
第140图 第71号土坑①出土土器



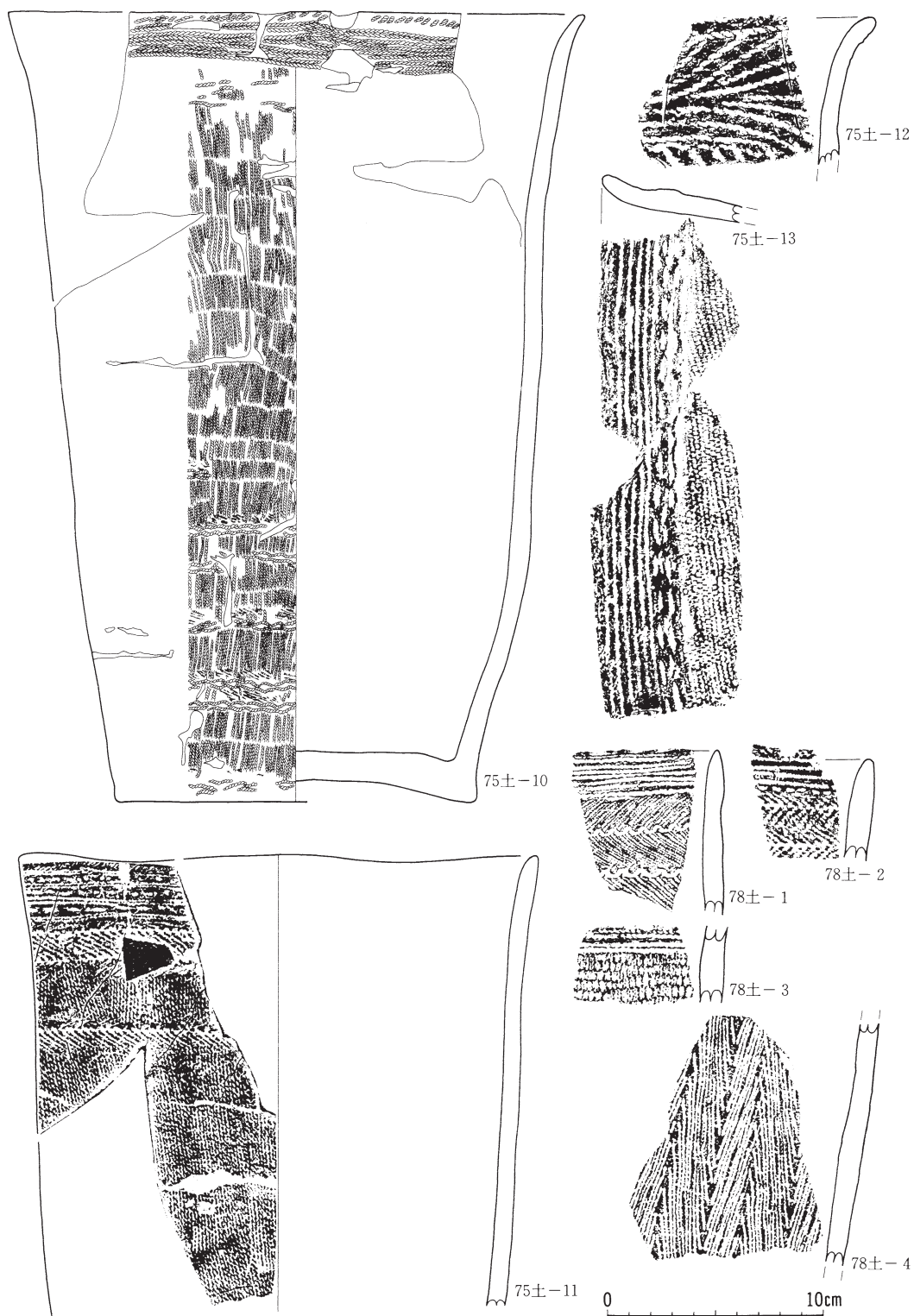
第141图 第71号土坑②·第72号土坑·第73号土坑①出土土器



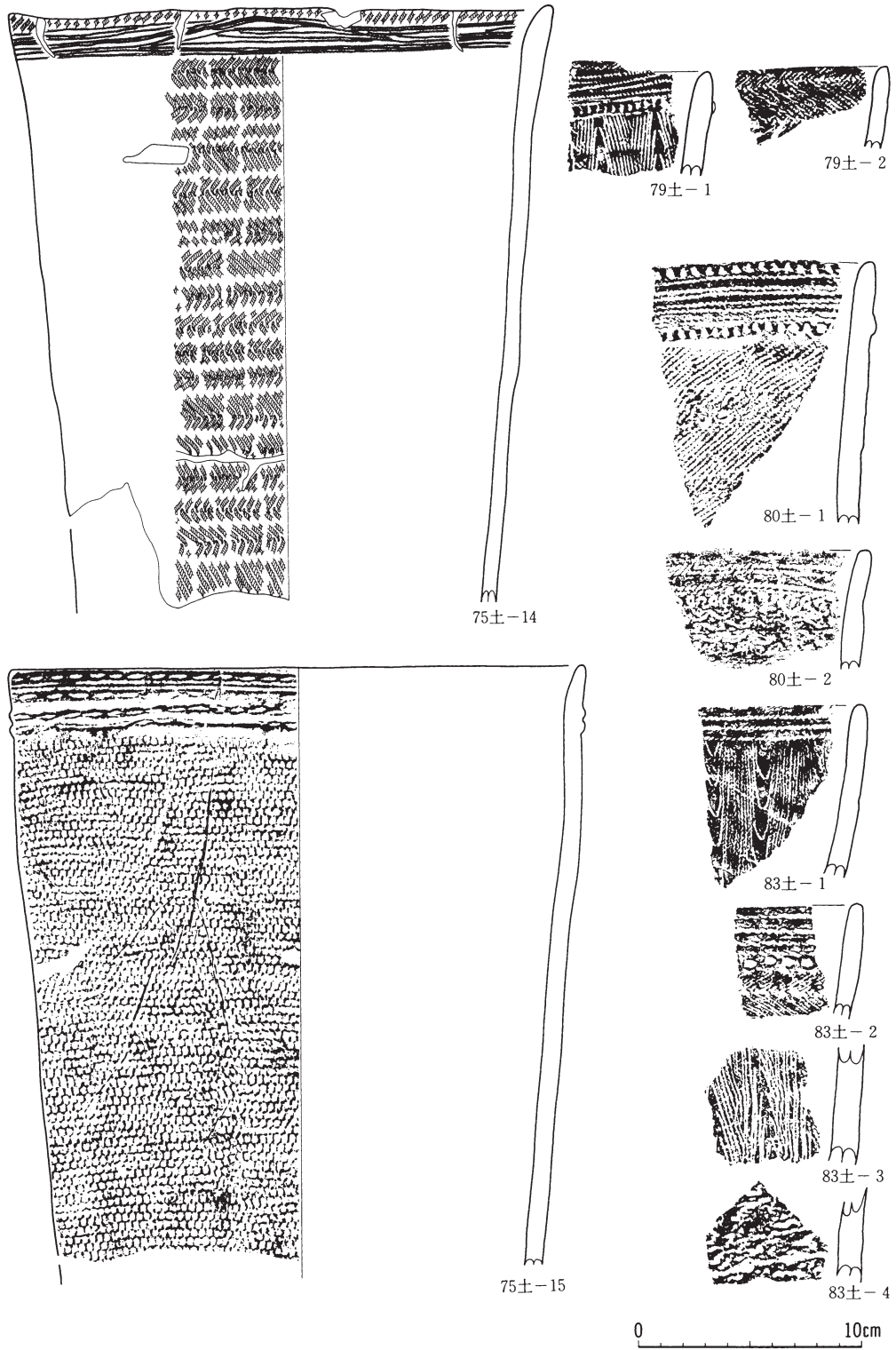
第142图 第73号土坑②·第74号土坑出土土器



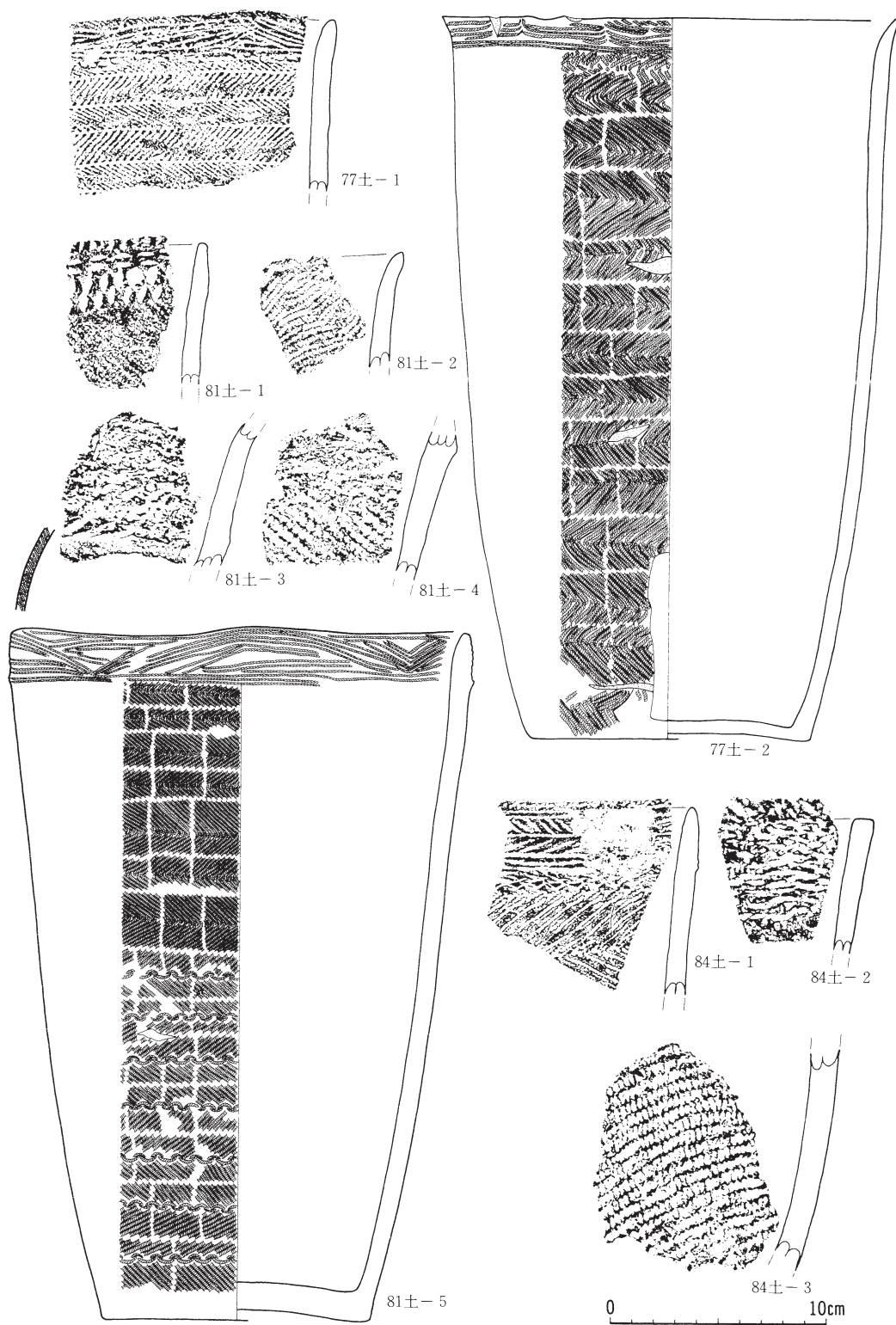
第143图 第75号土坑①出土土器



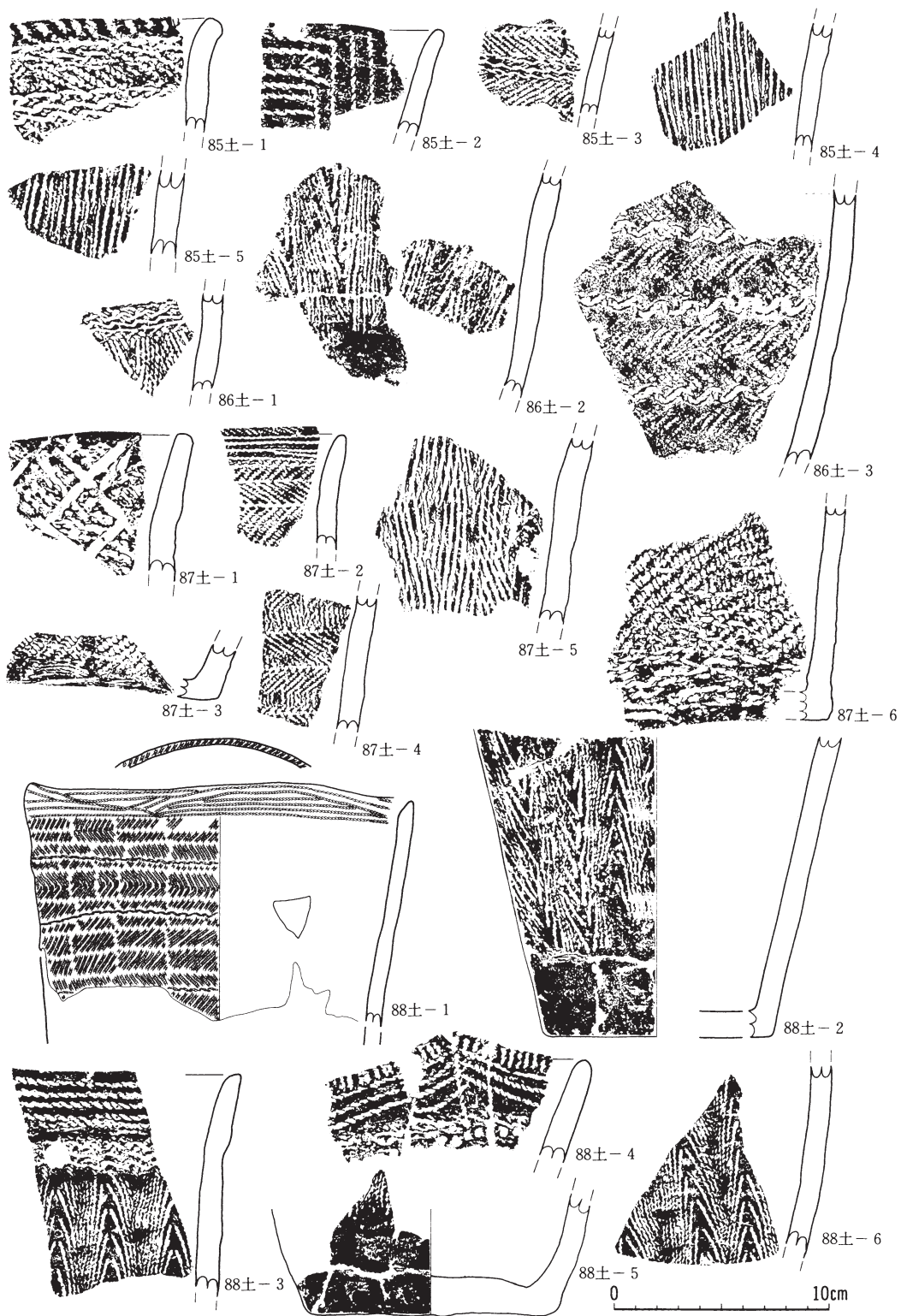
第144图 第75号土坑②·第78号土坑出土土器



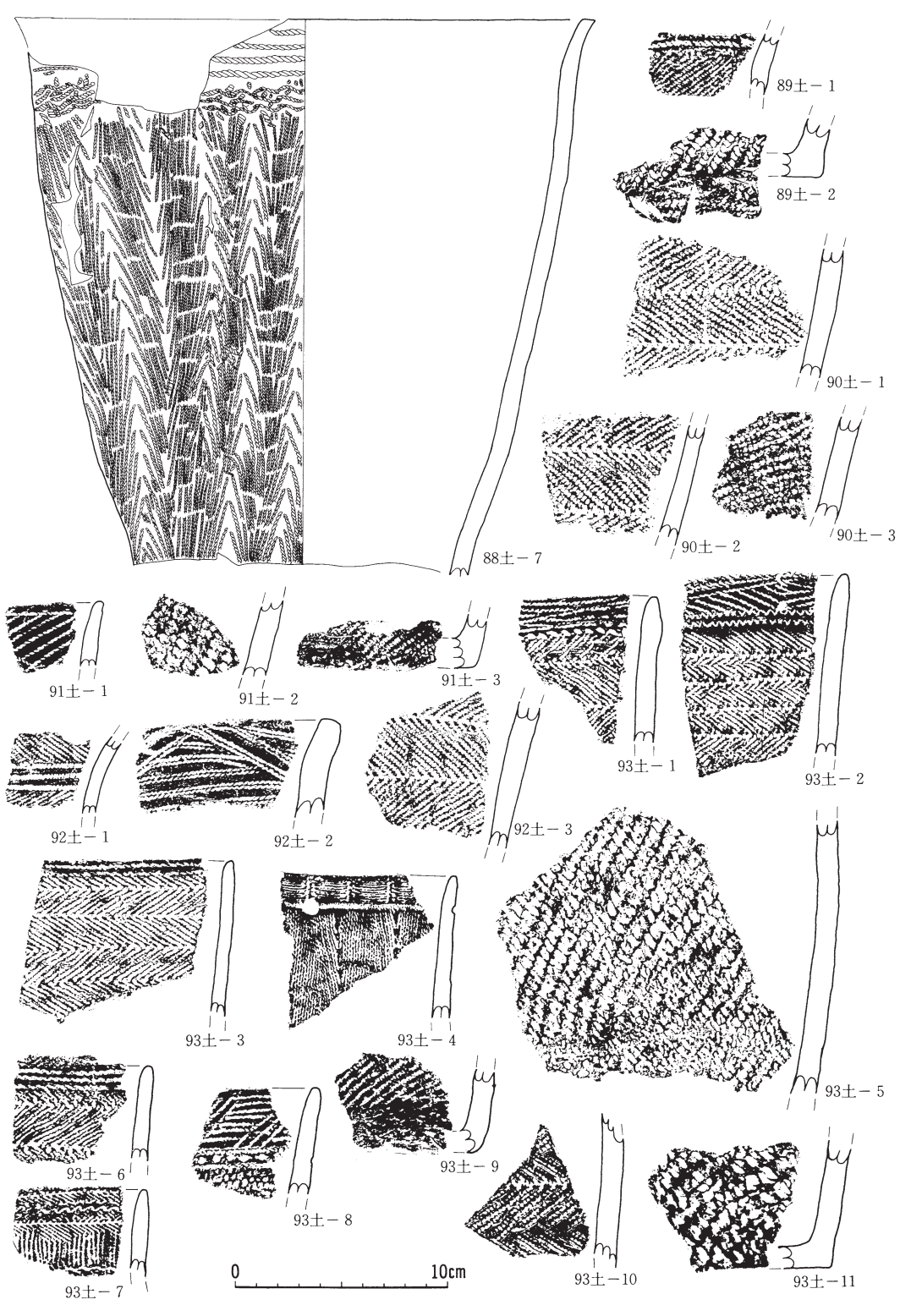
第145图 第75号土坑③·第79号土坑·第80号土坑·第83号土坑出土土层



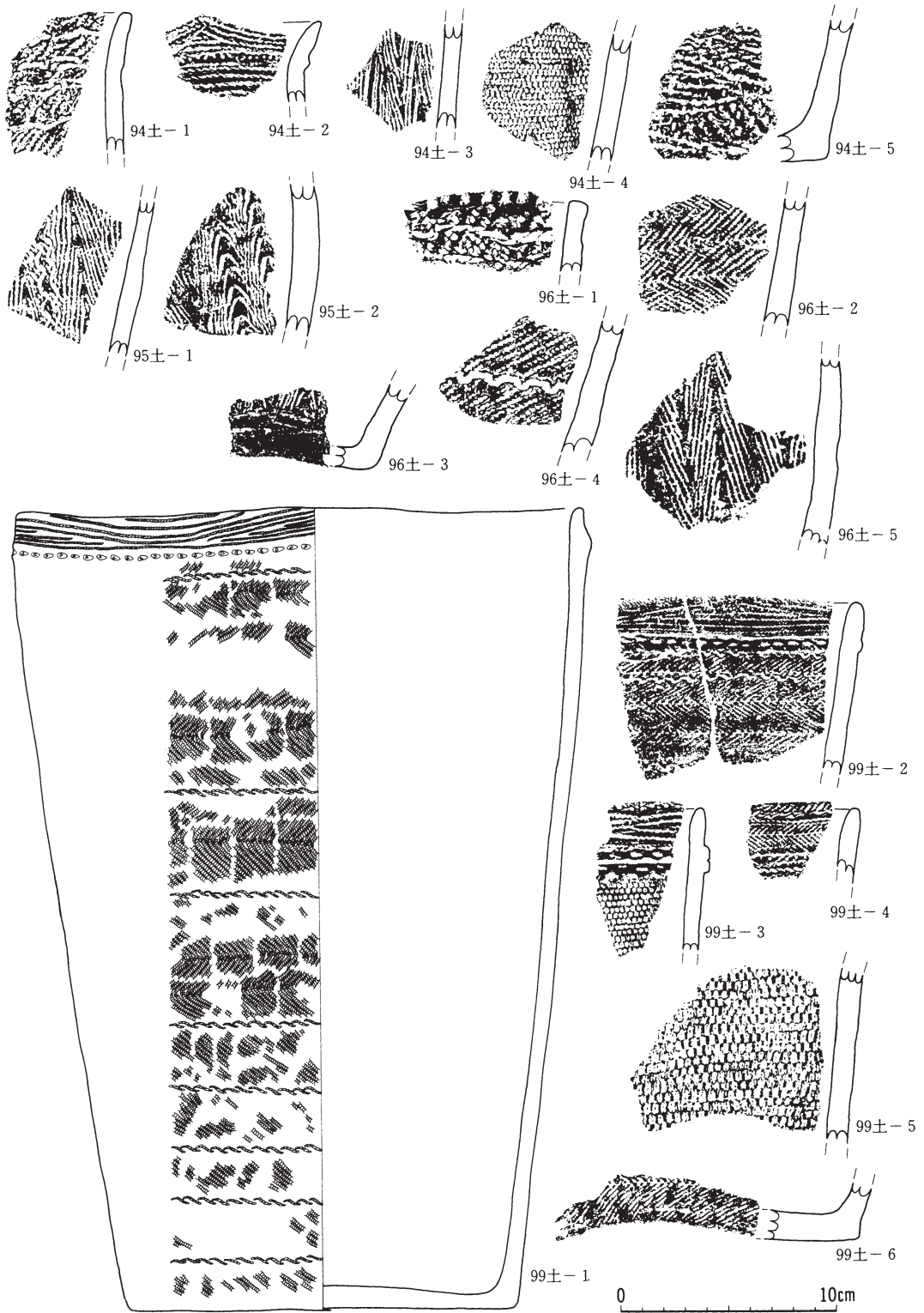
第146图 第77号土坑·第81号土坑·第84号土坑出土土器



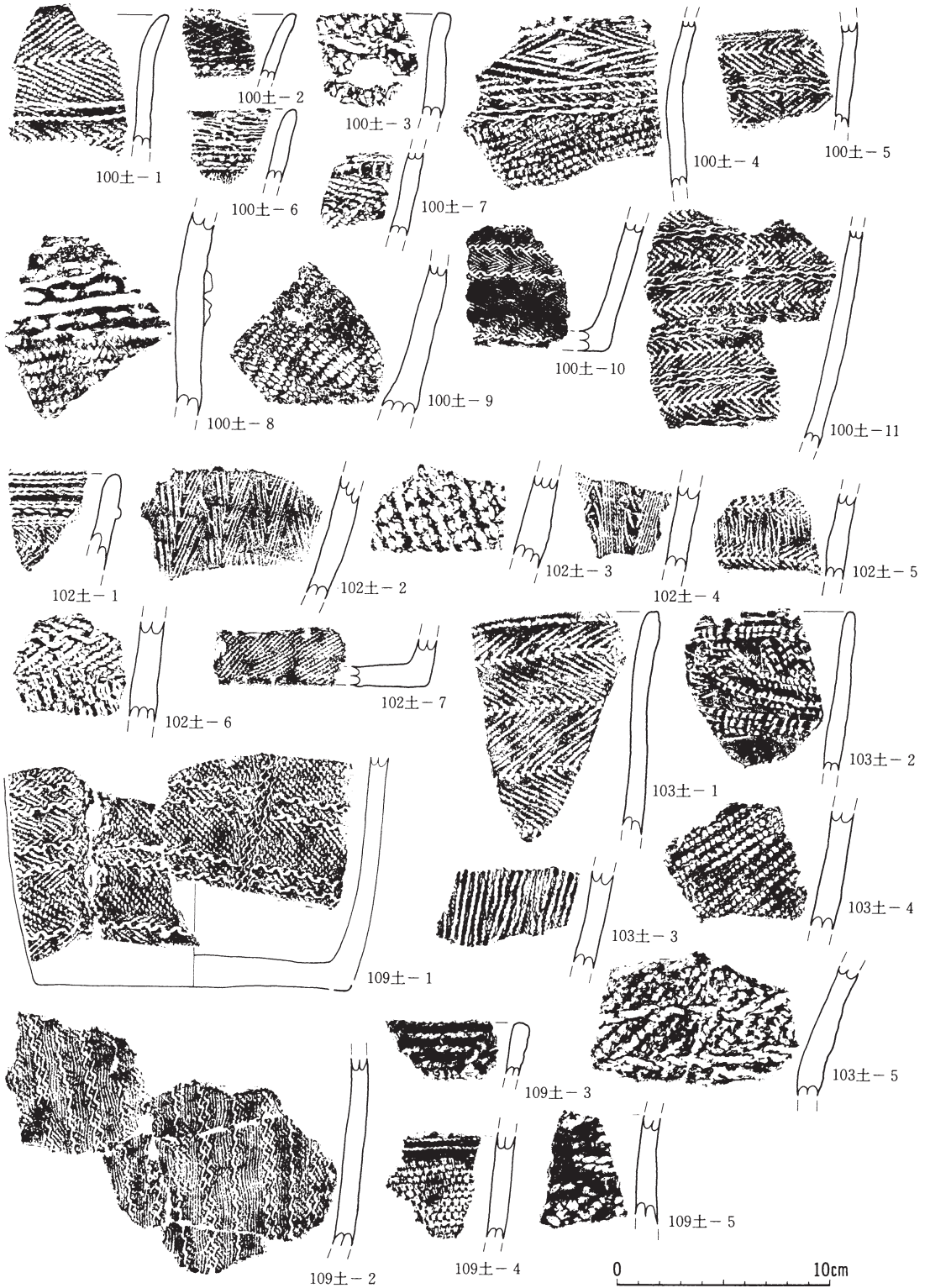
第147图 第85号土坑·第86号土坑·第87号土坑·第88号土坑出土土器



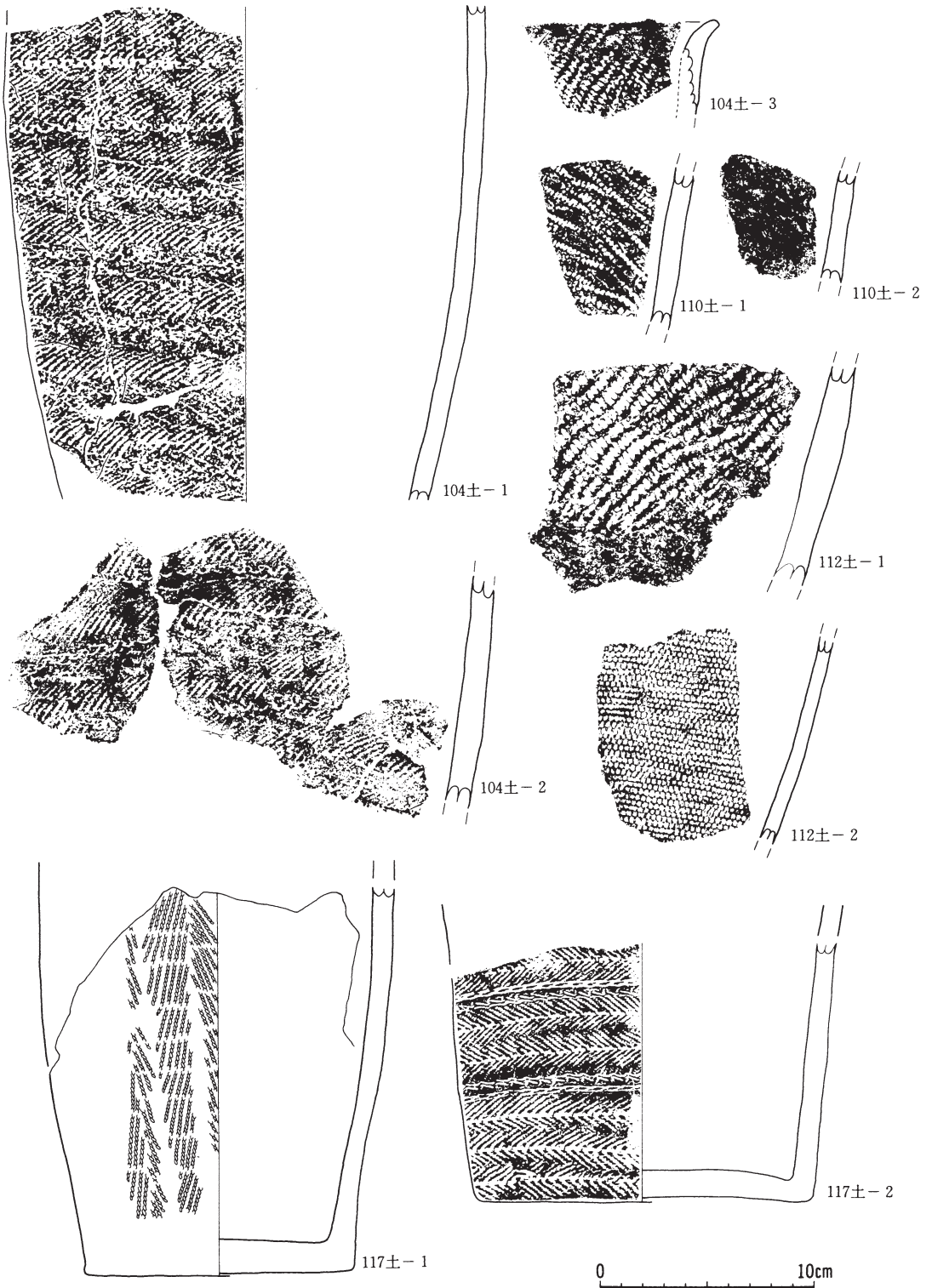
第148图 第88号土坑②·第89号土坑·第90号土坑·第91号土坑·第92号土坑·第93号土坑出土土器



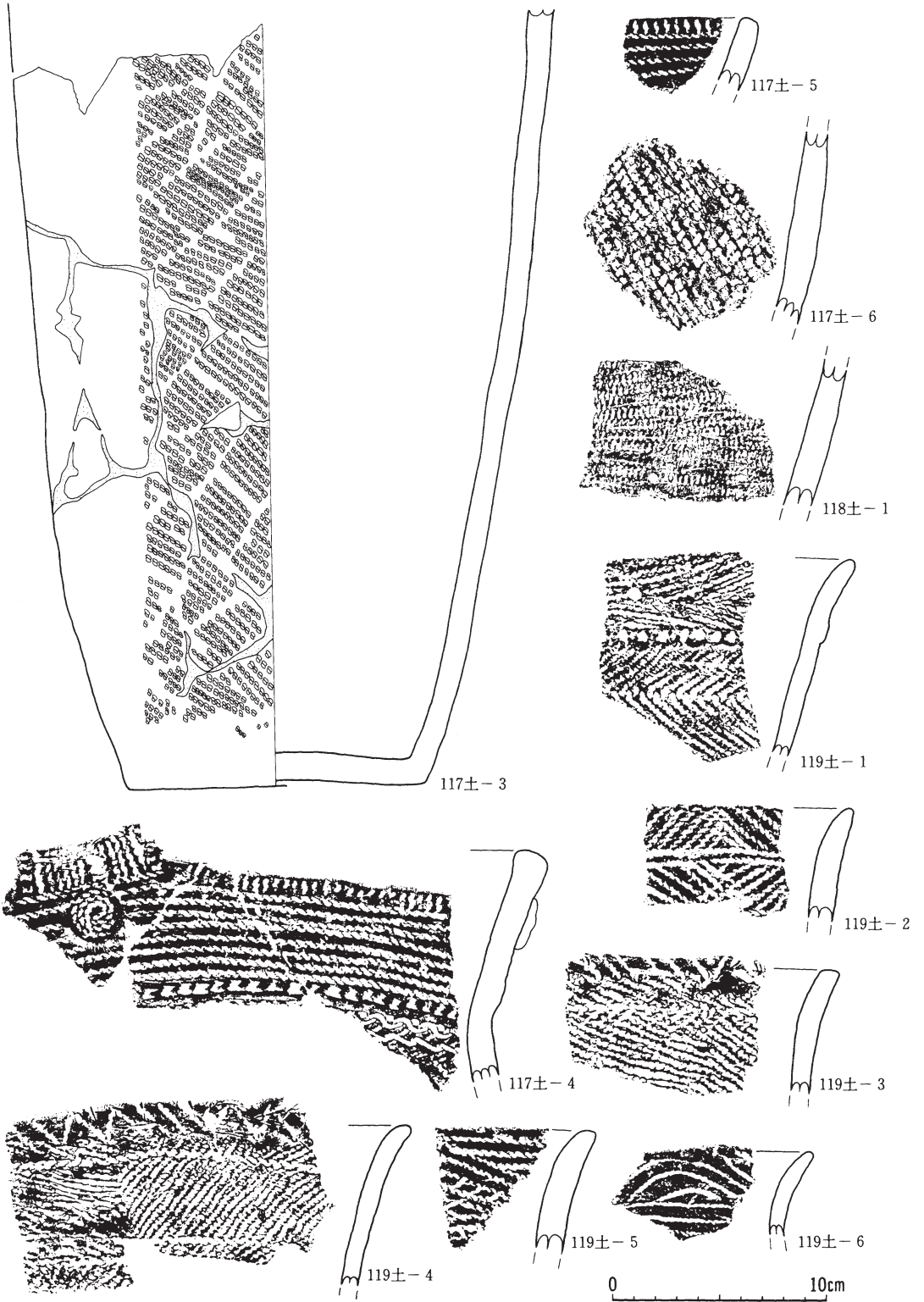
第149图 第94号土坑·第95号土坑·第96号土坑·第99号土坑出土土器



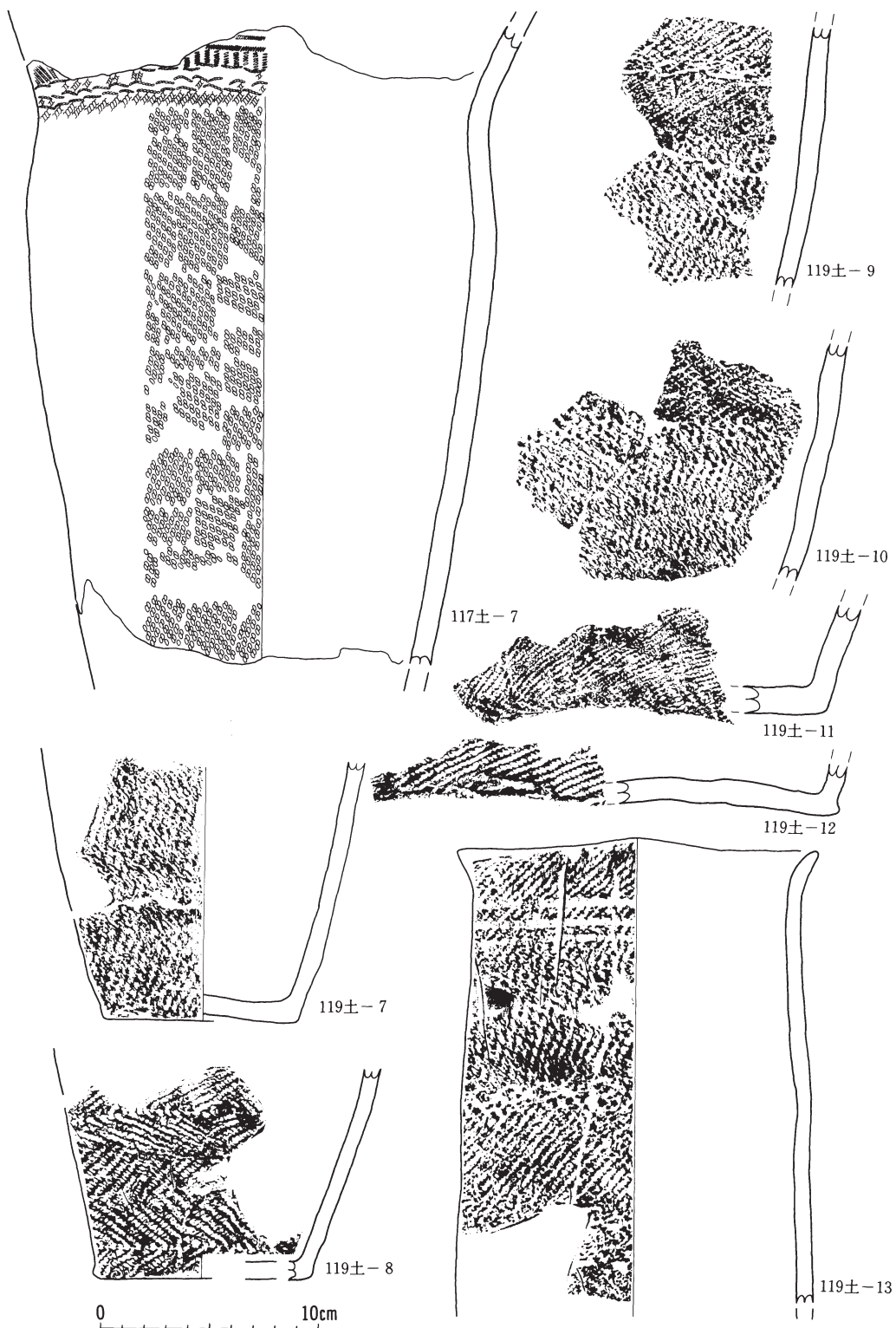
第150图 第100号土坑·第102号土坑·第103号土坑·第109号土坑出土土器



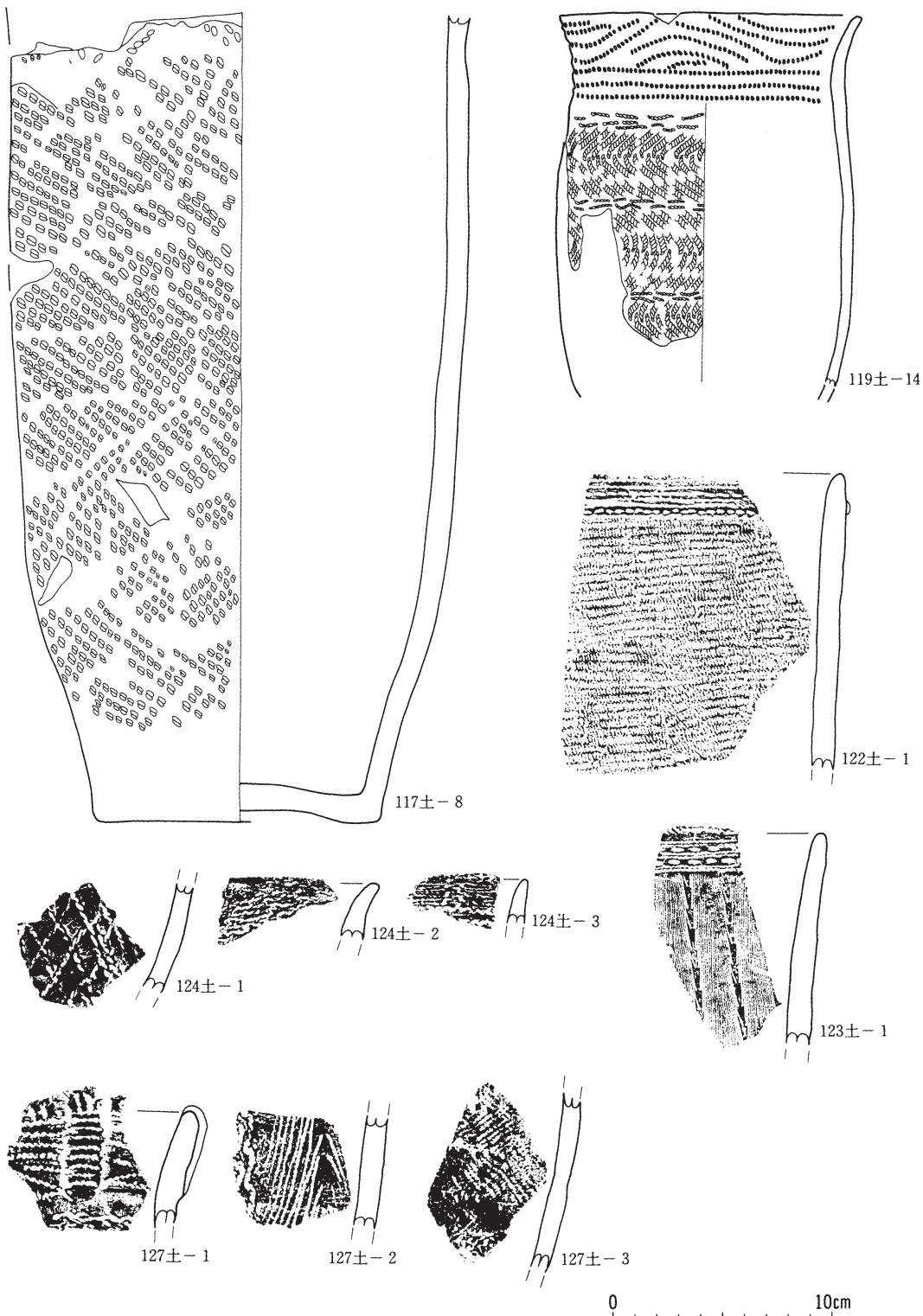
第151图 第104号土坑·第110号土坑·第112号土坑·第117号土坑①出土土器



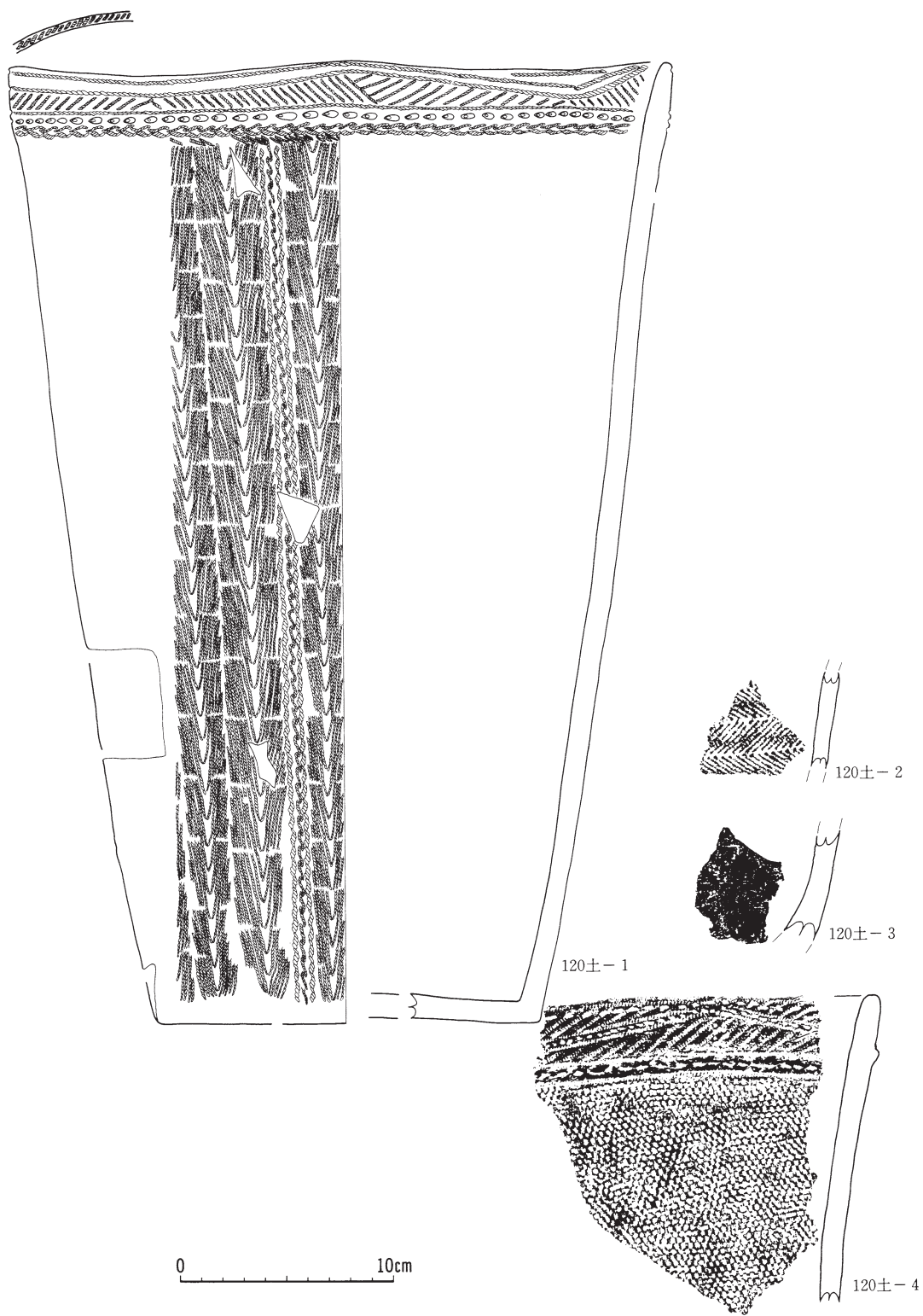
第152图 第117号土坑②·第118号土坑·第119号土坑①出土土器



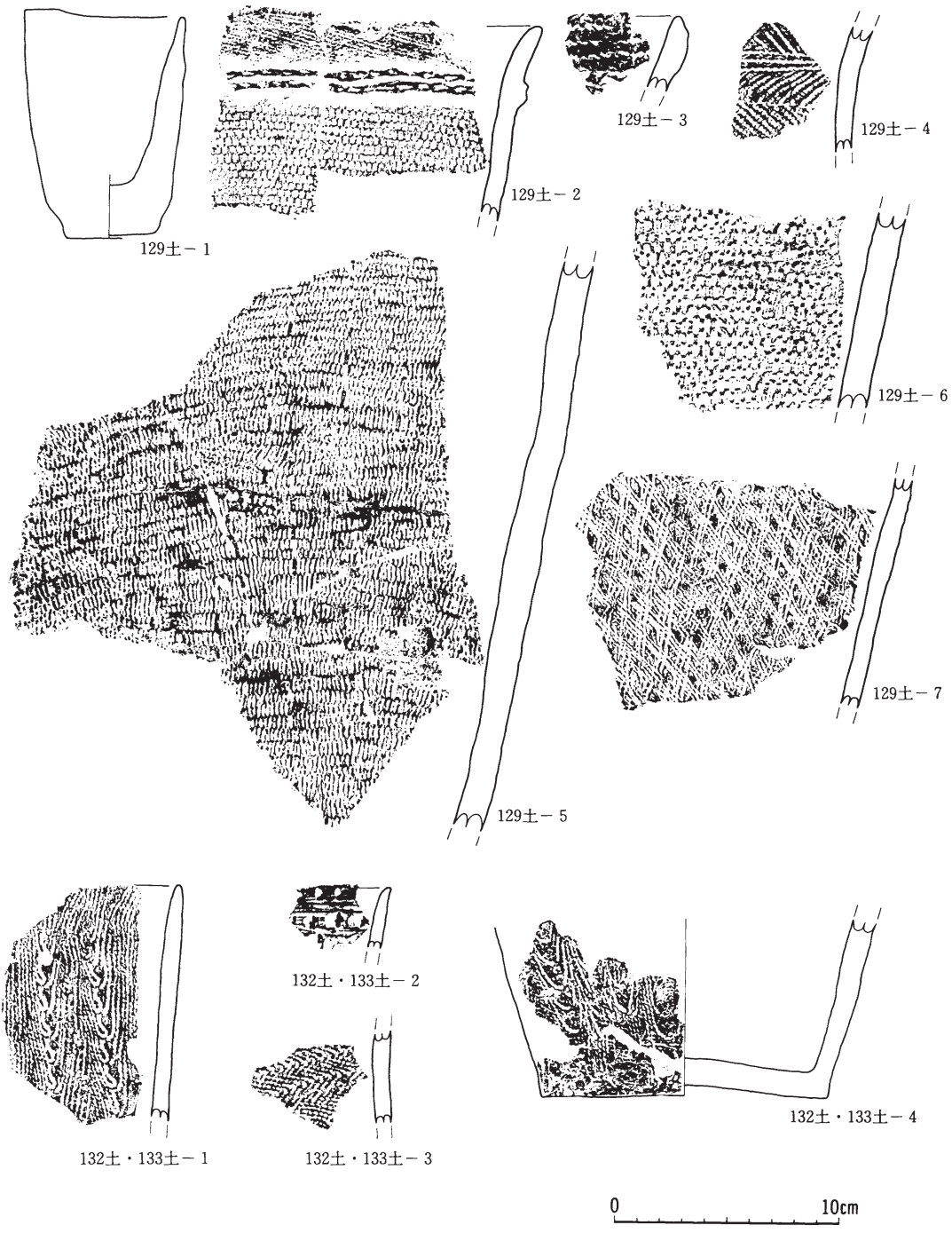
第153图 第117号土坑③·第119号土坑②出土土器



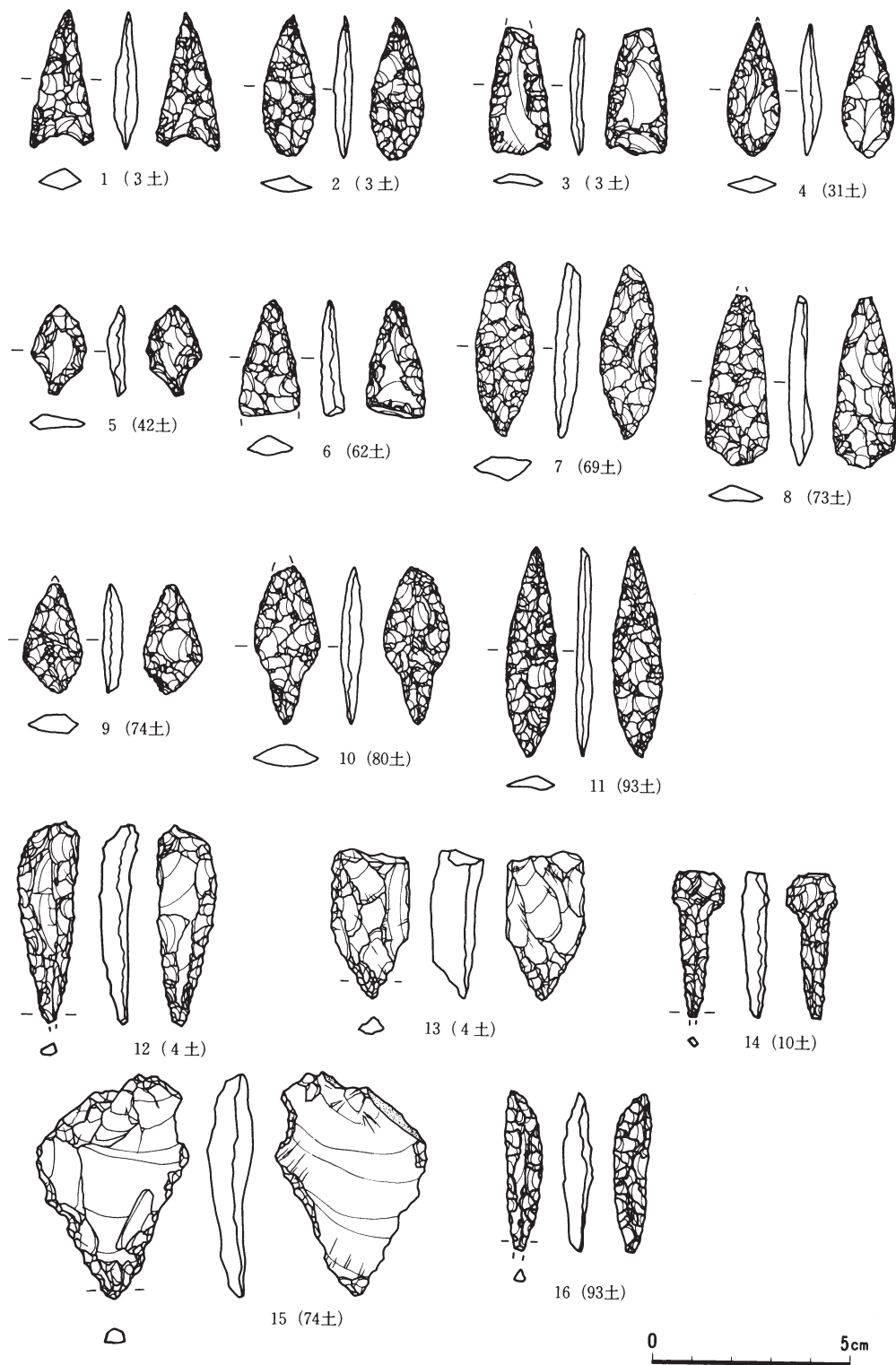
第154图 第117号土坑④·第119号土坑③·第122号土坑
第123号土坑·第124号土坑·第127号土坑出土土器



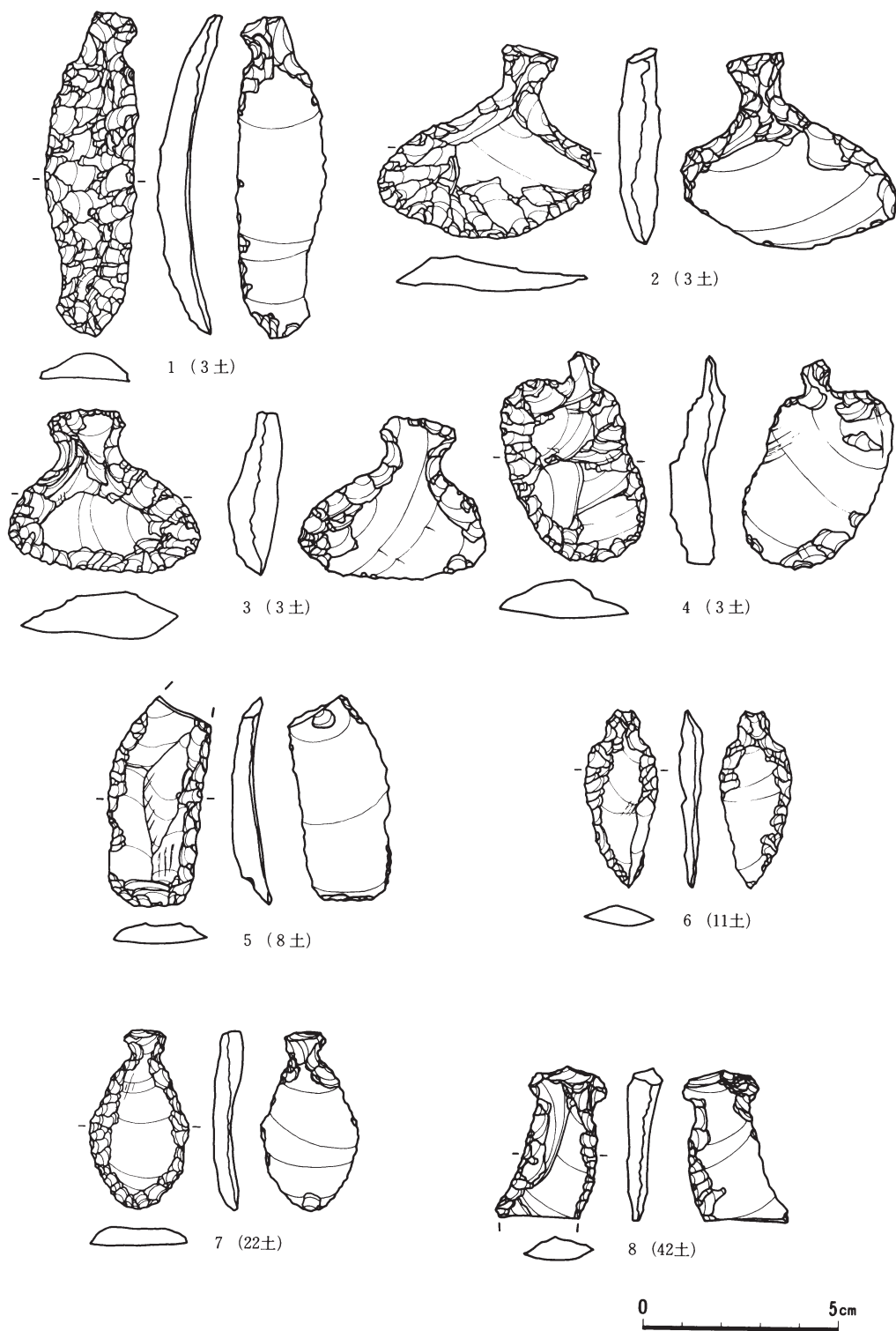
第155图 第120号土坑出土土器



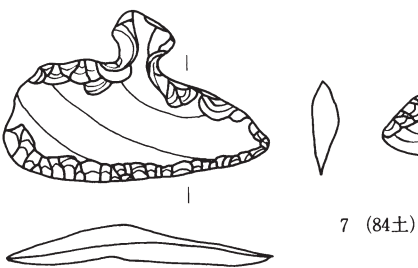
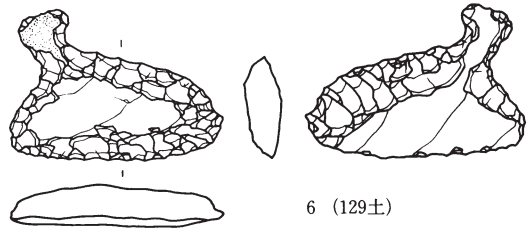
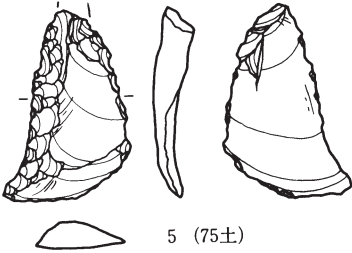
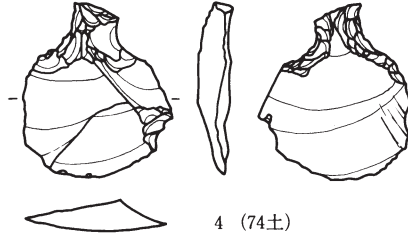
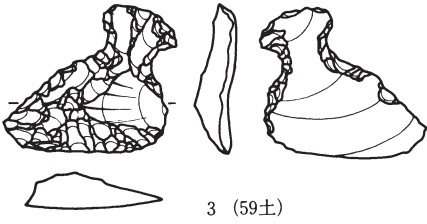
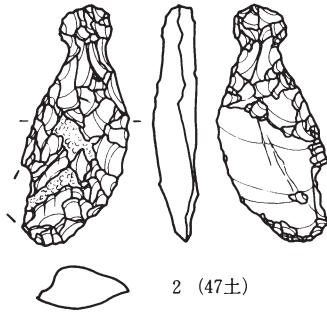
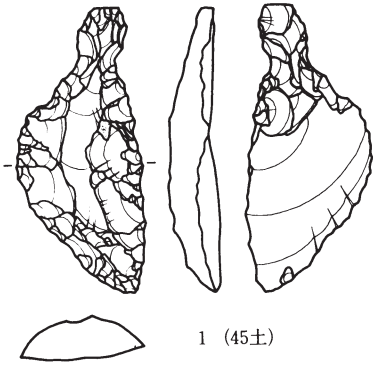
第156图 第129号土坑·第132·133号土坑出土土器



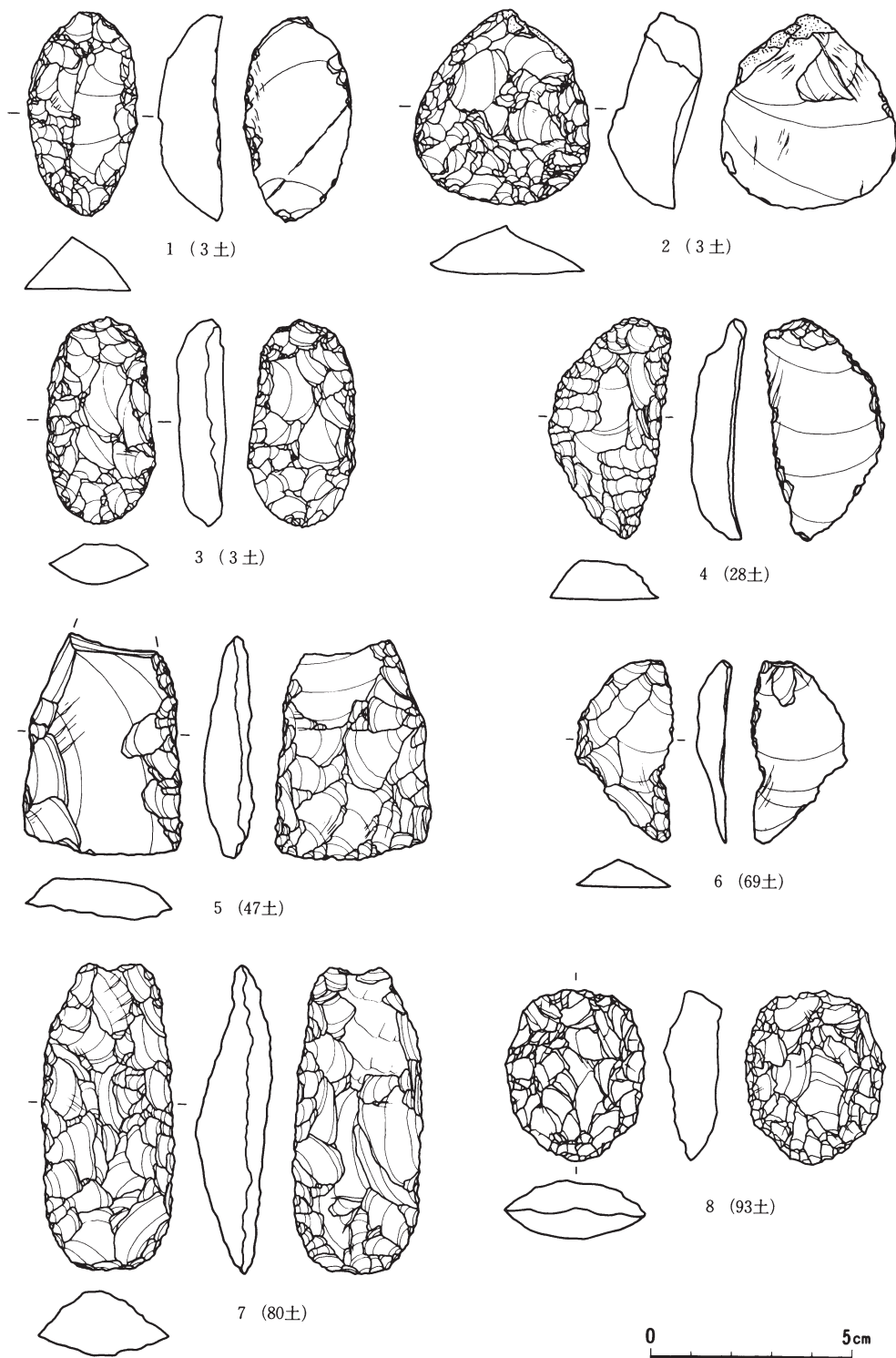
第157图 土坑内出土石器(1)



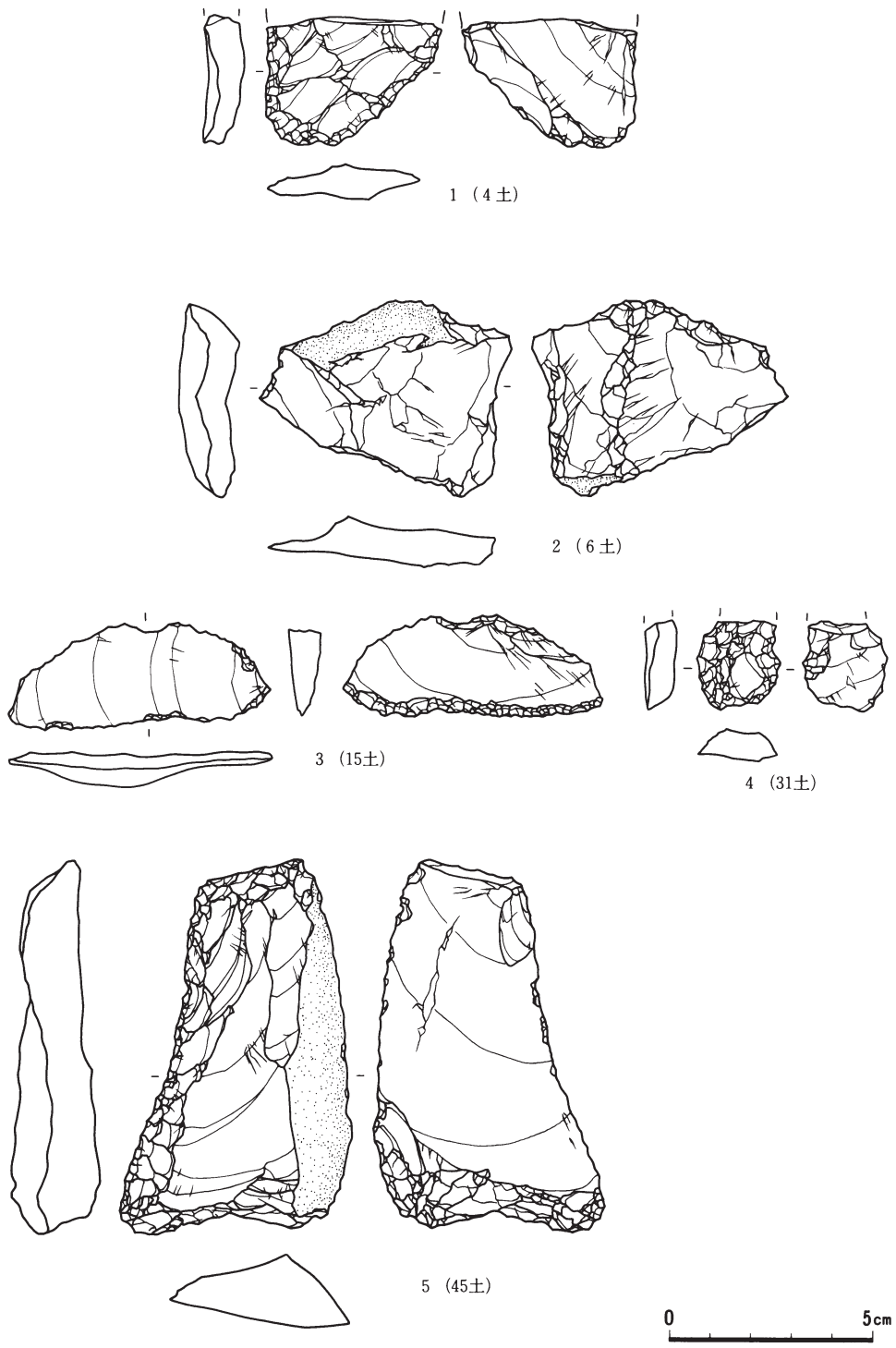
第158图 土坑内出土石器 (2)



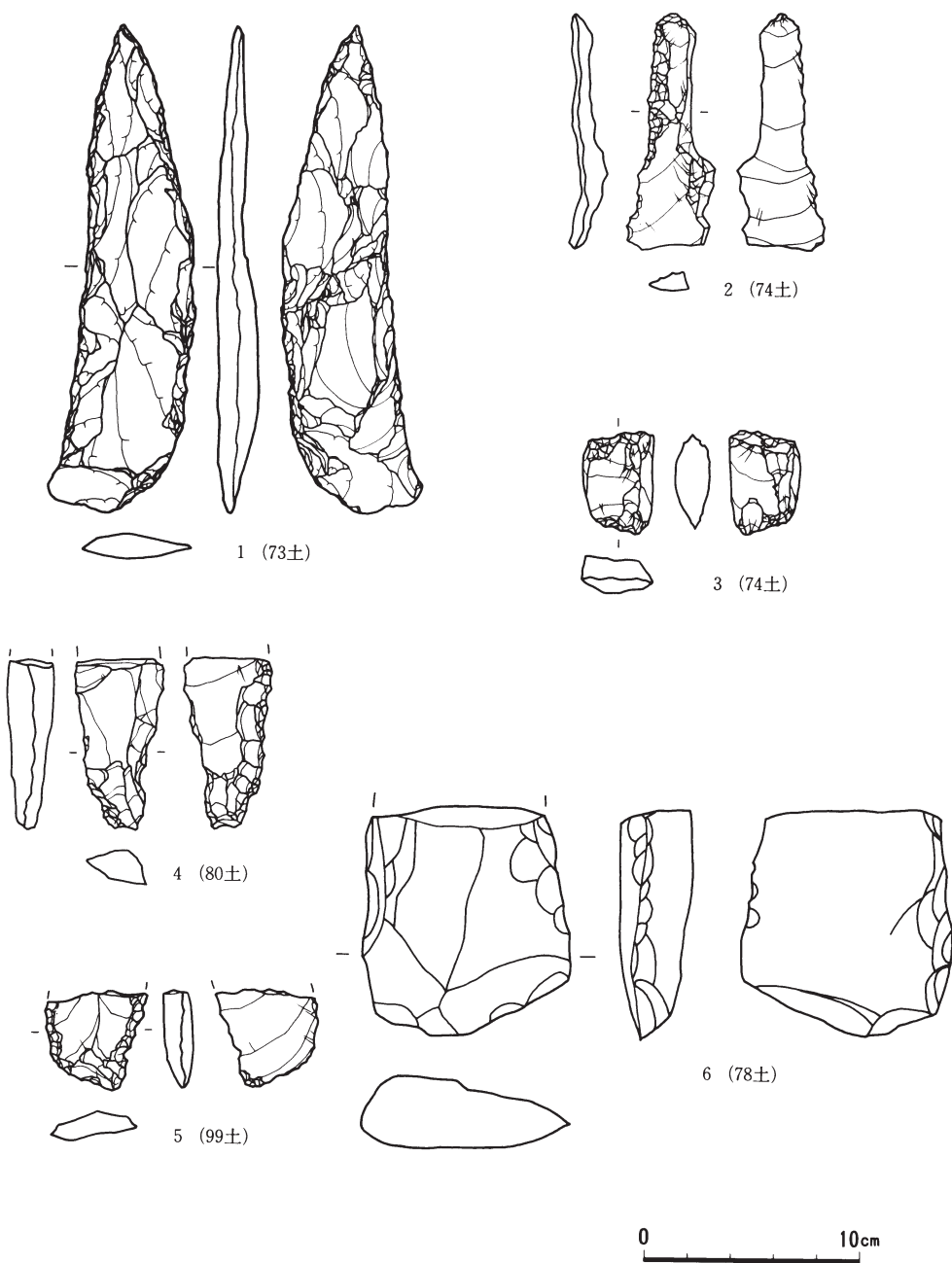
第159图 土坑内出土石器(3)



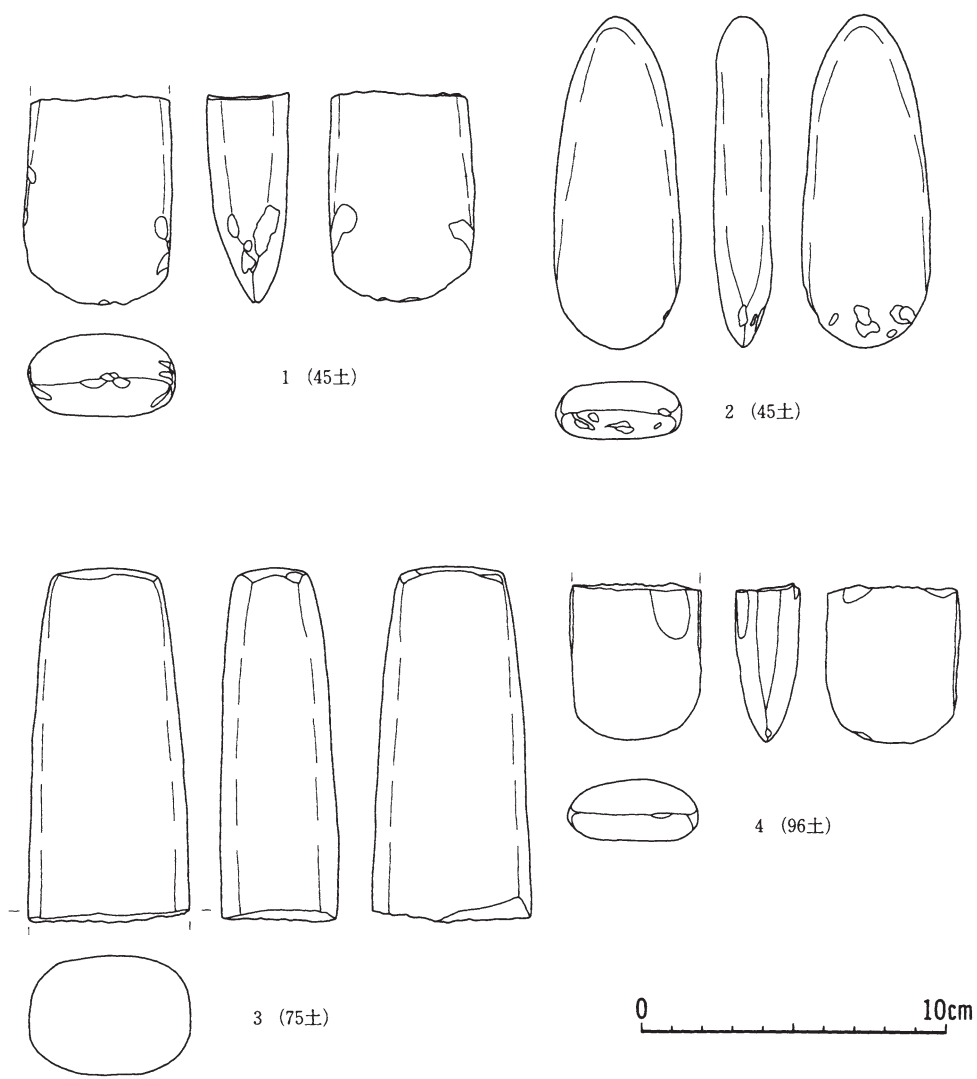
第160图 土坑内出土石器(4)



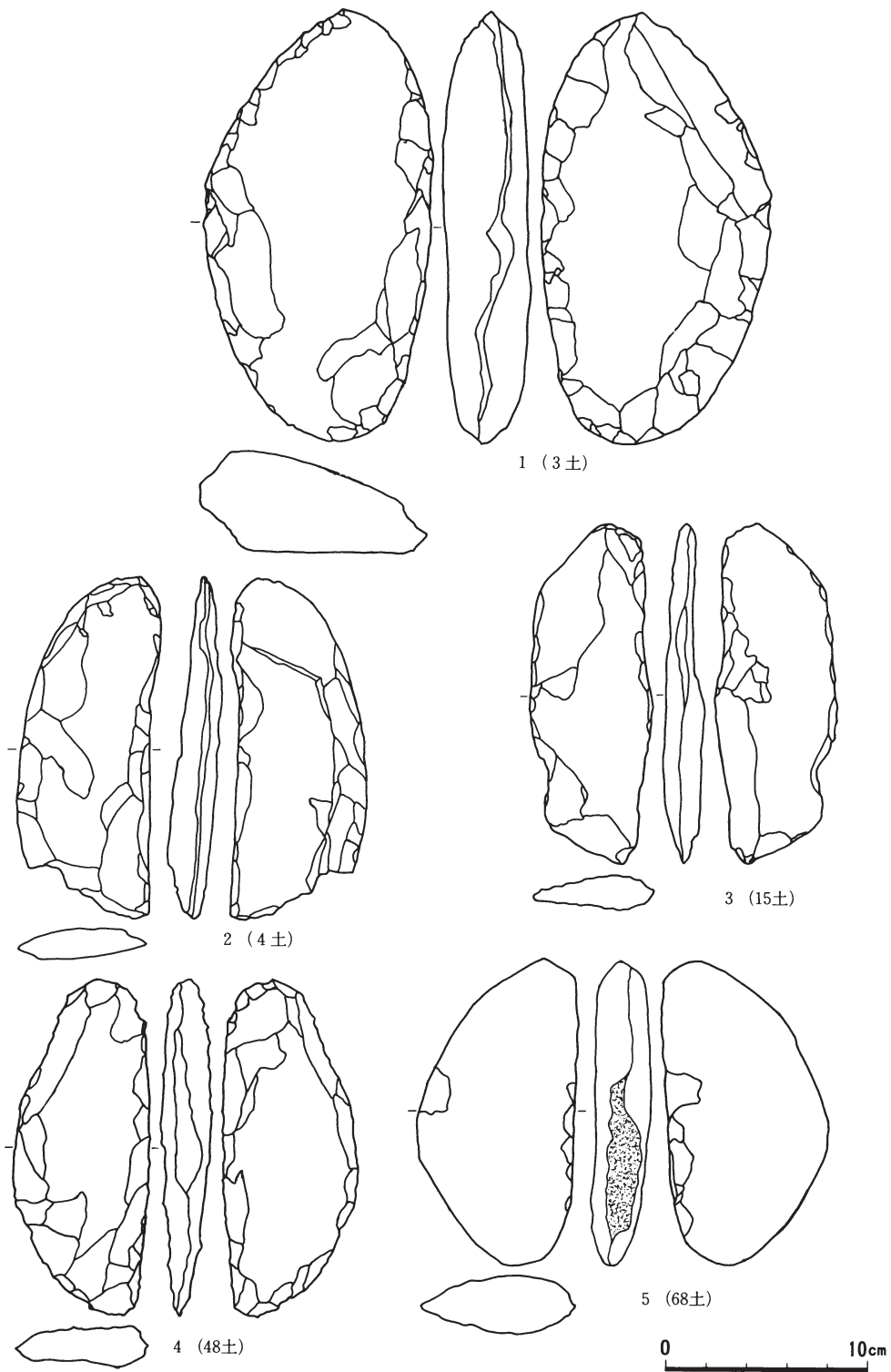
第161图 土坑内出土石器 (5)



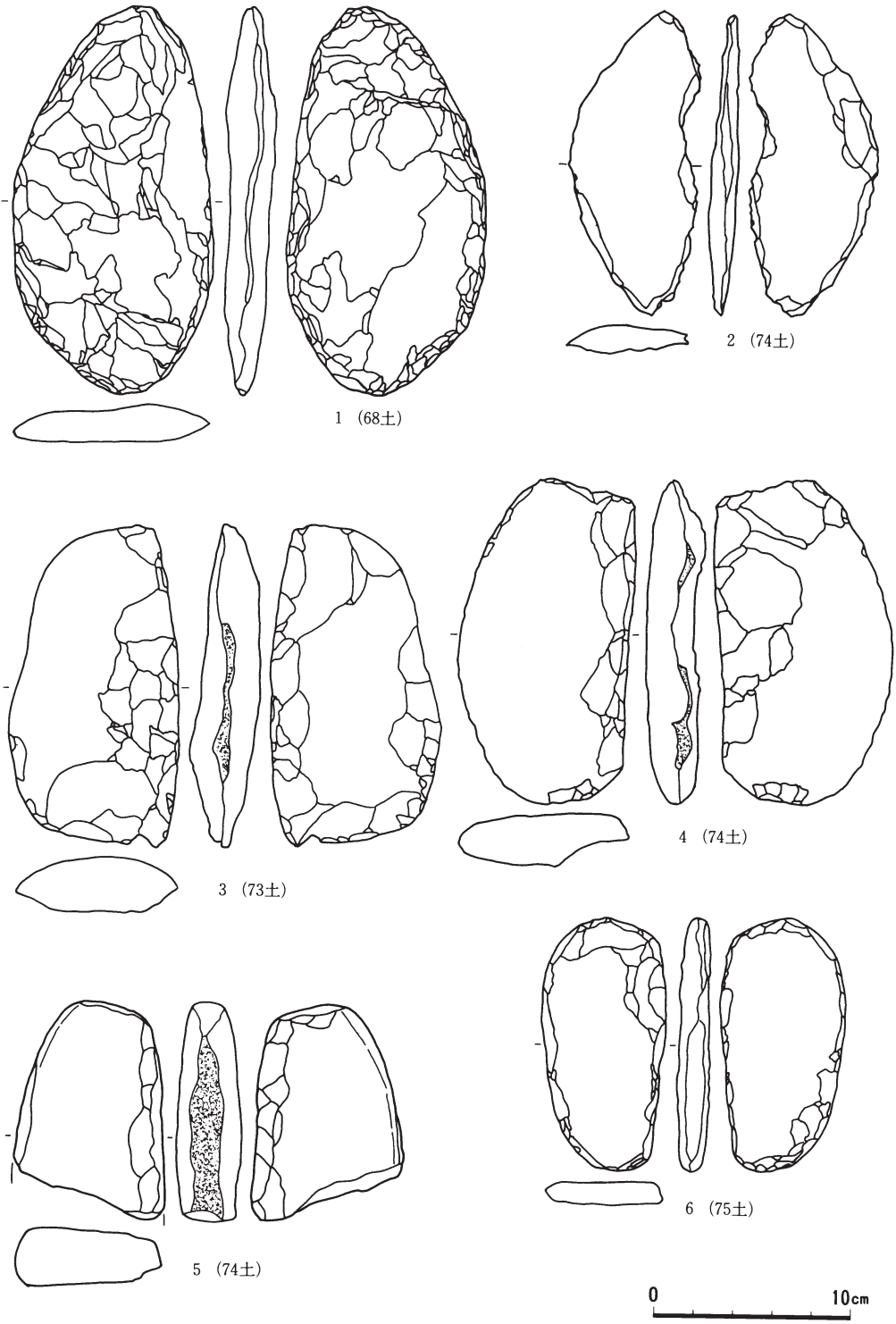
第162图 土坑内出土石器(6)



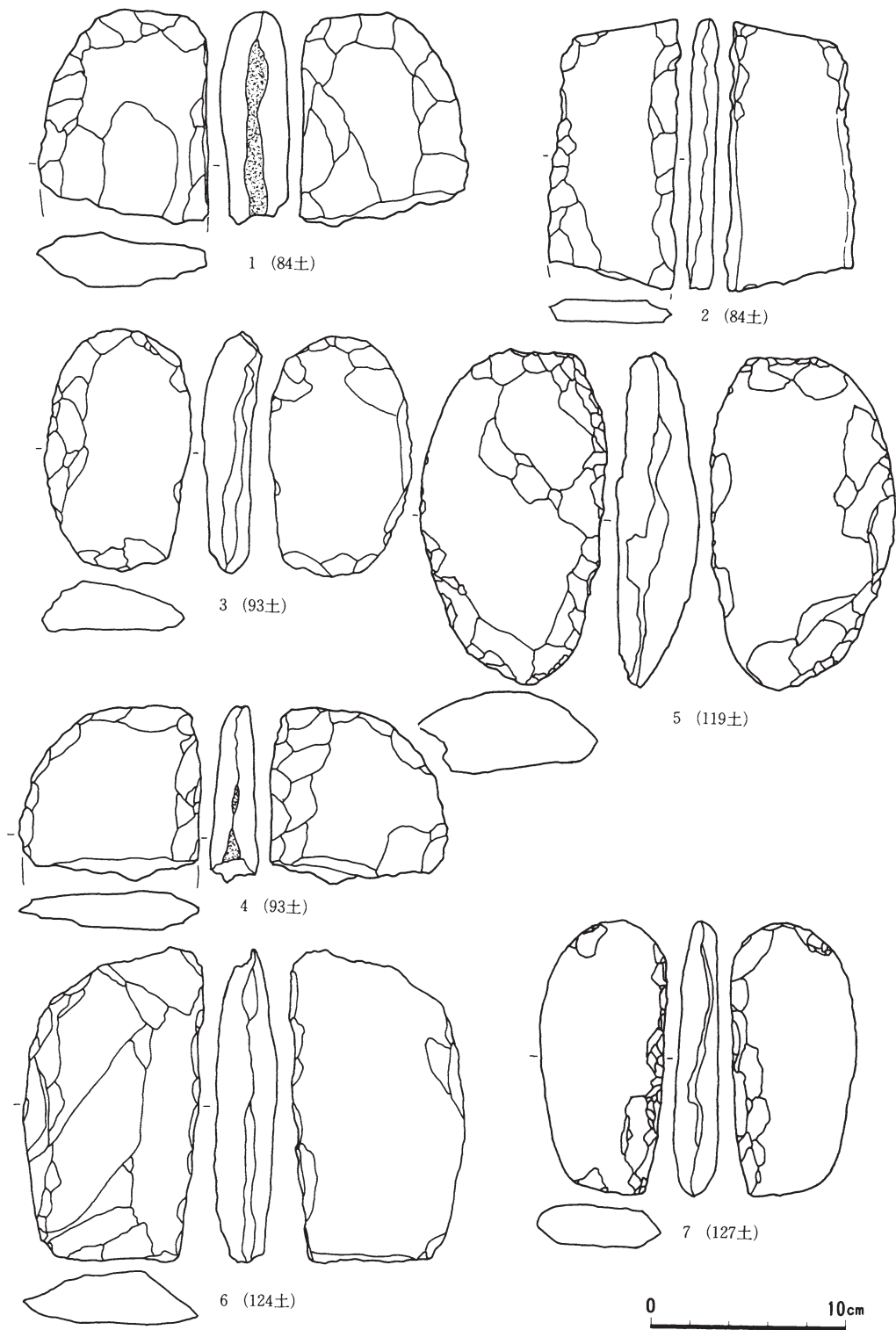
第163図 土坑内出土石器（7）



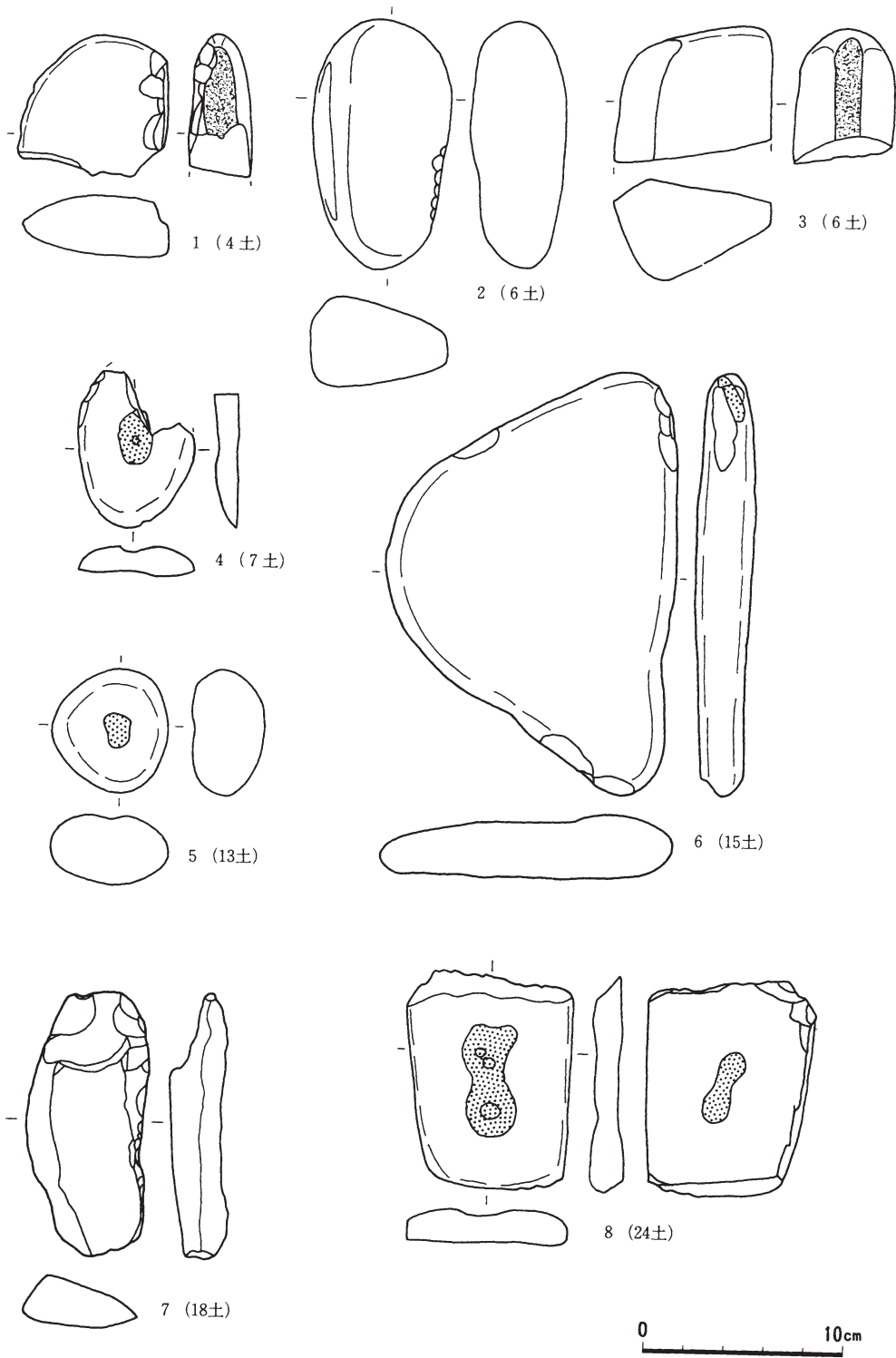
第164図 土坑内出土石器 (8)



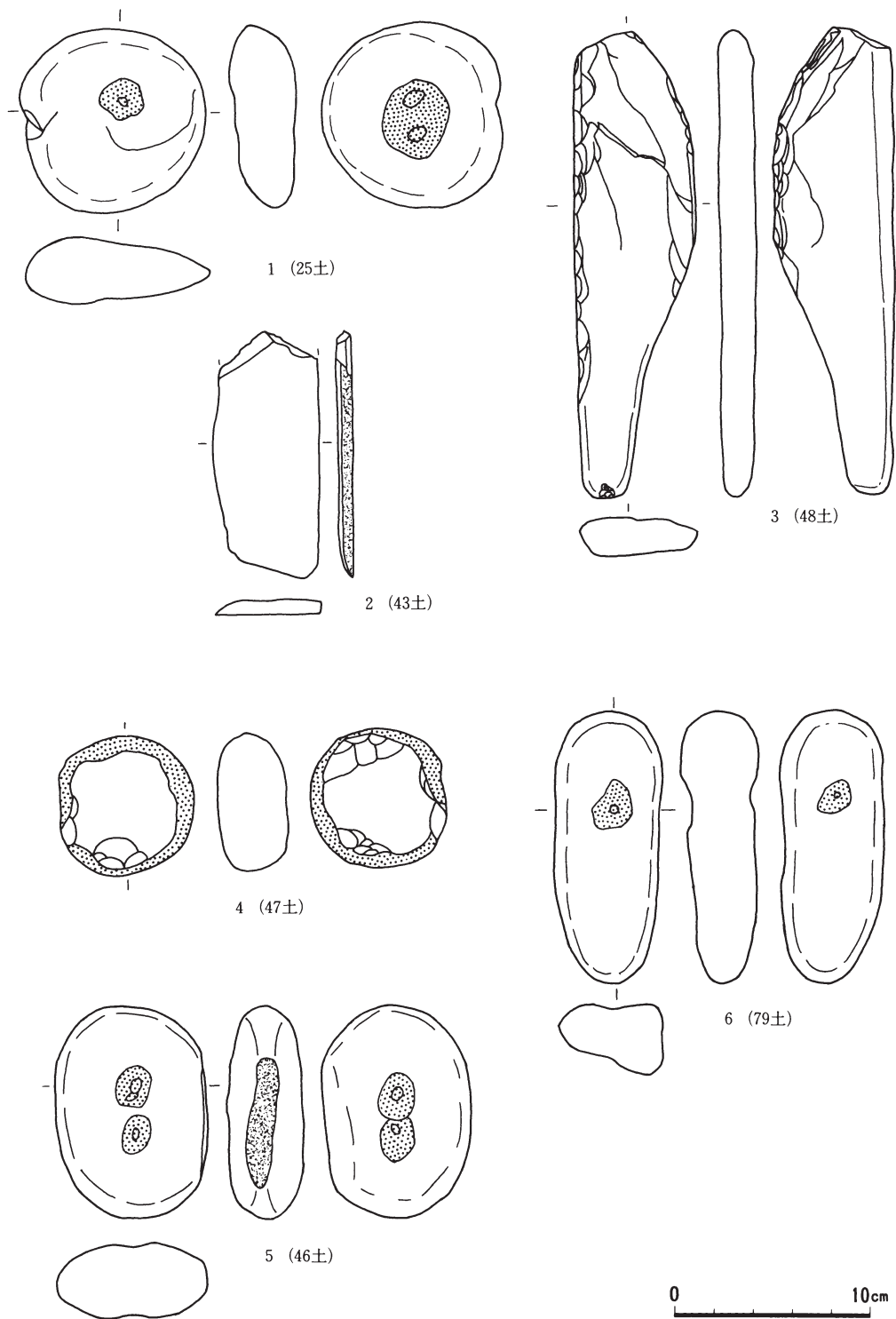
第165图 土坑内出土石器 (9)



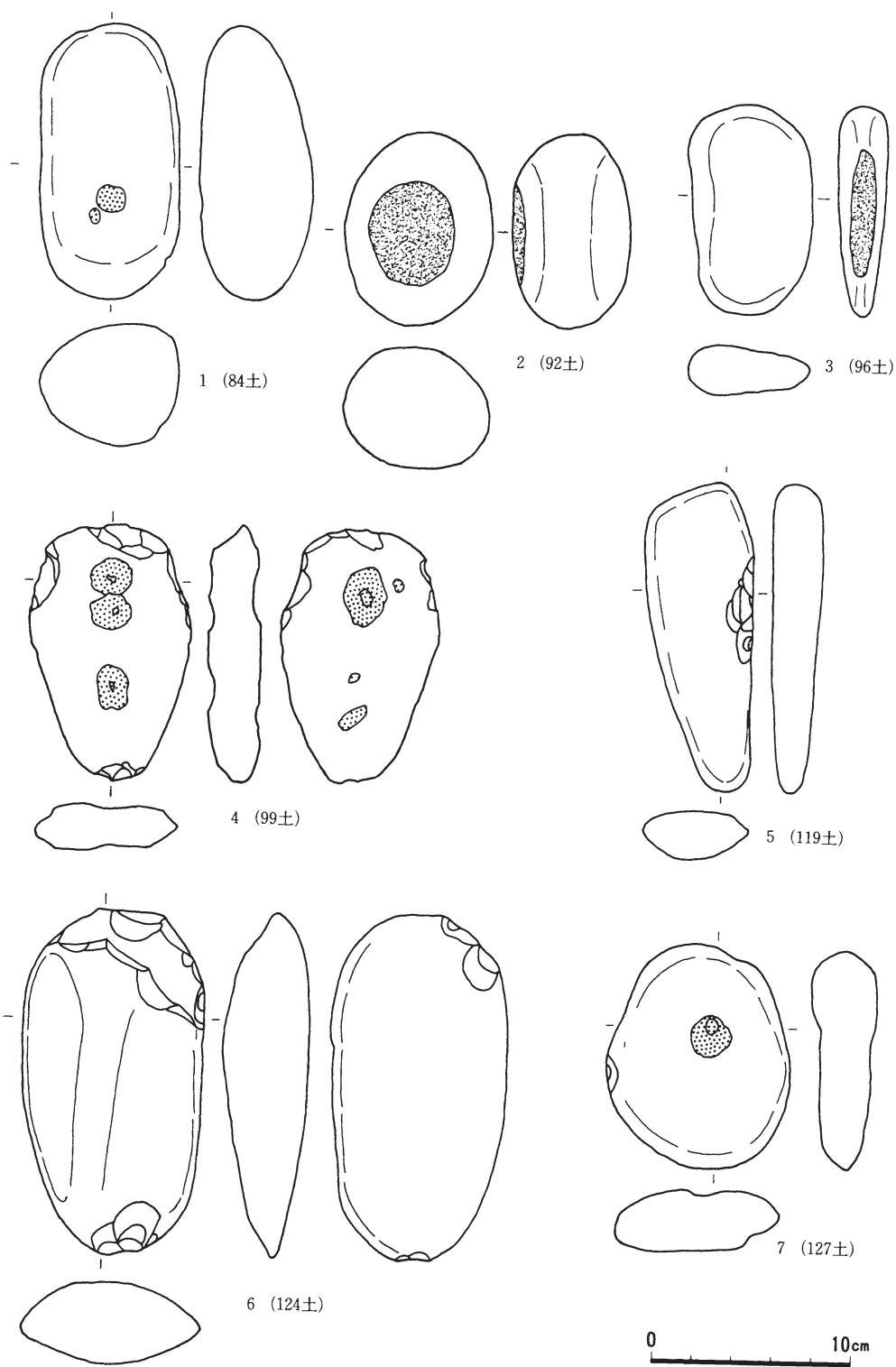
第166図 土坑内出土石器 (10)



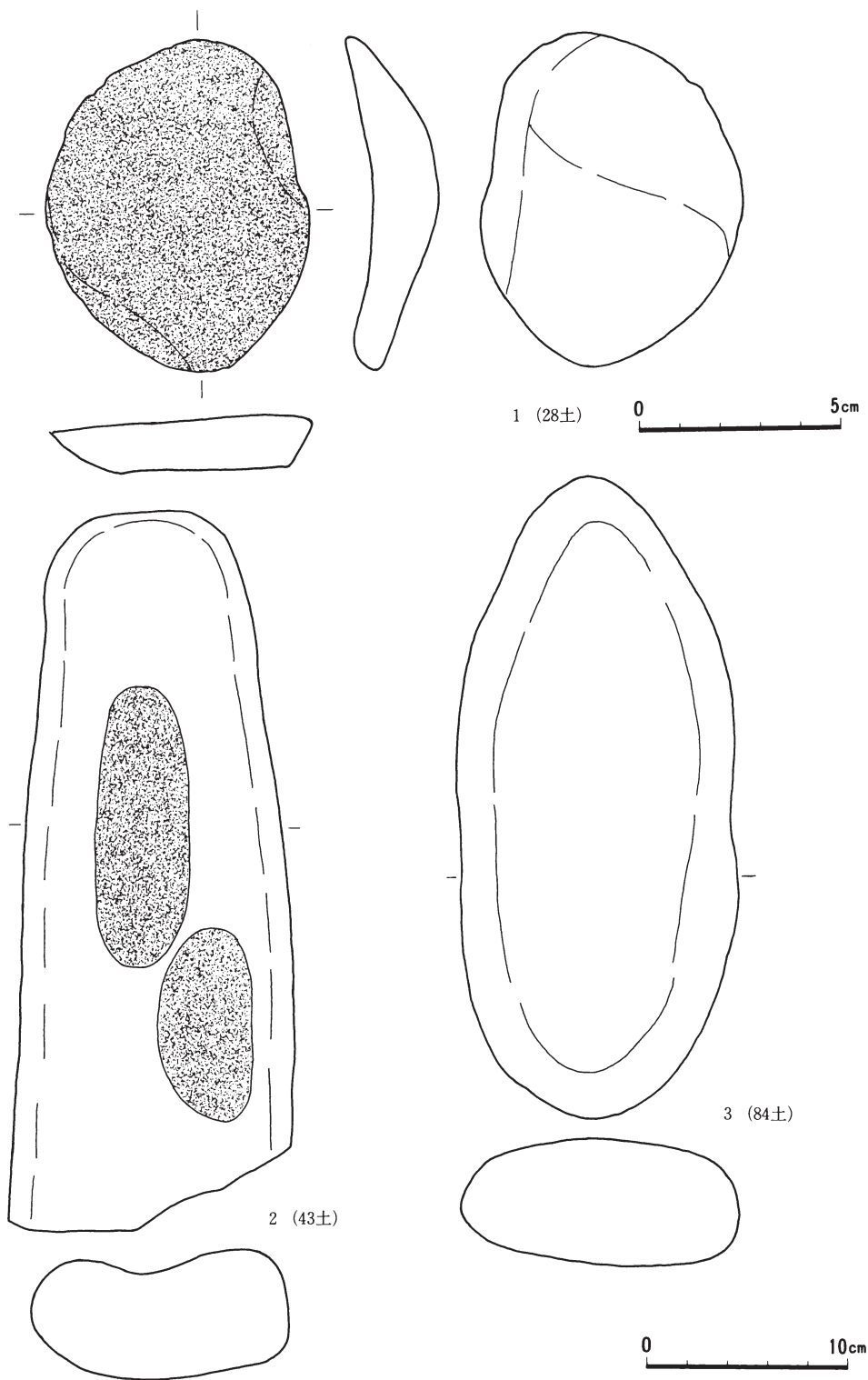
第167图 土坑内出土石器 (11)



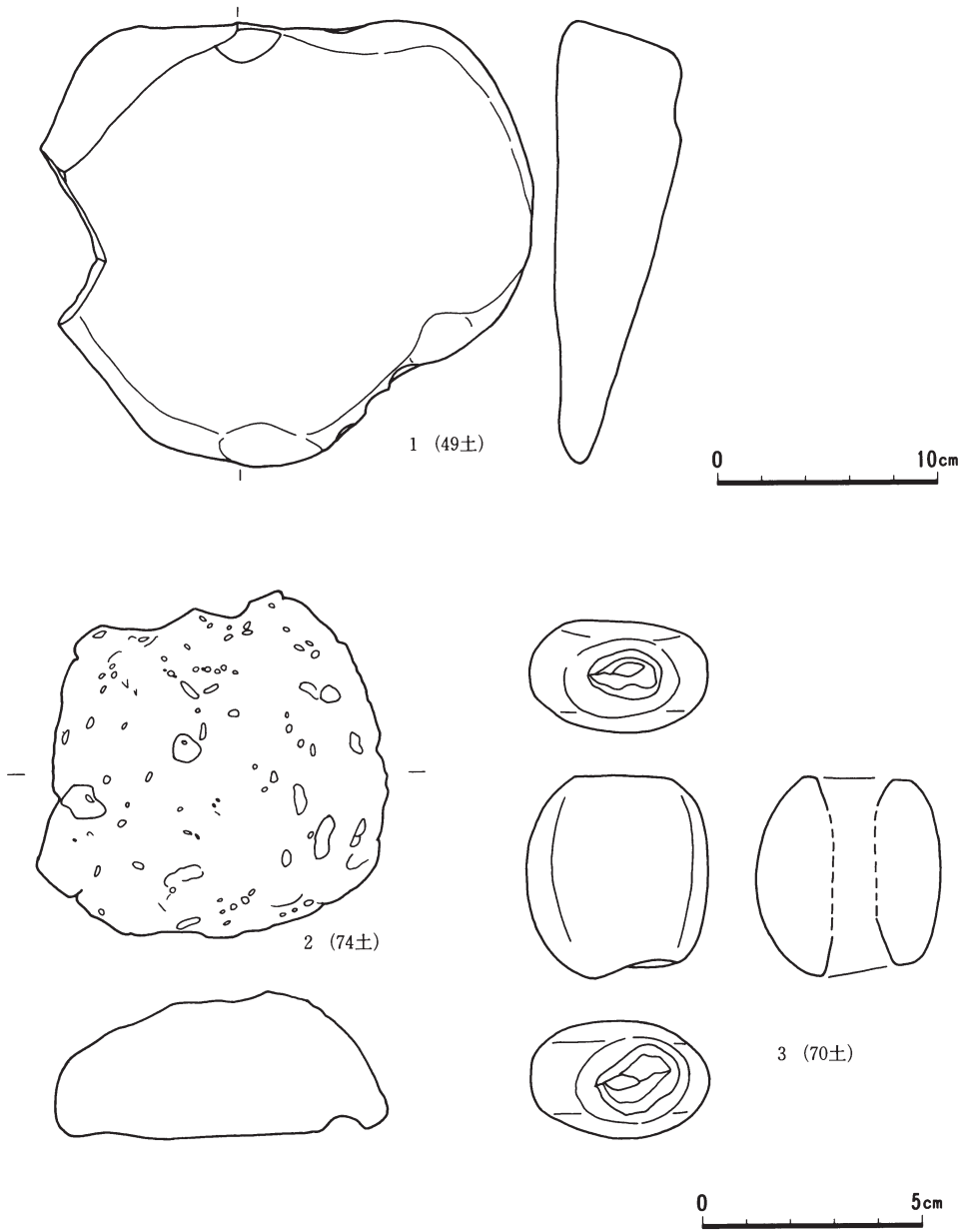
第168图 土坑内出土石器 (12)



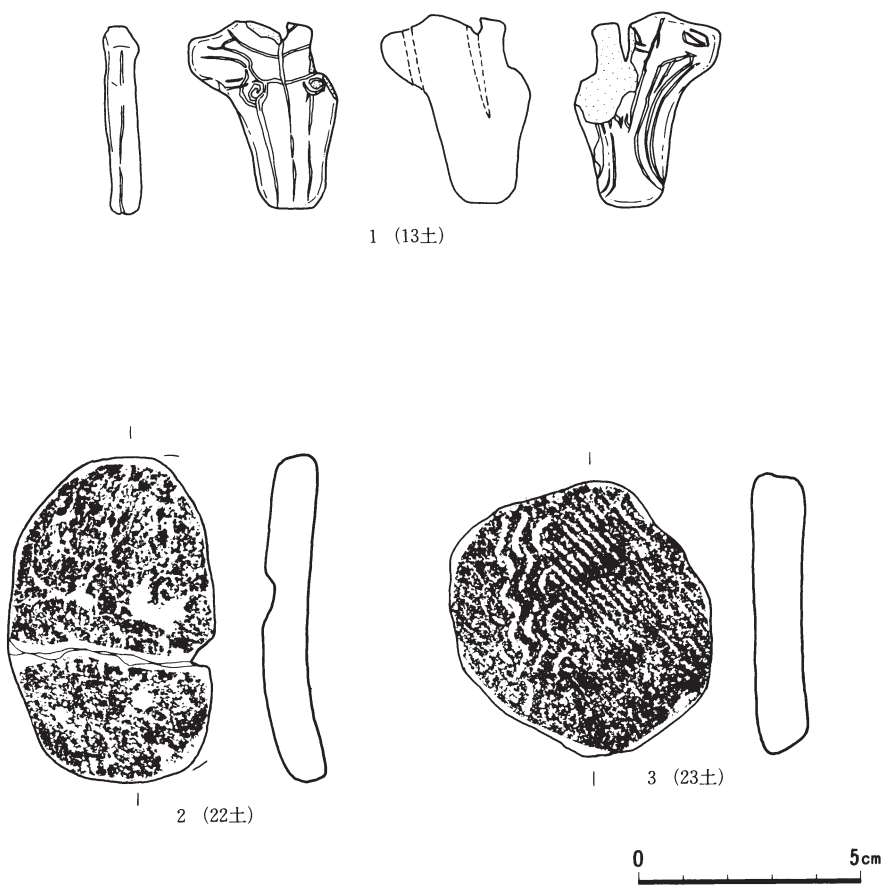
第169图 土坑内出土石器 (13)



第170図 土坑内出土石器 (14)



第171圖 土坑内出土石器 (15)



第172図 土坑内出土土製品

第2節 平成4年度東捨て場出土遺物

1 石器

本遺跡からは大量の石器が出土した。その内訳は住居跡、土坑などの遺構出土のもの、縄文時代前期の遺物廃棄ブロック（東捨て場）に伴うものがあり、その他は遺構外一括とした。出土土器との共伴関係からは石器の詳細な時期を決定することができないが、東捨て場は円筒下層式土器が大部分であること、遺構内外から縄文時代中期前半の土器や縄文時代晩期～弥生時代初頭に係わる土器が出土していることなどから部分的には大まかな傾向はとらえることができよう。

以下に示すように、大きく機種ごとに分け、更に形態や特徴ごとに細分した。

①石鏃

I類 無茎のもの

- a. 凹基のもの
- b. 平基のもの
- c. 円基のもの
- d. 尖基のもの

II類 有茎のもの

- a. T基のもの 基部の一部がT基で他方がY基のものもこの類に含めた。
- b. Y基のもの

②石槍

③石錐

I類 棒状のもの

II類 つまみ部を作り出しているもの

III類 剥片の末端に錐部を作り出しているもの

IV類 石鏃からの転用品

④石匕

I類 縦型のもの

II類 横型のもの

⑤石篋（篋状石器）

刃部の形状から両刃のもの、片刃のものに分けられる。

I類 両面加工のもの

II類 片面加工のもの

⑥不定形石器

I類 定型的な刃部を持つスクレイパー類

II類 定型的な刃部を持たないR-フレイク類

III類 使用のため生じた微細剝離のあるU-フレイク類

⑦石斧

⑧半円状扁平打製石器

I類 半円状を呈する面が自然面であり、その他の面を打ち欠いているもの
両端部を打ち欠いたものも含む

II類 原石の一方の表面だけを打ち欠き、裏面は自然面のもの
両面（全面）を打ち欠いたもの

III類 周辺を打ち欠いたもの

IV類 抉りを持つもの

V類 弧状の部位を打ち欠き、直線部は自然面のもの

⑨敲磨器類

I類 主として凹のあるもの

II類 主として敲打痕のあるもの

III類 主として磨り痕のあるもの

IV類 剝離のある礫

⑩石皿・台石類

⑪軽石製品

⑫石製品

(工藤)

2 その他

(1) 石製品について

軽石を利用したものが七点出土している。捨て場から出土した1点をのぞくといずれも住居跡の覆土や床面から出土している。主にスリと沈刻による加工であるが、その用途は不明である。

玉類は2点出土しており、大型で自然の穴の周辺を擦って平らに加工したもの(第171図-3)と小型で両側から穿孔されたヒスイ製のもの(第238図-2)がある。

石刀、石剣、石棒類は4点出土した。いずれも欠損品であるが、比較的部位の明確なもの(第216図-4、第217図-3)もある。

用途の不明な孔の開けられたものが4点出土した。刃部の造りや穿孔の粗雑なもの2点(第217図-2、第238図-4)と全体的に造りの丁寧なものに分けられる。後者はいずれも欠損品で、円盤状を呈した白色頁岩製のもの(第217図-1)と大型で短冊形を呈した粘板岩製のもの(第238図-1)がある。

その他3点ほど出土した。捨て場から石鏃の模造品らしきもの(第218図-1)が出土しているが、その材質が粘板岩であることや造りなどからみて実用に耐えないものであり、用途は不明である。

(2) 土製品について

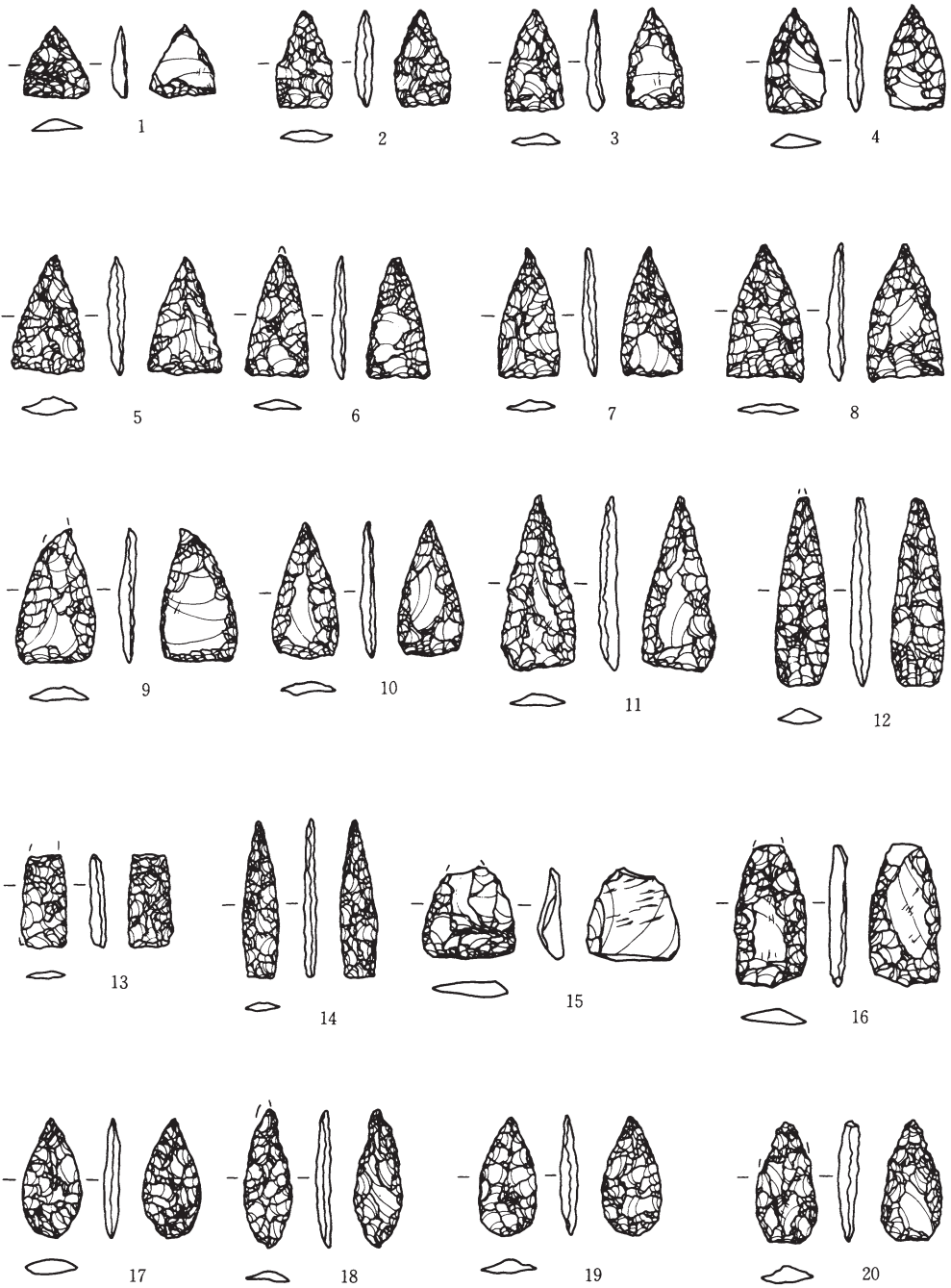
小型の板状土偶(第172図-1)が1点出土した。左の腕部と頭部が欠損したもので、表裏及び側面に線刻文を施している。肩部には貫通孔があり、頭部から胴部の中程に向けても孔が開けられている。形態的にみて縄文時代中期のものであるが、対応する土器型式など詳細は不明である。

スタンプ型土製品(第239図-1)が一点出土した。スタンプ部は沈線で同心円状に施文している。スタンプ部の周縁と取手部が欠損している。

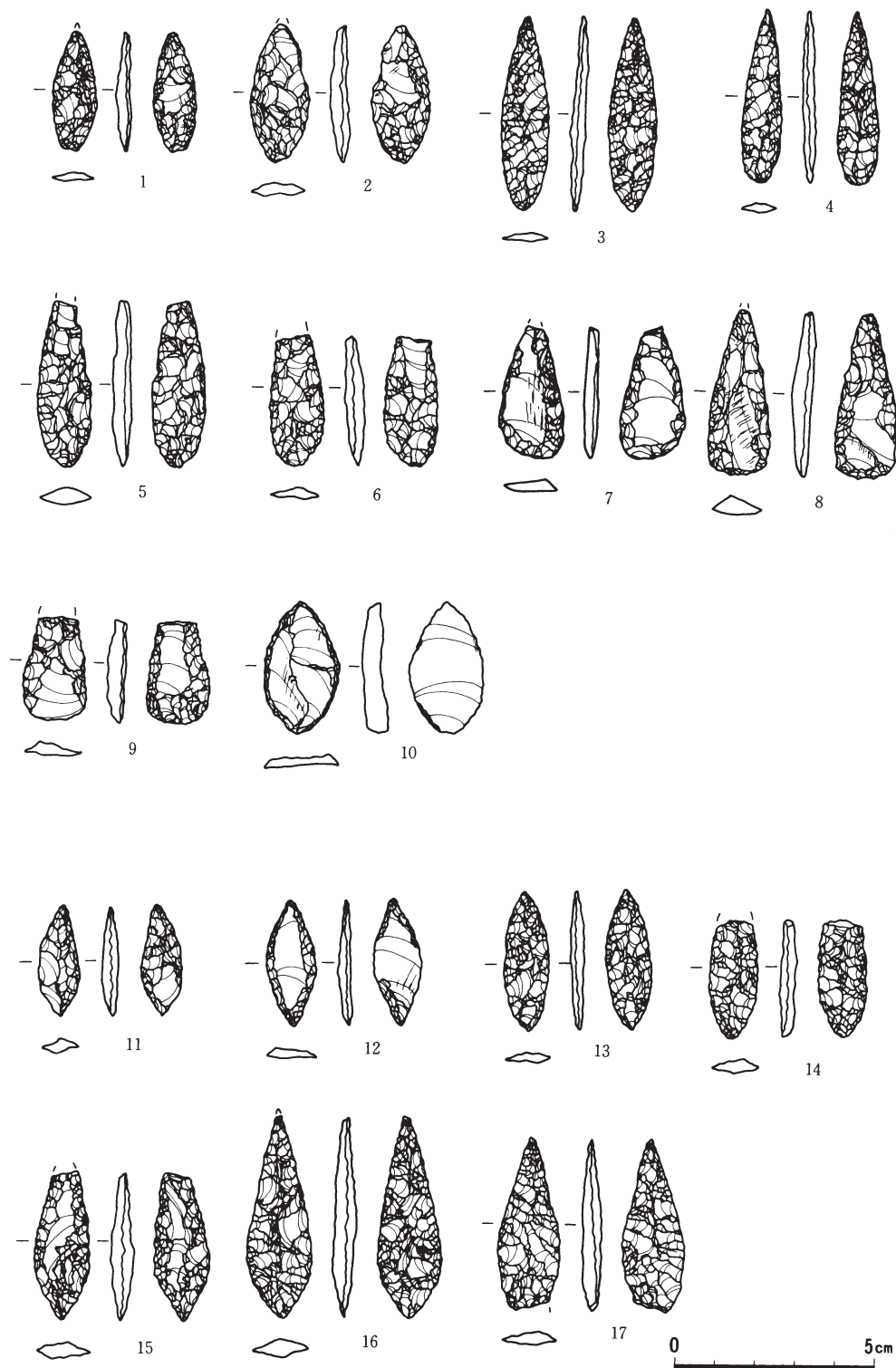
小型で容器を模した土製品は9点出土した。蓋状のもの(第239図-3)、漏斗に似た底のないもの(第75図-3、第218図-4)、土器様のものがある。後者は、内面に黒色の付着物があるもの(第239図-6、7)と赤色顔料の付着しているもの(第239図-5)があり、特別な内容物を入れる容器として使われたと思われる。

その他、急須様の土器の取手部分かと思われるもの(第239図-2)と土器片の周縁を擦った円盤状土製品が2点、用途不明のものが2点出土した。

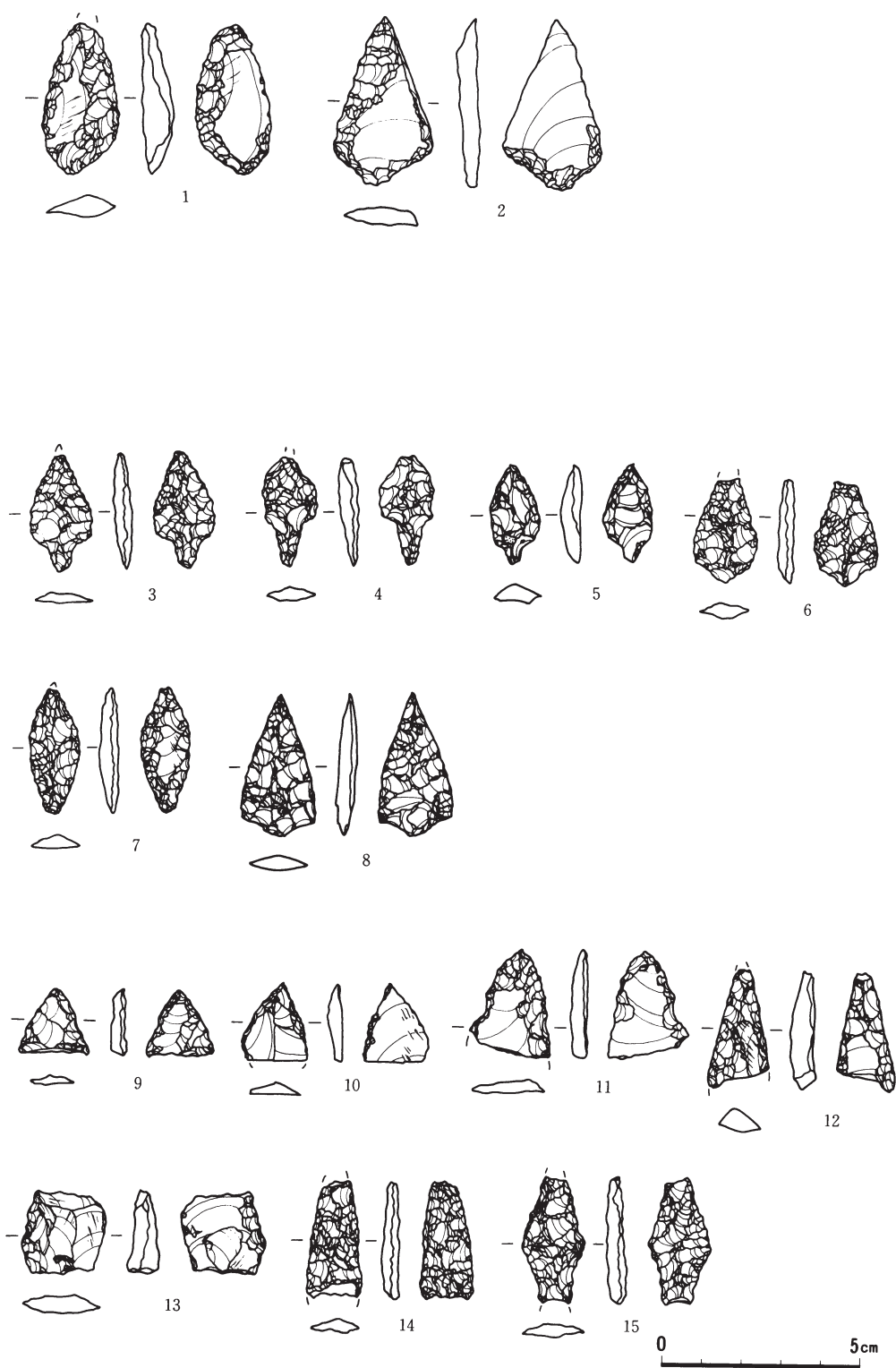
(工藤)



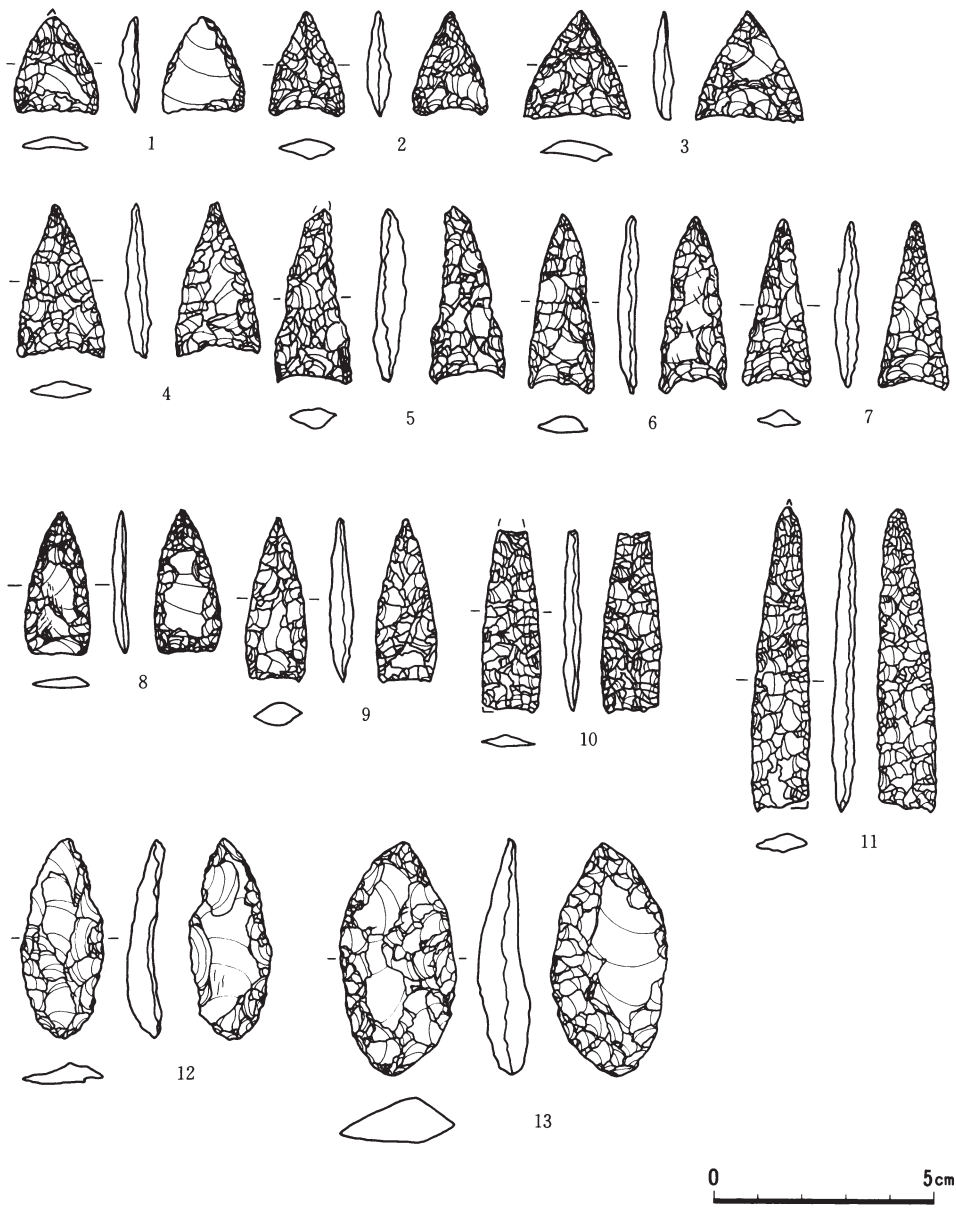
第173図 東捨て場出土石器（1）



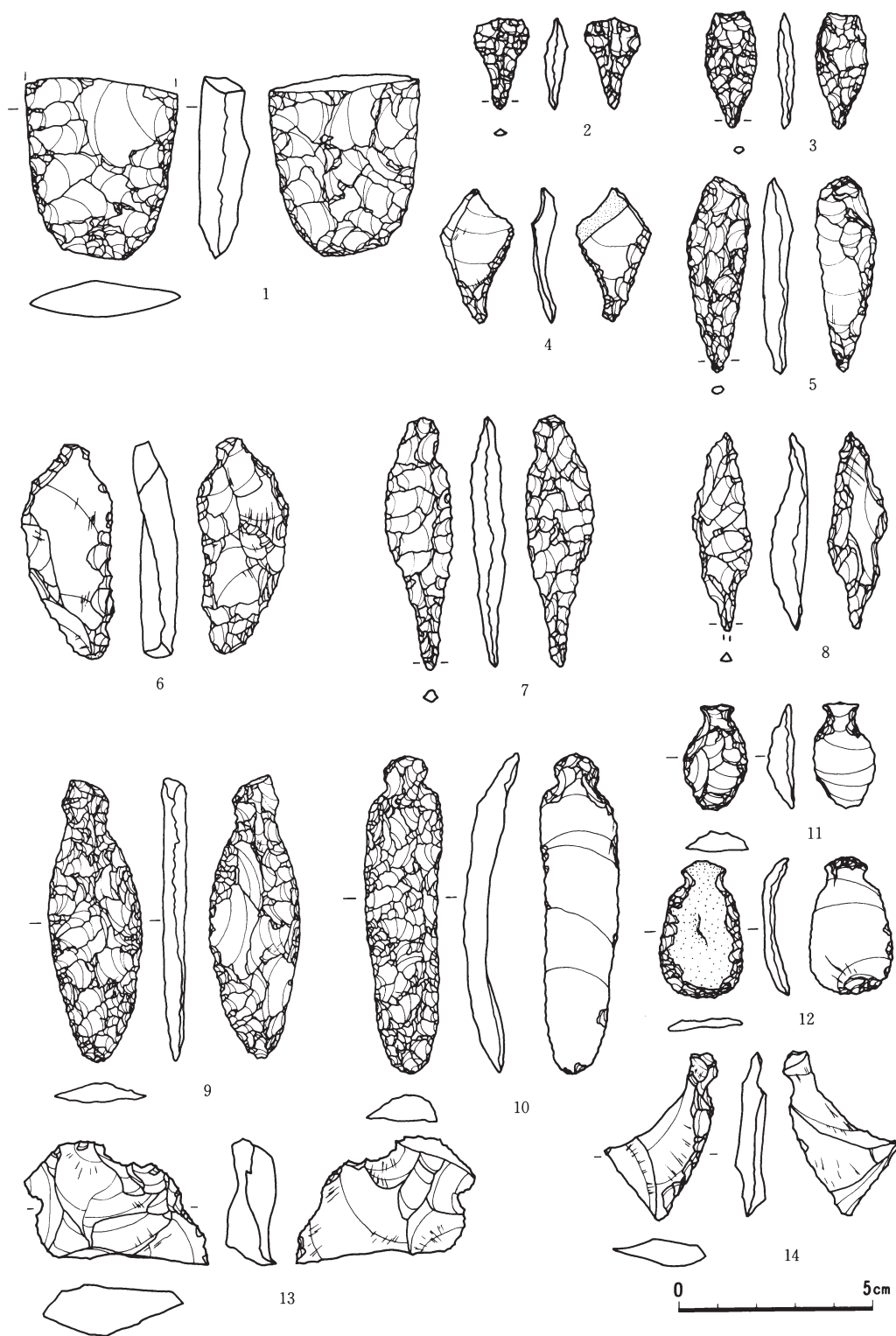
第174図 東捨て場出土石器（2）



第175図 東捨て場出土石器（3）



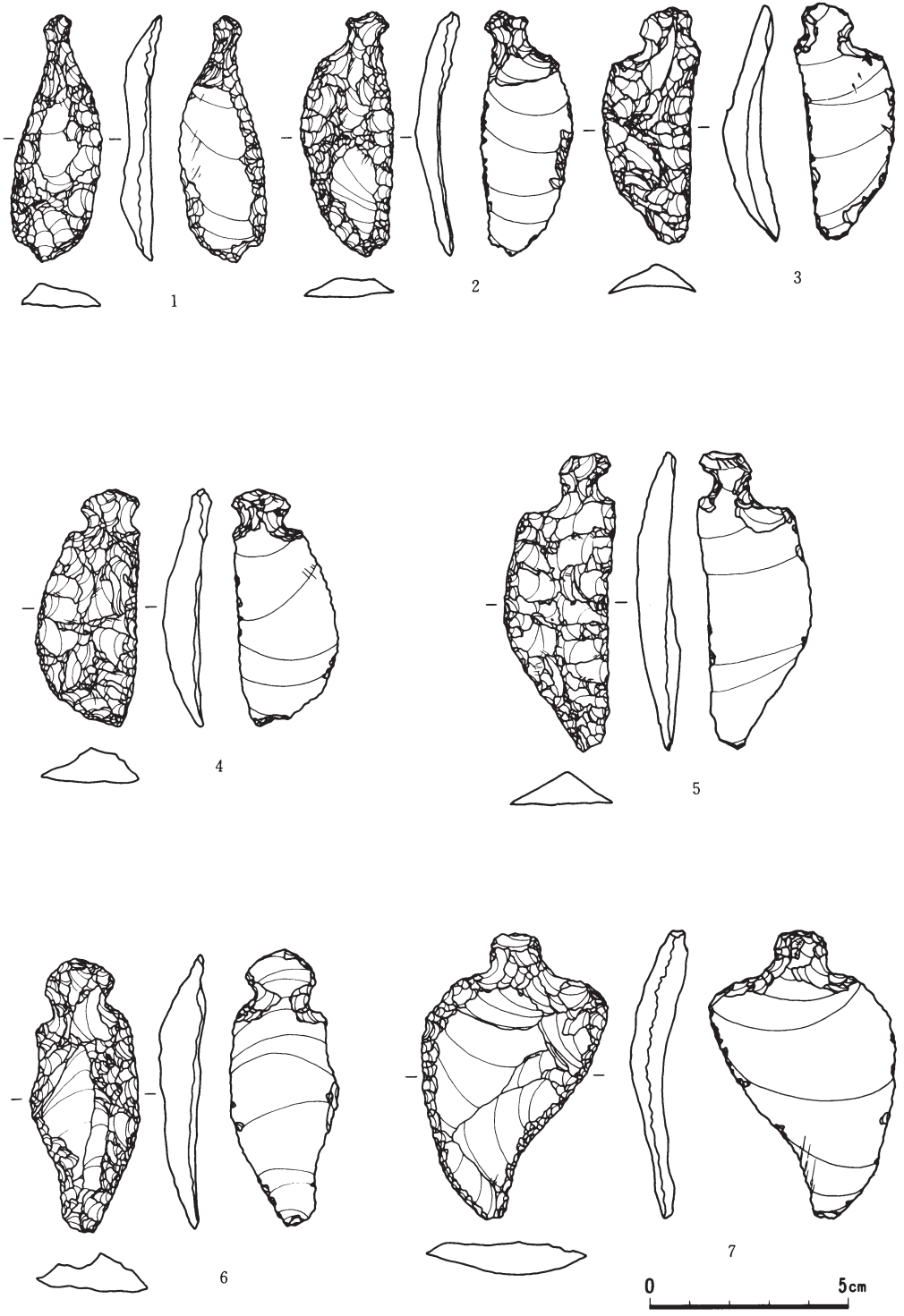
第176図 東捨て場出土石器（4）



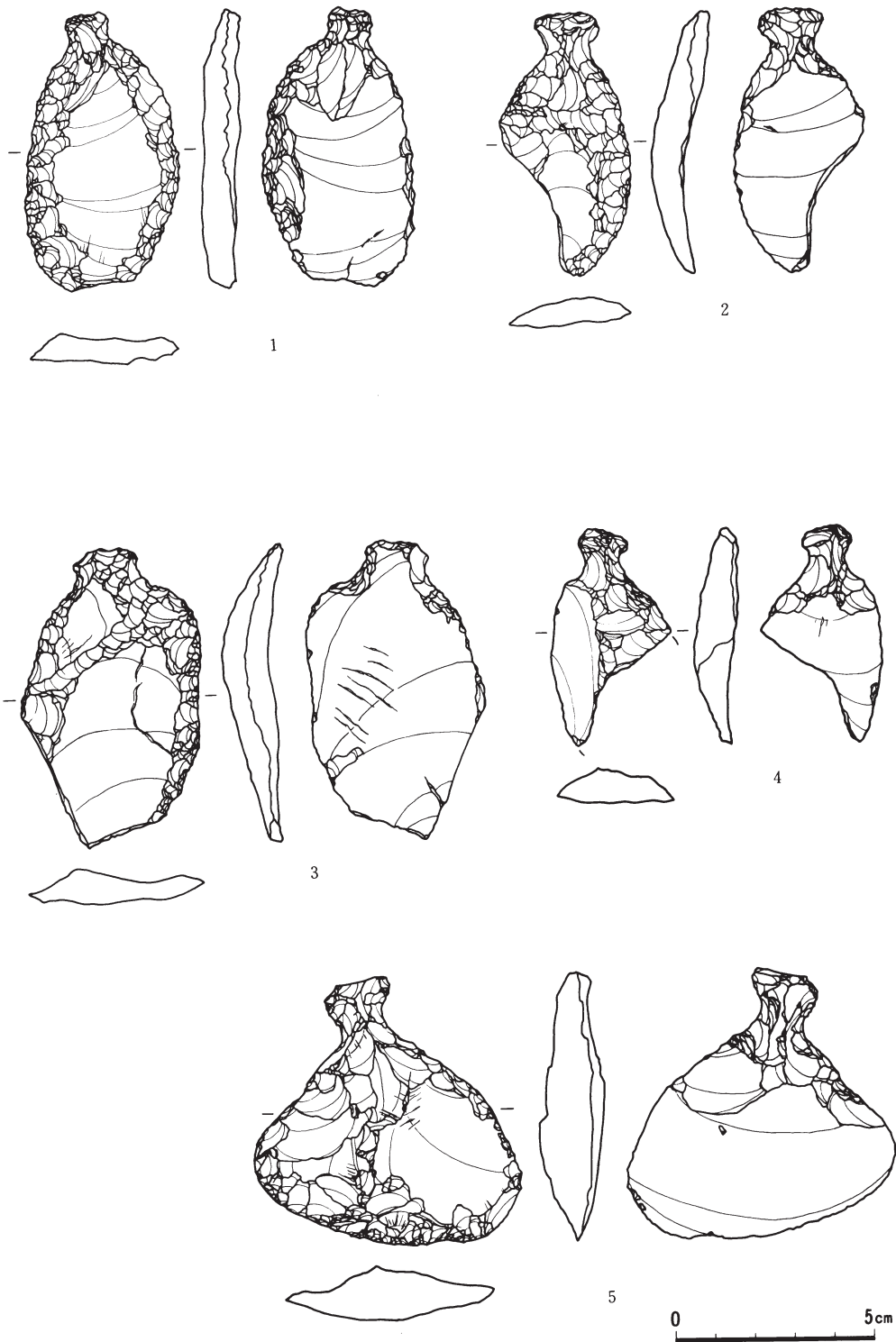
第177図 東捨て場出土石器（5）



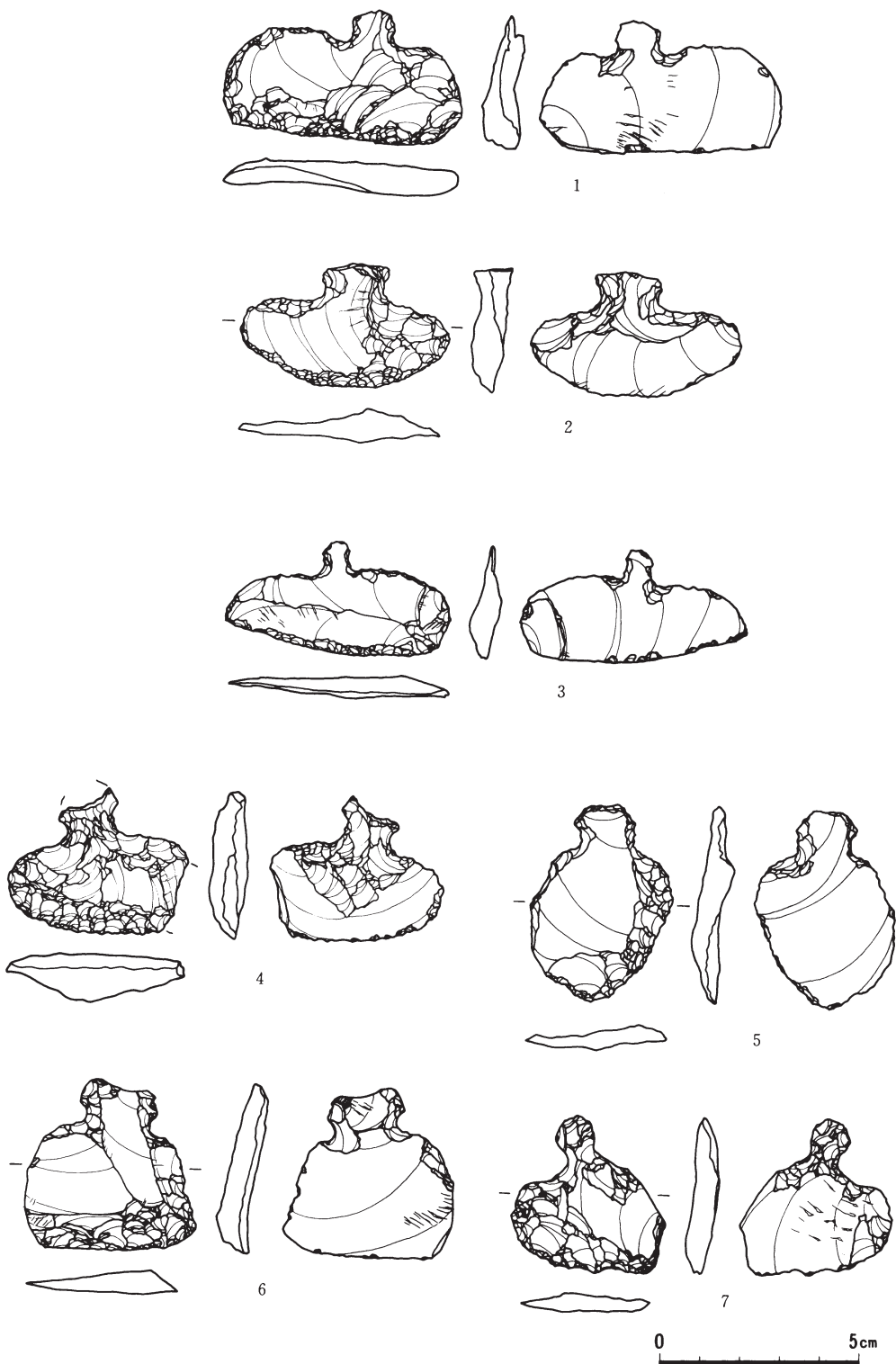
第178図 東捨て場出土石器（6）



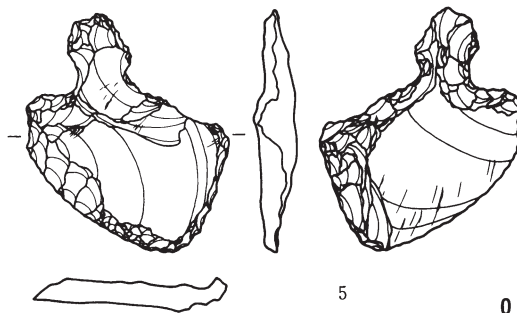
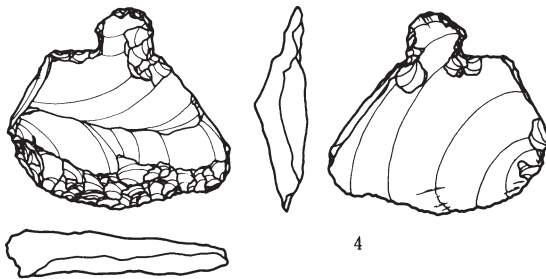
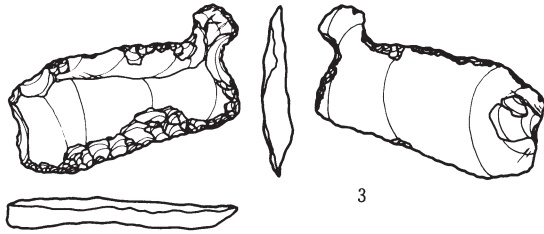
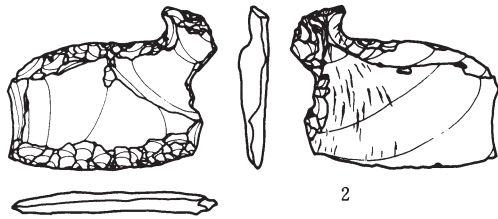
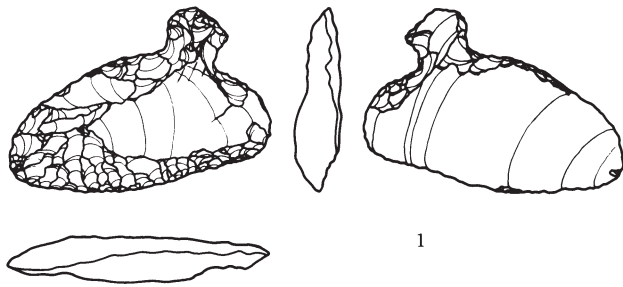
第179図 東捨て場出土石器（7）



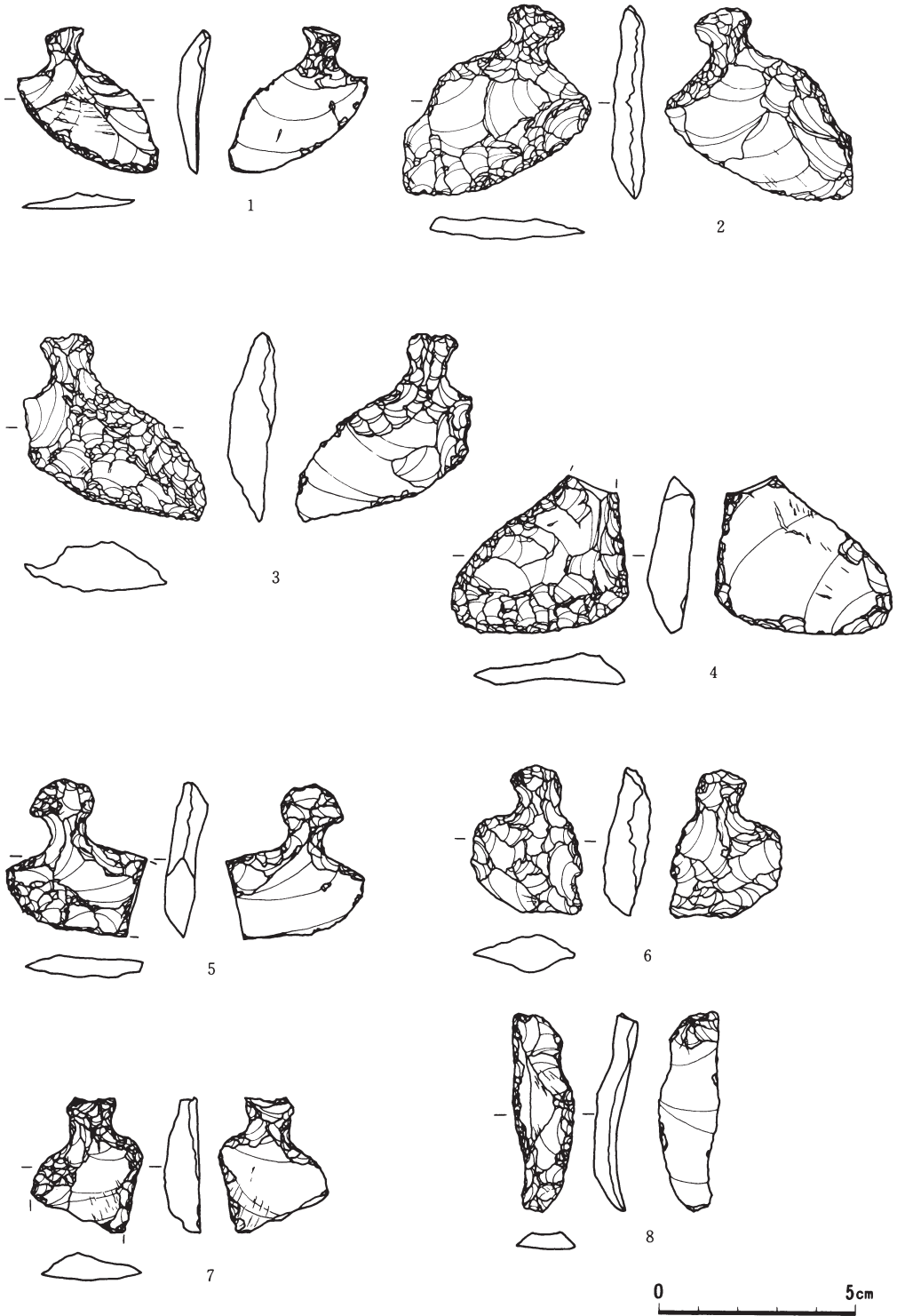
第180図 東捨て場出土石器 (8)



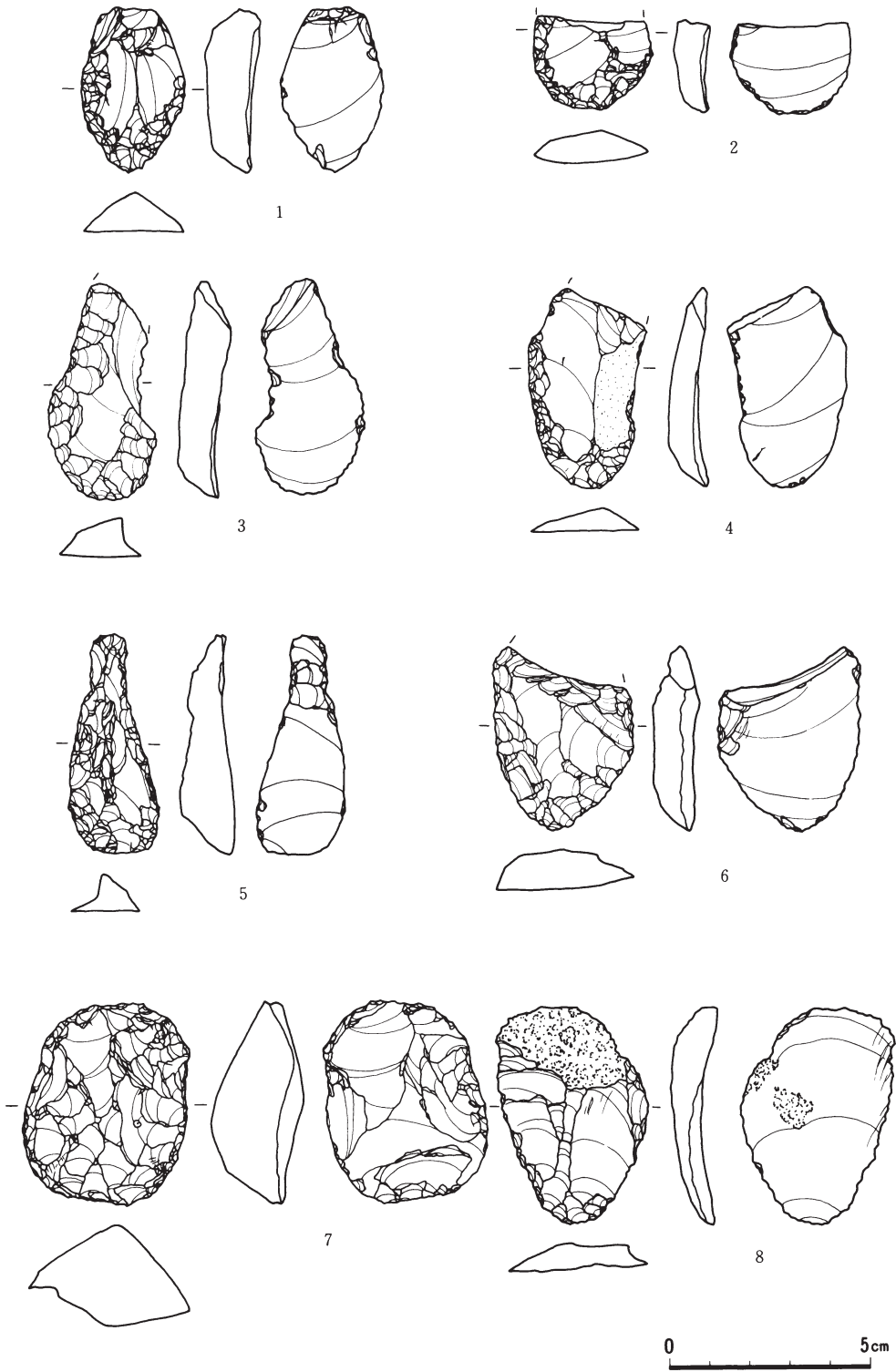
第181図 東捨て場出土石器 (9)



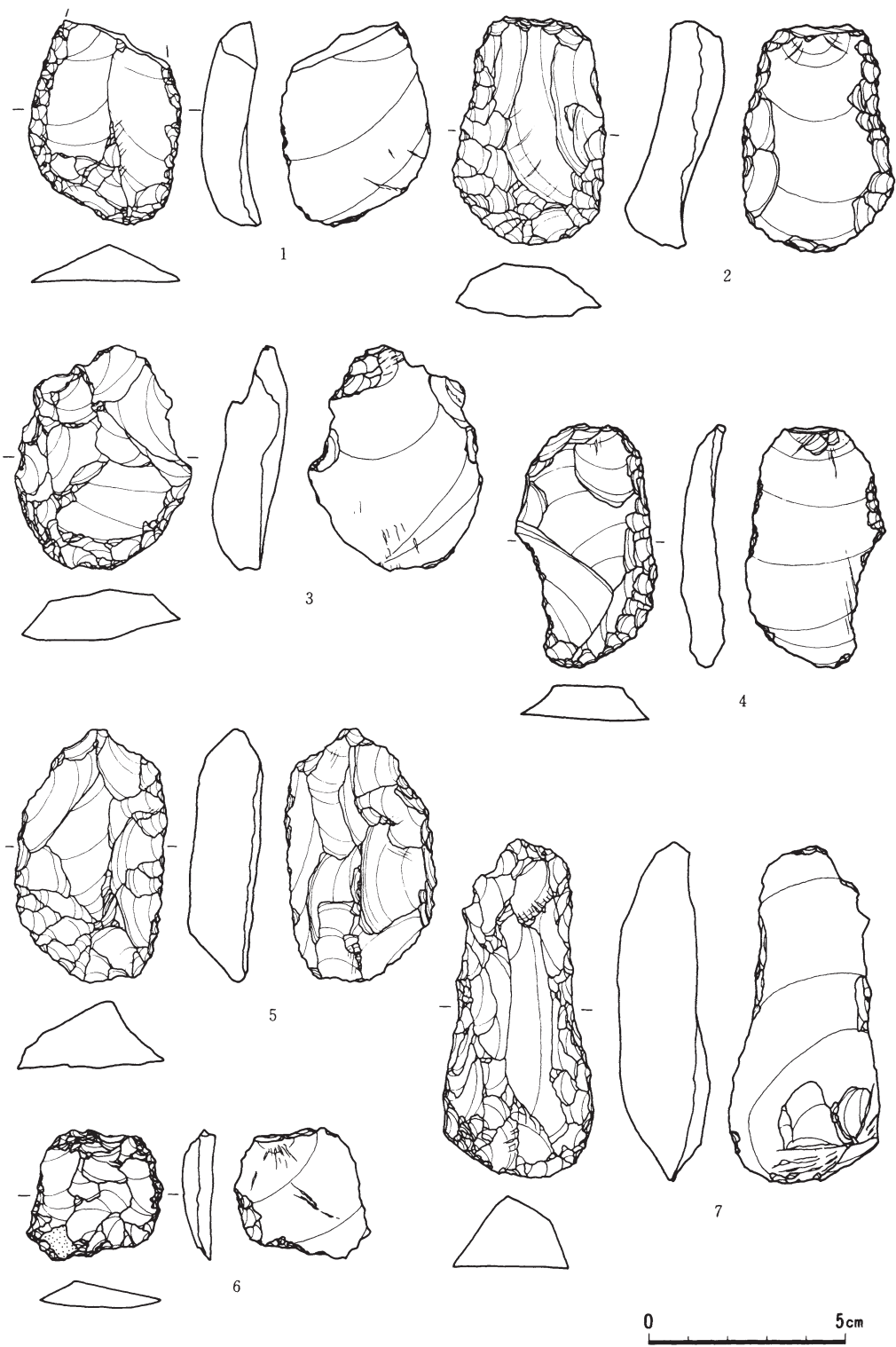
第182図 東捨て場出土石器 (10)



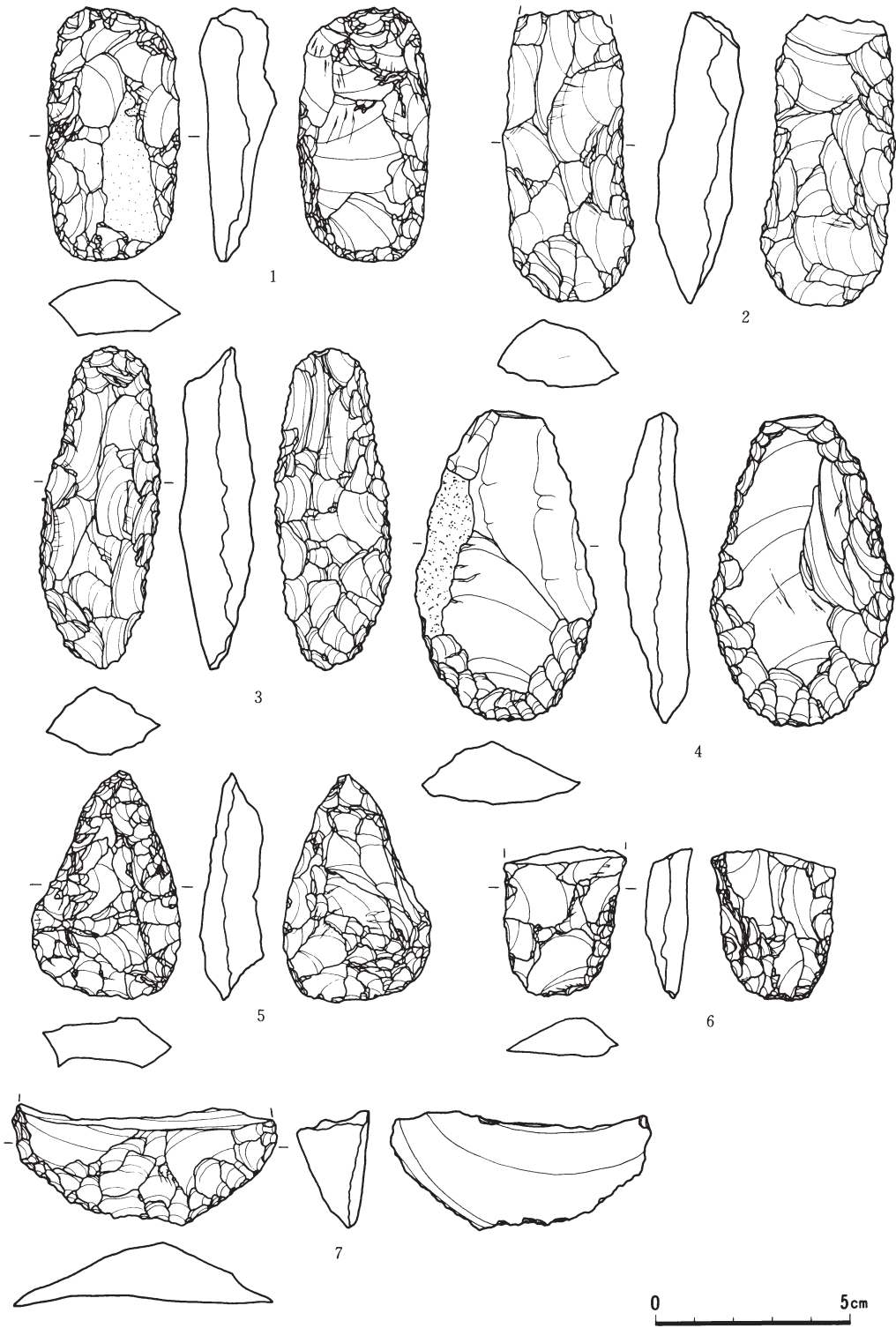
第183図 東捨て場出土石器 (11)



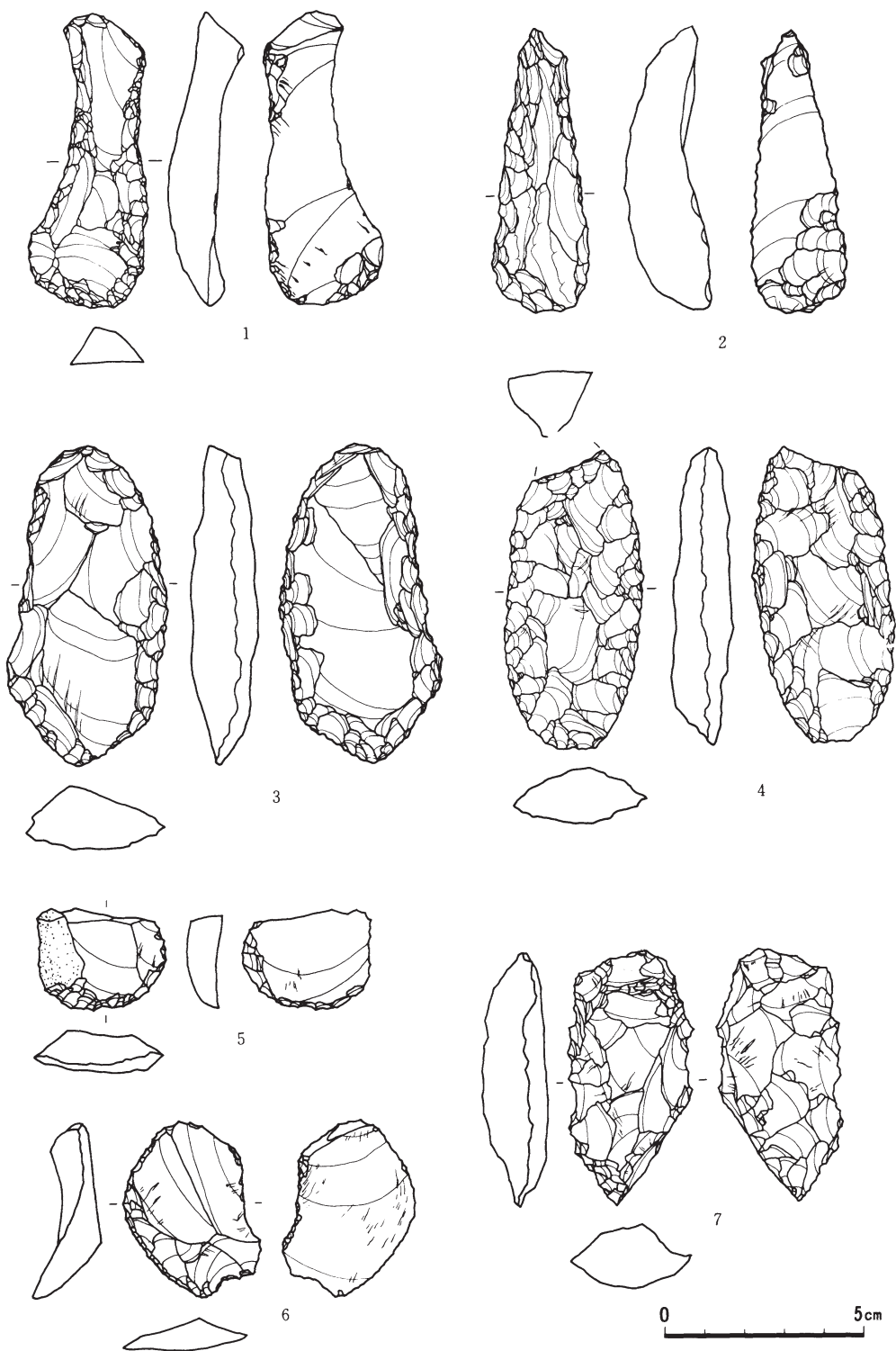
第184図 東捨て場出土石器 (12)



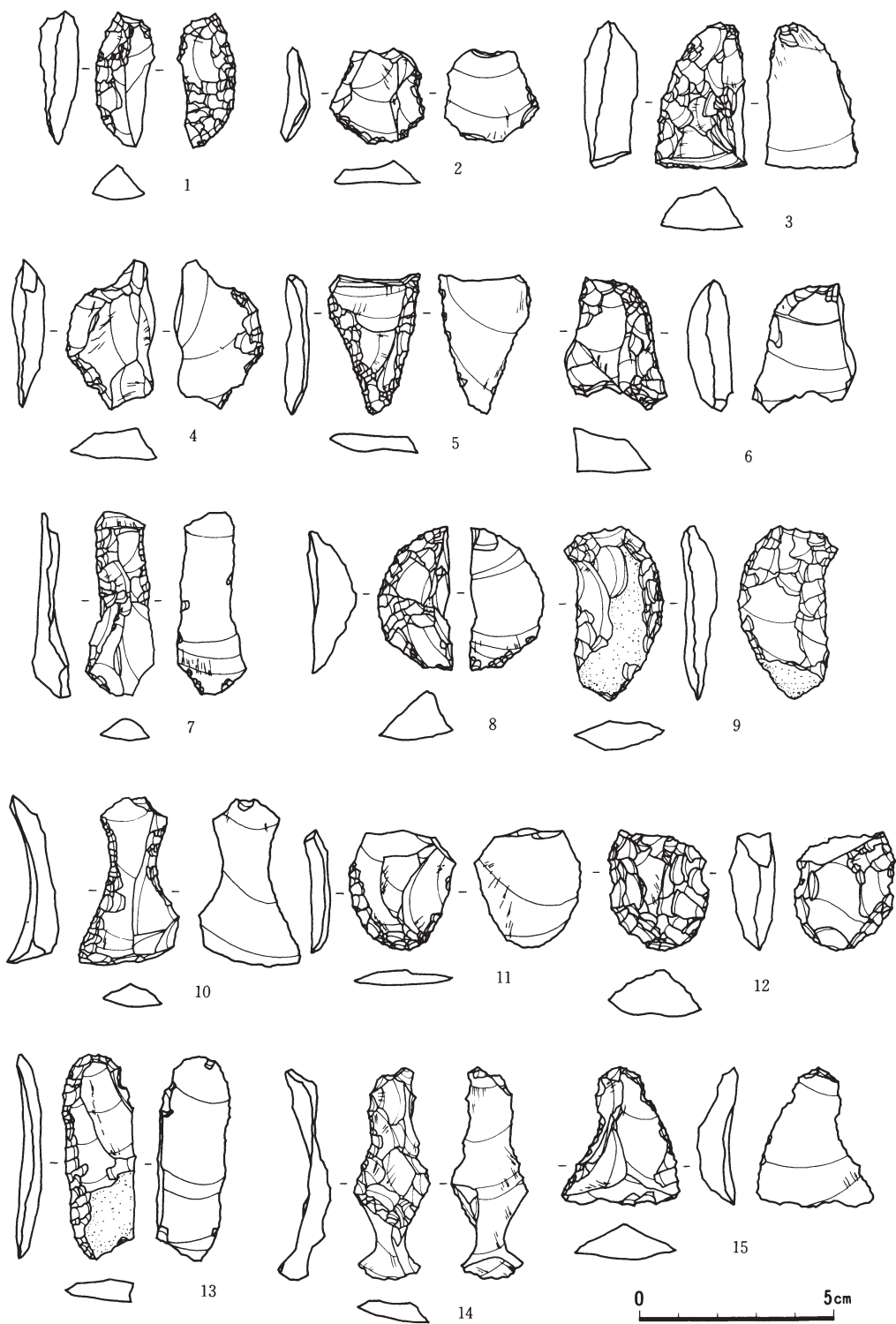
第185図 東捨て場出土石器 (13)



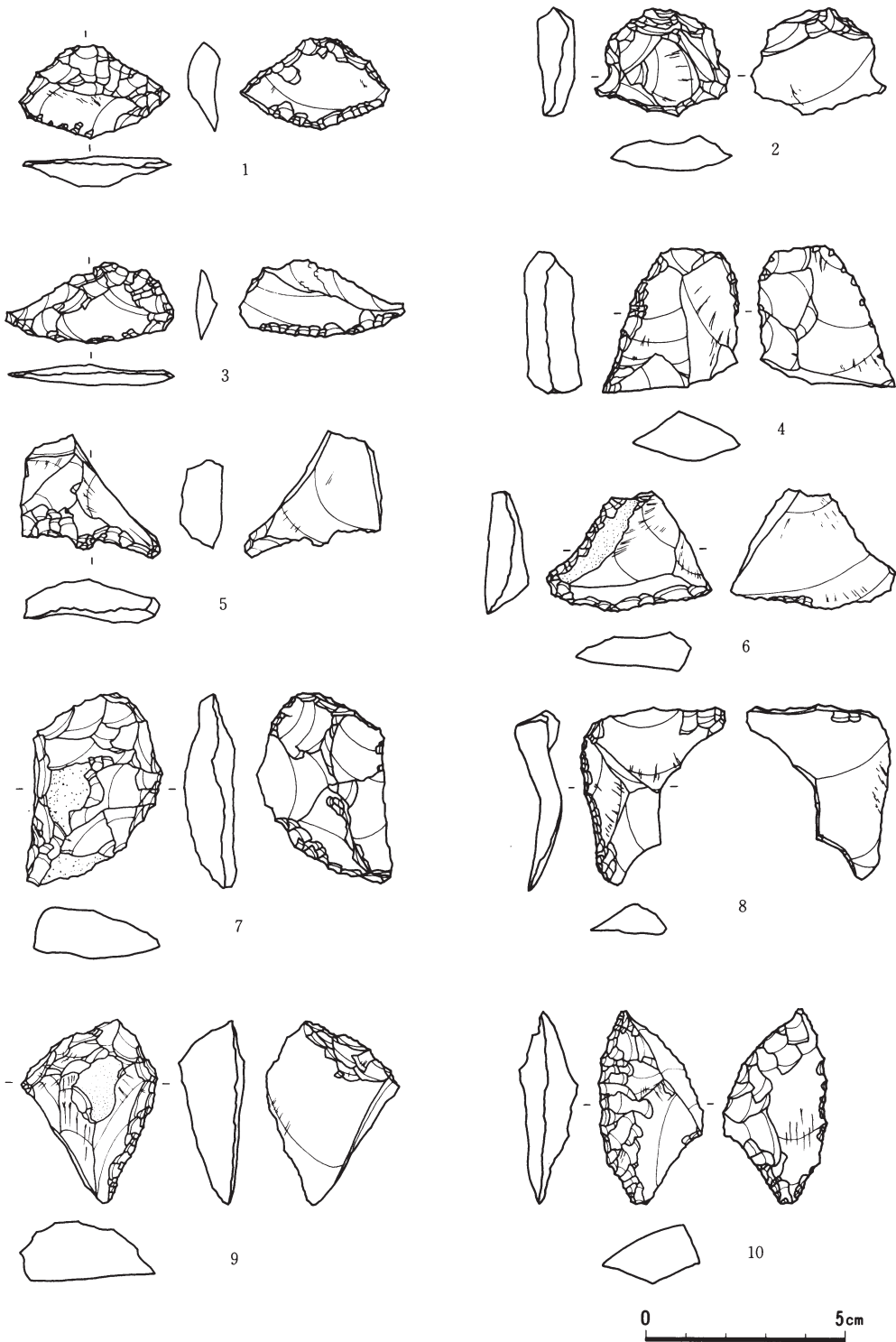
第186図 東捨て場出土石器 (14)



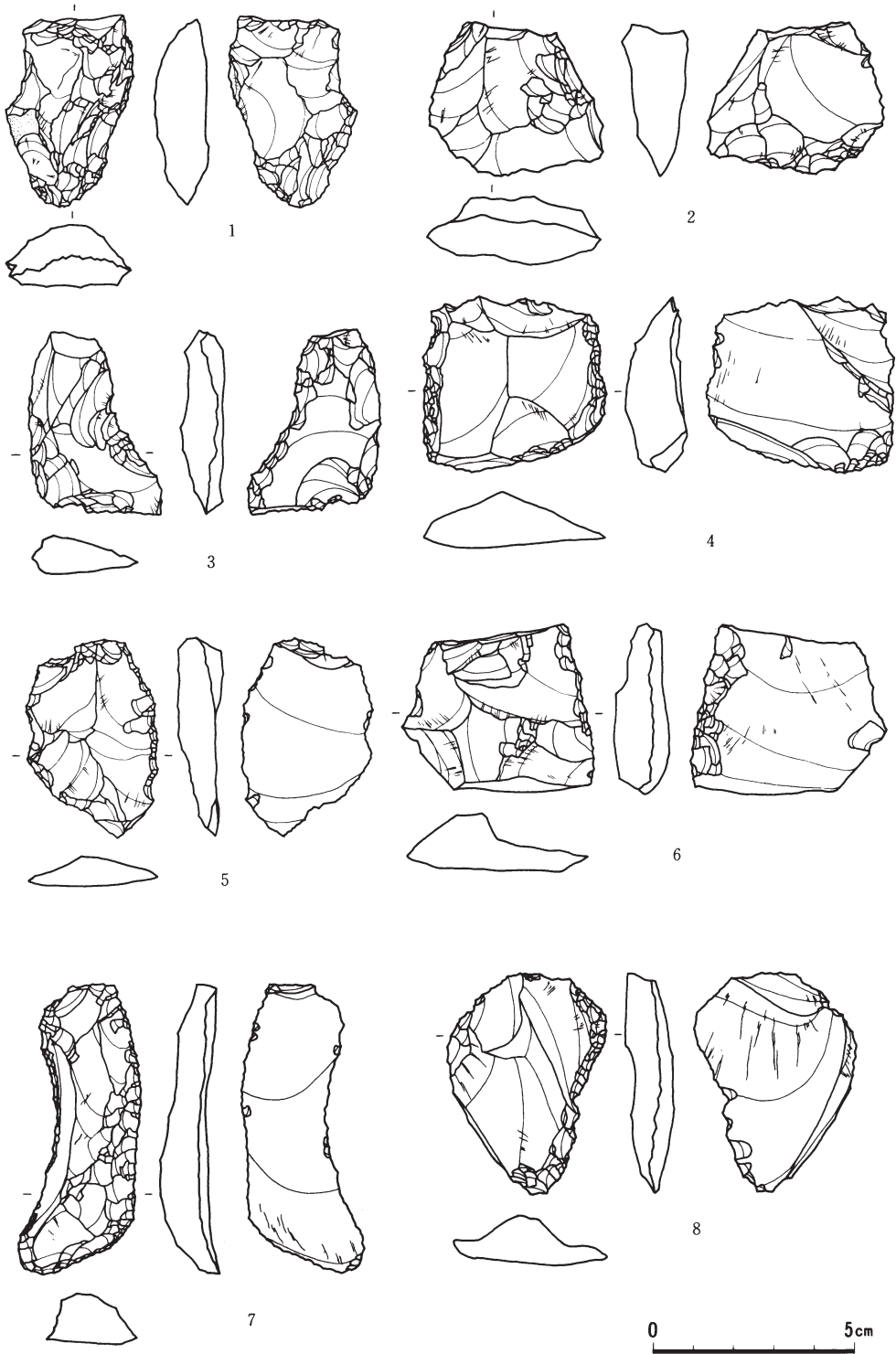
第187図 東捨て場出土石器 (15)



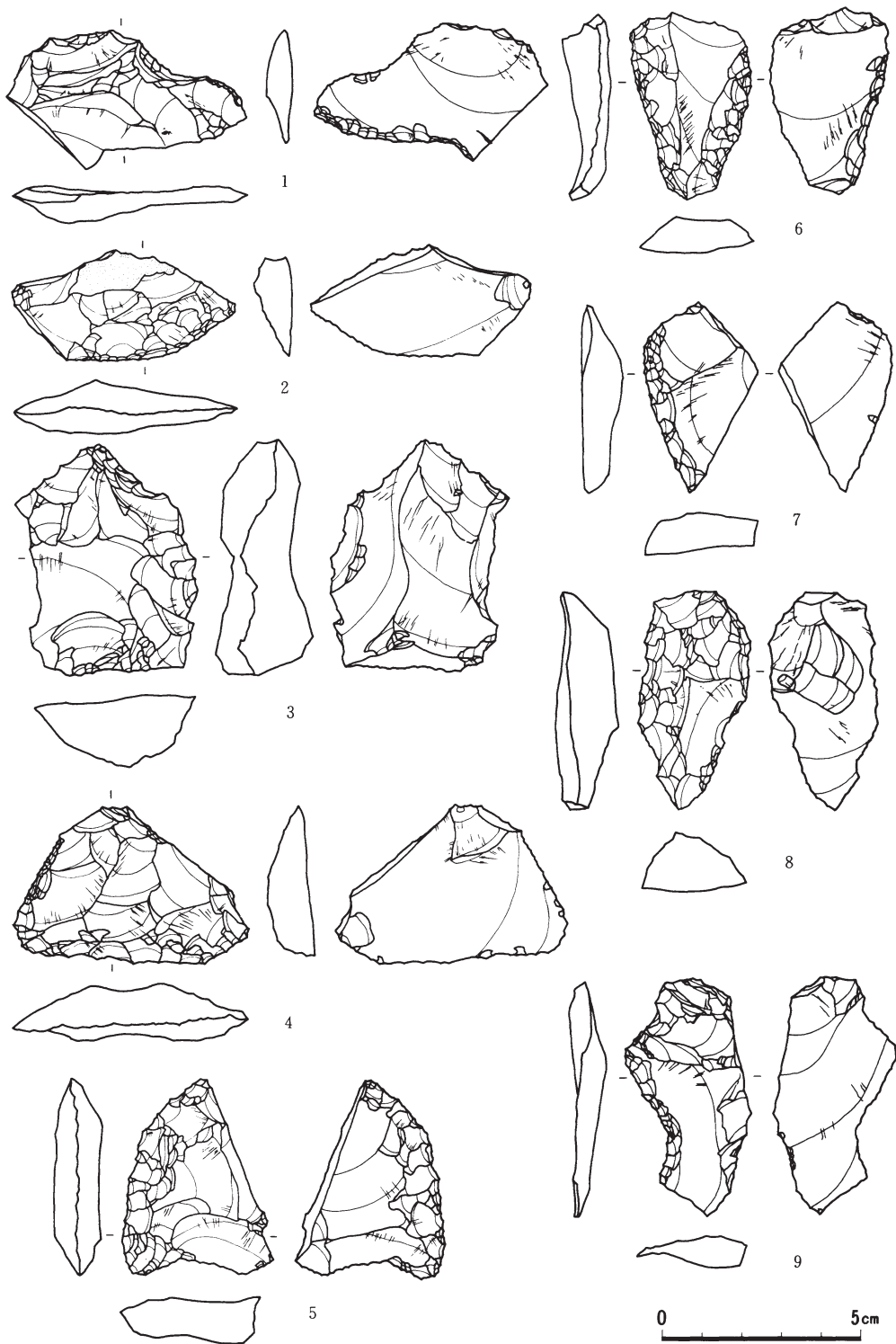
第188図 東捨て場出土石器 (16)



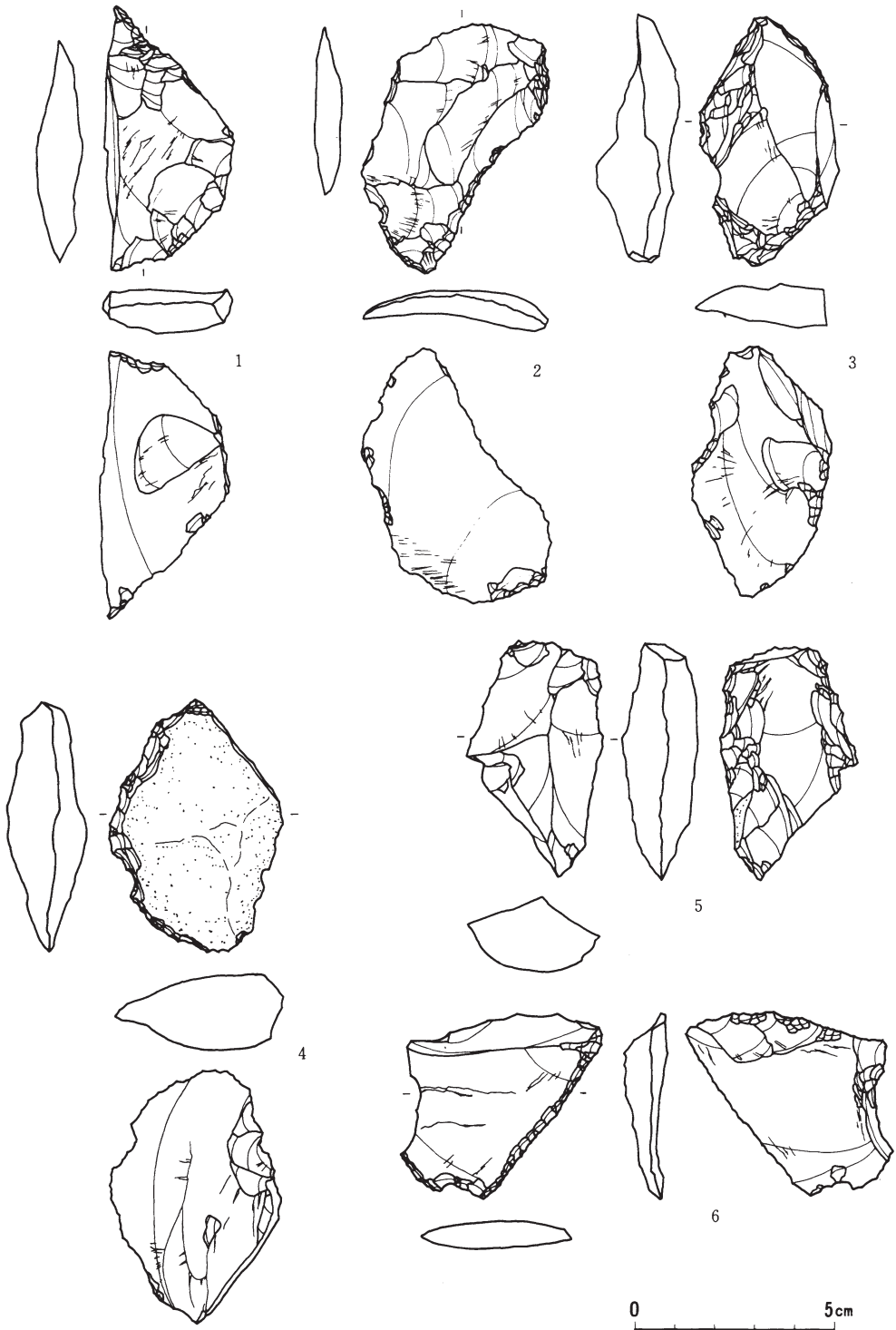
第189図 東捨て場出土石器 (17)



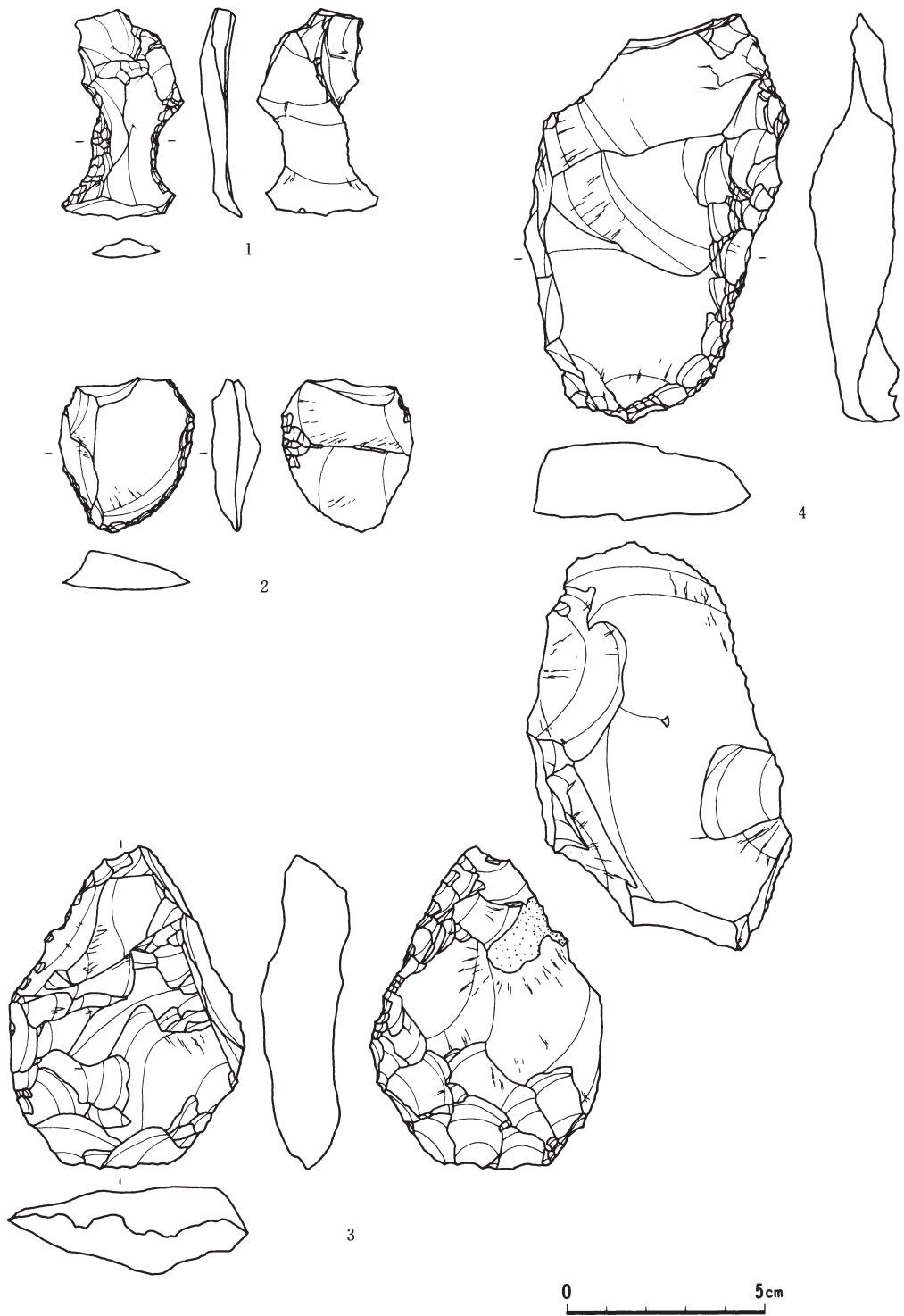
第190図 東捨て場出土石器 (18)



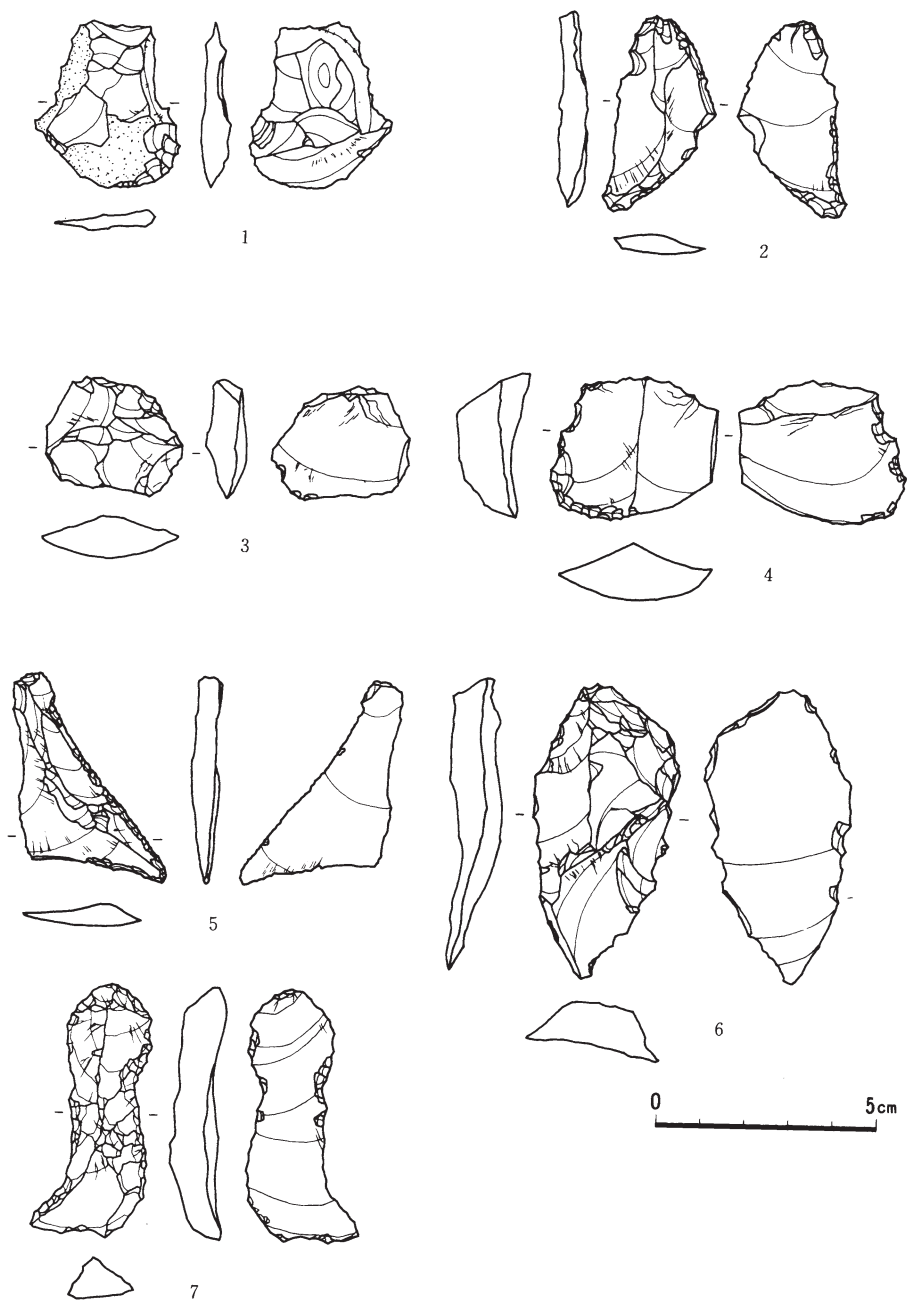
第191図 東捨て場出土石器 (19)



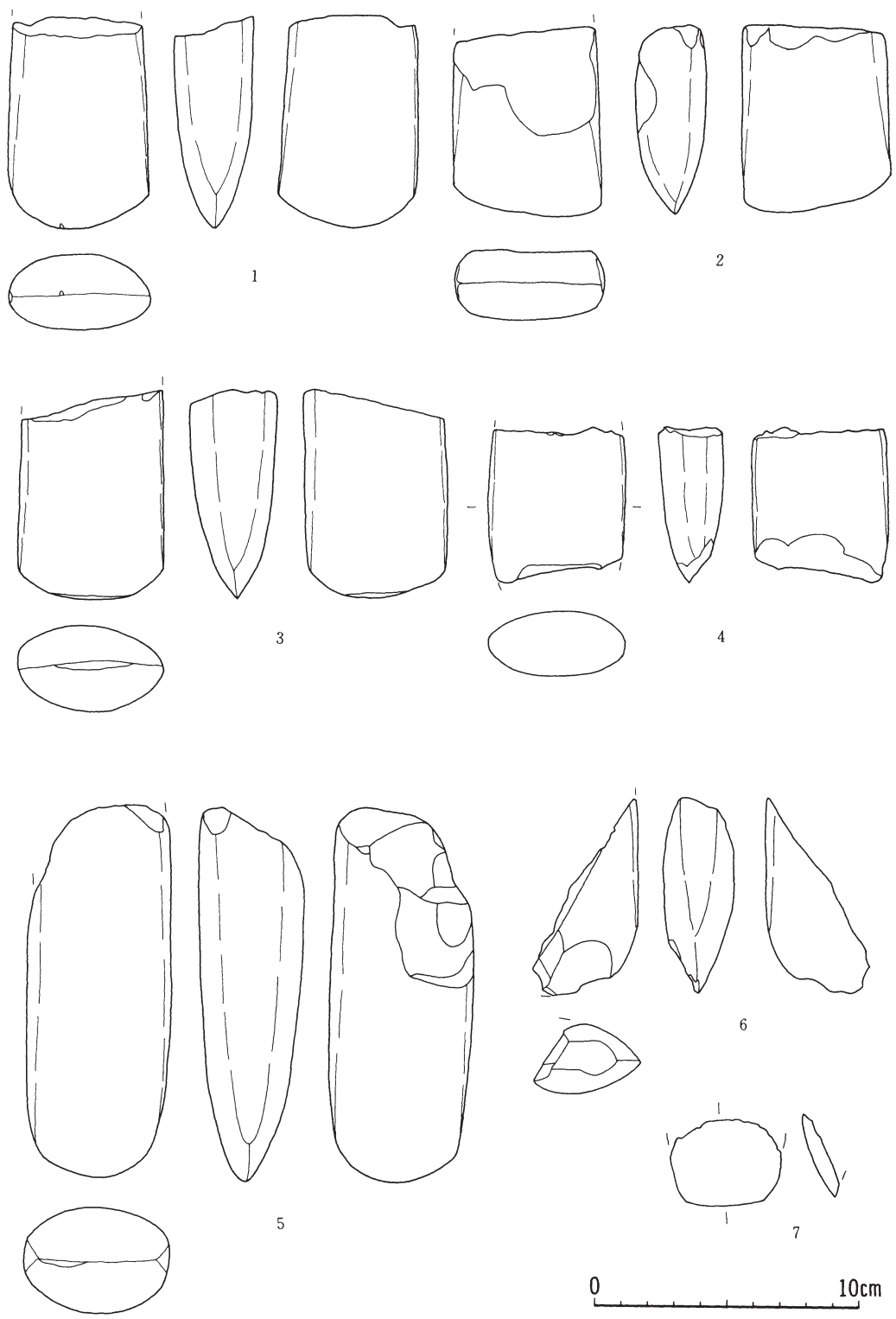
第192図 東捨て場出土石器 (20)



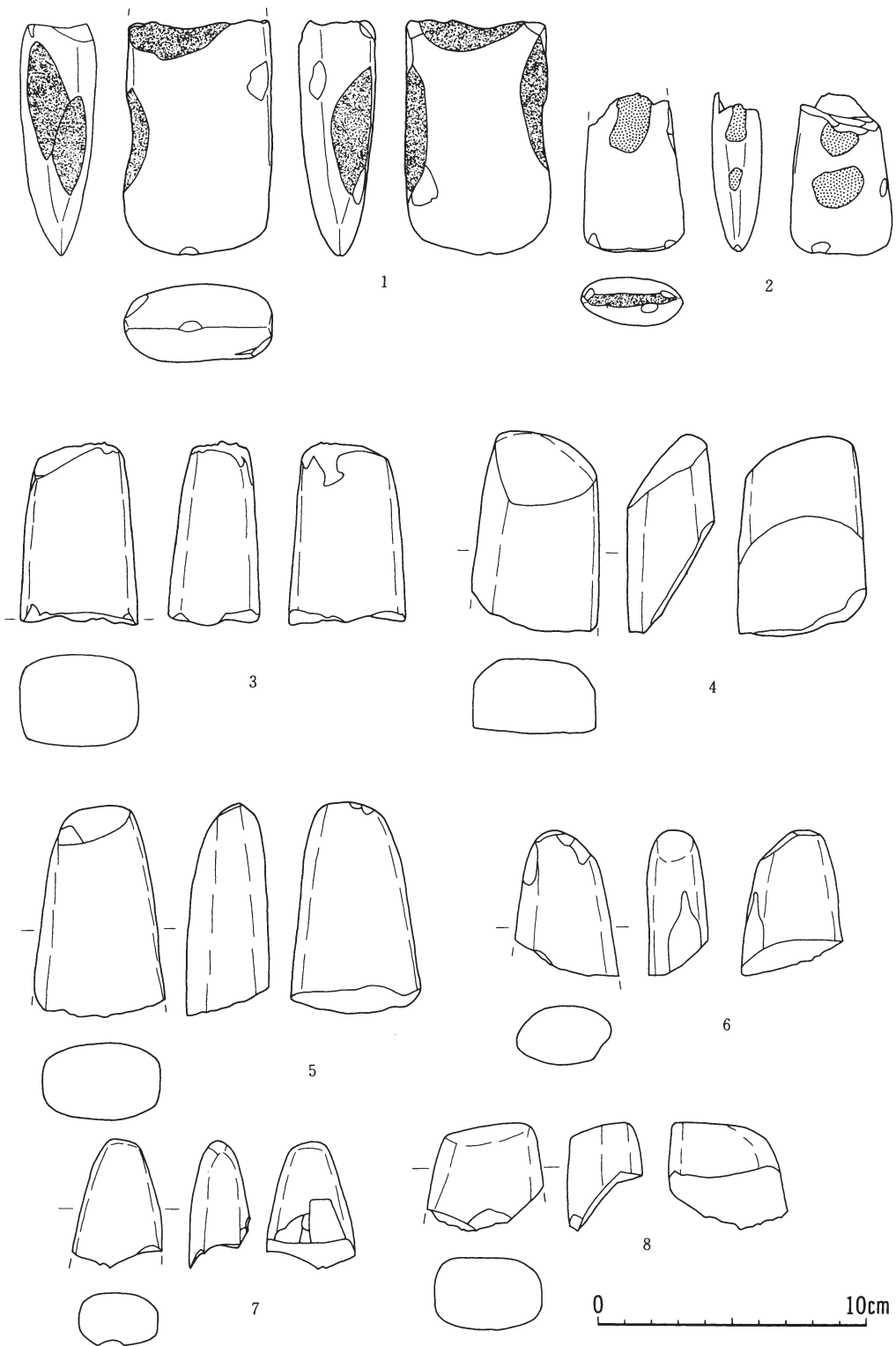
第193図 東捨て場出土石器 (21)



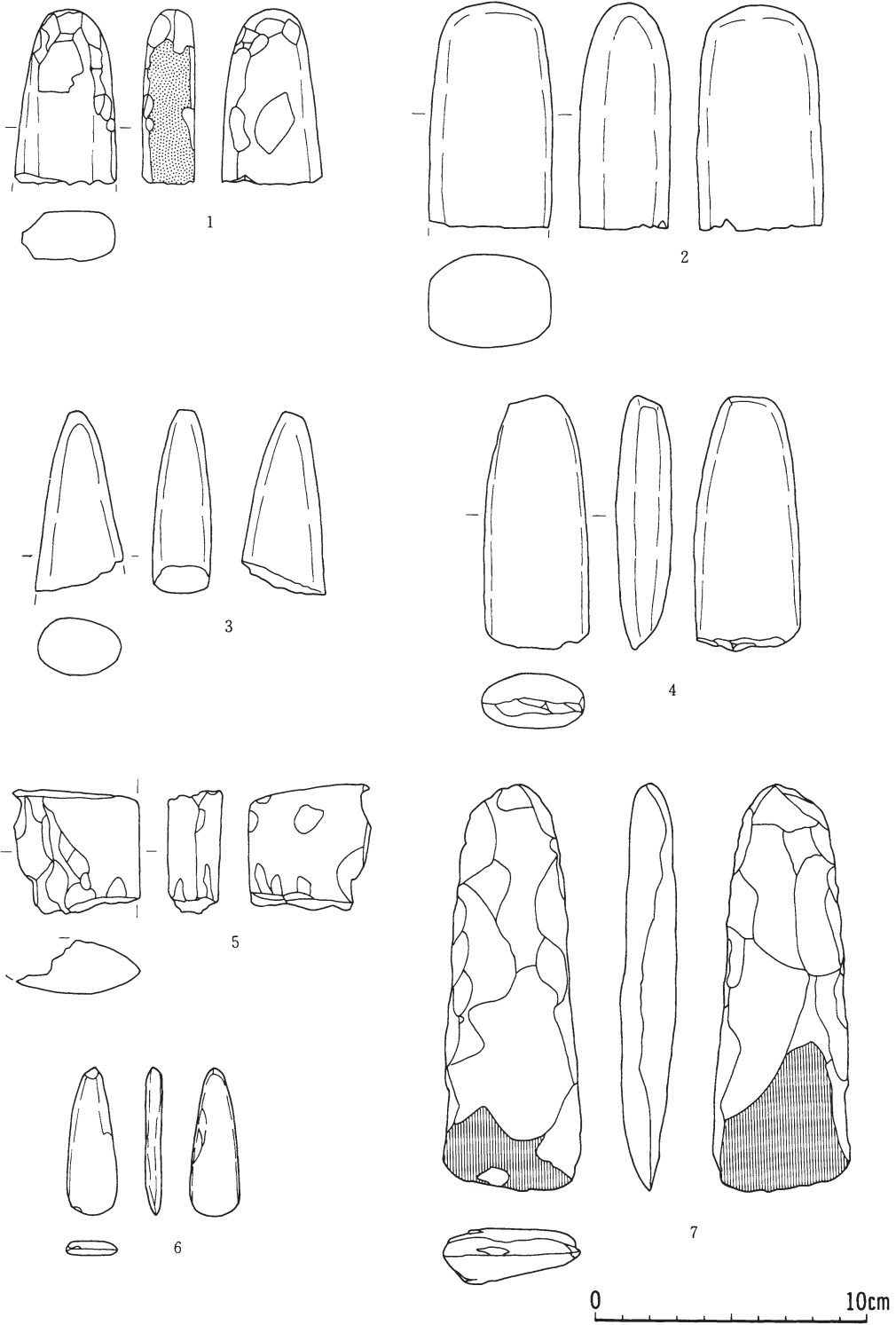
第194図 東捨て場出土石器 (22)



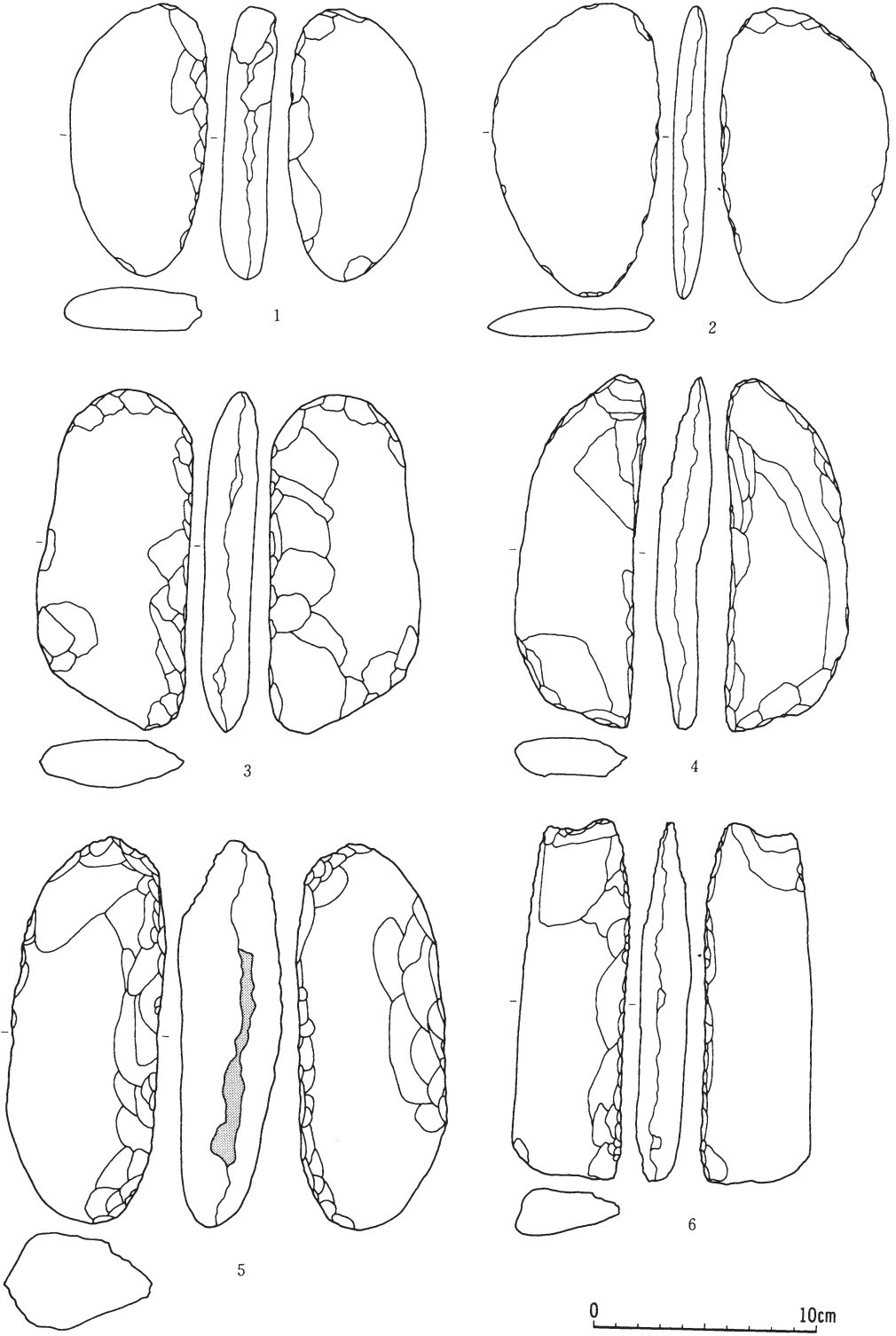
第195図 東捨て場出土石器 (23)



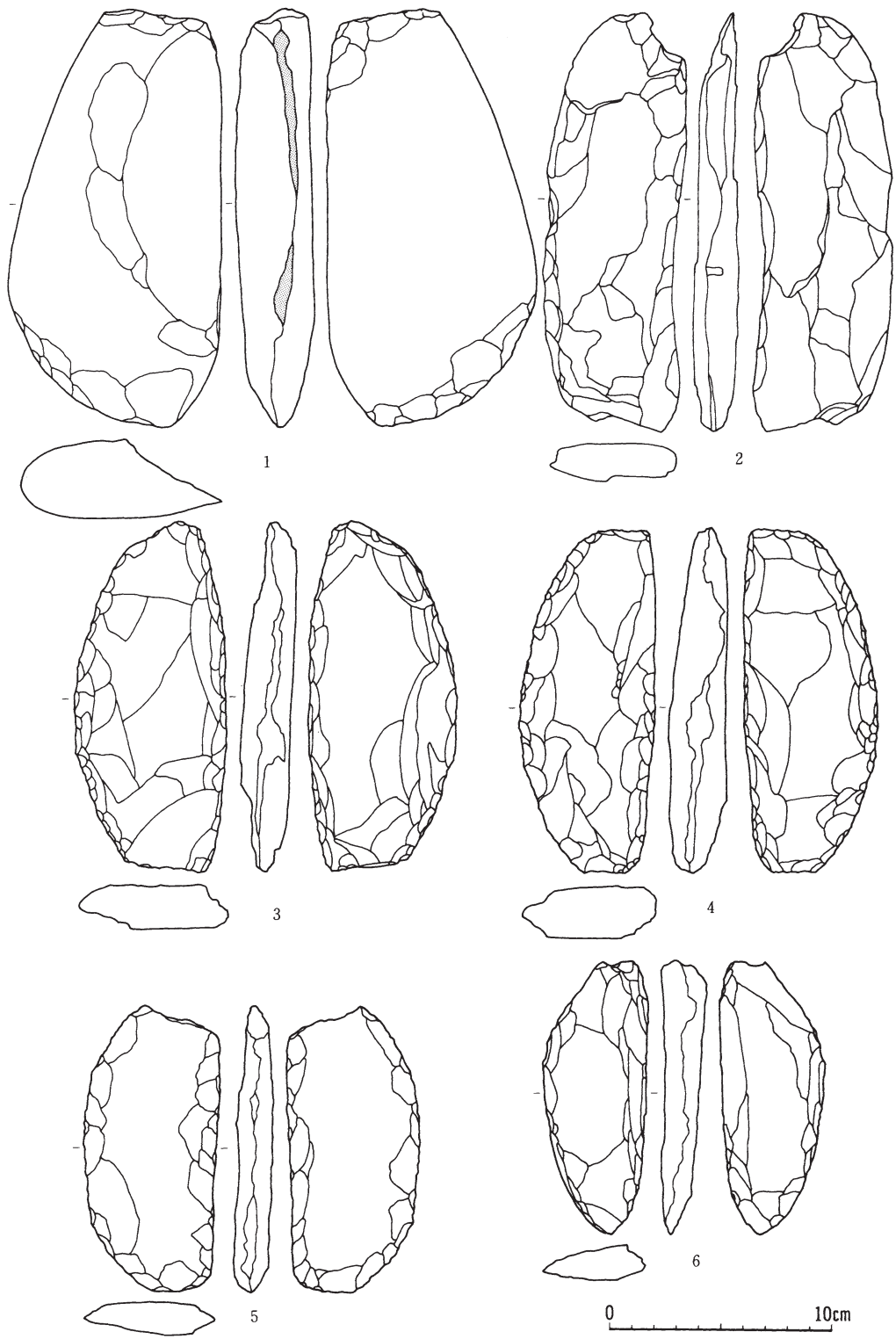
第196図 東捨て場出土石器 (24)



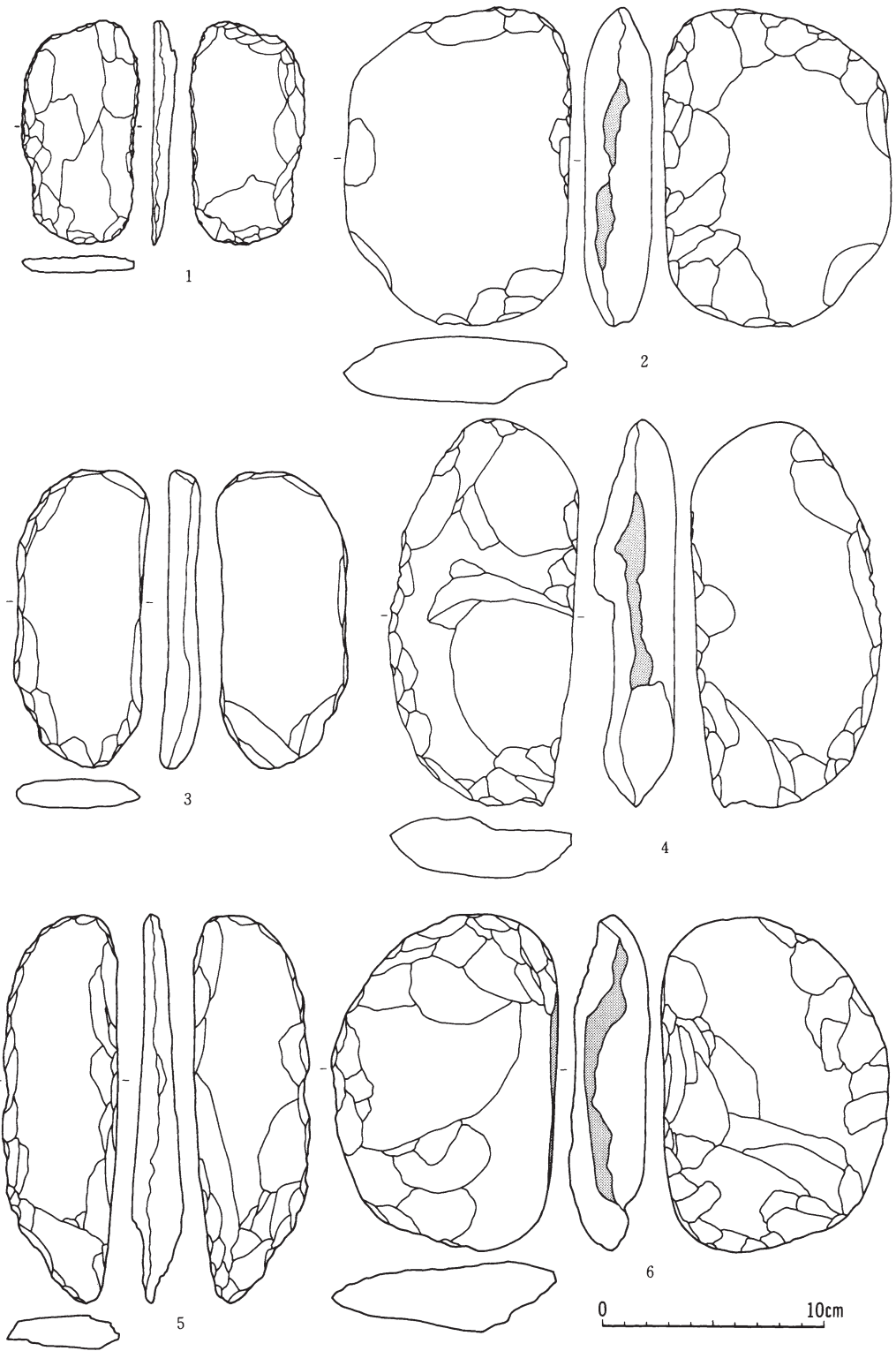
第197図 東捨て場出土石器 (25)



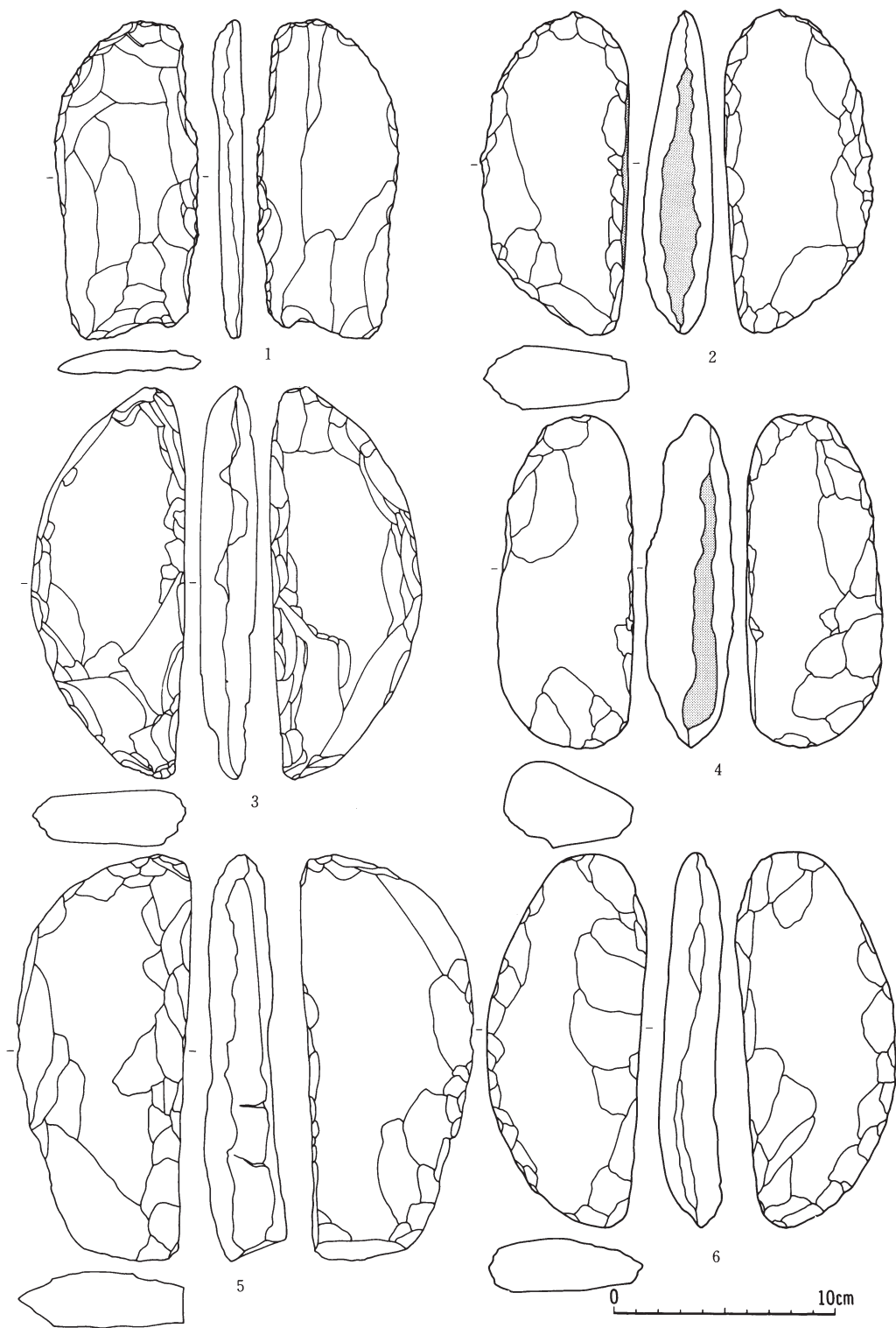
第198図 東捨て場出土石器 (26)



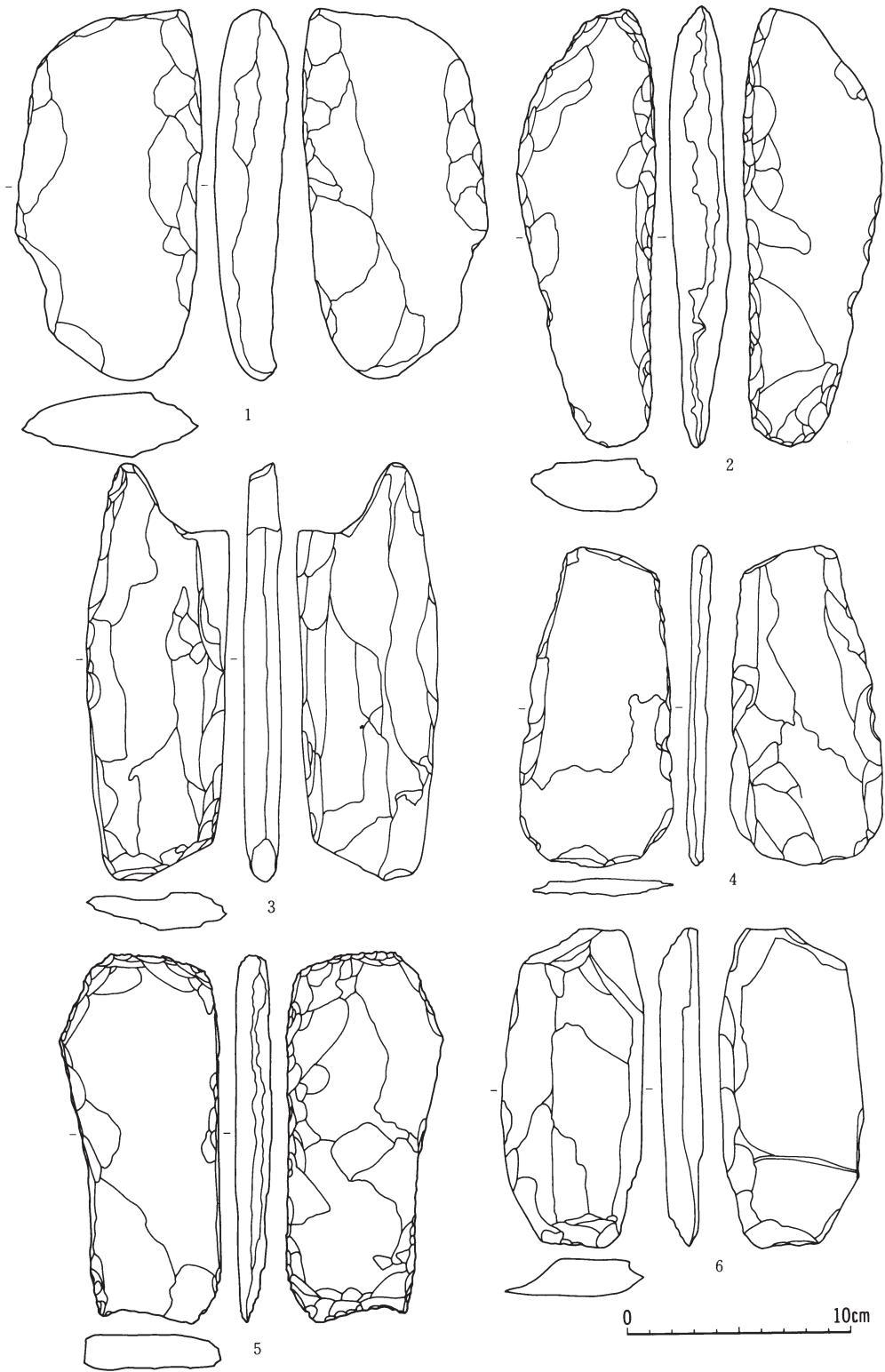
第199図 東捨て場出土石器 (27)



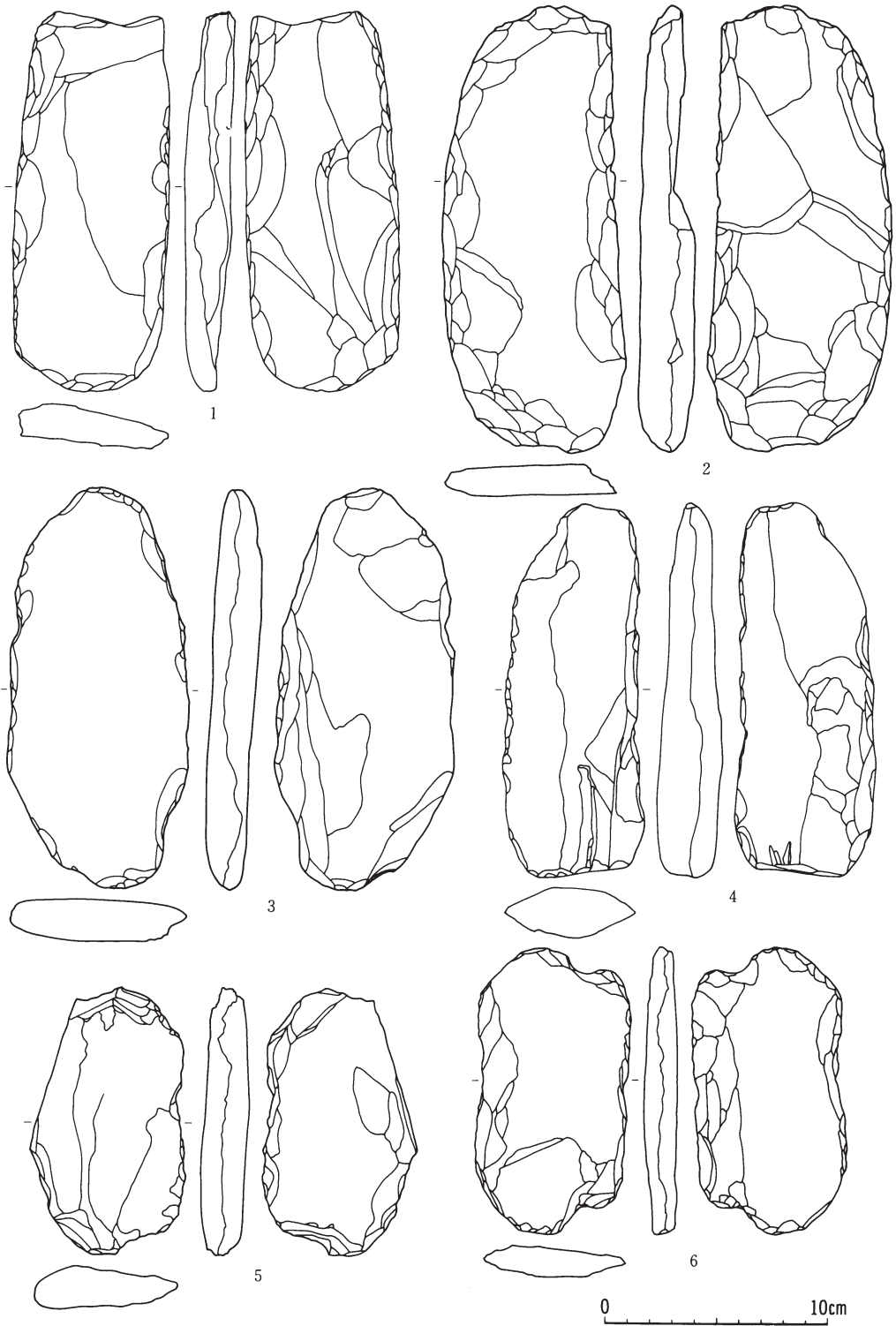
第200図 東捨て場出土石器 (28)



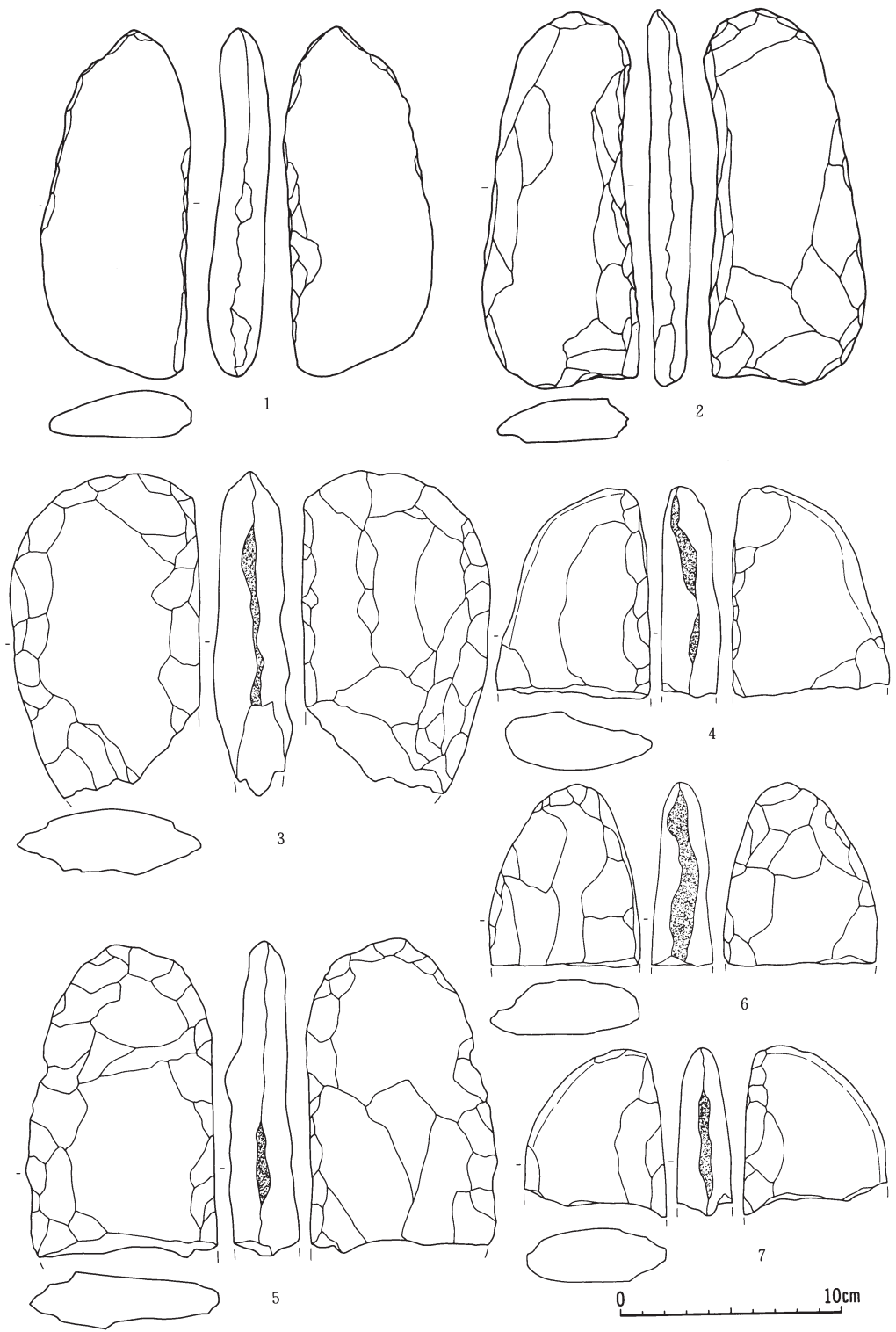
第201図 東捨て場出土石器 (29)



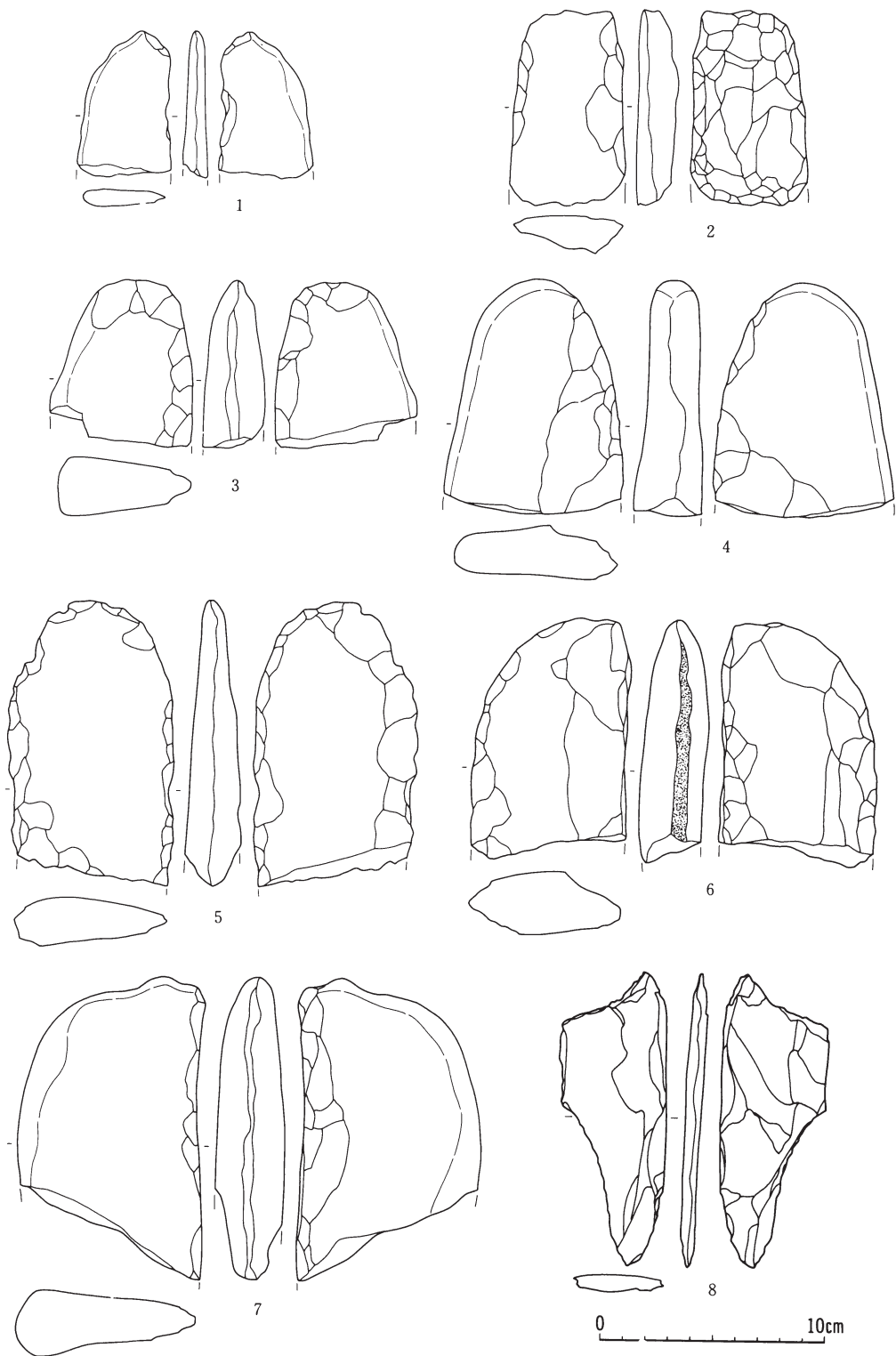
第202図 東捨て場出土石器 (30)



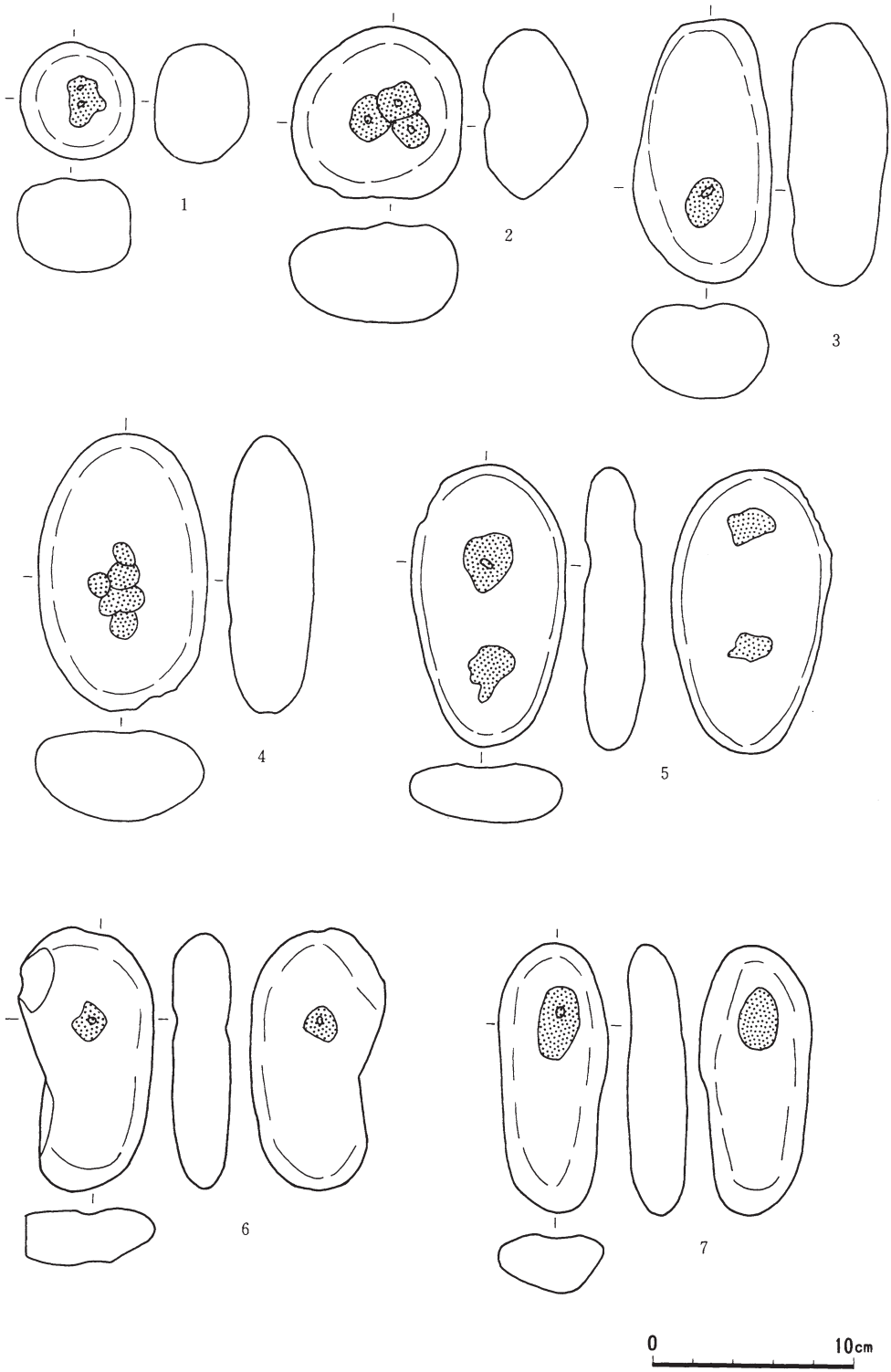
第203図 東捨て場出土石器 (31)



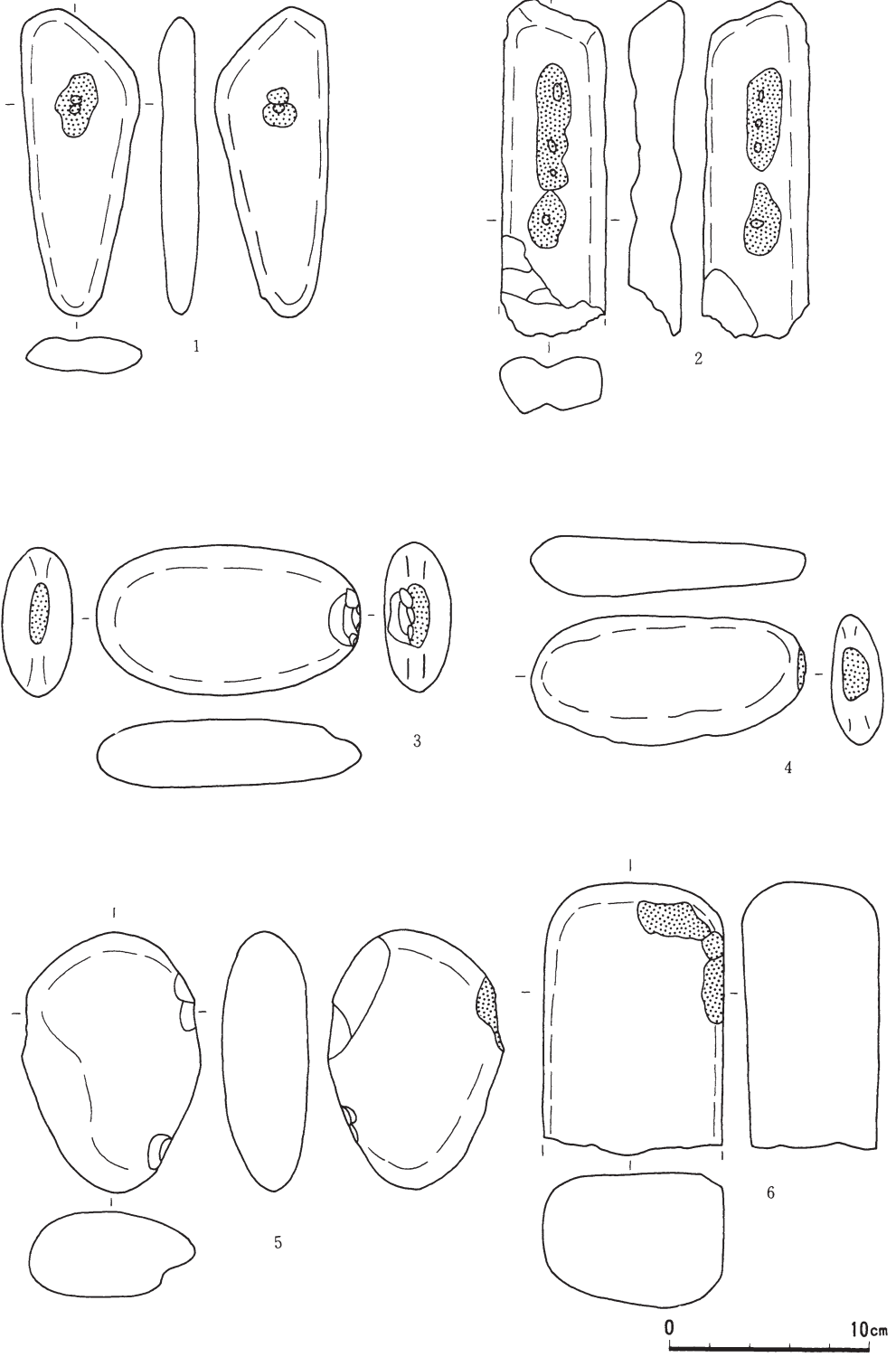
第204図 東捨て場出土石器 (32)



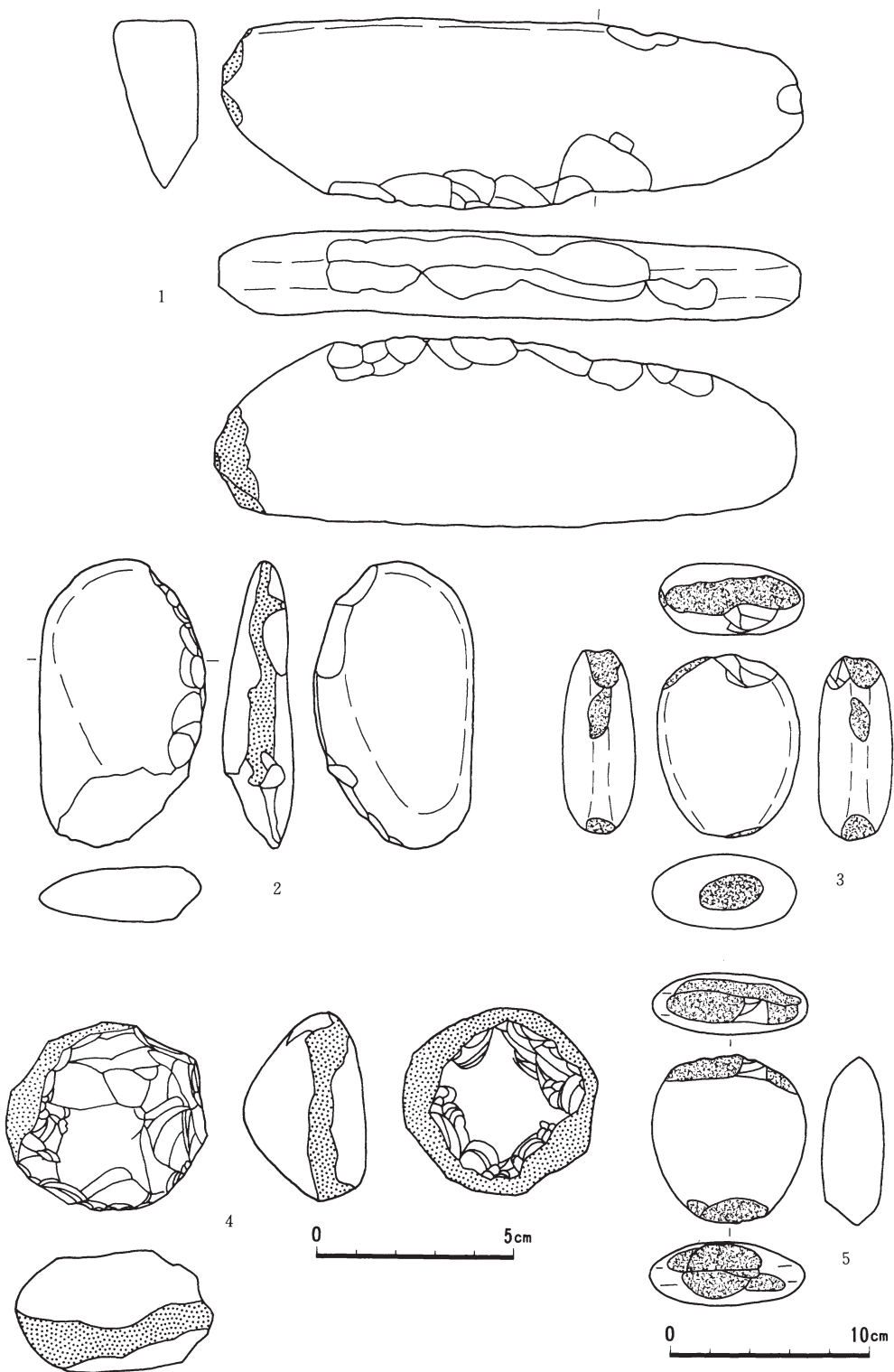
第205図 東捨て場出土石器 (33)



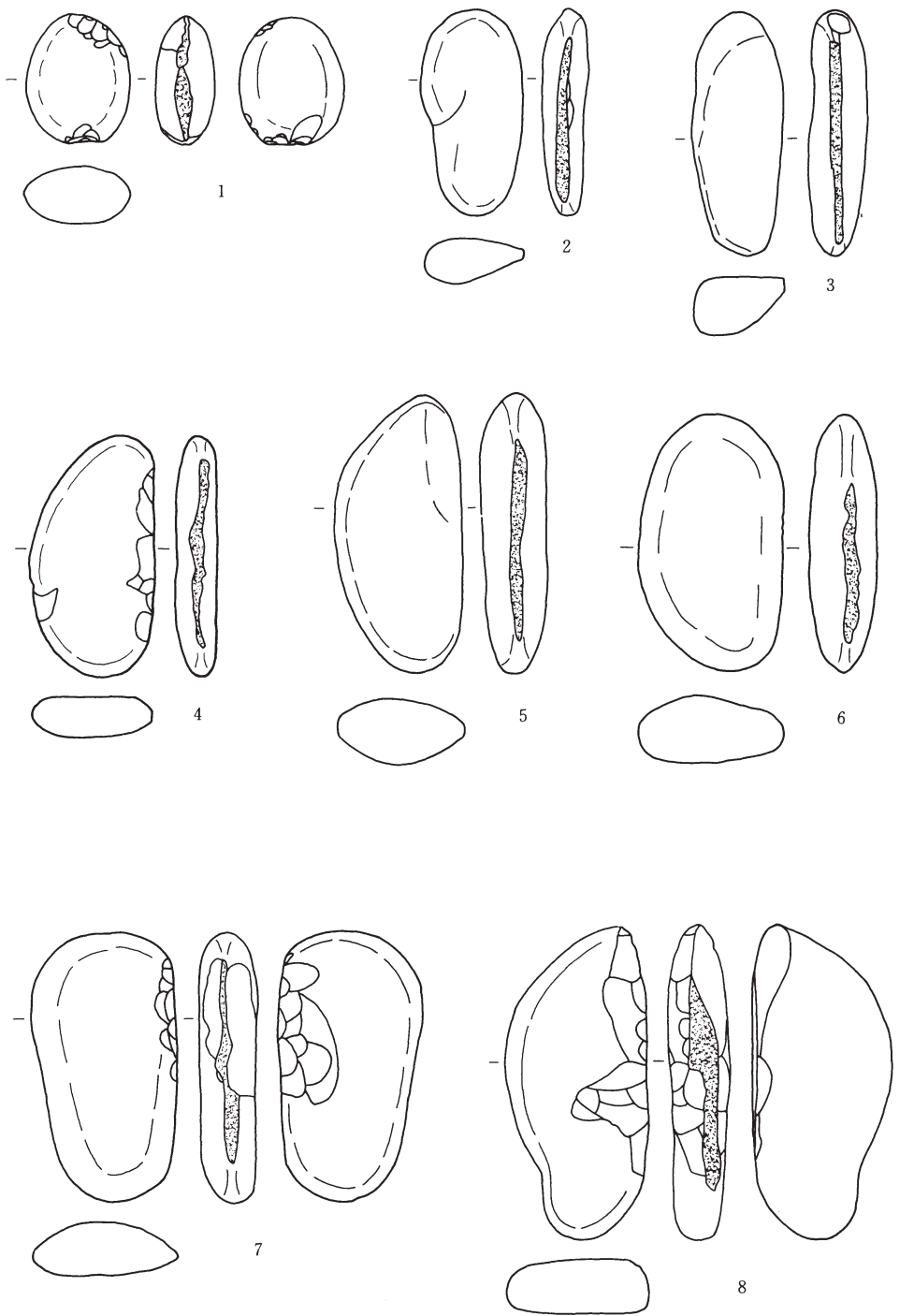
第206図 東捨て場出土石器 (34)



第207図 東捨て場出土石器 (35)

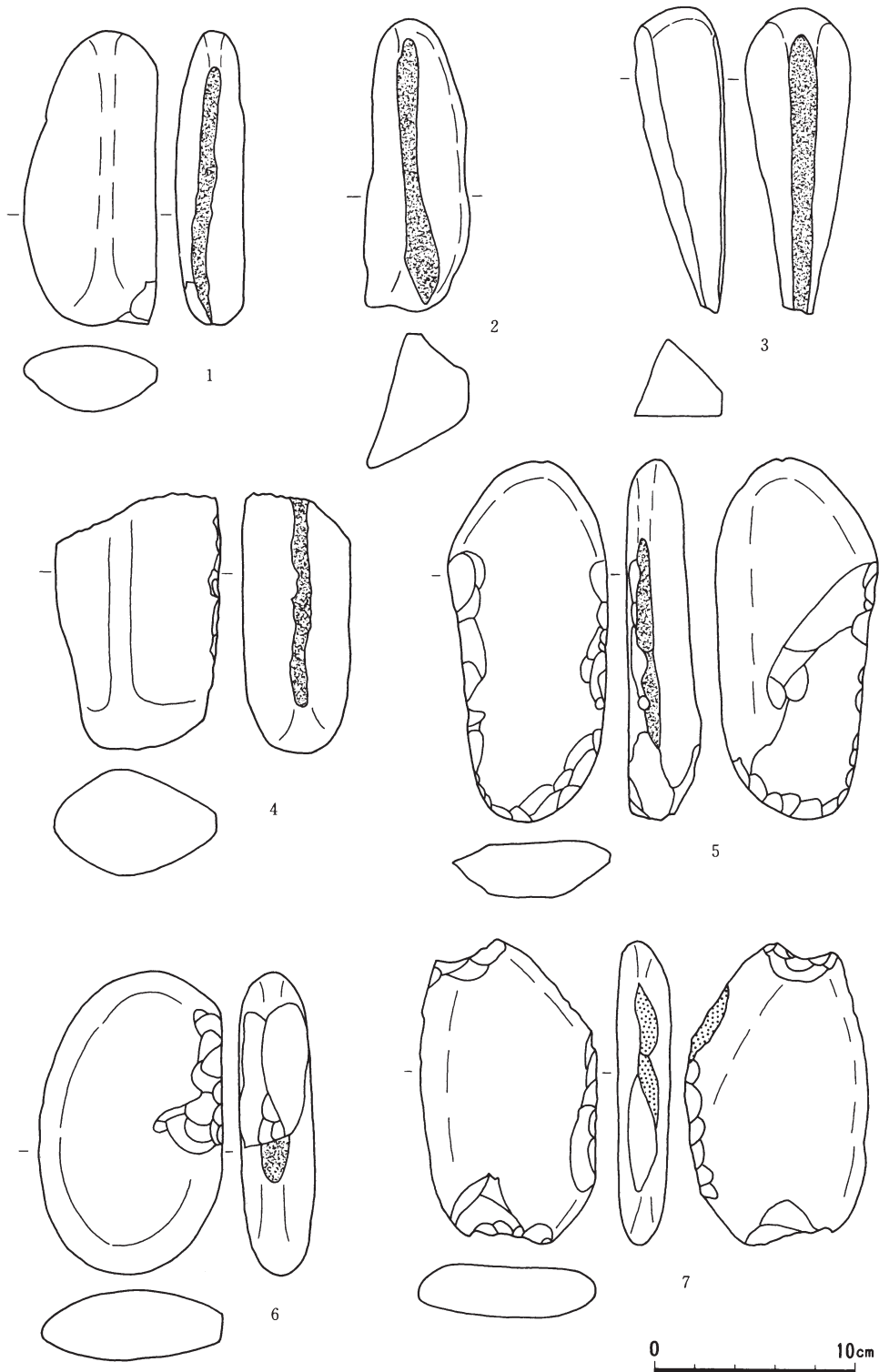


第208図 東捨て場出土石器 (36)

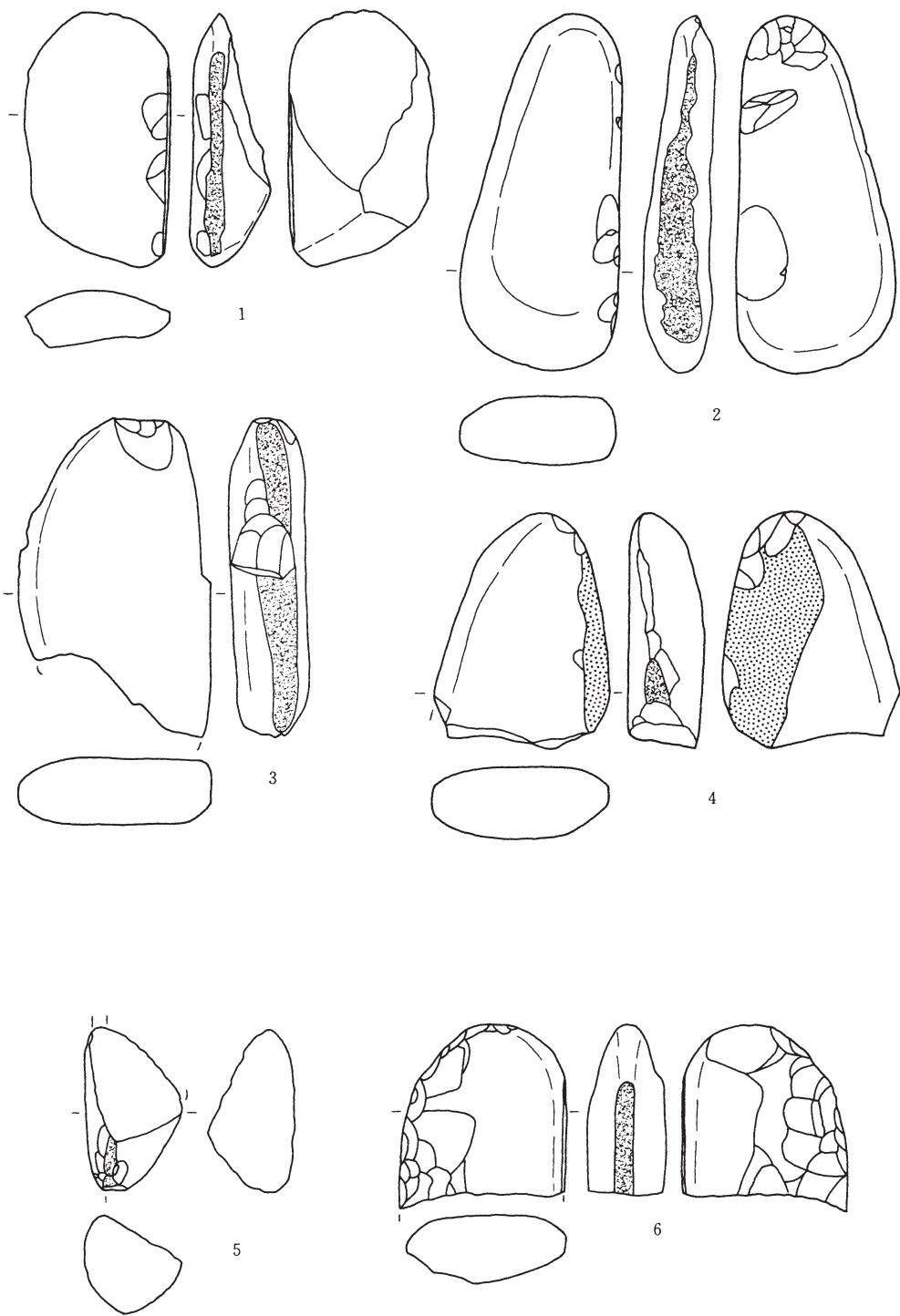


0 10cm

第209図 東捨て場出土石器 (37)

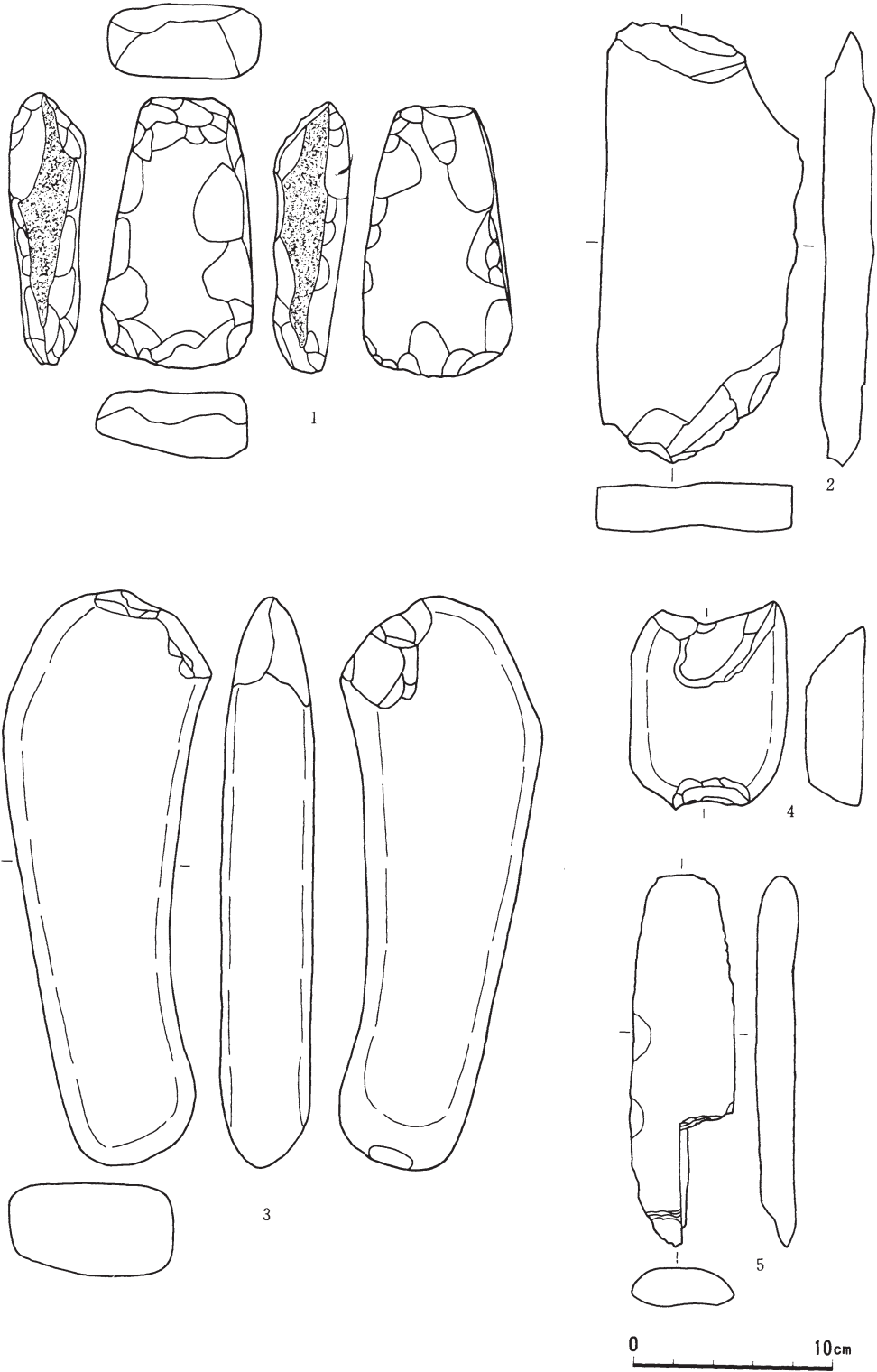


第210図 東捨て場出土石器 (38)

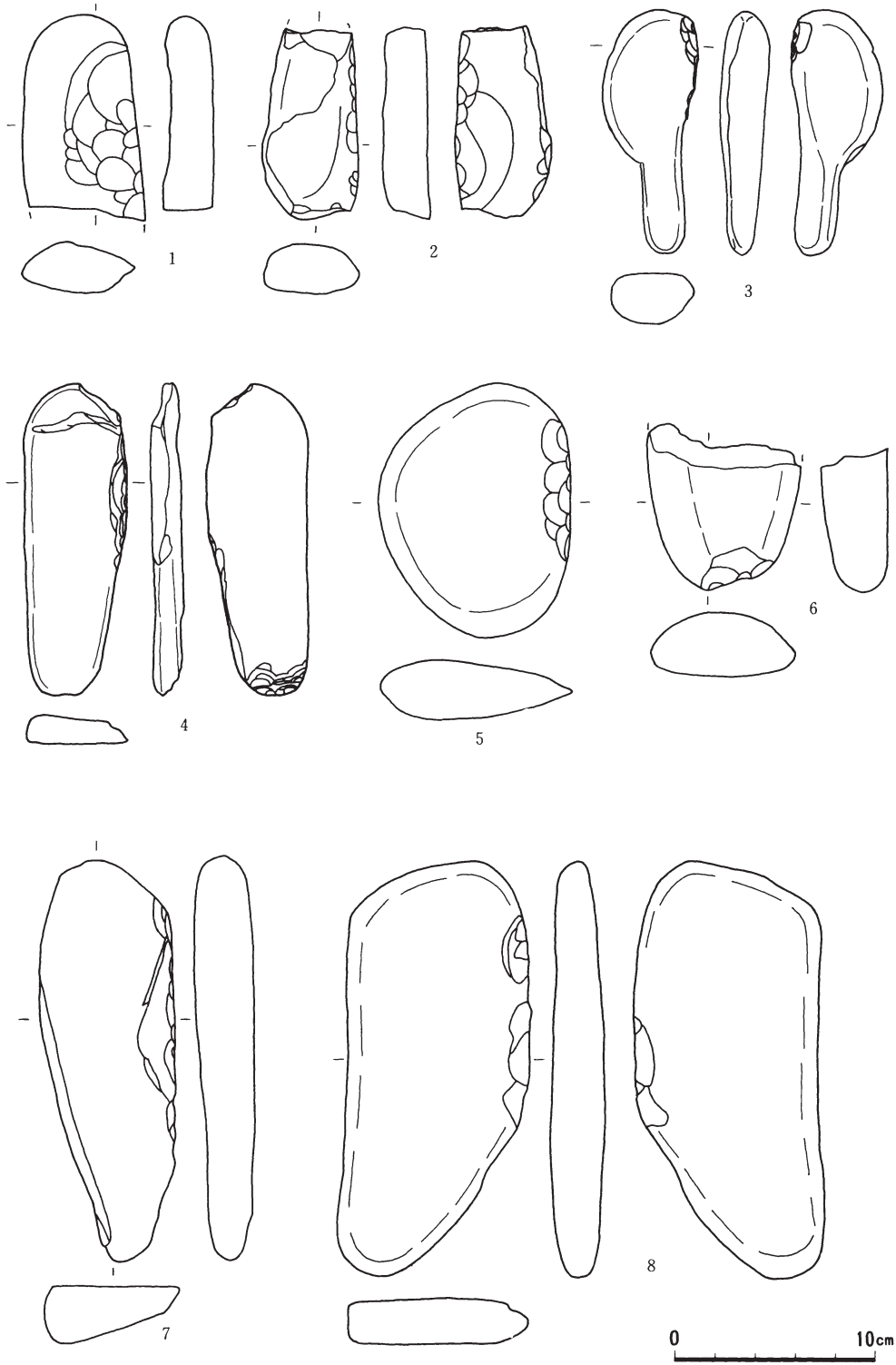


0 10cm

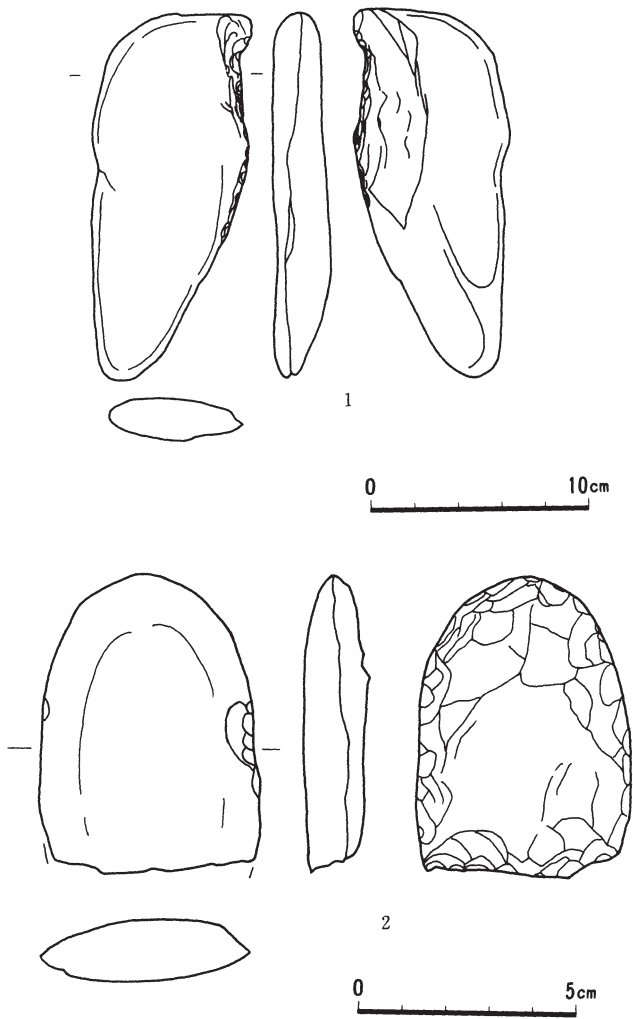
第211図 東捨て場出土石器 (39)



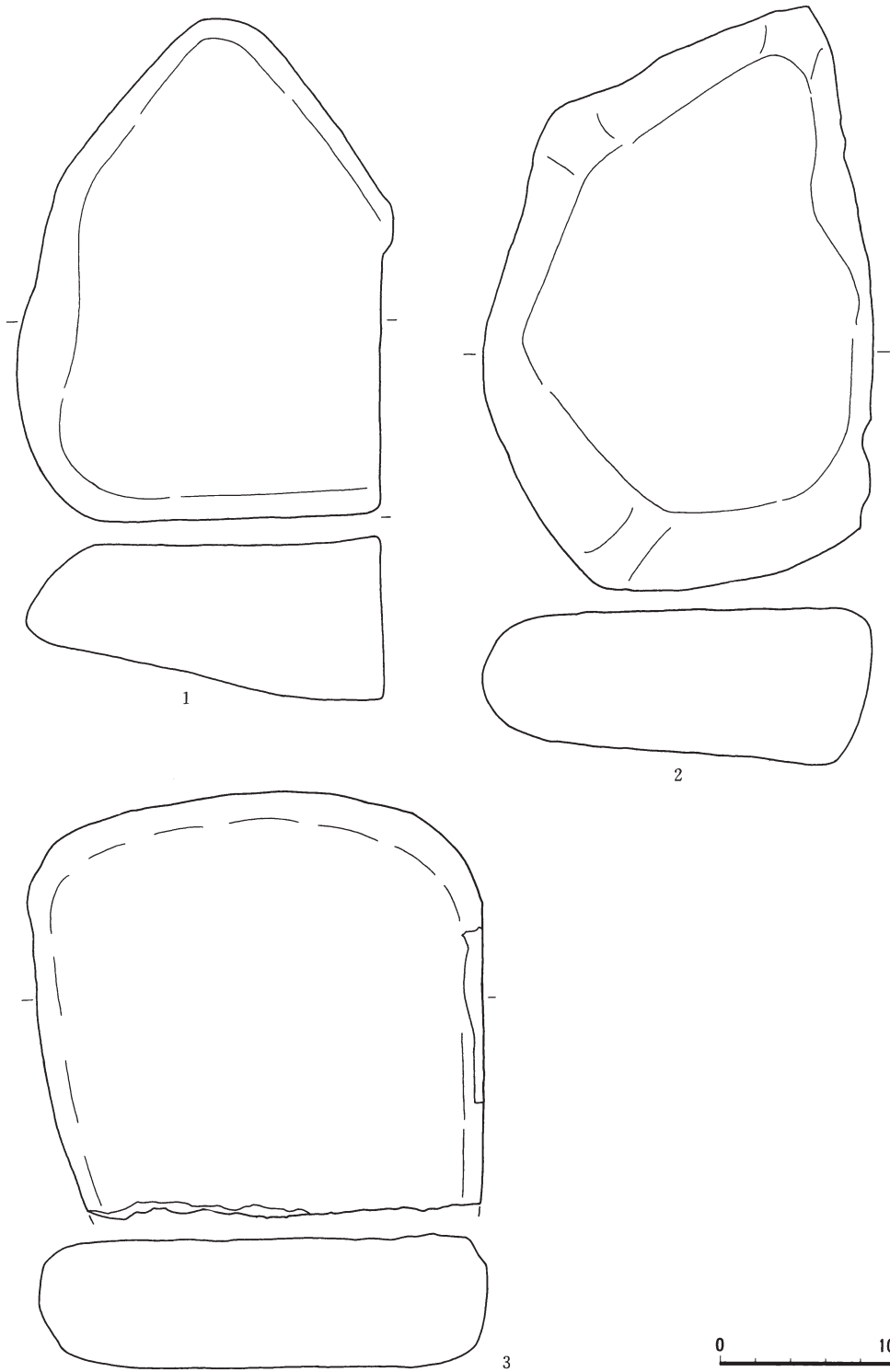
第212図 東捨て場出土石器 (40)



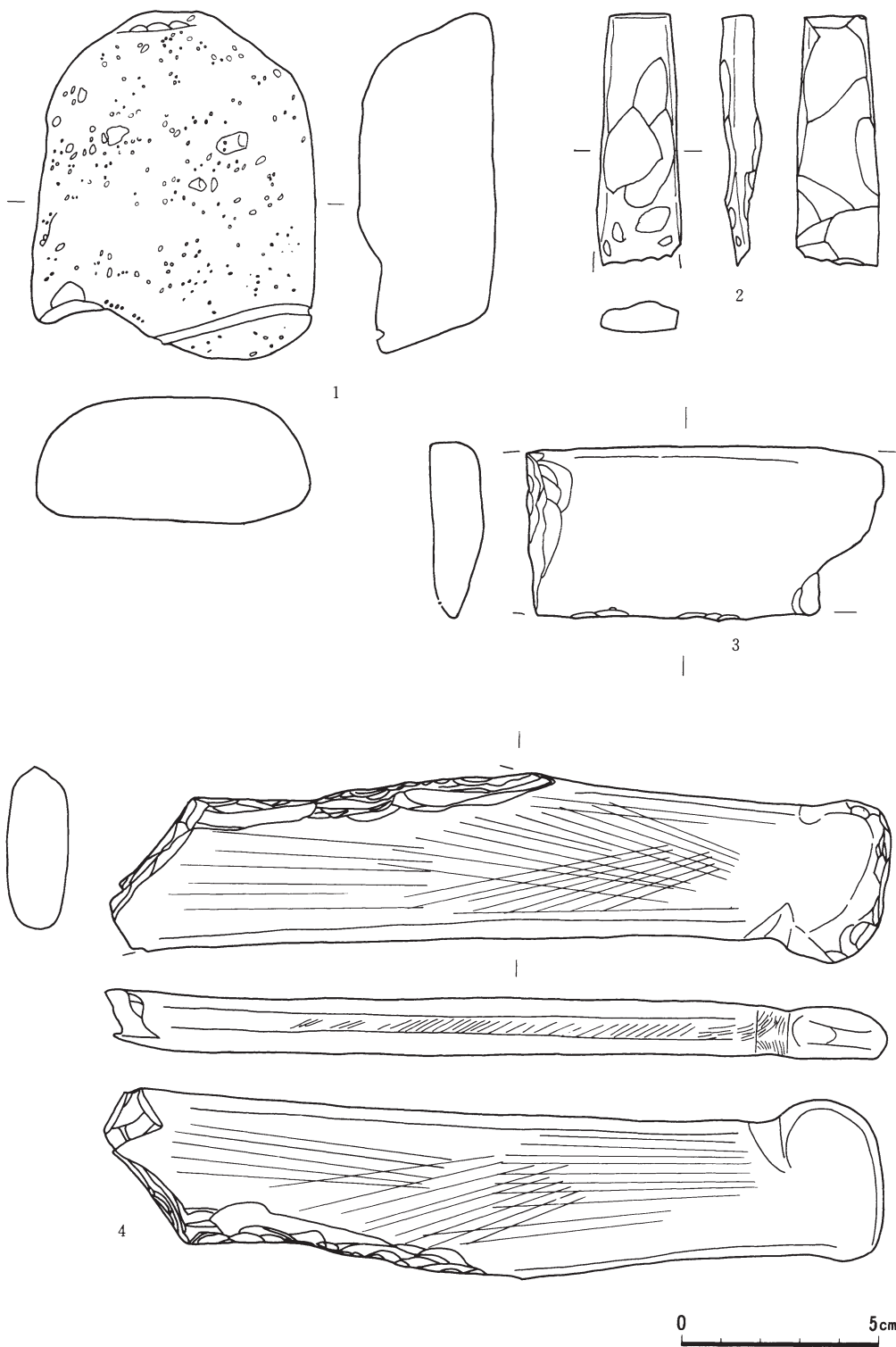
第213図 東捨て場出土石器 (41)



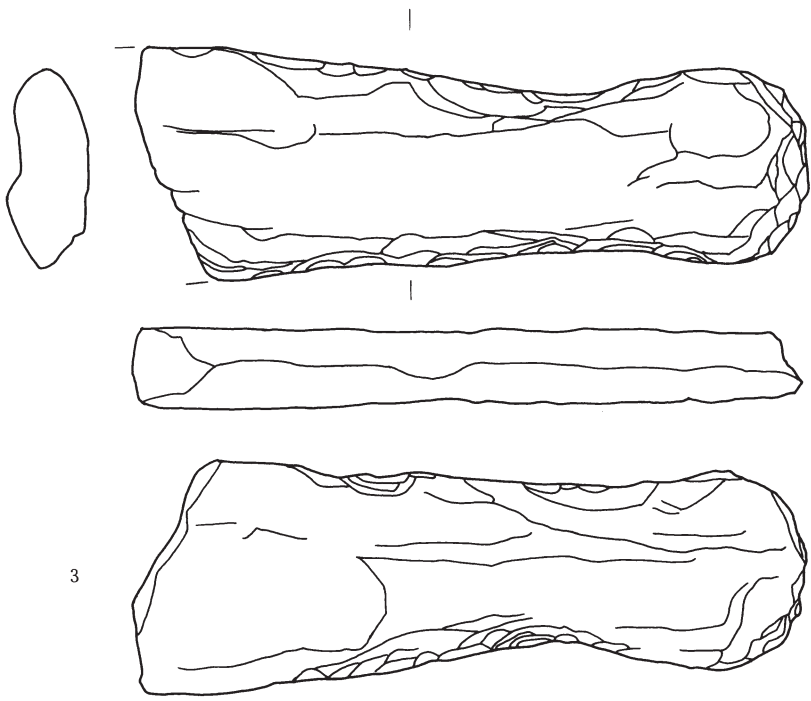
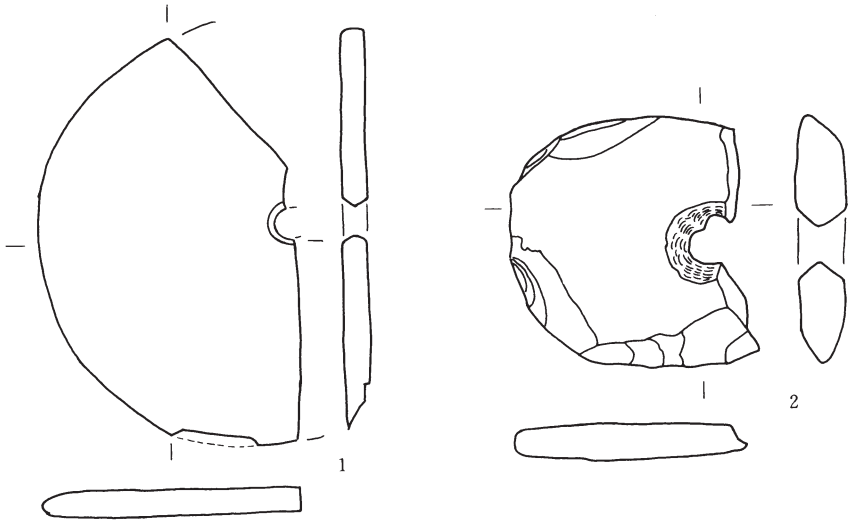
第214図 東捨て場出土石器 (42)



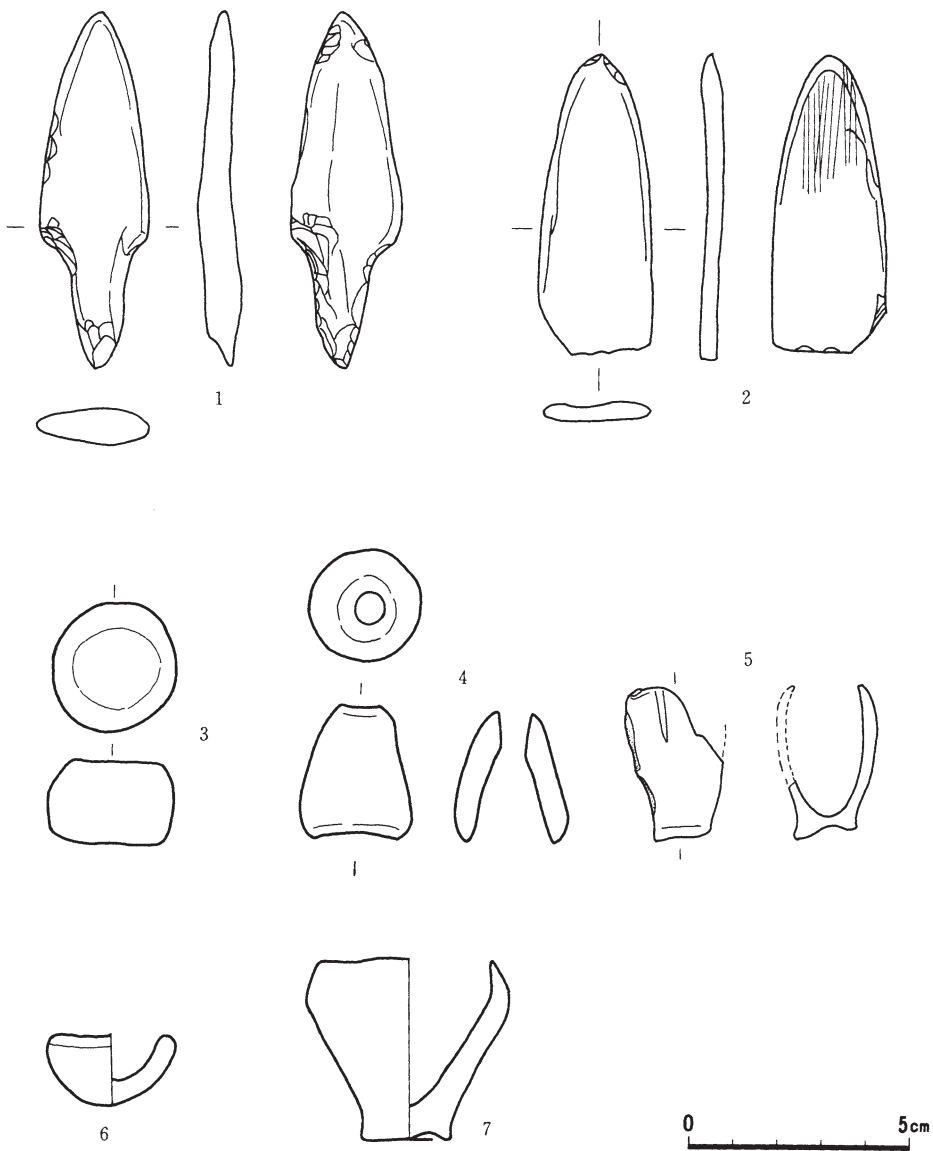
第215図 東捨て場出土石器 (43)



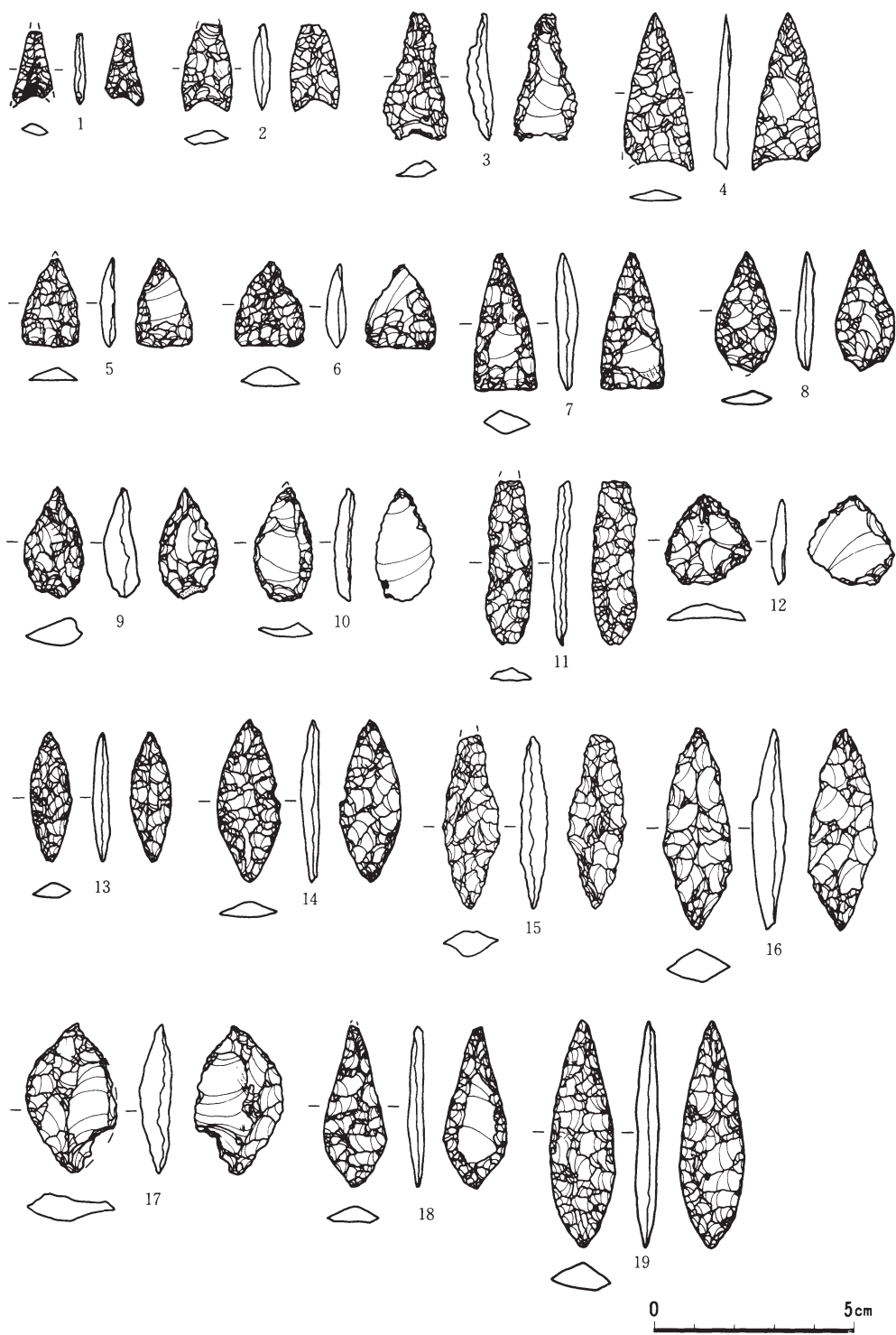
第216図 東捨て場出土石器 (44)



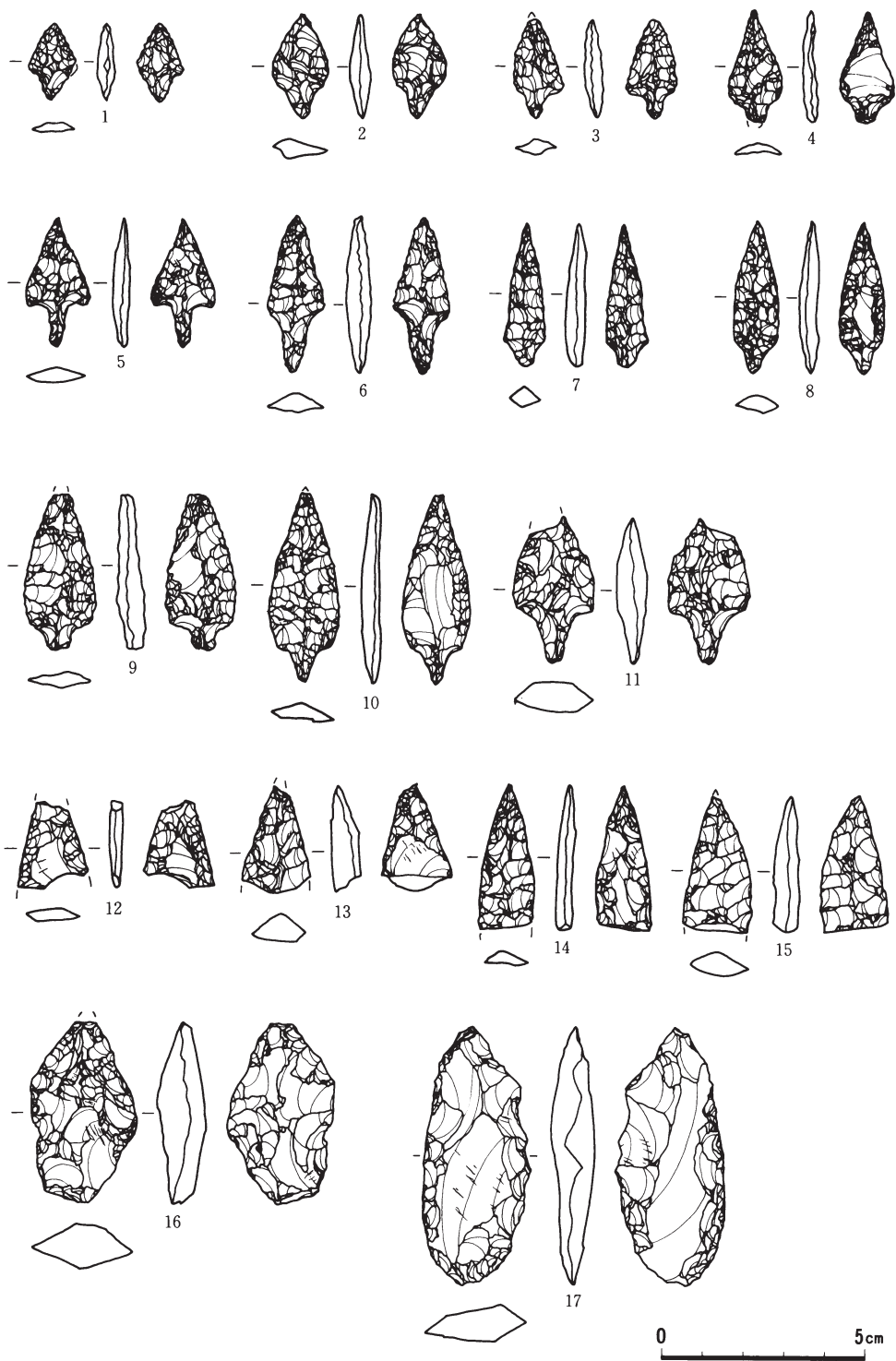
第217図 東捨て場出土石器 (45)



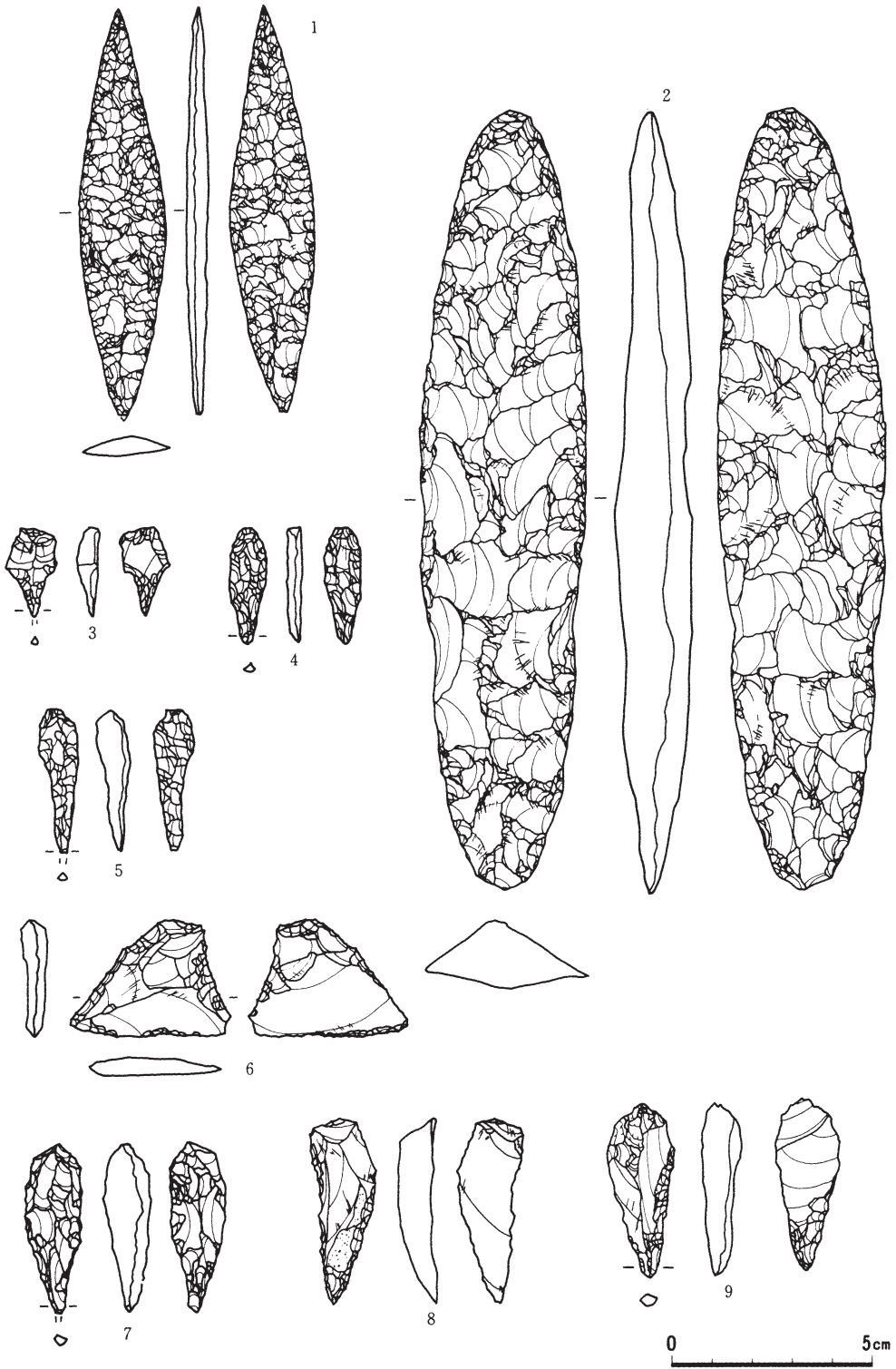
第218図 東捨て場出土石器 (46) ・土製品



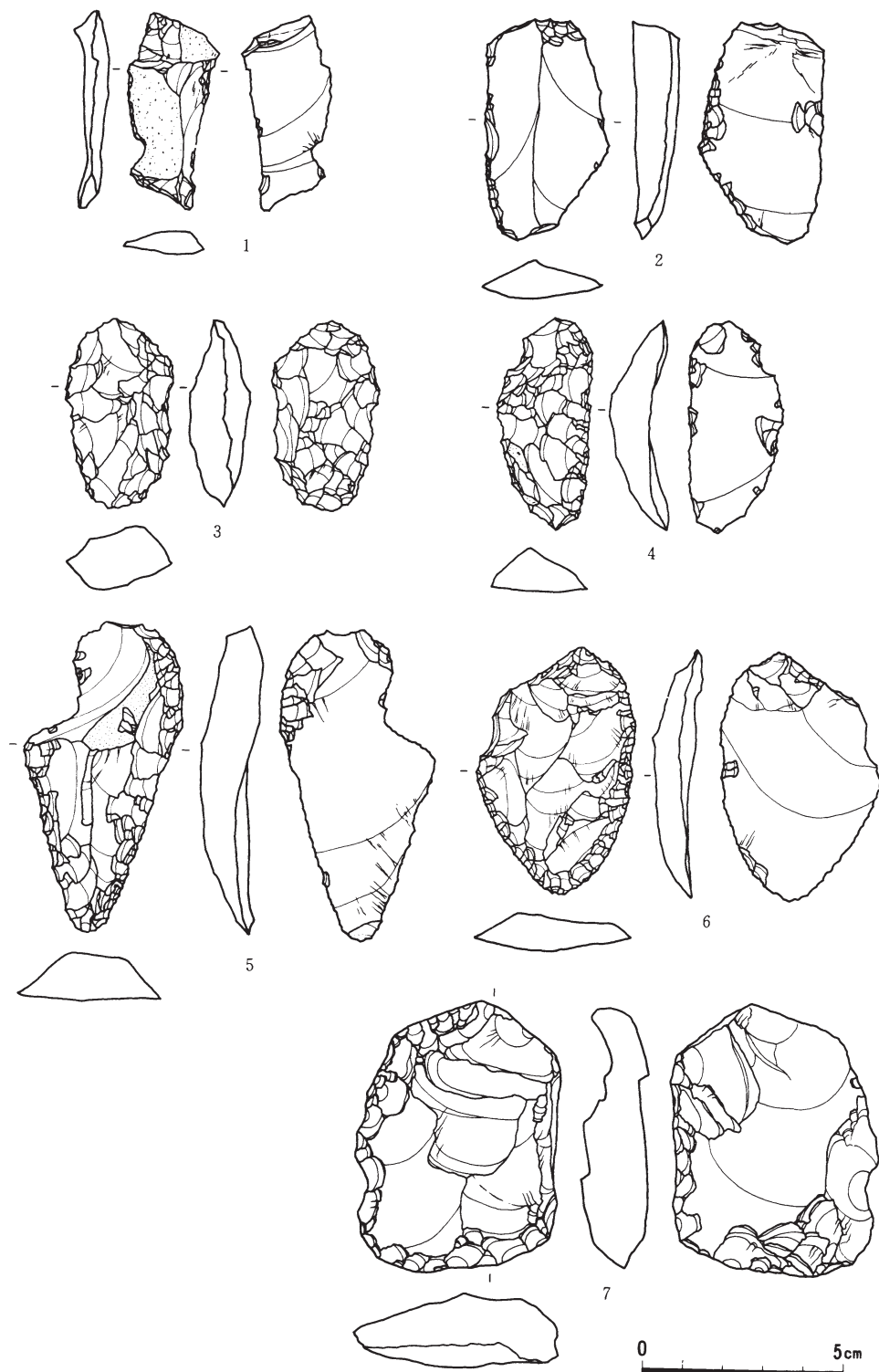
第219図 遺構外出土石器 (1)



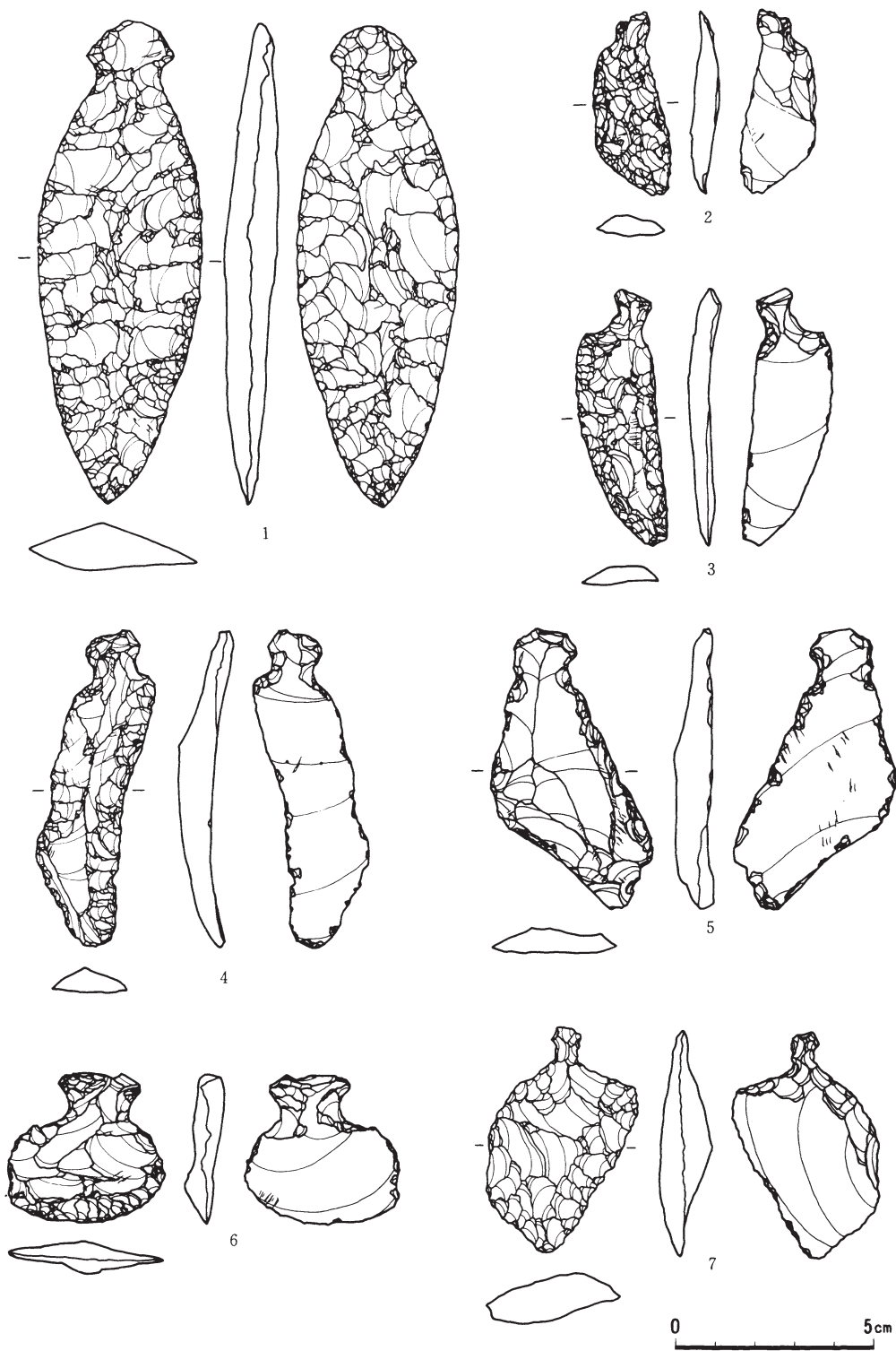
第220図 遺構外出土石器（2）



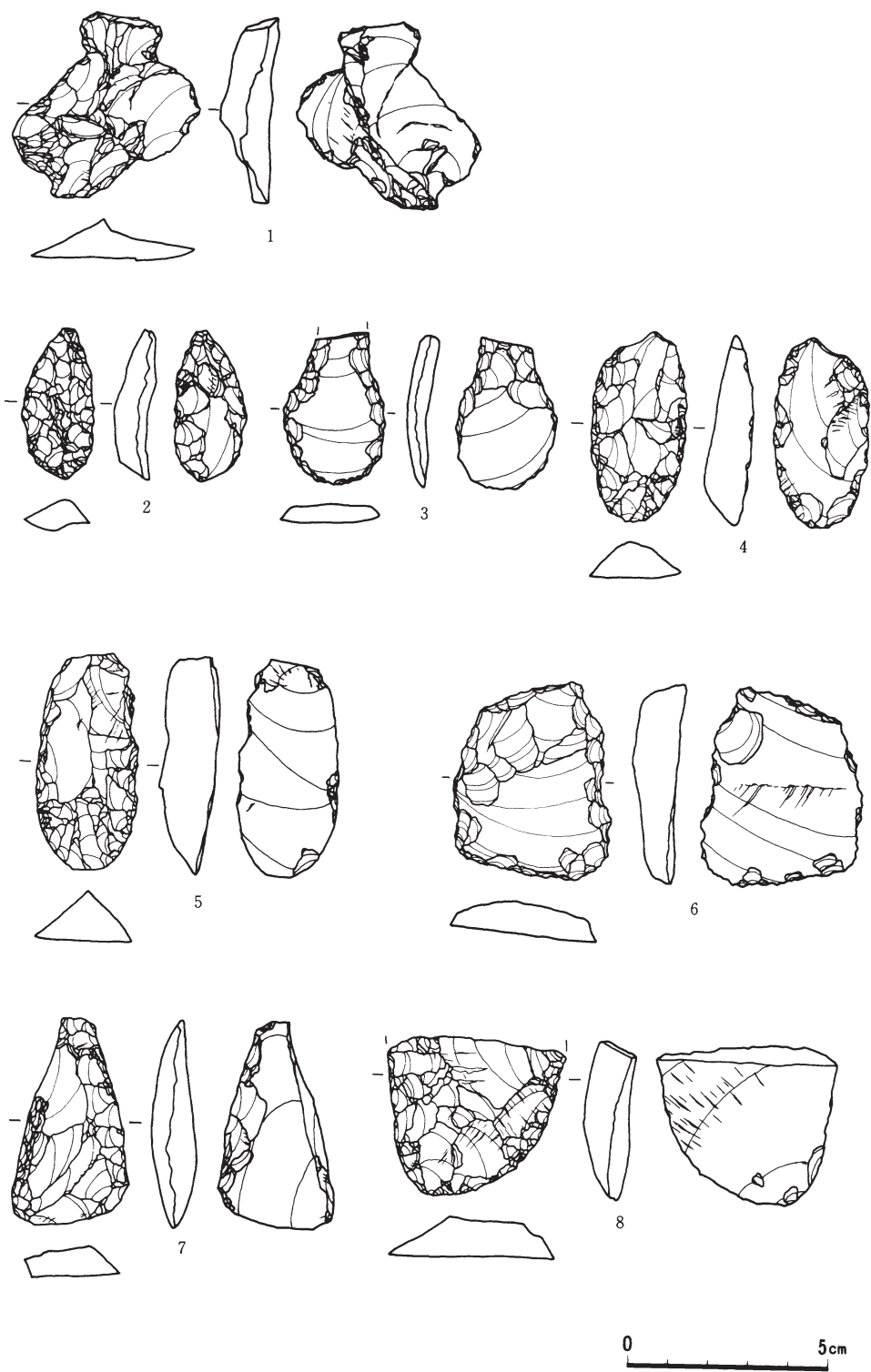
第221図 遺構外出土石器 (3)



第222図 遺構外出土石器（4）



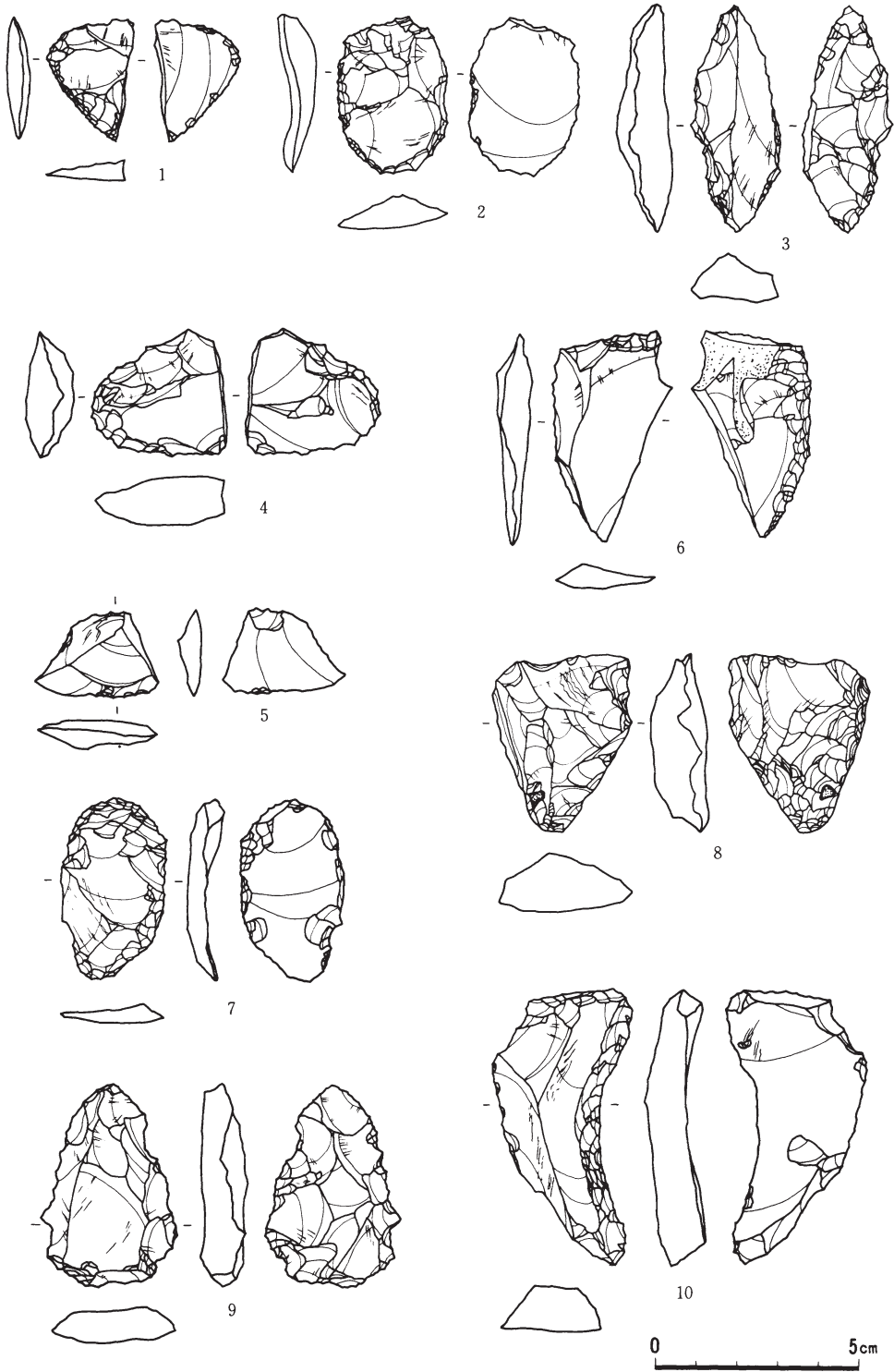
第223图 遺構外出土石器 (5)



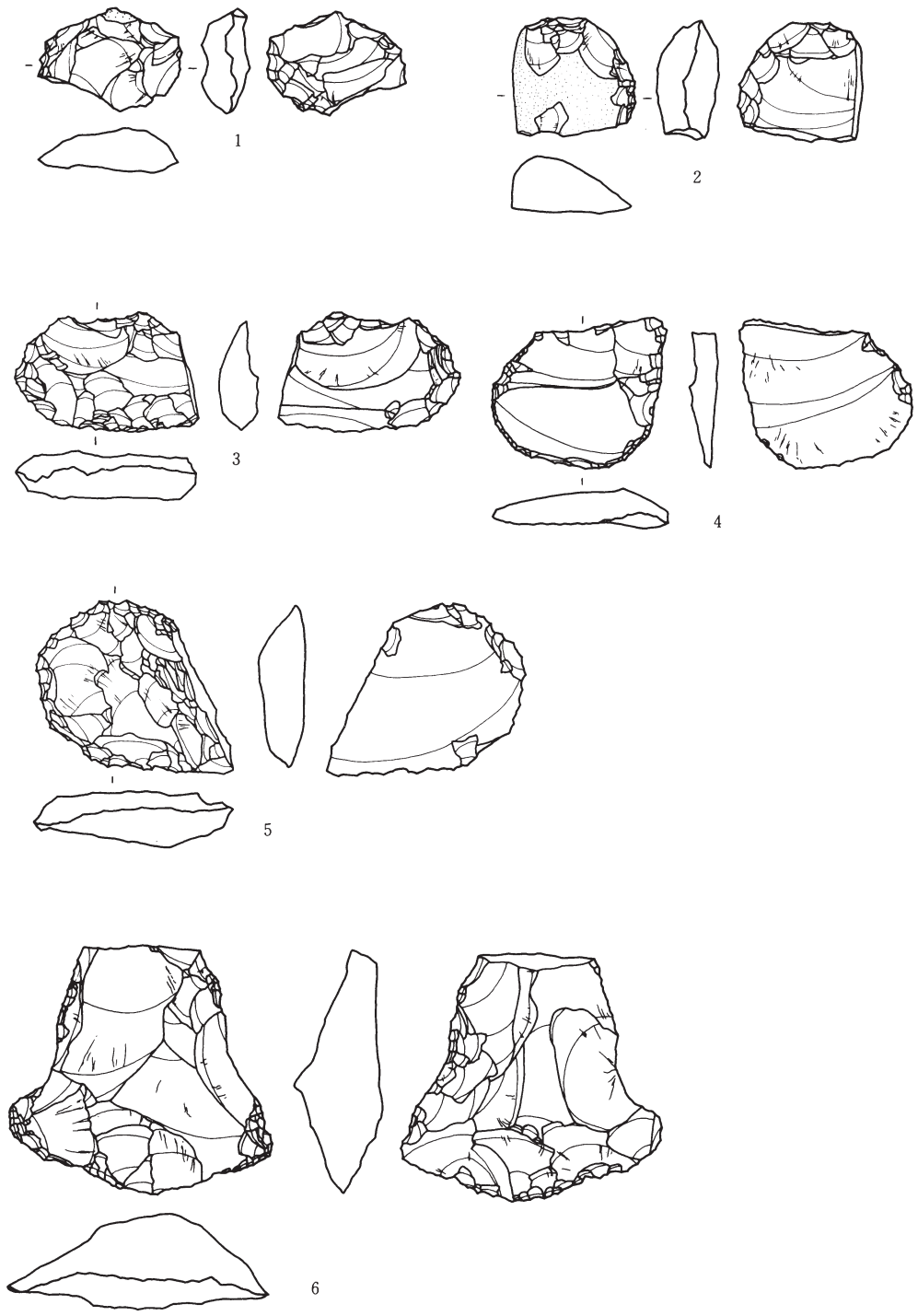
第224図 遺構外出土石器（6）



第225図 遺構外出土石器 (7)



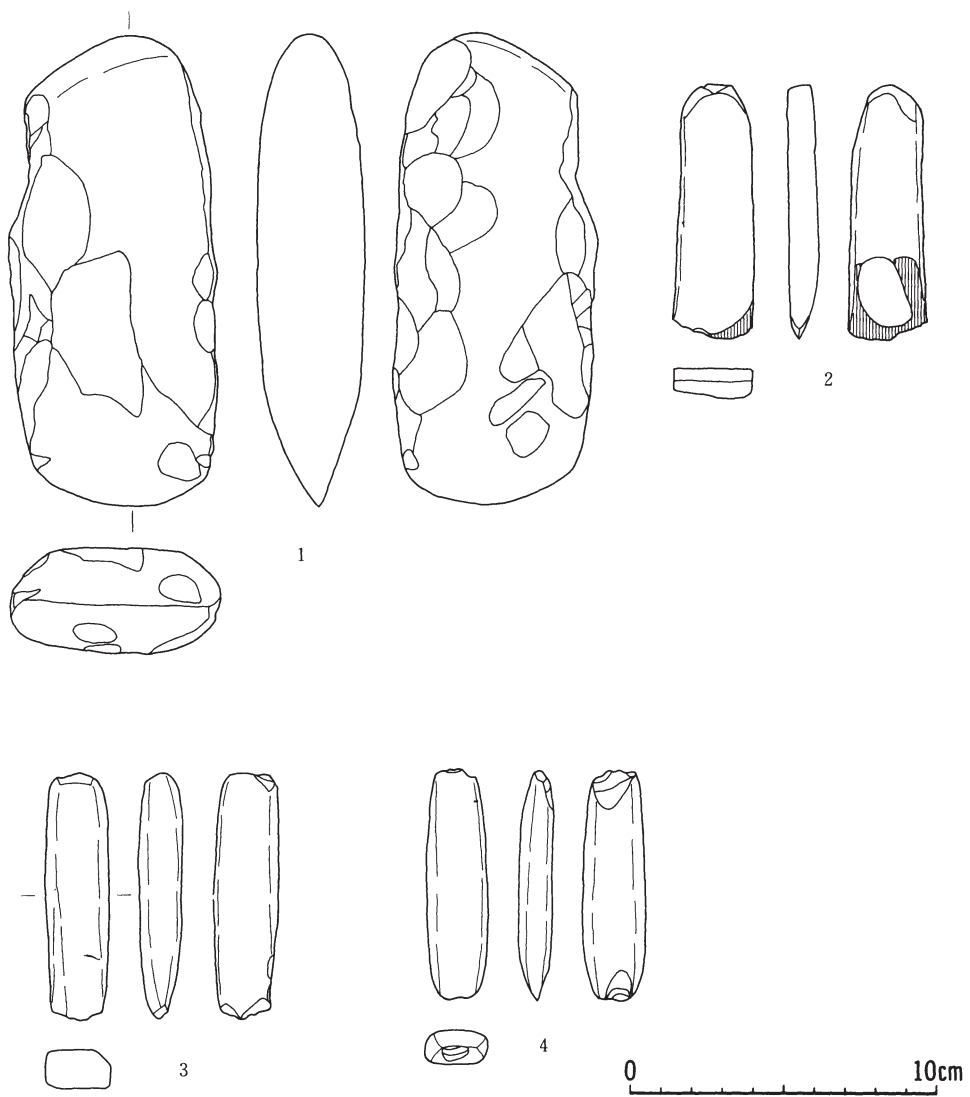
第226図 遺構外出土石器 (8)



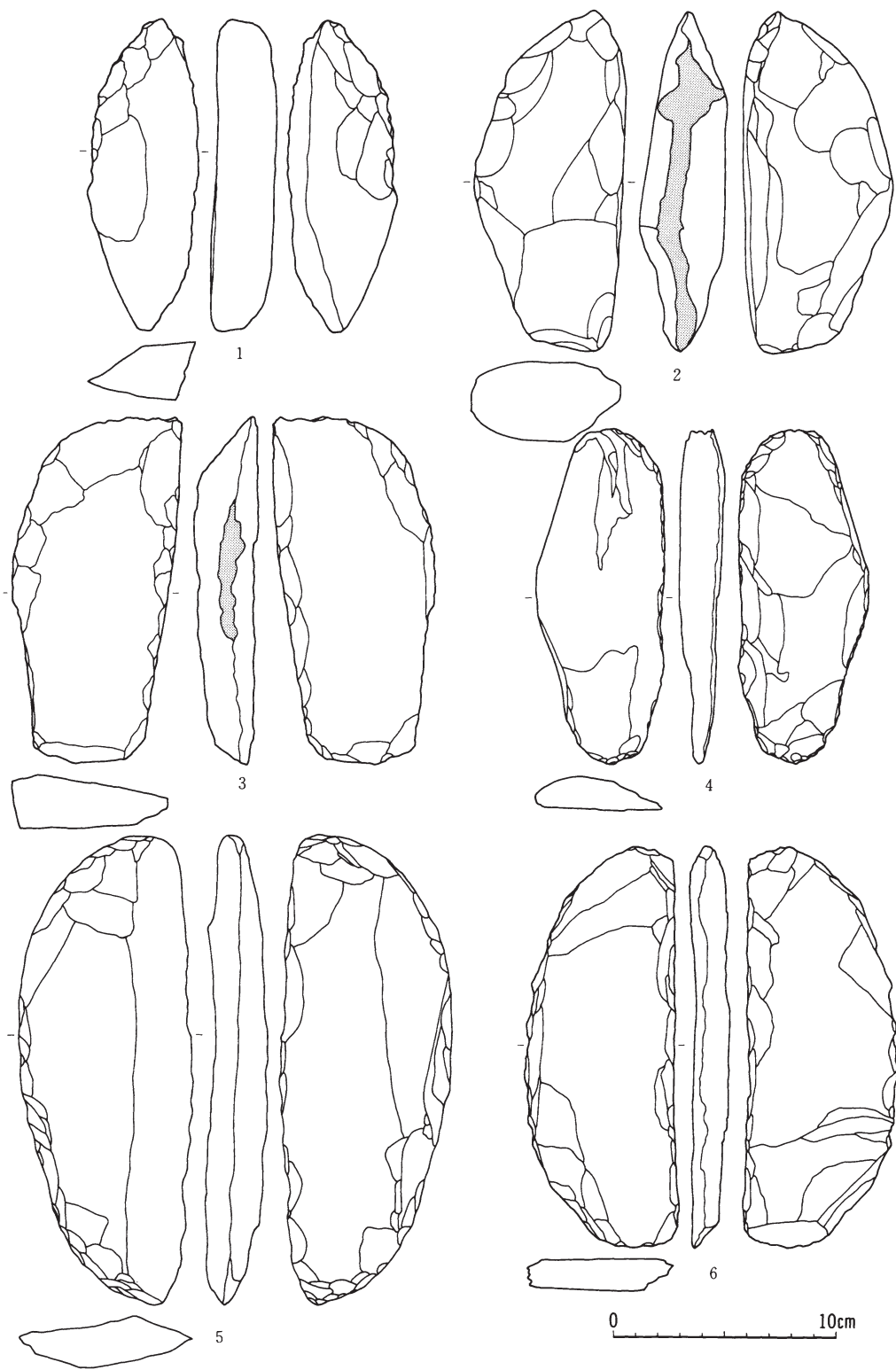
第227図 遺構外出土石器（9）



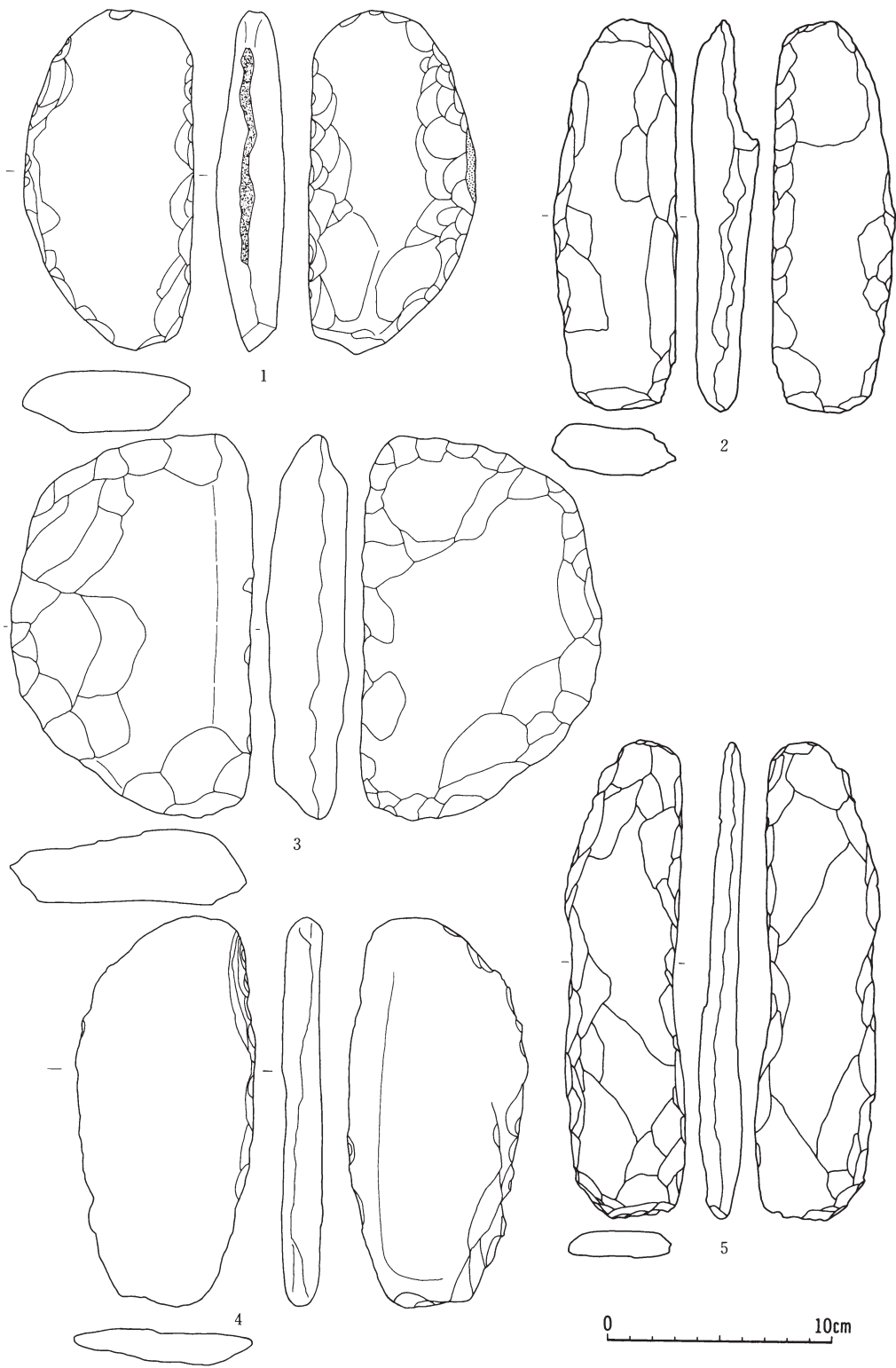
第228図 遺構外出土石器 (10)



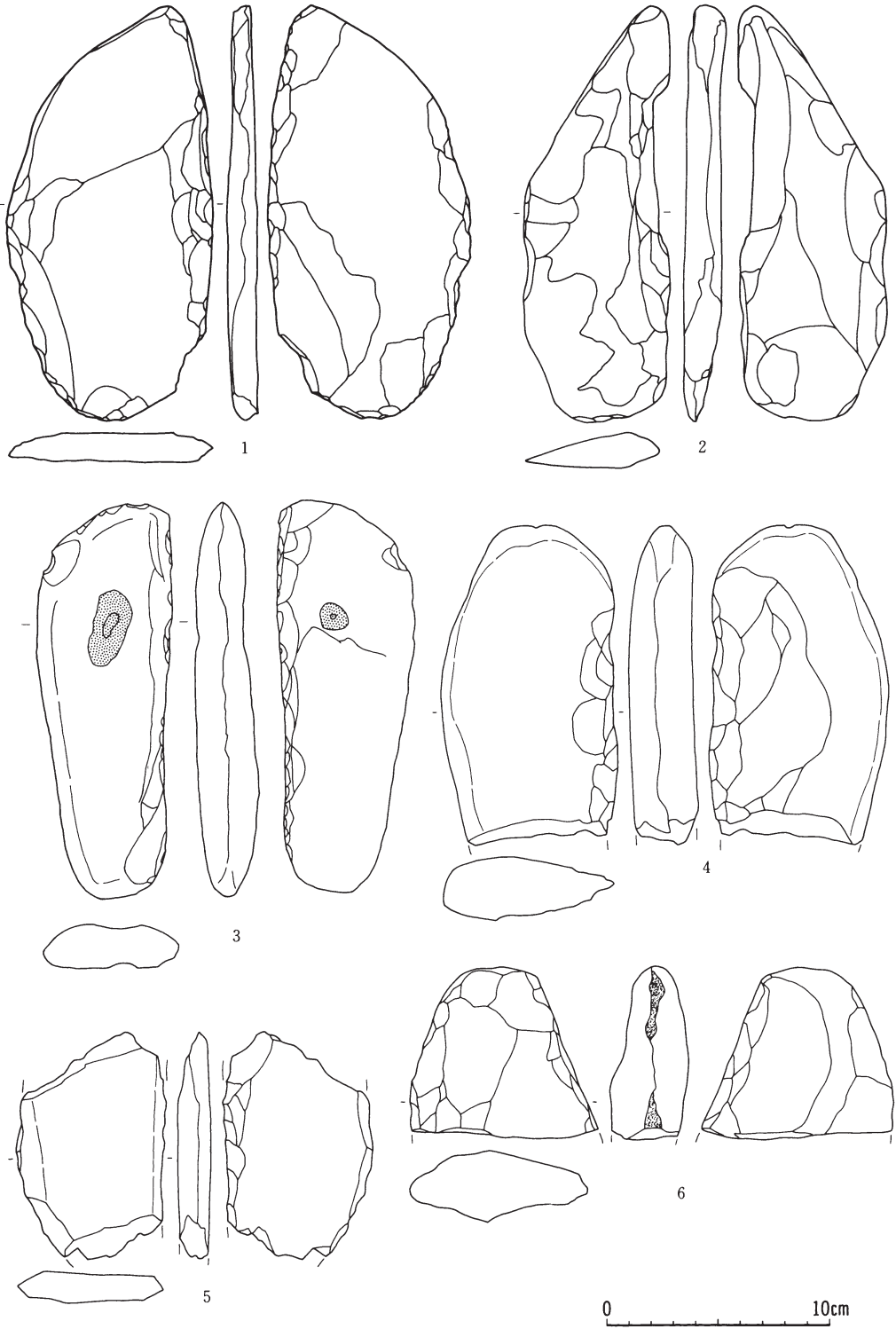
第229図 遺構外出土石器 (11)



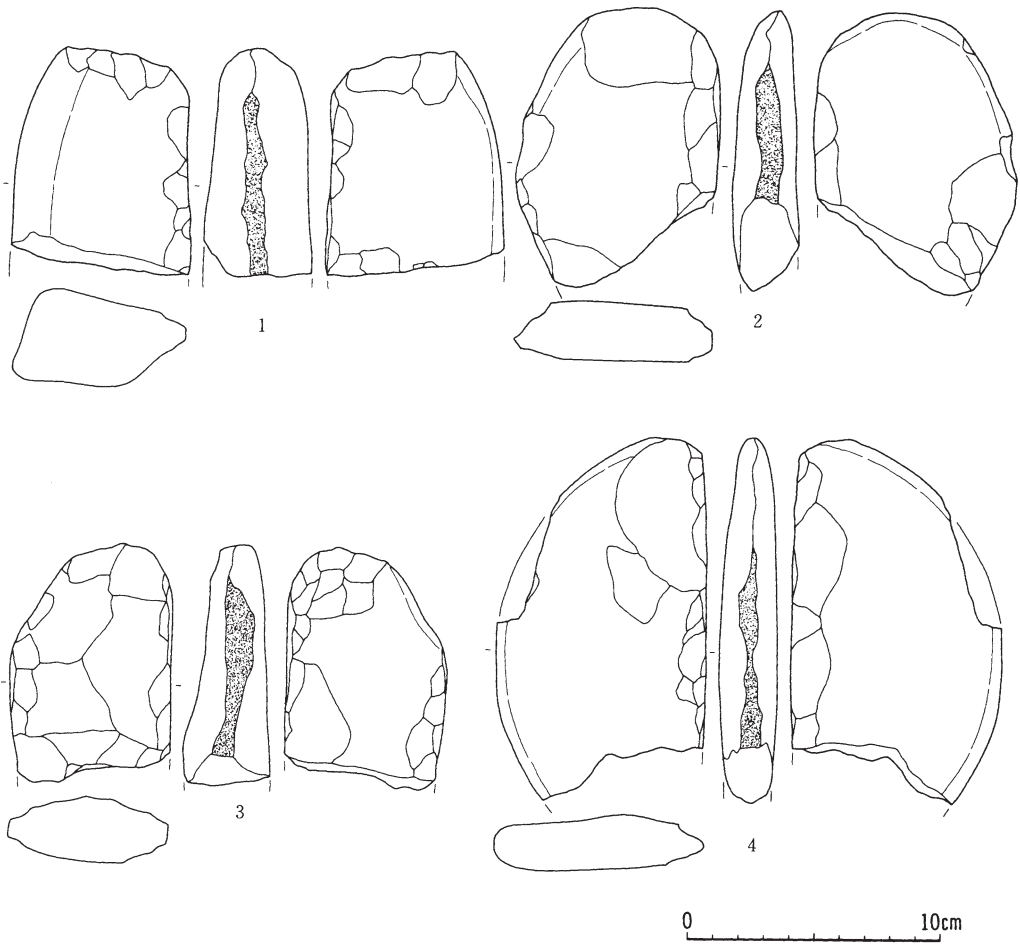
第230図 遺構外出土石器 (12)



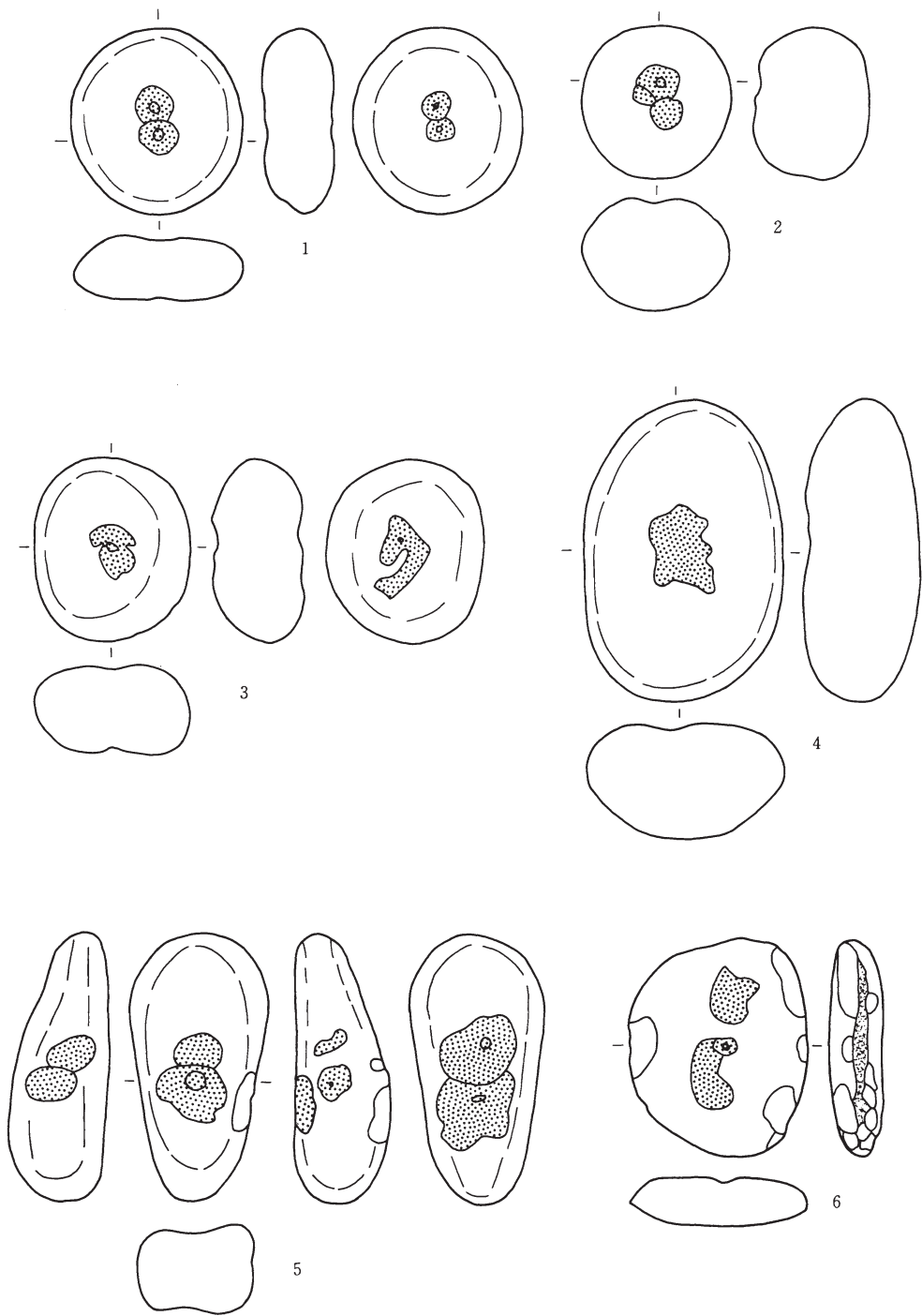
第231図 遺構外出土石器 (13)



第232図 遺構外出土石器 (14)

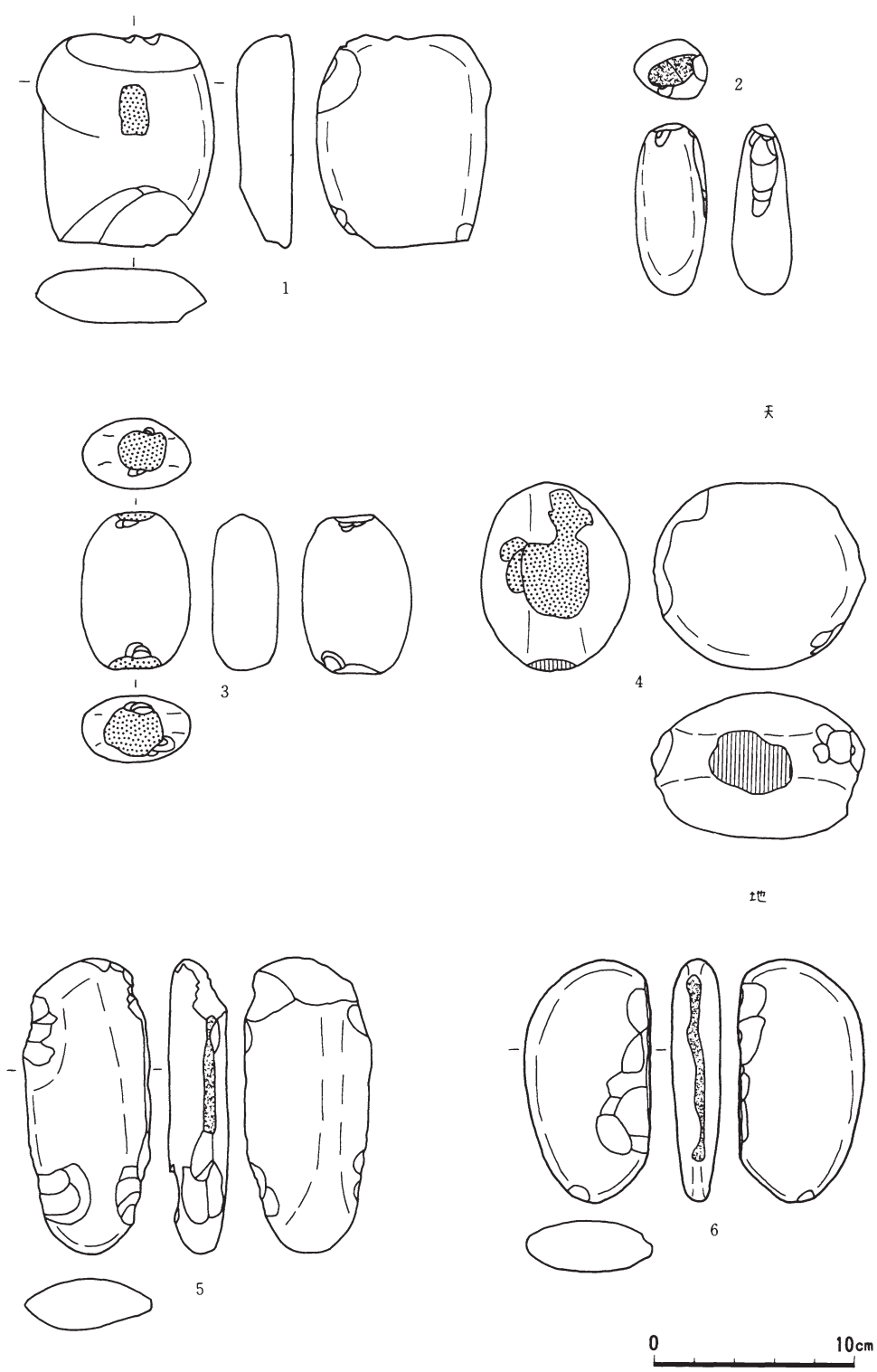


第233図 遺構外出土石器 (15)

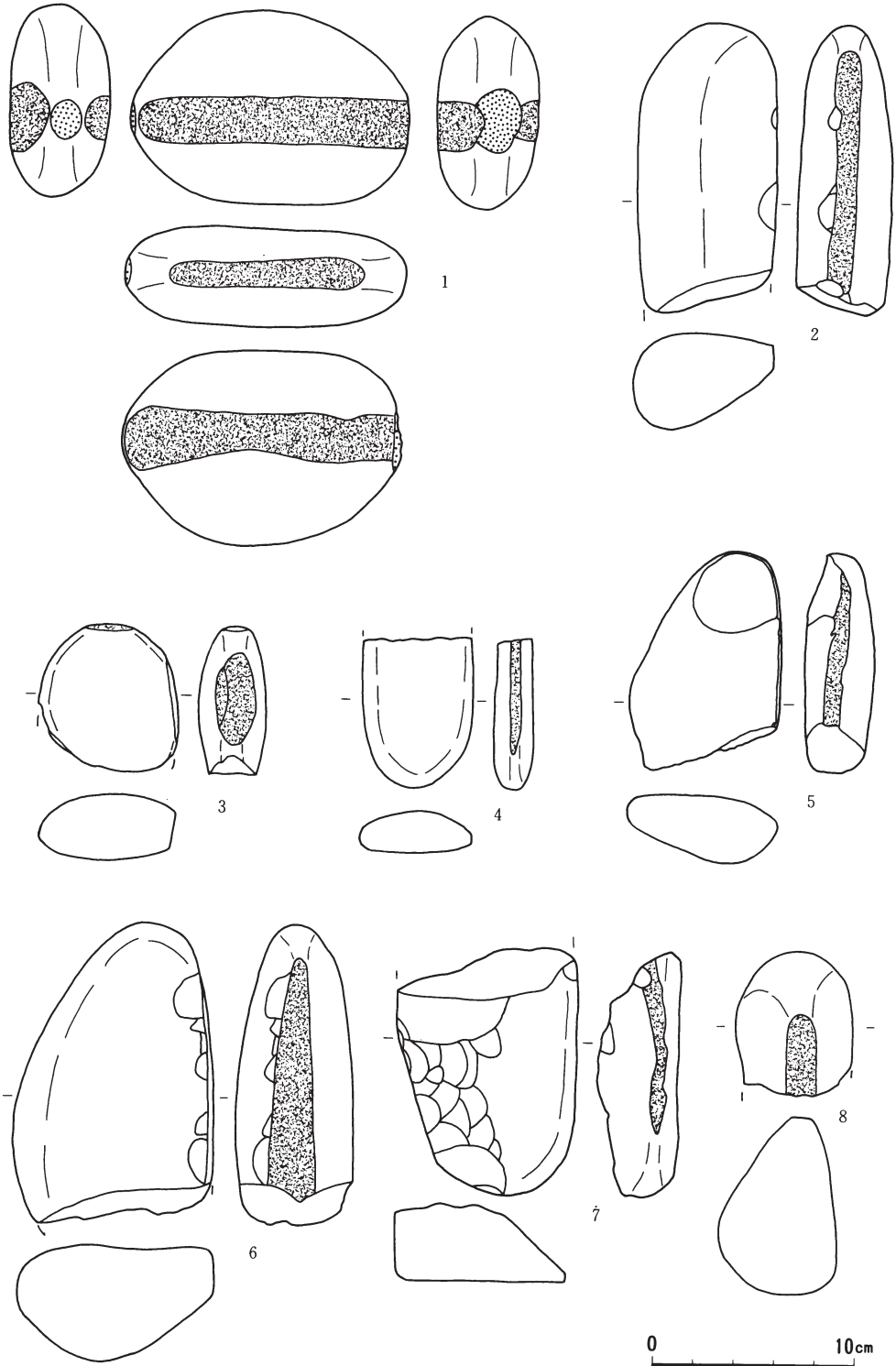


0 10cm

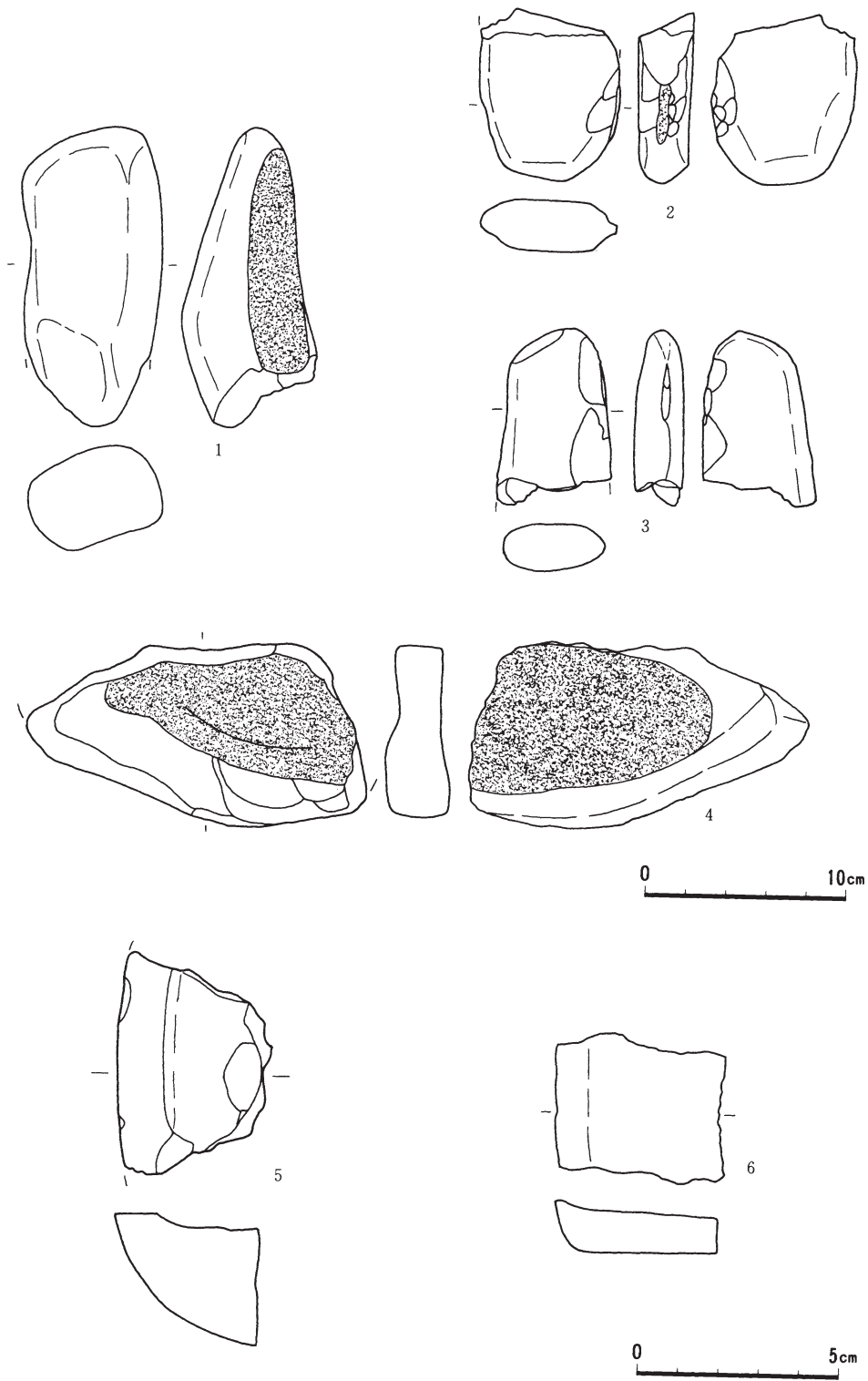
第234図 遺構外出土石器 (16)



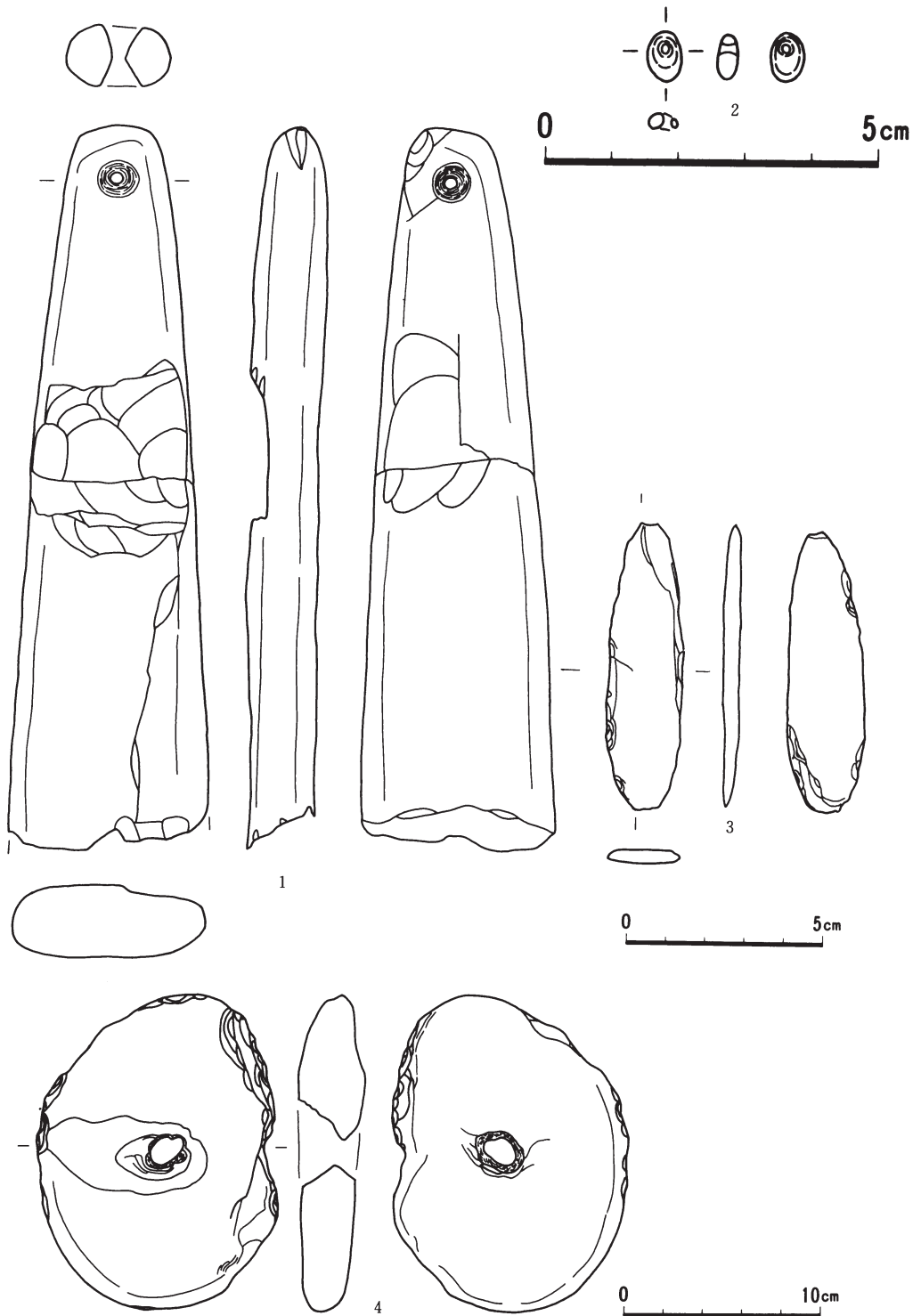
第235図 遺構外出土石器 (17)



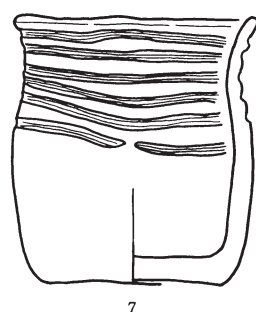
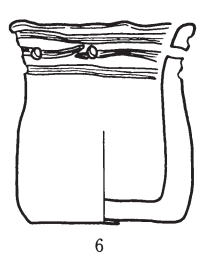
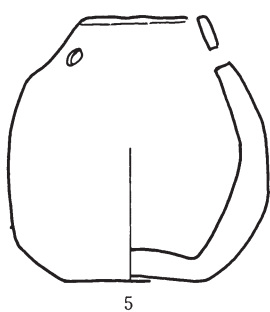
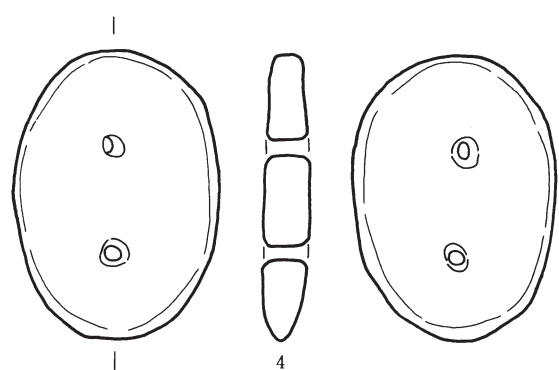
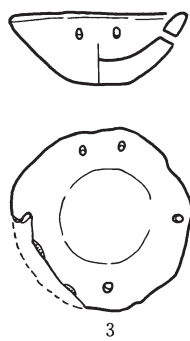
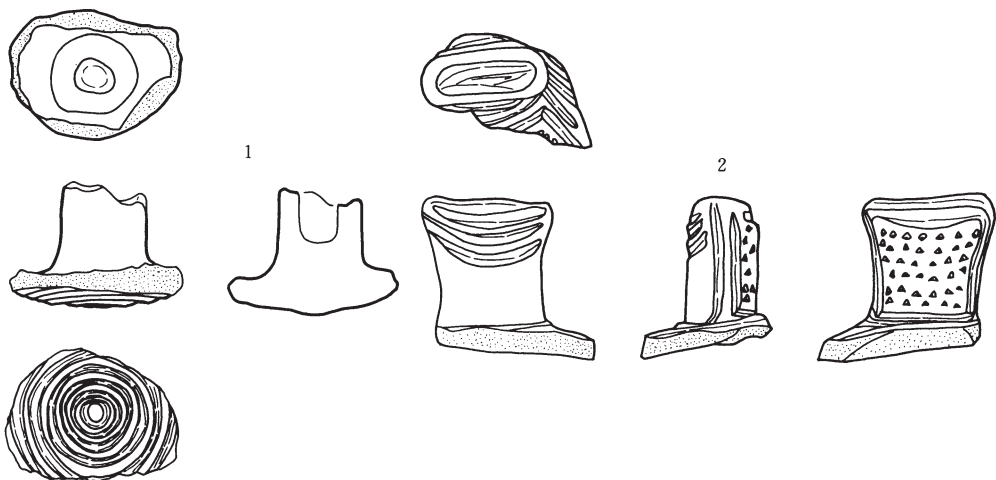
第236図 遺構外出土石器 (18)



第237図 遺構外出土石器 (19)



第238图 遺構外出土石器 (20)



第239图 遺構外出土土製品

第5章 自然科学的調査

第1節 畑内遺跡出土火山灰の蛍光X線分析

奈良教育大学 三 辻 利 一

1 はじめに

十和田系火山灰と白頭山系火山灰は対照的な化学特性をもつため、その相互識別は容易である。青森県内の10世紀代の地層に両者が堆積している。セットになって堆積する場合には必ず、上位は白頭山火山灰であり、下位は十和田 a 火山灰である。その分布状況は多くの、青森県埋蔵文化財調査報告書に報告されている。

一説によると、白頭山火山灰は弥生時代にも降下したといわれ、また、10世紀以後にも降下したといわれるが、目下のところ確証はない。

当方、十和田系火山灰は縄文時代から歴史時代にかけて幾度も噴火活動が繰り返されている。八戸火山灰、二ノ倉火山灰、南部浮石層、中掬浮石、十和田 b 火山灰、十和田 a 火山灰がそうである。噴火年代によって、その代学特性に若干の相違があるが、基本的にはカリ長石よりも斜長石に富むという共通の特徴ももっており、したがって、Ca、Sr 量に富む。そのため、十和田系火山灰同士の相互識別は容易ではない。

本報告では畑内遺跡出土火山灰の蛍光X線分析の結果を報告するが、その例である。

2 分析結果

分析値を表1に示す。すべて、岩石標準試料 J G - 1 による標準化値で示す。この結果を理解するために、次に、いくつかの分布図を作成した。

図1には Rb-Sr 分布図を示す。4点の試料はすべて、Rb 量が少なく、Sr 量が多い。これは十和田系火山灰の特性である。したがって、4点の試料の中には白頭山火山灰はない。

図2には K-Ca の分布図を示す。Ca 量が非常に多く含まれているので、Ca 軸の目盛りを縮小した。それでバランスを保つため、K 軸も目盛りを 1/2 に縮小した。そうすると、No 1 は十和田 a 領域に分布するものの、No 1、2、3 の3点は十和田 a 領域を大きく離れた。したがって、No 2、3、4 は十和田 a 火山灰でもない。

十和田系火山灰の中では二ノ倉火山灰には Fe 量が多いのに対し、十和田 a 火山灰には少ない。中掬浮石、南部浮石の Fe 含有量はその中間にくる。このように、十和田系火山灰は

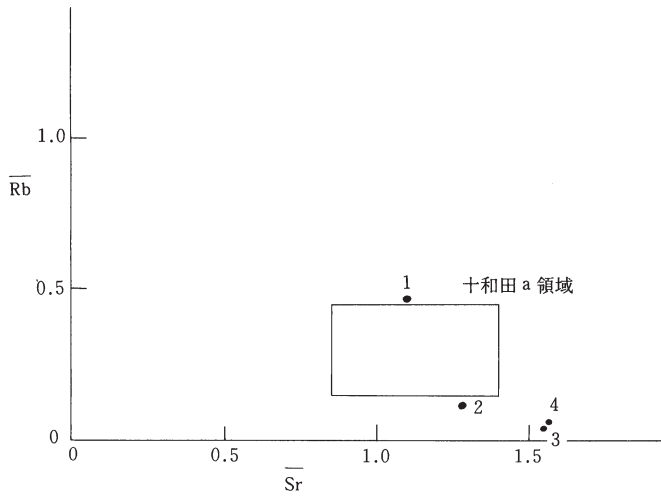


図 1 Rb-Sr 分布図

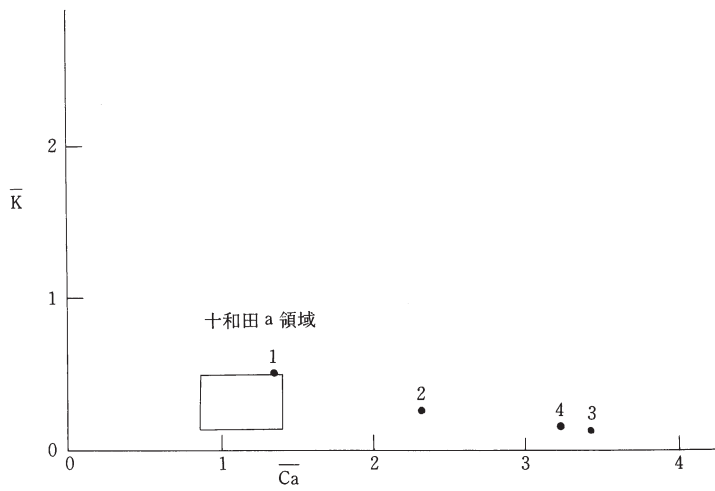


図 2 K-Ca 分布図

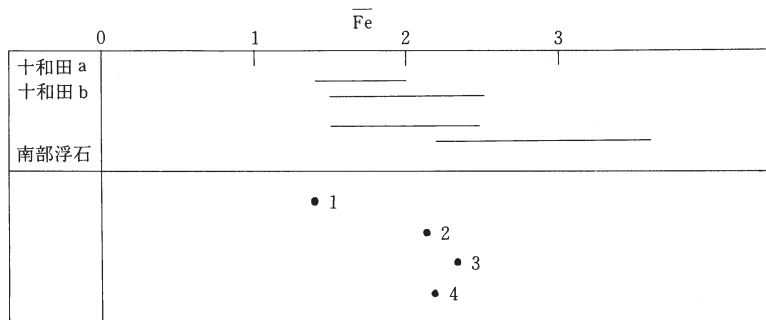


図 3 Fe 因子の比較

Fe量によって区別できる可能性をもつので、次に、図3にFe因子を比較してある。No1はRb-Sr、K-Ca分布図からも予想されるように、十和田a火山灰に対応するものとみられる。No2、3、4のFe量はJG-1による標準化値にして3以下であり、二ノ火山灰ではあり得ない。図3からみると、十和田b、中掬浮石、南部浮石のいずれかに対応するとみられる。このうち、十和田b火山灰には図2に示されるように、Ca量は多くない。そうすると、No2、3、4は中掬浮石か南部浮石のいずれかということになる。両者の相互識別は基礎データが十分ではないため、困難である。ここでは中掬浮石か南部浮石のいずれかであるとしておく。

表1 畑内遺跡出土火山灰の分析値

	K	Ca	Fe	Rb	Sr	Na
1	0.510	0.33	1.40	0.468	1.10	0.789
2	0.265	0.31	2.13	0.112	1.28	0.979
3	0.144	0.42	2.34	0.042	1.55	1.11
4	0.167	0.22	2.18	0.051	1.57	1.19

第2節 学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書

青森県埋蔵文化財調査センター所長 柿崎 日出夫 殿

1992年12月18日受領致しました試料についての年代測定の結果を下記の通り御報告致します。

なお年代値の算出には ^{14}C の半減期として LIBBY の半減期5570年を使用しています。また付記した誤差は β 線の計数値の標準偏差 σ にもとづいて算出した年数で、標準偏差（ONE SIGMA）に相当する年代です。また試料の β 線計数率と自然計数率の差が 2σ 以下のときは、 3σ に相当する年代を下限の年代値（B.P.）として表示してあります。また試料の β 線計数率と現在の標準炭素（MODERN STANDARD CARBON）についての計数率の差が 2σ 以下のときは、Modern と表示し、 $\delta^{14}\text{C}\%$ を付記してあります。

記

Code No.	試料	
GaK -16810	Wood charcoal from 畑内遺跡	3240 \pm 90
	No. 1 第8号土坑	1290 B.C.
GaK -16811	Wood charcoal from 畑内遺跡	1410 \pm 90
	No. 2 第1号土坑	A.D. 540
GaK -16812	Wood charcoal from 畑内遺跡	2650 \pm 100
	No. 3 第1号屋外炉	700 B.C.
GaK -16813	Wood charcoal from 畑内遺跡	14,480 \pm 210
	No. 4 八戸火山灰層	12,530 B.C.
GaK -16814	Wood charcoal from 畑内遺跡	13,470 \pm 200
	No. 5 八戸火山灰層	11,520 B.C.

以上
木越邦彦

第6章 まとめ（報告書抄録）

報告書抄録

ふりがな	はたないいせき
書名	畑内遺跡
副書名	八戸平原開拓建設事業（世増ダム建設）に係る埋蔵文化財発掘調査報告書
巻字	
シリーズ名	青森県埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第161集
編著者名	木村鐵次郎、工藤直樹
編集機関	青森県埋蔵文化財調査センター
所在地	〒038 青森県青森市大字新城字天田内152-15 TEL. 0177-88-5701
発行年月日	西暦1994年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
はたないいせき 畑内遺跡	あおもりけんさんのかへぐんなんこうむらおお 青森県三戸郡南郷村大 あだしまりあだはたない ほか 字島守字畑内4外	02-448	65002	40度	141度	19920506	5,016m ²	八戸平原開拓建設事
				22分	29分	～		業(世増ダム建設)に
				50秒	20秒	19921113		伴う事前調査

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
畑内遺跡	集落跡	縄文時代	竪穴住居跡 13軒 フラスコ状ピット 99基 落とし穴状土坑 1基 土坑 30基 (時期の不明なものも含む)	縄文時代 縄文土器(前期・晩期) 石器(前期) 土偶(前期) 1点 土製品 石製品	縄文時代前期円筒下層式期の集落。
		弥生時代	竪穴住居跡 3軒	弥生時代 弥生土器(前期・後期)	弥生時代前期砂沢式期の集落。 砂沢式期の住居跡が3軒。
	捨て場	縄文時代	1 東捨て場 2 西捨て場	縄文土器(前期) 段ボール箱 200箱 石器(前期) 縄文土器(前期) 1993年度 段ボール箱1000箱 1994年度 段ボール箱 400箱 石器(前期) 土製品・石製品(前期) 獣骨・魚骨・鳥骨(前期)	縄文時代前期円筒下層式期の捨て場。石器を報告。土器は次回報告。 縄文時代前期円筒下層式期の捨て場。次回以降報告。

住居跡出土土器観察表

図版 番号	住居 番号	遺物 番号	層位	口 頸 部 文 様	胴 部 文 様
25	1H	1	覆土	R 押圧、単絡 6 A 類、刺突	単絡 6 類タテ
25	1H	2	?	/	R L R ヨコ (0 段多条)
25	1H	3	覆土	L R 押圧	無文
25	1H	4	覆土	R 押圧	単絡 1 A 類下向上交互 (L-L)
25	1H	5	覆土	/	L R ヨコ
26	1H	6	覆土	L R・R L 結束 1 種ヨコ、L R 押圧、 単絡 1 類押圧	R L・L R 結束 1 種ヨコ、多絡タテ
26	1H	7	覆土	L R 押圧、刺突	結節ヨコ、L R・R L 結束 2 種タテ
26	1H	8	覆土	L R 押圧、刺突	単絡 1 類タテ、L R ヨコ
26	1H	9	覆土	L R・R L 結束 1 種、R L R 斜メ	
26	1H	10	覆土	L R 押圧、刺突	結節ヨコ、単絡 1 A 類下向 (L-L)
26	1H	11	覆土	押圧	L R ヨコ
26	1H	12	覆土	押圧	
26	1H	13	覆土	口唇 R ヨコ、R 押圧、L 押圧	多絡タテ
27	1H	14	覆土	L R 押圧	L R ヨコ、結節タテ
27	1H	15	覆土	/	L R タテ・ヨコ、結節タテ
27	1H	16	3 層	L R ヨコ	
27	1H	17	覆土	L R 押圧	/
27	1H	18	3 層	L R 押圧、貼付	結節ヨコ、L R ヨコ
27	1H	19	4 層	押圧	L R タテ、結節タテ
27	1H	20	覆土	押圧	L R ヨコ
28	1H	21	覆土	L R 押圧、貼付	結節ヨコ・タテ、L R ヨコ
28	1H	22	埋設土		
28	1H	23	3 層	L R 押圧、貼付	結節ヨコ、タテ、R L R ヨコ
28	1H	24	覆土	L R 押圧、隆帯	R L R ヨコ
28	1H	25	覆土	L R 押圧、貼付	L R タテ、結節タテ
28	1H	26	覆土	押圧	
28	1H	27	覆土	L R 押圧、貼付	L R・R L 結束 1 種ヨコ
29	2H	1	床面	口唇 L R ヨコ、L R ヨコ、結節ヨコ	L R ヨコ
29	2H	2	覆土	口唇 L R ヨコ、結節ヨコ	L R ヨコ
29	2H	3	覆土	L R ヨコ	L R ヨコ
29	2H	4	覆土	口唇 L R、結節ヨコ	L R ヨコ
29	2H	5	覆土	/	L R ヨコ?
29	2H	6	覆土	R 押圧	L R・R L 結束 1 種ヨコ
29	2H	7	覆土	/	L R ヨコ
30	3.5H	1	覆土	結節ヨコ	単絡 5 類タテ
30	3.5H	2	覆土	L 押圧、L R 押圧	L R ヨコ
30	3.5H	3	覆土	L 押圧	/
30	3H	1	覆土	L R 押圧	/
30	6H	1	覆土		
31	6H	2	覆土		
31	6H	3	覆土	L R 押圧、クビ L R 押圧 (大)	P L ヨコ
31	6H	4	床面	口唇刻目、単絡 1 類押圧、刺突、貼 付、隆帯	条痕タテ
32	6H	5	覆土	L R 押圧	R 結節ヨコ、L R・R L 結束 1 種タテ
32	6H	6	覆土	口唇刻目、L R 押圧、貼付	L R・R L 結束 2 種タテ
32	6H	7	床面	R L 押圧、貼付	結節ヨコ、R L・L R 結束 1 種ヨコ
32	6H	8	床面		
32	6H	9	覆土	L R 押圧、刺突	結節ヨコ
32	6H	10	床面	R 押圧、刺突	結節ヨコ、R L・L R 結束 2 種ヨコ

図版 番号	住居 番号	遺物 番号	層位	口 頸 部 文 様	胴 部 文 様
33	6H	12	覆土	L R 押圧、刺突	結節ヨコ、L R・R L 結束1種ヨコ
33	6H	13	覆土	L R 押圧、隆帯、刺突	単絡1A類上向(R-R)
33	6H	14	覆土	L R 押圧、貼付、隆帯、刺突	結節ヨコ、L R・R L 結束1種ヨコ
33	6H	15	覆土	L R 押圧、隆帯、刺突	単絡1A類上向(R-R)
33	6H	16	床面	R 押圧、L R・R L 結束1種ヨコ	L R・R L 結束1種ヨコ
34	6H	17	覆土		
34	6H	18	床面	L 押圧	L R・L R 結束1種ヨコ
34	6H	19	床面	L・R 繩束押圧	L R・R L 結束1種ヨコ
34	6H	20	覆土	L R 押圧、貼付、隆帯、刺突	/
34	6H	22	覆土	L R 押圧、貼付、刺突	結節ヨコ、L R ヨコ
35	6H	23	床面	R 押圧、貼付、刺突	結節ヨコ、単絡1A類(R-R)
35	6H	24	覆土		
35	6H	25	床面	L R 押圧、貼付、結節ヨコ	
35	6H	26	覆土	L 押圧	結節ヨコ
35	6H	27	覆土	結節ヨコ	
35	6H	28	床面	隆帯、沈線	L R ヨコ
36	6H	29	炉埋設	/	単絡1A類上向下向交互(R-L)
36	6H	30	覆土		
36	6H	31	覆土		
36	6H	32	覆土	/	結節タテ
37	7H	1	覆土	沈線、張瘤	沈線
37	7H	2	覆土	/	沈線、L R ヨコ・斜メ
37	7H	3	覆土	/	無文(ミガキ)、沈線、張瘤
37	7H	4	覆土	/	無文、沈線
37	7H	5	覆土	無文	L R ヨコ
37	7H	6	覆土	/	L R ヨコ
37	7H	7	覆土	R L タテ	R L タテ
37	7H	8	覆土	/	沈線、交互刺突、R L ヨコ、L 単絡1類ヨコ
37	7H	9	覆土	無文(ミガキ)、沈線	/
37	7H	10	覆土	/	ヘラナデ
37	7H	11	pit 1		
38	7H	1	覆土		
38	8H	2	覆土	無文(ミガキ)、L R ヨコ	L R ヨコ・斜メ
38	8H	3	床面	無文(ミガキ)	L R ヨコ
38	8H	4	床面	無文(ミガキ)	L R ヨコ
38	8H	5	床面	無文	L R ヨコ・斜メ
38	8H	6	床面	無文	L R ヨコ
38	8H	7	覆土	無文、沈線	
38	8H	8	床面	無文	L R ヨコ・斜メ
38	8H	9	覆土	沈線	L R ヨコ
38	8H	10	覆土	/	無文、沈線
38	8H	11	覆土	沈線	/
38	8H	12	覆土	沈線	L R 斜メ
38	8H	13	覆土	沈線	R L ヨコ
38	8H	14	覆土	/	L R ヨコ
38	8H	15	覆土	/	無文
39	9H	1	床面	沈線、刺突、張瘤、赤彩	L R ヨコ
39	9H	2	覆土		

図版 番号	住居 番号	遺物 番号	層位	口 頸 部 文 様	胴 部 文 様
39	9H	3	床面	沈線、ミガキ、張瘤	L R タテ・斜メ、沈線
39	9H	4	床面	沈線、無文、張瘤、赤彩	L R ヨコ (0段多条)
39	9H	5	炉	無文	L R ヨコ
39	9H	6	床直	無文	無文
39	9H	7	床面	/	無文
39	9H	8	覆土	無文	無文
39	9H	9	覆土	L R ヨコ、沈線	L R ヨコ、沈線
39	9H	10	覆土	無文、沈線	L R ヨコ
39	9H	11	覆土	/	沈線
39	9H	12	覆土		無文、沈線、張瘤、L R 斜メ
39	9H	13	床面	無文、沈線	L R ヨコ
39	9H	14	床面	無文、沈線	L R ヨコ
40	9H	15	覆土	無文、沈線	L R ヨコ
40	9H	16	覆土	無文、沈線	
40	9H	17	覆土	沈線	/
40	9H	18	覆土	沈線	/
40	9H	19	覆土	無文	L R タテ
40	9H	20	床面	/	L R タテ
40	9H	21	覆土	/	無文
40	9H	22	覆土	/	L R ヨコ
40	9H	23	覆土	L 単絡1類・斜メ	/
40	9H	24	覆土	/	沈線、刺突
40	9H	25	覆土	/	無文、沈線
40	9H	27	覆土	/	L 単絡1類タテ・斜メ
40	10H	1	覆土	L R 押圧、貼付	L R タテ・ヨコ、結節タテ
40	10H	2	覆土	L R ヨコ	L R ヨコ
41	10H	3	覆土		
42	10H	4	覆土		
43	10H	5	覆土		
43	10H	6	覆土		
43	10H	7	覆土	L R 押圧	/
43	10H	8	覆土	L R 押圧	縄端押圧、L R ヨコ
43	10H	9	覆土	L R 押圧、貼付	/
43	10H	10	覆土	L R ヨコ	L R ヨコ
44	10H	11	覆土		
44	10H	12	覆土		
45	10H	13	炉	R 縄端押圧、L R 押圧ヨコ	L R ヨコ
45	10H	14	pit 6	/	結節タテ
45	10H	15	覆土	L R 押圧、貼付	L R タテ・ヨコ
45	10H	16	覆土	L R 押圧、貼付	L R・R L 結束1種ヨコ
45	10H	17	覆土	L R 押圧、貼付	結節ヨコ、L R ヨコ
45	10H	18	覆土	L R 押圧、貼付	/
46	11H	1	覆土		
46	11H	2	覆土	L R 押圧	結節ヨコ・タテ、L R ヨコ
46	11H	3	覆土	L R ヨコ	L R ヨコ
46	11H	4	覆土	L R 押圧、貼付	L R L ヨコ
46	11H	5	覆土	L R 押圧	/
46	11H	6	覆土	L R ヨコ	結節ヨコ、L R ヨコ

図版 番号	住居 番号	遺物 番号	層位	口 頸 部 文 様	胴 部 文 様
47	11H	7	覆土	L R 押圧、貼付	L R ヨコ、結節タテ
47	11H	8	床直	無文	無文
47	11H	9	覆土	L R 押圧	L R ヨコ
47	11H	10	覆土	L R 押圧、貼付	/
47	11H	11	覆土	単絡1類押圧、結節ヨコ	L R ヨコ
47	11H	13	覆土		
48	12H	1	覆土	/	R L R ヨコ
48	12H	2	覆土	/	単絡、木目状
48	13H	1	床面	/	無文
48	13H	2	覆土		
48	13H	3	覆土		
48	13H	4	覆土		
48	13H	5	覆土		
48	13H	6	覆土		
48	13H	7	覆土		
48	13H	8	覆土		
48	13H	9	覆土		
48	13H	10	覆土		
49	14H	1	覆土		
49	14H	2	覆土	L 3 R ヨコ、隆帯	L 3 R ヨコ
49	14H	3	覆土	押圧、結節ヨコ	R L R ヨコ
49	14H	4	覆土		?
49	14H	5	覆土	/	L R ヨコ
49	15H	1	覆土	押圧、隆帯	R L・L R 結束1種ヨコ
49	15H	2	覆土	押圧	L R ヨコ
49	15H	3	覆土	押圧	/
49	15H	4	覆土	押圧	/
49	15H	5	覆土	口唇半さい竹管刺突、絡圧、半さい竹管刺突	/
49	15H	6	覆土	/	R L・L R 結束1種タテ、結節タテ
49	15H	7	覆土	/	L R ヨコ
49	15H	8	覆土	結節ヨコ、隆帯、指頭押圧	L R ヨコ
49	16H	1	覆土	押圧	R L ヨコ
49	16H	2	覆土	押圧	R L ヨコ
49	16H	3	覆土	/	結束1種ヨコ (付加条付)
49	16H	4	覆土	/	R L R タテ
49	16H	5	覆土	押圧	/
49	16H	6	覆土	口唇押圧、結節	/

図版 番号	土坑 番号	遺物 番号	層位	口 頸 部 文 様	胴 部 文 様
119	3土	1	覆土	/	LR・RL結束2種ヨコ
119	3土	2	覆土	/	/
119	3土	3	覆土	/	/
119	3土	4	覆土	/	結節、LR・RL結束1種ヨコ
119	4土	1	覆土	沈線	無文
119	4土	2	覆土	口唇LRヨコ、R押圧、L押圧、結節ヨコ、刺突	RL・LR結束1種ヨコ
119	4土	3	覆土	口唇LRヨコ、LR押圧、刺突、隆突	単絡1A類下向(R-R)
119	4土	4	覆土		
120	4土	5	Ⅲ		
121	5土	1	覆土	押圧	/
121	8土	1	覆土	/	LR・RL結束1種ヨコ
121	8土	2	床面	口唇LRヨコ、L押圧	結節ヨコ、LR・L(R・R・L)結束1種ヨコ(付加条付)
121	8土	3	床面	LR押圧	RL・LR結束1種ヨコ
121	8土	4	覆土	L押圧、隆帯、刺突	RL・LR結束1種ヨコ
121	8土	5	覆土		
121	8土	6	覆土	/	RL、LR結束1種ヨコ
122	10土	1	覆土	押圧	木目状
122	10土	2	覆土	結束ヨコ、隆帯、刺突	多絡タテ
122	10土	3	覆土	/	LR・RL結束1種ヨコ、結節タテ
122	13土	1	覆土		
122	13土	2	覆土	押圧	/
122	13土	3	覆土	押圧	/
122	14土	1	覆土	/	LR・RL結束1種ヨコ、結節タテ
122	14土	2	覆土	/	単絡1A類タテ
122	14土	3	覆土	/	単絡1A類タテ(L-L)
122	15土	1	覆土	刺突、結節ヨコ	多絡タテ
122	15土	2	覆土	L押圧、R押圧、刺突	LR・RL結束1種
122	15土	3	覆土	LRヨコ	/
122	15土	4	覆土	/	LR・RL結束1種ヨコ、結節ヨコ
123	17土	1	覆土	LRとRの押圧ヨコ、刺突	単絡1A類下向(R-L)
123	17土	2	覆土	/	RL押圧、単絡1類
123	17土	3	覆土	LR押圧、刺突	/
123	18土	1	覆土	結節ヨコ、LR押圧	RL・LR結束1種ヨコ
123	18土	2	覆土	/	LR・LR結束1種ヨコ
123	18土	3	覆土	/	LR、RL結束1種ヨコ
123	18土	4	覆土	/	/
123	20土	1	覆土	LR押圧	/
123	20土	2	覆土	R押圧、LR押圧	単絡1A類上向、単絡1類タテ
123	20土	3	覆土	/	RL・LR結束1種ヨコ
123	21土	1	覆土	/	LRヨコ
123	21土	2	覆土	/	LRヨコ
123	22土	1	覆土		
123	22土	2	覆土	/	多絡タテ
123	22土	3	床面	LR押圧、隆帯、刺突	単絡1A類下向(R-L)
123	22土	4	覆土	/	LRヨコ(0段多糸)
124	23土	1	床面		
124	23土	2	覆土	単絡5類押圧、刺突、隆帯	切込、単絡5類押圧、刺突
124	23土	3	覆土	L押圧、単絡6類押圧、隆帯、刺突	結節ヨコ、タテ、単絡1A類下向(R-R)

図版 番号	土坑 番号	遺物 番号	層位	口 頸 部 文 様	胴 部 文 様
124	24土	1	覆土		
124	24土	2	覆土	R 押圧、刺突	単絡1A類下向 (L・R-R・L)
125	24土	3	覆土		
125	25土	1	床面	/	/
125	26土	1	覆土	/	L R・R L 結束1種ヨコ
125	26土	2	覆土	/	L R・R L 結束1種ヨコ
125	26土	3	覆土	/	多絡タテ
125	27土	1	覆土	/	多絡タテ
125	27土	2	覆土	L 押圧	/
125	27土	3	覆土	/	L R ヨコ
125	27土	4	覆土	/	単絡1A類
125	28土	1	床面	/	単絡1A類上向下向交互 (L・L-R・R)
125	28土	2	覆土		
125	28土	3	覆土	L R 押圧、L 押圧、R 押圧、隆帯	結束2種ヨコ (付加条付)
125	28土	4	覆土	/	L R ヨコ
125	28土	5	覆土	/	R 単絡1類タテ、結節ヨコ
125	28土	6	覆土	/	単絡1A類 (R・L-L・R)
125	28土	7	覆土	L 押圧、隆帯	単絡1A類下向 (R-L)
126	29土	1	床面		
126	29土	2	覆土	結節ヨコ、縄端刺突、L R 押圧	単絡1A類下向
126	29土	3	覆土	/	単絡1A類
126	29土	4	覆土	/	L R・R L 結束1種ヨコ
126	30土	1	覆土	L R 押圧	/
126	30土	2	覆土	R 押圧	/
126	30土	3	覆土	/	L R・R L 結束1種ヨコ
126	31土	1	覆土		
127	31土	2	覆土	多絡押圧、隆帯、刺突	多絡タテ
127	31土	3	覆土	R 押圧、刺突、隆帯	単絡1A類下向 (R・R-R・R)、結節タテ
127	31土	4	覆土		
128	31土	6	覆土	口唇 R L ヨコ、L R 押圧、刺突	R L・L R 結束1種ヨコ
128	31土	7	覆土	L 押圧ヨコ、R 押圧ヨコ、刺突	L R・R L 結束1種ヨコ
128	31土	8	覆土	口唇 L R ヨコ、L R 押圧、刺突、隆帯	単絡1A類
128	31土	9	覆土	/	R 単絡1類タテ、結節ヨコ
128	31土	10	覆土	/	L R・R L 結束1種ヨコ
128	31土	11	覆土	L 押圧、刺突	L R・R L 結束1種
128	32土	1	覆土	/	L R・R L 結束1種ヨコ
128	32土	2	覆土	/	L R (0段多条) ヨコ
128	32土	3	覆土	/	/
129	33土	1	覆土	L R 押圧、隆帯、刺突	多絡タテ
129	33土	2	覆土	L 押圧、刺突、隆帯、R L 押圧	R L R ヨコ (0段多条)、L R ヨコ、結節ヨコ
129	33土	3	覆土	隆帯、刺突、結節ヨコ	L ヨコ、R L R ヨコ (0段多条)、隆帯、刺突
129	33土	4	覆土	L 押圧、刺突	L R・R L 結束1種ヨコ
129	33土	5	覆土	/	L R・R L 結束1種ヨコ
129	34土	1	覆土	押圧、隆帯	/
129	34土	2	覆土	押圧、貼付	結節ヨコ、タテ、L R ヨコ
129	34土	3	覆土	押圧、貼付、刺突	/
129	34土	4	覆土	押圧	/
129	34土	5	覆土	押圧	/

図版 番号	土坑 番号	遺物 番号	層位	口 頸 部 文 様	胴 部 文 様
129	34土	6	覆土	貼付、押圧	/
129	37土	1	覆土	L押圧、刺突	条痕
129	37土	2	覆土	条痕	条痕
129	37土	3	覆土	条痕タテ	/
129	37土	4	覆土	L押圧、R押圧、刺突	結節ヨコ、単絡1A類
129	37土	5	覆土	/	LR・RL結束1種ヨコ、結節ヨコ
130	37土	6	覆土	L押圧、R押圧、刺突	単絡1A類下向(L・R-R・L)、結節ヨコ
130	38土	1	床面	LR押圧(極細)、隆帯(低)	結節ヨコ、LR・RL結束1種ヨコ
130	38土	2	覆土	LR押圧、RL、刺突	多絡タテ
130	38土	3	覆土	LRヨコ、結節回転	LRヨコ
130	38土	4	覆土	結束ヨコ	
130	38土	5	床面	LR・RL結束1種タテ	LR・RL結束1種タテ
130	38土	6	覆土	/	LR・RL結束1種ヨコ
130	38土	7	覆土	L押圧	LRヨコ
130	38土	8	覆土	/	LR・RL結束1種ヨコ(付加条付)
130	39土	1	覆土	LRヨコ、結節ヨコ	LRヨコ(0段多条)
130	39土	2	覆土	押圧	/
130	39土	3	覆土	/	単絡タテ
130	41土	1	覆土	LRタテ	/
130	41土	2	覆土	LR押圧、隆帯、刺突	LR・RL結束1種ヨコ
130	41土	3	覆土	/	単絡1A類(R-L)
130	41土	4	覆土	/	結束1種ヨコ(付加条付)
131	42土	1	覆土		
131	42土	2	覆土	結節ヨコ、LRヨコ	LR・RL結束1種ヨコ、LRヨコ、
131	42土	3	覆土	R(0段多条)押圧、単絡5類押圧	結節ヨコ、結束1種ヨコ(付加条付)
131	42土	4	覆土	RL押圧	結束1種ヨコ(付加条付)
131	42土	5	覆土	/	LR・RL結束1種ヨコ
131	42土	6	覆土	口唇LRヨコ、R押圧、刺突	LR・RL結束1種ヨコ、R単絡1類タテ
131	44土	1	覆土	L押圧、貼付、隆帯	L単絡1類タテ
131	44土	2	覆土	R押圧、貼付、隆帯、刺突	/
131	44土	3	覆土	刺突、LR押圧、R押圧、隆帯	R押圧、結節ヨコ、LRヨコ
131	44土	4	覆土	沈線、無文	/
131	44土	5	覆土	/	単絡1A類下向(R・L-L・R)
131	45土	1	覆土		
131	45土	2	覆土	結束ヨコ	単絡1A類下向(L-R)
132	45土	3	覆土		
132	45土	4	覆土	LR押圧、貼付、結節ヨコ	単絡1A下向(R-R)
132	45土	5	覆土	LR・R繩束押圧	LRヨコ、結節ヨコ
132	45土	6	覆土	結節ヨコ、刺突	/
132	45土	7	覆土	L・L繩束押圧、LR押圧	多絡タテ
132	45土	8	覆土	結束ヨコ、隆帯、刺突	LR・RL結束1種ヨコ
132	45土	9	覆土	LR押圧、L・R繩束押圧、隆帯、刺突	LR・RL結束1種ヨコ
132	45土	10	覆土	LRヨコ(0段多条)、結束ヨコ	/
132	45土	11	覆土	/	LRヨコ(0段多条)
132	45土	12	覆土	/	多絡タテ
132	45土	13	覆土	/	多絡タテ
132	45土	14	覆土	/	LRヨコ、結節ヨコ
133	46土	1	覆土	無文、Rヨコ	Rヨコ

図版 番号	土坑 番号	遺物 番号	層位	口 頸 部 文 様	胴 部 文 様
133	46土	2	覆土	L R 押圧	/
133	46土	3	覆土	L 押圧	/
133	47土	1	覆土		
133	47土	2	覆土	単絡3類	単絡1類タテ
133	47土	3	覆土	L R 押圧	L R・R L 結束1種ヨコ
133	47土	4	床面	L R 押圧	L R・R L 結束1種ヨコ
133	47土	5	覆土	/	R L・L R 結束1種ヨコ、L R ヨコ
133	48土	1	覆土		
133	48土	2	覆土	/	L 単絡1類タテ
133	48土	3	覆土	R 押圧	/
133	48土	4	覆土	L R 押圧	R L・L R 結束1種ヨコ
133	48土	5	覆土	/	L R・R L 結束1種ヨコ、結節ヨコ
133	48土	6	覆土	/	R L 単絡1類タテ
134	49土	1	覆土		
134	49土	2	覆土	/	L R タテ
134	49土	3	覆土	/	多絡タテ
134	50土	1	覆土	/	L R ヨコ
134	51土	1	覆土	/	L R・R L 結束1種ヨコ
134	51土	2	覆土	/	L R タテ、沈線
134	52土	1	覆土	/	L R タテ、沈線、磨消
134	52土	2	覆土	L R 押圧	/
134	52土	3	覆土	口唇 L R 押圧、R 押圧	R ヨコ
134	52土	4	覆土	L R 押圧、貼付、刺突	
134	52土	5	覆土	L R 押圧	L R ヨコ、結束ヨコ
134	52土	6	覆土	/	沈線
134	52土	7	覆土	沈線	/
134	53土	1	覆土	/	L R ヨコ
134	53土	2	覆土	/	R L R ヨコ、L R ヨコ、結束ヨコ
134	53土	3	覆土	/	R L R ヨコ、L R ヨコ
134	53土	4	覆土	L R 押圧	L R ヨコ
134	54土	1	覆土	L R・R L 結束1種ヨコ、L R・R L 結束1種ヨコ、R 押圧	L R・R L 結束1種ヨコ、R L・R L 結束1種ヨコ
135	55土	1	覆土	隆帯、刺突	単絡1A類下向(L-R)
135	55土	2	覆土	/	L R タテ、沈線、無文
135	56土	1	床面	単絡1A類押圧、刺突	単絡1A類下向(L-R)
135	56土	2	床面	口唇 L R ヨコ、R 押圧、隆帯、刺突	/
135	56土	3	床面	口唇 L R ヨコ、L R ヨコ、L R 押圧	L R ヨコ
135	56土	4	床面		
135	56土	5	床面	/	単絡1A類下向(L-L)
135	57土	1	覆土	/	L R ヨコ
135	58土	1	覆土		
135	58土	2	覆土	L R 押圧、隆帯、刺突	/
135	58土	3	覆土	L 押圧	
135	58土	4	覆土	L 押圧	
136	58土	5	覆土	単絡5類押圧、結節ヨコ、隆帯、縄端刺突	結節ヨコ、L R 単絡1類タテ
136	58土	6	覆土	R 押圧、隆帯、L R 押圧	多絡タテ
136	58土	7	覆土	R 押圧、隆帯	多絡タテ
136	59土	1	覆土		
136	59土	2	覆土	L R 押圧、隆帯、刺突	結節ヨコ

図版 番号	土坑 番号	遺物 番号	層位	口 頸 部 文 様	胴 部 文 様
136	59土	3	覆土	隆帯、刺突	結節ヨコ、L R タテ、R 単絡1類タテ
136	59土	4	覆土	R 押圧	R 単絡1類タテ、結節ヨコ
136	59土	5	覆土	L R 押圧	/
136	59土	6	覆土	R 押圧、L 押圧	/
136	59土	7	覆土	結節ヨコ	L R ヨコ
136	60土	1	覆土	L R 押圧、隆帯	/
136	60土	2	覆土	L R 押圧、隆帯、刺突	/
136	60土	3	覆土	単絡6 A類、L R 押圧	単絡1 A類下向(L-R)
136	61土	1	覆土	/	単絡1 A類
137	62土	1	覆土	L 押圧、多絡押圧	/
137	62土	2	覆土	/	単絡1 A類(R-L)
137	62土	3	覆土	/	単絡タテ
137	63土	1	床直		
137	63土	2	覆土		
137	63土	3	覆土	隆帯、刺突	R L・L R 結束1種ヨコ
137	63土	4	覆土	隆帯、刺突	多絡タテ
137	63土	5	覆土	L R 押圧、単絡押圧	/
137	64土	1	覆土		
137	64土	2	覆土	口唇L R ヨコ、結節	結節ヨコ
138	65土	1	覆土	R 押圧、R L・L R 結束1種ヨコ	
138	65土	2	覆土	L R 押圧	/
138	65土	3	覆土	/	1段結束1種ヨコ
138	66土	1	覆土	口唇L R ヨコ、L R ヨコ、結節ヨコ	/
138	66土	2	覆土	L R ヨコ	/
138	66土	3	覆土	/	単絡タテ
138	67土	1	覆土	L 押圧	L R・R L 結束1種ヨコ
138	67土	2	覆土	口唇L R ヨコ、L R 押圧、刺突、隆帯	R L・L R 結束1種ヨコ、多絡タテ
138	67土	3	覆土	L R 押圧、刺突	L R ヨコ、R L ヨコ
138	67土	4	覆土	L R 押圧	/
138	67土	5	覆土	/	R L・L R 結束1種ヨコ
138	68土	1	覆土	結節ヨコ	/
138	68土	2	覆土	R 単絡1類ヨコ、L R ヨコ、L R 押圧	/
138	68土	3	覆土	/	L R ヨコ
138	68土	4	覆土	/	単絡1 A類(L-R)
139	69土	1	覆土		
139	69土	2	覆土		
139	69土	3	覆土	L R・R L 結束1種ヨコ、結節ヨコ	L R・R L 結束1種ヨコ、結節ヨコ
139	69土	4	覆土	L 押圧、R 押圧、刺突、隆帯	多絡タテ
139	69土	5	覆土	L R 押圧	R L・L R 結束1種ヨコ
139	69土	6	覆土	L 押圧、単絡5類押圧	R L・L R 結束1種ヨコ
139	69土	7	覆土	口唇R L ヨコ、L R 押圧、単絡5類押圧	結節ヨコ、R L・L R 結束1種ヨコ
139	69土	8	覆土	L R 押圧	R L・L R 結束1種ヨコ
139	69土	10	覆土	/	L R・R L 結束1種
140	71土	1	覆土	口唇L R ヨコ、単絡1類押圧、刺突、隆帯	多絡タテ
140	71土	2	覆土	/	L R・R L 結束1種ヨコ
140	71土	3	覆土	/	L R・R L 結束1種ヨコ
140	71土	4	覆土	L R 押圧	L R・R L 結束1種ヨコ
140	71土	5	覆土	単絡1類押圧、単絡5類押圧	多絡タテ

図版 番号	土坑 番号	遺物 番号	層位	口 頸 部 文 様	胴 部 文 様
140	71土	6	覆土	刺突、LR押圧、貼付	
140	71土	7	覆土	/	ヘラナデ
140	71土	8	覆土	/	多絡タテ
140	71土	9	覆土	L押圧ヨコ、刺突、隆帯	LR・RL結束1種ヨコ
141	71土	10	覆土	口唇LRヨコ、結節ヨコ、LR押圧	LR・RL結束1種ヨコ
141	71土	11	覆土	結節ヨコ、LR押圧	LR・RL結束1種ヨコ
141	72土	1	覆土	LRヨコ、結節ヨコ	LRヨコ
141	72土	2	覆土	口唇LRヨコ、結節ヨコ	LRヨコ
141	72土	3	覆土	LRヨコ、結節ヨコ	LRヨコ
141	72土	4	覆土	口唇LRヨコ、結節ヨコ	/
141	72土	5	覆土	LRヨコ	/
141	72土	6	覆土	/	LRヨコ
141	72土	7	覆土	/	LRヨコ
141	73土	1	覆土	LR押圧、貼付、隆帯、刺突	RL・LR結束2種ヨコ
141	73土	2	覆土	口唇刻目、RL押圧	RL・LR結束1種ヨコ
142	73土	3	覆土	/	沈線
142	74土	1	覆土	口唇LR・RL結束1種ヨコ、LR・RL結束1種ヨコ、隆帯、刺突	LR・RL結束1種ヨコ
142	74土	2	覆土	/	単絡1A類 (R・L-R・L)
142	74土	3	覆土	L押圧、LR押圧、RL押圧、隆帯	単絡5類押圧、RL・LR結束1種ヨコ
142	74土	4	覆土	LR押圧	RL・LR結束1種ヨコ
142	74土	5	覆土	LR押圧、隆帯、刺突	多絡タテ
142	74土	6	覆土	R押圧、隆帯、刺突	多絡タテ
142	74土	7	覆土	単絡1類押圧、単絡5類押圧、隆帯、刺突	単絡1A類下向 (R・L-R・L)
142	74土	8	覆土	L押圧、LR押圧、隆帯、刺突	多絡タテ
142	74土	9	覆土	LRヨコ、結節ヨコ	/
142	74土	10	覆土	R押圧、隆帯	LR・RL結束1種ヨコ
142	74土	11	覆土	口唇RLヨコ、L押圧、隆帯、刺突	RL・LR結束1種ヨコ
143	75土	1	覆土	LRヨコ、L押圧、R押圧、刺突	LR・RL結束1種ヨコ、R単絡1類タテ
143	75土	2	覆土		
143	75土	4	覆土	R・L繩束押圧、刺突、隆帯	多絡タテ、結節タテ
143	75土	5	覆土	R・R繩束押圧、刺突	LR・RL結束1種ヨコ、結節ヨコ
143	75土	6	覆土	R押圧、刺突	LR・RL結束1種ヨコ、結節ヨコ
143	75土	7	覆土	R押圧、L押圧、刺突	多絡タテ
143	75土	8	覆土	/	R単絡タテ、結節ヨコ
143	75土	9	覆土	/	LR・RL結束1種ヨコ
144	75土	10	覆土	口唇LRヨコ、R押圧	結節ヨコ、R単絡1類ヨコ
144	75土	11	覆土		
144	75土	12	覆土	LR押圧、隆帯	/
144	75土	13	覆土	LR押圧、隆帯、刺突	多絡タテ
144	78土	1	覆土	R押圧、RL押圧	結束2種ヨコ (付加条件)
144	78土	2	覆土	単絡押圧、刺突	RL・LR結束1種ヨコ
144	78土	3	覆土	L押圧、R押圧、(繩束か)	
144	78土	4	覆土	/	単絡1A類 (L-L)
145	75土	14	覆土	LRヨコ、R押圧	LR・RL結束1種ヨコ
145	75土	15	覆土		
145	79土	1	覆土	LR・RL結束1種ヨコ	/
145	79土	2	覆土	単絡1類押圧、隆帯、刺突	単絡1A類上向下向交互 (L-L)
145	80土	1	床面	繩端刺突、LR押圧、隆帯	LR・LR結束1種ヨコ

図版 番号	土坑 番号	遺物 番号	層位	口 頸 部 文 様	胴 部 文 様
145	80土	2	床面	R 押圧、縄端刺突	結節ヨコ
145	83土	1	覆土	R 押圧	単絡1A類下向 (R・L-R・L)
145	83土	2	覆土	L R 押圧、刺突	結束1種ヨコ (付加条件)
145	83土	3	覆土	/	単絡1A類 (R-R)
145	83土	4	覆土	結節ヨコ	/
146	77土	1	覆土	R 押圧、刺突	R L・L R 結束1種ヨコ
146	77土	2	覆土	短絡6A類ヨコ、L 押圧	L R・R L 結束1種ヨコ、L R・R L 結束1種ヨコ (付加条件)
146	81土	1	覆土	口唇刻目、刺突	R L ヨコ
146	81土	2	覆土	L R ヨコ	L R ヨコ
146	81土	3	覆土	結節ヨコ、隆帯	/
146	81土	4	覆土	隆帯	R L R ヨコ (0段多条)
146	81土	5	覆土	口唇L R ヨコ、L R 押圧、隆帯	L R・R L 結束1種ヨコ
146	84土	1	覆土	R 押圧、隆帯	結節ヨコ
146	84土	2	覆土	口唇結節、結節ヨコ	/
146	84土	3	覆土	/	L R ヨコ
147	85土	1	覆土	口唇L R 押圧、結節ヨコ、R L R ヨコ	/
147	85土	2	覆土	L R 押圧	/
147	85土	3	覆土	/	結節、L R・R L 結束1種ヨコ
147	85土	4	覆土	/	L R 単絡1類タテ
147	85土	5	覆土	/	R 単絡1類タテ
147	86土	1	覆土	/	結節ヨコ、単絡1A類下向 (R-L)
147	86土	2	覆土	/	単絡1A類下向 (R-L)
147	86土	3	覆土	/	L R ヨコ、R L ヨコ、結節ヨコ
147	87土	1	覆土	沈線	/
147	87土	2	覆土	口唇L R ヨコ、L R 押圧	R L・L R 結束1種ヨコ
147	87土	3	覆土	/	L R ヨコ
147	87土	4	覆土		R L・L R 結束1種ヨコ、単絡1類タテ
147	87土	5	覆土	/	R 単絡1類タテ
147	87土	6	覆土	/	L R ヨコ、結節ヨコ
147	88土	1	覆土	L R 押圧	L R・L R 結束1種ヨコ、R L・L R 結束2種ヨコ、R L・L R 結束1種ヨコ
147	88土	2	覆土		
147	88土	3	覆土	L R 押圧、隆帯	結節ヨコ、単絡1A類上向 (L-R)
147	88土	4	覆土	L R 押圧、結節ヨコ、刺突	/
147	88土	5	覆土	/	/
147	88土	6	覆土	L R 押圧	単絡1A類上向 (L-R)
148	89土	1	覆土		L R 押圧、L R ヨコ
148	89土	2	覆土	/	L R ヨコ
148	90土	1	覆土	/	L R・R L 結束1種ヨコ
148	90土	2	覆土	/	L R・R L 結束1種ヨコ
148	90土	3	覆土	/	L R ヨコ
148	91土	1	覆土	L 押圧	/
148	91土	2	覆土	/	L R ヨコ
148	91土	3	覆土	/	L R ヨコ
148	92土	1	覆土	/	L R ヨコ、R L ヨコ、単絡1類押圧
148	92土	2	覆土	R 押圧	/
148	92土	3	覆土	/	L R・R L 結束1種ヨコ
148	93土	1	覆土	R 押圧、刺突	R L・L R 結束1種ヨコ
148	93土	2	覆土	口唇R L ヨコ、L R 押圧、単絡5類押圧	R L・L R 結束1種ヨコ

図版 番号	土坑 番号	遺物 番号	層位	口 頸 部 文 様	胴 部 文 様
148	93土	3	覆土	L R 押圧、R L・L R 結束1種ヨコ	L R・R L 結束1種ヨコ
148	93土	4	覆土	単絡6 A 類ヨコ、単絡押圧	単絡1 A 類タテ (R-R)
148	93土	5	覆土	/	L R ヨコ (0 段多条)
148	93土	6	覆土	L R 押圧	結束1種ヨコ (付加条件)
148	93土	7	覆土	L R・R L 結束1種ヨコ、結節ヨコ	L 単絡タテ、結節ヨコ
148	93土	8	覆土	L R 押圧、刺突	多絡タテ
148	93土	0	覆土	/	L R ヨコ
148	93土	10	覆土	/	結束1種ヨコ (付加条件)
148	93土	11	覆土	/	L R ヨコ
149	94土	1	覆土	L R ヨコ、結節ヨコ	L R ヨコ
149	94土	2	覆土	L R 押圧、隆帯、刺突	/
149	94土	3	覆土	/	単絡1 A 類 (R-R)
149	94土	4	覆土	/	多絡タテ
149	94土	5	覆土	/	
149	95土	1	覆土	/	単絡1 A 類タテ (R・L-R・L)、結節タテ
149	95土	2	覆土	/	単絡1 A 類タテ (R・L-R・L)、結節タテ
149	96土	1	覆土	口唇刻目、L R ヨコ、結節	/
149	96土	2	覆土	/	L R・R L 結束1種ヨコ
149	96土	3	覆土	/	単絡1 A 類タテ (L-R)
149	96土	4	覆土	/	L R タテ、結節タテ
149	96土	5	覆土	/	単絡1 A 類
149	99土	1	覆土		
149	99土	2	覆土	R 押圧、隆帯、刺突	結節ヨコ、L R・R L 結束1種ヨコ
149	99土	3	覆土	L R 押圧、刺突、隆帯	多絡タテ
149	99土	4	覆土	口唇 L R L ヨコ、結節ヨコ、R L・L R 結束1種ヨコ、単絡5 類押圧	/
149	99土	5	覆土	/	多絡タテ
149	99土	6	覆土	/	R L・L R 結束1種ヨコ
150	100土	1	覆土	L R・R L 結束1種ヨコ、R 押圧	/
150	100土	2	覆土	単絡5 類? 刺突	
150	100土	3	覆土	L R 押圧、結節ヨコ	/
150	100土	4	覆土	R 押圧	結節ヨコ、多絡タテ
150	100土	5	覆土	/	R 押圧、R L・L R 結束1種ヨコ、結節ヨコ
150	100土	6	覆土	単絡6 A 類ヨコ、R 押圧、刺突	/
150	100土	7	覆土	隆帯	爪形刺突、R L・L R 押圧
150	100土	8	覆土	隆帯、刺突	L R ヨコ
150	100土	9	覆土	/	L R ヨコ
150	100土	10	覆土	/	L R・R L 結束2種ヨコ
150	100土	11	覆土	/	L R・R L 結束1種ヨコ、結節ヨコ
150	102土	1	覆土	L R 押圧ヨコ、隆帯、刺突	L R・R L 結束1種ヨコ
150	102土	2	覆土	/	単絡1 A 類下向 (L-R)
150	102土	3	覆土	/	R (L R・R) のヨコ
150	102土	4	覆土	/	単絡1 A 類上向下向交互 (L-R)
150	102土	5	覆土	/	L R・R L 結束1種ヨコ、R 多絡タテ
150	102土	6	覆土	/	結節ヨコ、L R ヨコ、R L R ヨコ
150	102土	7	覆土	/	L R ヨコ
150	103土	1	覆土	L R 押圧、L R・R L 結束1種	L R・R L 結束1種ヨコ
150	103土	2	覆土	押引	押引
150	103土	3	覆土	/	R 単絡1 類

図版 番号	土坑 番号	遺物 番号	層位	口 頸 部 文 様	胴 部 文 様
150	103土	4	覆土	/	LRヨコ
150	103土	5	覆土	/	LRヨコ、結節ヨコ
150	109土	1	覆土		
150	109土	2	覆土	/	R単絡1類タテ、結節タテ
150	109土	3	覆土	RL押圧	/
150	109土	4	覆土	L押圧	多絡タテ
150	109土	5	覆土	結節ヨコ	LRヨコ
151	104土	1	覆土		
151	104土	2	覆土	/	LRヨコ、結節ヨコ
151	104土	3	覆土	無文、LRヨコ(0段多条)	/
151	110土	1	覆土	/	
151	110土	2	覆土	/	無文
151	112土	1	覆土	/	LRLヨコ(0段多条)
151	112土	2	覆土	/	多絡タテ
151	117土	1	覆土	/	単絡1A類下向(R-R)
151	117土	2	覆土		
152	117土	3	覆土	/	RLLヨコ
152	117土	4	覆土	貼付、LR押圧、刺突	結節ヨコ
152	117土	5	覆土	LR押圧	/
152	117土	6	覆土	/	RLLヨコ
152	118土	1	覆土	/	多絡タテ
152	119土	1	覆土	LR押圧、隆帯、繩端刺突	LR・RL結束1種ヨコ
152	119土	2	覆土	LR押圧	/
152	119土	3	覆土	口唇LR押圧、RLヨコ、LR押圧	RLヨコ
152	119土	4	覆土	口唇LR押圧、LR押圧、LRヨコ	LR押圧
152	119土	5	覆土	LR押圧	/
152	119土	6	覆土	LR押圧	/
153	117土	7	覆土	単絡1類押圧	結節ヨコ、LRヨコ(0段多条)、RLLヨコ(0段多条)
153	119土7		覆土		
153	119土	8	覆土		
153	119土	9	覆土	/	結節ヨコ、LRヨコ、LRヨコ(0段多条)
153	119土	10	覆土		
153	119土	11	覆土	/	LRヨコ
153	119土	12	覆土	/	LRヨコ
153	119土	13	覆土		
154	117土	8	覆土	/	RLLヨコ
154	119土	14	覆土	LR押圧	結節ヨコ、LR・RL結束1種ヨコ
154	122土	1	覆土	LR押圧、刺突、隆帯	多絡タテ
154	123土	1	覆土	口唇RLヨコ、LR押圧、刺突	単絡1A類下向(L-R)
154	124土	1	覆土	/	単絡5類
154	124土	2	覆土	結節ヨコ	/
154	124土	3	覆土	単絡6A類	/
154	127土	1	覆土	LR押圧、貼付	/
154	127土	2	覆土	/	単絡1A類(R-R)
154	127土	3	覆土	/	LR・RL結束1種ヨコ
155	120土	1	床面		
155	120土	2	覆土	/	LRとRLの結束1種
155	120土	3	覆土	/	無文

図版 番号	土坑 番号	遺物 番号	層位	口 頸 部 文 様	胴 部 文 様
155	120土	4	覆土	絡圧	多絡タテ
156	129土	1	覆土	無文	無文
156	129土	2	覆土	L・R押圧、隆帯、刺突	多絡タテ
156	129土	3	覆土	L R 押圧	/
156	129土	4	覆土	L R 押圧	L R・R L 結束 1 種ヨコ
156	129土	5	覆土	/	多絡タテ
156	129土	6	覆土	/	多絡タテ
156	129土	7	覆土	/	単絡 5 類タテ
156	132土	1	覆土	単絡 1 A 類下向 (R-R)	単絡 1 A 類下向 (R-R)
156	132土	2	覆土	口唇刻目	/
156	132土	3	覆土	/	L R・R L 結束 1 種ヨコ
156	132土	4	覆土	/	単絡 1 A 類下向 (L-R)

住居跡内出土石器

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	大分類	小分類	備考	整理No.
第50図- 1	1 H	フ	56	10	4	1.7	珪	石鏃	I c	PIT 1	1001
2	〃	フ	45	11	4	1.8	珪	〃	I c	PIT 2	1002
3	〃	IV	41	16	5	2.7	玉珪	〃	I d		1005
4	〃	フ	41	15	9	4.8	珪	〃	II b	PIT 3 S-2	1003
5	〃	フ	40	18	8	5.4	珪	〃	II b		1000
6	〃	IV	36	18	5	2.5	鉄	〃	II a	S-80	1004
7	〃	フ	26	14	6	1.9	珪	〃	II b	S-49	1133
8	〃	IV	36	15	6	2.3	珪	〃	II a	S-70	1006
9	3 H・5 H	フ	22	11	3	0.8	珪	〃	I c		1015
10	6 H	フ	34	22	4	2.3	珪	〃	I c		1046
11	〃	床直	23	12	6	1.6	珪	〃	I c	S-48 基部欠損	1033
12	〃	フ	29	16	6	1.9	珪	〃	II b		1032
13	〃	フ	28	13	4	1.4	珪	〃	I c	PIT 10	1029
14	〃	フ	32	15	5	2.2	珪	〃	I d		1030
15	〃	床直	32	16	7	3.8	珪	〃	-	S-49 欠損	1028
16	〃	フ	26	20	4	1.5	珪	〃	I c		1031
17	〃	フ	18	22	8	2.3	珪	〃	-	先端部欠損	1132
18	7 H	フ	33	19	2	2.3	玉珪	〃	I b		1014
19	8 H	床面	24	11	5	1.2	珪	〃	I d	S-8	1016
20	9 H	床面	31	14	8	2.7	珪	〃	II b	S-9	1008
第51図- 1	〃	フ	44	22	8	6	珪	〃	I c		1010
2	〃	床面	51	24	6	5	珪	〃	I d	S-10	1035
3	〃	フ	30	13	5	1.6	珪	〃	-	欠損	1011
4	10 H	フ	24	15	5	1.2	珪	〃	II a		1013
5	11 H	フ	29	18	5	1.7	珪	〃	I a	S-23	1012
6	〃	床直	40	13	7	3.5	珪	〃	II b	S-6	1036
7	15 H	床面	53	21	6	5.4	珪	〃	I a	S-1	1007
8	〃	フ	43	14	4	2.3	珪	〃	I a		1009
9	14 H	フ	61	33	13	22.3	珪	石槍			2003
10	〃	フ	64	25	13	20.7	珪	〃			2004
第52図- 1	11 H	フ	29	16	9	2.8	珪	石鏃	I		3024
2	1 H	IV	51	34	9	12.7	珪	石匕	I		4065
3	〃	IV	66	35	8	16.6	珪	〃	I		4062
4	〃	IV	33	39	8	8.6	珪	〃	II		4067
5	〃	フ	57	17	6	4.9	珪	〃	I	S-45	4066
6	2 H	フ	81	47	13	39.1	珪	〃	I		4060
7	6 H	フ	32	49	11	13.2	珪	〃	II		4061
第53図- 1	2 H	フ	42	23	13	9.9	珪	石筥	II	S-2	5016
2	6 H	床面	41	28	14	17.9	珪	〃	II	S-25 欠損	5047
3	〃	フ	62	27	15	19.4	緑細凝	〃	I	S-60	5020
4	11 H	フ	77	30	14	37.1	緑細凝	〃	I	S-4	5008
第54図- 1	1 H	IV	41	28	8	5.7	珪	不定形	I		6353
2	〃	IV	48	32	12	16.7	珪	〃	I	S-73	6347
3	〃	フ	36	25	11	8.2	珪	〃	I		6352
4	〃	IV	29	22	5	3.5	珪	〃	I	石匕?	5050
5	〃	フ	49	24	19	23.1	珪	〃	I	PIT 4 S-2 コア	6004
6	2 H	フ	48	41	16	22.6	珪	〃	II		6005

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	大分類	小分類	備考	整理No.
7	2 H	フ	29	36	11	8.2	珪	ク	Ⅲ		6006
8	ク	フ	24	22	8	3.5	珪	ク	I		6338
9	ク	フ	34	20	6	3.7	珪	ク	I		6357
10	3 H・5 H	フ	51	21	5	3.8	珪	ク	I		6359
第55図-1	6 H	フ	47	42	19	33.6	珪	ク	I		6345
2	ク	床面	50	27	16	19.5	珪	ク	I	S-24	6341
3	ク	床面	25	22	7	2.5	珪	ク	Ⅲ	S-37	6007
4	ク	フ	37	31	13	9.6	珪	ク	I		6349
5	ク	床直	37	25	7	7.3	鉄	ク	I	S-34	5005
6	7 H	床面	59	27	11	15.4	珪	ク	I	S-3	6351
7	ク	フ	34	22	7	4.8	珪	ク	I		5041
8	ク	フ	33	22	11	10	珪	ク	I	ピエス・エスキューユ	6003
9	8 H	フ	33	24	8	6.8	珪	ク	I		6340
10	9 H	床面	67	42	12	25.3	玉珪	ク	I	S-5	2007
第56図-1	10 H	フ	51	30	14	18.7	珪	ク	I	S-14	6339
2	11 H	フ	43	23	9	6.1	珪	ク	I		6344
3	ク	フ	32	15	7	2.2	珪	ク	I		6336
4	12 H	Ⅱ	34	43	11	16.4	珪	ク	I	PIT 1	6348
5	14 H	フ	35	30	11	10	珪	ク	Ⅱ		6355
6	15 H	床面	110	31	11	36.2	粘	ク	I	S-1	2002
第57図-1	1 H	フ	100	45	21	172	頁	石斧		S-26	7011
2	ク	フ	84	54	35	274	輝	ク			7012
3	8 H	フ	68	50	42	220	輝	ク		S-1	7013
4	10 H	フ	83	41	15	82	頁	ク			7002
5	ク	フ	40	12	10	11	頁	ク		S-16	7010
6	11 H	フ	50	41	16	53	玉珪	ク			7007
7	ク	床面	102	39	20	150	頁	ク		S-5	7008
第58図-1	ク	フ	83	64	37	379	頁	ク			7005
2	ク	フ	110	44	25	159	輝	ク			7006
3	14 H	フ	56	44	12	39	頁	ク		S-13	7009
第59図-1	1 H	フ	146	61	30	389	砂	半円状扁平打製石器	I	S-1	8042
2	ク	床面	153	67	31	461	輝	ク	I	S-78	8077
3	ク	フ	153	74	35	654	凝	ク	Ⅲ	S-31	8068
4	ク	床面	136	65	27	355	砂	ク	I	S-75 敲打痕	8073
5	ク	床面	205	55	22	390	粘	ク	Ⅲ	S-76	8046
6	ク	Ⅳ	121	65	24	212	輝凝	ク	Ⅲ	S-60	8061
第60図-1	3 H・5 H	フ	70	107	28	277	安	ク	V		8093
2	1 H	フ	73	94	33	311	安	ク	I	S-20	8097
3	ク		90	111	37	508	安	ク	V		8093
4	ク	フ	77	83	34	309	安	ク	I	S-46	8092
5	ク	Ⅳ	158	68	23	274	頁	ク	Ⅲ		8054
6	5 H	床面	60	128	30	326	安	ク	I	S-5	8101
7	3 H・5 H	フ	170	54	24	279	砂	ク	Ⅲ		8053
第61図-1	6 H	フ	170	73	44	764	砂	ク	I		8070
2	ク	床面	157	78	32	491	砂	ク	Ⅲ	S-67	8056
3	ク	床面	96	117	43	714	安	ク	Ⅲ	S-66	8091
4	ク	床直	141	46	20	198	砂	ク	-	S-15	8048
5	ク	床面	68	77	27	208	安	ク	I	S-8	8099

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	大分類	小分類	備考	整理No.
6	6 H	フ	76	87	27	248	安	〃	—		8103
7	〃	床面	60	85	15	124	安	〃	I	S-19	8095
8	〃	フ	98	36	10	44	粘	〃	Ⅲ		8075
第62図-1	10 H	フ	104	55	15	122	頁	〃	Ⅳ	S-1	8050
2	11 H	床直	103	48	22	166	砂	〃	I	S-2	8079
3	〃	フ	119	52	20	205	砂	〃	I		8060
4	〃	フ	125	65	14	142	粘	〃	Ⅱ	S-19	8062
5	〃	フ	82	87	32	290	安	〃	Ⅲ		8098
6	10 H	フ	162	53	24	223	赤紫色輝凝	〃	I	S-4 凹	8043
7	11 H	フ	92	147	36	615	安	〃	V	S-22	8090
第63図-1	〃	床面	160	84	22	325	砂	〃	Ⅱ	S-1	8064
2	14 H	フ	154	77	27	545	輝凝	〃	I		8058
3	〃	フ	179	67	18	314	粘	〃	Ⅲ	S-7	8072
4	〃	フ	188	60	24	279	砂	〃	Ⅲ	S-17	8076
第64図-1	1 H	フ	97	71	26	256	砂	敲磨器類	I	S-32	74
2	〃	フ	125	77	31	415	安	〃	I	S-41	47
3	〃	フ	147	139	27	925	安	〃	Ⅳ	S-37	51
4	〃	フ	144	99	43	249	安	〃	Ⅳ	S-30	36
5	〃	フ	137	75	53	638	安	〃	Ⅲ	S-42	82
第65図-1	〃	Ⅳ	188	92	36	830	安	〃	Ⅲ	S-52 1 HS-54と接合	2
2	〃	フ	111	83	46	580	安	〃	Ⅲ	S-34	46
3	〃	フ	54	70	33	169	安	〃	Ⅲ	S-4	69
4	〃	フ	11	42	23	184	砂	〃	Ⅲ	S-44	78
5	〃	フ	80	67	28	200	安	〃	Ⅲ	S-15	8
6	2 H	フ	172	45	37	768	砂	〃	Ⅲ	S-5	68
7	3 H	フ	116	93	61	846	砂	〃	I	S-3	59
第66図-1	3 H・5 H	フ	130	72	20	340	砂	〃	Ⅲ		61
2	〃	フ	72	53	41	243	安	〃	Ⅲ		1
3	5 H	床面	94	58	29	208	砂	〃	Ⅲ	S-5	66
4	3 H・5 H	フ	157	53	33	450	砂	〃	Ⅲ		60
5	6 H	床面	191	70	15	273	砂	〃	I	S-62	31
6	〃	床面	115	86	27	354	砂	〃	I	S-69	25
第67図-1	〃	フ	73	68	62	386	安	〃	I		67
2	〃	床面	87	74	23	163	安	〃	I	S-32	65
3	6 H	床面	104	83	11	248	砂	〃	I	S-70	27
4	〃	フ	127	74	28	402	安	〃	Ⅳ	S-47	5
5	〃	床面	169	60	32	382	セ	〃	Ⅳ	S-4	197
6	〃	床面	13	94	24	477	砂	〃	Ⅳ	S-1	75
7	〃	フ	160	57	44	562	砂	〃	Ⅲ		71
8	〃	床面	79	81	26	234	砂	〃	Ⅲ	S-55	62
第68図-1	〃	フ	93	57	24	225	砂	〃	Ⅲ	S-13	70
2	〃	床面	69	49	23	149	砂	〃	Ⅲ	S-71	58
3	7 H	床面	80	112	36	511	砂	〃	I	S-5	12
4	〃	フ	127	84	66	1160	安	〃	I	S-1	85
5	9 H	フ	95	74	53	570	安	〃	I	S-1	52
6	〃	フ	102	89	75	986	安	〃	I		81
第69図-1	〃	フ	136	89	48	983	砂	〃	Ⅲ		80
2	〃	床面	97	72	55	564	砂	〃	Ⅱ	S-6 顔料付着	17

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	大分類	小分類	備考	整理No.
3	10H	フ	80	70	32	283	安	〃	I	S-8	4
4	〃	フ	82	93	23	215	砂	〃	IV	S-12	54
5	〃	フ	110	91	26	371	砂	〃	IV	PIT 8 S-18	73
第70図-1	11H	床面	95	82	34	389	砂	〃	I	S-11	79
2	1H	床直	111	70	40	478	安	〃	I	S-24	6
3	11H	床直	76	39	32	142	頁	〃	II	S-7	10
4	〃	フ	12	64	24	274	砂	〃	IV	S-10	77
5	〃	床直	113	84	28	357	安	頁	III	S-25	41
6	13H	フ	141	90	53	894	安	〃	III	S-7	3
第71図-1	1H	フ	75	85	13	102	砂	〃	砥石	S-29	169
2	〃	フ	126	116	16	255	砂	石皿		S-48	174
3	〃	フ	225	251	90	6000	砂	〃		PIT 3 S-1	185
第72図-1	〃	フ	200	159	50	2300	砂	台石		S-24	182
2	5H	床面	421	259	120	15500	砂	〃		S-2	175
3	9H	床面	233	260	54	5000	砂	〃		S-4	181
第73図-1	〃	フ	191	168	45	2400	砂	〃		S-3	177
2	14H	フ	286	230	85	8500	砂	〃		S-9	176
3	〃	フ	296	192	96	6500	砂	〃		S-8	183

土坑内出土石器

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	大分類	小分類	備考	整理No.
第157図-1	3土	フ	36	16	6	2.3	珪	石鏃	I a		1019
2	〃	フ	37	13	5	1.9	珪	〃	I c		1020
3	〃	フ	33	15	3	1.7	珪	〃	I b		1022
4	31土	フ	35	13	5	1.9	珪	〃	I d		1025
5	42土	フ	23	13	4	1.3	玉珪	〃	II b		1024
6	62土	フ	30	15	6	1.3	珪	〃	I d		1021
7	69土	フ	45	15	6	4.2	珪	〃	II b		1027
8	73土	フ	44	16	5	3.4	珪	〃	I d		1034
9	74土	フ	28	15	5	1.5	珪	〃	I d		1018
10	80土	フ	40	16	6	3.1	珪	〃	II b		1026
11	93土	フ	54	13	4	2.7	珪	〃	I d		1023
12	4土	フ	50	14	8	5.8	珪	石鏃	I		3000
13	〃	フ	39	21	14	9.2	珪	〃	I		3023
14	10土	フ	32	13	7	1.9	珪	〃	II	S-15	3001
15	74土	フ	56	39	11	17.5	珪	〃	III		6002
16	93土	フ	40	9	7	2.7	珪		I		3002
第158図-1	3土	フ	84	23	8	18.3	珪	石匕	I		4054
2	〃	フ	51	55	10	23.3	珪	〃	II		4063
3	〃	フ	42	49	13	19.9	珪	〃	II		4057
4	〃	フ	54	34	10	15.9	珪	〃	I		4056
5	8土	フ	55	24	7	9.4	珪	〃	I	摘み欠損	4058
6	11土	フ	46	18	6	3.8	珪	〃	I		4068
7	22土	床面	47	25	6	7	珪	〃	I		4315
8	42土	フ	40	22	8	6.7	珪	〃	I	欠損	4053
第159図-1	45土	フ	66	29	11	16.8	珪	〃	I		4059
2	47土	床直	54	24	10	12.2	玉珪	〃	I	S-5	4055

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	大分類	小分類	備考	整理No.
3	59土	フ	34	37	8	7.6	珪	◇	Ⅱ		4064
4	74土	フ	40	34	8	8.3	珪	◇	Ⅱ		4052
5	75土	フ	44	24	7	5.9	珪	◇	—	欠損	4323
6	129土	フ	34	49	9	14.1	珪	◇	Ⅱ		4333
7	84土	フ	40	61	8	12.5	珪	◇	Ⅱ		4408
第160図-1	3土	フ	52	26	14	19.1	珪	石籠	Ⅱ		5033
2	◇	フ	50	44	19	42.4	珪	◇	Ⅱ		5021
3	◇	フ	52	27	12	18.6	珪	◇	I		5029
4	28土	フ	56	28	10	18.3	珪	◇	Ⅱ		5012
5	47土	フ	54	38	11	28.2	珪	◇	I		5048
6	69土	フ	46	24	7	5.6	珪	不定形	I		5051
7	80土	フ	72	32	17	46.5	鉄	石籠	I		5017
8	93土	フ	43	35	15	22.7	珪	◇	I		5120
第161図-1	4土	フ	32	44	10	13.4	珪	不定形	I		6343
2	6土	フ	48	63	15	34.5	珪	◇	Ⅲ		6001
3	15土	フ	64	25	9	8.9	珪	◇	I		6346
4	31土	フ	22	21	8	3.2	珪	◇	I		6342
5	45土	フ	92	57	22	90.5	珪	◇	I		6337
第162図-1	73土	フ	115	27	9	30.2	粘	◇	I		2010
2	74土	フ	55	20	9	4.7	珪	◇	I		6354
3	◇	フ	22	16	8	4.5	珪	◇	I		6358
4	80土	フ	40	21	10	9.9	珪	◇	I		6356
5	99土	フ	23	24	7	3.5	珪	◇	I		6267
6	78土	フ	54	49	18	58	真	◇	I	打製石斧か?	
第163図-1	45土	フ	70	49	27	155	ヒ	石斧			7001
2	◇	フ	111	42	19	187	安	◇			7003
3	75土	フ	118	53	39	473	輝	◇		S-2	
4	96土	フ	52	44	21	79	輝	◇			7004
第164図-1	3土	フ	219	113	43	1400	砂	半円状扁平打製石器	Ⅲ	S-1	8071
2	4土	フ	172	65	22	281	砂	◇	Ⅲ		8078
3	15土		171	60	19	189	粘	◇	Ⅲ		8052
4	48土		168	66	25	271	セ	◇	Ⅲ	S-2	8047
5	68土	フ	151	78	27	466	砂	◇	I		8041
第165図-1	◇	フ	200	100	26	646	輝凝	◇	Ⅲ		8063
2	74土	フ	156	62	13	139	粘	◇	Ⅲ		8059
3	73土	フ	166	86	32	541	砂	◇	Ⅲ	S-1	8065
4	◇	フ	166	87	26	558	砂	◇	Ⅲ		8074
5	74土	フ	70	11	29	339	安	◇	I		8089
6	75土	フ	130	63	16	196	粘	◇	I	S-2	8069
第166図-1	84土	床面	79	112	32	410	安	◇	Ⅲ	S-3	8094
2	◇	床面	59	141	12	194	粘	◇	—	S-4	8104
3	93土	フ	125	72	26	317	砂	◇	Ⅲ		8045
4	◇	フ	83	91	22	210	粘	◇	Ⅲ		8096
5	119土	フ	174	93	41	780	砂	◇	Ⅲ	S-3	8067
6	124土	フ	163	88	31	573	粘	◇	Ⅲ	S-2	8040
7	127土	フ	142	63	23	334	砂	◇	I		8066
第167図-1	4土	フ	72	31	29	223	安	敲磨器類	Ⅲ		45
2	6土	フ	125	70	46	533	安	◇	Ⅳ	S-2	83

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	高さ	重さ	石質	大分類	小分類	備考	整理No.
3	〃	フ	74	65	66	370	安	〃	Ⅲ		55
4	17土	フ	78	58	90	77	安	〃	I		50
5	13土	フ	62	58	36	177	安	〃	I		103
6	15土	フ	212	146	31	1320	安	〃	Ⅱ	S - 1	199
7	18土	フ	133	60	30	253	安	〃	Ⅳ	S - 3	193
8	24土	フ	111	85	17	316	砂	〃	I		15
第168図-1	25土	床直	96	93	33	425	安	〃	I	S - 1	29
2	43土	フ	127	54	8	100	安	〃	Ⅲ	S - 5	87
3	〃	床直	250	62	11	393	粘	〃	-	S - 1	9012
4	47土	床直	73	73	35	286	砂	〃	Ⅱ	S - 3	57
5	46土	フ	108	76	38	502	安	〃	I		40
6	79土	フ	133	54	40	389	砂	〃	I		30
第169図-1	84土	床直	140	70	61	940	安	〃	I	S - 2	72
2	92土	フ	98	74	60	658	砂	〃	Ⅲ		37
3	96土	フ	107	64	26	277	安	〃	Ⅲ		35
4	99土	フ	128	80	27	376	砂	〃	I	S - 1	14
5	119土	フ	155	54	24	282	砂	〃	Ⅳ	S - 2	18
6	124土	フ	173	90	44	827	安	〃	Ⅳ		20
7	127土	フ	114	93	31	469	砂	〃	I		16
第170図-1	28土	フ	84	65	14	122	砂	〃	砥石		170
2	43土	フ	360	147	65	5500	閃	石皿		S - 6	184
3	84土	床面	320	140	63	4000	砂	台石		S - 1	178
第171図-1	49土	床直	204	226	58	3900	砂	〃		S - 3	186
-	84土	フ	40	20	9	5.9	珪	石七	-	欠損	4417

東捨て場出土石器

石鏃

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
第173図-1	BZ-6	ⅡⅢ	18	15	4	0.6	珪	I b		1041
2	CD-10	ⅡⅢ	23	13	4	1	玉珪	I b	S-29	1085
3	CA-6	ⅡⅢ	25	13	4	1.2	珪	I b	S-120	1129
4	BZ-6	ⅡⅢ	25	14	4	1.3	珪	I b		1049
5	CF-12	ⅡⅢ	29	17	4	1.7	珪	I b		1105
6	東捨て場	不明	29	15	3	1.4	珪	I b		1088
7	CA-10	ⅡⅢ	31	15	3	1.3	珪	I b		1098
8	CG-11	ⅡⅢ	33	18	4	2.1	珪	I b		1109
9	CF-10	ⅡⅢ	32	18	4	2.1	珪	I b	S-17	1103
10	CC-8	ⅡⅢ	33	16	4	1.5	珪	I b	S-12	1087
11	CF-9	ⅡⅢ	42	17	5	3	珪	I b		1101
12	CE-8	ⅡⅢ	45	12	5	2.7	珪	I b		1116
13	CA-11	IⅡ	23	11	4	1	珪	I b		1124
14	CG-11	IⅡ	38	9	3	1	珪	I c		1111
15	BM-6	ⅡⅢ	22	22	6	2.6	珪	I b		1054
16	BZ-13	IⅡ	34	17	4	3	珪	I b		1053
17	BZ-6	不明	29	14	4	1.5	玉珪	I c		1040
18	CD-11	ⅡⅢ	33	11	3	1.2	珪	I c		1131
19	CF-9	ⅡⅢ	29	14	5	1.4	珪	I c		1104
20	CD-10	ⅡⅢ	29	15	5	1.9	珪	I c	S-33	1096
第174図-1	CA-7	IⅡ	31	11	3	1.1	珪	I c	S-40	1126
2	CF-10	ⅡⅢ	35	15	5	2.4	玉珪	I c		1106
3	CC-8	ⅡⅢ	50	12	4	1.8	珪	I c	S-11	1093
4	CA-6	ⅡⅢ	44	10	3	1.5	珪	I c	S-108	1123
5	CB-7	IⅡ	33	13	5	2.4	珪	I c		1127
6	BZ-9	IⅡ	34	17	4	2.1	珪	I c		1051
7	BZ-13	IⅡ	42	16	5	3	珪	I c		1048
8	CE-10	ⅡⅢ	26	16	4	1.8	珪	I c	S-35	1118
9	CD-10	ⅡⅢ	33	19	6	3.4	珪	I c		1094
10	CF-10	ⅡⅢ	28	10	4	1	珪	I d	S-19	1102
11	CA-7	ⅡⅢ	32	12	3	1	珪	I d	S-102	1130
12	CF-14	ⅡⅢ	35	11	4	1.5	珪	I d		1108
13	CC-11	IⅡ	30	12	5	1.7	珪	I d		1086
14	CF-10	ⅡⅢ	37	13	6	2.6	珪	I d	S-15	1107
15	BZ-6	ⅡⅢ	51	16	5	4	珪	I d		1078
16	CA-6	ⅡⅢ	43	16	5	3.2	珪	I d	S-110	1128
17	CE-10	IⅡ	39	19	8	5.2	珪	I d		1114
第175図-1	CF-11	IⅡ	44	25	6	5.8	玉珪	I d		1100
2	CB-8	ⅡⅢ	30	15	4	1.7	珪	Ⅱ a	S-29	1122
3	CE-8	ⅡⅢ	28	14	5	1.7	玉珪	Ⅱ b		1117
4	BZ-9	IⅡ	25	12	5	4.6	珪	Ⅱ b		1038
5	CC-7	IⅡ	27	16	4	1.7	珪	Ⅱ b	基部欠損	1097
6	東捨て場	不明	32	12	5	1.8	珪	Ⅱ b		1092
7	BZ-7	ⅡⅢ	36	19	5	2.6	珪	—	S-49 欠損	1047
8	CA-11	IⅡ	17	18	4	1	玉珪	—	先端部欠損	1125
9	BZ-6	ⅡⅢ	20	16	4	1.1	珪	—	欠損	1050

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
10	C D-11	ⅡⅢ	28	20	4	2.3	珉	—	先端部欠損	1135
11	B Y-6	ⅡⅢ	30	15	6	2.5	珉	—	基部欠損	1065
12	C B-12	I Ⅱ	22	20	8	3.4	珉	—	欠損	1121
13	C D-11	ⅡⅢ	30	14	5	1.9	珉	—	欠損	1091
14	C C-11	I Ⅱ	32	16	5	2.3	珉	—	欠損	1090
15	B Y-5	I Ⅱ	42	13	5	2.7	珉	I c		1058
1	C E-11	ⅡⅢ	23	19	4	1.5	珉	I a	S-15	1115
2	C C-9	ⅡⅢ	25	17	5	1.7	珉	I a	S-4	1095
3	B Z-6	ⅡⅢ	25	24	5	2	珉	I a		1039
4	C E・C F-6	ⅡⅢ	36	20	5	2.8	珉	I a		1120
5	C B-8	ⅡⅢ	40	17	6	4	珉	I a		1137
6	C C-7	ⅡⅢ	41	15	4	2.2	珉	I a	S-72	1089
7	C E-14	I Ⅱ	39	15	5	2.2	珉	I a		1119
8	C C-7	ⅡⅢ	33	15	3	1.7	珉	I b	S-83	1485
9	B Z-6	ⅡⅢ	38	9	5	2.3	珉	I a		1045
10	C G-10	ⅡⅢ	42	13	4	2.1	珉	I a	S-5	1110
11	C A-5	ⅡⅢ	69	13	5	4.4	珉	I a	S-8 先端部光沢	1099
12	C E・C E-8	ⅡⅢ	46	19	7	5.7	珉	I c		1139
-	C D-11	I Ⅱ	34	17	5	2.5	珉	I a		1626
-	C C-10	ⅡⅢ	50	15	6	3.5	珉	I d		1627

石槍

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
第176図-13	C F-11	ⅡⅢ	54	26	11	14.6	珉	石槍	S-8	2001
第177図-1	C F・C E-8	ⅡⅢ	48	39	13	22.3	珉	石槍		2005
第186図-6	B Z・C A・C B-	ⅡⅢ	39	32	11	11	珉	石槍	S-1	5022
-	C A-7	ⅡⅢ	60	36	16	30.1	珉	石槍		2068

石錐

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
第177図-2	C E-9	ⅡⅢ	24	15	5	0.8	珉	Ⅱ	S-24	3004
3	C C-10	Ⅱ	31	13	5	1.7	珉	Ⅳ	S-7	1112
4	C F-12	ⅡⅢ	36	19	6	2.5	珉	Ⅲ		6020
5	C C-8	ⅡⅢ	52	16	8	5.7	珉	Ⅳ	S-14	1113
6	C B-8	ⅡⅢ	51	23	9	12.8	珉	Ⅲ		6038
7	B Z-6	不情	66	17	8	8.9	珉	I		3008
8	C E-10	I Ⅱ	52	14	9	6.2	珉	I		3005

石七

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
第178図-1	C B-6	フ	45	16	7	4.4	珉	I		4335
2	B Z-9	I Ⅱ	44	20	6	4.7	珉	I		4019
3	C E-11	ⅡⅢ	42	20	4	5.1	珉	I	摘み欠損	4002
4	C D-8	ⅡⅢ	46	23	7	7	珉	I	S-7 欠損	4004
5	C E-9	ⅡⅢ	56	20	8	7.9	珉	I	S-44	4049
6	C E-10	ⅡⅢ	60	31	6	9.1	珉	I		4007
7	C G-14	I Ⅱ	63	25	6	11.2	珉	I		4028
8	C E-4	ⅡⅢ	63	32	6	10.7	珉	I	S-2	4005

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
9	C E-14	I II	61	42	12	21	珪	I		4034
10	C D-10	II III	54	30	11	11.7	珪	I	S-8	4015
第177図-9	C A-10	I II	75	23	6	11.7	珪	I		4009
10	C C-10	II III	84	19	8	14.8	珪	I	S-3	4025
11	C B-7	II III	28	16	7	3	鉄	I	S-111 小型	4000
12	C D-10	II III	37	22	4	3.9	玉珪	I	S-7	4016
13	C F-14	II III	33	42	11	16.8	珪	I		6033
14	B Z-9	I II	43	25	7	4.5	珪	I		6035
第179図-1	C G-13	II III	64	21	8	10.4	珪	I	S-2	4013
2	C E-14	I II	64	23	7	11	珪	I		4017
3	B Z-6	II III	61	22	10	10.9	珪	I		4035
4	C C-12	表土	61	26	9	13.1	珪	I		4001
5	東捨て場	不明	77	26	9	15.5	珪	I		4033
6	C F-12	II III	70	27	11	17.3	珪	I		4008
7	C D-7	I II	74	49	10	26	珪	I		4026
第180図-1	C D-11	II III	72	38	10	28.7	珪	I		4006
2	C C-7	II III	68	32	9	17.3	珪	I	S-77	4021
3	C G-14	I II	77	44	12	37.5	珪	I		4010
4	C A-7	II III	55	30	10	11.4	珪	I	S-41	4012
5	C D-12	I II	66	68	11	47.1	珪	II		4031
第181図-1	C E-11	II III	60	27	9	12.3	珪	II		4032
2	C E-10	II III	31	52	8	10.1	珪	II	S-38	4003
3	C D-10	II III	28	57	7	6.5	珪	II	S-4	4036
4	C F-9	II III	38	43	9	14.1	珪	II		4014
5	C A-5	II III	50	36	7	9.9	珪	II	S-9	4022
6	C E-9	I II	43	42	8	13.2	珪	II		4038
7	C D-11	II III	40	39	7	8.5	珪	II	S-9	4040
第182図-1	C E-14	II III	37	60	11	16.3	珪	II	S-4	4027
2	C F-10	II III	36	42	7	9.5	珪	II	S-14	4039
3	C C-11	I II	27	56	7	10.6	珪	II		4024
4	C F-9	II III	42	51	12	15.3	珪	II	S-18	4029
5	C F-10	II III	39	52	10	17.7	珪	II	S-16	4023
第183図-1	C B-14	II III	27	43	6	5	珪	II		4050
2	C F-10	II III	51	41	8	11.5	珪	II		4011
3	C C-12	表土	35	53	12	16.2	珪	II		4020
4	C A-6	II III	32	45	11	14.4	珪	II		4043
5	C D-11	I II	38	32	8	9.9	珪	II		4042
6	C D-11	II III	38	26	10	9.6	珪	II		4018
7	C A-10	I II	35	25	9	6.7	珪	I	欠損	4041
-	C C-13	I	38	34	9	9.6	珪	-	欠損	4409
-	C C-9	I II	26	24	7	5	珪	I	欠損	4410
-	C G-13	II III	42	22	10	6	珪	I		4414
-	C G-11	I III	38	24	11	6.5	珪	I	欠損	4415
-	C D-10	II III	32	24	10	6.5	珪	I	欠損	4418
-	C F-10	II	42	56	14	21.1	珪	II	痛み欠損	4411
-	C E-9	II III	37	39	7	7.1	珪	II		4412
-	C G-13	II III	42	68	10	19.1	珪	II		4413

石籠

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
第184図-1	C E-10	I II	42	26	18	14.7	珪	II		5037
2	C F-14	II III	22	30	9	7.6	珪	II	欠損	5036
3	C D-8	II III	54	26	10	13.5	珪	II	S-45	5010
4	C G-14	I II	50	28	8	10.3	珪	II	欠損	5039
5	C G-13	I II	55	22	14	11	珪	II		5034
6	C E-11	II III	39	34	10	18.2	珪	II	S-20 欠損	5019
7	C A-8	I II	51	41	22	44.2	珪	II		5032
第185図-1	C G-11	I II	49	38	12	26.9	珪	II	欠損	5038
2	C E-10	II III	59	39	15	45.6	珪	II		5045
3	C E・C F-8	II III	58	44	15	40.6	珪	II		5030
5	C E-9	II III	65	38	17	42.3	珪	II	S-15	5018
7	C D-10	I II	87	38	23	74.3	珪	II		5035
第186図-1	C G-13	II III	67	34	18	43.1	珪	I	S-3	5024
2	C D-10	II III	76	31	19	53.2	珪	I	S-5	5006
3	C E-10	II III	84	30	19	44.3	珪	I	S-23	5000
4	C E-9	II III	81	47	16	61.3	鉄	I	S-29	5002
5	C E-9	II III	59	38	16	30.8	珪	I	S-43	5023
7	C E-9	II III	28	67	18	30.6	珪	II	S-13 欠損	5003
第187図-1	C D-10	II III	75	28	13	23.3	珪	II	S-30	5031
2	C E-9	II III	74	23	18	29.3	珪	II	S-20	5004
3	C C-8	II III	82	38	17	51.3	珪	I	S-106	5001
4	C E-11	II III	74	34	14	42.5	珪	I	S-22	5007
5	C F-10	II III	21	32	9	9.1	珪	II		6092
6	C C-8	II III	45	30	11	14.2	珪	II	S-22	6019
7	C C-8	II III	64	31	16	30.3	珪	I		6040
-	C G-11	I III	57	27	13	16.9	珪	I		5122
-	C E-8	I II	62	31	17	28.3	珪	I		5125
-	C E-14	II	60	34	21	32.7	珪	I		5126
-	C F-11	II III	58	37	23	27.3	珪	II		5121
-	C B-7	I	59	39	17	29.5	珪	II		5123
-	C D-12	I II	59	45	27	55.2	珪	II	欠損	5127

不定形

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
第183図-8	C C-9	II III	51	15	7	5.1	珪	I	縦型石七?	4051
第184図-8	C C-8	I II	54	37	8	14.8	珪	I		5011
第185図-4	C F-10	II III	63	34	10	18.9	珪	I	S-9	5052
6	C D-10	II III	33	32	8	8.6	珪	I	S-33	5026
第188図-1	C A-8	I II	35	15	10	3.5	珪	I		6061
2	C A-7	II III	25	25	7	3.3	珪	I		6055
3	C E-10	I II	38	24	13	13	珪	I		6017
4	C E-9	II III	39	22	8	6.8	珪	I	S-27	6042
5	C E-8	II III	36	23	6	4.5	珪	I		6011
6	C D-9	I II	35	27	12	9.6	珪	I		6091
7	C A-7	II III	48	18	10	4.7	珪	I		6089
8	C D-10	II III	37	19	12	7.8	珪	I		6085
9	C G-14	I II	45	23	8	9.5	珪	I		6009

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
10	C F -12	ⅡⅢ	44	26	14	7.1	珪	I		6084
11	C G -12	I Ⅱ	32	28	7	3.9	珪	I		6093
12	C A -14	ⅡⅢ	31	26	12	8.8	珪	I		6067
13	C G -13	I Ⅱ	53	19	7	6.6	珪	I		6094
14	C A -10	I Ⅱ	50	20	7	4.9	珪	I		6008
15	C D -11	ⅡⅢ	36	30	10	6.7	珪	I		6047
第189図-1	C E・C F -11	ⅡⅢ	24	38	5	5.5	珪	I		6076
2	C A -7	ⅡⅢ	22	34	9	8.6	珪	I		6050
3	C D -10	ⅡⅢ	21	42	6	3.7	珪	I		6080
4	C D -8	ⅡⅢ	35	34	14	15.3	珪	I		6063
5	C A -11	I Ⅱ	29	35	10	8.8	珪	I		6030
6	C D -7	I Ⅱ	31	40	11	12.4	珪	I		6029
7	C C -7	ⅡⅢ	50	34	13	21.5	珪	I	S -88	6069
8	東捨て場	不明	45	37	10	6.4	珪	I		6088
9	C A -9	I ⅡⅢ	47	34	17	20.1	珪	I		6010
10	C F -11	ⅡⅢ	48	21	14	11.6	珪	I	S -21	6034
第190図-1	C F -10	ⅡⅢ	47	30	13	23.5	珪	I		6018
2	C C -9	ⅡⅢ	37	45	17	28	珪	I		6056
3	C F -8	ⅡⅢ	46	30	11	13.6	珪	I	S -35	6021
4	C E・C F -8	ⅡⅢ	49	46	14	31.5	珪	I		6015
5	C D -10	ⅡⅢ	49	32	11	14.3	珪	I	S -13	6014
6	C F -10	ⅡⅢ	43	47	9	26.9	珪	I		6026
7	C D -10	ⅡⅢ	72	29	12	24.1	珪	I		6048
8	C E -10	ⅡⅢ	55	40	12	22.8	珪	I		6043
第191図-1	C F -9	ⅡⅢ	35	60	7	11.4	珪	I		6077
2	C F -10	I Ⅱ	28	54	10	15.9	珪	I		6027
3	C D -10	ⅡⅢ	60	41	24	45.6	珪	I	S -9	6031
4	C D -11	ⅡⅢ	33	58	11	25.5	珪	I		6028
5	C A -13	I	50	37	6	22.1	珪	I		6024
6	C F -12	ⅡⅢ	48	30	12	13.5	珪	I		6053
7	C E -11	ⅡⅢ	48	29	10	13.8	珪	I	S -18	6039
8	C D -11	ⅡⅢ	55	28	17	21.3	珪	I		6083
9	C E -11	ⅡⅢ	60	32	9	9.9	珪	I	S -26	6059
第192図-1	C A -5	ⅡⅢ	33	67	11	20.9	珪	I	S -9	6052
2	C E -12	ⅡⅢ	47	57	8	16.9	珪	I		6036
3	C E -9	ⅡⅢ	32	64	11	29.7	珪	I	S -16	6072
4	C G -11	I ⅡⅢ	43	63	17	44.2	珪	I		6058
5	C F -10	I Ⅱ	60	35	19	30.2	珪	I		6064
6	C B -12	I Ⅱ	47	50	11	19.4	珪	I		6057
第193図-1	C A -7	ⅡⅢ	55	31	9	10.1	珪	I	S -104	6051
2	- I C D -9	I Ⅱ	40	34	12	12.8	珪	I		6081
3	C E -10	ⅡⅢ	82	59	23	95.7	珪	I	S -27	6082
4	C D -10	ⅡⅢ	68	105	20	135.8	珪	I		6073
第194図-1	C E -11	ⅡⅢ	39	32	7	4.8	珪	Ⅱ		6095
2	C D -13	ⅡⅢ	45	22	7	4.8	珪	Ⅲ		6032
3	C E -9	I Ⅱ	26	31	9	6.9	珪	Ⅲ		6054
4	C D -11	ⅡⅢ	32	39	17	16.1	珪	Ⅲ		6070
5	C G -13	I Ⅱ	47	31	6	4.3	珪	Ⅲ		6012

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
6	C G-14	I II	68	34	13	23.2	珪	III		6090
7	C E-14	I II	58	22	12	11.2	珪	I		6350

石斧

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
第195図-1	C B-12	III	81	53	29	223	緑凝	石斧	S-1	7024
2	C F-10	II III	73	57	27	178	輝	石斧	S-4	7022
3	C E-10	II III	80	55	33	227	緑凝	石斧		7030
4	C C-8	II III	59	52	25	124	輝	石斧	S-105	7023
5	C B-3	II III	142	54	39	518	輝	石斧	S-12	7015
6	C E-11	II III	84	39	26	65	頁	石斧		7087
7	C B-8	II III	33	42	6	12	緑凝	石斧	S-9	7040
第196図-1	C D-10	II III	89	54	29	243	ハ	石斧	S-12	7020
2	C E-10	I II	61	38	18	68	頁	石斧		7036
3	C C-9	II III	68	44	34	187	緑細凝	石斧	S-5	7029
4	C D-11	II III	74	42	27	166	緑細凝	石斧		7025
5	C E-10	II III	89	48	28	183	緑細凝	石斧		7035
6	C G-10	II III	54	39	22	65	緑細凝	石斧	S-6	7033
7	C B-7	II III	48	33	19	40	緑細凝	石斧	S-115	7032
8	C C-8	II III	40	44	27	56	緑細凝	石斧	S-107	7041
第197図-1	C E-10	II III	66	37	19	79	緑細凝	石斧		7031
2	C A-5	II	85	45	34	244	輝	石斧		7026
3	C A-7	I II	67	32	22	67	輝	石斧	S-99	7028
4	C E-11	II III	95	39	20	123	ホ	石斧	S-4	7034
5	C A-7	II III	46	46	20	53	頁	石斧	S-103	7021
6	C E-10	I II	55	18	5	10	頁	石斧		7038
7	C F-10	II III	151	51	21	215	頁	石斧	S-7	7018

半円状扁平打製石器

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
第198図-1	C F-10	II III	124	61	21	244	砂	I	S-13	8025
2	C F-14	II III	134	75	14	220	輝凝	I	S-4	8028
3	C F-14	II III	154	67	22	354	砂	I		8082
4	C E-14	II III	159	54	22	232	粘	I	S-1	8032
5	C C-7	II III	174	66	46	698	安	I	S-68	8006
6	C C-7	II III	162	49	22	254	粘	I	S-81	8008
第199図-1	B Y-5	III	189	95	35	860	砂	I		8035
2	C F-12	II III	193	61	20	300	粘	III		8017
3	C G-10	I II	160	67	22	308	粘	III		8004
4	C G-12	II III	156	61	25	308	安	III	S-10	8003
5	C E-10	II III	131	59	17	175	安	II	S-20	8031
6	C E-14	II III	124	47	20	130	砂ホ	III	S-3	8036
第200図-1	C F-10	I II	103	51	10	60	粘	III		8000
2	B Z-13	II III	145	102	30	697	砂	III		8024
3	C F-10	II III	135	57	11	201	粘	III	S-8	8087
4	C C-9	I II	176	83	37	664	砂	III		8021
5	C F-9	II III	176	51	23	209	砂	III		8081
6	C A-13	I	153	102	34	771	輝	III		8086

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
第201図-1	C G-12	ⅡⅢ	147	64	13	154	粘	Ⅲ	S-8	8009
2	C C-7	ⅡⅢ	149	66	32	452	輝凝	Ⅲ	S-36	8088
3	C F-14	ⅡⅢ	180	68	26	412	粘	Ⅲ	S-2	8014
4	C A-13	I	153	62	39	471	砂	Ⅲ		8085
5	C G-11	IⅡ	182	76	33	616	砂	Ⅲ		8023
6	C G-10	ⅡⅢ	171	69	26	460	砂	Ⅲ		8080
第202図-1	B Y-4	フ	169	81	30	561	砂	Ⅲ		8034
2	C D-10	ⅡⅢ	200	62	25	371	砂	Ⅲ	S-11	8005
3	C F-12	ⅡⅢ	189	61	16	255	粘	Ⅲ		8013
4	C C-6	ⅡⅢ	145	68	9	126	粘	Ⅲ		8018
5	C F-12	ⅡⅢ	165	70	16	276	粘	Ⅲ		8007
6	C A-7	ⅡⅢ	144	64	18	214	粘	Ⅲ	S-35	8016
第203図-1	C G-12	IⅡ	172	63	20	345	粘	Ⅲ		8020
2	C F-14	ⅡⅢ	204	79	24	587	粘	Ⅲ	S-1	8030
3	C F-10	IⅡ	182	80	21	457	粘	Ⅲ		8001
4	C A-7	ⅡⅢ	169	61	28	338	粘	Ⅲ	S-38	8015
5	C E-10	ⅡⅢ	122	68	20	222	粘	Ⅳ	S-39	8012
6	B Y-4	フ	130	67	14	199	粘	Ⅳ		8027
第204図-1	C F-12	IⅡ	160	65	24	421	粘	I		8039
2	C F-10	ⅡⅢ	173	70	20	334	砂	Ⅳ	S-5	8084
3	C F-11	ⅡⅢ	147	86	34	533	安	Ⅲ	S-2	8111
4	C C-12	表土	97	70	27	230	安	I		8106
5	C F-12	ⅡⅢ	142	84	30	485	閃	Ⅲ片面	S-5	8122
6	C F-14	ⅡⅢ	87	69	28	224	安	Ⅲ		8105
7	C D-10	Ⅲ	77	65	25	169	安	I	S-10	8113
第285図-1	C D-11	ⅡⅢ	61	41	11	40	粘	I		8119
2	C C-12	IⅡ	89	52	19	130	安	裏面?	剝離	8118
3	C A-7	ⅡⅢ	75	63	27	170	安	I	S-42	8120
4	C E-11	IⅡ	105	80	31	370	安	V		8112
5	C F-10	IⅡ	129	74	25	265	安	Ⅲ片面	剝離	8121
6	C F-14	ⅡⅢ	99	70	28	310	安	Ⅲ	S-3	8115
7	C C-10	Ⅱ	136	82	31	452	安	I	S-1	8109
8	C F-12	ⅡⅢ	131	47	8	60	粘	-		8010

敲磨器類

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
第206図-1	C D-9	ⅡⅢ	59	57	48	260	閃	I	S-41	96
2	C E-10	ⅡⅢ	87	85	51	517	安	I	S-21	140
3	C E-9	ⅡⅢ	132	68	47	631	安	I	S-37	116
4	C A-6	ⅡⅢ	138	84	45	762	安	I	S-109	137
5	B Z-7	ⅡⅢ	140	77	28	475	安	I	S-54	147
6	B Z-6	ⅡⅢ	130	66	28	361	安	I	S-57	152
7	C D-13	ⅡⅢ	133	55	27	336	砂	I		141
第207図-1	C E-11	ⅡⅢ	157	58	19	269	輝	I	S-12	114
2	C C-8	ⅡⅢ	171	52	28	410	砂	I	S-2	151
3	C C-7	ⅡⅢ	132	76	34	533	砂	Ⅱ	S-82	124
4	C D-10	ⅡⅢ	65	138	31	415	砂	Ⅱ	S-3	91
5	C E-8	ⅡⅢ	131	89	43	608	安	Ⅱ	S-32	86

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
6	B Z - 4	ⅡⅢ	136	90	68	1600	安	Ⅱ	S - 6	122
第208図-1	C C - 4	ⅡⅢ	294	96	42	1860	安	Ⅳ	S - 15	166
2	C B - 7	ⅡⅢ	144	82	28	524	砂	Ⅲ	S - 24	142
3	B Z - 6	ⅡⅢ	92	72	38	390	輝	Ⅲ	S - 55	163
4	C D - 8	ⅡⅢ	47	50	31	79.7	珪	Ⅱ		9018
5	C G - 12	ⅡⅢ	85	77	31	355	頁	Ⅲ	S - 6	162
第209図-1	C F - 11	ⅡⅢ	63	51	28	140	安	Ⅲ	S - 6	97
2	C D - 11	ⅡⅢ	101	49	23	143	安	Ⅲ	S - 1	90
3	C E - 14	ⅡⅢ	120	44	28	209	安	Ⅲ	S - 5	128
4	C F - 10	ⅠⅡ	117	59	20	211	砂	Ⅲ		148
5	C E - 11	ⅡⅢ	136	63	32	383	安	Ⅲ	S - 16	120
6	C D - 10	ⅡⅢ	125	70	33	372	安	Ⅲ	S - 31	158
7	C F - 11	ⅡⅢ	131	70	26	388	安	Ⅲ	S - 1	105
8	C C - 3	ⅠⅡ	152	68	27	375	安	Ⅲ		155
第210図-1	C C - 7	ⅡⅢ	148	65	33	463	安	Ⅲ	S - 76	153
2	C B - 5	ⅡⅢ	148	53	62	712	砂	Ⅲ	S - 14	145
3	B Z - 14	ⅠⅡⅢ	156	44	53	310	砂	Ⅲ		95
4	B Z - 14	ⅡⅢ	84	128	52	831	安	Ⅲ		112
5	C F - 10	ⅡⅢ	180	81	27	611	安	Ⅲ	S - 2	109
6	B Y - 4	フ	153	92	32	770	閃	Ⅲ		118
7	C E - 10	ⅡⅢ	152	90	27	548	砂	Ⅱ	S - 25	92
第211図-1	C A - 11	Ⅲ	129	72	29	374	砂	Ⅲ		106
2	C E - 12	ⅡⅢ	180	78	34	721	安	Ⅲ	S - 1	146
3	C C - 10	Ⅱ	160	95	35	795	安	Ⅲ	S - 9	110
4	C F - 11	ⅡⅢ	118	87	36	554	安	Ⅱ	S - 4	121
5	C A - 7	ⅡⅢ	82	48	39	157	砂	Ⅲ	S - 45	88
6	C B - 8	ⅡⅢ	93	83	34	359	砂	Ⅲ	S - 10	89
第212図-1	C D - 9	ⅡⅢ	138	76	37	558	砂	Ⅲ	S - 2 両端敲	134
2	C A - 7	ⅡⅢ	222	100	24	998	閃	Ⅳ	S - 44	188
3	C E - 14	ⅡⅢ	286	103	56	1920	安	Ⅳ	S - 6	165
4	C C - 12	ⅠⅡ	105	79	29	388	砂	Ⅳ		154
5	C G - 12	ⅡⅢ	187	53	20	238	砂	Ⅳ	S - 9 打斧の可能性有	194
第213図-1	C B - 8	ⅡⅢ	105	61	26	238	安	Ⅳ	S - 6	100
2	C B - 7	ⅡⅢ	98	48	25	196	砂	Ⅳ	S - 117	129
3	C E - 10	ⅡⅢ	125	47	24	159	砂	Ⅳ		150
4	C C - 9	ⅠⅡ	157	51	14	169	粘	Ⅳ		190
5	B Y - 4	フ	98	128	30	519	安	Ⅳ		115
6	C A - 14	ⅡⅢ	85	76	33	260	安	Ⅳ		130
7	C C - 6	ⅡⅢ	203	67	30	539	粘	Ⅳ	S - 97	131
8	C D - 10	ⅡⅢ	270	90	22	742	安	Ⅳ	S - 32	161
第214図-1	C E - 10	ⅡⅢ	173	71	23	387	粘	Ⅳ	S - 41	164
2	C C - 9	ⅠⅡ	69	50	15	70.1	輝	打斧?		9015

台石

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
第215図-1	B Z - 4	ⅡⅢ	292	260	95	8500	砂	台石	S - 10	179
2	C A - 7	ⅡⅢ	346	222	89	10000	砂	〃	S - 36	187
3	C C - 7	ⅡⅢ	245	259	75	9600	砂	〃	S - 90	180

遺構外出土石器

石鏃

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
第219図-1	B L-2	Ⅱ	19	10	3	0.4	珪	I a	基部アスファルト付着	1068
2	B W-9	I Ⅱ	22	12	4	1.1	珪	I a		1060
3	B V-13	Ⅱ	33	15	6	2.4	珪	I a		1080
4	B W-11	表土	41	17	4	1.8	珪	I a		1062
5	B Q-8	I Ⅱ	23	9	3	1.2	珪	I b		1059
6	B T-10	Ⅱ Ⅲ	22	17	5	1.8	珪	I b		1061
7	B V-13	Ⅱ	35	16	6	2.8	珪	I b		1063
8	B X-7	不明	30	15	4	1.8	玉珪	I c		1075
9	B L-2	Ⅱ	28	15	8	3.1	玉珪	I c		1069
10	B T-13	不明	29	15	5	1.8	珪	I c		1134
11	B R-14	I Ⅱ	42	11	4	2.3	珪	I c		1136
12	B X-9	I Ⅱ	21	20	4	1.9	珪	I c		1055
13	B U-12	I Ⅱ	33	10	4	1.3	珪	I d		1073
14	B K-4	I Ⅲ	42	16	5	2.3	珪	I d		1067
15	B K-9	I Ⅱ	44	14	7	3.6	珪	I d		1077
16	B Y-9	表土	51	17	9	5.8	珪	I d		1057
17	B W-9	フ	38	22	8	5.8	珪	I d		1082
18	B X-7	I	41	16	4	2.4	珪	I d		1044
19	B O-11	Ⅱ	57	16	6	4.9	珪	I d		1074
第220図-1	B P-14	I Ⅱ	20	11	5	0.7	玉	Ⅱ b		1076
2	B L-4	I Ⅱ	26	14	5	1.5	玉	Ⅱ b		1071
3	B K-4	I Ⅱ	25	12	5	1.2	珪	Ⅱ a		1083
4	B W-9	フ	28	13	4	1.1	珪	Ⅱ b		1084
5	B L-2	Ⅱ	33	16	4	1.2	珪	Ⅱ a		1066
6	B U-10	Ⅱ Ⅲ	39	14	6	2.5	鉄	Ⅱ b		1079
7	B L-2	Ⅱ	36	10	5	1.5	珪	Ⅱ b		1072
8	B L-4	I Ⅱ	38	11	5	1.8	珪	Ⅱ b		1037
9	B X-4	I Ⅱ	39	18	7	4	珪	Ⅱ a		1081
10	B X-9	フ	47	17	5	3.2	珪	Ⅱ a		1052
11	B X-9	フ	36	20	8	1.2	玉珪	Ⅱ b		1043
12	B L-5	I Ⅱ	22	17	3	1.2	珪	—	欠損	1070
13	B W-14	I	27	17	7	2.5	珪	—	欠損	1042
14	B X-12	I Ⅱ	34	17	6	1.6	珪	—	欠損	1056
15	B R-13	I Ⅱ	36	13	4	2.1	珪	—	基部欠損	1064

石槍

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
第220図-16	B K-4	I Ⅱ	45	26	12	11.7	珪	石槍		2008
17	B Y-9	表土	64	27	11	16.4	珪	石槍		2000
第221図-1	B O-11	Ⅱ	104	21	5	10.8	珪	石槍		2006
2	B Q-12	Ⅱ	197	42	19	140.4	珪	石槍		2011

石錐

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
第221図-3	B U-12	I Ⅱ	22	12	5	1.2	鉄	Ⅱ		3006
4	B T-13	不明	29	9	4	1.4	珪	I		3003

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
5	BW-9	ⅢⅣ	37	10	8	2	珪	I		3009
6	BX-12	IⅡ	30	40	6	6.5	珪	Ⅲ		6025
7	BL-2	Ⅱ	43	13	12	6.7	珪	I		3007
8	BL-4	IⅡ	47	15	9	6.3	珪	Ⅲ		6041
9	BL-2	Ⅱ	44	17	10	5.2	珪	Ⅳ		1138

石ヒ

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
第222図-1	BY-9	表土	49	23	9	6.5	珪	I		6066
第223図-1	BO-10	IⅡ	123	41	13	57.7	珪	I	両面加工大型	4044
2	BW-9	IⅡ	48	18	6	5.8	珪	I		4048
3	BQ-11	不明	65	19	6	8.3	珪	I		4047
4	BW-9	Ⅳ	80	21	10	13.9	珪	I		4045
5	BX-14	IⅣ	48	64	10	19.5	珪	I		4046
6	BS-14	IⅡ	38	39	7	9.8	珪	Ⅱ		4037
7	BT-15	Ⅱ	57	35	13	18.2	珪	Ⅱ		4325
第224図-1	BP-14	IⅡ	47	44	13	17.7	珪	Ⅱ		4030
-	BP-15	Ⅱ	34	29	12	12.7	玉珪	I	欠損	4416

石鏡

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
第222図-3	BL-5	IⅡ	42	26	15	16.8	珪	I		6046
4	BU-14	I	53	25	14	11.7	珪	Ⅱ		6044
5	BR-14	IⅡ	77	36	13	30	珪	Ⅱ		6037
6	BW-13	不明	62	39	11	23.9	珪	Ⅱ		6016
7	BH-9	不明	68	51	17	65.4	珪	Ⅱ		5115
第224図-2	BS-14	IⅡ	38	13	9	6.1	珪	Ⅱ		5028
4	BL-2	Ⅱ	48	24	11	13.2	珪	Ⅱ		5027
5	BW-13	不明	54	25	14	21.8	珪	Ⅱ		5043
6	BQ-11	不明	50	37	12	27	珪	Ⅱ		5015
7	BL-4	IⅡ	52	28	11	13.9	珪	I		5044
8	BT-13	IⅡ	40	44	12	23	珪	Ⅱ	欠損	5025
第225図-1		表探	82	31	20	47.3	珪	Ⅱ		5009
2	BU-14	不明	79	22	13	22.8	珪	I		5046
3	BU-13	IⅡ	44	26	12	13.6	珪	I		5013
4	BT-10	ⅡⅢ	45	30	11	15.7	玉珪	I		5040
5	BO-7	不明	54	25	14	18.3	珪	I		5014
-	BW-14	不明	59	24	15	16.2	珪	I		5124

不定形

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
第222図-2	BL-2	Ⅱ	55	32	12	16.3	珪	I		6086
第224図-3	BK-4	IⅡ	38	25	6	5.4	珪	I		5049
第226図-1	表探		30	21	6	2.7	珪	I		6045
2	BW-9	フ	39	27	9	7.3	珪	I		6062
3	BR-12	不明	52	22	14	11.6	珪	I		6049
4	BP-14	IⅡ	31	34	12	14.4	珪	I		6074
5	BL-5	IⅡ	21	30	16	3.5	珪	Ⅲ		6071

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
6	B U-14	不明	52	30	9	8.8	珪	I		6060
7	B Z-11	I~III	45	26	8	7.2	珪	I		6079
8	B X-14	I~IV	44	35	14	18.7	珪	I		6387
9	B S-14	I II	50	33	11	16.3	珪	I		6013
10	B S-14	I II	69	35	15	25.5	珪	I		6068
第227図-1	B X-9	I II	26	35	12	8.2	珪	I		6087
2	B V-14	不明	30	30	15	16.3	珪	I		6023
3	B Y-13	I~IV	31	45	10	17.8	珪	I		6068
4	B Y-11	I II III	33	42	7	13.4	珪	I		6075
5	B S-13	I II	40	41	11	26.6	珪	I		6022
6	B V-14	不明	61	64	22	61.5	珪	I		6065

石斧

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
第228図-2	B V-14	I II	62	19	15	26	輝	石斧		7039
3	B P-15	III IV	101	46	31	261	輝	石斧		7019
4	B P-15	II III	146	50	37	449	輝	石斧		7017
5	B T-15	II	113	59	28	275	安	石斧		7055
6		表探	83	40	19	106	頁	石斧		7027
第229図-1	B W-13	I II	157	68	36	629	輝	石斧		7016
2	B R-14	I II	84	26	10	35	七	石斧	局部磨製	7037
3	B S-13	I II	82	21	12	43	輝凝	石斧		7089
4	B S-14	I II	76	20	12	33	頁	石斧		7042

半円状扁平打製石器

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
第230図-1	B O-7	不明	142	47	27	243	砂	-		8083
2	B T	II III	156	67	38	450	砂	III		8011
3	B F-8	I II	158	71	29	416	砂	III		8037
4	B C-14	I II	152	57	19	188	粘	III		8002
5	B L-3	II	212	77	25	463	砂	III		8022
6	B F-8	I II	182	67	16	278	粘	III		8033
第231図-1	B L-7	II	154	75	30	466	安	III		8511
2	B F-8	I II	178	54	29	357	安	III		8038
3	B G-9	不明	172	107	35	998	安	III		8627
4	B N-14	II	175	79	18	371	粘	III		8510
5	B F-8	I II	216	52	19	256	粘	III		8026
第232図-1	B L-3	II	186	91	13	309	粘	III		8029
2	B S-7	I	190	65	17	267	輝凝	III		8019
3	B L-7	II	178	51	27	401	頁	I	凹	8509
4	B D-13	I II	143	78	29	542	ホ	I		8116
5	B W-9	II IV	101	67	15	139	七	III		8114
6	B X-9	フ	78	86	34	295	砂	III		8107
第223図-1	B X-9	フ	71	92	43	361	安	I		8100
2	B V-10	I	113	80	27	361	安	III		8110
3	B X-9	フ	91	68	34	275	安	III		8108
4	B F-8	I II	146	83	23	401	安	I		8117

敲磨器類

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
第234図-1	B V - 8	ⅢⅣ	91	82	32	429	安	I		101
2	B O -10	不明	75	73	55	390	石安	I		111
3	B S - 7	I	89	75	44	395	安	I		138
4	B X -10	表土	147	96	55	1200	安	I		93
5	B V -14	I Ⅱ	130	63	45	512	安	I		125
6	B V - 6	I Ⅱ	106	86	23	344	安	I		156
第235図-1	B W - 9	ⅢⅣ	109	99	27	414	砂	Ⅱ		119
2	B T -10	ⅡⅢ	87	36	30	155	安	Ⅲ		98
3	B X - 9	フ	82	54	35	242	安	Ⅱ		24
4	B P -10	I Ⅱ	107	95	74	1158	閃	Ⅱ		139
5	B P -15	Ⅱ	149	63	27	356	砂	Ⅲ		127
6	B L - 7	Ⅱ	122	63	25	261	安	Ⅲ		196
第236図-1	表採		96	140	50	1162	安		北海道式石冠	143
2	B P -10	I Ⅱ	146	70	47	692	安	Ⅲ		144
3	B T - 9	I	73	69	32	291	砂	Ⅲ		99
4	B X -14	IⅣ	76	56	20	133	砂	Ⅲ		108
5	B X - 9	I Ⅱ	113	74	38	393	安	Ⅲ		107
6	B W -10	I Ⅱ	150	99	57	1138	安	Ⅲ		126
7	B W -13	I	122	93	40	580	安	Ⅲ		123
8	B V -14	I Ⅱ	72	58	59	458	安	Ⅲ		133
第237図-1	B U -14	I Ⅱ	151	69	62	766	安	Ⅲ		136
2	B R -13	I Ⅱ	86	70	26	241	安	Ⅲ		102
3	B V -14	I Ⅱ	87	56	22	163	ホ	Ⅳ		195

石皿

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	小分類	備考	整理No.
第237図-4	B L - 3	Ⅱ	170	94	31	564	砂	石皿		171
5	B P -14	Ⅱ	55	38	32	69	凝	ク		172
6	B G -10	I Ⅱ	75	83	25	192	砂	ク		173

⑪軽石製品

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	備考	整理No.
第74図-1	1 H	フ	67	88	71	92	軽	スリ、沈刻 S-21	9034
2	6 H	床面	54	60	43	23	軽	スリ S-50	9029
3	6 H	フ	55	40	35	16.5	軽	スリ S-41-1	9033
4	6 H	フ	70	42	25	25.7	軽	スリ S-41-2	9033
5	11 H	床面	42	28	23	5.3	軽	スリ S-12	9037
第171図-2	74土	フ	79	80	32	40.5	軽	スリ	9030
第216図-1	C D-11	ⅡⅢ	89	72	35	43.9	軽	東捨て場。沈刻。S-6	9028

⑫石製品

玉類

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	備考	整理No.
第171図-3	70土	床面	46	42	27	75.7	玉	C-1 両側面を擦っている。穴は自然のもの。	9013
第238図-2	B T-15	不明	8	5	3	0.1	ヒスイ	遺構外。両側から穿孔。	9019

石刀、石剣、石棒類

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	備考	整理No.
第216図-2	C B-7	I	65	21	8	18	頁	東捨て場。石棒の一部?	7088
4	C F-12	Ⅱ	200	49	16	215	粘	東捨て場。石刀。	9023
第217図-3	C G-12	I Ⅱ	153	54	19	195	粘	東捨て場。石刀、未製品?	9021
第218図-2	C B-7	ⅡⅢ	69	26	4	10.6	粘	東捨て場。石剣の剣先?	9014

有孔石製品

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	備考	整理No.
第217図-1	C C-10	ⅡⅢ	93	58	6	45.5	頁	東捨て場。円盤状の有孔石製品。	9020
2	C A-6	ⅡⅢ	58	56	11	46.7	粘	東捨て場。小型環状石斧?	9025
第238図-1	B P-13	Ⅱ	186	51	20	241	粘	遺構外。西捨B G-1と接合。短冊形の大型垂飾品?	9027
4	B M-9	Ⅱ	161	123	34	768	粘	遺構外。自然の穴を更に加工。	9022

その他の石製品

図版No.	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	石質	備考	整理No.
第75図-1	14 H	フ	51	43	16	26.4	珪	刃部の一部	2009
第218図-1	C E・C F-10	Ⅳ	82	25	10	17.6	粘	東捨て場。石鏃の模造品?	9026
第238図-3	B N-4	Ⅱ	73	19	4	7.4	粘	遺構外。自然に剝離した材質を加工。	9016

土製品観察表

板状土偶

図版番号	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	備 考	整理No.
第172図-1	13土	不明	44	34	7	7.5	肩部より下へ穿孔。胴部中央も中程まで穿孔。 表裏及び側面に線刻文を施す。	4

スタンプ型土製品

図版番号	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	備 考	整理No.
第239図-1	B O-14	II	39	19	29	19.1	遺構外。スタンプ型土製品。	11

ミニチュア土器類

図版番号	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	備 考	整理No.
第218図-5	C F-12	II	欠損	13	33	7.7	東捨て場	7
6	C E-10	II III	32	-	19	16.3	東捨て場	13
第239図-6	B U-13	I II	41	38	47	60.8	遺構外 P-2。内面に黒色付着物。 口縁に三条の沈線、二対の穴。	15
5	B Q-13	II	29	36	61	68.8	遺構外。内面に赤色顔料付着。土器のつなぎ目に顕著。	16
第218図-7	C E-9	II III	47	25	37	43.9	東捨て場 C-2	17
第239図-7	B U-13	I II	56	46	60	103.2	遺構外。内面に黒色付着物。口縁部に六条の沈線。	18
3	B U・B I	II	31	-	15	13.4	遺構外 P-1。蓋型、二対の一つの穴。	3
第75図-3	2 H	フ	43	13	50	29.2	C-2	2
第218図-4	B Z-6	II III	25	16	29	12.8	東捨て場。単節 R L 斜縄文施文。	9

その他の土製品

図版番号	出土地区	層位	長さ	幅	厚さ	重さ	備 考	整理No.
第75図-2	2 H	フ	23	18	11	3.8	ボタン型	25
第172図-2	C B-5	II III	75	46	9	32.9	東捨て場。土器片利用の円盤状土製品。	22
3	B Y-6	II III	64	60	10	43.7	ク	23
第239図-2	B P-15	II	38	39	16	21.2	遺構外。片面に三角刺突文。急須様土器の取っ手部分？	12
4	B U-14	II	66	48	11	45.7	遺構外。有孔土製品。	14

写 真 图 版



畑内遺跡遠景（南から）



畑内遺跡遠景（北から）

写真1 畑内遺跡遠景（南・北）



平成4年度調査地遠景



東捨て場遠景

写真2 平成4年度調査地・遠景・東捨て場遠景

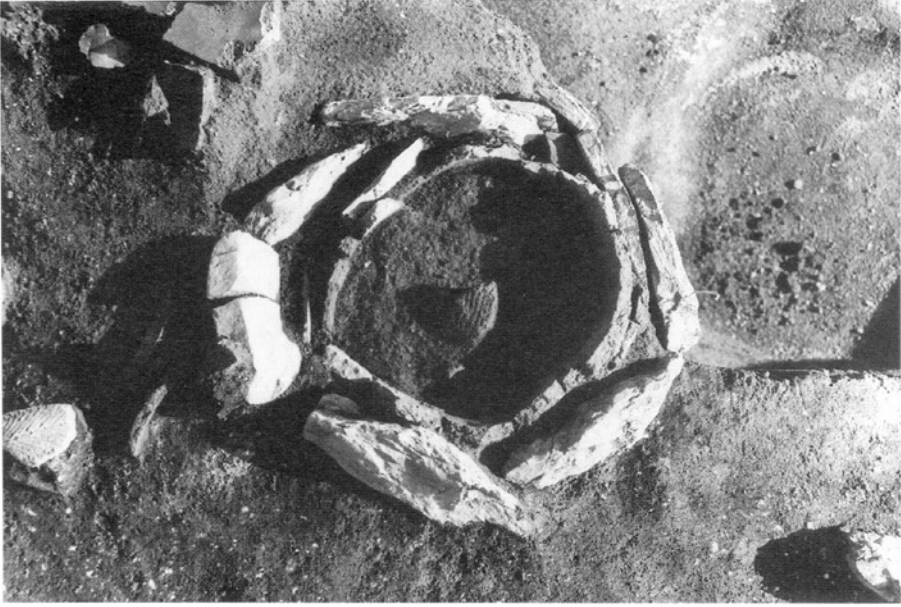


西捨場遠景



第一号住居跡

写真3 西捨場遠景第1号住居跡



第1号住居跡炉

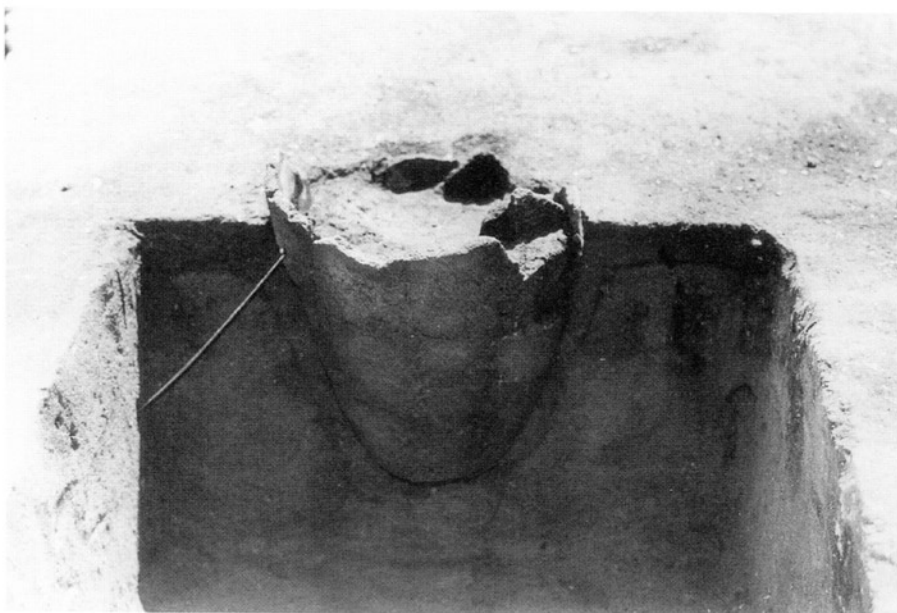


第1号住居跡炉断面

写真4 第1号住居跡炉



第1号住居跡炉埋設土器断面

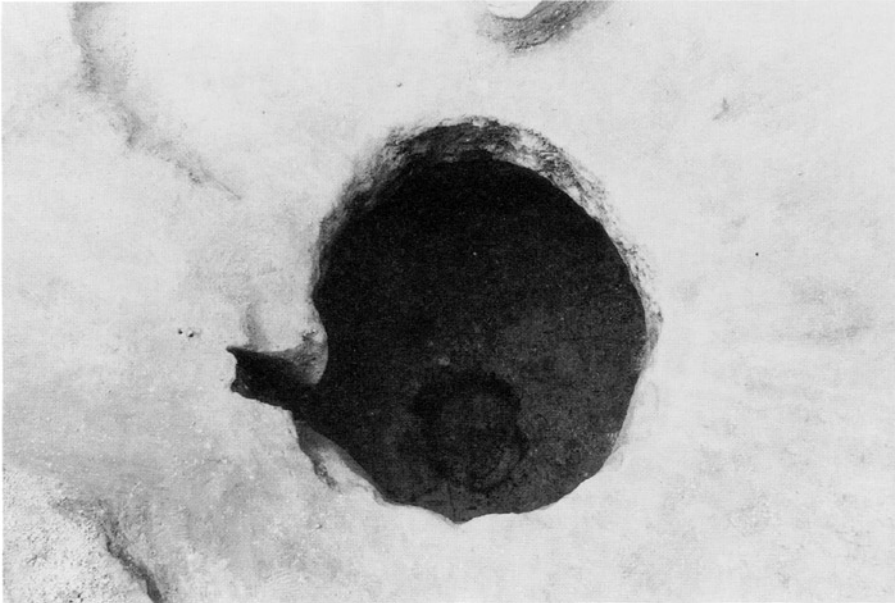


第1号住居跡P-22の出土状況

写真5 第1号住居跡炉埋設土器



第1号住居跡内の第2号土坑石囲炉

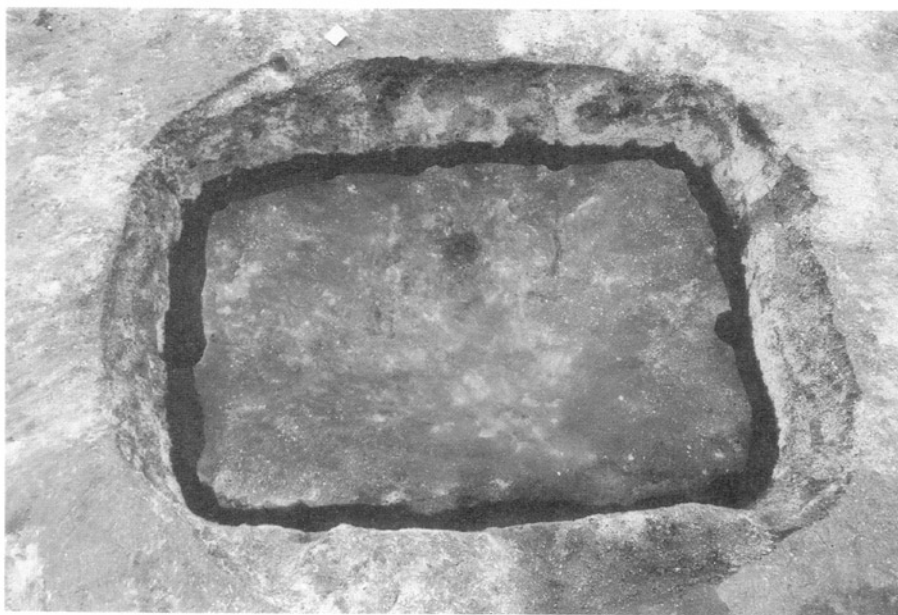


第1号住居跡内の第2号土坑完掘

写真6 第1号住居跡内の第2号土坑

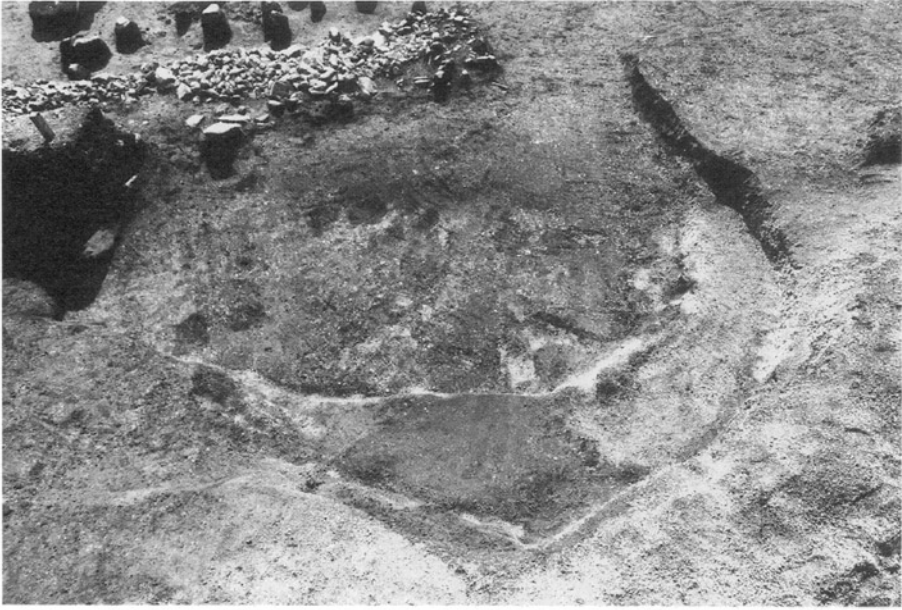


第2号住居跡遺物出土状況

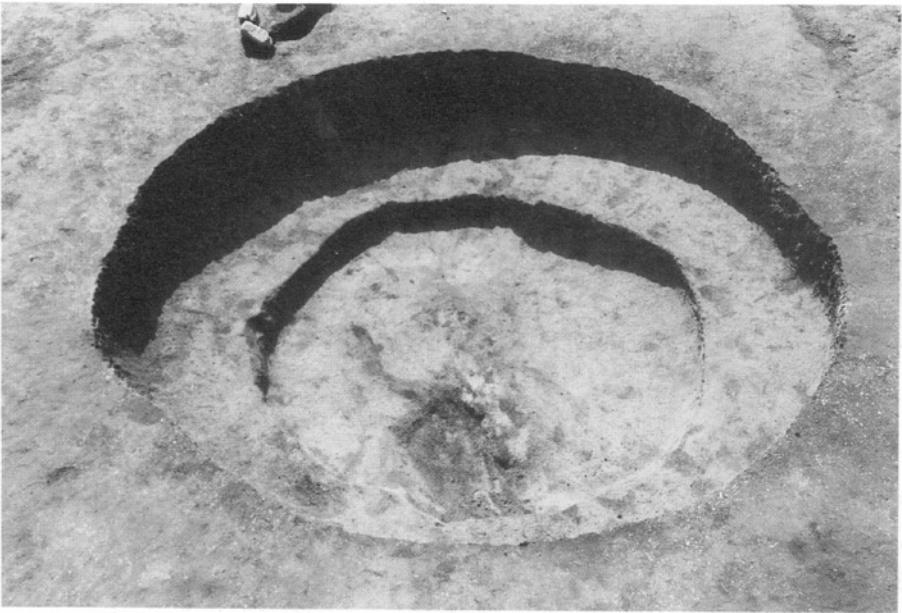


第2号住居跡

写真7 第2号住居跡



第3号住居跡・第5号住居跡



第4号住居跡・第12号土坑

写真8 第3号・第4号・第5号住居跡・第12号土坑

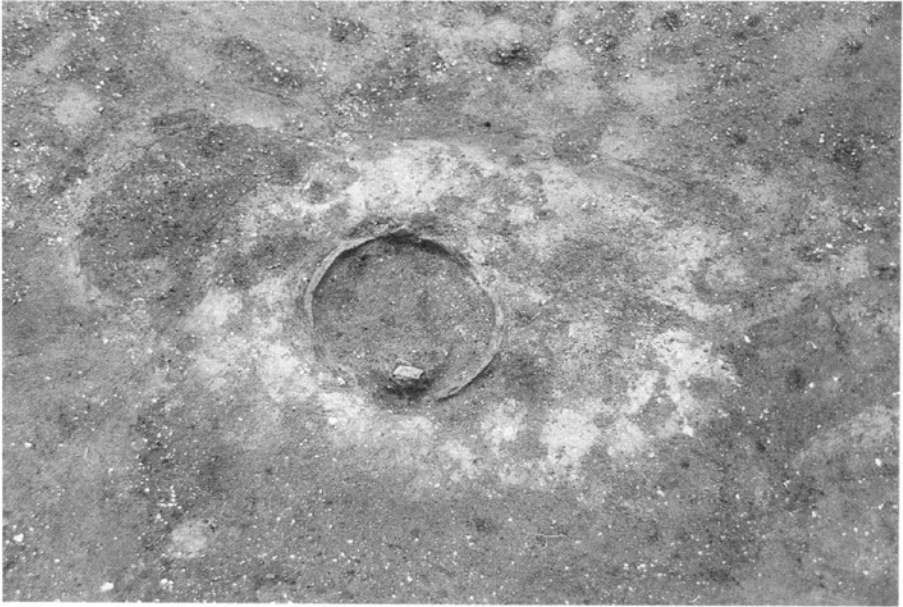


第6号住居跡遺物出土状況

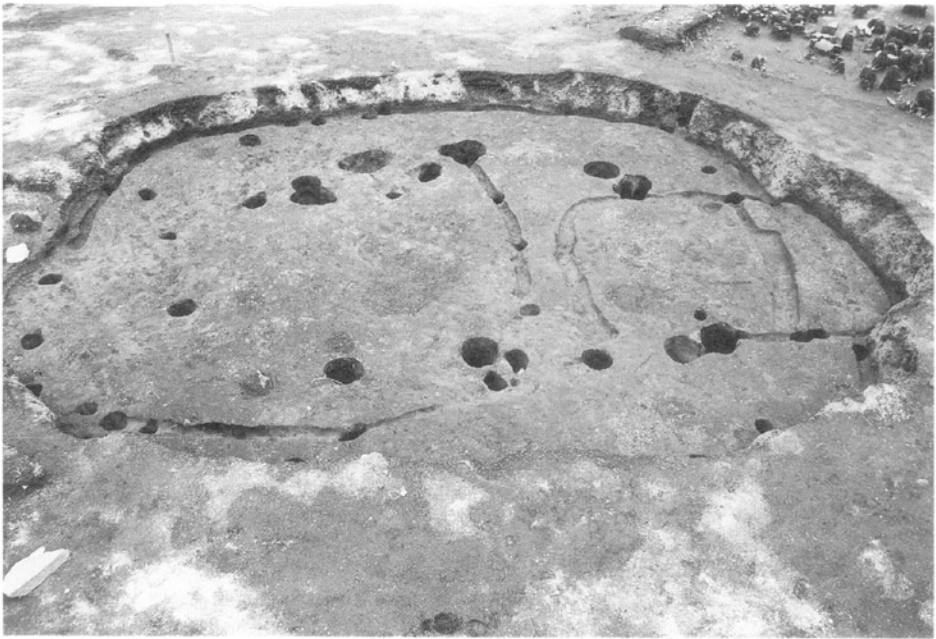


第6号住居跡

写真9 第6号住居跡

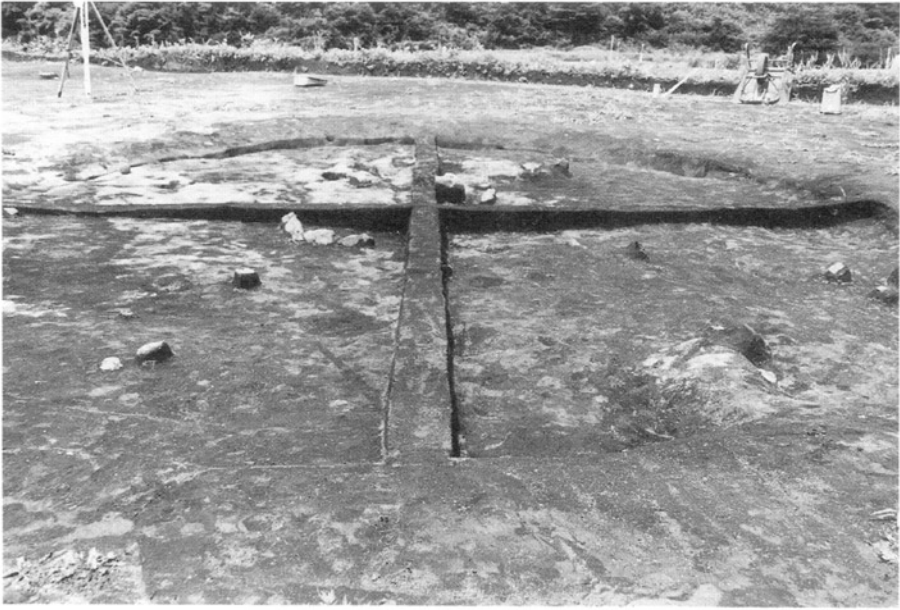


第6号住居跡炉



第6号住居跡・完掘

写真10 第6号住居跡

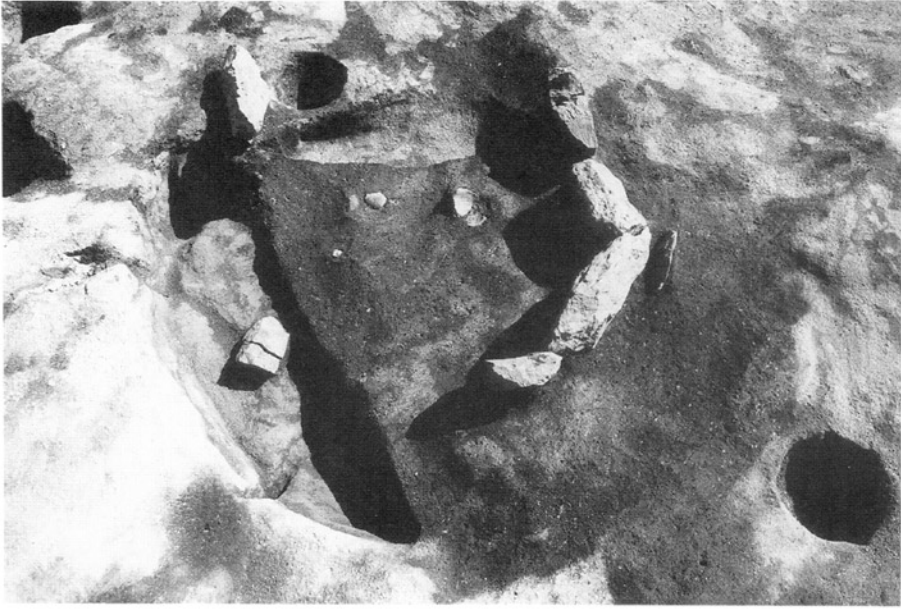


第7号住居跡セクション



第7号住居跡

写真11 第7号住居跡



第7号住居跡炉



第7号住居跡炉断面

写真12 第7号住居跡炉



第8号住居跡セクション

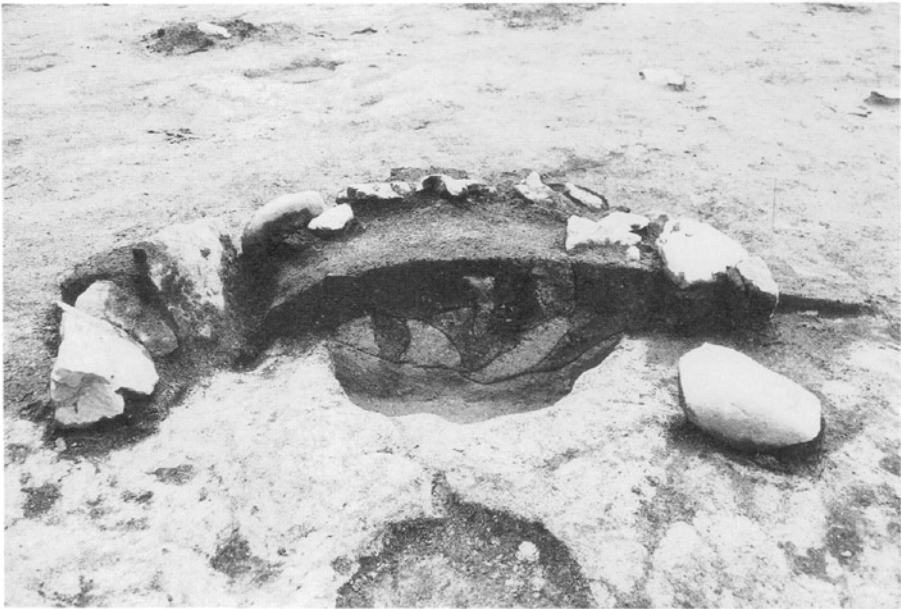


第8号住居跡

写真13 第8号住居跡



第8号住居跡

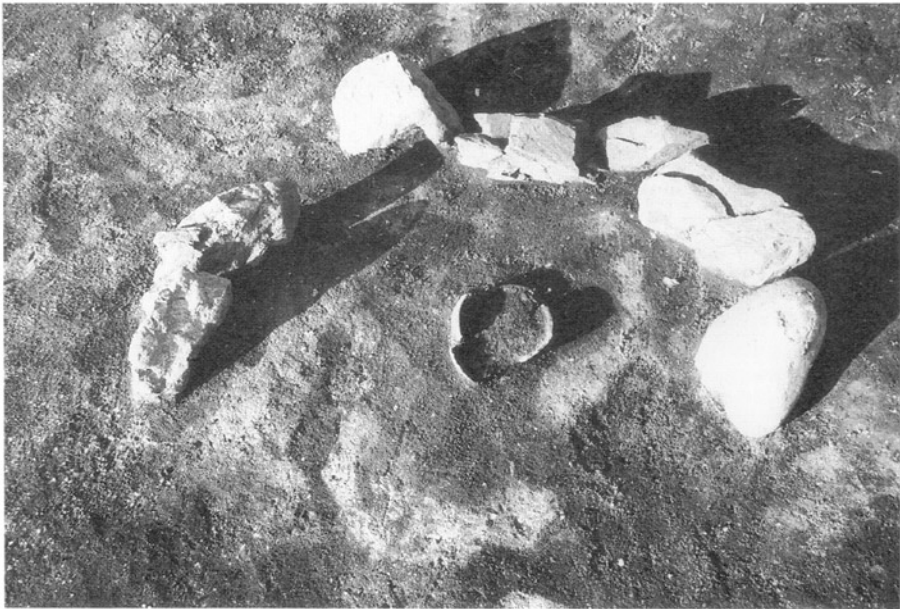


第8号住居跡炉断面

写真14 第8号住居跡

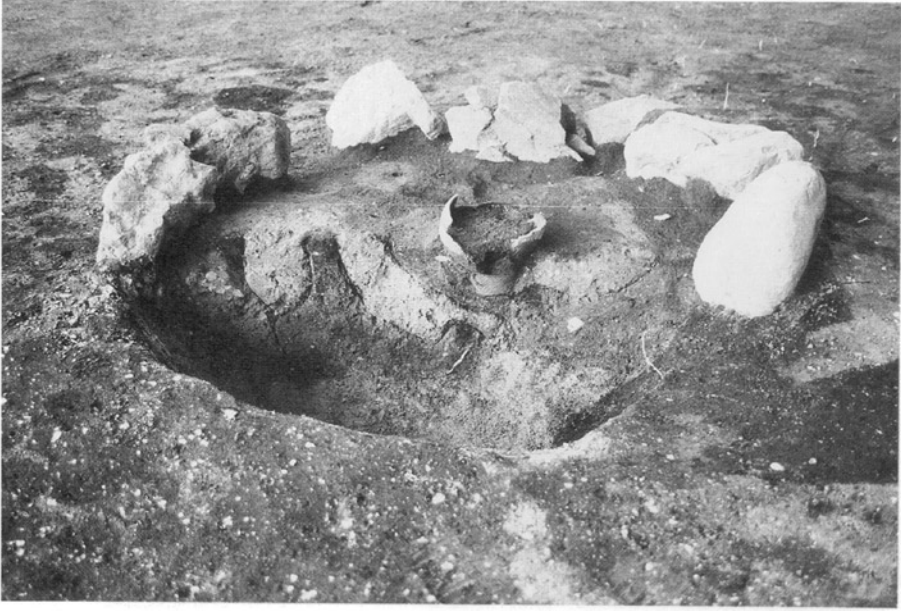


第9号住居跡



第9号住居跡・炉

写真15 第9号住居跡

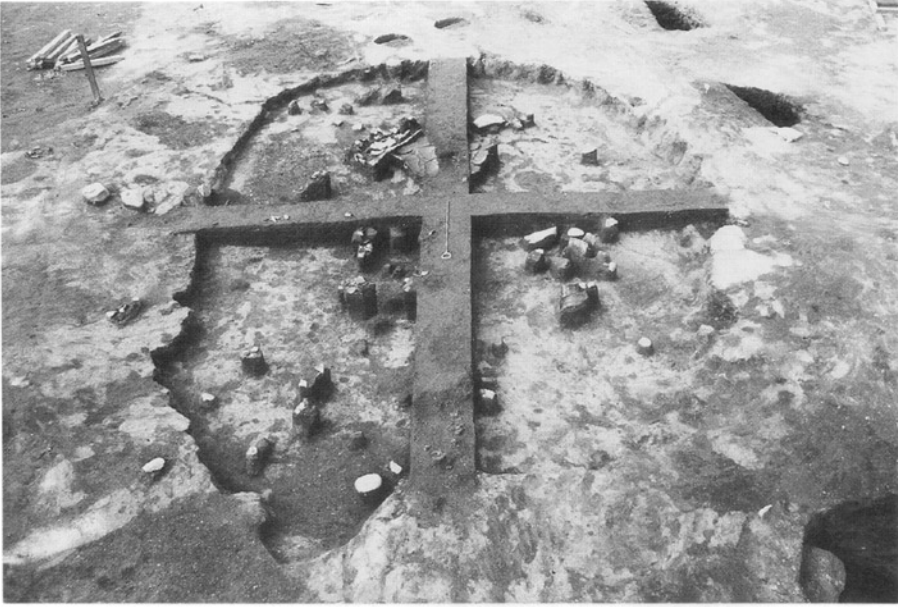


第9号住居跡炉断面



第9号住居跡遺物出土状況

写真16 第9号住居跡



第10号住居跡遺物出土状況



第10号住居跡

写真17 第10号住居跡

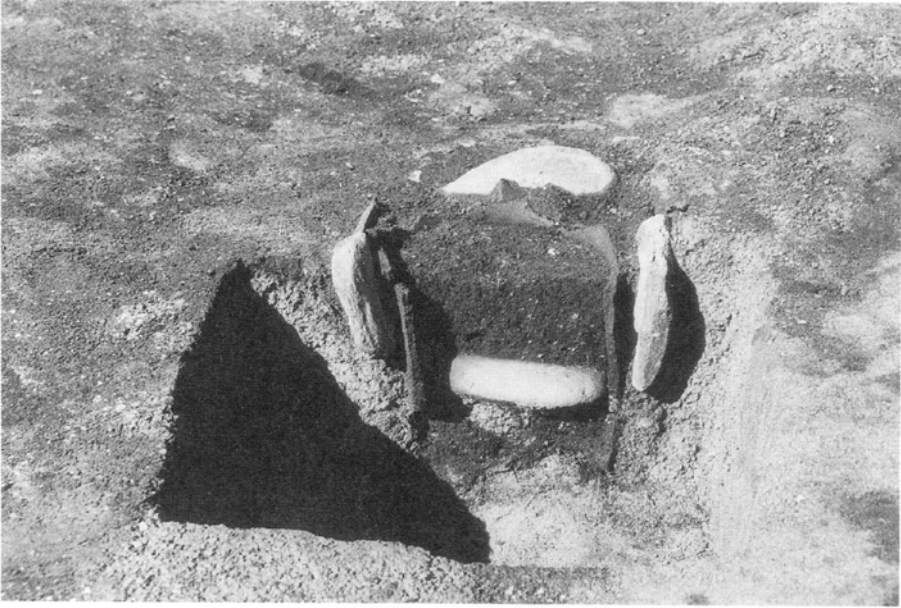


第10号住居跡炉確認状況

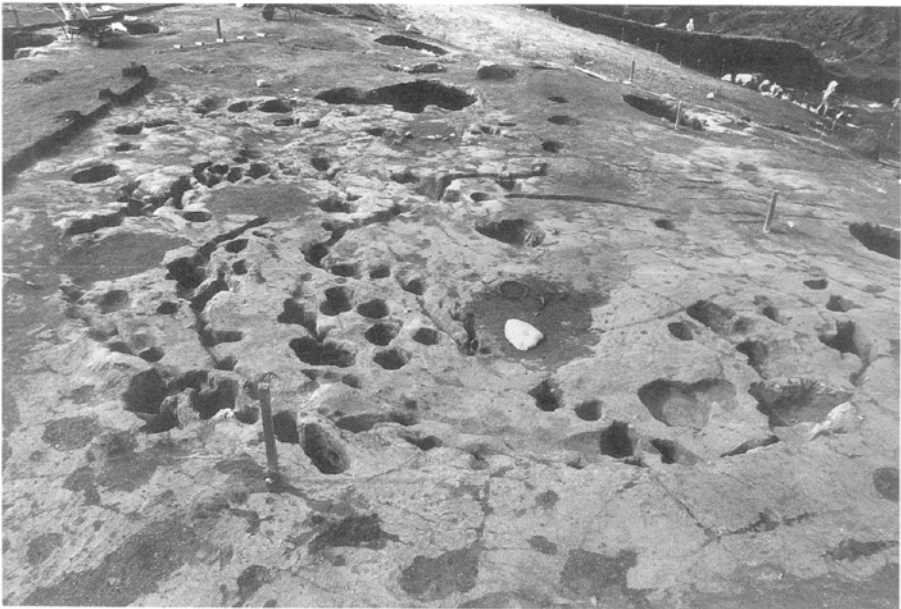


第10号住居跡炉断面

写真18 第10号住居跡炉



第10号住居跡炉埋設土器断面



第11号住居跡

写真19 第10号住居跡炉・第11号住居跡



第11号住居跡炉



第11号住居跡炉

写真20 第11号住居跡炉



第11号住居跡出土土器P-2

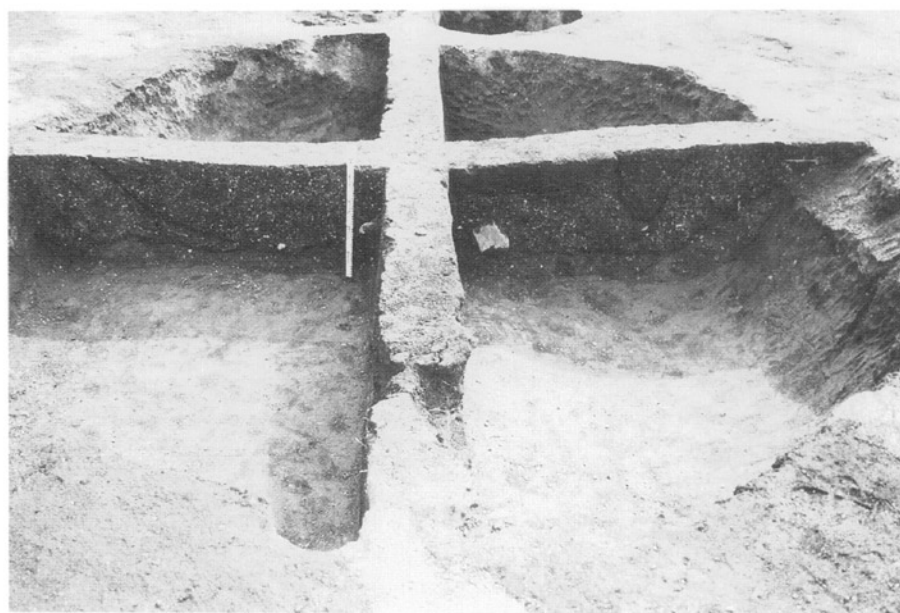


第12号住居跡炉断面

写真21 第11号住居跡・第12号住居跡



第12号住居跡炉埋設土器断面



第13号住居跡セクション

写真22 第12号住居跡・第13号住居跡

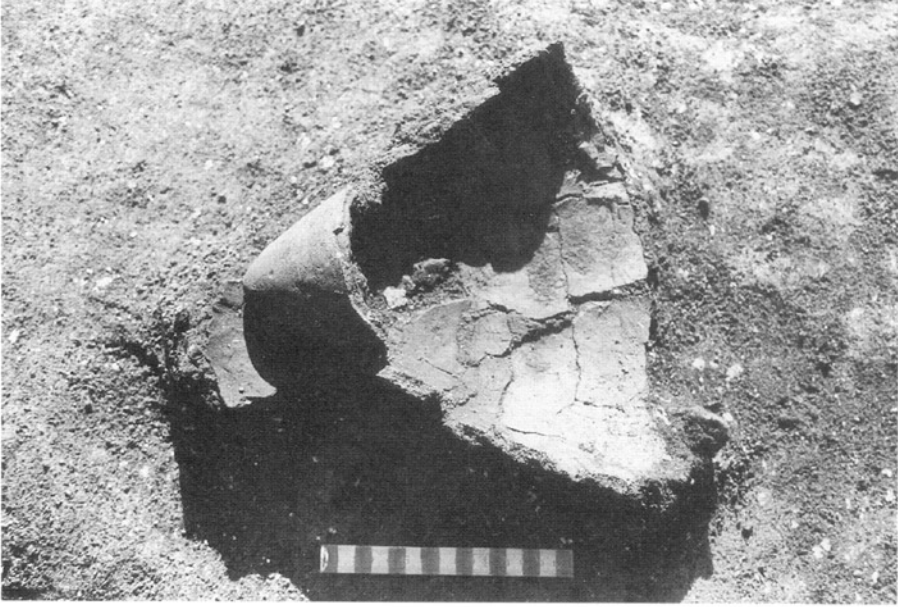


第13号住居跡遺物出土状況

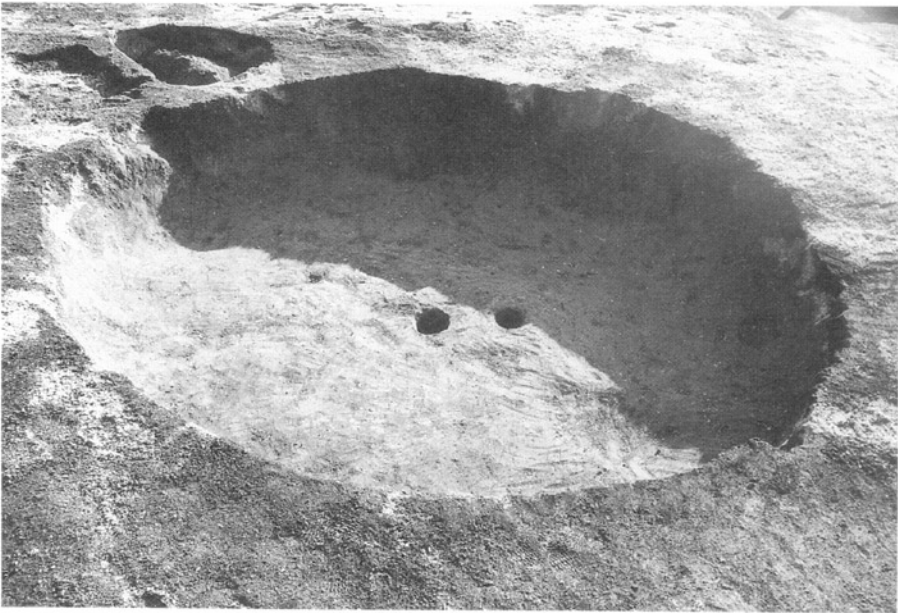


第13号住居跡

写真23 第13号住居跡



第13号住居跡P-1

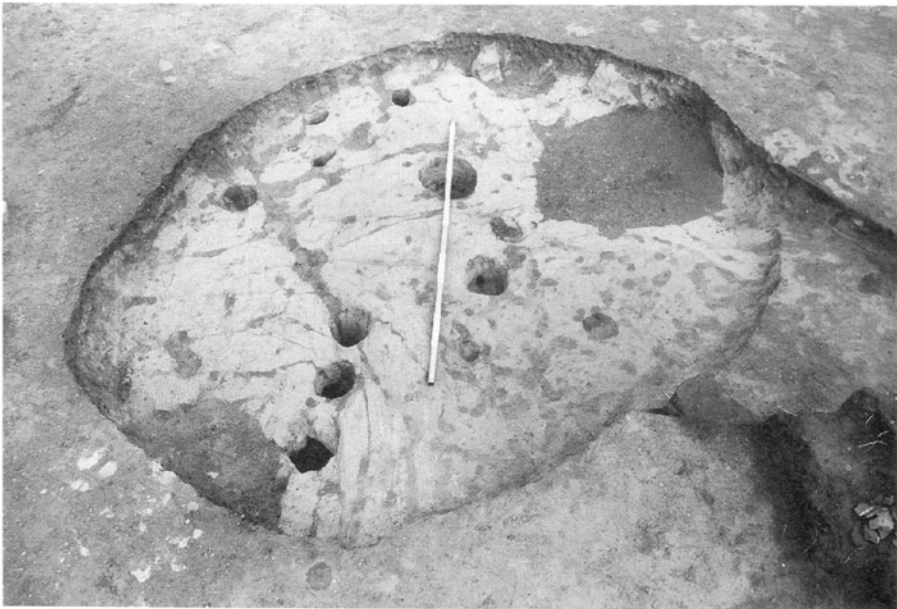


第13号住居跡完掘

写真24 第13号住居跡



第14号住居跡遺物出土状況

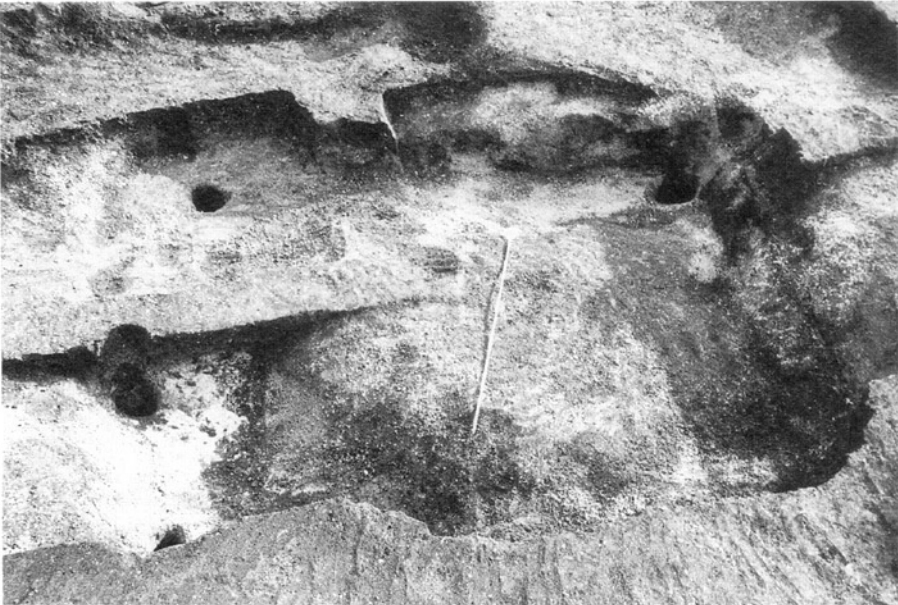


第14号住居跡

写真25 第14号住居跡



第15号住居跡



第16号住居跡

写真26 第15号住居跡・第16号住居跡



第1号土坑



第3号土坑·第8号土坑

写真27 第1号·第3号·第8号土坑

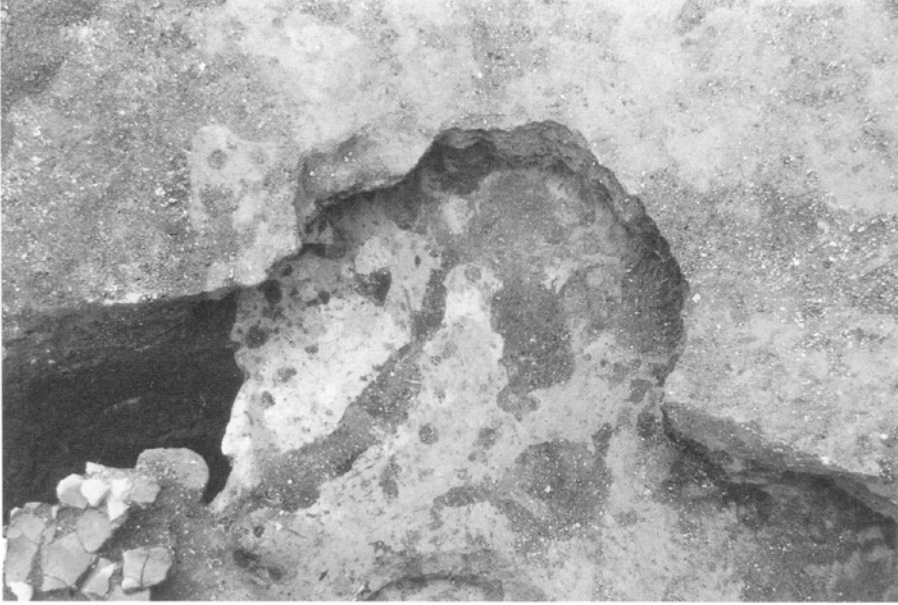


第4号土坑セクション

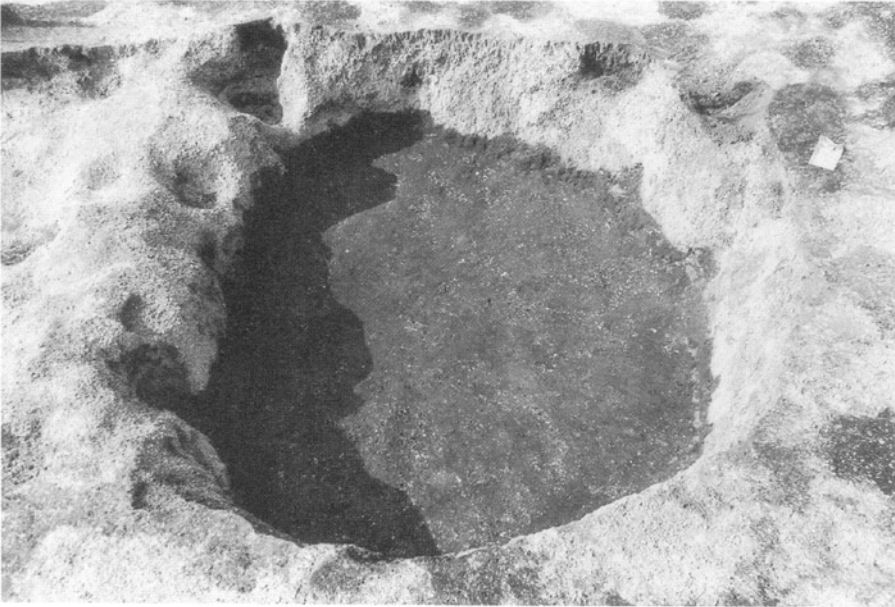


第4号土坑

写真28 第4号土坑



第5号土坑



第6号土坑

写真29 第5号土坑・第6号土坑

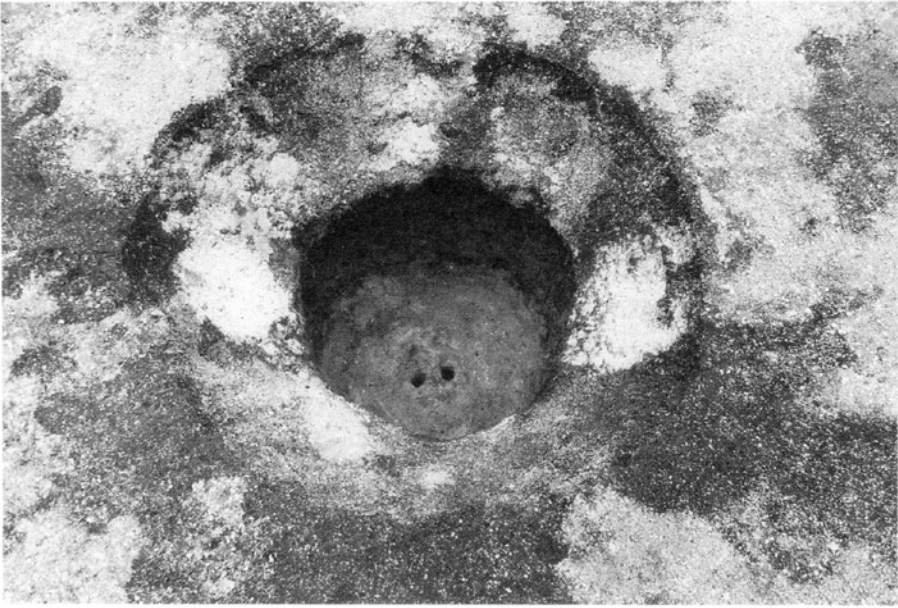


第7号土坑炭化物出土状况

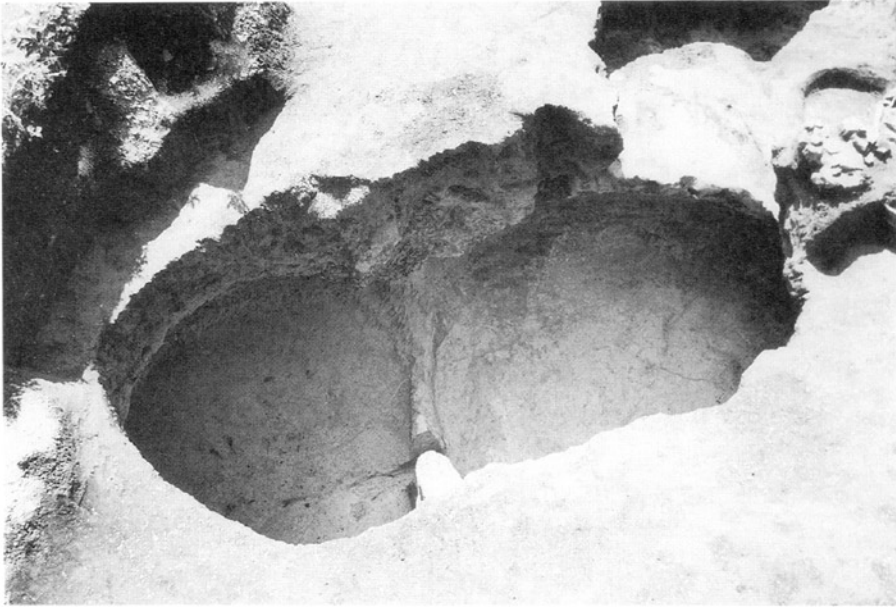


第7号土坑

写真30 第7号土坑

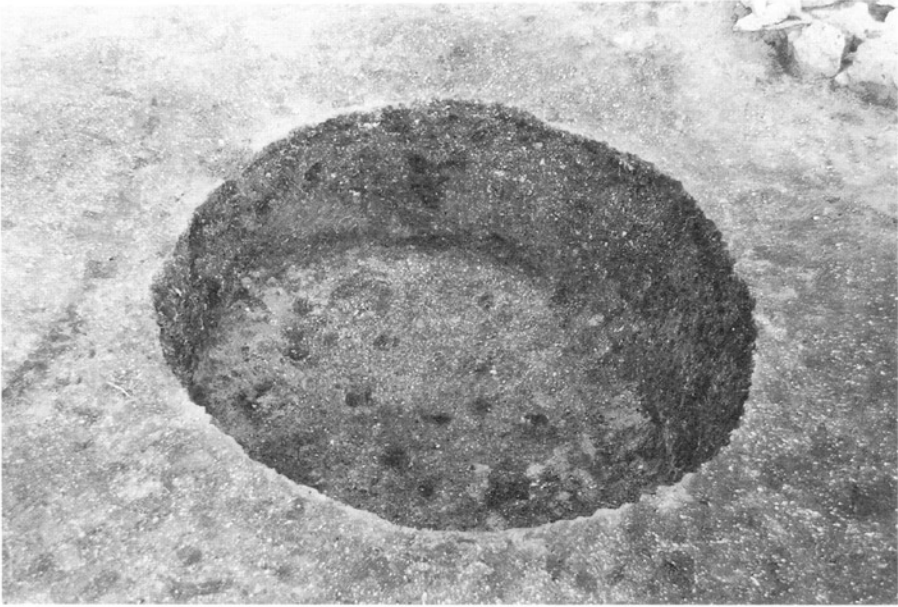


第9号土坑



第10号土坑（右）·第14号土坑（左）

写真31 第9号土坑・第10号土坑・第14号土坑



第11号土坑



第13号土坑

写真32 第11号土坑・第13号土坑



第15号土坑

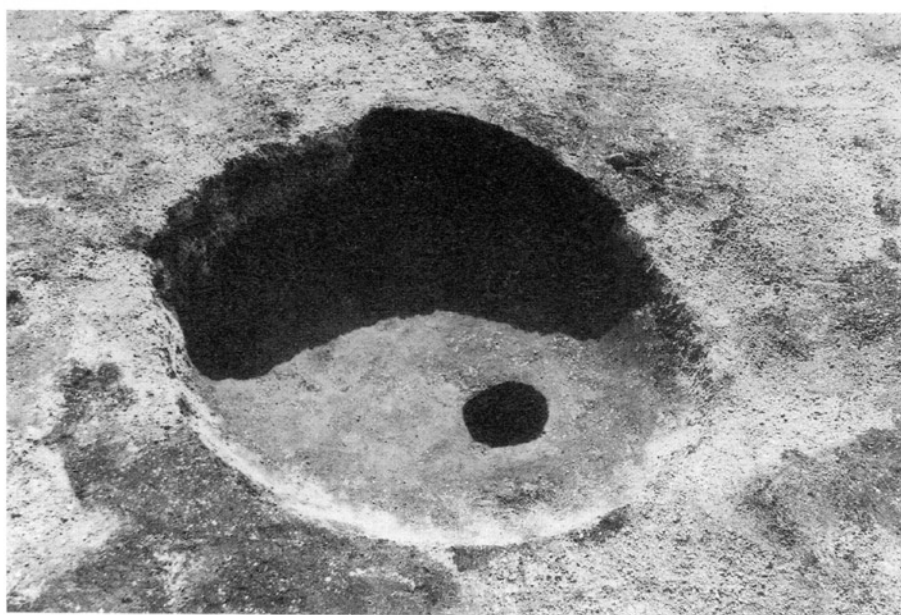


第16号土坑

写真33 第15号土坑・第16号土坑



第16号土坑（左）・第29号土坑（右）

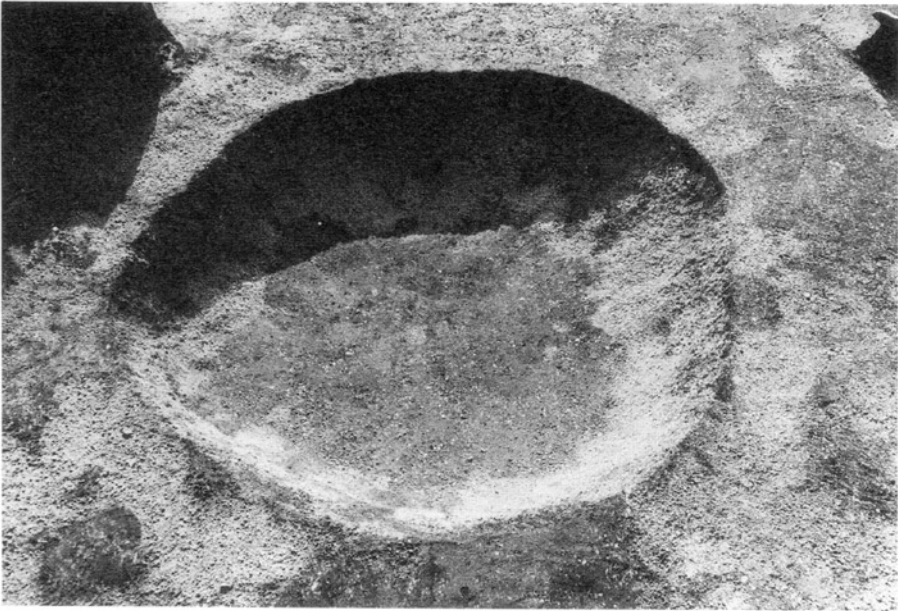


第17号土坑

写真34 第16号土坑・第29号土坑・第17号土坑



第18号土坑



第19号土坑

写真35 第18号土坑・第19号土坑



第20号土坑（右）・第21号土坑（左）

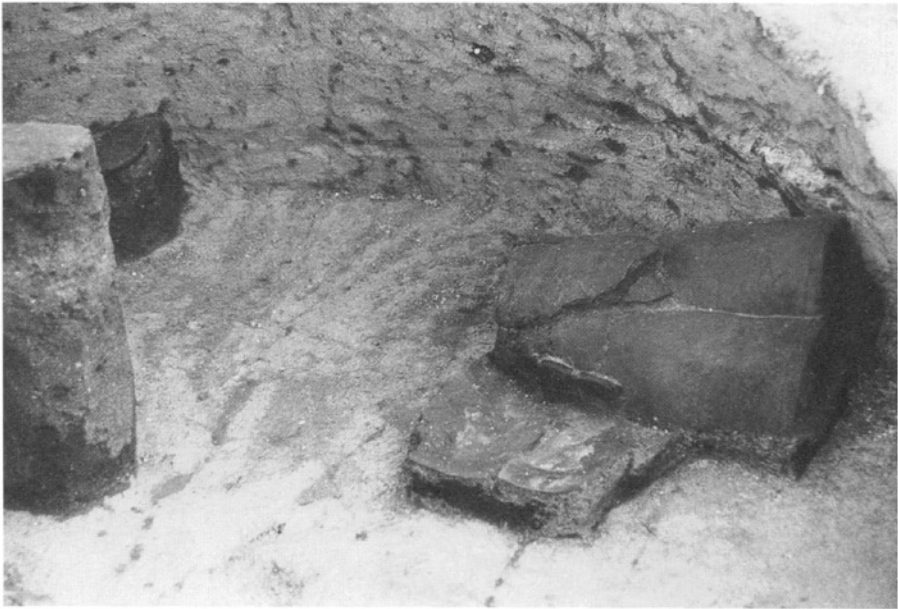


第22号土坑

写真36 第20号土坑・第21号土坑・第22号土坑



第23号土坑



第23号土坑遺物出土状況 (P-1)

写真37 第23号土坑



第24号土坑



第26号土坑（左）・第27号土坑（右）

写真38 第24号土坑・第26号土坑・第27号土坑



第28号土坑



第29号土坑

写真39 第28号土坑・第29号土坑

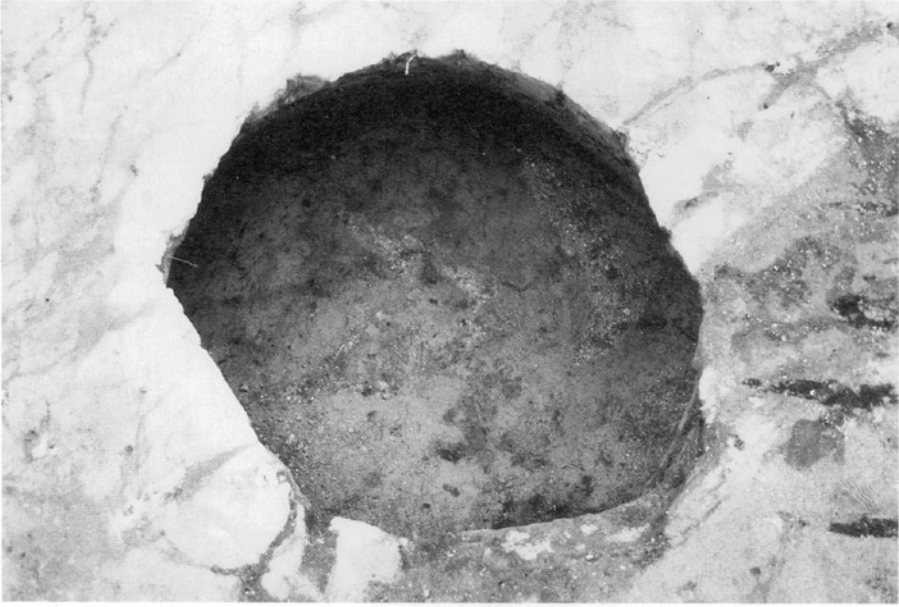


第30号土坑



第31号土坑（左）・第61号土坑（右）

写真40 第30号土坑・第31号土坑・第61号土坑



第32号土坑



第33号土坑

写真41 第32号土坑・第33号土坑



第34号土坑



第35号土坑

写真42 第34号土坑・第35号土坑

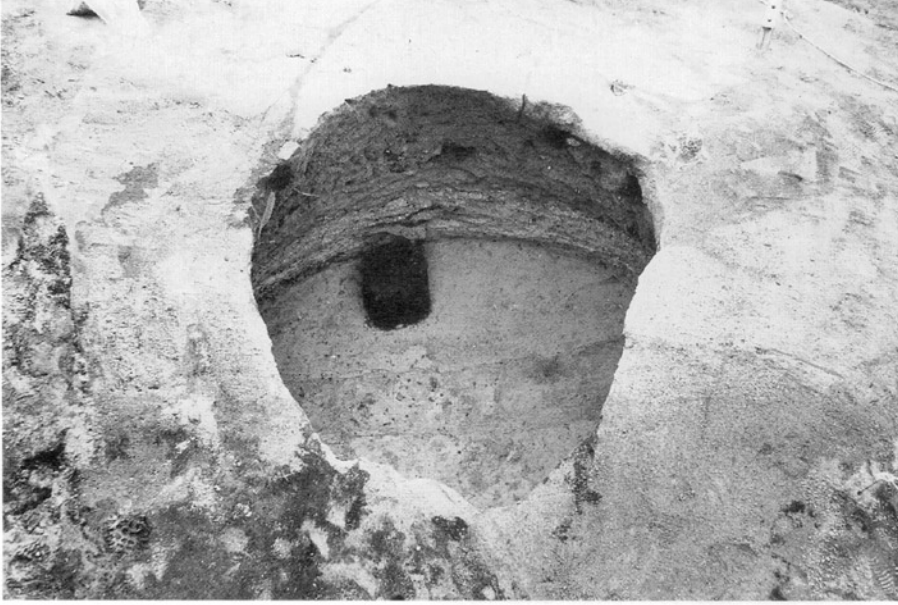


第36号土坑

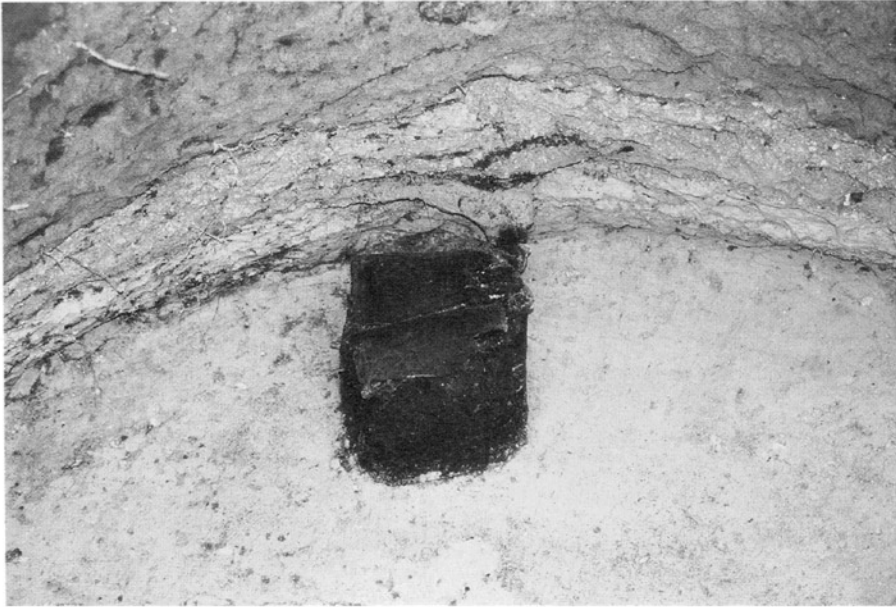


第37号土坑

写真43 第36号土坑・第37号土坑

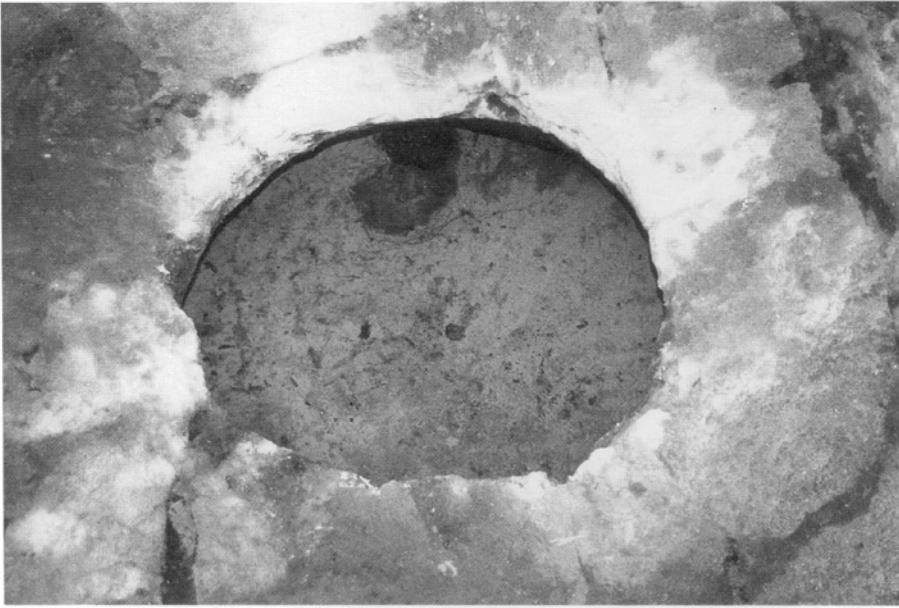


第38号土坑



第38号土坑 (P-1)

写真44 第38号土坑



第39号土坑



第40号土坑

写真45 第39号土坑・第40号土坑

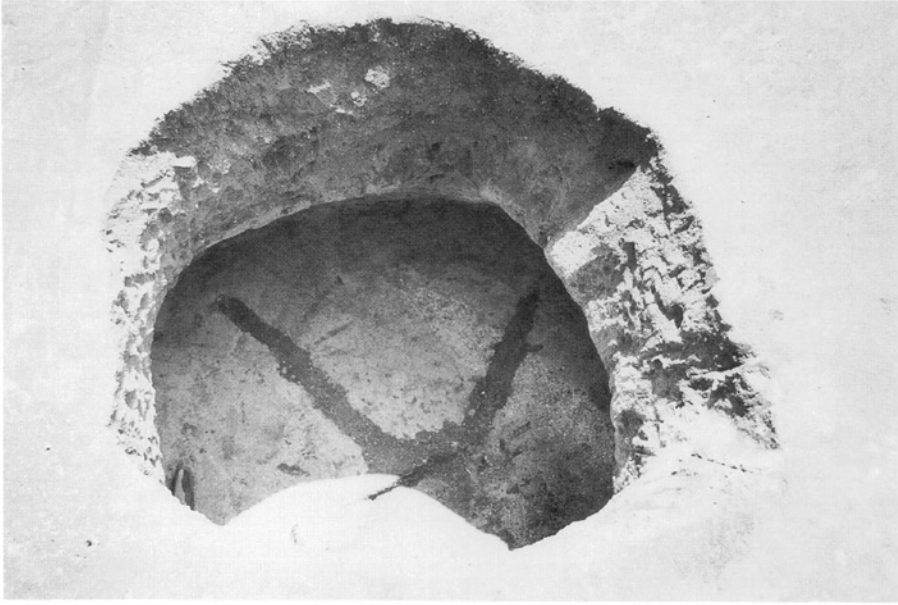


第41号土坑

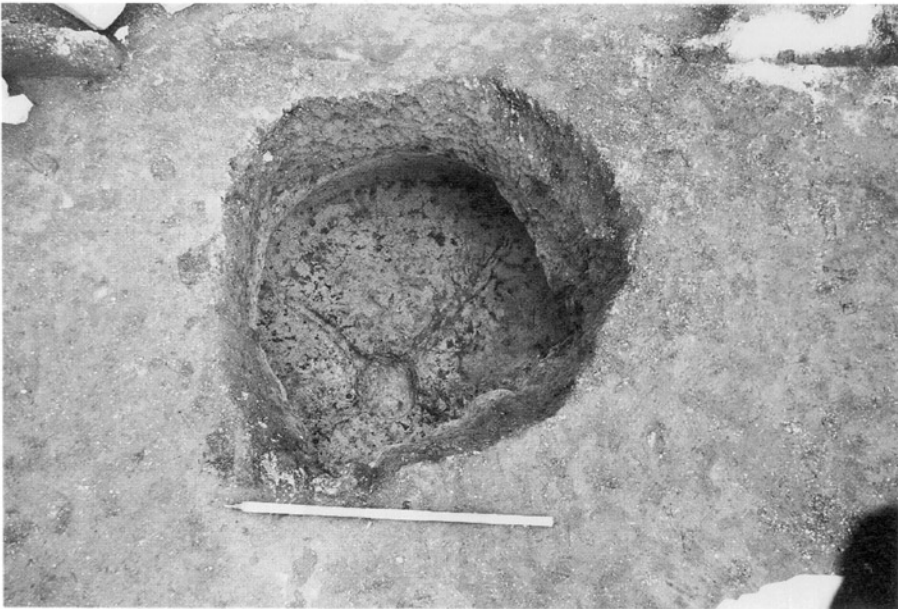


第42号土坑

写真46 第41号土坑・第42号土坑



第43号土坑



第43号土坑完掘

写真47 第43号土坑



第44号土坑



第45号土坑（左）・第77号土坑（右）

写真48 第44号土坑・第45号土坑・第77号土坑

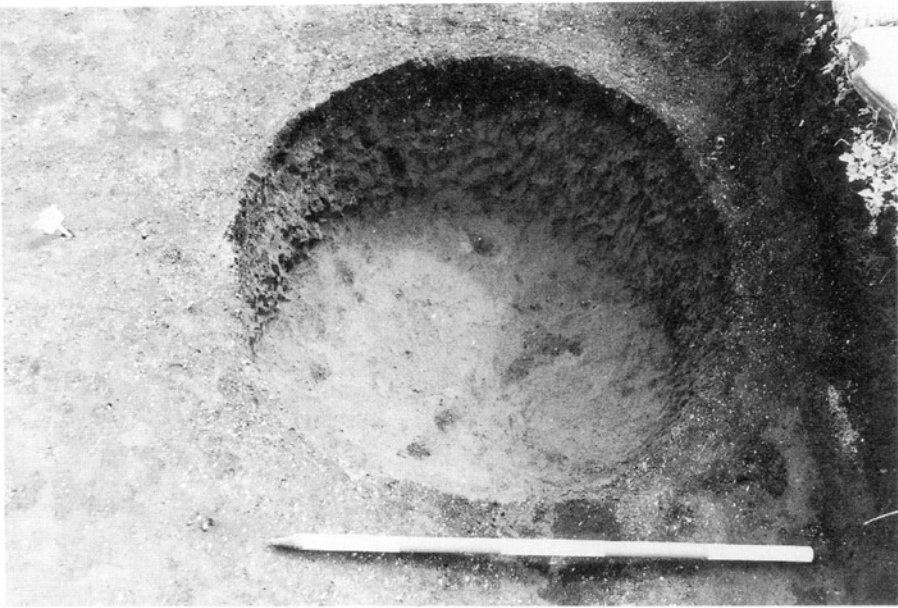


第45号土坑・第77号土坑



第45号土坑 (P-4)

写真49 第45号土坑・第77号土坑

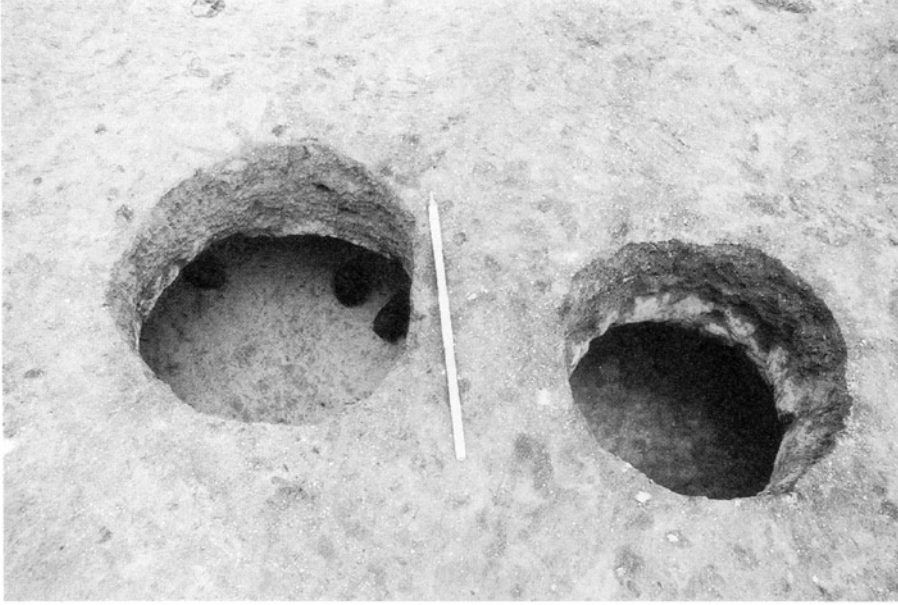


第46号土坑



第47号土坑

写真50 第46号土坑・第47号土坑

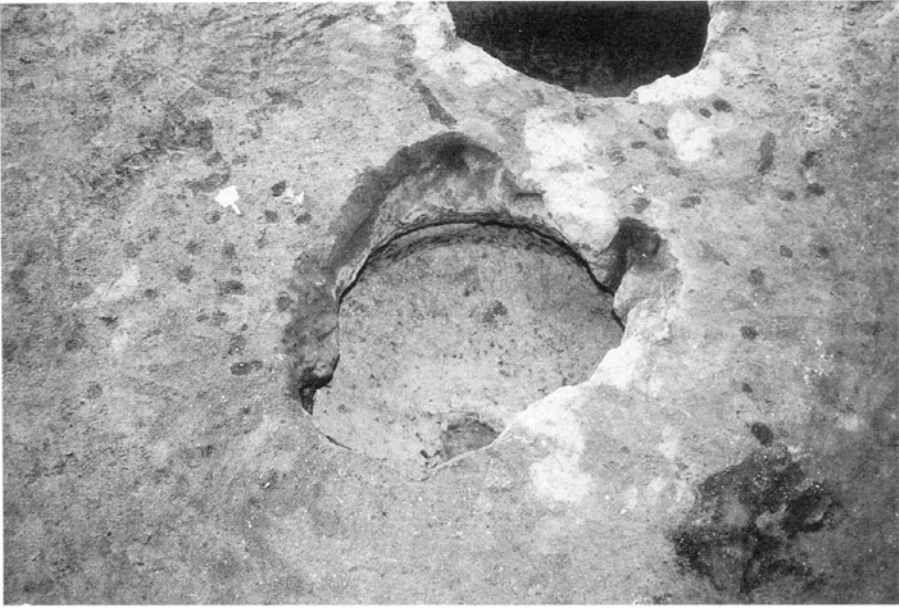


第48号土坑（左）・第49号土坑（右）

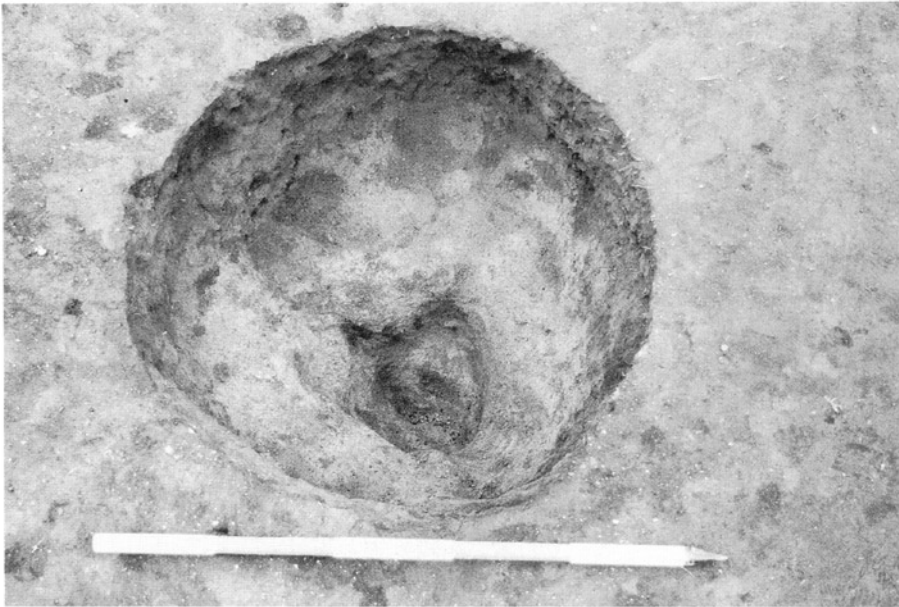


第50号土坑

写真51 第48号土坑・第49号土坑・第50号土坑



第53号土坑



第54号土坑

写真52 第53号土坑・第54号土坑



第55号土坑

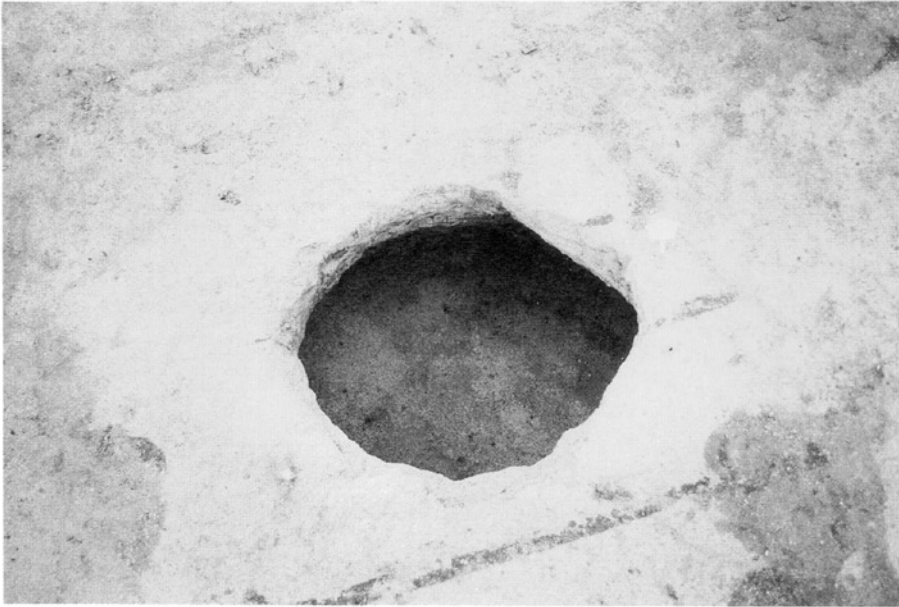


第57号土坑

写真53 第55号土坑・第57号土坑



第58号土坑（右）・第59号土坑（右）



第60号土坑

写真54 第58号土坑・第59号土坑・第60号土坑

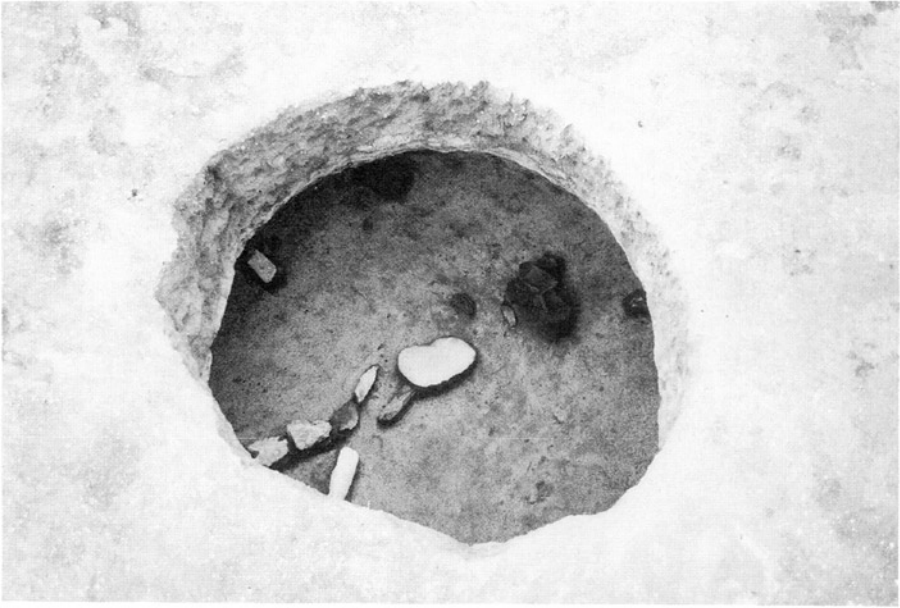


第62号土坑



第62号土坑（下）・第64号（下から2番目）・第66号（下から3番目）・第67号土坑（上）

写真55 第62号土坑・第64号土坑・第66号土坑・第67号土坑



第63号土坑



第64号土坑遺物出土狀況（P-2）

写真56 第63号土坑・第64号土坑



第64号土坑



第65号土坑・第75号土坑

写真57 第64号土坑・第65号土坑・第75号土坑



第66号土坑



第67号土坑

写真58 第66号土坑・第67号土坑



第69号土坑



第70号土坑

写真59 第69号土坑・第70号土坑



第71号土坑



第72号土坑

写真60 第71号土坑・第72号土坑

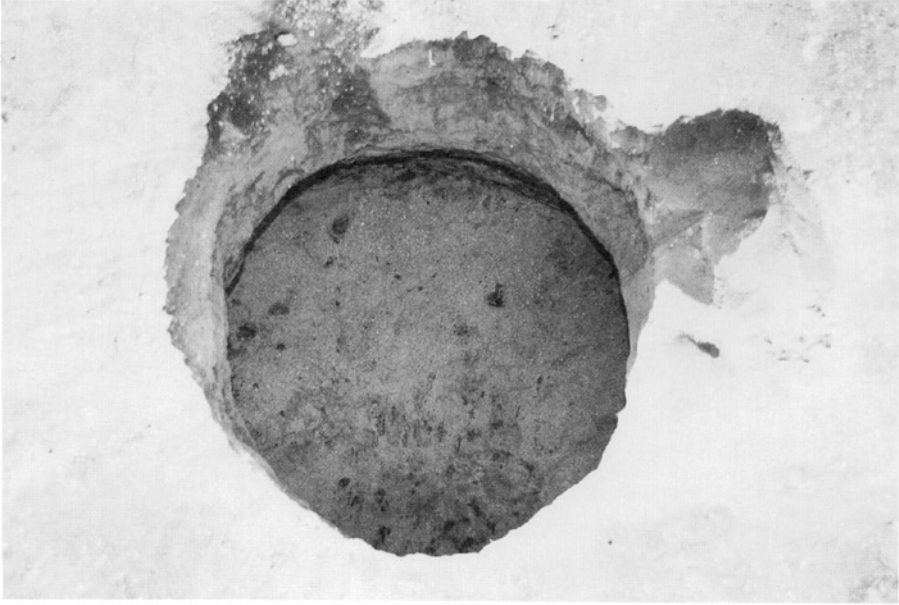


第74号土坑

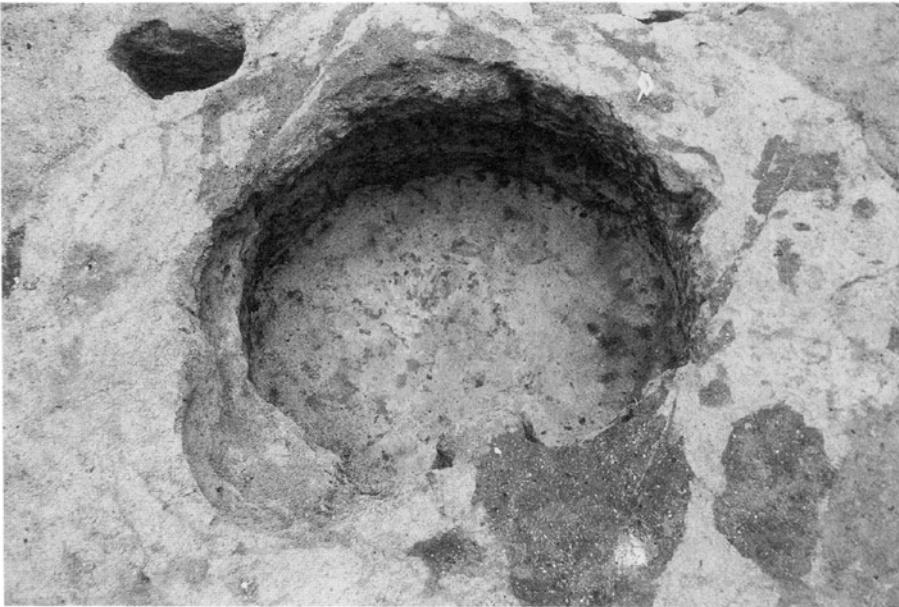


第74号土坑遺物出土狀況P-1

写真61 第74号土坑

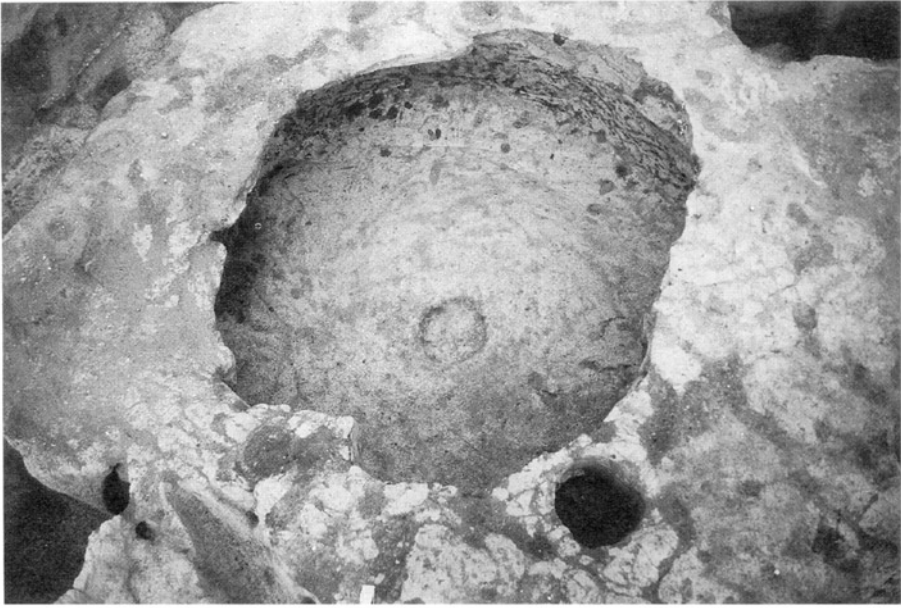


第78号土坑



第79号土坑

写真62 第78号土坑・第79号土坑



第80号土坑

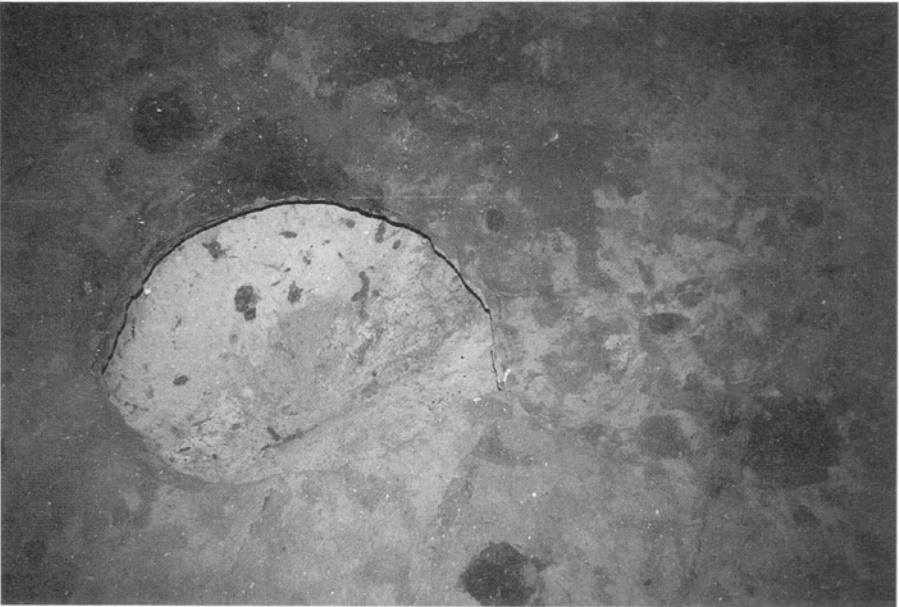


第81号土坑

写真63 第80号土坑・第81号土坑



第82号土坑

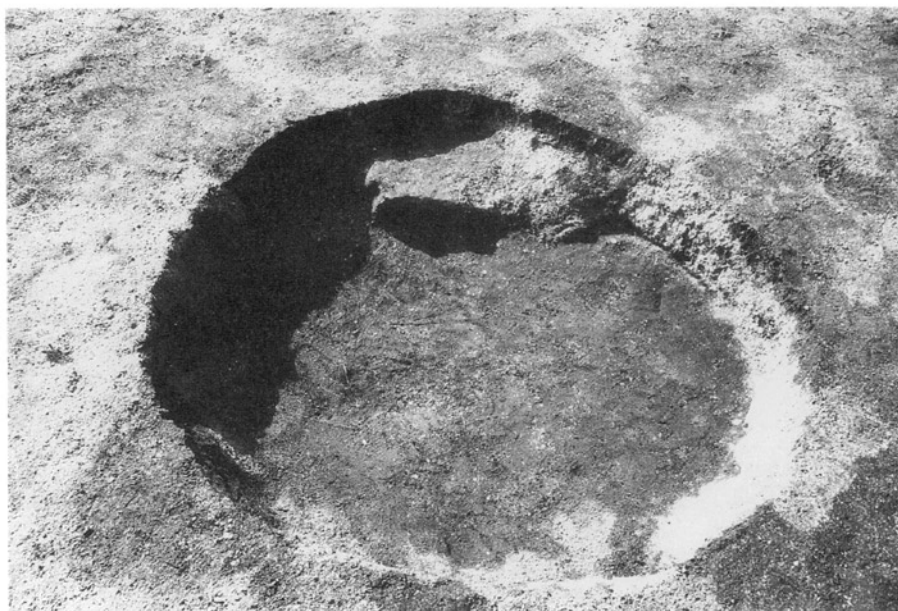


第83号土坑

写真64 第82号土坑・第83号土坑

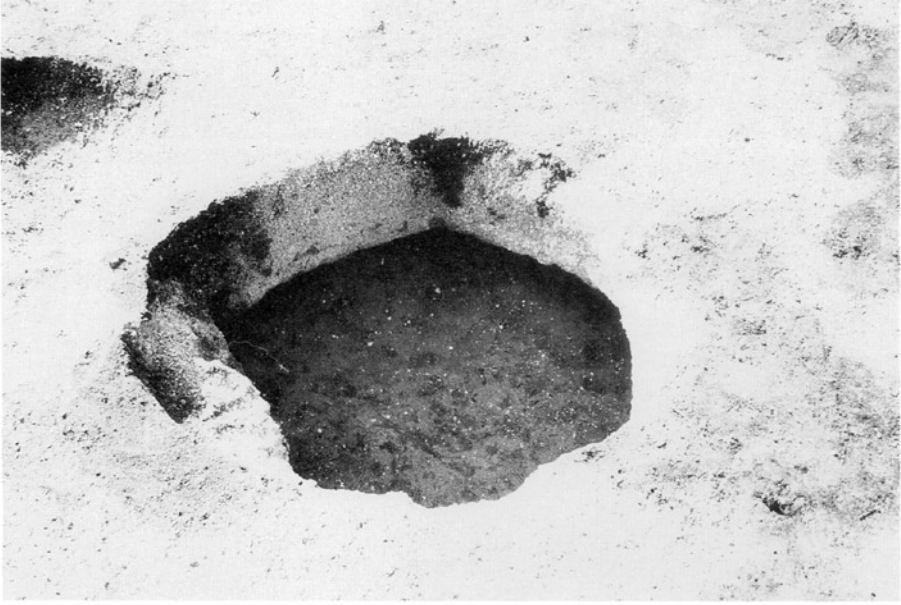


第84号土坑

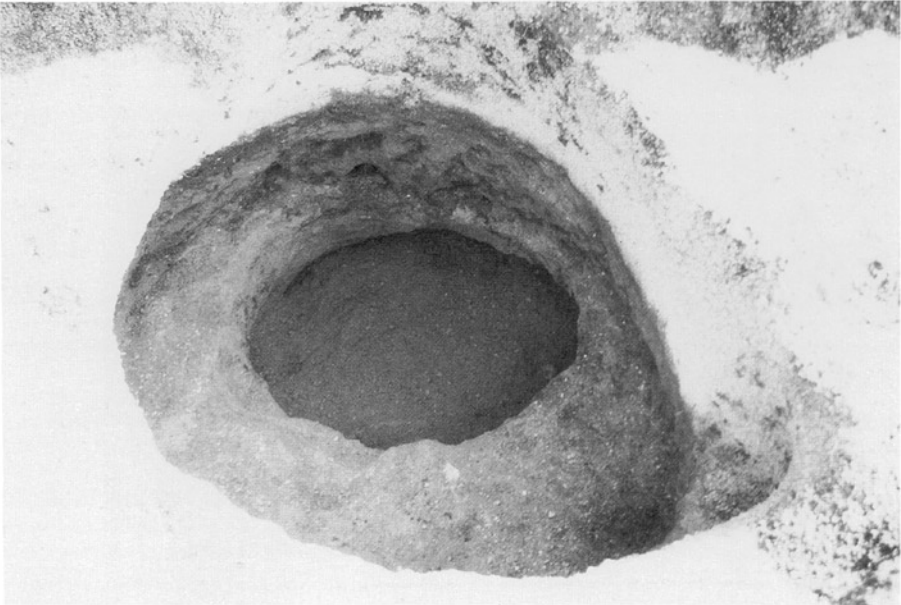


第85号土坑

写真65 第84号土坑・第85号土坑

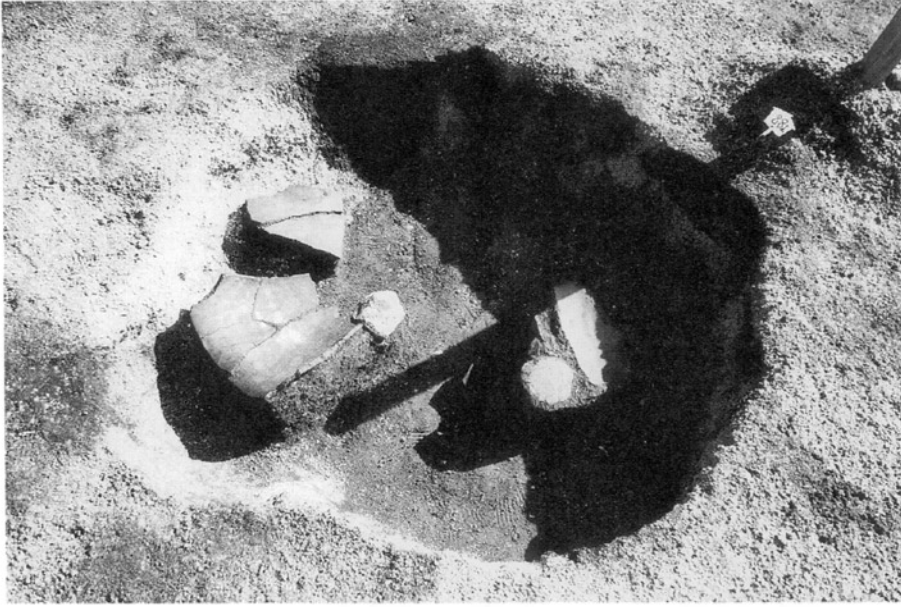


第86号土坑



第87号土坑

写真66 第86号土坑・第87号土坑

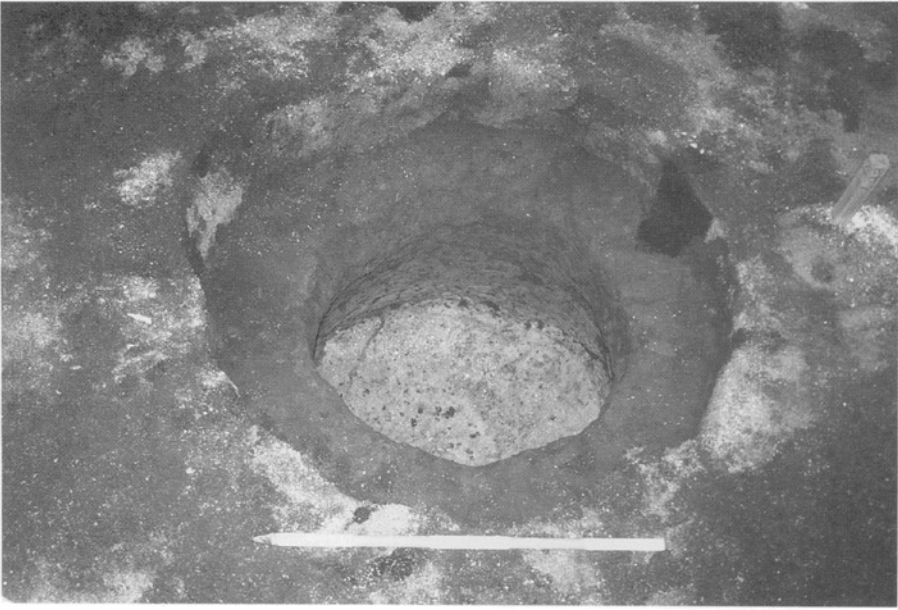


第88号土坑

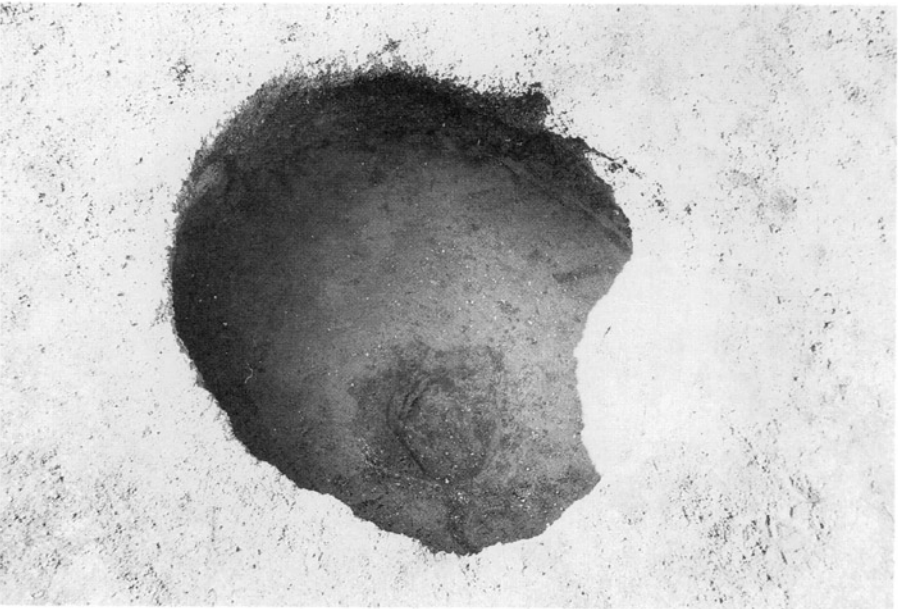


第89号土坑

写真67 第88号土坑・第89号土坑

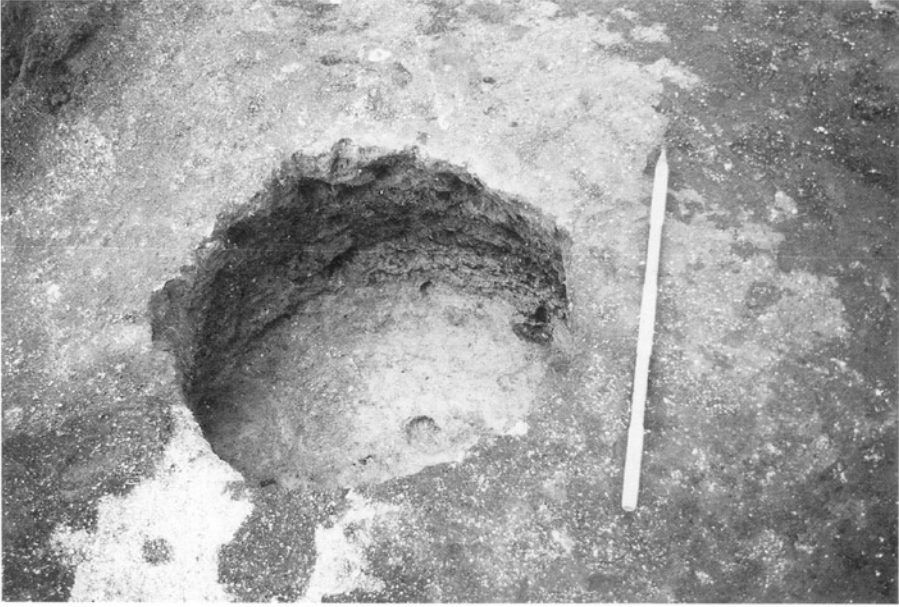


第90号土坑



第91号土坑

写真68 第90号土坑・第91号土坑



第92号土坑



第93号土坑

写真69 第92号土坑・第93号土坑



第94号土坑



第96号土坑

写真70 第94号土坑・第96号土坑



第98号土坑（右上）・第97号土坑（右下）・第120号土坑（中）・第106号土坑（左）



第98号土坑（中上）・第97号土坑（中下）・第121号土坑（右）・第120号土坑（左）

写真71 第97号・第98号・第106号・第120号・第121号土坑

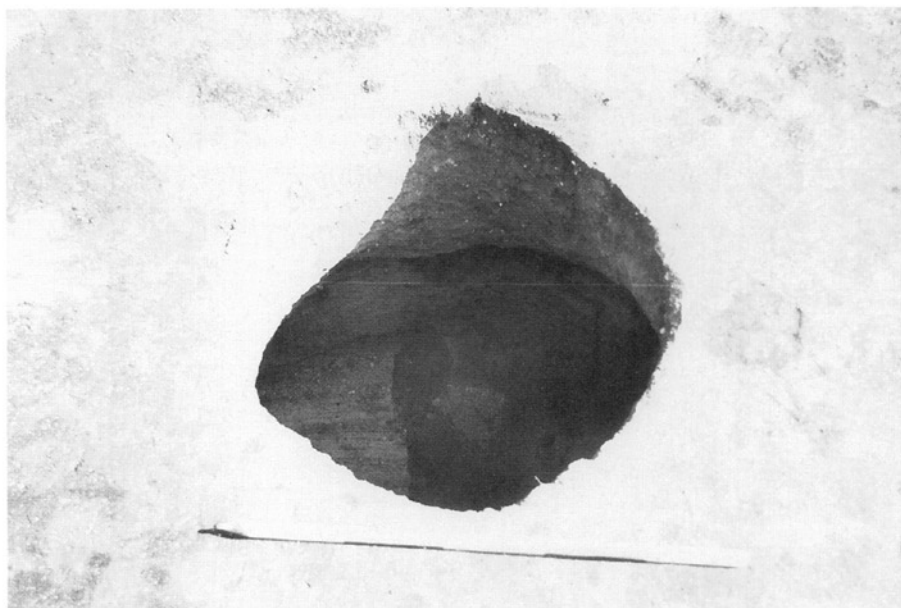


第99号土坑



第99号土坑遺物出土狀況

写真72 第99号土坑



第100号土坑



第101号土坑

写真73 第100号土坑・第101号土坑



第102号土坑



第103号土坑

写真74 第102号土坑・第103号土坑



第104号土坑



第105号土坑

写真75 第104号土坑・第105号土坑



第111号土坑

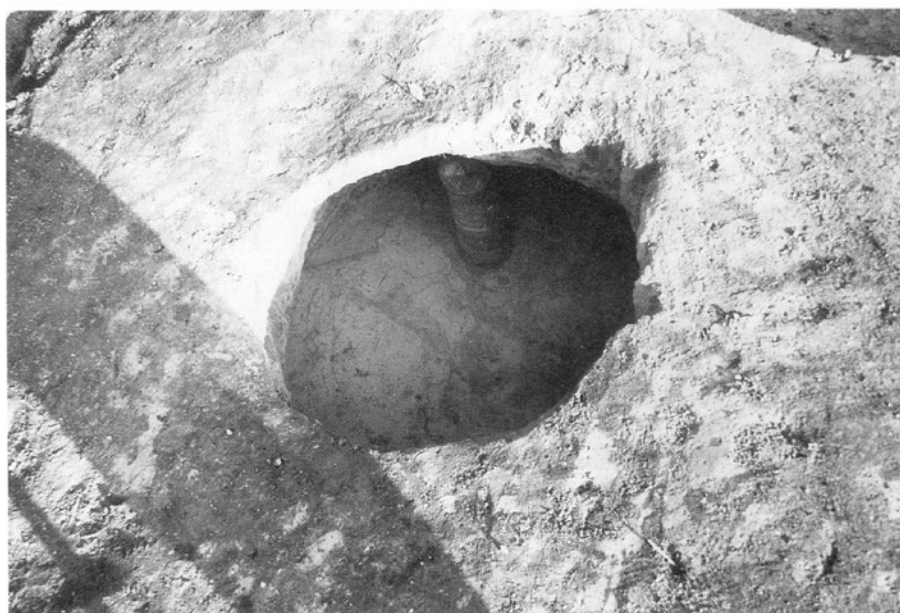


第112号土坑

写真76 第111号土坑・第112号土坑

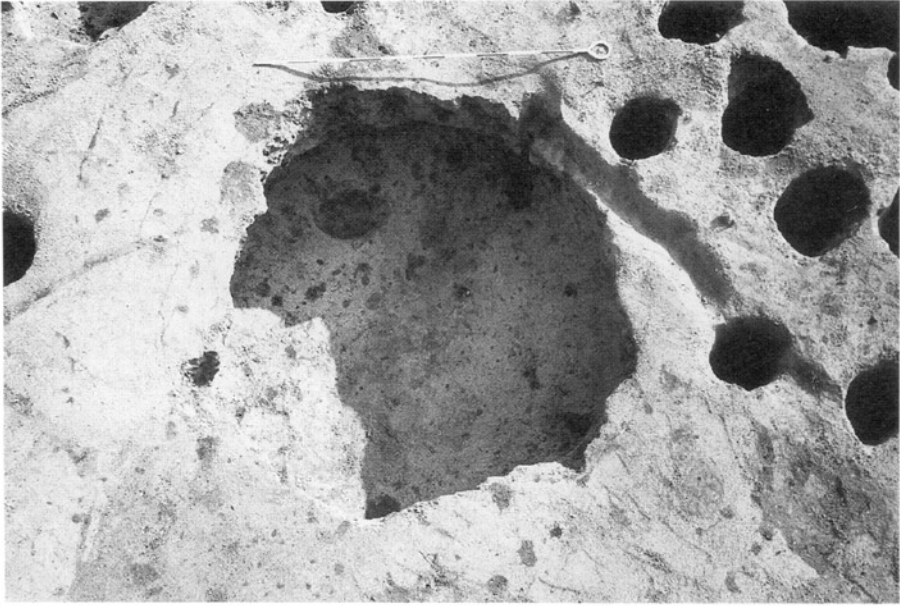


第114号土坑



第116号土坑

写真77 第114号土坑・第116号土坑



第117号土坑

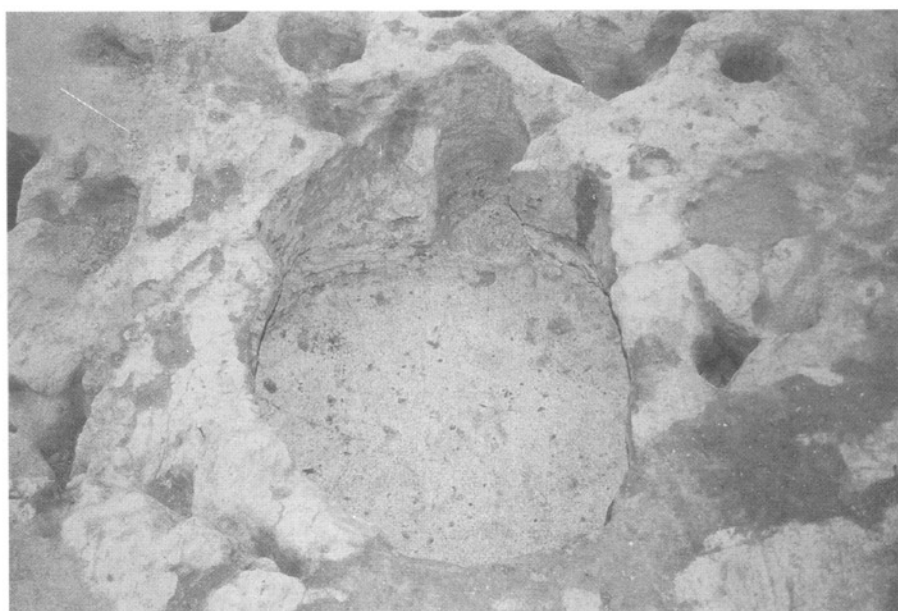


第117号土坑・土器出土状況P-7

写真78 第117号土坑

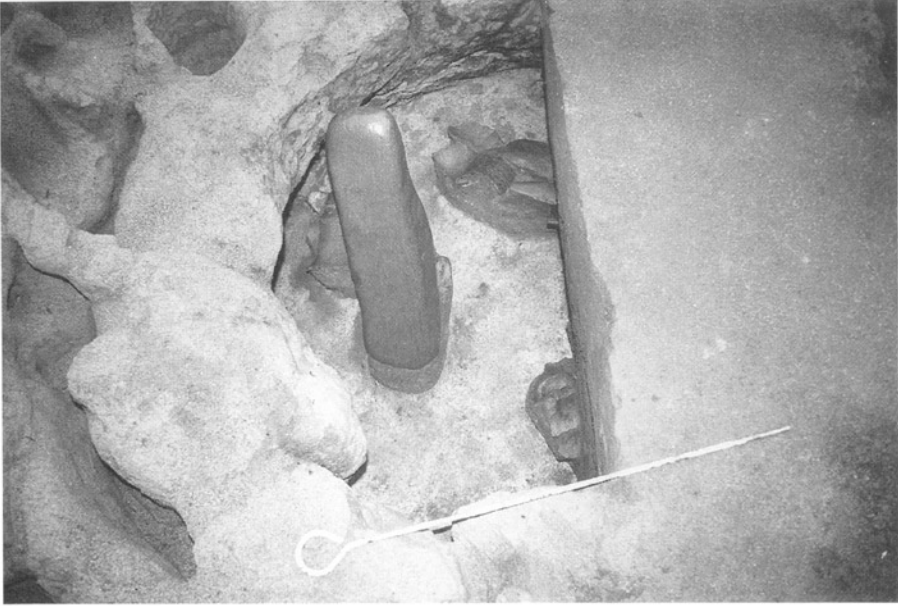


第117号土坑・土器出土状況



第118号土坑

写真79 第117号土坑・第118号土坑



第119号土坑遺物出土状況



第123号土坑

写真80 第119号土坑・第123号土坑



第124号土坑

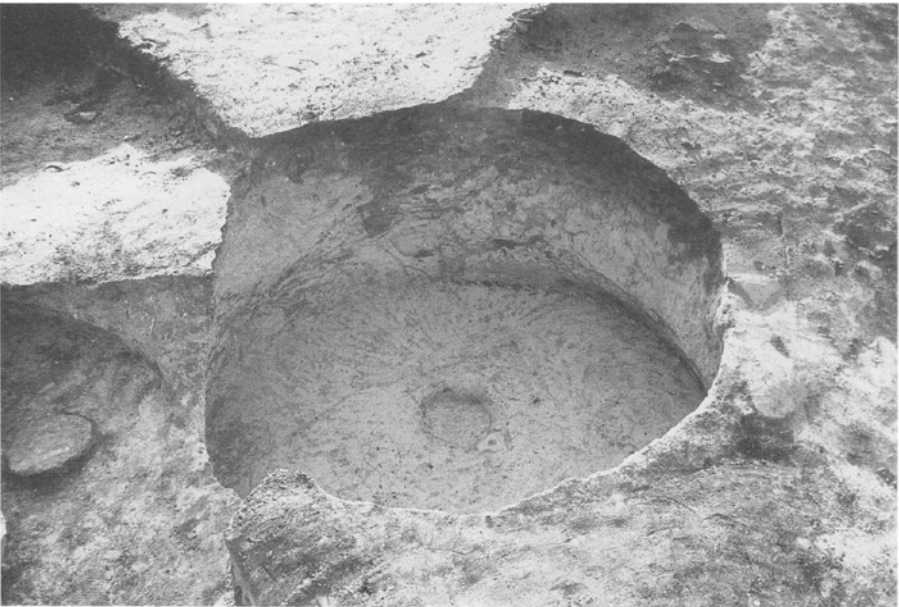


第125号土坑

写真81 第124号土坑・第125号土坑

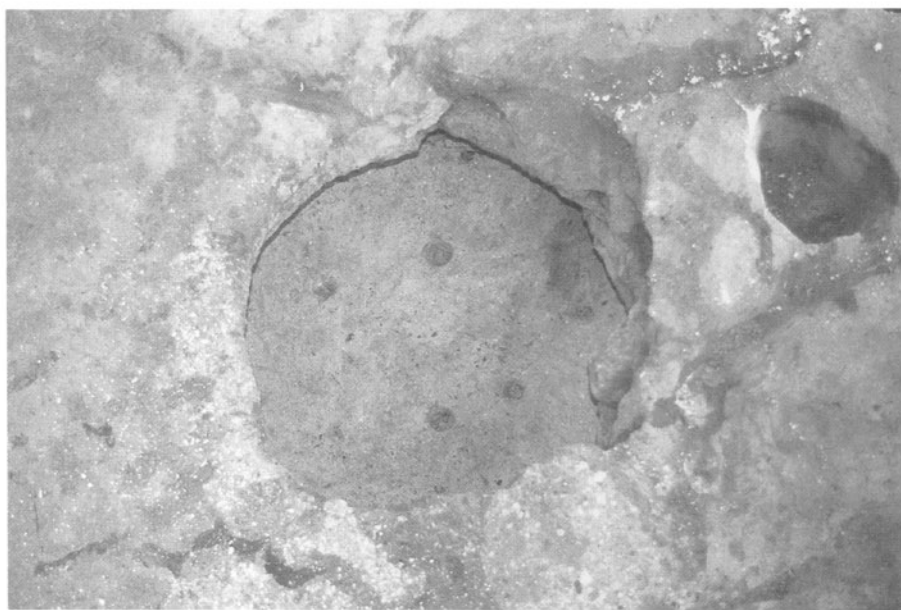


第127号土坑



第128号土坑

写真82 第127号土坑・第128号土坑



第129号土坑



第130号土坑 (上)

第131号土坑 (中)

写真83 第129号土坑・第130号土坑・第131号土坑



第132号 (左) ・第133号 (右)

写真84 第132号土坑・第133号土坑

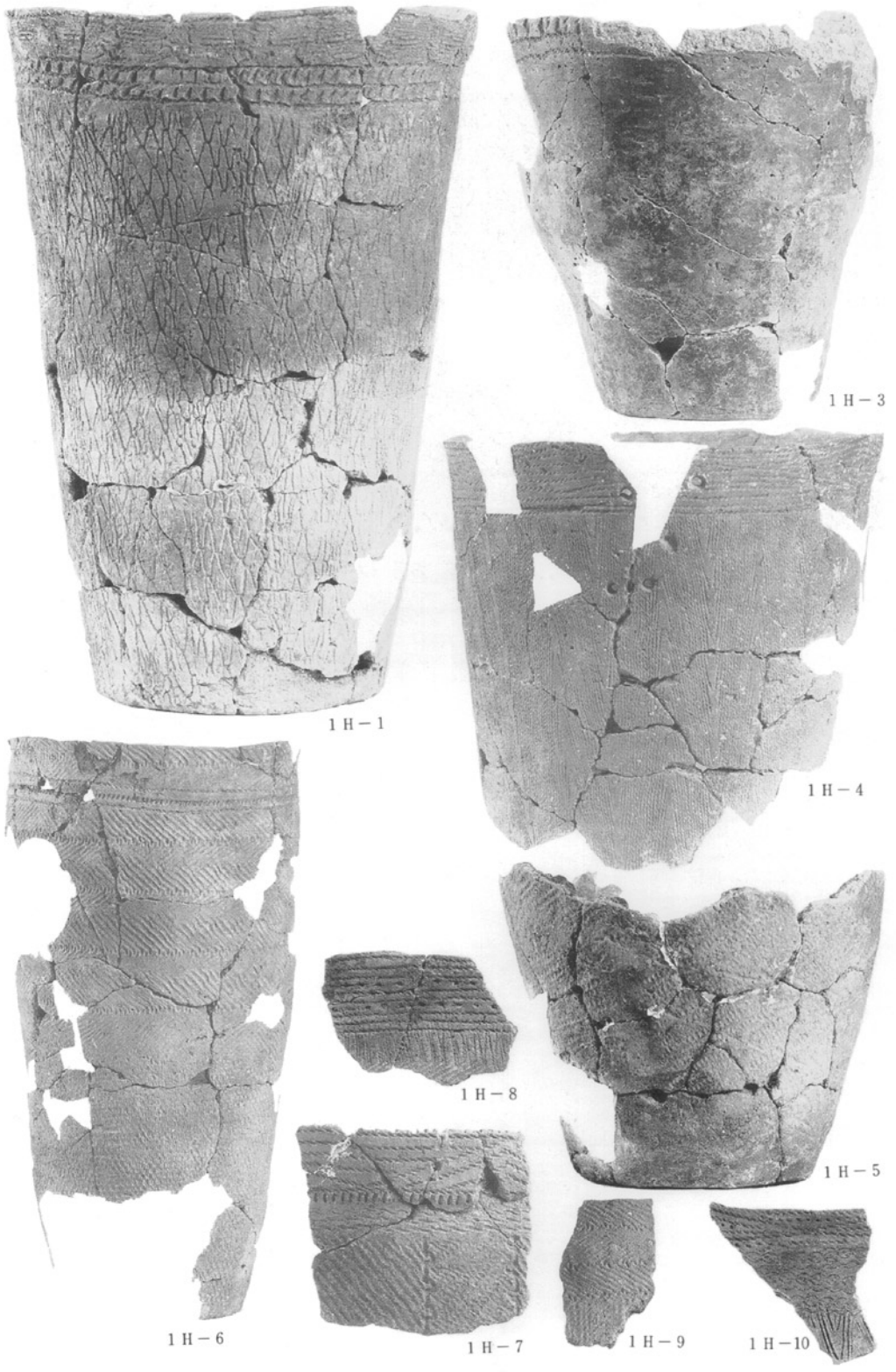


写真85 第1号住居跡出土土器①

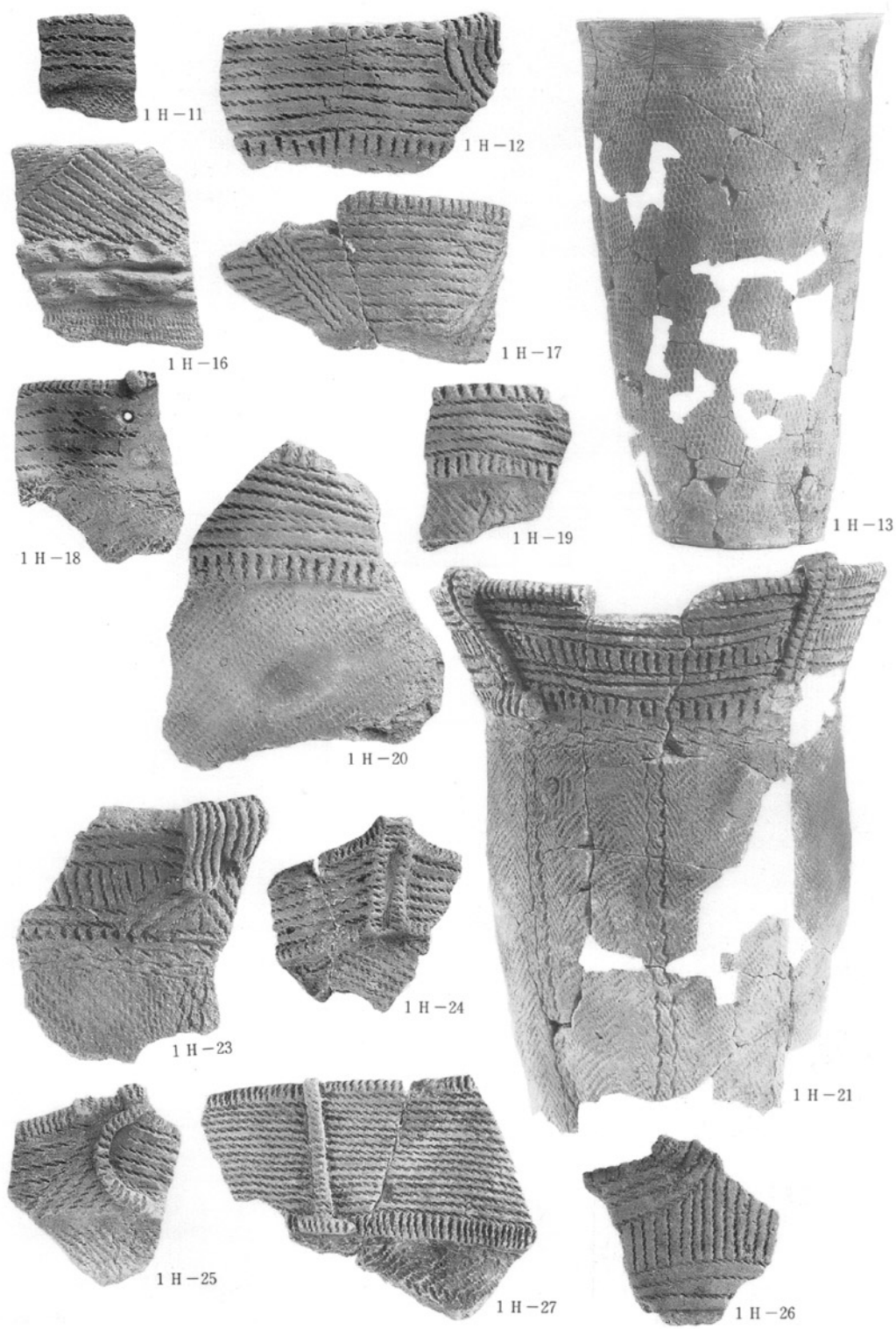


写真86 第1号住居跡出土土器②

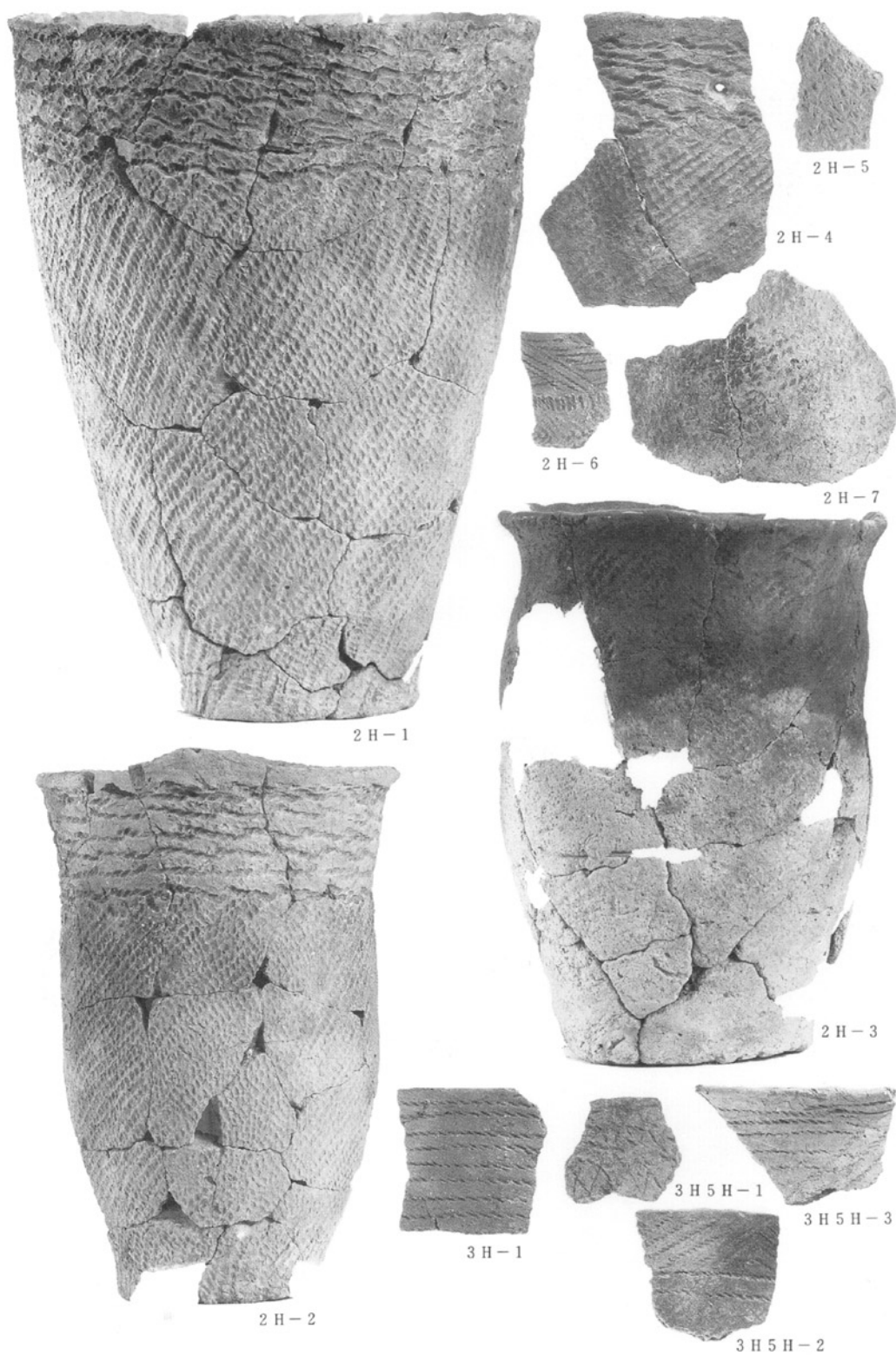


写真87 第1号住居跡・第3号住居跡・第5号住居跡出土土器

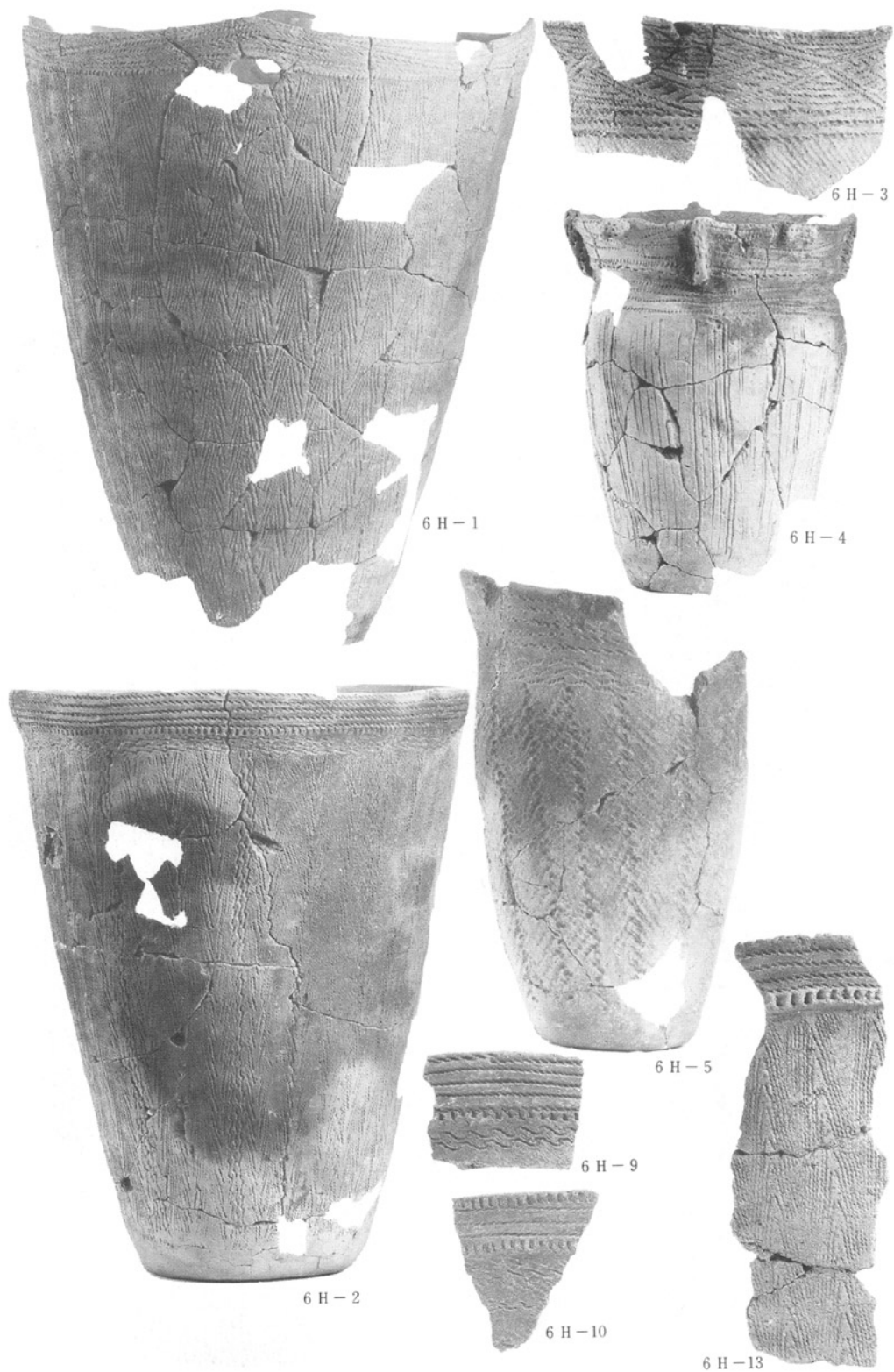


写真88 第6号住居跡出土土器①

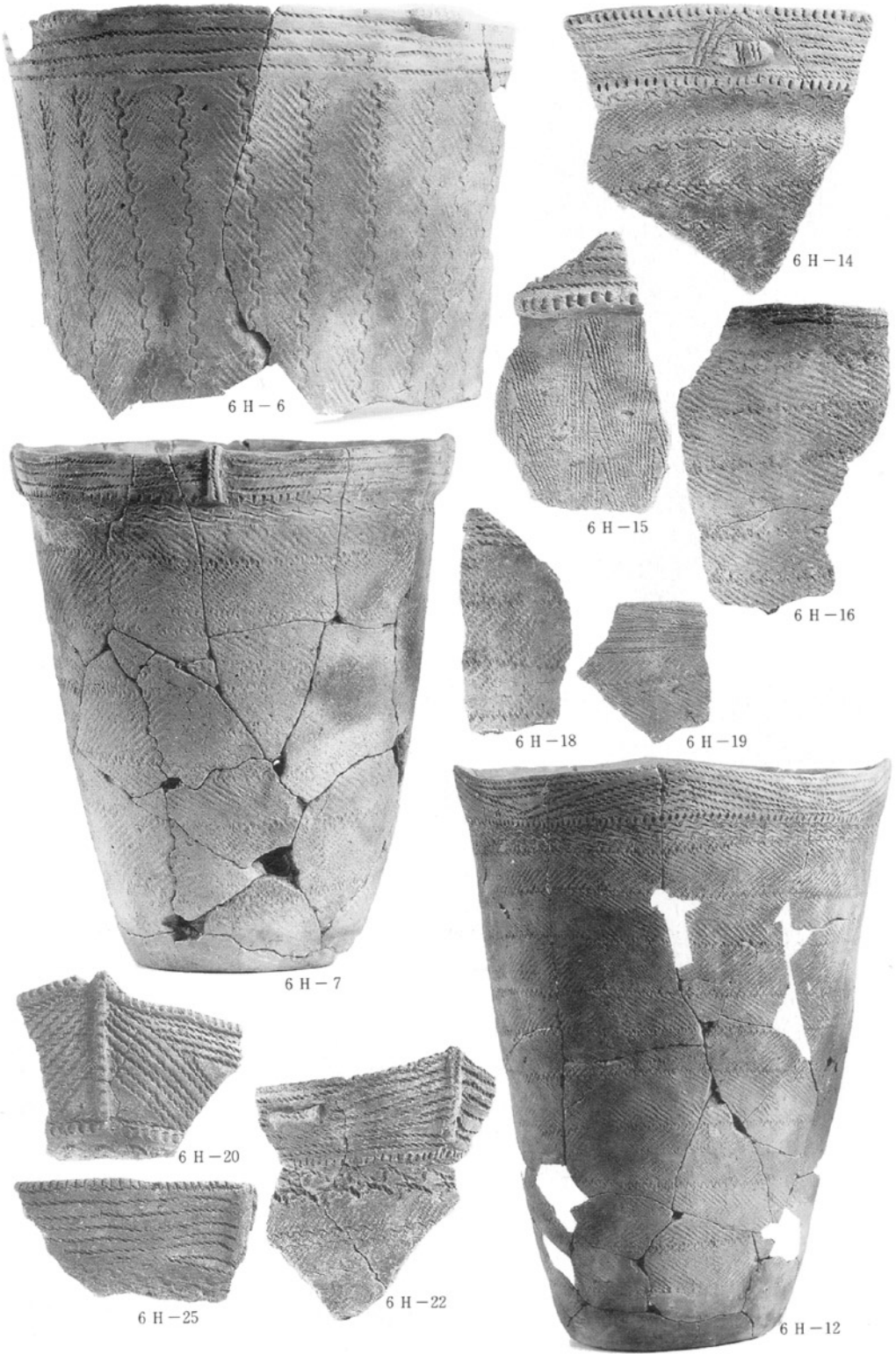


写真89 第6号住居跡出土土器②

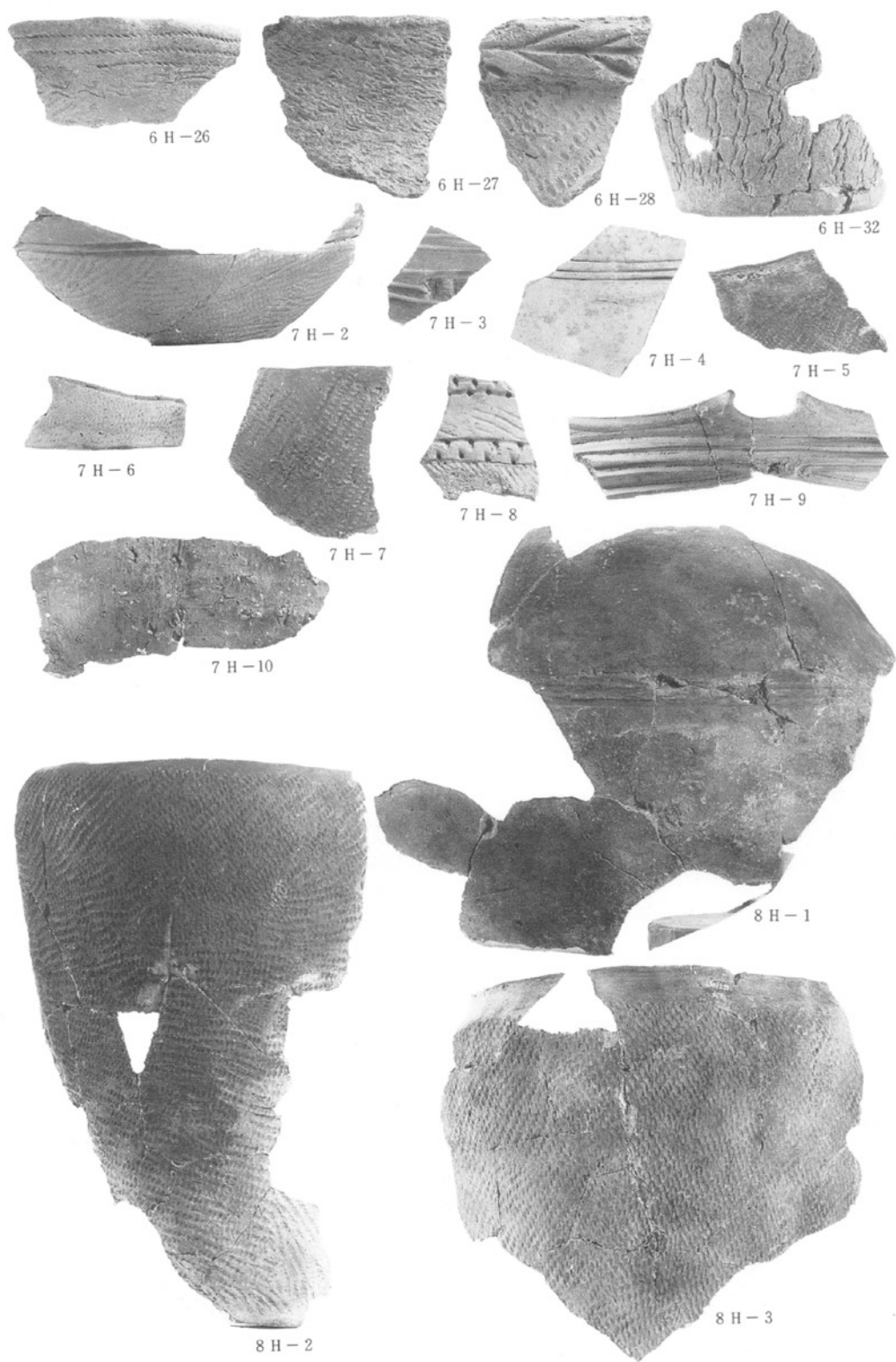


写真90 第6号住居跡③・第7号住居跡・第8号住居跡①出土土器

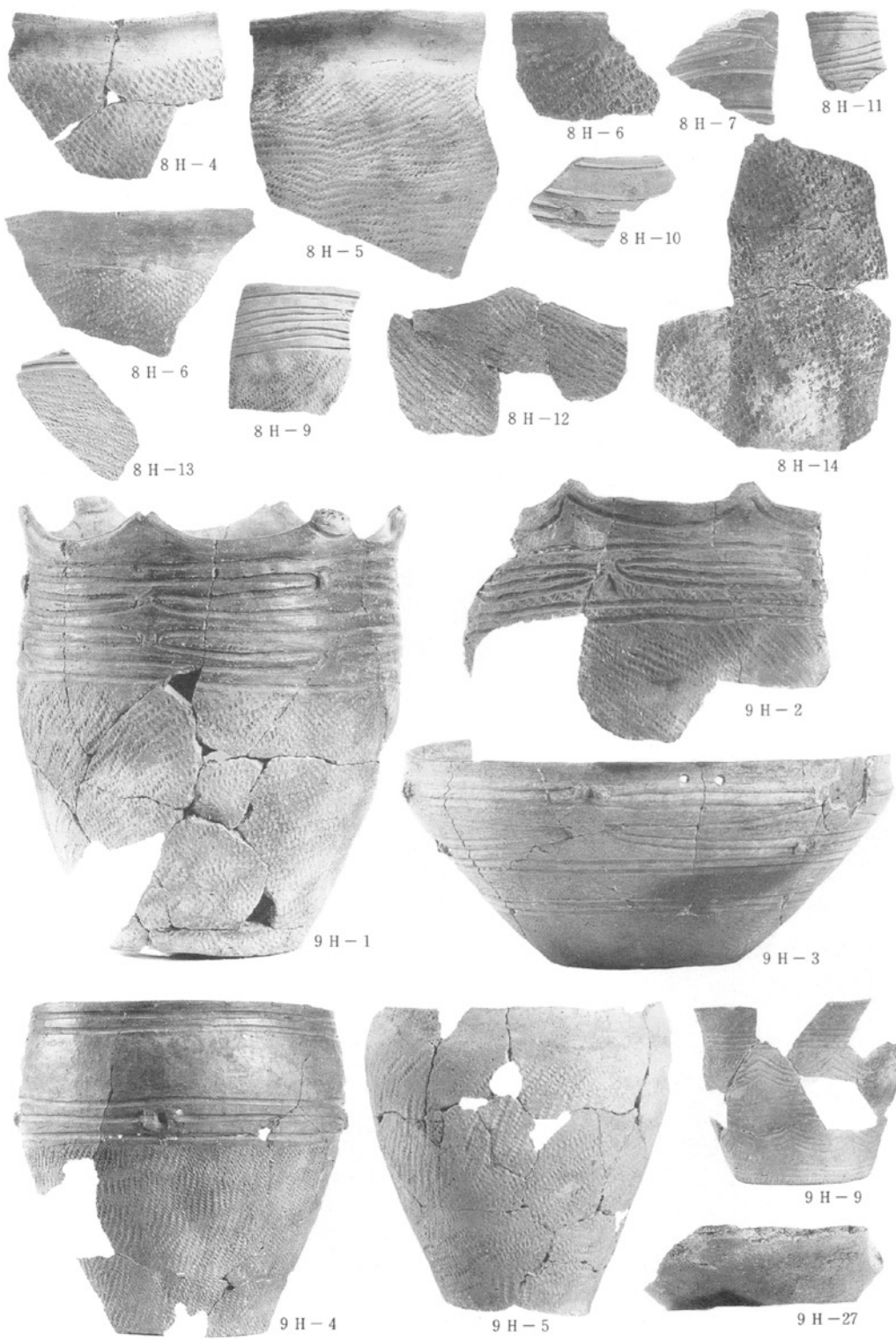


写真91 第8号住居跡②・第9号住居跡①出土土器

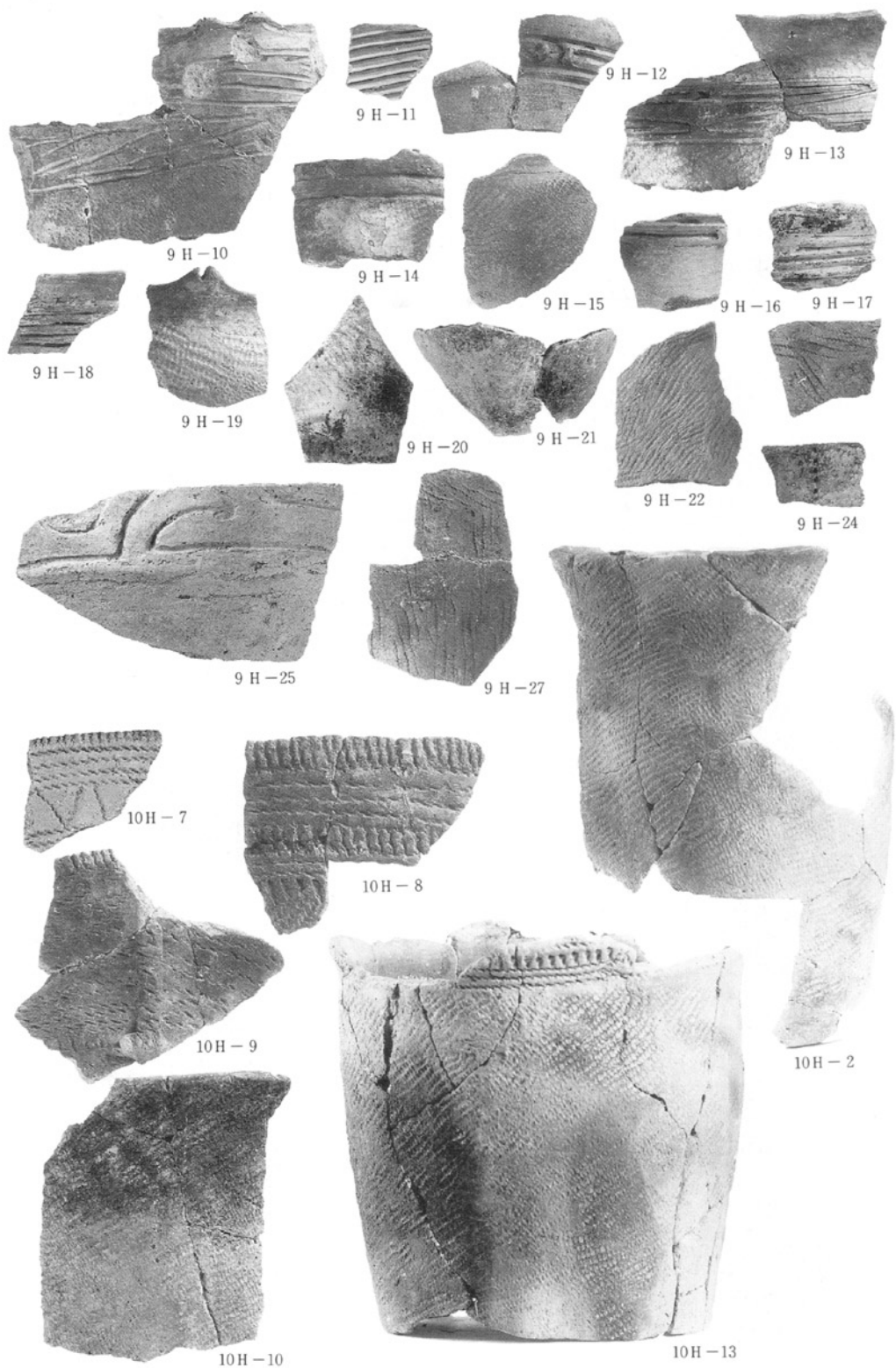


写真92 第9号住居跡②・第10号住居跡①出土土器

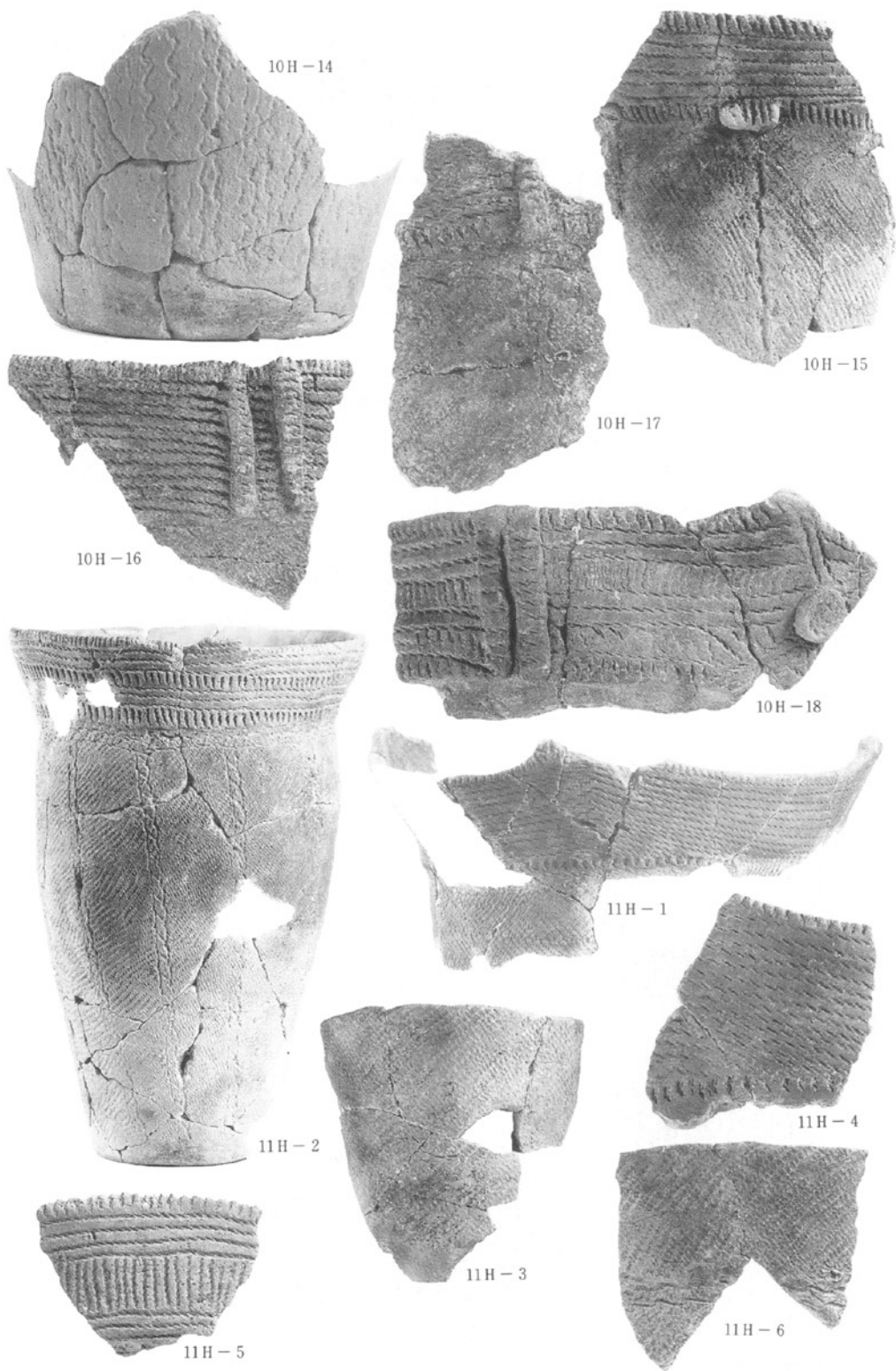


写真93 第10号住居跡・第11号住居跡①出土土器

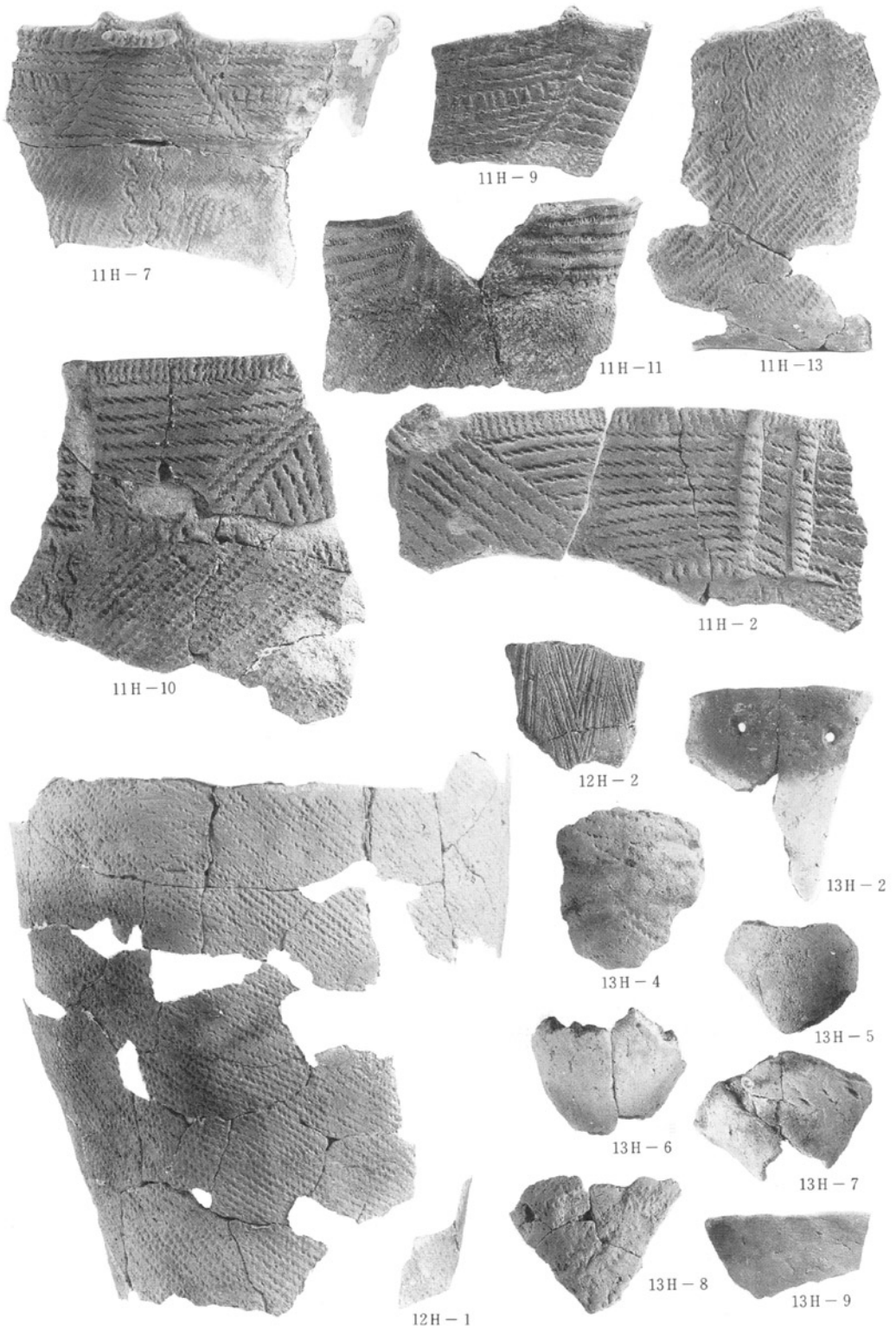


写真94 第11号住居跡②・第12号住居跡・第13号住居跡①出土土器

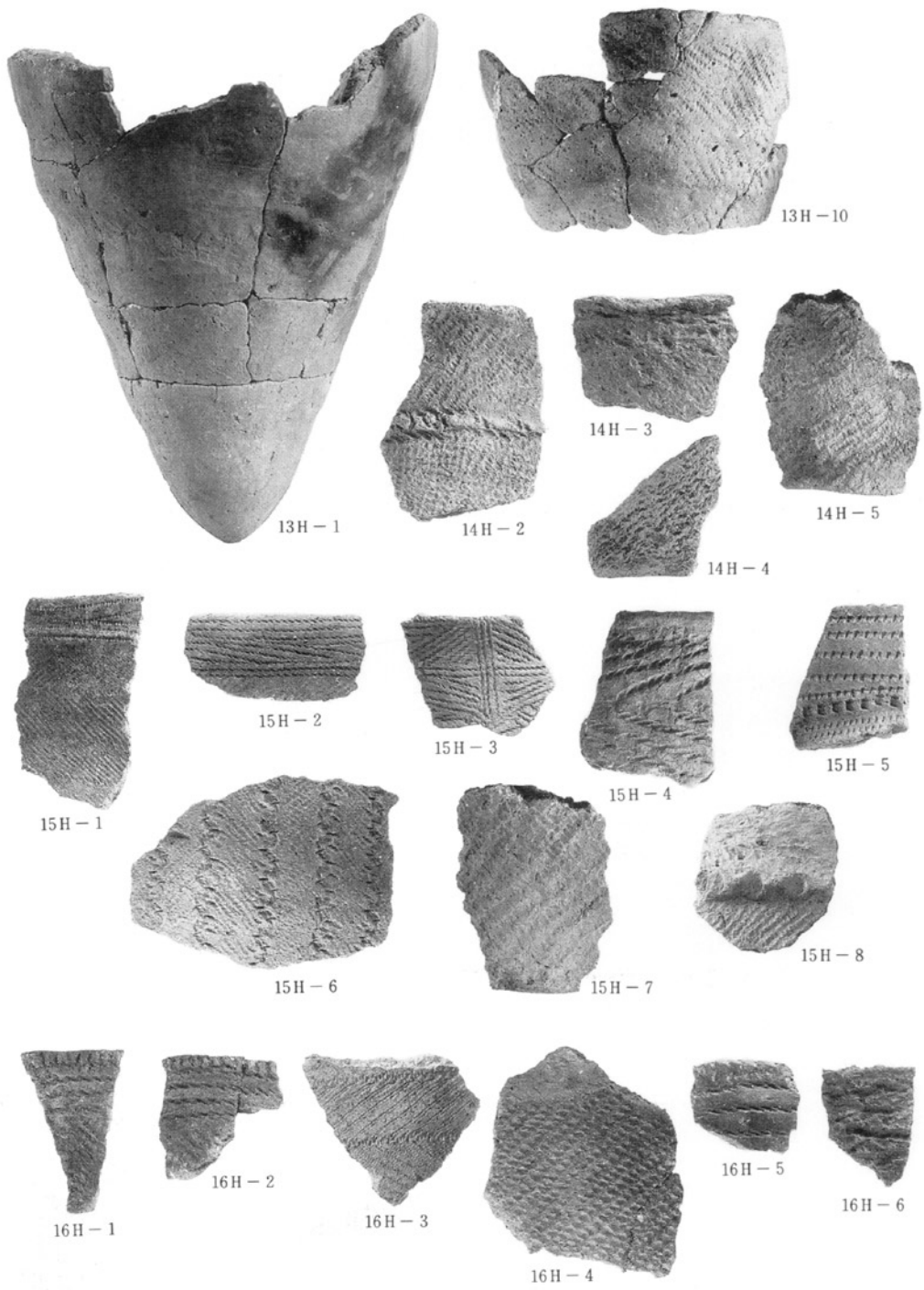


写真95 第13号住居跡②・第14号住居跡・第15号住居跡・第16号住居跡出土土器

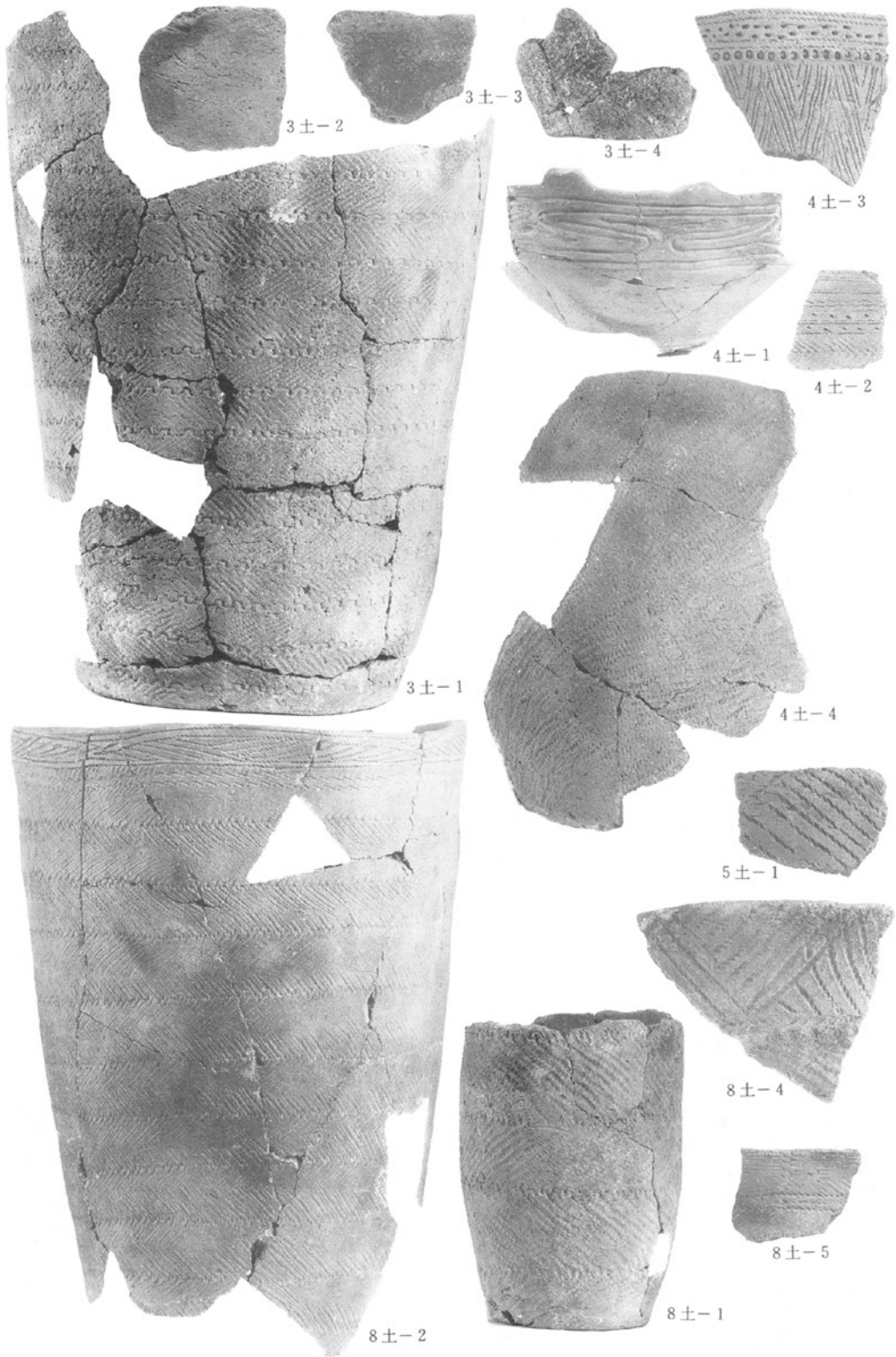


写真96 第3号・第4号・第5号・第8号①土坑出土土器

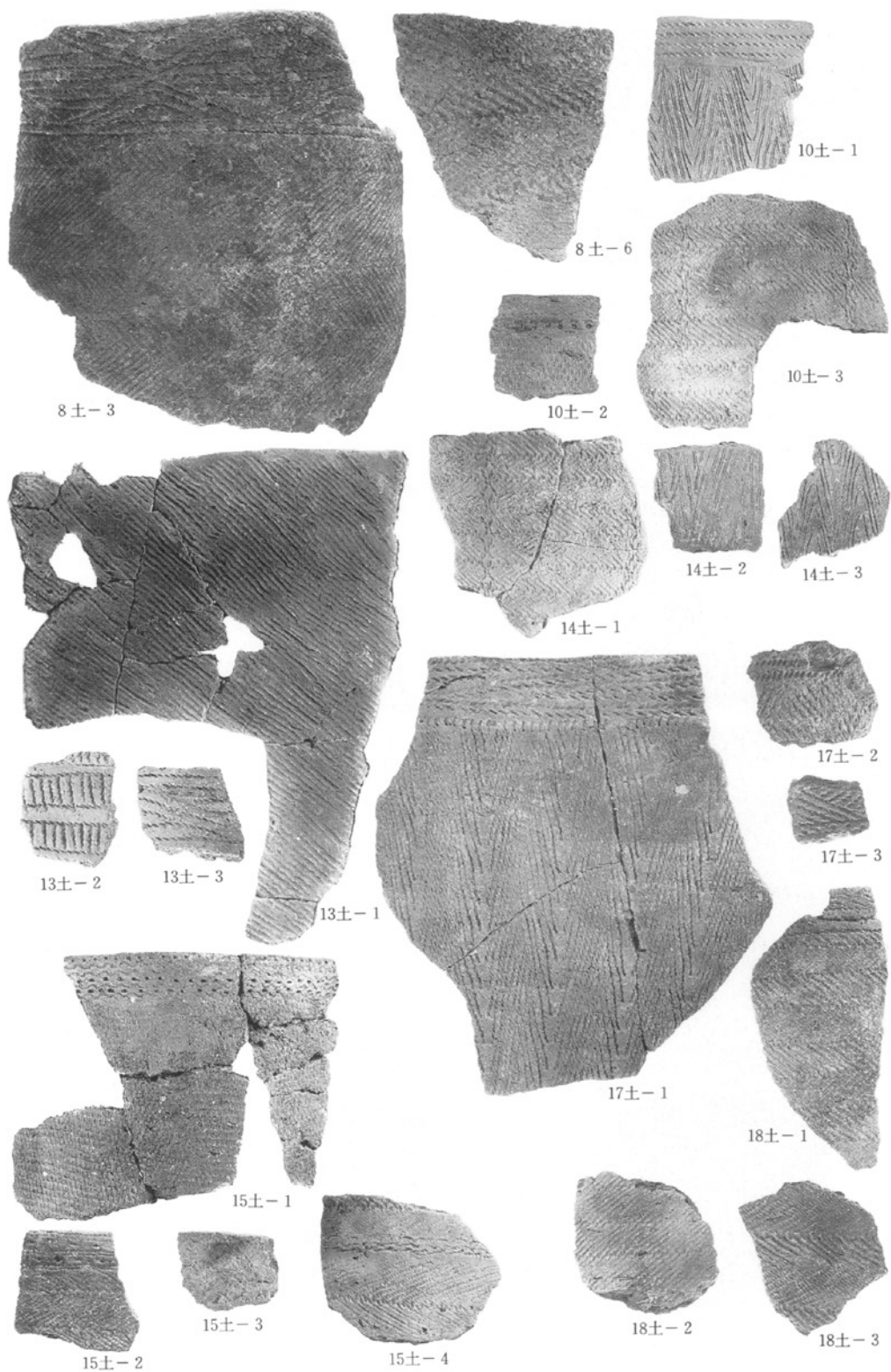


写真97 第8号②・第10号・第13号・第14号・第15号・第17号・第18号土坑出土土器

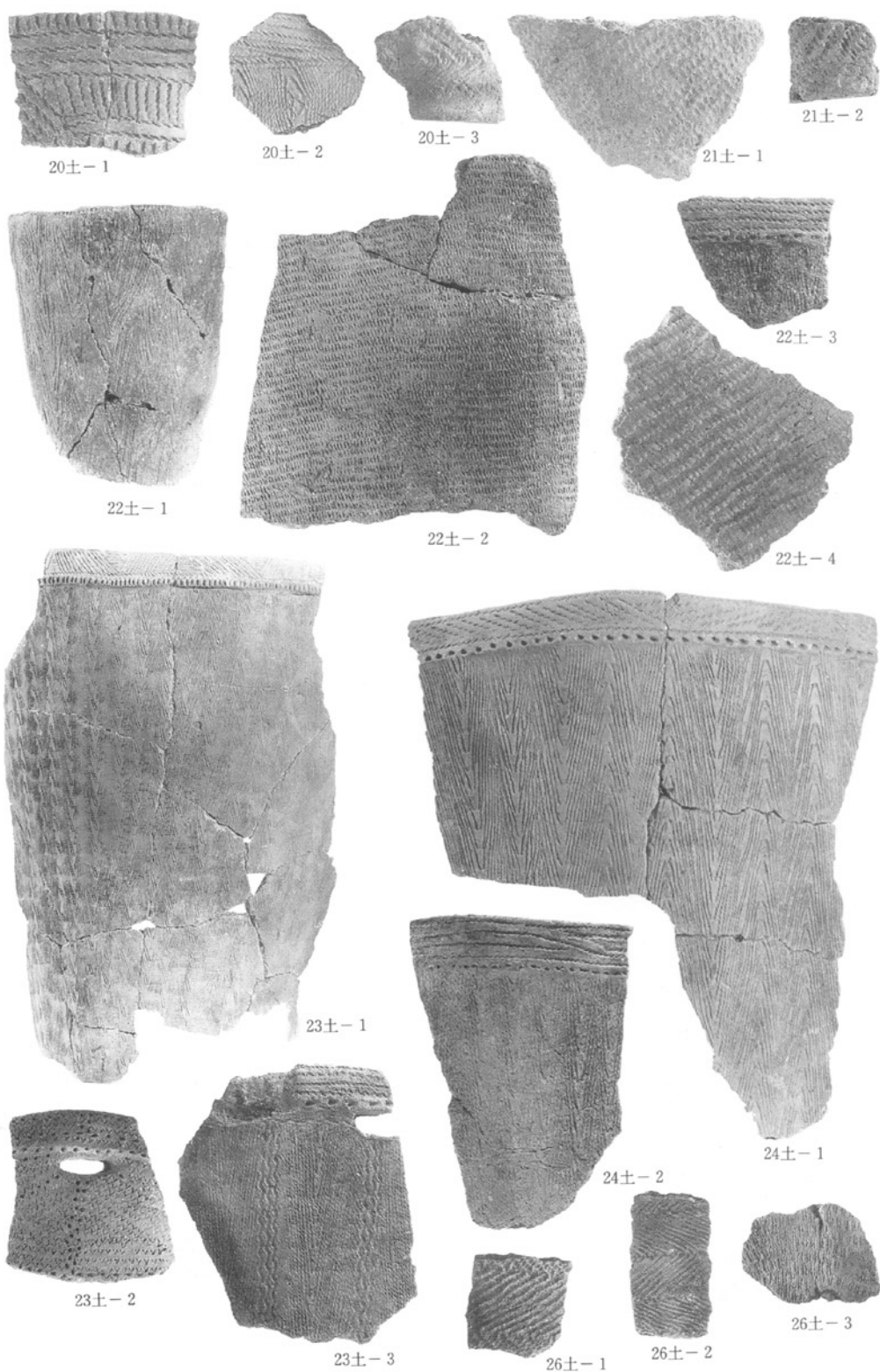


写真98 第20号・第21号・第22号・第23号・第24号①・第26号土坑出土土器

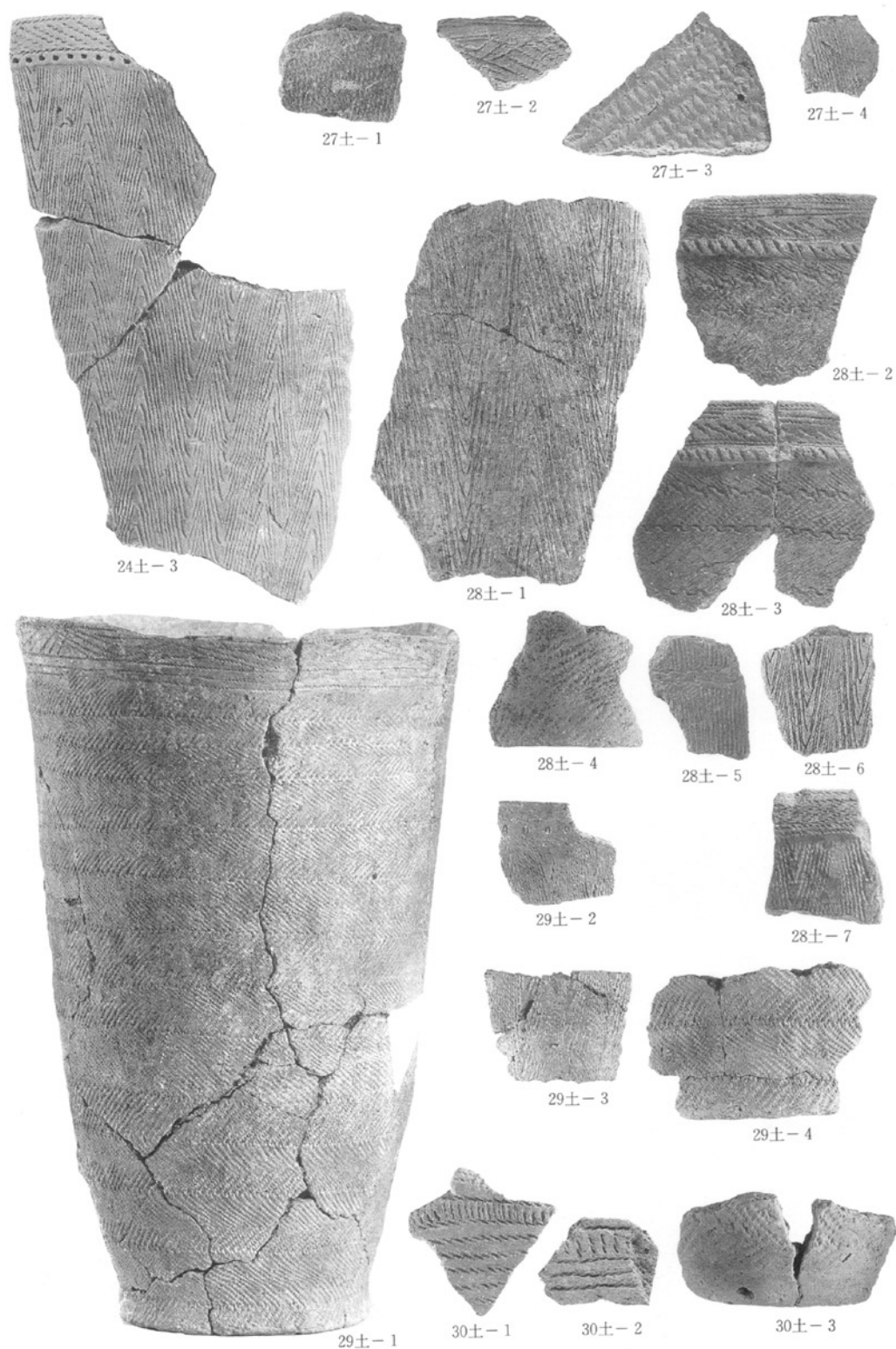
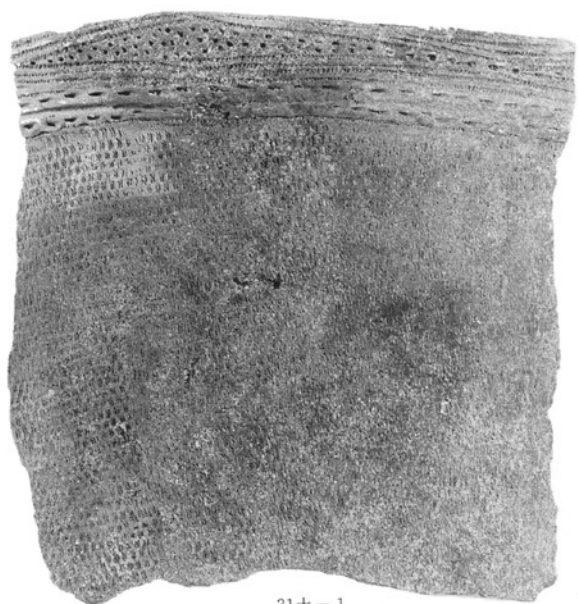


写真99 第24号②・第27号・第28号・第29号・第30号土坑出土土器



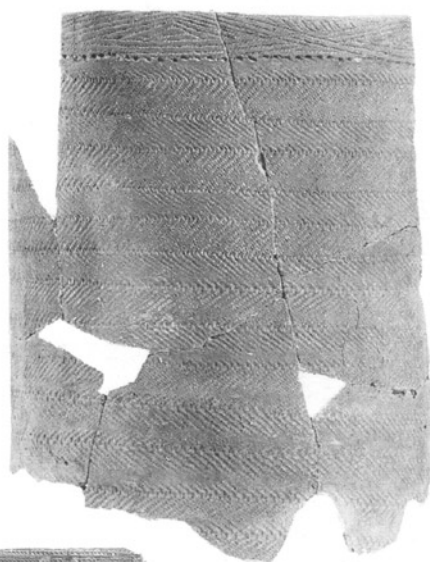
31土-1



31土-2



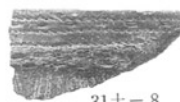
31土-3



31土-5



31土-7



31土-8



31土-9

写真100 第31号土坑①出土土器

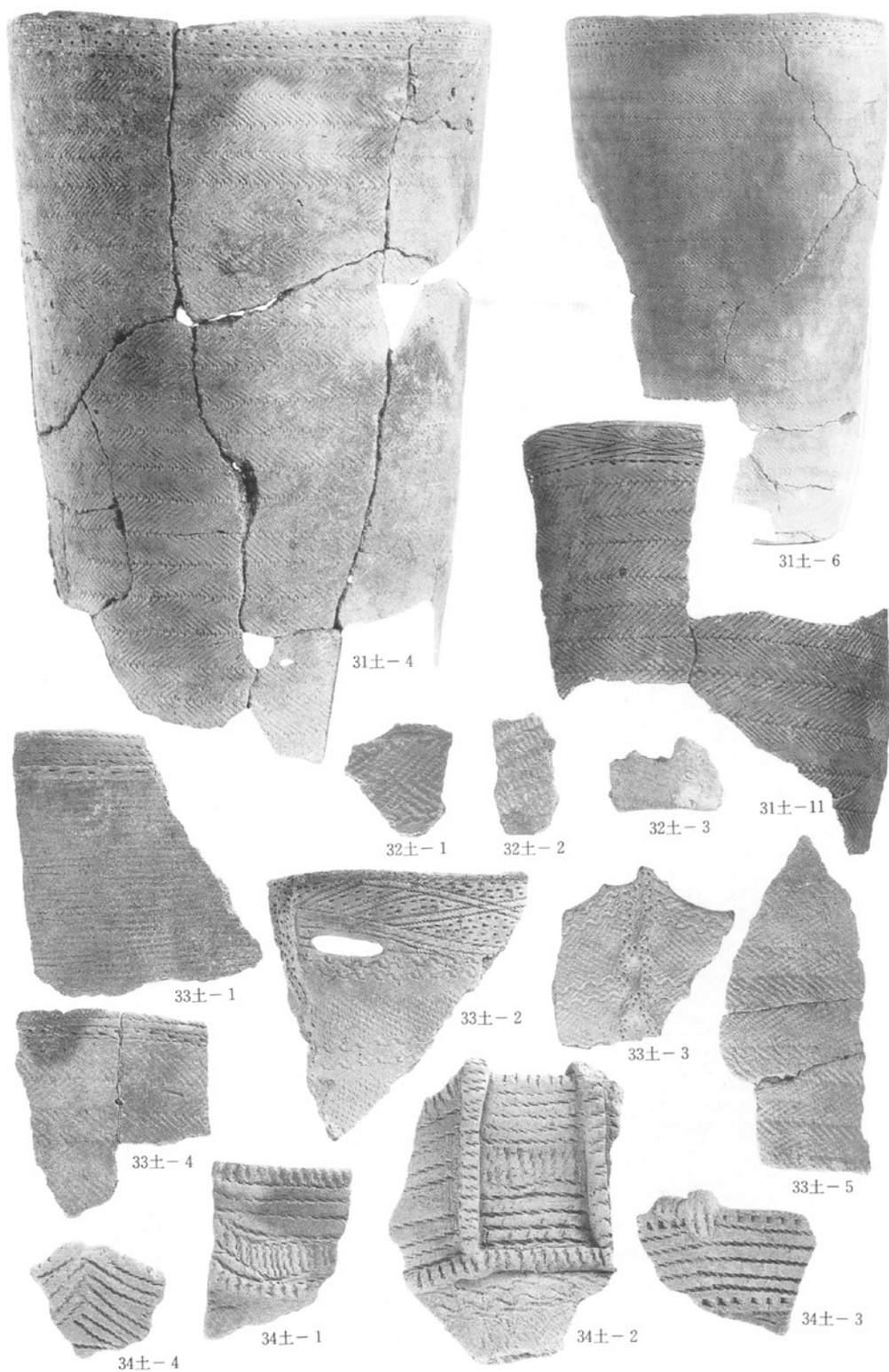


写真101 第31号②・第32号・第33号・第34号①土坑出土土器

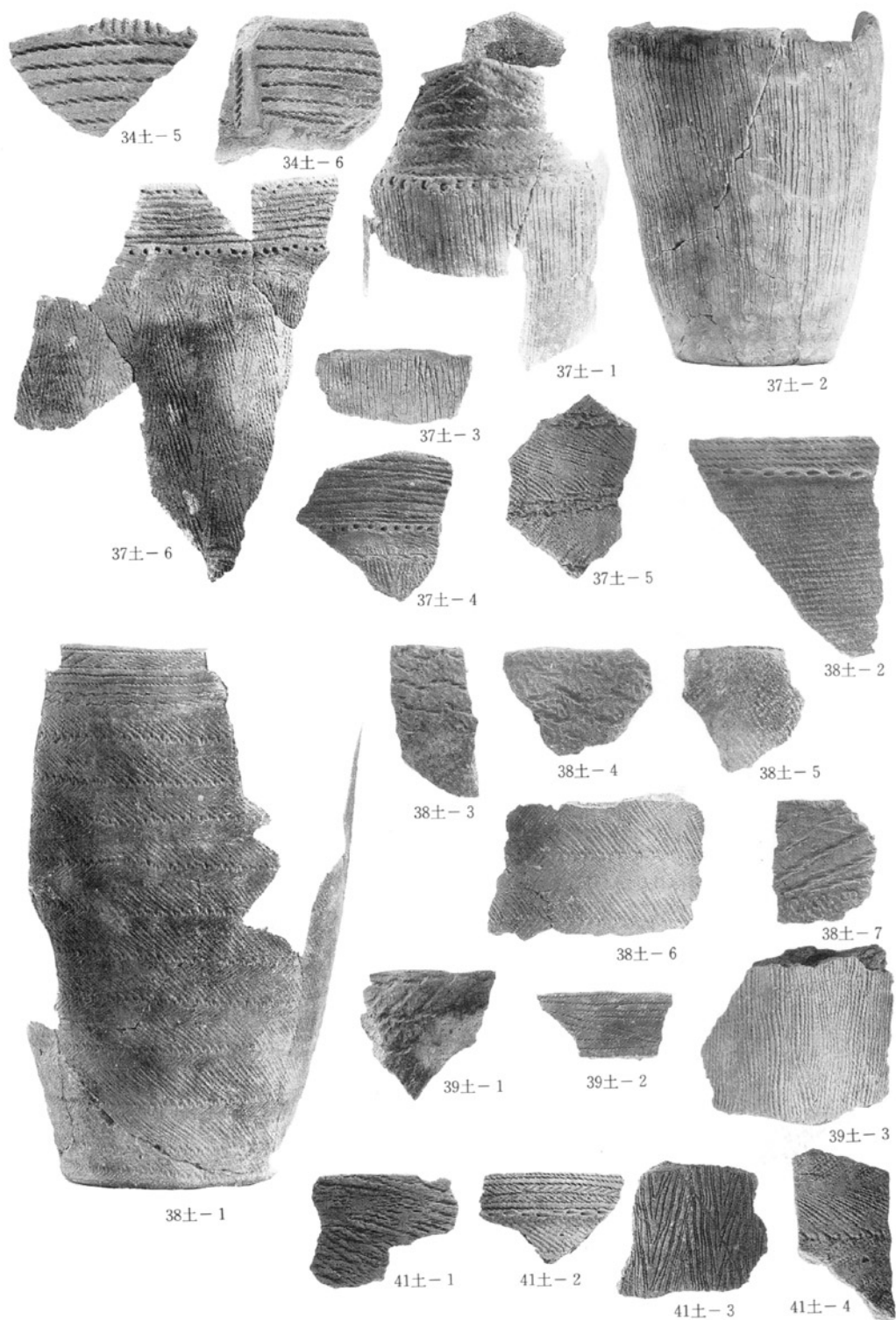


写真102 第34号②・第37号・第38号・第39号・第41号土坑出土土器

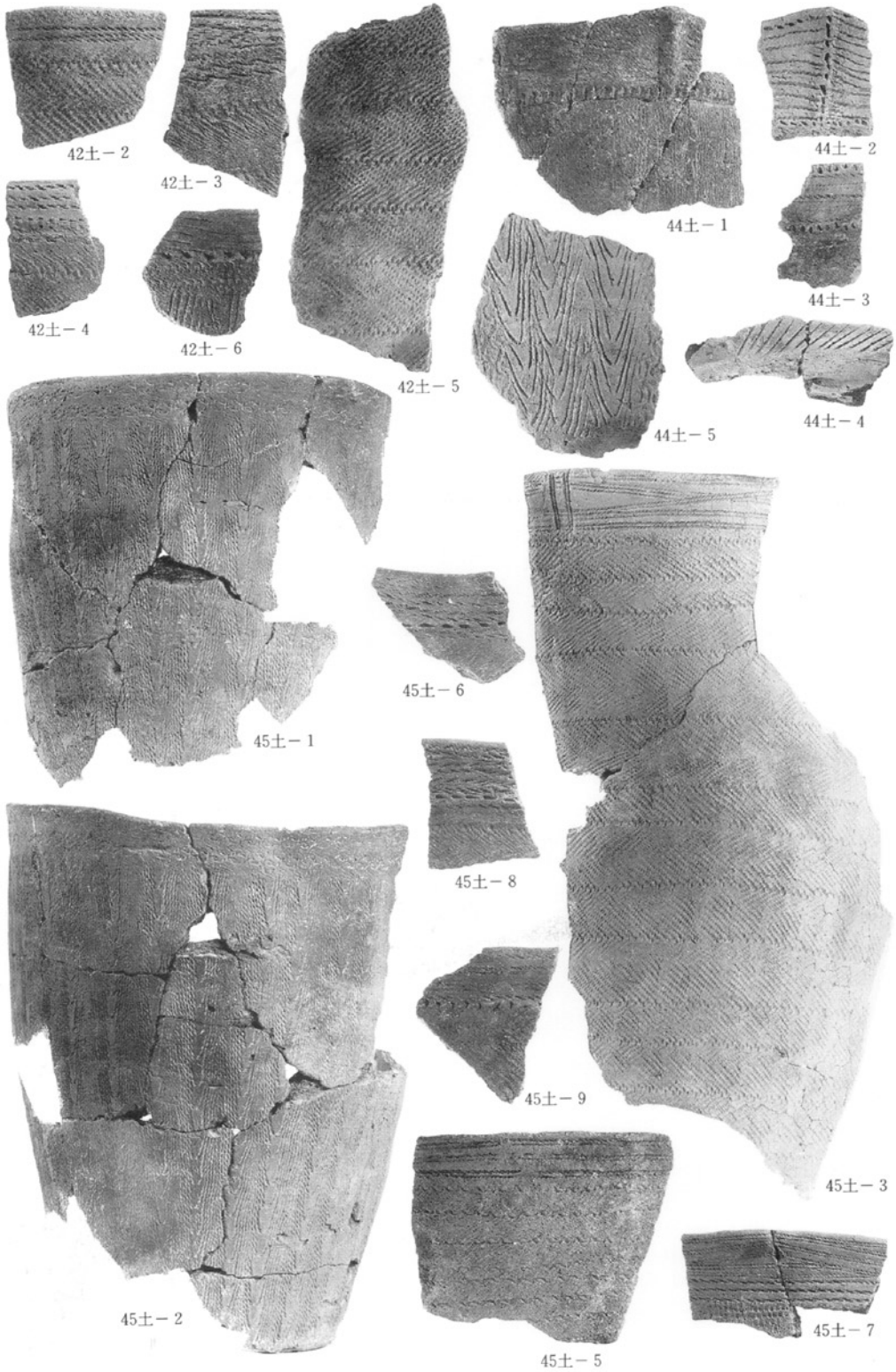


写真103 第42号・第44号・第45号①土坑出土土器

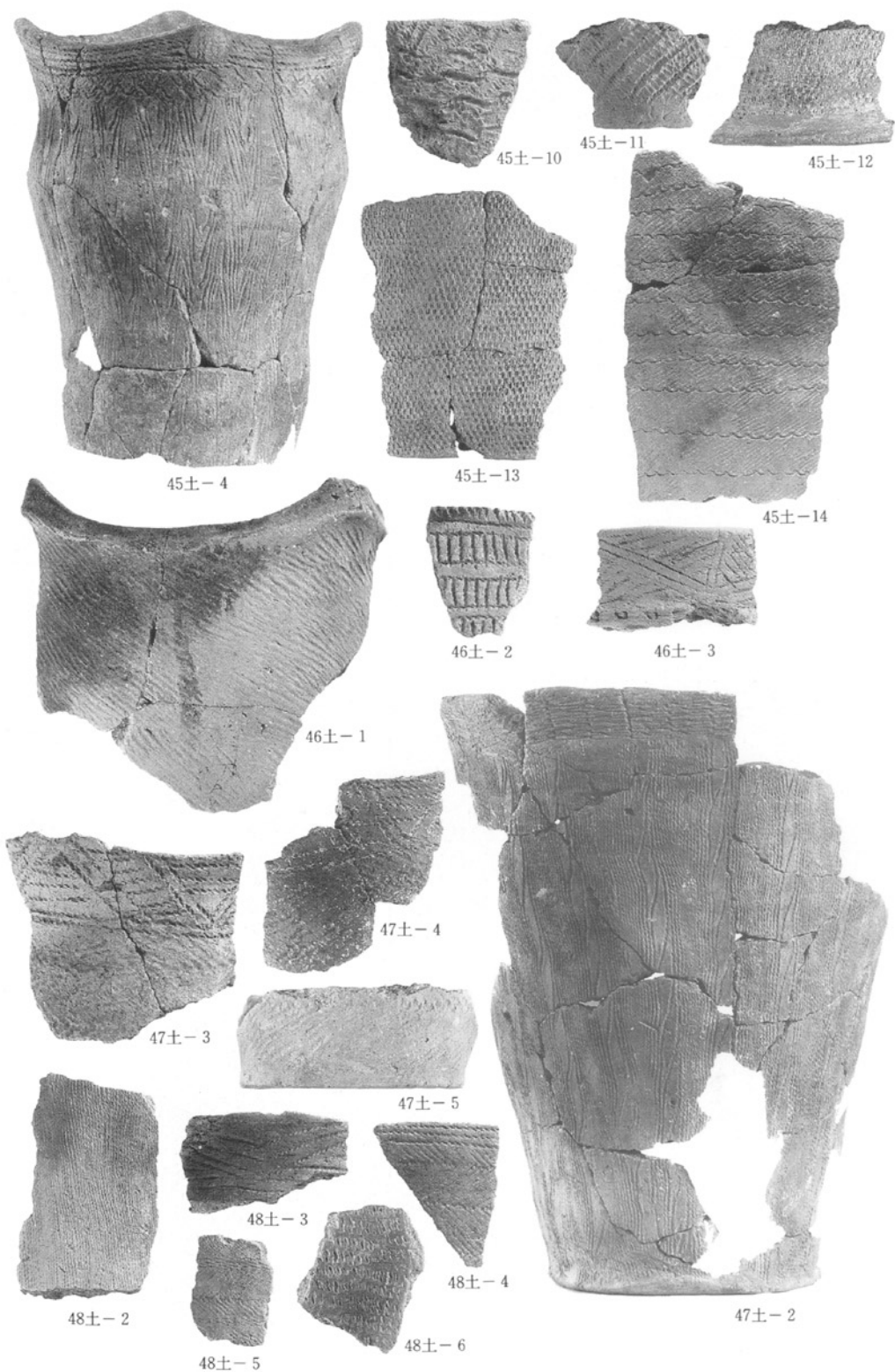


写真104 第45号②・第46号・第47号・第48号土坑出土土器

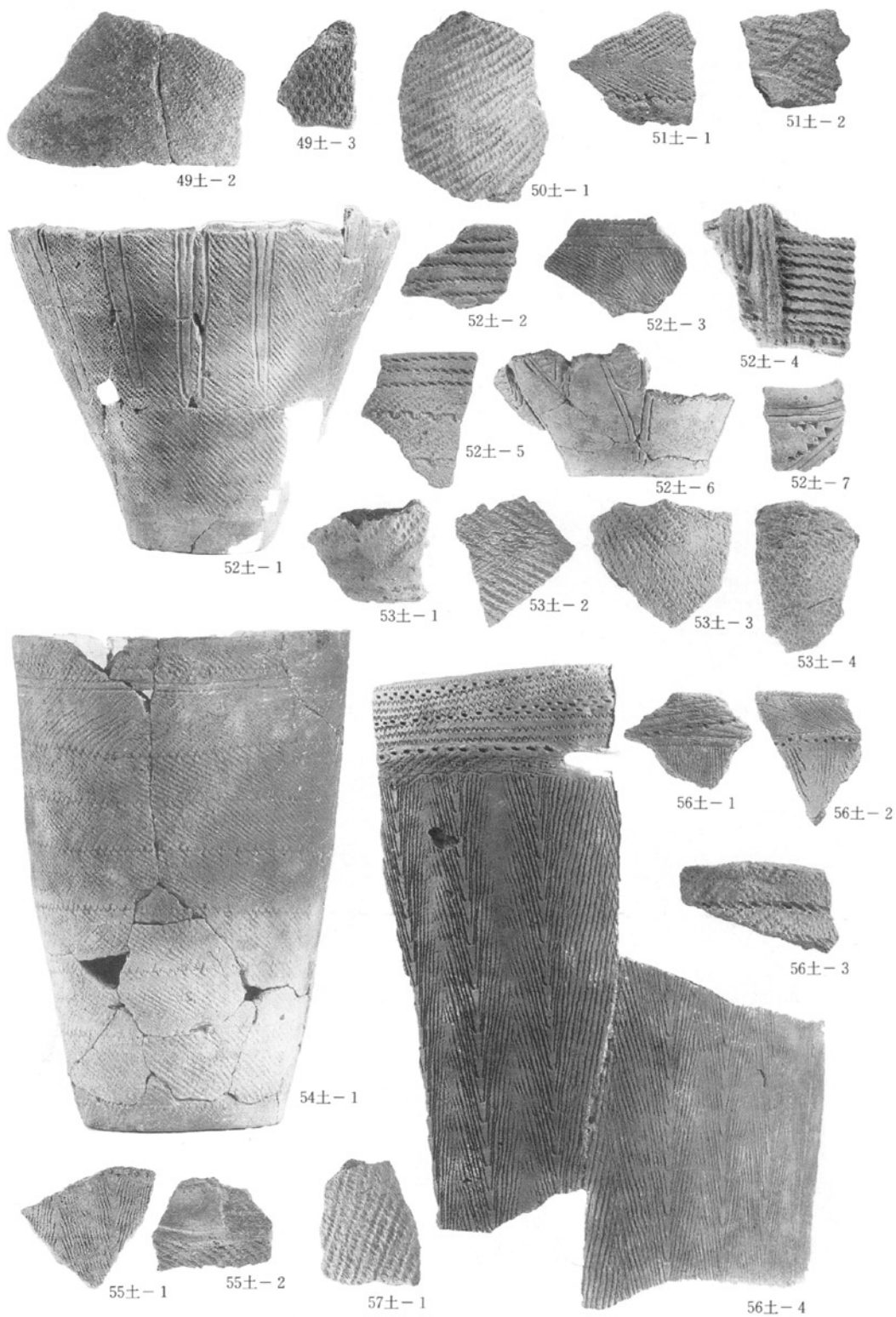


写真105 第49号・第50号・第51号・第52号・第53号・第54号・第55号・第56号土坑出土土器

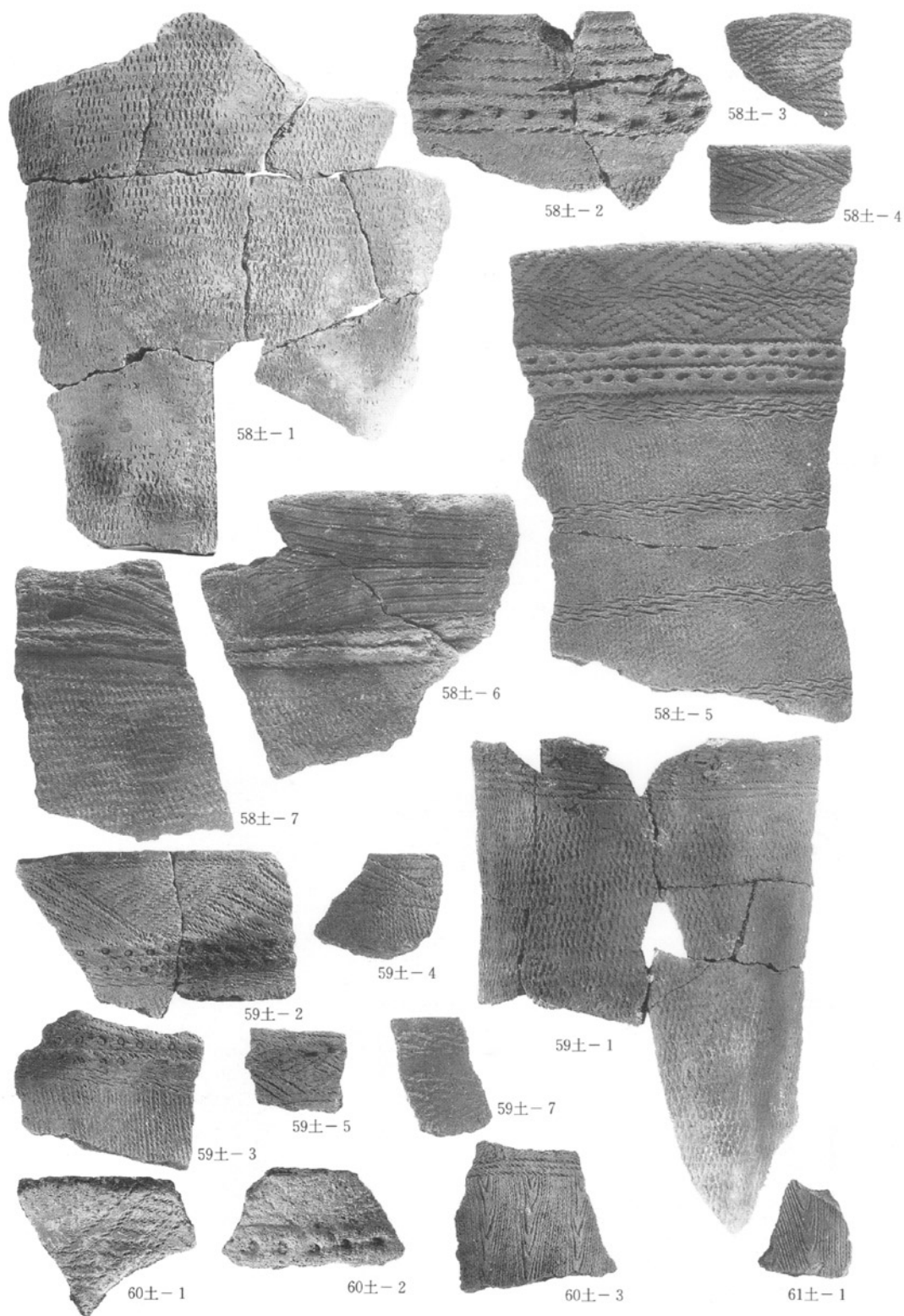


写真106 第58号・第59号・第60号・第61号土坑出土土器

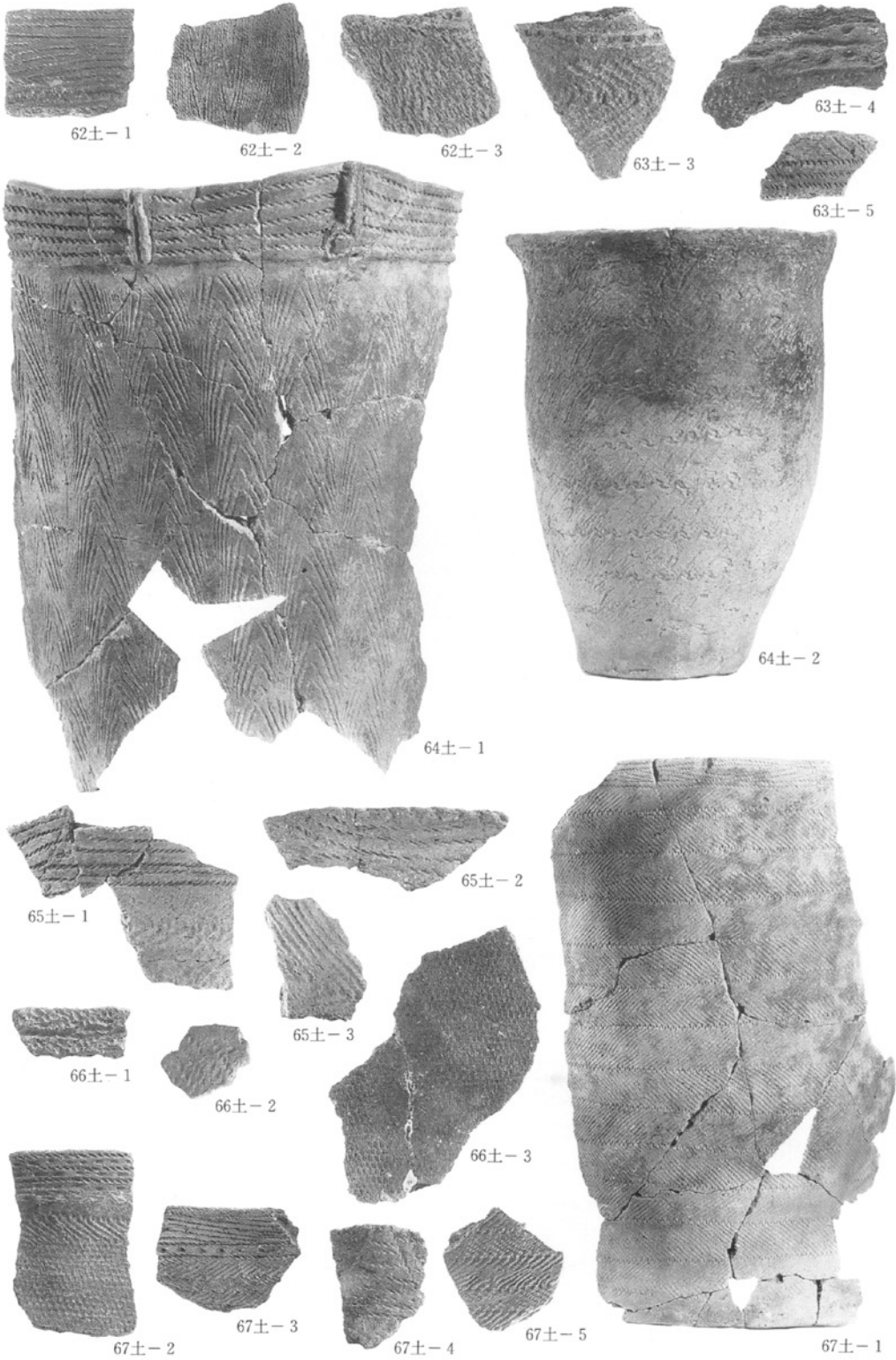


写真107 第62号・第63号・第64号・第65号・第66号・第67号土坑出土土器

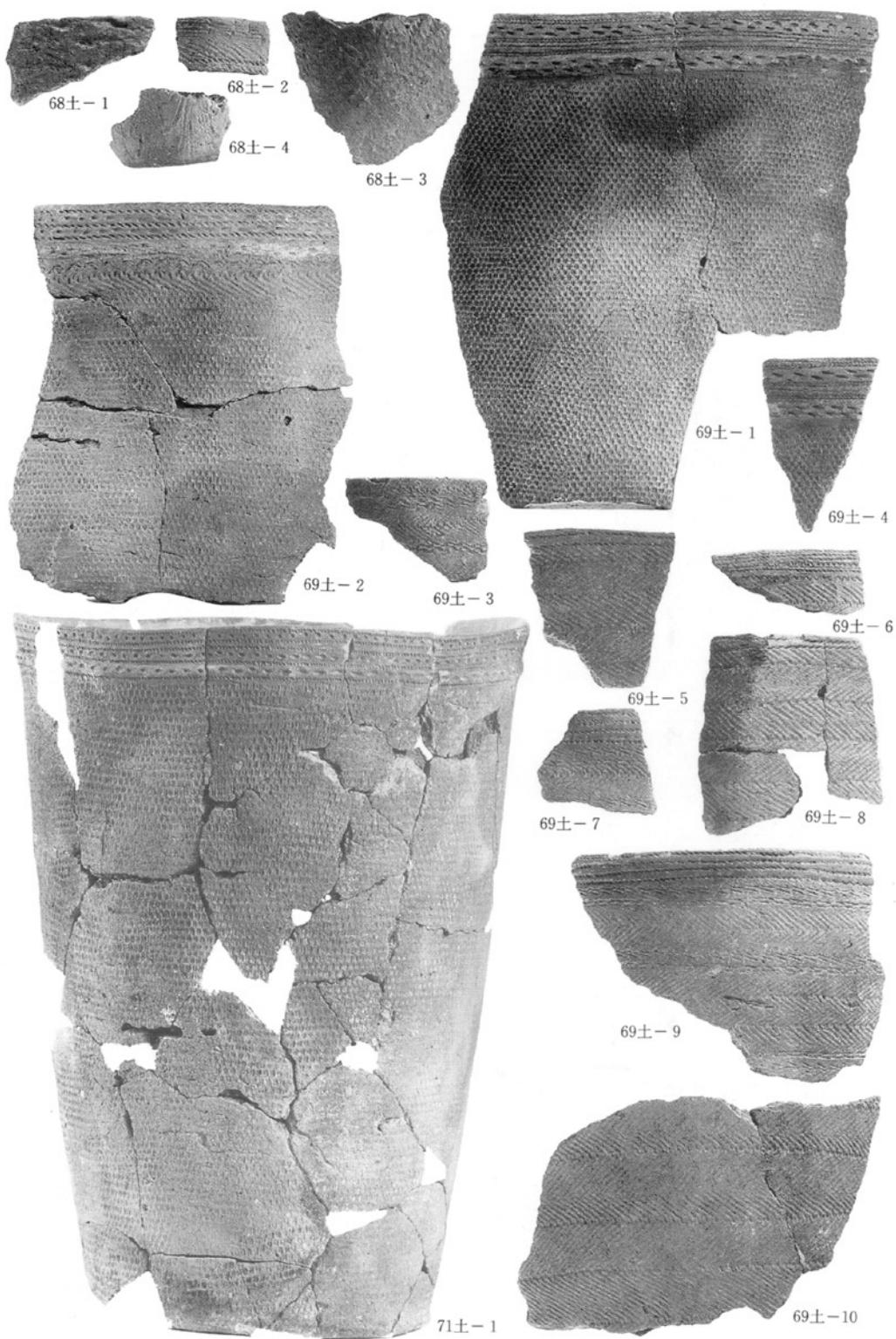


写真108 第68号・第69号・第71号①土坑出土土器

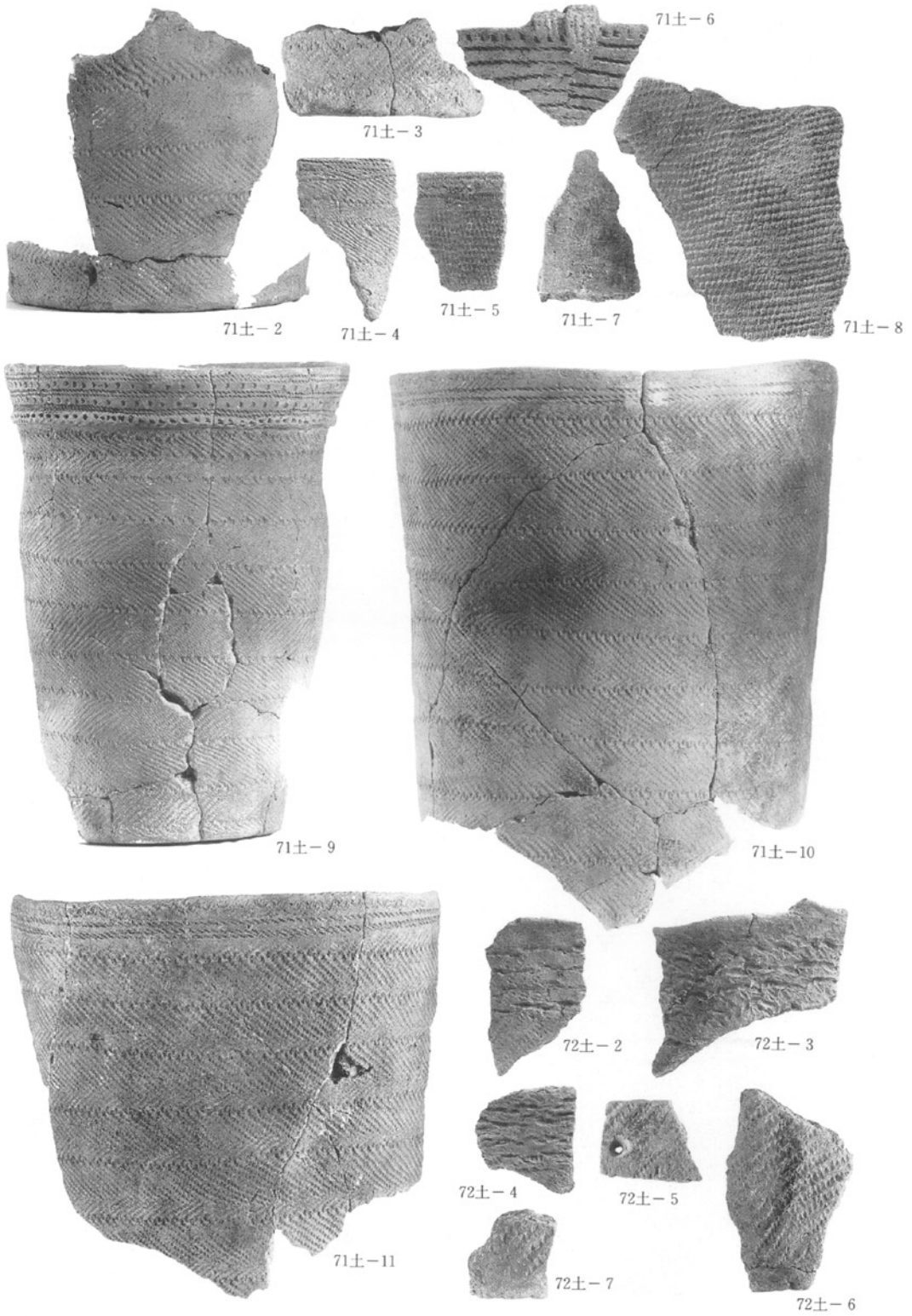


写真109 第71号②・第72号土坑出土土器

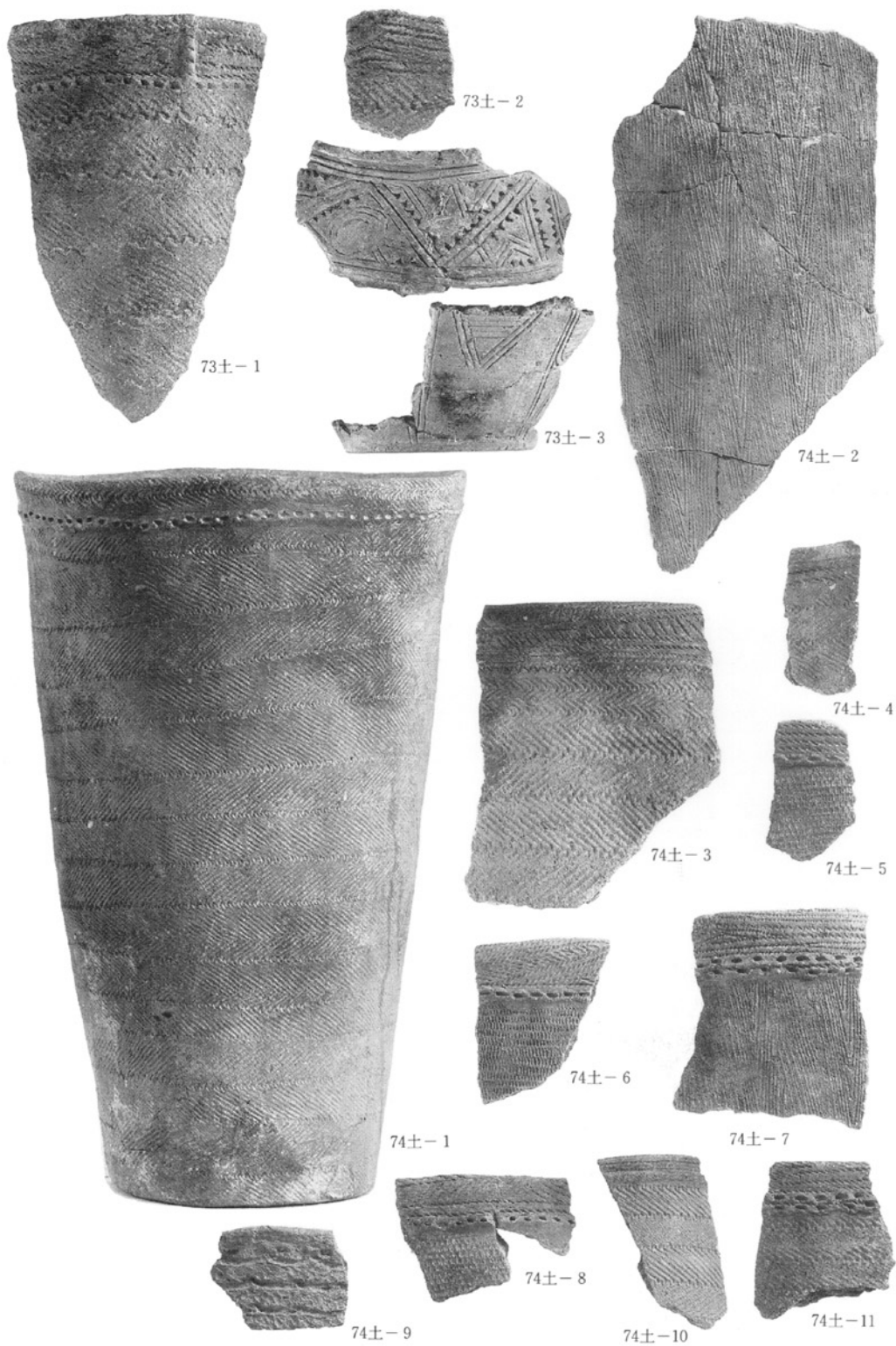


写真110 第73号・第74号土坑出土土器

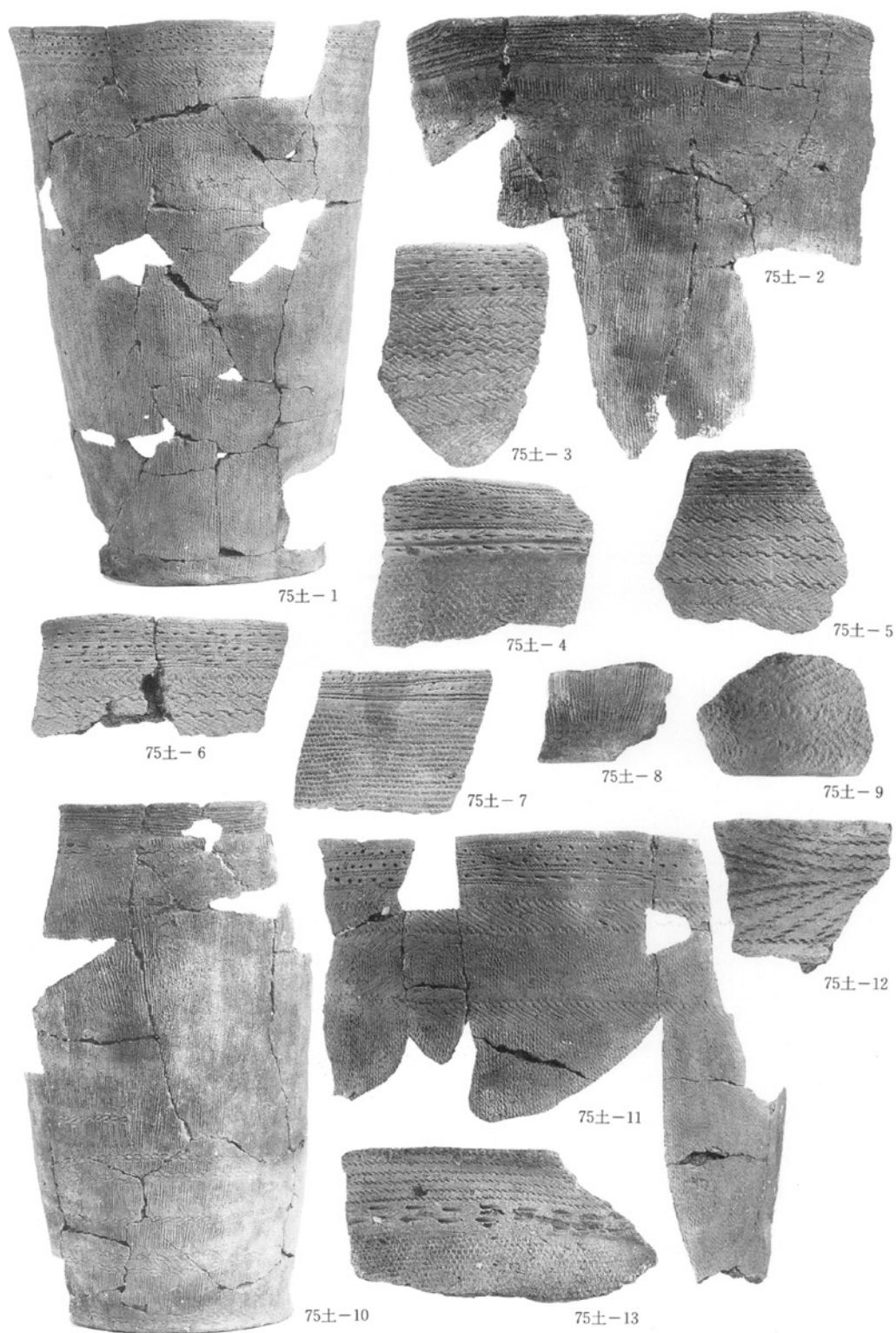
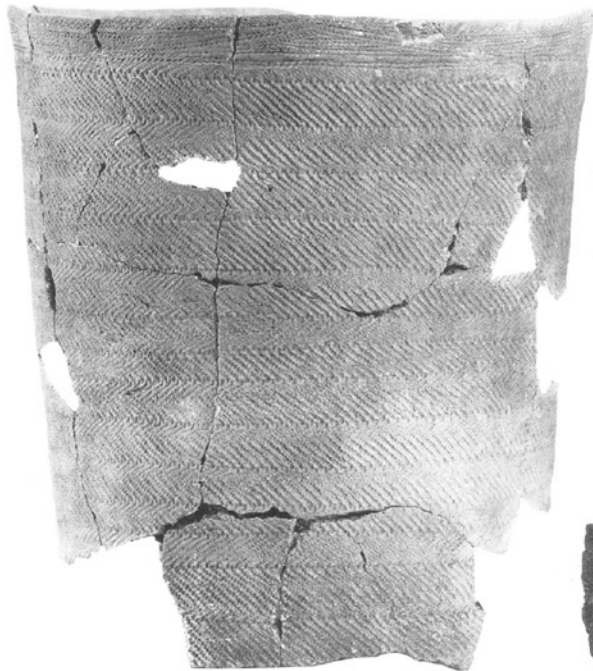
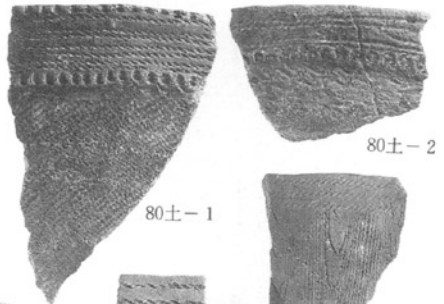
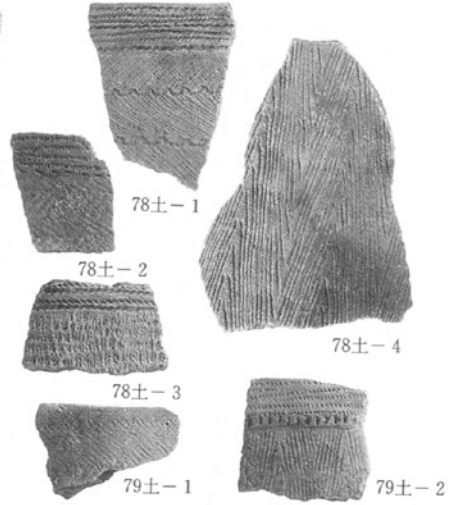


写真111 第75号①土坑出土土器



75±-14

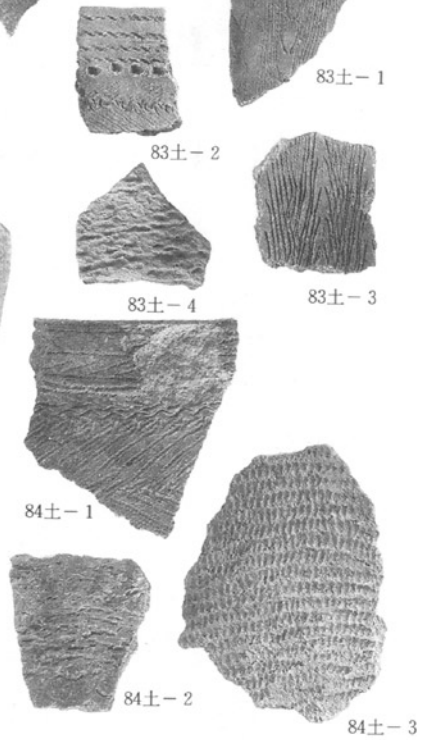


80±-1

80±-2



75±-15



83±-1

83±-2

83±-3

83±-4

84±-1

84±-2

84±-3

写真112 第75号②・第78号・第79号・第80号・第83号・第84号土坑出土土器

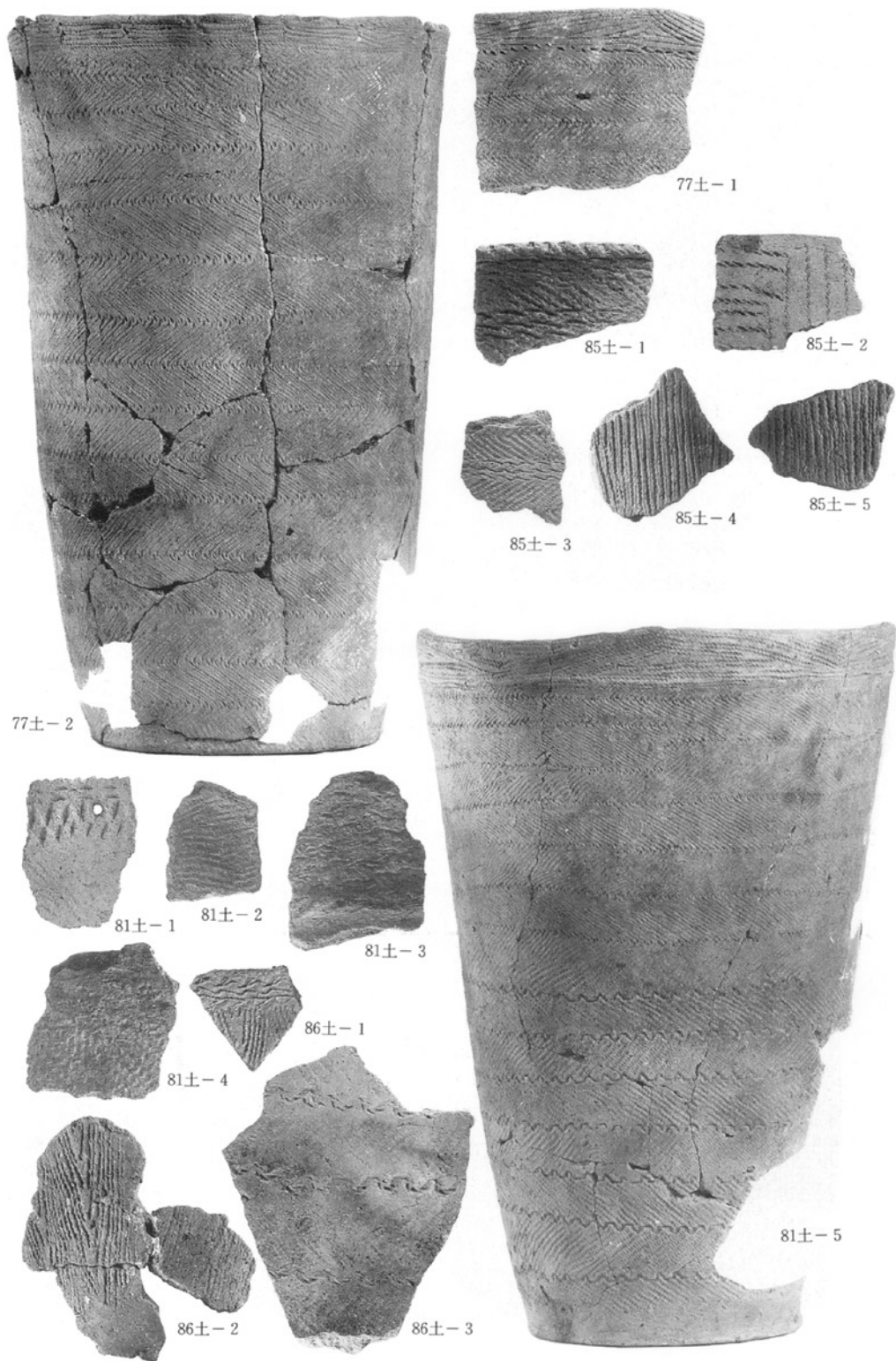


写真113 第77号・第81号・第85号・第86号土坑出土土器

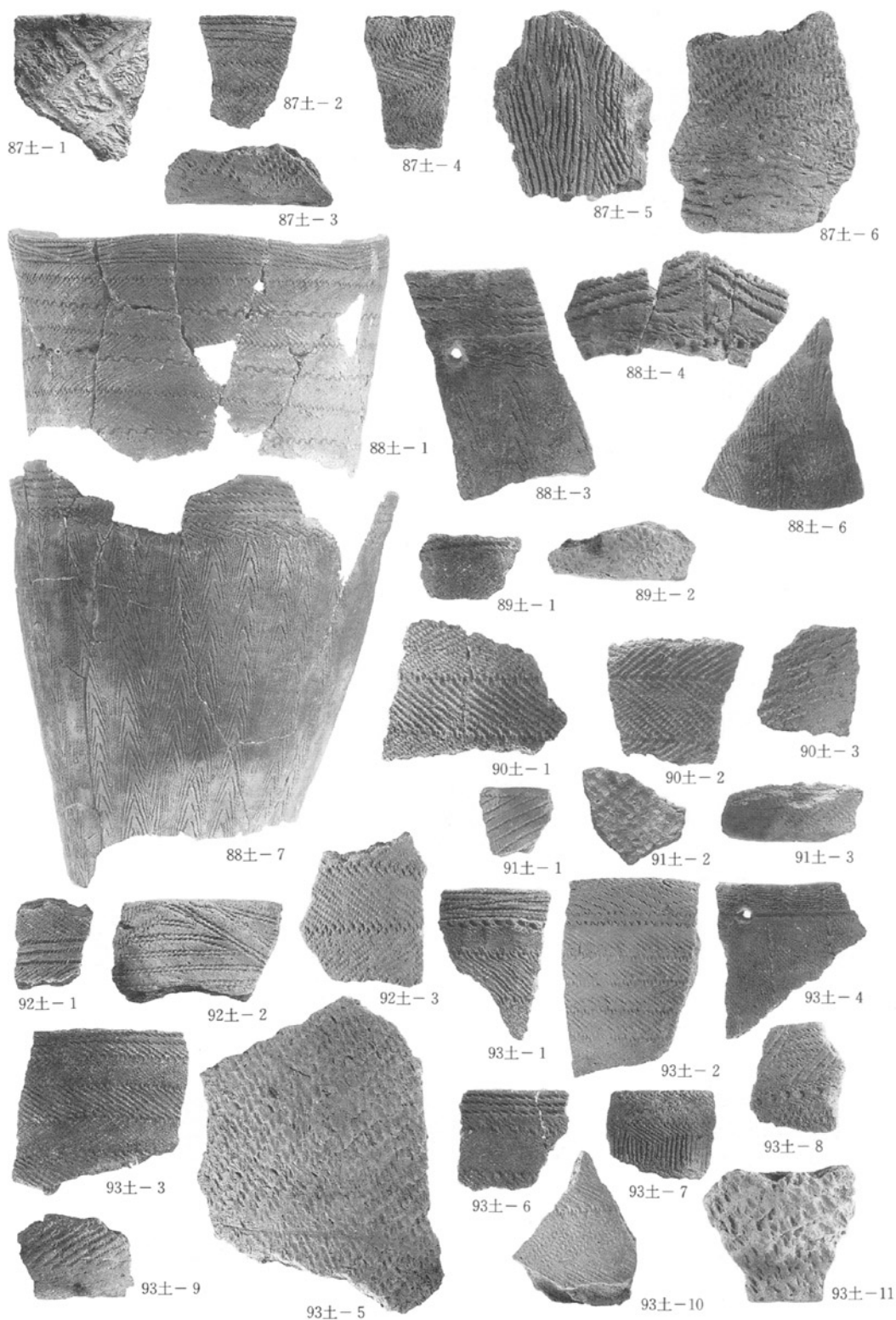


写真114 第87号・第88号・第89号・第90号・第91号・第92号・第93号土坑出土土器

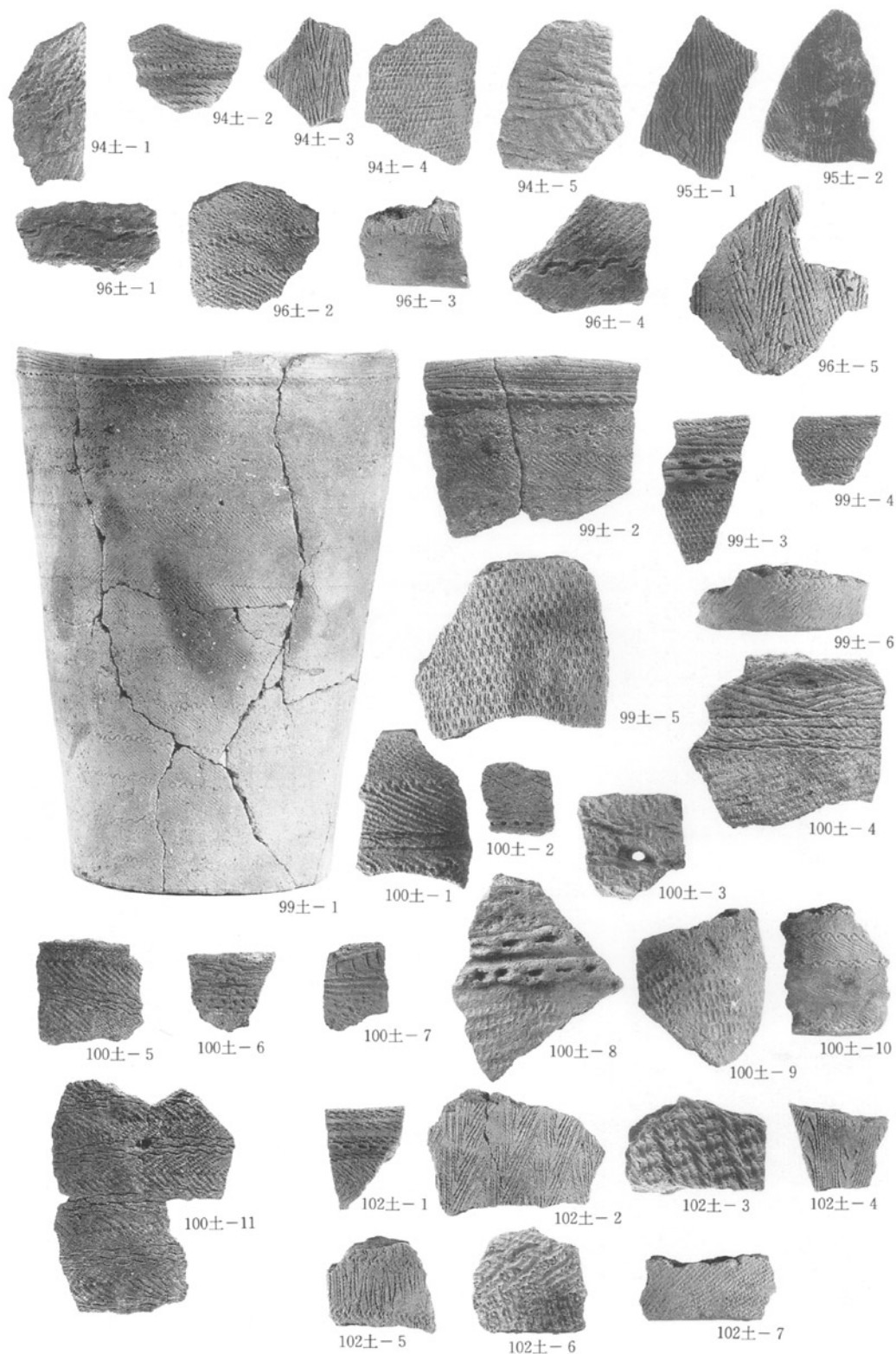


写真115 第94号・第95号・第96号・第99号・第100号・第102号土坑出土土器

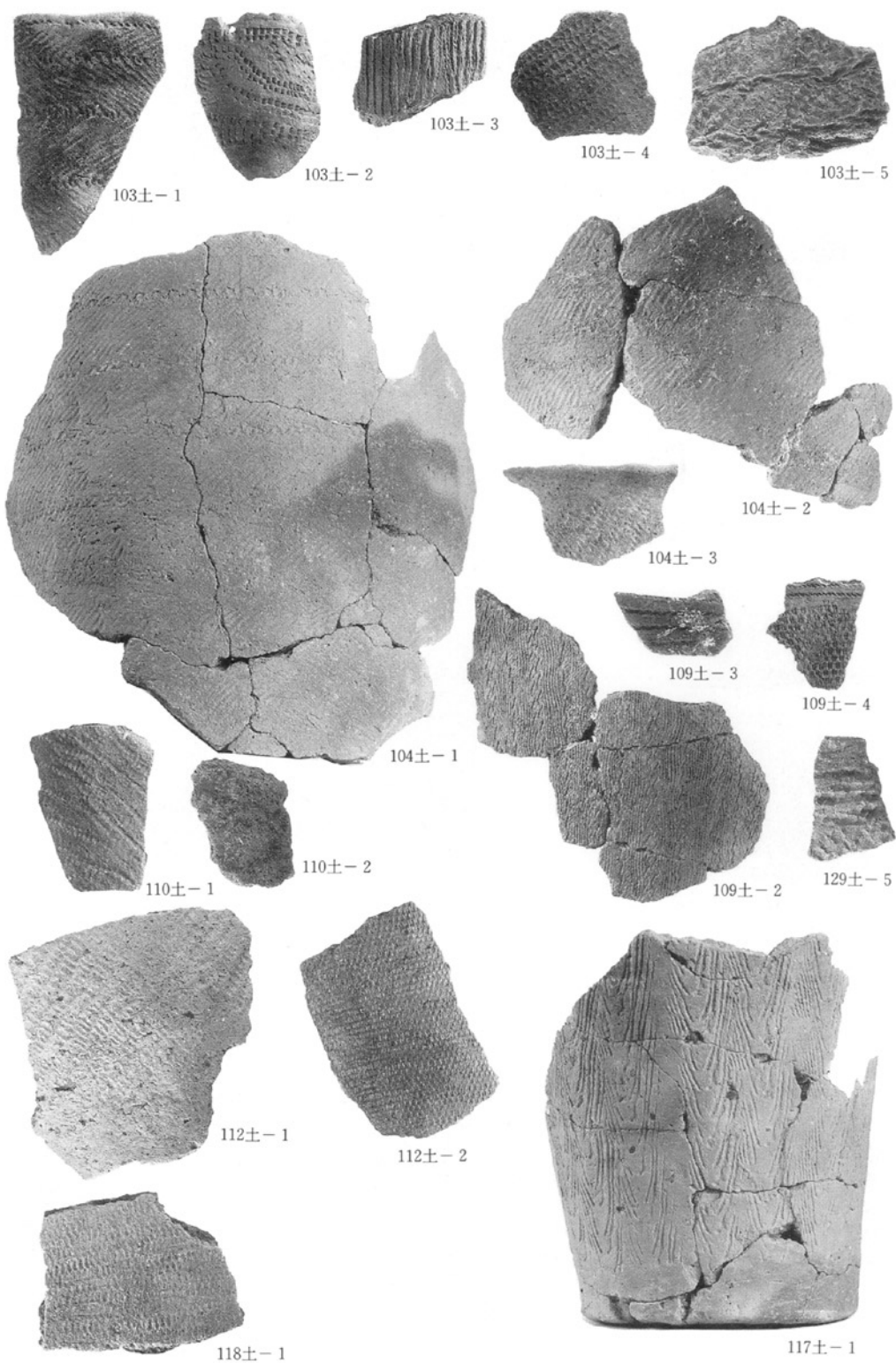


写真116 第103号・第104号・第109号・第110号・第112号・第117号①・第118号土坑出土土器

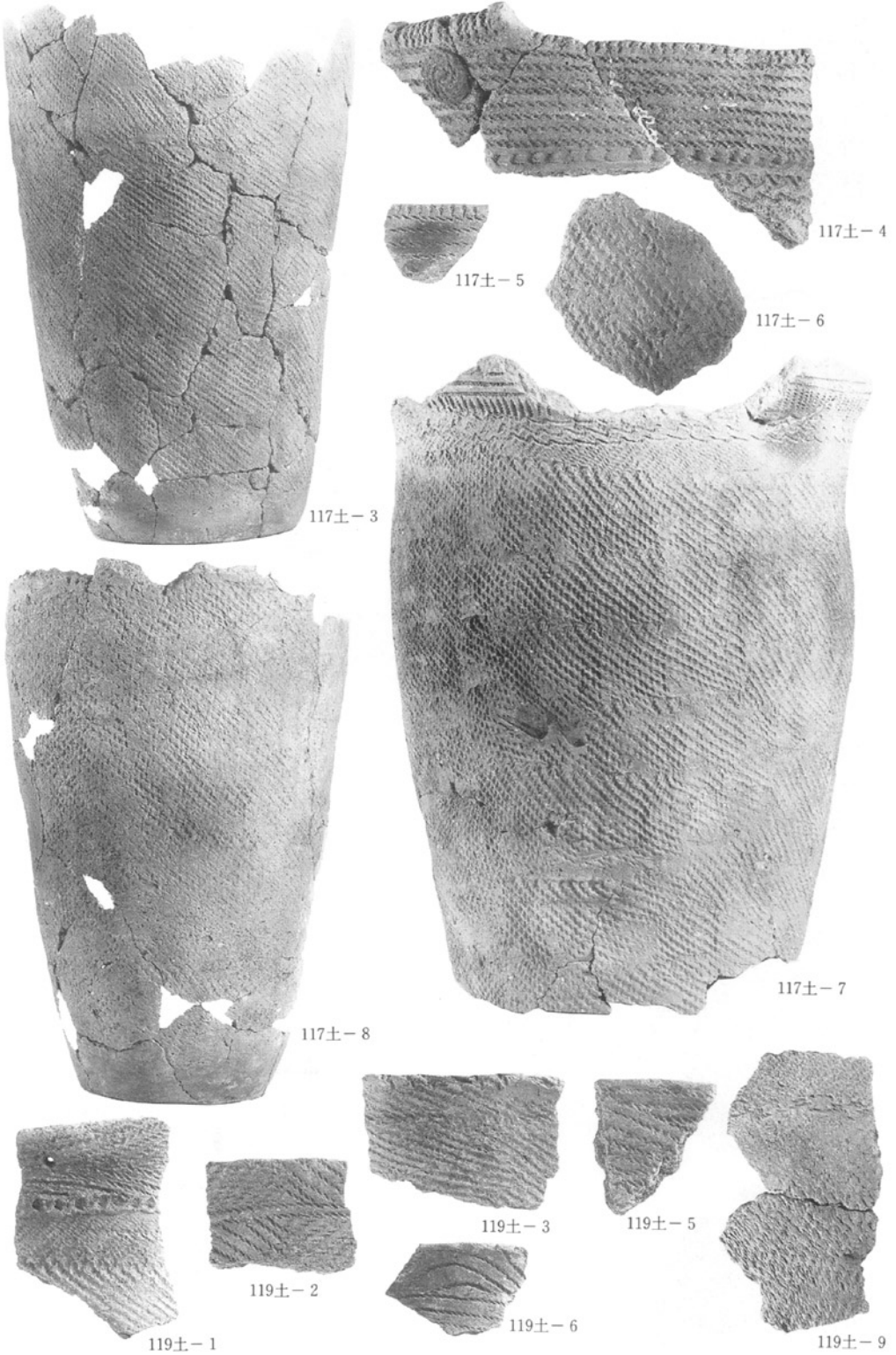


写真117 第117号②・第119号①土坑出土土器

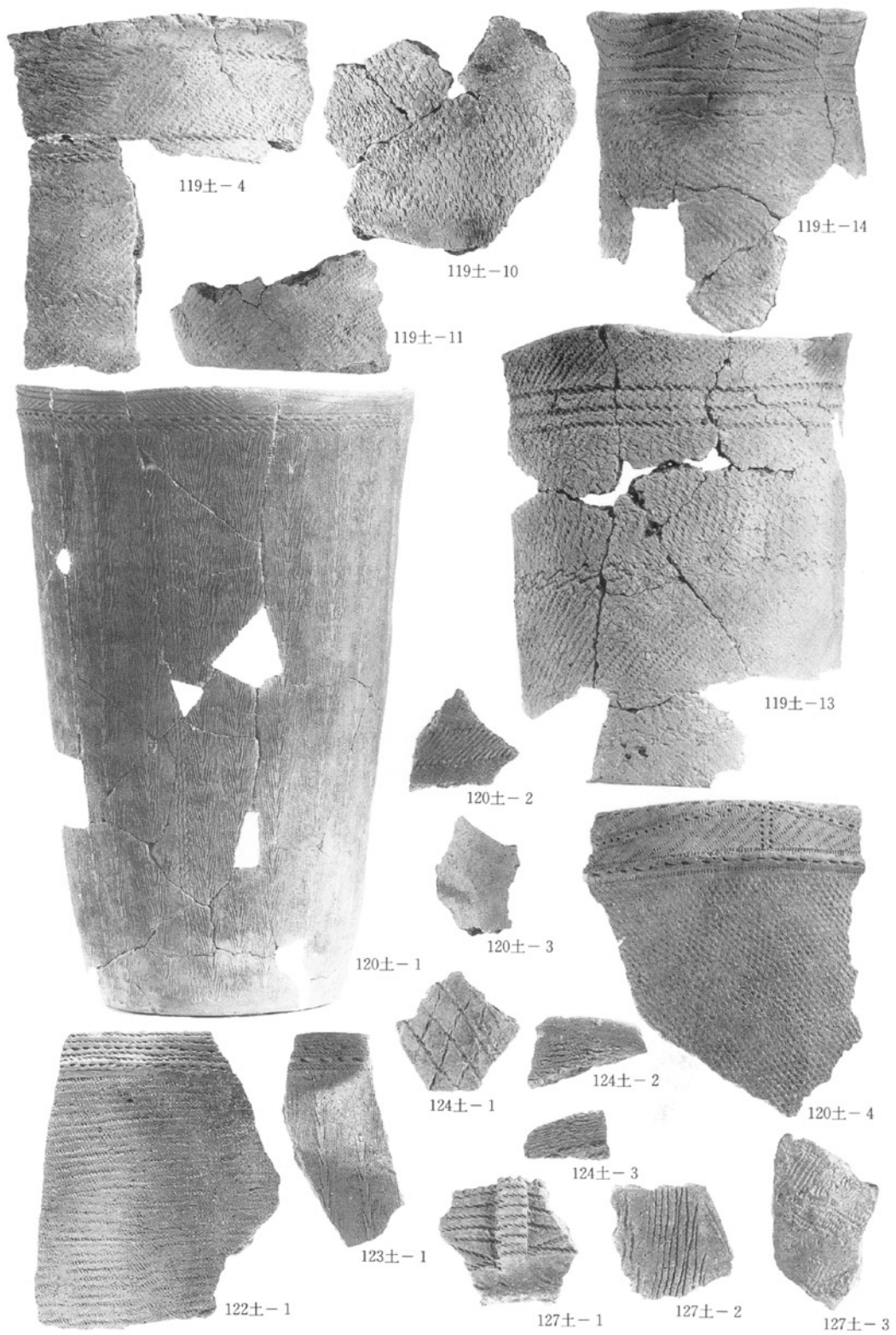


写真118 第119号②・第120号・第122号・第123号・第124号・第127号土坑出土土器

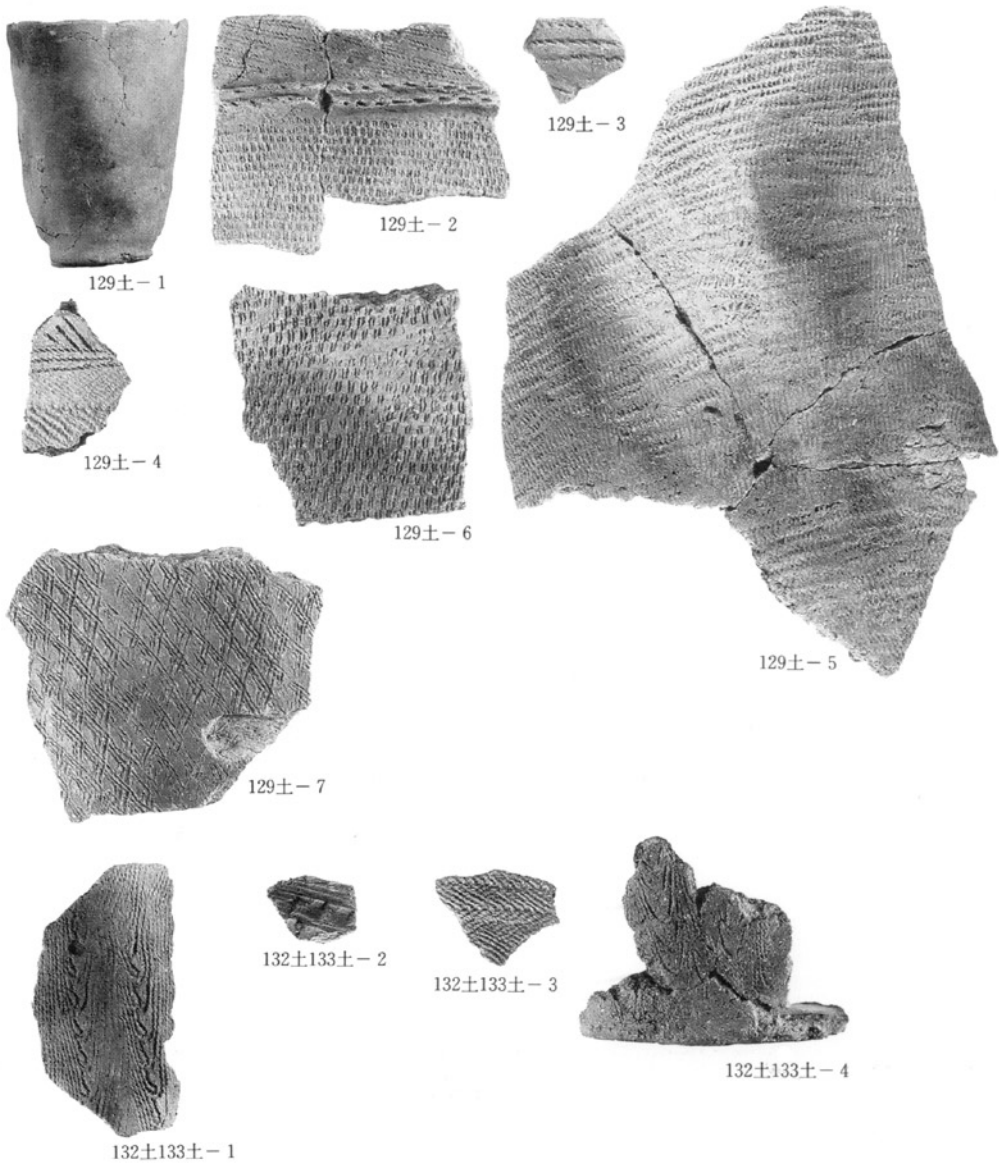


写真119 第129号・第132号・第133号土坑出土土器

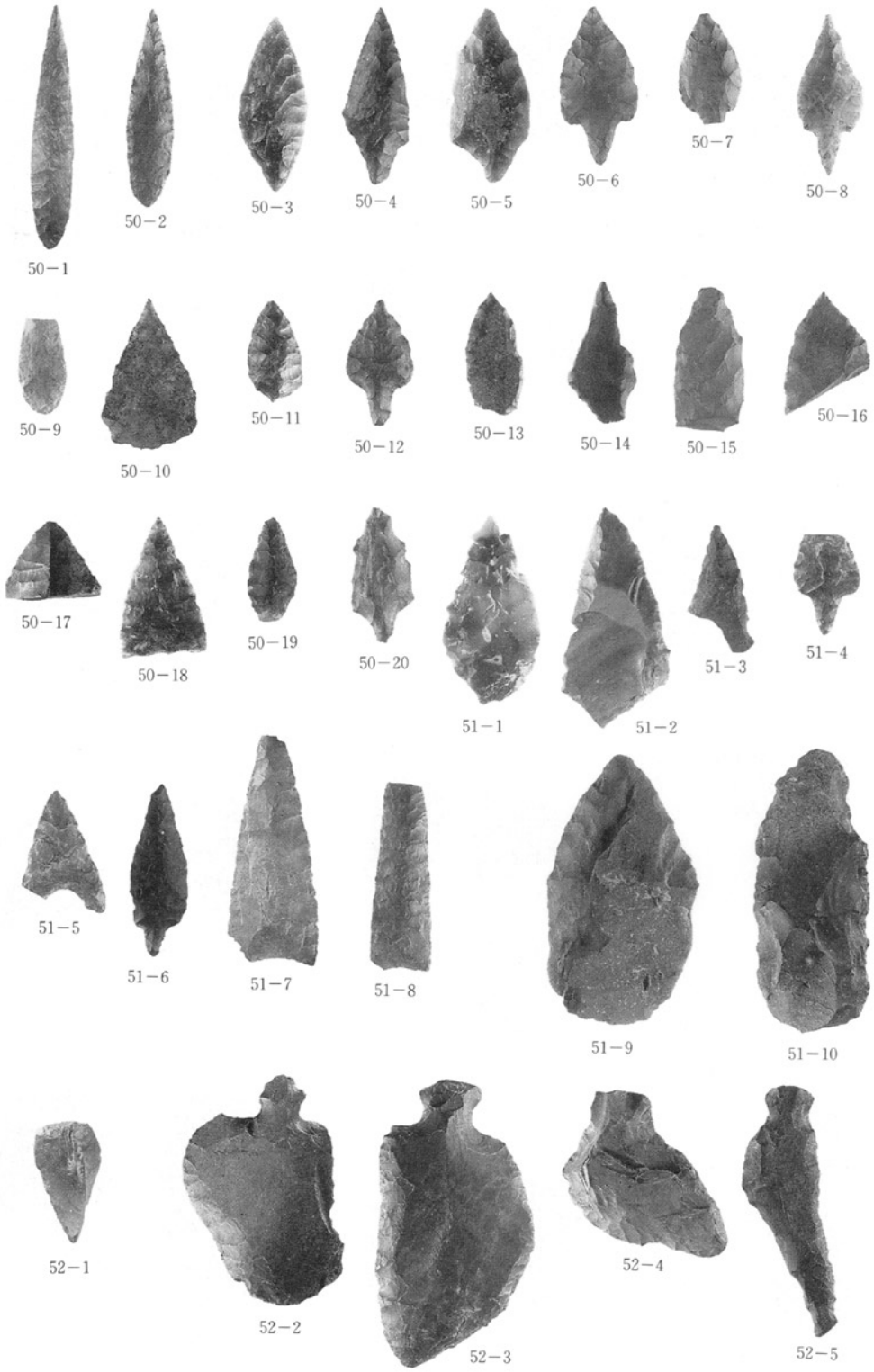


写真120 住居跡内出土石器 (1)

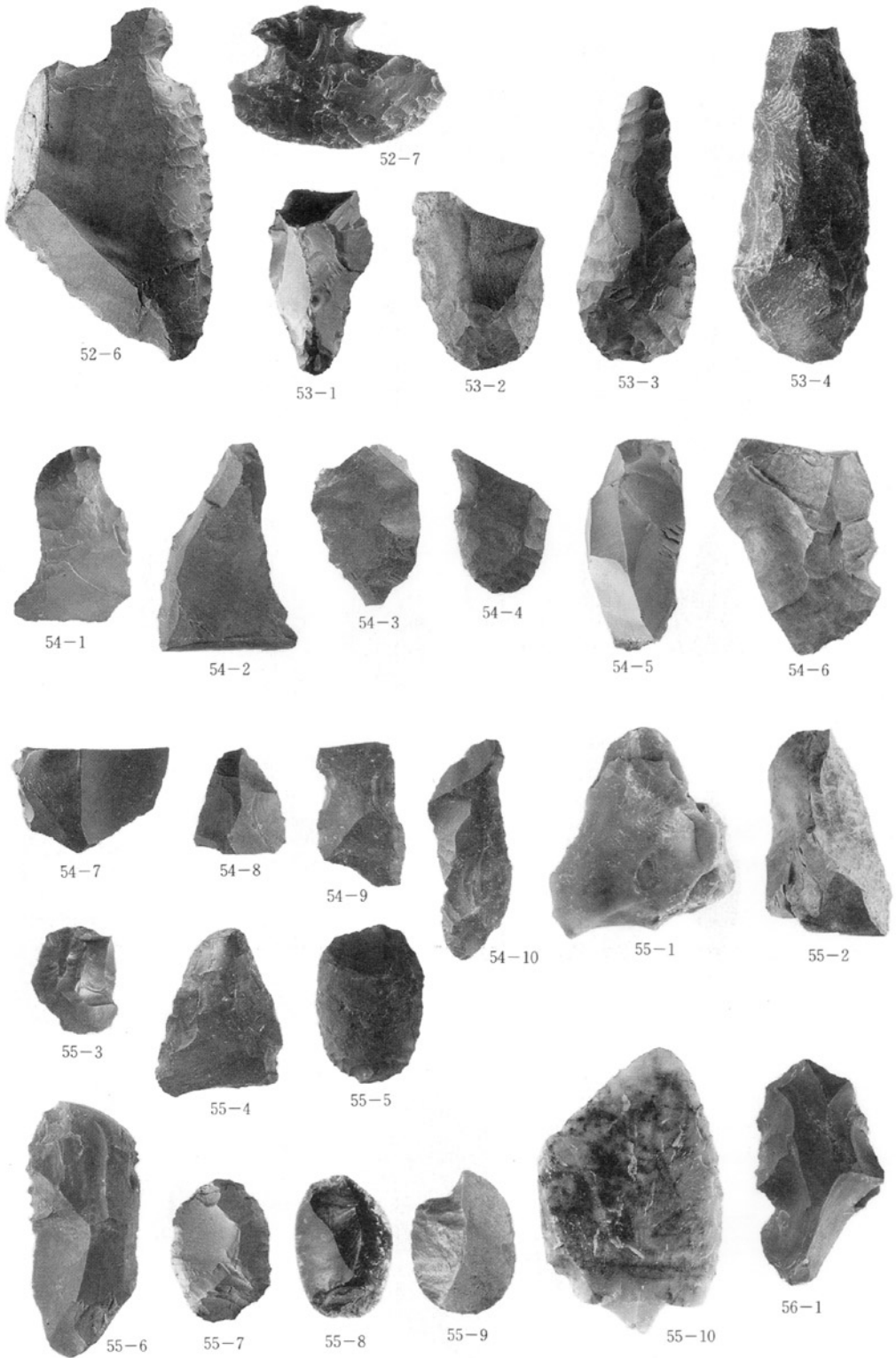


写真121 住居跡内出土石器（2）

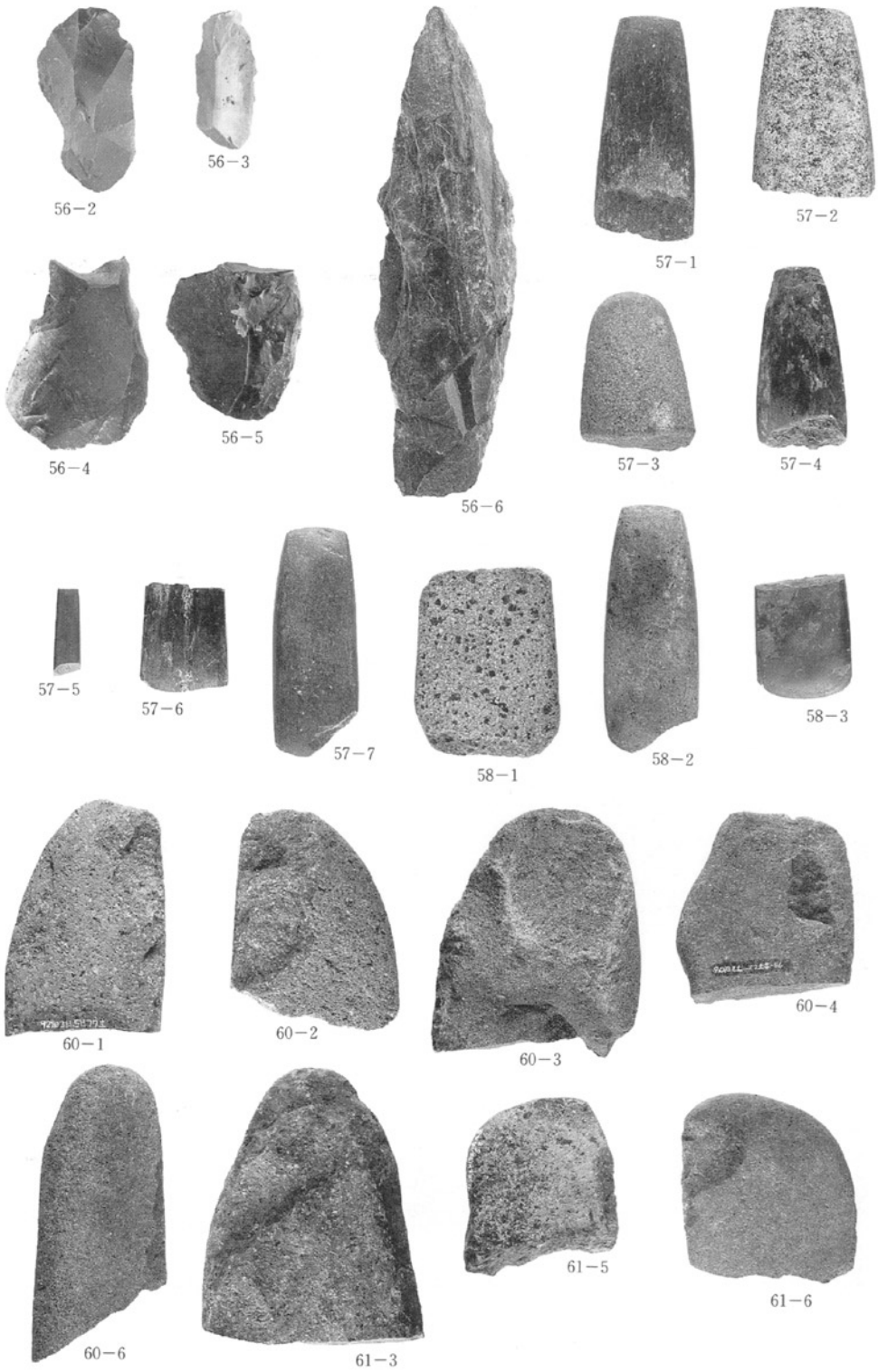


写真122 住居跡内出土石器（3）



写真123 住居跡内出土石器 (4)

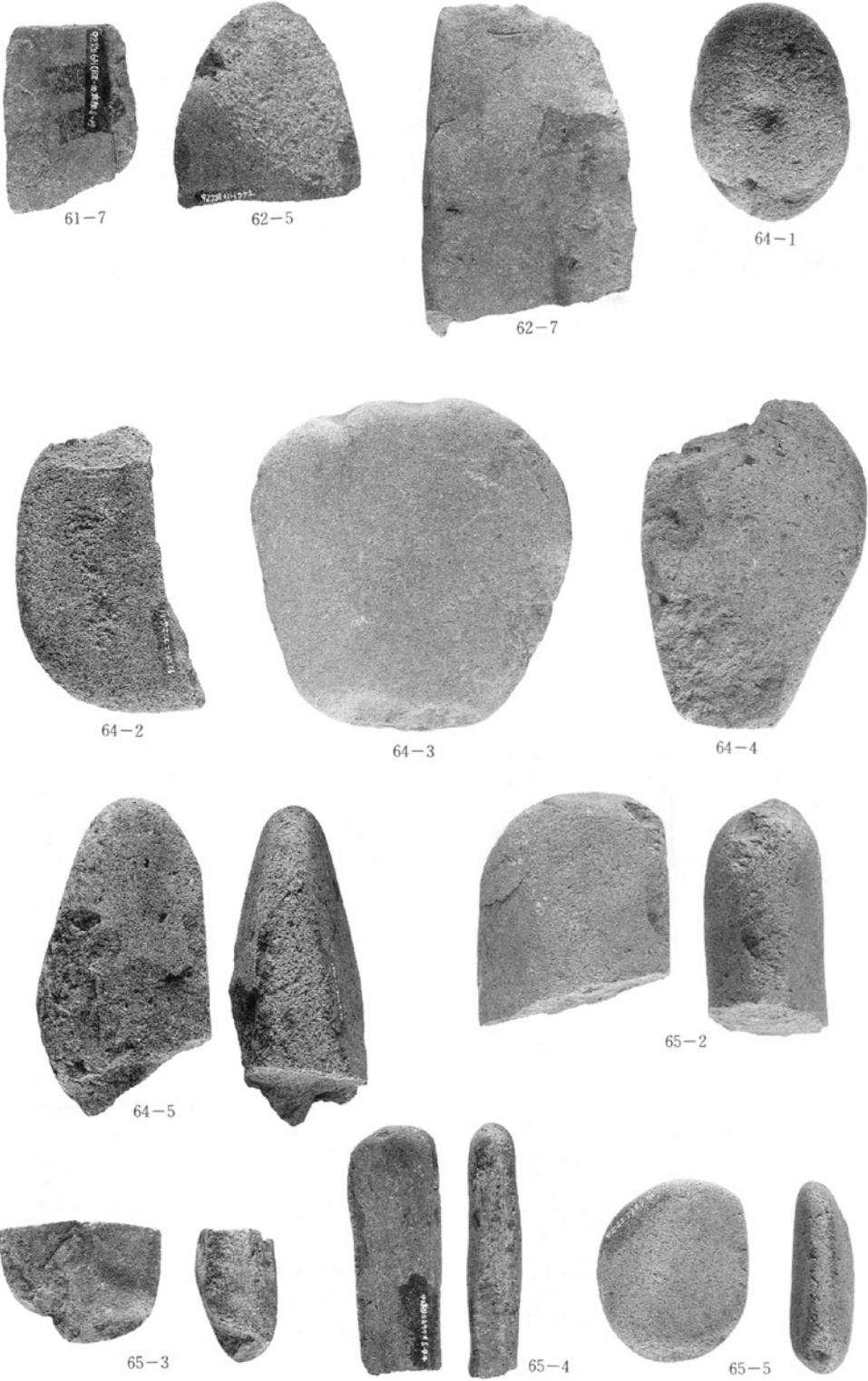


写真124 住居跡内出土石器（5）

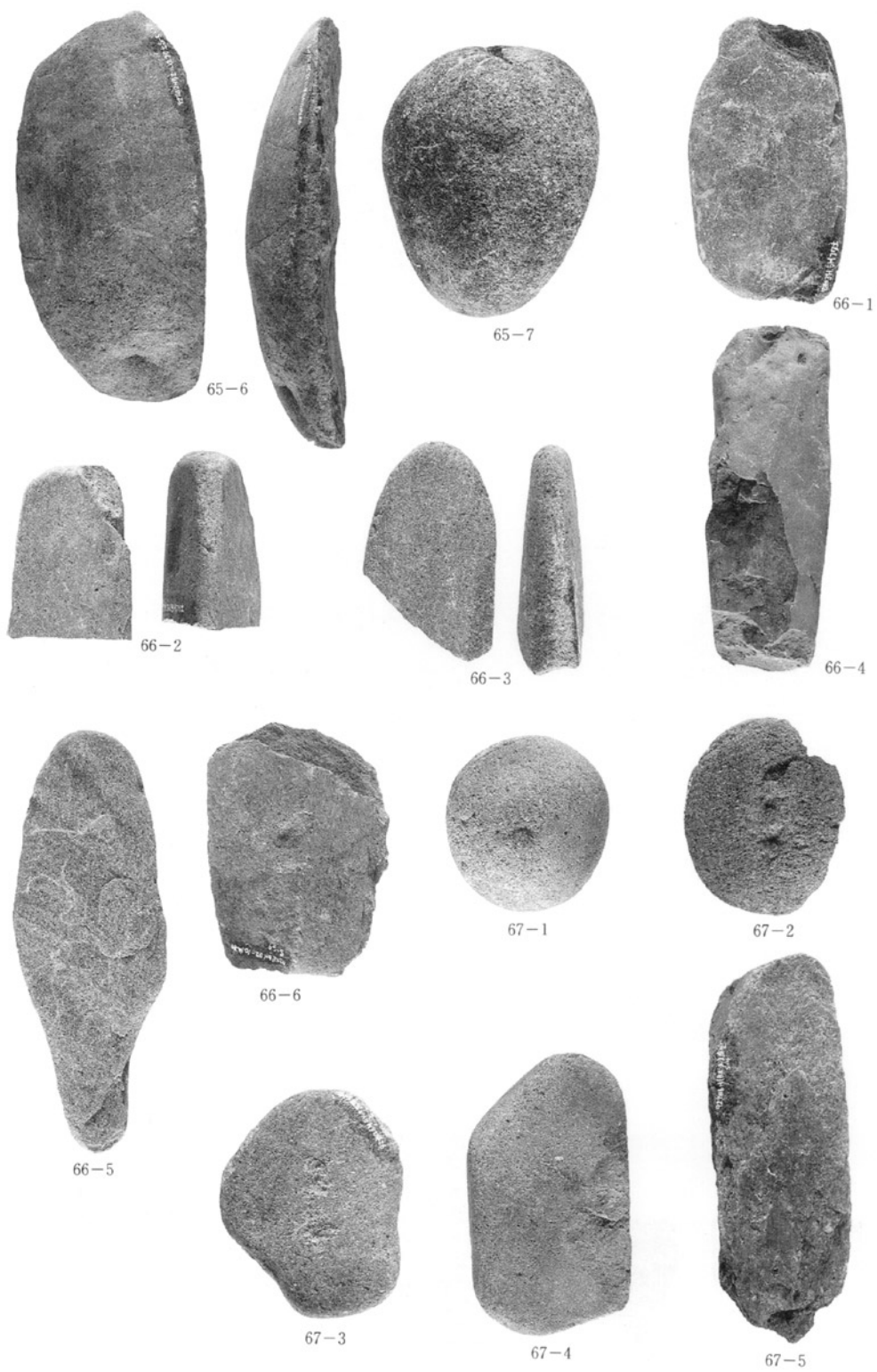
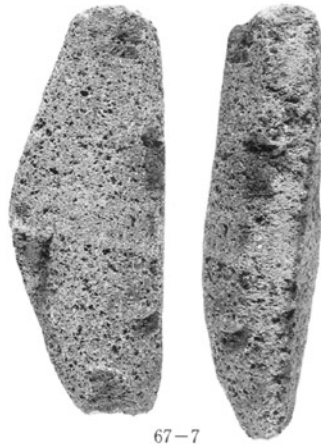


写真125 住居跡内出土石器 (6)



67-6



67-7



67-8



68-1



68-3



68-4



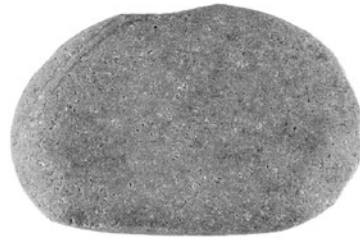
68-2



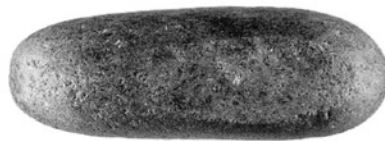
68-5



68-6



69-1



69-2



写真126 住居跡内出土石器 (7)

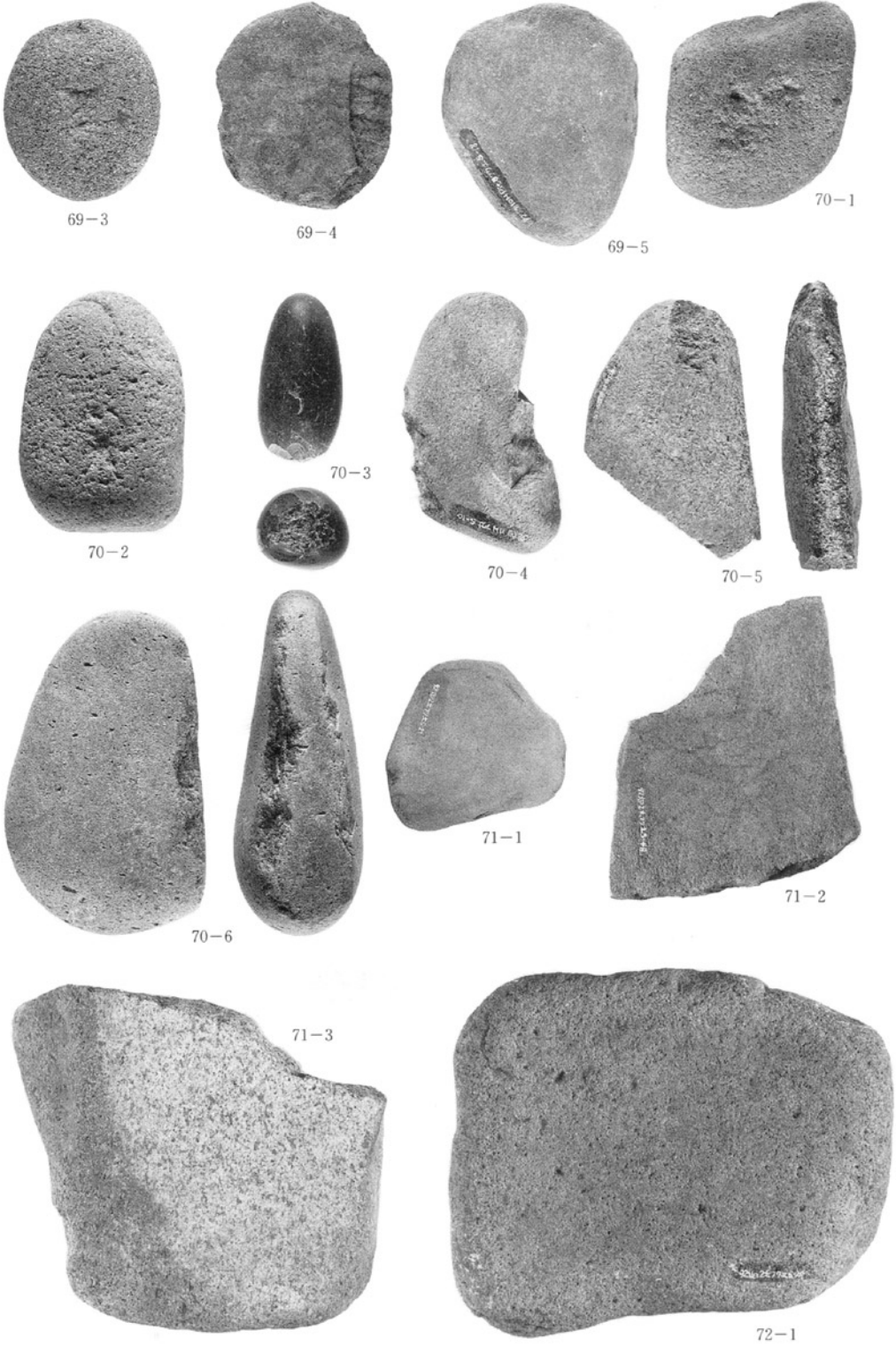


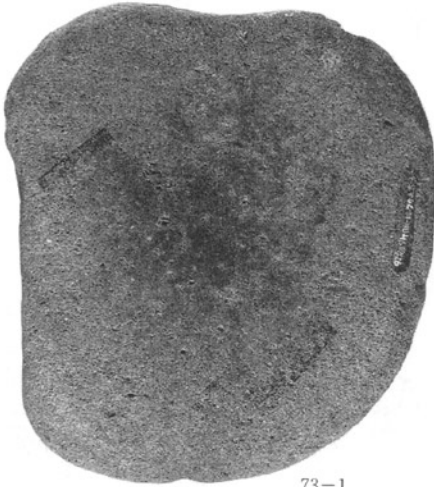
写真127 住居跡内出土石器 (8)



72-3



72-2



73-1



73-2



73-3

写真128 住居跡内出土石器(9)

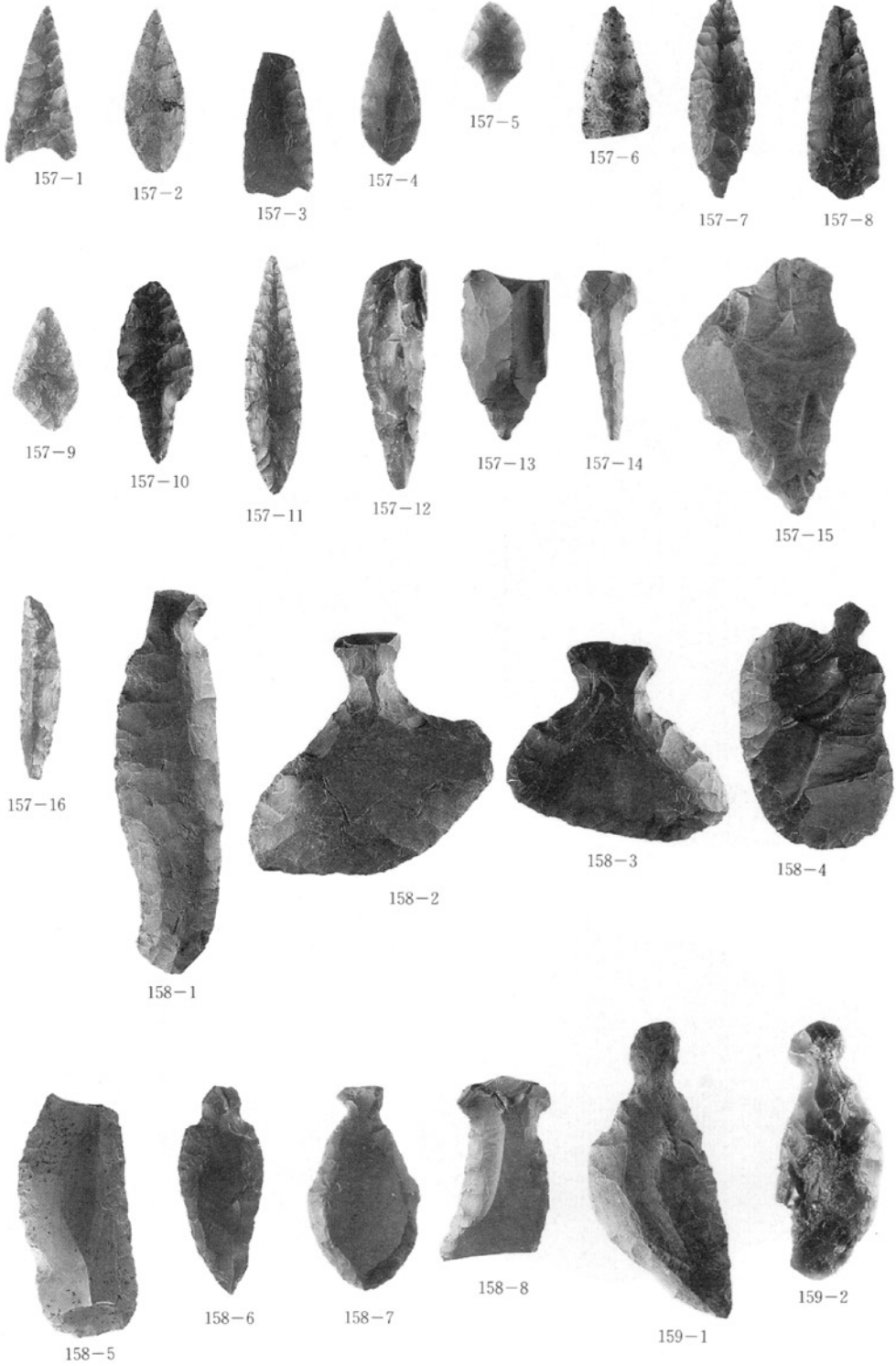


写真129 土坑内出土石器 (1)



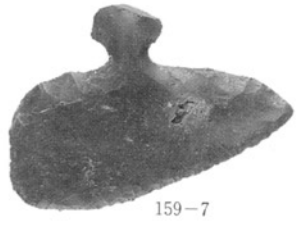
159-3



159-4



159-6



159-7



159-5



160-1



160-2



160-3



160-4



160-5



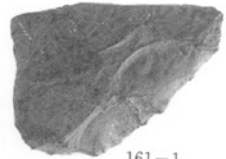
160-6



160-7



160-8



161-1



161-2



161-3



161-4



161-5



162-1

写真130 土坑内出土石器(2)

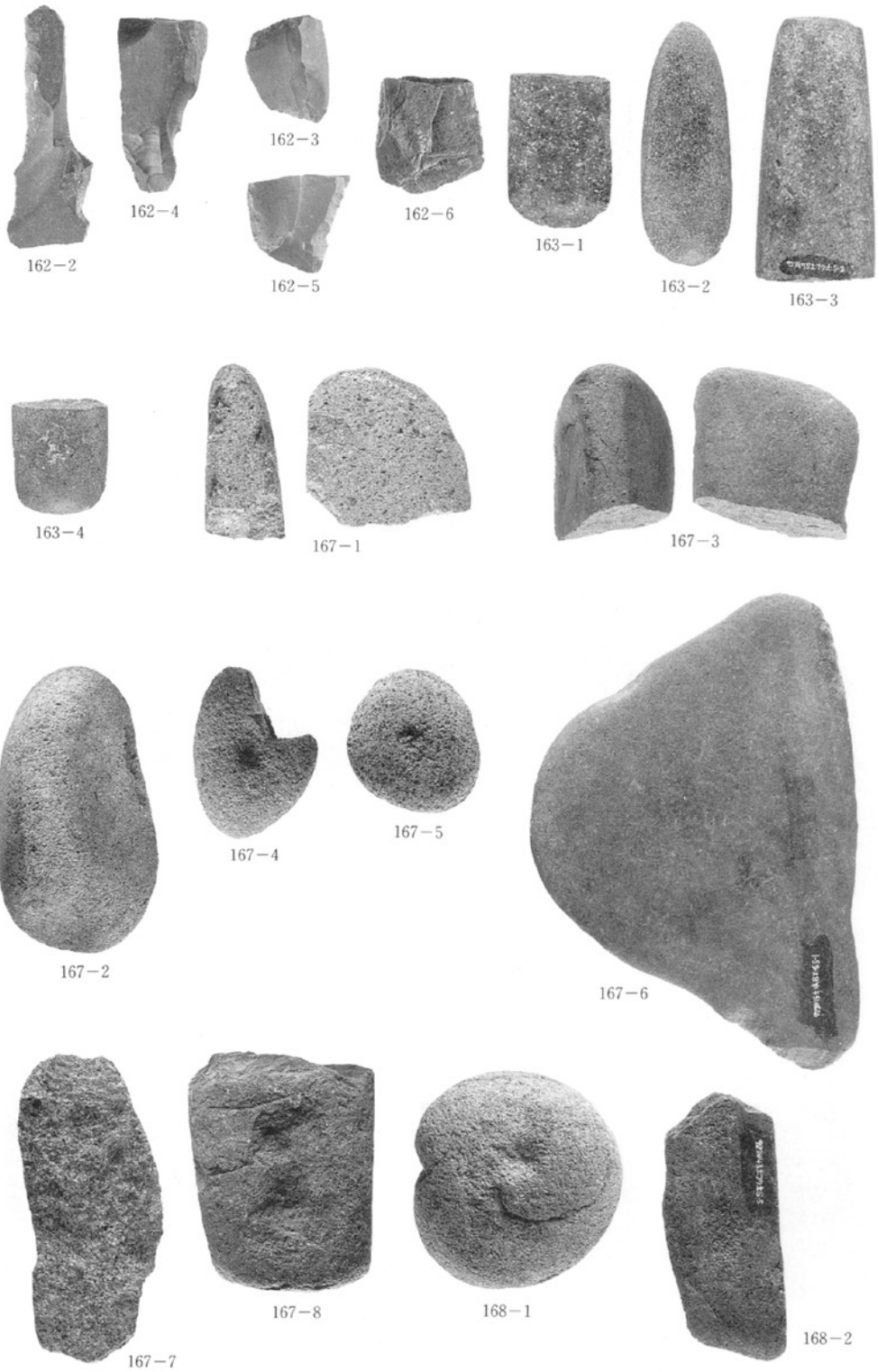


写真131 土坑内出土石器（3）

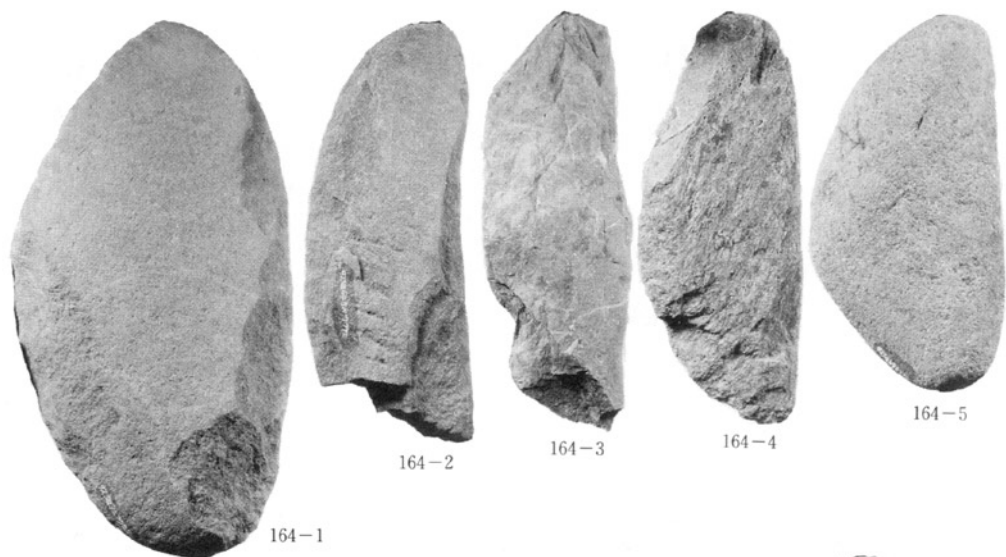


写真132 土坑内出土石器（4）

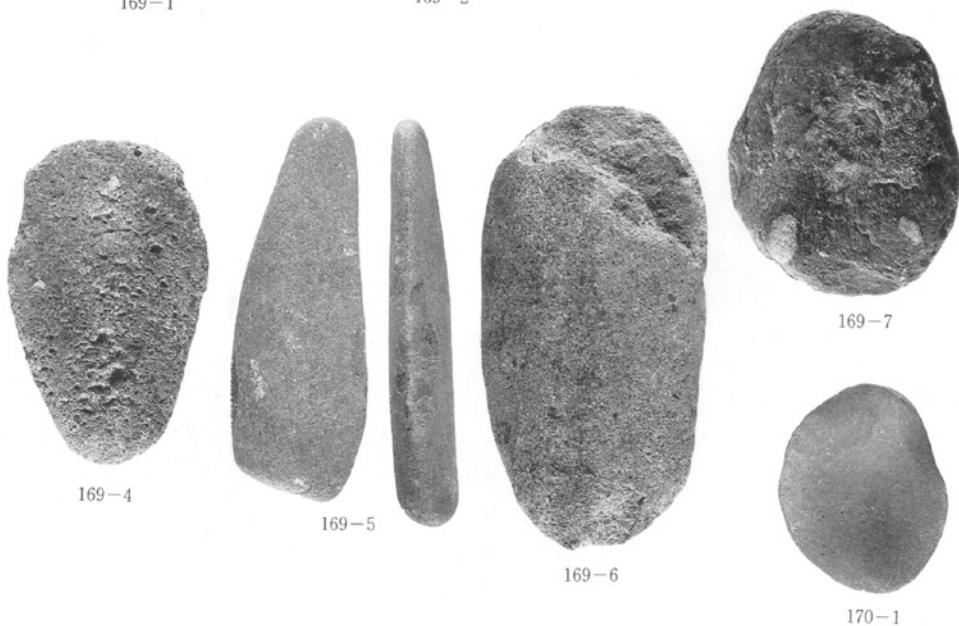
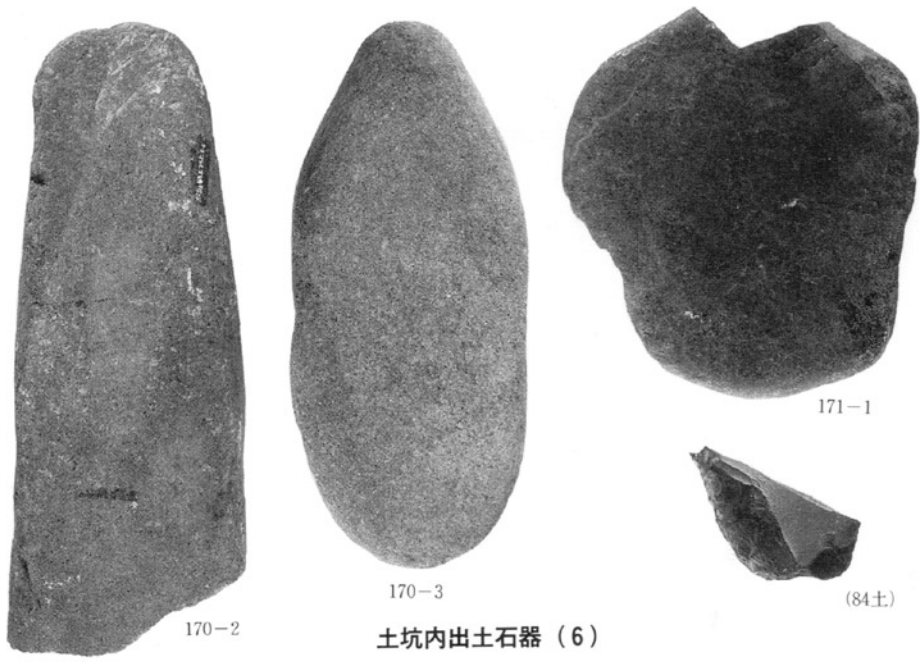


写真133 土坑内出土石器 (5)



土坑内出土石器 (6)

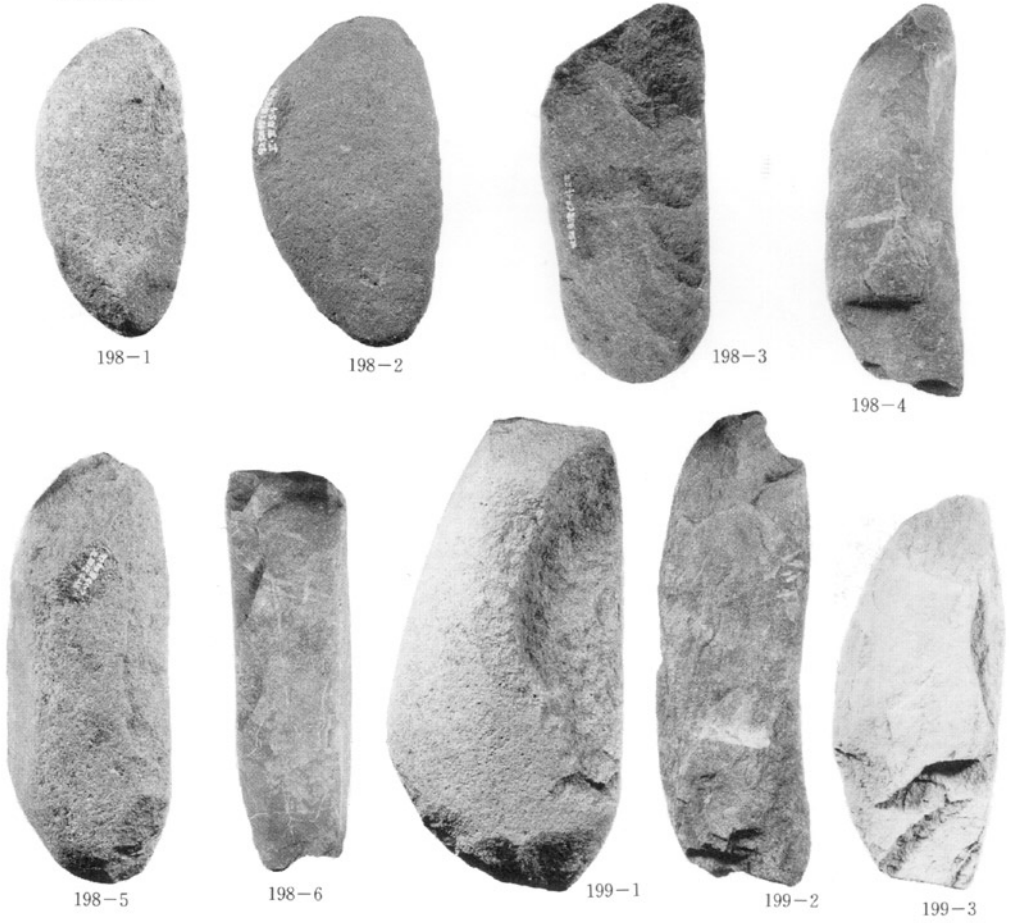


写真134 東捨て場出土石器 (1)

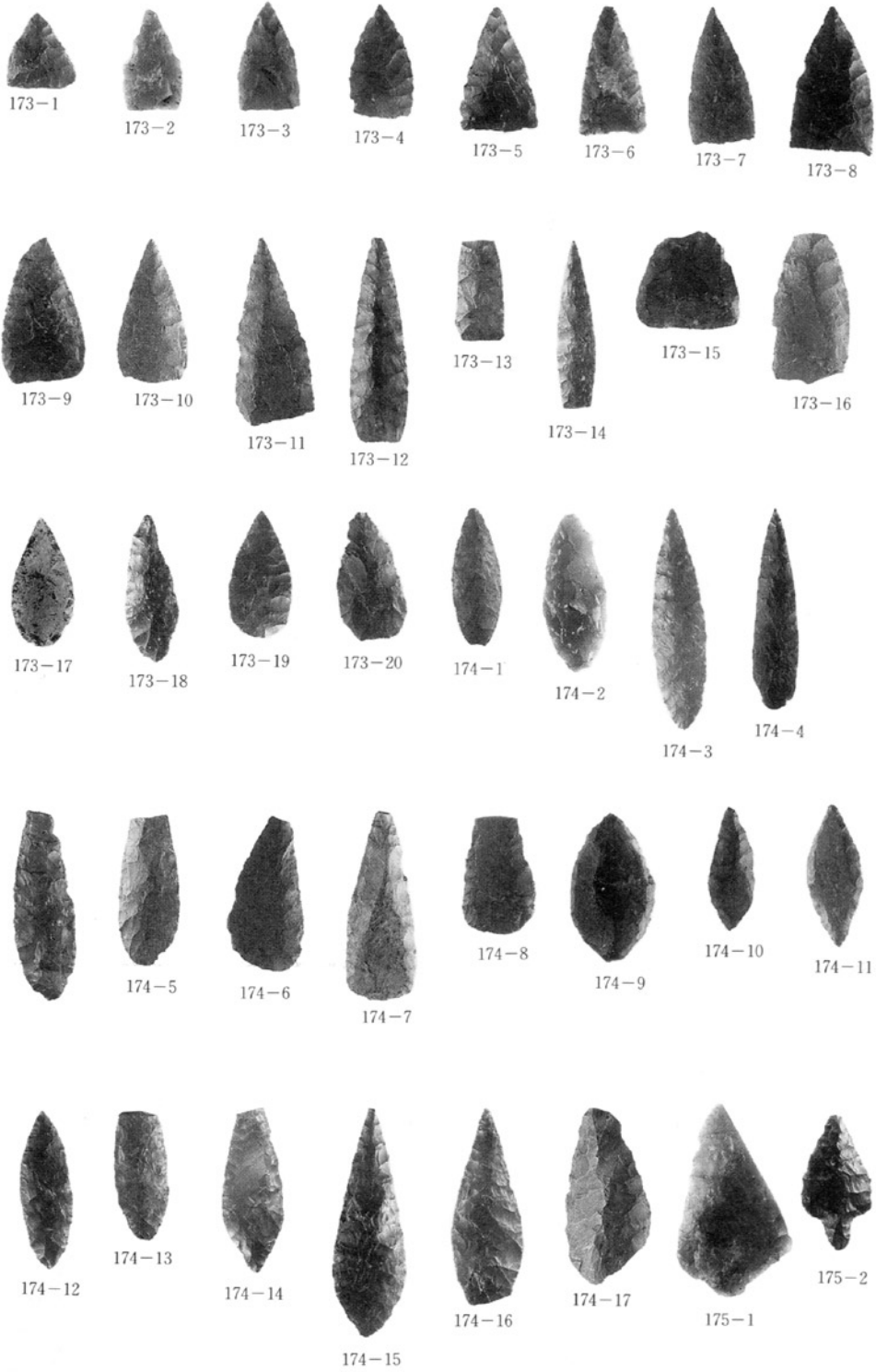


写真135 東捨て場出土石器 (2)

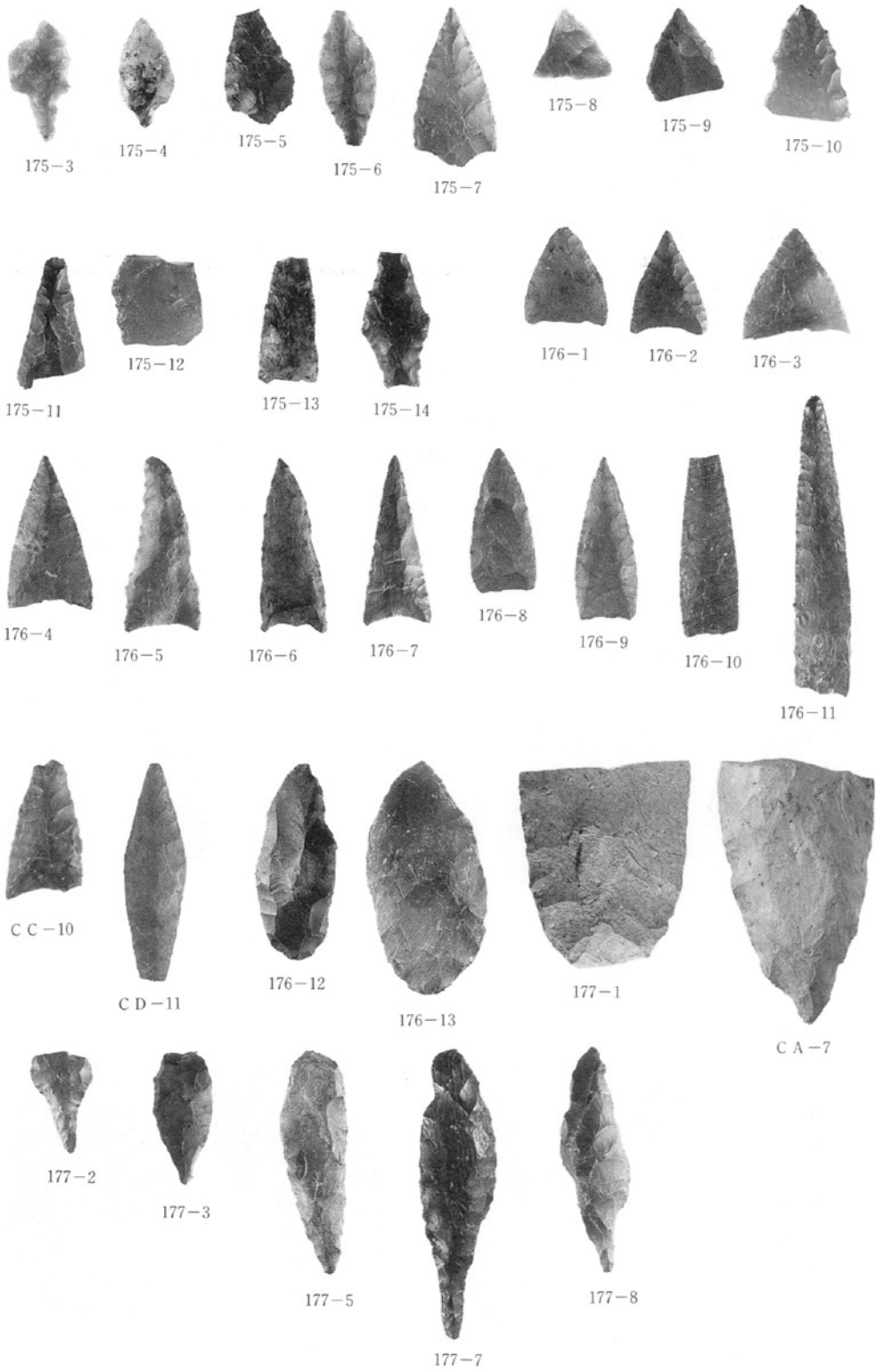


写真136 東捨て場出土石器 (3)

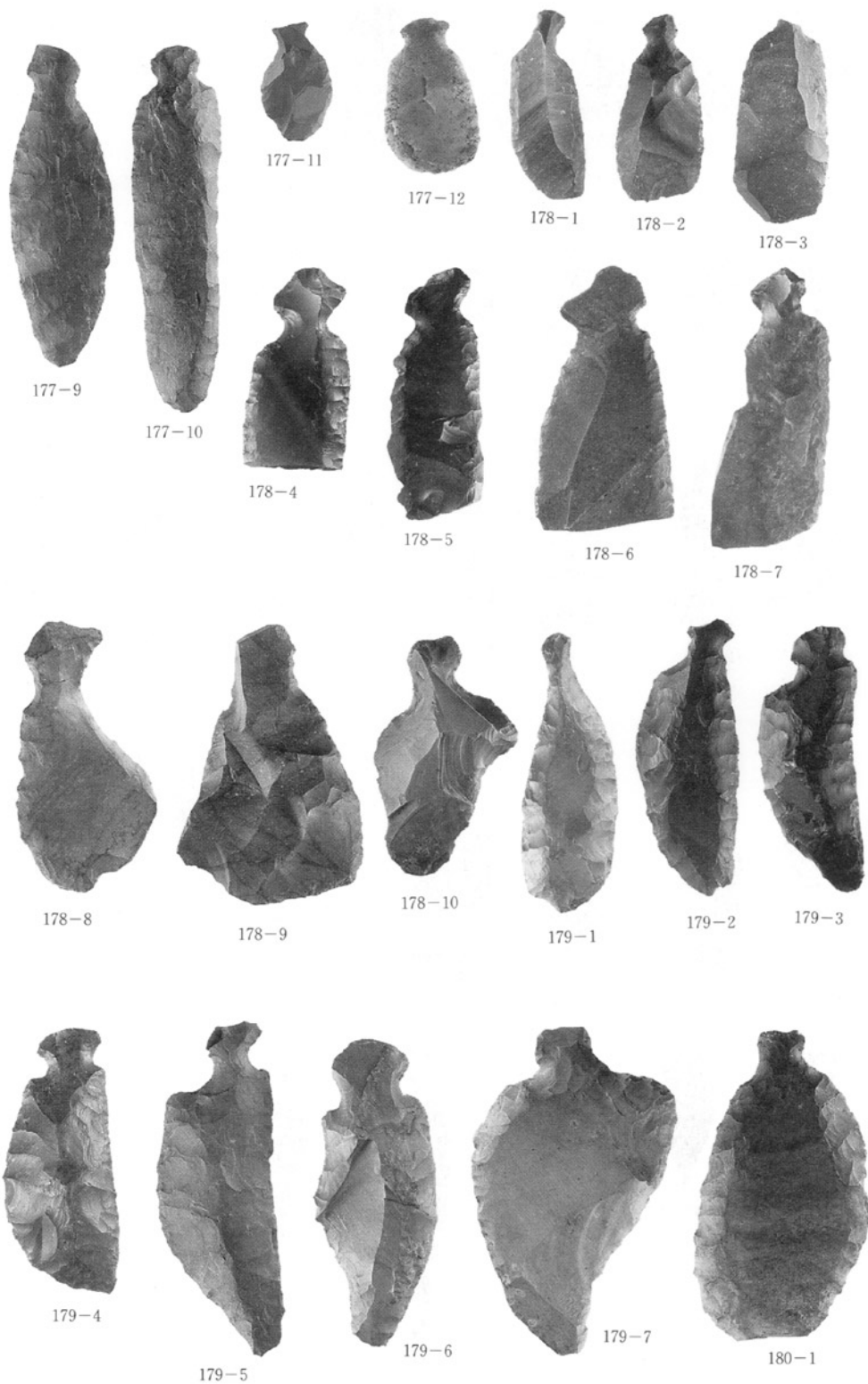


写真137 東捨て場出土石器（4）

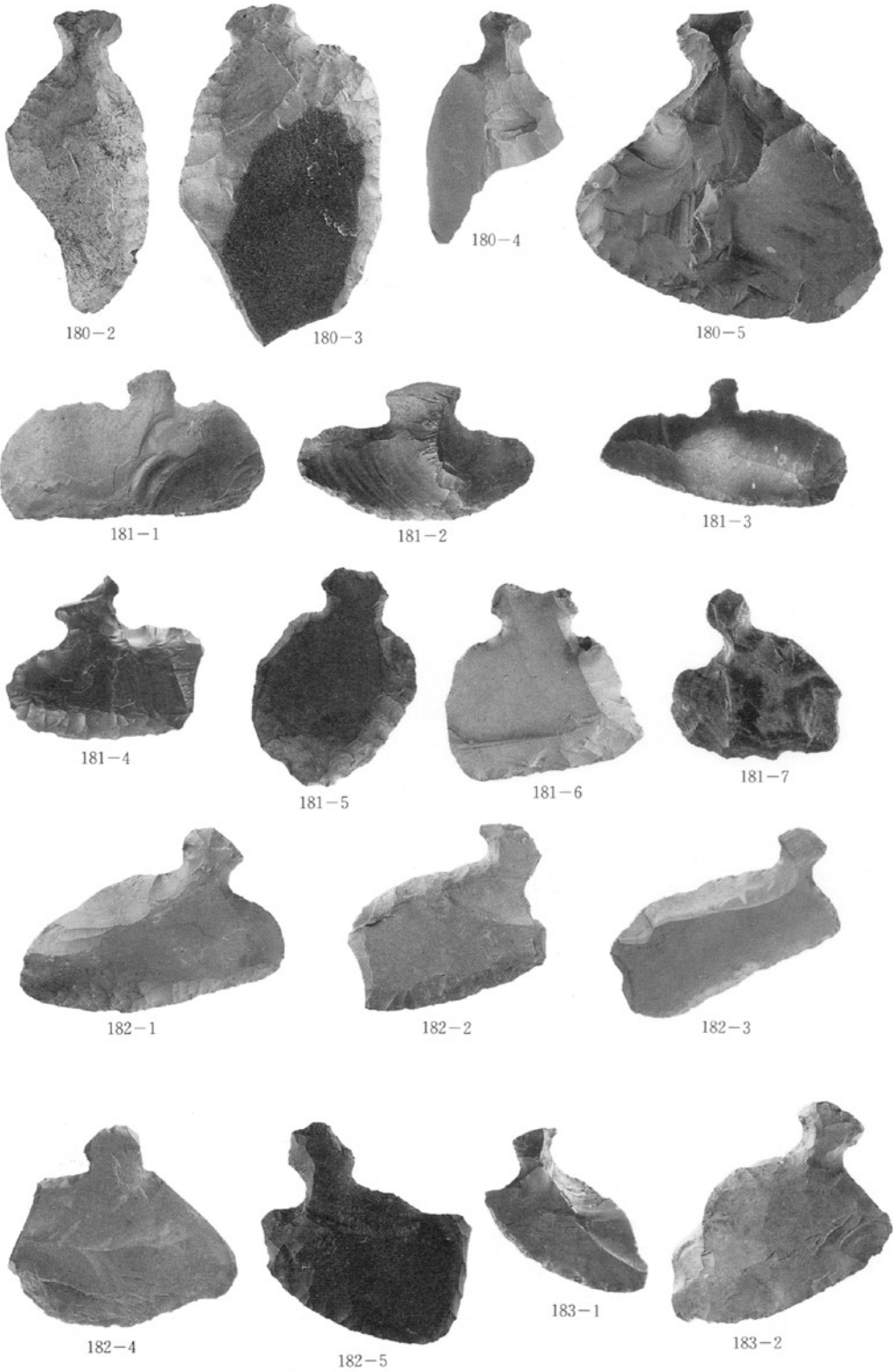


写真138 東捨て場出土石器（5）



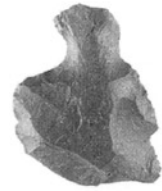
183-3



183-4



183-5



183-6



183-7



183-8



CC-9



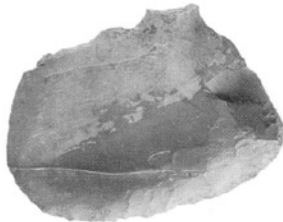
CG-13



CG-11



CD-10



CF-10



CE-9



CG-13



184-1



184-2



184-3



184-4



184-5



184-6



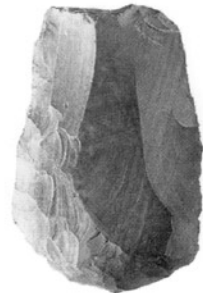
184-7



184-8



185-1



185-2

写真139 東捨て場出土石器 (6)

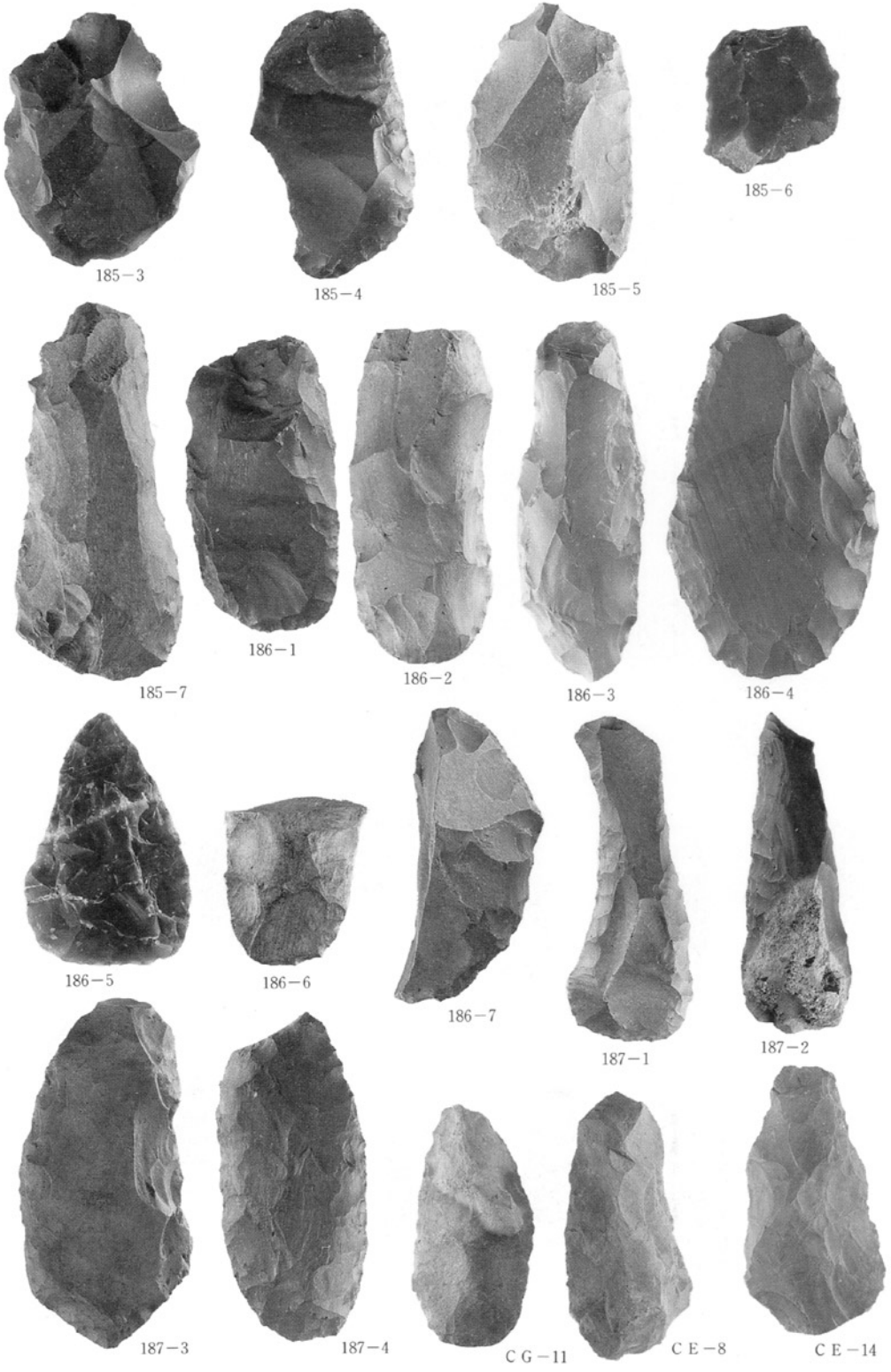


写真140 東捨て場出土石器 (7)

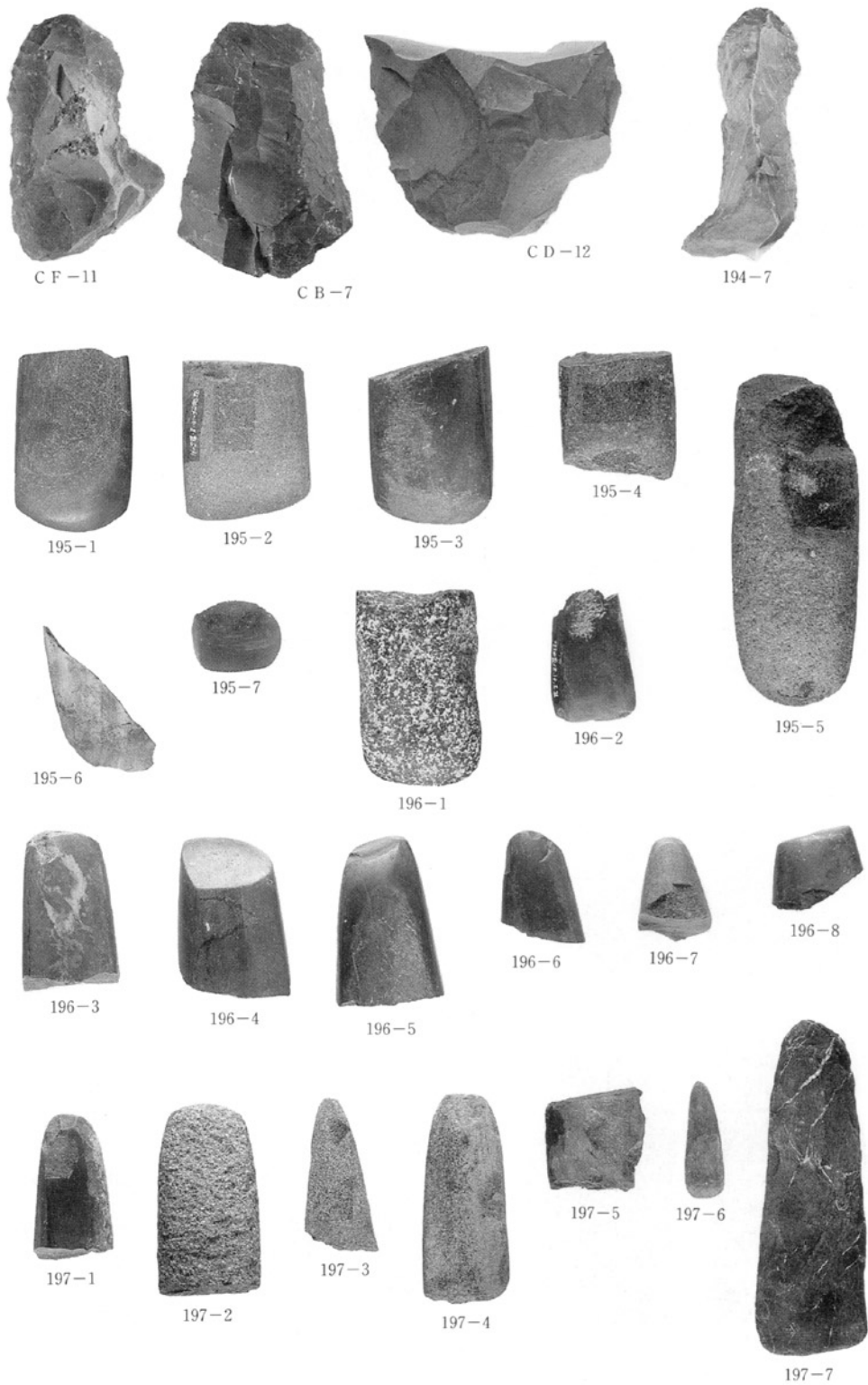


写真141 東捨て場出土石器（8）

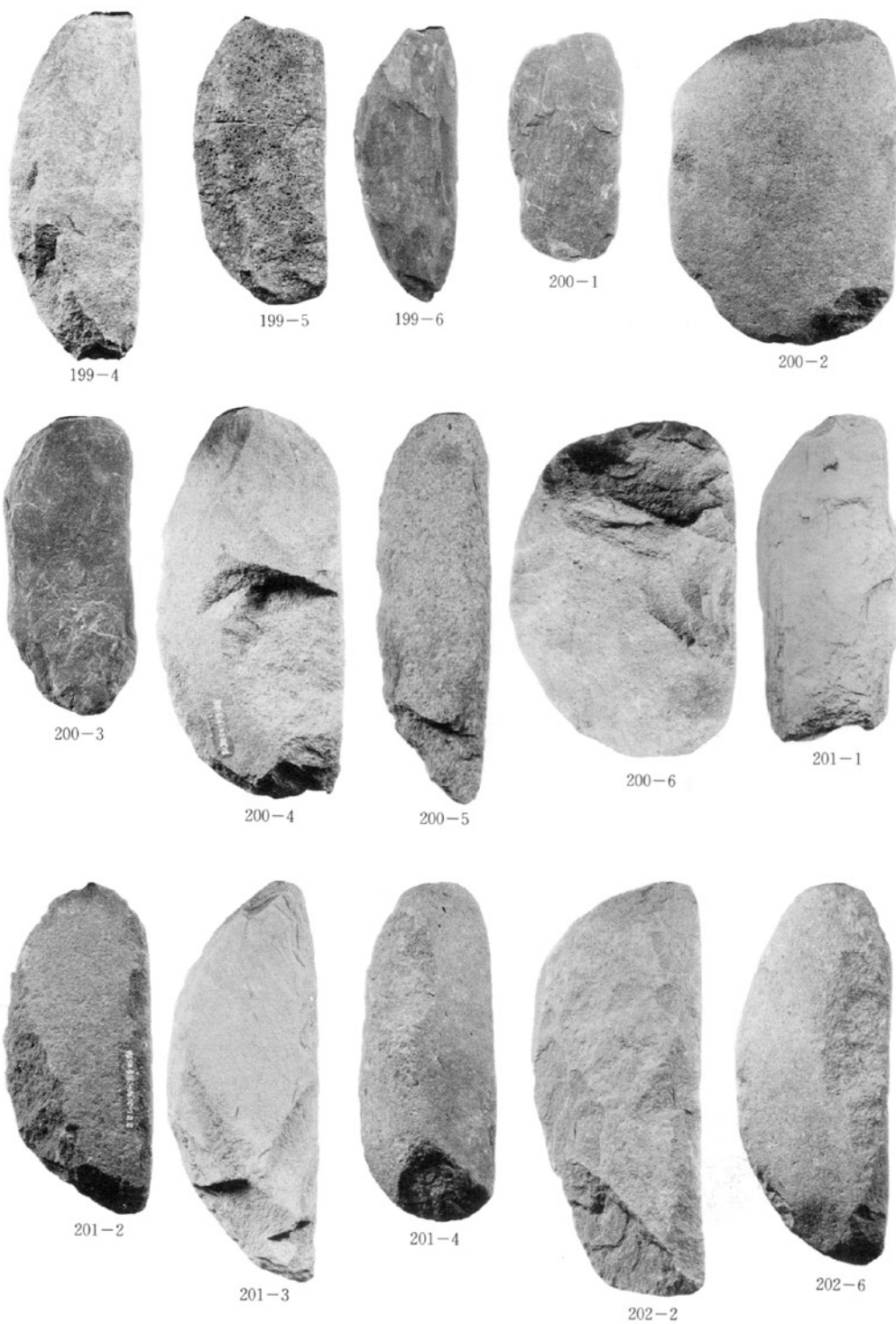


写真142 東捨て場出土石器（9）



写真143 東捨て場出土石器 (10)



206-1



206-2



206-3



206-4



206-5



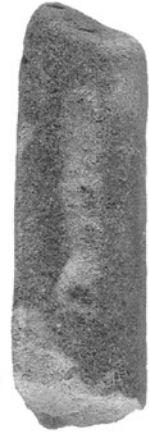
206-6



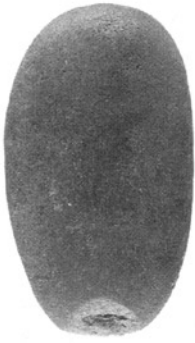
206-7



207-1



207-2



207-3



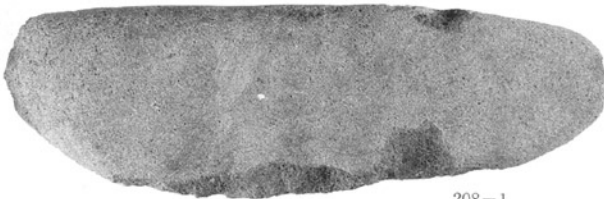
207-4



207-5



207-6



208-1

写真144 東捨て場出土石器 (11)

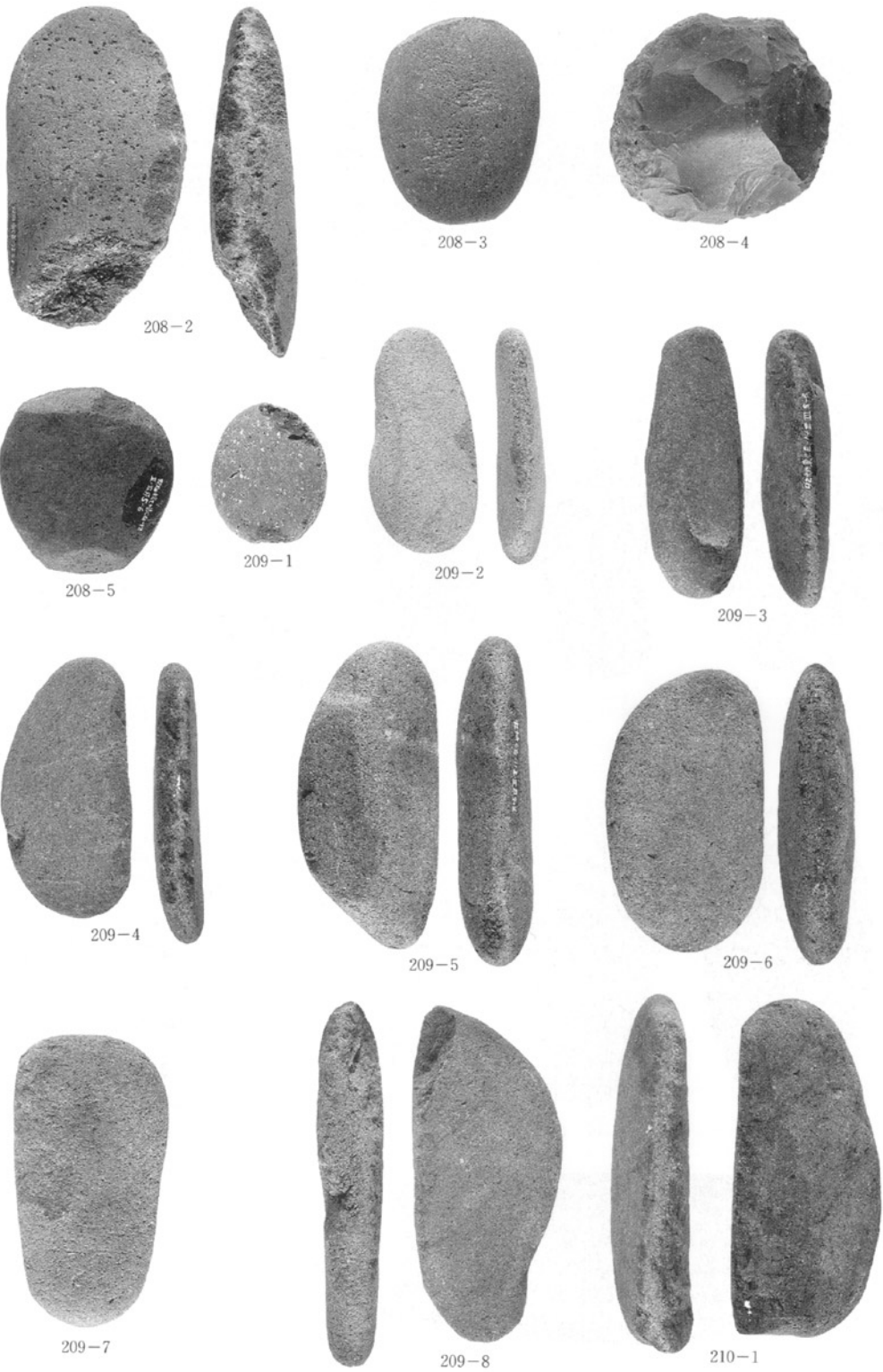
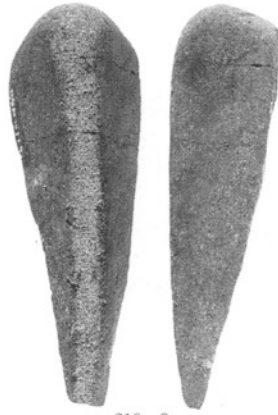


写真145 東捨て場出土石器 (12)



210-2



210-3



210-4



210-5



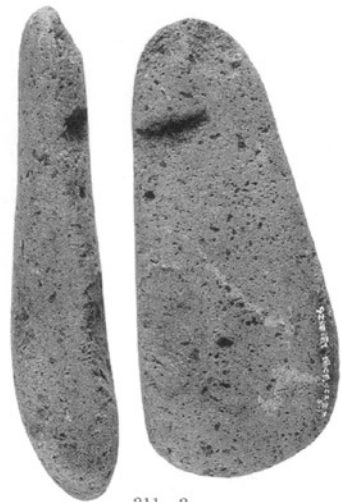
210-6



210-7



211-1



211-2

写真146 東捨て場出土石器 (13)

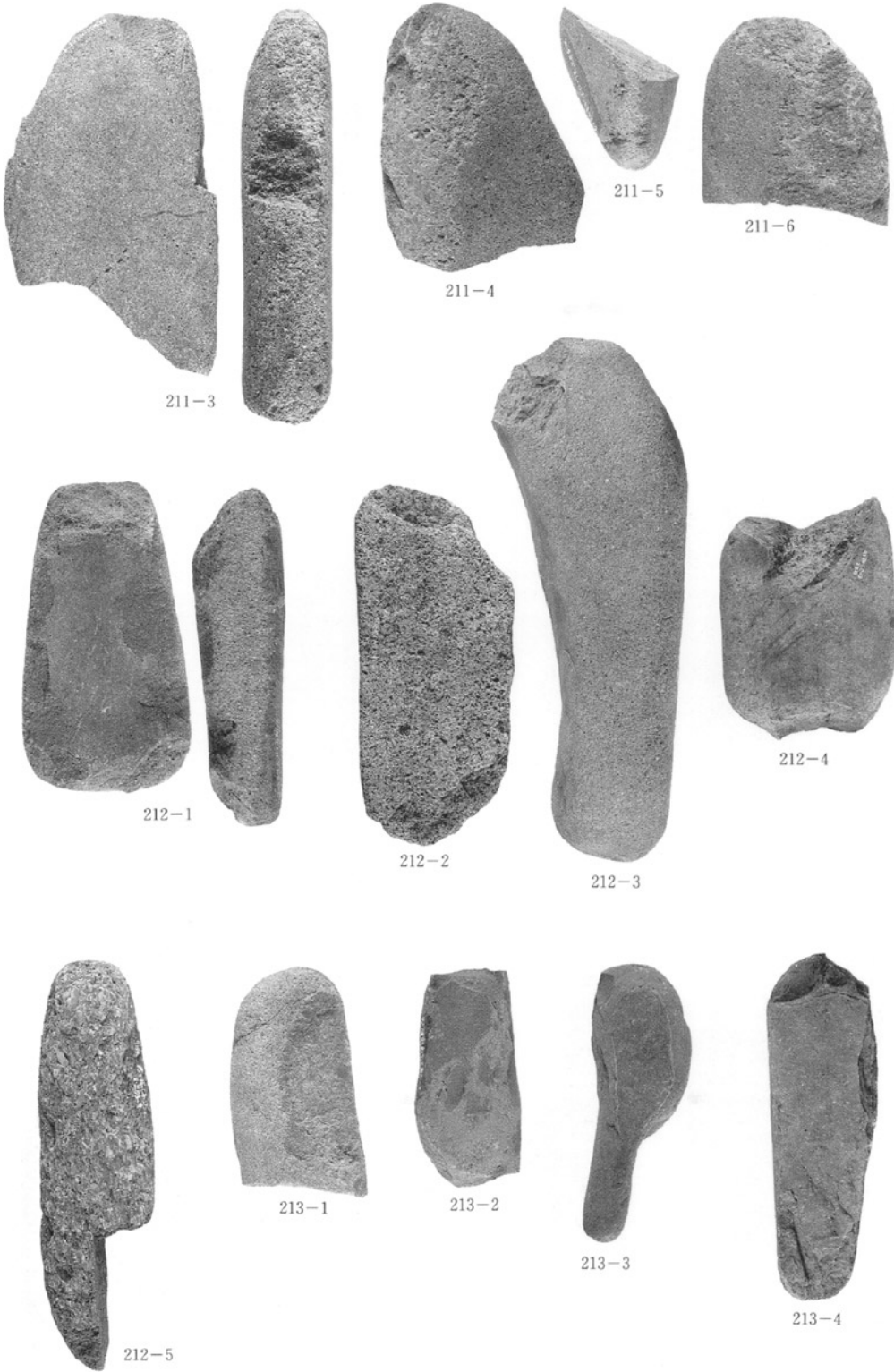


写真147 東捨て場出土石器 (14)



213-5



213-6



213-7



213-8



214-1



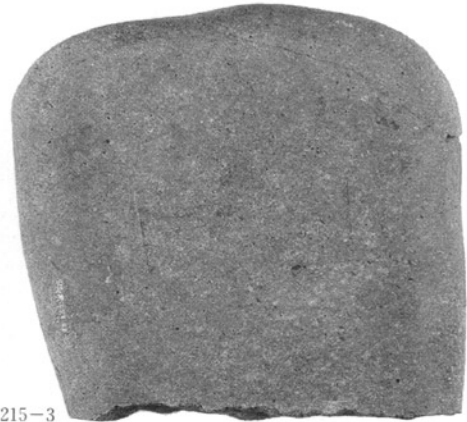
214-2



215-1



215-2



215-3

写真148 東捨て場出土石器 (15)

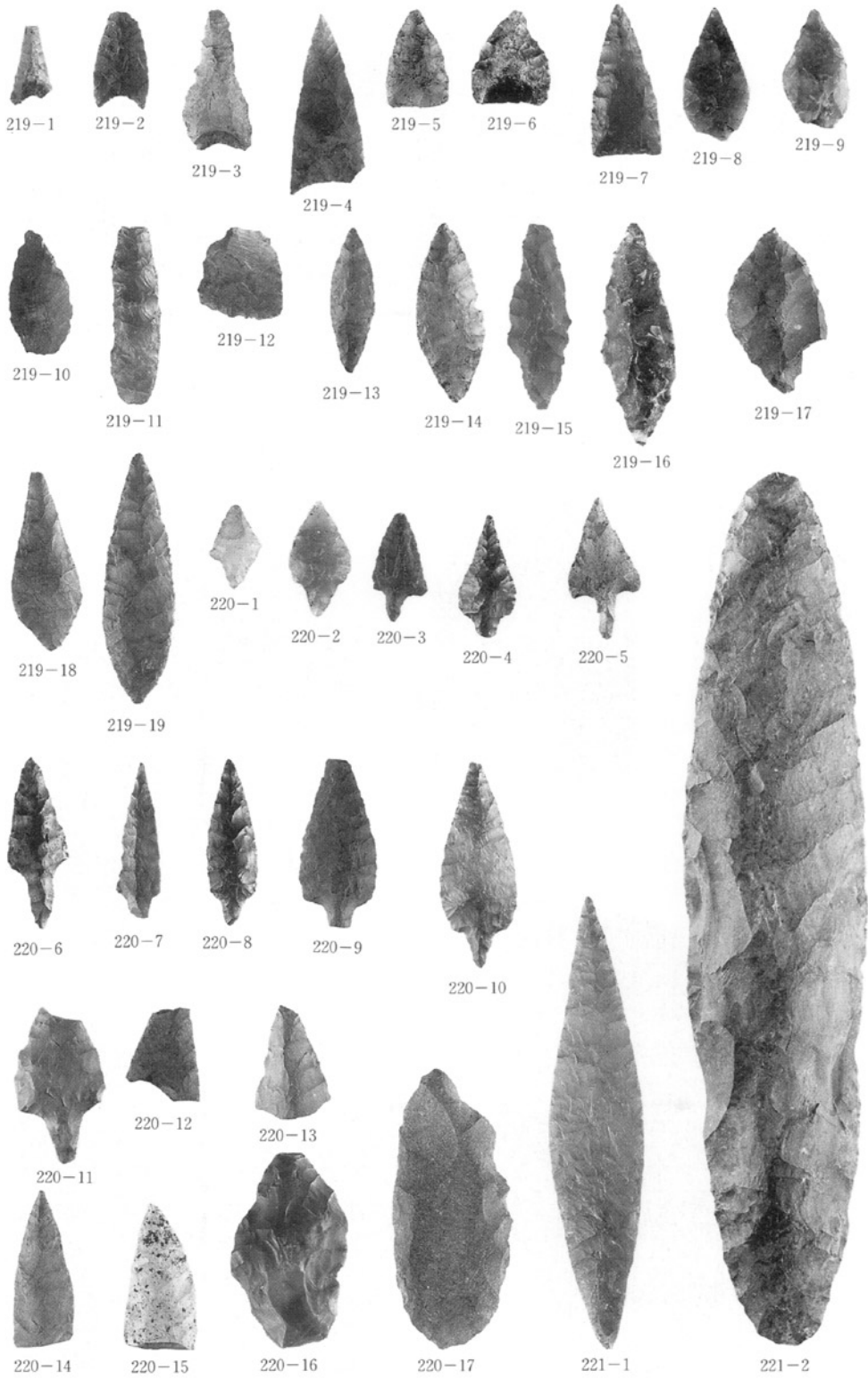


写真149 遺構外出土石器（1）

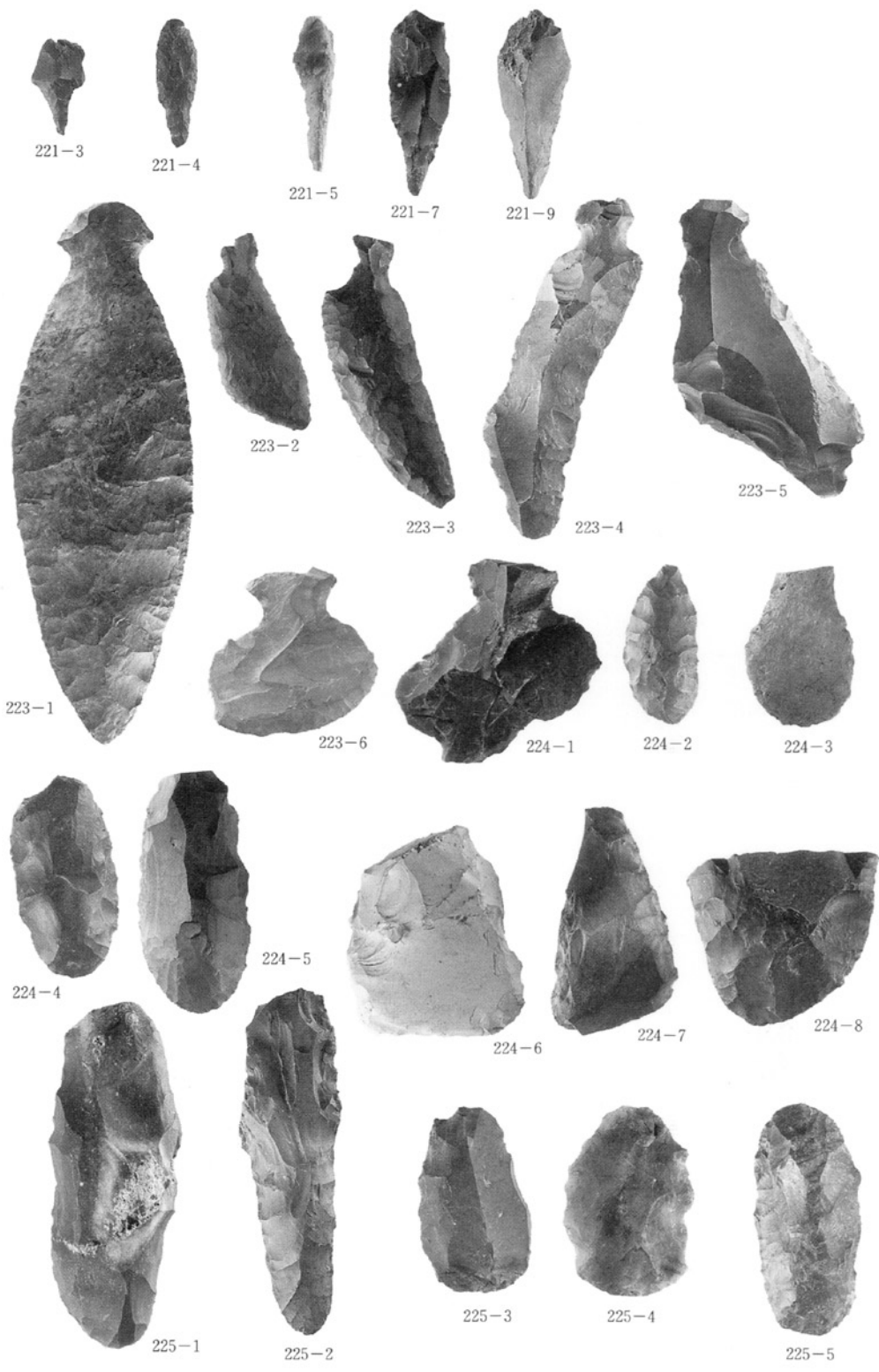


写真150 遺構外出土石器（2）



230-1



230-2



230-3



230-4



230-5



230-6



231-2



231-5



232-1



232-2

写真151 遺構外出土石器 (3)

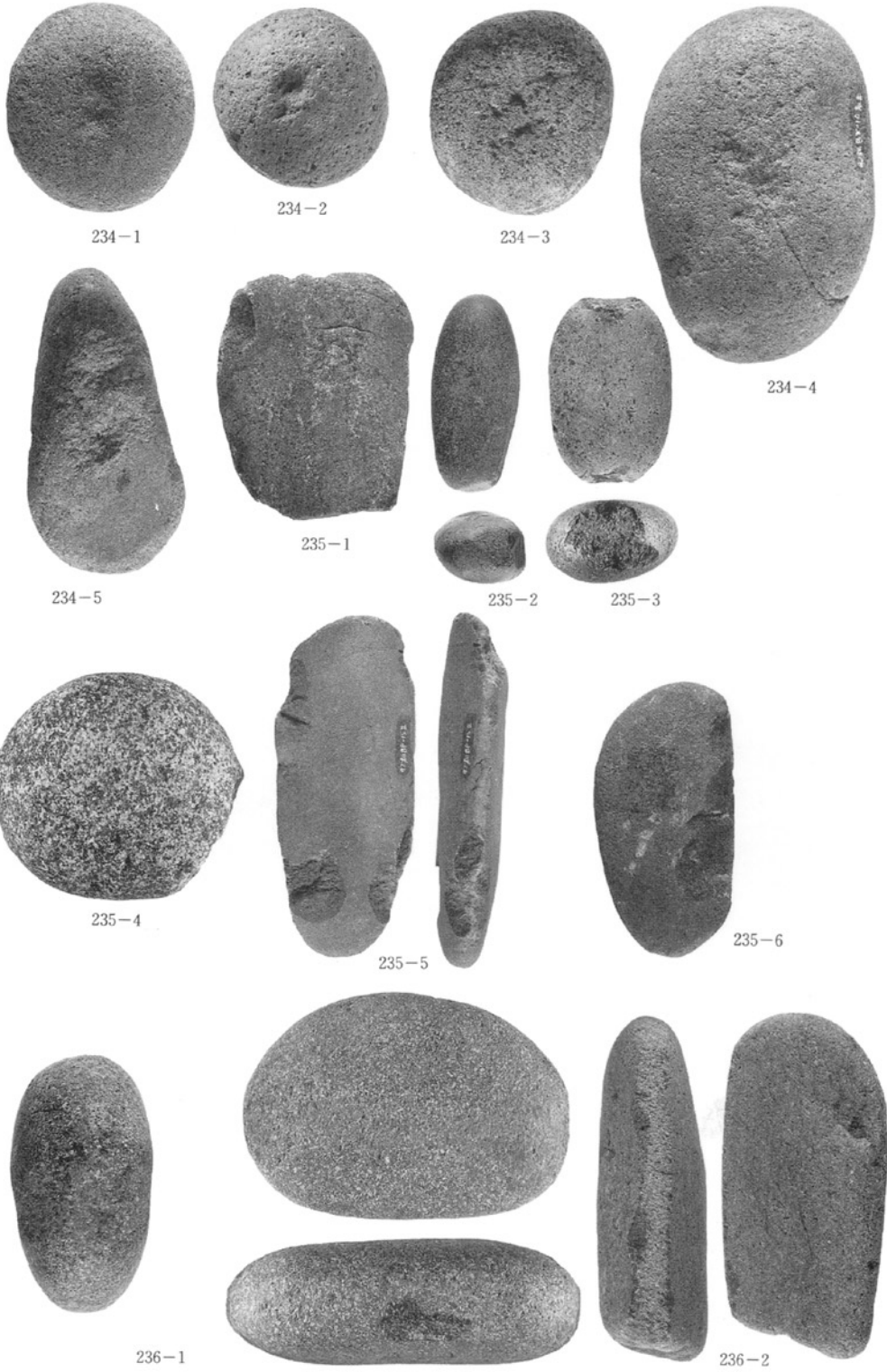


写真152 遺構外出土石器（4）



236-3



236-4



236-5



236-6



236-7



236-8



237-1



237-2



237-3



237-4

写真153 遺構外出土石器 (5)

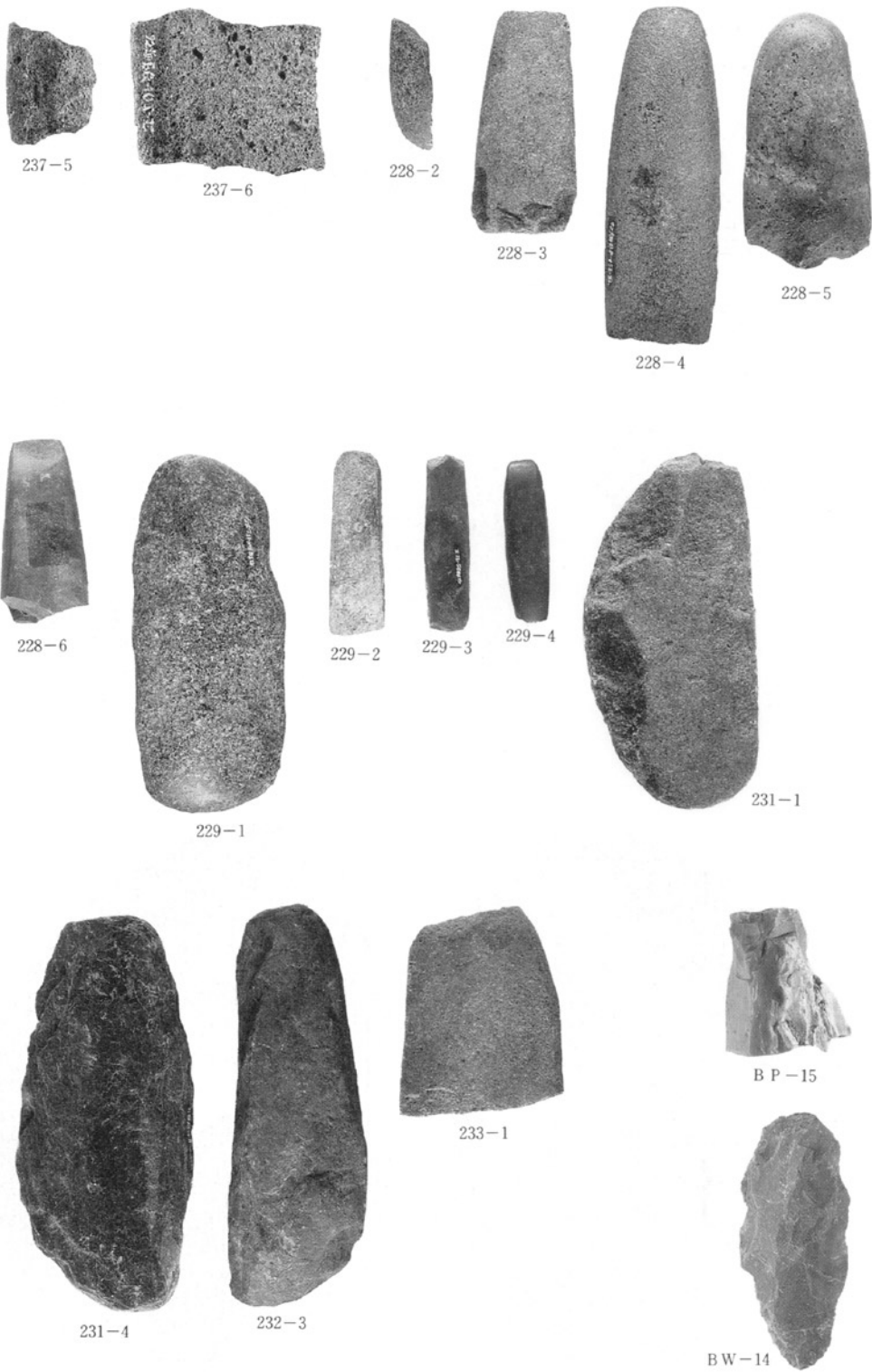


写真154 遺構外出土石器（6）



74-1
(1H)



74-2 (6H)



74-3 (6H)



74-4 (6H)



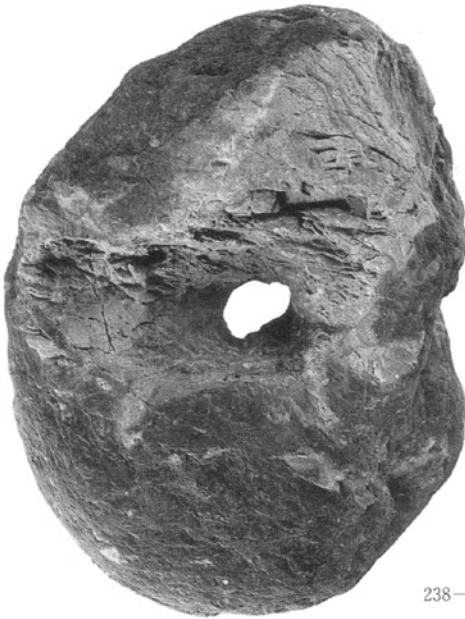
74-5 (6H)



216-1 (東)



171-2 (74土)

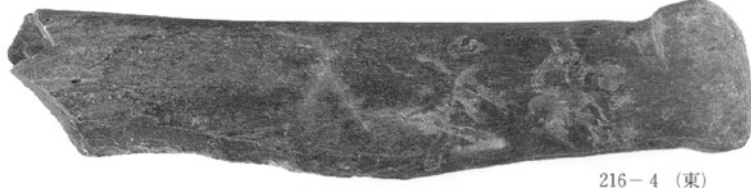
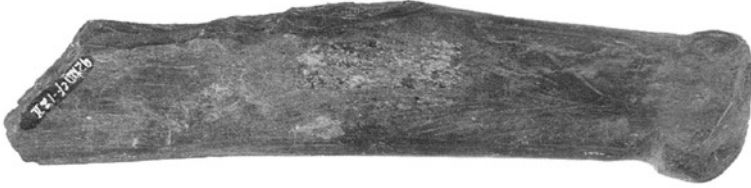


238-4 (外)

写真155 軽石製品・石製品 (1)



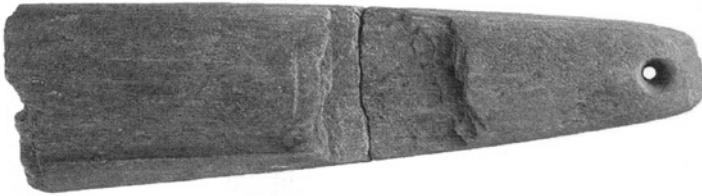
216-3 (東)



216-4 (東)



217-3 (東)



238-1 (外)

写真156 石製品 (2)



238-2 (外)



171-3 (70土)



75-1 (14H)



217-2 (東)



217-1 (東)



216-2 (東)



218-2 (東)



238-3 (外)



218-1 (東)

写真157 石製品 (3)

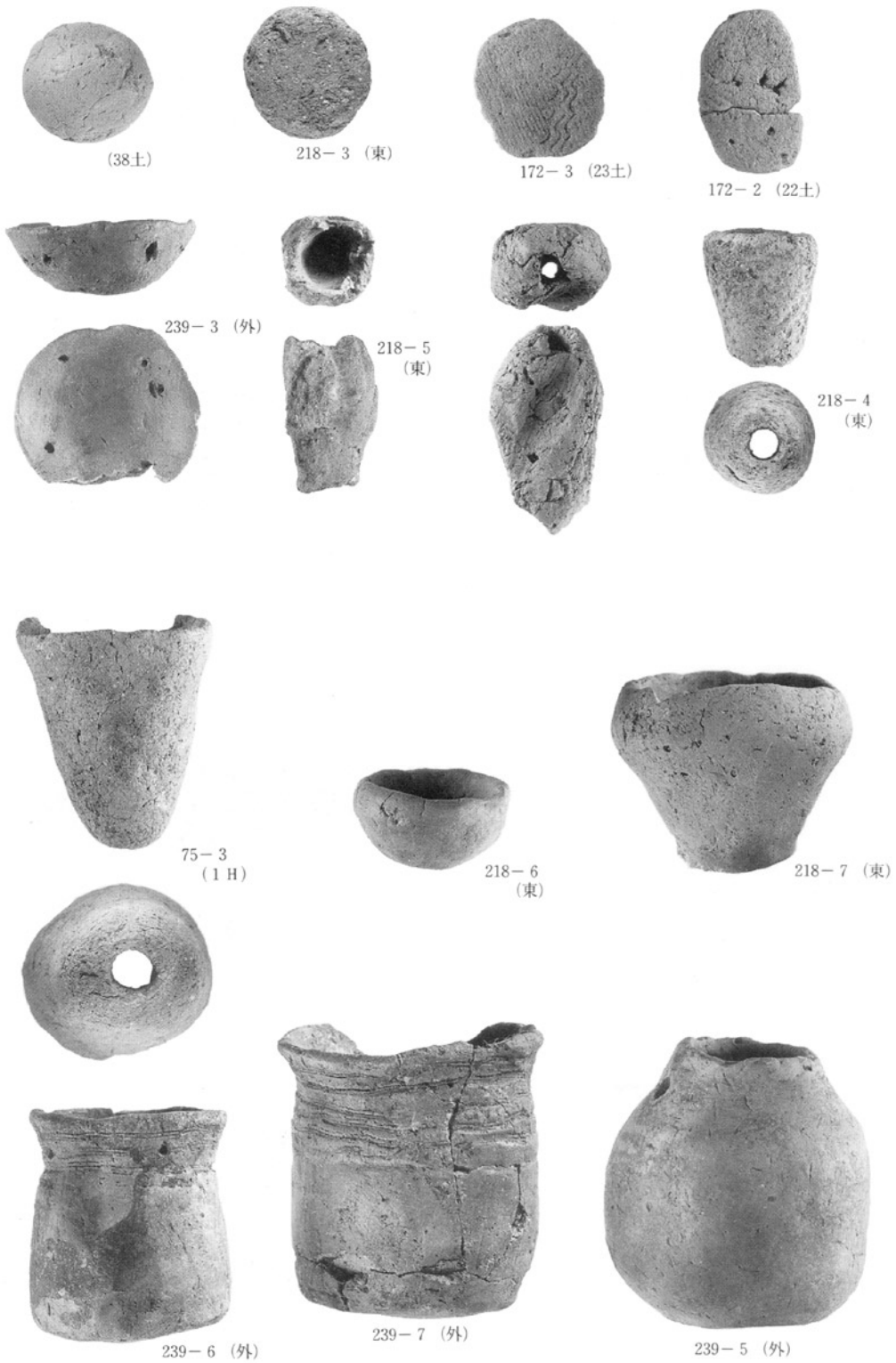


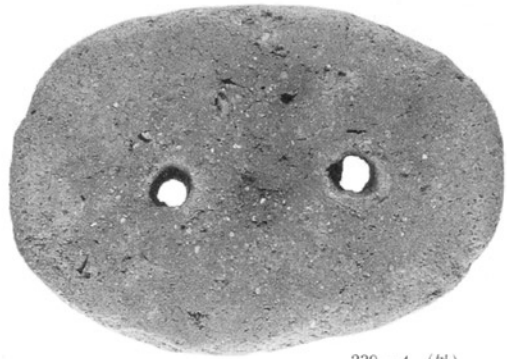
写真158 土製品 (1)



171-1 (13土)



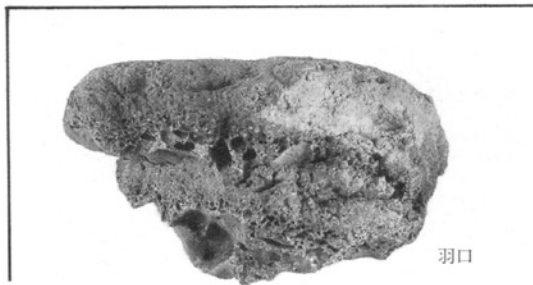
239-2 (外)



239-4 (外)



239-1 (外)



羽口

写真159 土製品(2)・歴史時代の遺物

青森県埋蔵文化財調査報告書 第161集

畑内遺跡発掘調査報告書Ⅰ

－八戸平原開拓建設事業(世増ダム)に係る発掘調査報告書－

発行年月日 平成6年3月31日

発行 青森県教育委員会
〒030 青森市新町二丁目3-1

編集 青森県埋蔵文化財調査センター
〒038 青森市新城字天田内152-15
TEL 0177-88-5701 FAX 0177-88-5702

印刷 長尾印刷株式会社
青森市平新田字森越17-1
TEL 0177(26)7121
